

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第273集

---

川越市／桶川市

---

# 川越城／小在家Ⅱ

---

県立川越高等学校・桶川西高等学校関係埋蔵文化財発掘調査報告

2 0 0 1

埼 玉 県

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団





昭和20年代川越市上空





第9次調査区全景





第9次調査区遠景（南から）



川越城遠景（東から）





第52号土壙出土 独



第2号廃棄遺構出土 西行法師





第 1 号堀出土 土釜



第 5 号土壙出土 火消壺



# 序

埼玉県は大小河川の集中する地域で、かつて何度となく洪水による大きな被害を受けてまいりました。また、さきの阪神・淡路大震災における被災地の惨状や、各地で繰り返される集中豪雨の被害を目のあたりにして、防災意識も大きく変化し、大規模災害対策の必要性が改めて認識されてまいりました。

本県では、近年の開発に伴い、予想される災害も複雑、多様化しております。このような現状を踏まえ、県民の安全を確保するため、広域的な災害活動拠点としての防災基地の整備が進められております。その一環として、災害時に活用できるよう県立高等学校に耐震化を施し、また、防災拠点としての整備も施して、災害に強いまちづくりが進められているところです。

県立川越高等学校体育館の改築もその一端であります。高校の敷地が史跡川越城跡地内であることは周知の事実であります。

これらの遺跡の取り扱いについては、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が各関係機関と慎重に協議を重ねた結果、やむを得ず記録保存の措置を講ずることになり、当事業団が埼玉県教育局管理部財務課の委託を受け、発掘調査を実施することとなりました。

その結果、従来不明であった戦国時代末の堀跡や掘立柱建物跡などの川越城築城当時の様子、江戸時代に改築された時の堀割や、古地図で未確認の堀跡が発見されるなど、まさに「小江戸」と呼ばれた川越城の往時の姿が明らかにされてまいりました。

その成果をまとめたものが、本書であります。本書が埋蔵文化財の保護、教育普及、学術研究の資料として広く活用していただければ幸いです。

本書の刊行にあたり、発掘調査に関する諸調整に御尽力いただきました埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課をはじめ、埼玉県教育局管理部財務課、さらに、川越市教育委員会、川越市立博物館、桶川市教育委員会、ならびに地元関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成13年 9 月

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
理 事 長 中 野 健 一



# 例 言

1. 本書は、埼玉県川越市内に所在する川越城跡の第9次、第12次、及び桶川市に所在する小在家Ⅱ遺跡の発掘調査報告書である。

2. 遺跡の略称と代表地番、および発掘調査届に対する指示通知は、以下の通りである。

・川越城跡（KWGEJ）

埼玉県川越市郭町2-6他

平成9年8月6日付け教文第2-97号

平成10年4月28日付け教文第2-15号

・小在家Ⅱ遺跡（KZIK）

埼玉県桶川市川田谷1531-2

昭和56年11月24日付け委保第5の2239号

3. 発掘調査は、県立川越高等学校体育館及び図書館改築工事、県立桶川西高等学校建築工事に伴う事前調査であり、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課の調整のもと、埼玉県教育局管理部財務課の委託を受け、財団法人埼玉埋蔵文化財調査事業団が実施した。

委託事業者

埼玉県教育局管理部財務課

受託事業者

（財）埼玉埋蔵文化財調査事業団

埼玉県大里郡大里村船木台4-4-1

4. 本事業は、第Ⅰ章の組織により実施した。

5. 発掘調査は、次の者が次の期間で実施した。

・川越城跡

第9次調査 金子直行 佐々木健策

平成9年8月1日～平成9年11月10日

第12次調査 金子直行 若松良一

平成10年4月1日～平成10年5月20日

平成10年7月21日～平成10年8月31日

・小在家Ⅱ遺跡

谷井彪 金子直行 樋口誠司

昭和56年11月20～昭和56年12月25日

6. 整理・報告書作成作業は、大谷徹が平成11年1月4日～平成11年3月31日、金子直行が平成13年5月14日～平成13年11月30日の期間で実施した。

7. 遺跡の基準点測量は、川越城跡を株式会社大宮測技、小在家Ⅱ遺跡を中央航業株式会社が行った。

8. 発掘調査における写真撮影は、各担当者が行い、遺物写真の撮影は大屋道則、野中仁、金子直行が行った。また、巻頭写真の一部を小川忠博氏に委託した。

9. 出土品の整理および実測、図版の作成は、旧石器を西井幸雄が、縄文土器、古代、中・近世の土器、須恵器、陶磁器、石器類を金子直行、山田洋子が、金属器を瀧瀬芳之が、瓦を大谷徹がそれぞれ行った。

10. 本書の執筆はⅠ-1を埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が、Ⅳ-3を大谷徹、Ⅳ-4を佐々木健策、それ以外を金子が行った。

11. 本書の編集は、金子が担当した。

12. 本書に掲載した資料は平成14年度以降、埼玉県立埋蔵文化財センターが管理・保管する。

13. 本書の作成にあたり以下の機関・諸氏からご教示・ご指導を賜った。記して、感謝の意を表します。  
（敬称略）

川越市教育委員会 城近憲一 田中 信 天ヶ嶋岳

川越市立博物館 岡田賢治

桶川市教育委員会 書上元博 関根 訪

浅野晴樹 栗岡真理子 小林康幸 成田涼子

橋口定志 堀内秀樹



# 凡 例

1. 本書挿図中におけるX・Yの座標数値は、国土標準平面直角座標第Ⅸ系（原点北緯36度00分00秒、東経139度50分00秒）に基づく各座標値を示す。また、各挿図における方位は、すべて座標北を表す。
2. 遺跡におけるグリッドの設置は、国家標準直角座標に基づいて設置しており、10m×10mの方眼である。なお、小在家遺跡のグリッドは、3m×6mの変則グリッドを設定している。
3. グリッドの名称は、川越城跡、小在家Ⅱ遺跡とも北西杭を基準として、東西方向西から東へ1～、南北方向北から南へA～、と番号を付けている。
4. 挿図の縮尺は、各図版中に指示した。全体図等は縮尺率の異なるものも使用している。

遺構図	1/80
	1/60
	1/30

## 遺物

須恵器・土師器坏実測図	1/3
須恵器・土師器甕実測図	1/4
陶磁器碗・皿	1/3
陶磁器甕・瓦器	1/4
古銭拓本	1/2
鉄器実測図	1/3
縄文土器拓本・石器	1/3

須恵器拓本 ..... 1/4

5. 遺構の表記記号は、以下のとおりである。

S J ..... 住居跡	S B ..... 掘立柱建物跡
S A ..... 柵列	S I ..... 竪穴状遺構
S L ..... 地下式墳	S K ..... 土墳
S E ..... 井戸	P ..... ピット状遺構
S Z ..... 堀跡	S D ..... 溝跡
S X ..... 廃棄遺構	

6. 遺構図断面に表記した水準の数値は、海拔標高である。

7. 遺物観察表は次のとおりである。

- 口径、器高、底径はcmを単位とする。（下図参照）
- ( ) 内の数値は推定値である。

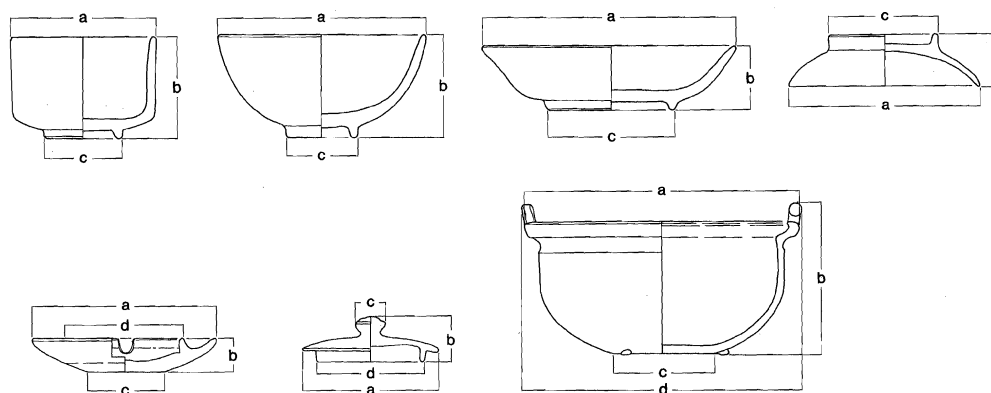
- 胎土は肉眼で観察できるものを次の様に示した。

A-白色粒子	B-角閃石	C-石英
D-雲母	E-長石	F-赤色粒子
針-白色針状物質	片-片岩	

- 焼成は良好、普通、不良の三段階に分けた。

- 残存率は図示した器形に対し、10%単位で示した。  
ただし、残存率20%以下のものについては、「破片」として処理した。

8. 本書に使用した地図は、建設省国土地理院発行の1/25000を、また、川越市発行都市計画図の1/2500、桶川市発行都市計画図1/2500を使用した。





# 目次

口絵

序

例言

凡例

目次

## I 発掘調査の概要

- 1 発掘調査に至る経過 ..... 2
- 2 発掘調査・報告書作成の経過 ..... 3
- 3 発掘調査・整理・報告書刊行の組織 ..... 4

## II 川越城跡の調査

- 1 川越城跡の立地と環境 ..... 6
- 2 調査の概要 ..... 14
- 3 発見された遺構と遺物 ..... 20
  - (1) 住居跡 ..... 20
  - (2) 掘立柱建物跡 ..... 33
  - (3) 柵列 ..... 41
  - (4) 竪穴状遺構 ..... 47
  - (5) 地下式墳 ..... 48
  - (6) 土壇 ..... 54
  - (7) 土器埋納遺構 ..... 76
  - (8) 門跡 ..... 85
  - (9) 井戸跡 ..... 86
  - (10) ピット状遺構 ..... 95
  - (11) 堀跡 ..... 109
  - (12) 溝跡 ..... 109
  - (13) 瓦敷遺構 ..... 119
  - (14) 廃棄遺構 ..... 131
  - (15) グリッド出土遺物 ..... 168

- a) 旧石器時代の遺物 ..... 168
- b) 縄文時代の遺物 ..... 168
- c) 古墳時代後期の遺物 ..... 168
- d) 奈良・平安時代の遺物 ..... 168
- e) 中・近世の遺物 ..... 168

## III 小在家Ⅱ遺跡の調査

- 1 小在家Ⅱ遺跡の立地と環境 ..... 214
- 2 調査の概要 ..... 218
- 3 発見された遺構と遺物 ..... 221
  - (1) 掘立柱建物跡 ..... 221
  - (2) 土壇 ..... 221
  - (3) 井戸跡 ..... 230
  - (4) 溝跡 ..... 230
  - (5) ピット状遺構 ..... 233
  - (6) グリッド出土遺物 ..... 240
    - a) 縄文時代の遺物 ..... 240
    - b) 近世の遺物 ..... 240

## IV 発掘の成果と提起する諸問題

- 1 川越城の発掘成果について ..... 242
- 2 川越城出土の中世かわらけについて ..... 250
- 3 川越城出土の土人形について ..... 253
- 4 川越城出土の近世瓦について ..... 257



# 挿図目次

第1図	川越城の位置図	6	第36図	地下式墳(2)	50
第2図	川越城周辺の遺跡(1)	7	第37図	地下式墳出土遺物(1)	51
第3図	川越城周辺の遺跡(中・近世)	8	第38図	地下式墳出土遺物(2)	52
第4図	調査区グリッド配置図	14	第39図	土壇(1)	55
第5図	遺跡周辺の地形図(1)	15	第40図	土壇(2)	56
第6図	地形図と古地図の合成図	15	第41図	土壇(3)	57
第7図	調査区全体図	16	第42図	土壇(4)	62
第8図	第12次調査区全体図	17	第43図	土壇(5)	63
第9図	掘立柱建物跡配置図	18	第44図	土壇(6)	66
第10図	第9次調査区基本土層図	19	第45図	土壇(7)	67
第11図	第1号住居跡と出土遺物	21	第46図	土壇(8)	70
第12図	第2号住居跡(1)	22	第47図	土壇(9)	71
第13図	第2号住居跡(2)と出土遺物(1)	23	第48図	土壇(10)(墓壇・埋納土壇)	75
第14図	第2号住居跡出土遺物(2)	24	第49図	土壇(11)(門跡)	76
第15図	第3号・第4号住居跡	25	第50図	土壇出土遺物(1)	77
第16図	第3号・第4号住居跡出土遺物	26	第51図	土壇出土遺物(2)	78
第17図	第5号住居跡と出土遺物	28	第52図	土壇出土遺物(3)	79
第18図	第6号住居跡と出土遺物	29	第53図	土壇出土遺物(4)	80
第19図	第7号住居跡と出土遺物	30	第54図	土壇出土遺物(5)	81
第20図	第8号住居跡と出土遺物	31	第55図	井戸跡(1)	87
第21図	第9号住居跡	32	第56図	井戸跡(2)	88
第22図	第1号掘立柱建物跡	33	第57図	井戸跡出土遺物(1)	90
第23図	第2号掘立柱建物跡	34	第58図	井戸跡出土遺物(2)	91
第24図	第3号掘立柱建物跡	35	第59図	井戸跡出土遺物(3)	92
第25図	第4号掘立柱建物跡	37	第60図	ピット状遺構(1)	94
第26図	第5号掘立柱建物跡	38	第61図	ピット状遺構(2)	95
第27図	第6号・第7号掘立柱建物跡	39	第62図	ピット状遺構(3)	96
第28図	第8号・第9号掘立柱建物跡	40	第63図	ピット状遺構(4)	97
第29図	第1号・第2号柵列	41	第64図	ピット状遺構(5)	98
第30図	第3号・第4号柵列	42	第65図	ピット状遺構(6)	99
第31図	第5号・第6号・第8号柵列	43	第66図	ピット状遺構(7)	100
第32図	第7号・第9号・第10号・第11号柵列	44	第67図	ピット状遺構(8)	101
第33図	掘立柱建物跡・柵列出土遺物	45	第68図	ピット状遺構(9)	102
第34図	竪穴状遺構	47	第69図	ピット状遺構(10)	103
第35図	地下式墳(1)	49	第70図	ピット状遺構(11)	104



第71図	ピット状遺構 (12)	105	第108図	第3号廃棄遺構出土遺物 (1)	151
第72図	ピット状遺構 (13)	106	第109図	第3号廃棄遺構出土遺物 (2)	152
第73図	ピット遺構出土遺物	107	第110図	第3号廃棄遺構出土遺物 (3)	153
第74図	第1号・第2号堀跡	110	第111図	第3号廃棄遺構出土遺物 (4)	154
第75図	溝跡断面図	112	第112図	第4号廃棄遺構出土遺物	155
第76図	堀跡出土遺物	115	第113図	グリッド出土遺物 (1)	169
第77図	溝跡出土遺物 (1)	116	第114図	グリッド出土遺物 (2)	170
第78図	溝跡出土遺物 (2)	117	第115図	グリッド出土遺物 (3)	171
第79図	瓦敷遺構	120	第116図	グリッド出土遺物 (4)	172
第80図	瓦敷遺構出土遺物 (1)	121	第117図	グリッド出土遺物 (5)	173
第81図	瓦敷遺構出土遺物 (2)	122	第118図	グリッド出土遺物 (6)	174
第82図	瓦敷遺構出土遺物 (3)	123	第119図	グリッド出土遺物 (7)	175
第83図	瓦敷遺構出土遺物 (4)	124	第120図	グリッド出土遺物 (8)	176
第84図	瓦敷遺構出土遺物 (5)	125	第121図	グリッド出土遺物 (9)	177
第85図	瓦敷遺構出土遺物 (6)	126	第122図	グリッド出土遺物 (10)	178
第86図	瓦敷遺構出土遺物 (7)	127	第123図	グリッド出土遺物 (11)	179
第87図	瓦敷遺構出土遺物 (8)	128	第124図	グリッド出土遺物 (12)	180
第88図	瓦敷遺構出土遺物 (9)	129	第125図	グリッド出土遺物 (13)	181
第89図	廃棄遺構 (1)	132	第126図	桶川市小在家Ⅱ遺跡の位置図	214
第90図	廃棄遺構 (2)	133	第127図	小在家Ⅱ遺跡周辺の遺跡	215
第91図	第1号廃棄遺構出土遺物 (1)	134	第128図	グリッド配置図	218
第92図	第1号廃棄遺構出土遺物 (2)	135	第129図	遺跡周辺の地形図	219
第93図	第1号廃棄遺構出土遺物 (3)	136	第130図	遺跡全体図	220
第94図	第2号廃棄遺構出土遺物 (1)	137	第131図	第1号掘立柱建物跡	222
第95図	第2号廃棄遺構出土遺物 (2)	138	第132図	第1号・第2号掘立柱建物跡	223
第96図	第2号廃棄遺構出土遺物 (3)	139	第133図	土壇 (1)	227
第97図	第2号廃棄遺構出土遺物 (4)	140	第134図	土壇 (2)	228
第98図	第2号廃棄遺構出土遺物 (5)	141	第135図	土壇 (3)・井戸跡	229
第99図	第2号廃棄遺構出土遺物 (6)	142	第136図	溝跡 (1)	231
第100図	第2号廃棄遺構出土遺物 (7)	143	第137図	溝跡 (2)	232
第101図	第2号廃棄遺構出土遺物 (8)	144	第138図	ピット状遺構	233
第102図	第2号廃棄遺構出土遺物 (9)	145	第139図	出土遺物 (1)	234
第103図	第2号廃棄遺構出土遺物 (10)	146	第140図	出土遺物 (2)	235
第104図	第2号廃棄遺構出土遺物 (11)	147	第141図	出土遺物 (3)	236
第105図	第2号廃棄遺構出土遺物 (12)	148	第142図	出土遺物 (4)	238
第106図	第2号廃棄遺構出土遺物 (13)	149	第143図	出土遺物 (5)	239
第107図	第2号廃棄遺構出土遺物 (14)	150			



# 写真図版

- |      |  |      |                                     |
|------|--|------|-------------------------------------|
| 図版 1 | 川越城跡第9次調査区遠景<br>川越城跡第12次調査区遠景                              | 図版17 | 調査区中央区の掘立柱建物跡群<br>調査区東側区の掘立柱建物跡群    |
| 図版 2 | 第9次調査区東端部遠景<br>第9次調査区中央部東側遠景                               | 図版18 | 調査区西端の掘立柱建物跡群<br>調査区東端の掘立柱建物跡群      |
| 図版 3 | 第9次調査区中央部西側遠景<br>第9次調査区西端部遠景                               | 図版19 | 第1号・第2号竪穴状遺構<br>第5号竪穴状遺構            |
| 図版 4 | D-5区南北トレンチ土層断面<br>D-5区南北トレンチ第Ⅵ層調査面<br>D-5区南北トレンチ最下層調査面     | 図版20 | 第3号竪穴状遺構<br>第3号竪穴状遺構土層断面            |
| 図版 5 | E-5区第Ⅵ層調査面（北から）<br>E-5区第Ⅵ層調査面（西から）                         | 図版21 | 第1号地下式塋<br>第1号地下式塋遺物出土状態            |
| 図版 6 | E-6区第Ⅵ層調査面（北から）<br>E-5～6区完掘面（北から）                          | 図版22 | 第4号地下式塋<br>第4号地下式塋遺物出土状態            |
| 図版 7 | E-5区完掘面（北から）・第5号溝<br>E-5区完掘面（西から）・第5号溝                     | 図版23 | 各土塋及び遺物出土状態（1）                      |
| 図版 8 | D-7～9区Ⅵ層調査面（東から）<br>D-7～9区Ⅵ層・完掘面（西から）<br>D-7～9区Ⅵ層・完掘面（東から） | 図版24 | 各土塋及び遺物出土状態（2）                      |
| 図版 9 | D-7区完掘面（西から）・第2号地下式塋<br>A～C-10区完掘面                         | 図版25 | 各井戸跡                                |
| 図版10 | G～J区第4号堀検出状況（北から）<br>G～J区第4号堀検出状況（西から）                     | 図版26 | 瓦敷遺構<br>瓦敷遺構遺物出土状態                  |
| 図版11 | I～J-7～8区第3号堀検出状況（近景）<br>I～J-7～8区第3号堀検出状況（東から）              | 図版27 | 第1号堀跡全景<br>第1号堀跡（北から）<br>第1号堀跡（南から） |
| 図版12 | 第1号住居跡（北から）<br>第3号住居跡（南から）                                 | 図版28 | 各堀跡                                 |
| 図版13 | 第2号住居跡（南から）<br>各住居跡遺物出土状況                                  | 図版29 | 第4号・第5号・第6号溝跡<br>各溝跡                |
| 図版14 | 第4号住居跡（西から）<br>第5号・第6号住居跡（南から）                             | 図版30 | 第1号廃棄遺構（ゴミ穴）                        |
| 図版15 | 第7号住居跡（南から）<br>第8号住居跡（西から）                                 | 図版31 | 第2号廃棄遺構（ゴミ穴）                        |
| 図版16 | 検出された掘立柱建物跡群<br>調査区西側区の掘立柱建物跡群                             | 図版32 | 第2号・第3号廃棄遺構（ゴミ穴）                    |
|      |  | 図版33 | 各遺構出土遺物<br>各遺物集合写真                  |
|      |  | 図版34 | 古代の出土遺物（1）                          |
|      |  | 図版35 | 古代の出土遺物（2）                          |
|      |  | 図版36 | 中世のかわらけ（1）                          |
|      |  | 図版37 | 中世のかわらけ（2）                          |
|      |  | 図版38 | 中世のかわらけ（3）                          |
|      |  | 図版39 | 近世のかわらけ（1）                          |
|      |  | 図版40 | 近世のかわらけ（2）                          |



図版41 磁器茶碗類 (1)  
 図版42 磁器茶碗類 (2)  
 図版43 磁器茶碗類 (3)  
 図版44 磁器茶碗類 (4) ・ 仏飯具  
 図版45 磁器皿類  
 図版46 磁器蓋・德利・紅猪口  
           陶器茶碗類 (1)  
 図版47 陶器茶碗類 (2)  
 図版48 陶器皿類 (1)  
           磁器・陶器灯明皿・灯明受皿  
 図版49 陶器皿類 (2)  
 図版50 陶器香炉  
           陶器鉢類・釜  
 図版51 青磁製品  
           焼塩壺・高台付灯明受皿・泥人形

図版52 焙烙・火鉢  
 図版53 播鉢・壺・甕  
 図版54 瓦類  
 図版55 板碑類・石臼  
 図版56 青銅製品・鉄製品  
 図版57 小在家Ⅱ遺跡渡廊下調査区  
           調査区全景 (西から)  
 図版58 西側調査区全景  
           調査区中央部全景  
 図版59 第1・2号掘立柱建物跡  
           第1号井戸・第1号溝  
 図版60 東側調査区全景 (南から)  
           第2号溝  
 図版61 出土遺物 (1)  
 図版62 出土遺物 (2)

## 表目次

第1表 遺跡地名表	10	第11表 川越城堀跡一覧表	195
第2表 川越城跡 新旧対照表	190	第12表 川越城跡溝跡一覧表	195
第3表 川越城跡 土壌新旧対照表	191	第13表 川越城廃棄遺構一覧表	195
第4表 川越城跡住居跡一覧表	192	第14表 川越城跡ピット一覧表	196
第5表 川越城跡掘立柱建物跡一覧表	192	第15表 小在家Ⅱ遺跡周辺の遺跡地名表	216
第6表 川越城跡柵列跡一覧表	193	第16表 小在家Ⅱ遺跡第1号掘立柱建物跡一覧表	224
第7表 川越城跡竪穴状遺構一覧表	194	第17表 小在家Ⅱ遺跡第2号掘立柱建物跡一覧表	225
第8表 川越城跡地下式塋跡一覧表	194	第18表 小在家Ⅱ遺跡ピット一覧表	225
第9表 川越城跡土塋一覧表	194	第19表 小在家Ⅱ遺跡土塋一覧表	226
第10表 川越城跡井戸跡一覧表	195	第20表 小在家Ⅱ遺跡井戸跡一覧表	238

# 遺物観察表

川越城跡		井戸跡出土遺物観察表	92
第1号住居跡出土遺物観察表	20	ピット出土遺物観察表	108
第2号住居跡出土遺物観察表	24	堀跡出土遺物観察表	117
第3号・第4号住居跡出土遺物観察表	27	溝跡出土遺物観察表	118
第5号住居跡出土遺物観察表	28	瓦敷遺構出土遺物観察表	122
第6号住居跡出土遺物観察表	29	廃棄遺構出土遺物観察表	156
第7号住居跡出土遺物観察表	30	廃棄遺構出土瓦観察表	166
第8号住居跡出土遺物観察表	31	グリッド出土遺物観察表	182
掘立柱建物跡・柵列出土遺物観察表	45		
地下式墳出土遺物観察表	52	小在家Ⅱ遺跡	
土壇出土遺物観察表	82	出土遺物観察表	237



# I 発掘調査の概要



## 1 発掘調査に至る経過

埼玉県では、「環境優先・生活重視」、「埼玉の新しいくづくり」を基本理念として、豊かな彩の国づくりを推進するため、種々の政策を講じている。阪神・淡路大震災の教訓を生かすため、まち・安全彩の国構想の一環として、災害時に高齢者や障害者が優先的に避難できるよう、県立高等学校を利用した防災拠点の整備を積極的に進めている。

また、県立高等学校の教育施設を建設・改修・改築し、学習環境を改善するなどの施策も行われている。

県立高等学校に計画された防災拠点施設整備事業や、図書館施設整備事業及び県立桶川西高等学校建設事業もその一つである。

県教育局生涯学習部文化財保護課では、このような施策の推進と文化財の保護について、従前から関係部局との事前協議を重ね、整備を図ってきたところである。

防災拠点施設整備事業については、平成8年3月26日付け教財第995号で、図書館施設整備事業については、平成9年12月5日付け教財625号で、桶川西高等学校建設事業についても財務課長より事業予定地内における埋蔵文化財の所在及び取扱いについて照会があった。

文化財保護課では、確認調査を実施した上で、それぞれ平成8年7月2日付け教文478号、平成10年1月19日付け教文第1338a号等で川越城跡及び小在家Ⅱ遺跡の取扱いについて次のように回答した。

### 1 埋蔵文化財の所在

工事予定地内には以下の埋蔵文化財包蔵地が所在する。

名 称 (No)	種 別	時 代	所 在 地
川 越 城 跡 (No.19-089)	城 館 跡	縄 文 奈 良 平 安 戦 国 江 戸	川越市郭町2-6
小在家Ⅱ遺跡 (No.15-053)	集 落 跡	縄 文 古 墳	桶川市川田谷 小在家1531-2 他

### 2 取扱い

上記の埋蔵文化財包蔵地は、現状保存することが望ましいが、事業計画上やむを得ず現状を変更する場合は、事前に文化財保護法第57条の3の規定に基づく文化庁長官への発掘通知を提出し、記録保存のための発掘調査を実施すること。

発掘調査については、実施機関である財団法人埋蔵文化財調査事業団と財務課及び文化財保護課の三者により調査方法、期間、経費などを中心に協議が行われた。その結果、川越城跡については、平成9年8月1日から同11月10日及び平成10年7月21日から同8月31日までの期間で実施し、小在家Ⅱ遺跡については、昭和56年11月20から12月25日まで実施することとなった。

埼玉県知事から文化財保護法第57条の3の規定による埋蔵文化財発掘通知が提出され、調査に先立ち、第57条1項の規定による発掘調査届が、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長から提出された。発掘調査にかかる通知は以下のとおりである。

#### ・川越城

平成9年8月6日付け 教文第2-97号

平成10年4月28日付け 教文第2-15号

#### ・小在家Ⅱ遺跡

昭和56年11月24日付け 委保第5の2239号



## 2 発掘調査・報告書作成の経過

### (1) 発掘調査

川越城跡の調査は、第9次調査が平成9年8月1日から11月10日、第12次調査が平成10年4月1日から5月12日、平成10年7月21日から8月31日までの期間で、都合3回に分けて行った。

第9次調査区は面積が最も大きく、8月初旬に表土を除去したが、体育館本体部分に基礎工事の攪乱が著しく、壊滅状態であるのが発覚した。従って、本体以外での新設工事部分が対象となった。体制を整えて、8月の中旬からトレンチ調査に入るが、正門に近い調査区の西側では、台地の肩部を造成する形で、戦国時代末以降の整地面が何面も確認された。中でも顕著な整地面3面を鍵層として調査を進め、大きくは遺跡全体を2面に分けて調査を開始した。17世紀末から18世紀前葉と思われる整地面の下に多くの遺構が検出され、掘立柱建物跡数棟を含む建物跡群が検出された。また、この整地面にバックされるように、廃棄遺構(ゴミ穴)が検出され、多量の陶磁器と、瓦が出土した。9月から10月にかけて遺構の細部を整地面に合わせながら調査を進め、掘立柱建物跡の柱穴を含め、ピット1000余基、土壌多数、溝、堀跡を検出、確認した。11月初旬に、図面作成を終え、中旬までに写真撮影を終了して、調査を終了した。

第12次調査区の前半調査は、旧図書館の南側に当たる部分、後半は図書館本体に当たる部分で、いずれも調査区内において掘跡の肩部が確認された。調査区内は台地の肩部に当たり、奈良・平安時代の住居跡が検出され、台地上においては、第9次調査よりもやや古い中世末段階の遺構が多く検出されている。前半部分、後半部分とも攪乱を受けている部分が多く、全体像を明らかにし得ない部分が多かった。8月の中旬までに遺構の実測を終え、下旬に写真撮影を終了させて、調査を完了した。

小在家Ⅱ遺跡の発掘調査は、昭和56年11月20日から

昭和56年12月25日までの約1ヶ月間で実施した。11月初旬、重機による表土除去後、渡り廊下部分より調査を開始する。渡り廊下部分は面積も少なく、遺構も少ないため、調査終了後、図面作成を完了する。本体部分の調査は、校舎を取り巻いたL字形を呈するため、校舎の前に当たる北側部分を先に調査する。攪乱をかなり受けているが、東西方向に走る溝と、クランク部分に掘立柱建物跡を2軒検出する。掘立柱建物跡は柱穴数も多く、雑然としていたが、それぞれ半截して土層の堆積状態を確認した結果、およそ、2棟が何回か立て直されて存在していた可能性が窺われた。その後、校舎の西側を調査したが、土壌が散在するものの、遺構の密度は低くなってきた。12月の中旬以降に調査を終了し、実測図を作成した。霜が強く、遺構の清掃に難航したが、12月下旬に写真撮影を完了して、調査を完了した。

### (2) 整理・報告書作成

川越城跡の整理作業は平成11年1月4日から3月31日までと、平成13年5月14日から11月30日までの期間で実施した。小在家Ⅱ遺跡は平成13年度の川越城跡の整理と合わせて実施した。

5月中旬から第12次調査の遺跡出土遺物の水洗・注記を行い、同時に現場の平面図・写真の整理を行った。遺物の復元は、小在家Ⅱ遺跡も合わせて、5月中旬から7月にかけて、接合などの作業と同時進行した。復元された遺物は、順次図化を行い、8月末にはトレースなどの墨入れを行った。図面類も5月から9月にかけて整理を行い、図面、遺物合わせて9月中には図版組を終了させ、同時に原稿執筆も開始した。9月の下旬には遺物の写真撮影を行い、10月初旬には報告書の割付けを終了させた。原稿は、9月の中旬より執筆を開始し、10月の下旬に終了させた。報告書は、11月初旬より校正を開始し、下旬までに校正を終え、11末日に印刷を終了して、刊行した。

### 3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織

主体者 財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

#### (1) 発掘調査(昭和56年度)

理 事 長 長井 五郎  
副 理 事 長 沼尻 和也  
常 務 理 事 渡辺 澄夫

#### 〈管理部〉

管 理 部 長 伊藤 悦光  
主 任 関野 栄一  
主 事 福田 浩  
主 事 本庄 朗人

#### 〈調査研究部〉

調 査 研 究 部 長 横川 好富  
調 査 研 究 第 三 課 長 谷井 彪  
調 査 員 金子 直行  
樋口 誠司

(平成9年度、10年度)

理 事 長 荒井 桂  
副 理 事 長 (平成9)富田 真也  
(平成10)飯塚誠一郎  
常務理事兼管理部長 (平成9)稲葉 文夫  
(平成10)鈴木 進

#### 〈管理部〉

専門調査員兼経理課長 関野 栄一  
庶 務 課 長 (平成9)依田 透  
(平成10)金子 隆  
主 査 (平成9)西沢 信行  
(平成10)田中 祐二

主 任 長滝美智子  
主 任 腰塚 雄二  
主 任 江田 和美  
主 任 福田 昭美  
主 任 菊池 久

#### 〈調査部〉

理 事 兼 調 査 部 長 (平成9)梅沢太久夫  
調 査 部 長 (平成10)谷井 彪  
調 査 部 副 部 長 (平成9)今泉 泰之  
(平成10)水村 孝行  
調 査 第 三 課 長 浅野 晴樹  
統 括 調 査 員 金子 直行  
統 括 調 査 員 (平成10)若松 良一  
調 査 員 (平成9)佐々木健策

#### (2) 整理作業(平成10、13年度)

理 事 長 (平成10)荒井 桂  
(平成13)中野 健一  
副 理 事 長 飯塚誠一郎  
常務理事兼管理部長 (平成10)鈴木 進  
(平成13)大館 健

#### 〈管理部〉

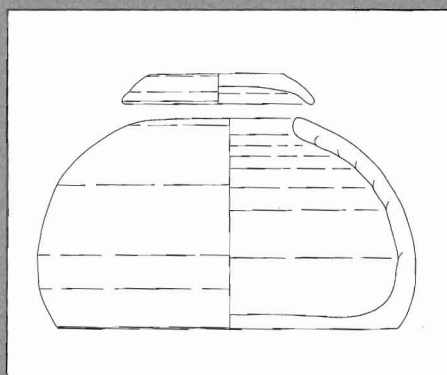
専門調査員兼経理課長 (平成10)関野 栄一  
庶 務 課 長 (平成10)金子 隆  
管 理 幹 (平成13)持田 紀男  
主 査 (平成10)田中 祐二  
主 任 江田 和美  
主 任 長滝美智子  
主 任 福田 昭美  
主 任 腰塚 雄二  
主 任 菊池 久

#### 〈資料部・調査部〉

資 料 部 長 (平成10)増田 逸朗  
調 査 部 長 (平成13)高橋 一夫  
主幹兼資料副部長 (平成10)小久保 徹  
資料整理第二課長 (平成10)市川 修  
主席調査員(資料整理担当) (平成13)磯崎 一  
統 括 調 査 員 (平成13)金子 直行  
主 任 調 査 員 (平成10)大谷 徹



## II 川越城跡の調査



# 1 川越城の立地と環境

川越城(1)は、東武東上線川越駅の北北東約2kmの地点に当たり、川越市郭町2-6番地他に所在する。

川越市は武蔵野台地の北縁に当たる川越台地、秩父山地から北東へ連なる扇状地性の入間台地、入間川が形成した肥沃な沖積地からなり、北方向に突出した台地縁辺部を新河岸川が取り囲む様に流下する。川越城は、この北に張り出した標高15~16m前後の仙波台地と呼ばれる、武蔵野台地北東端のほぼ先端部東側に位置している。

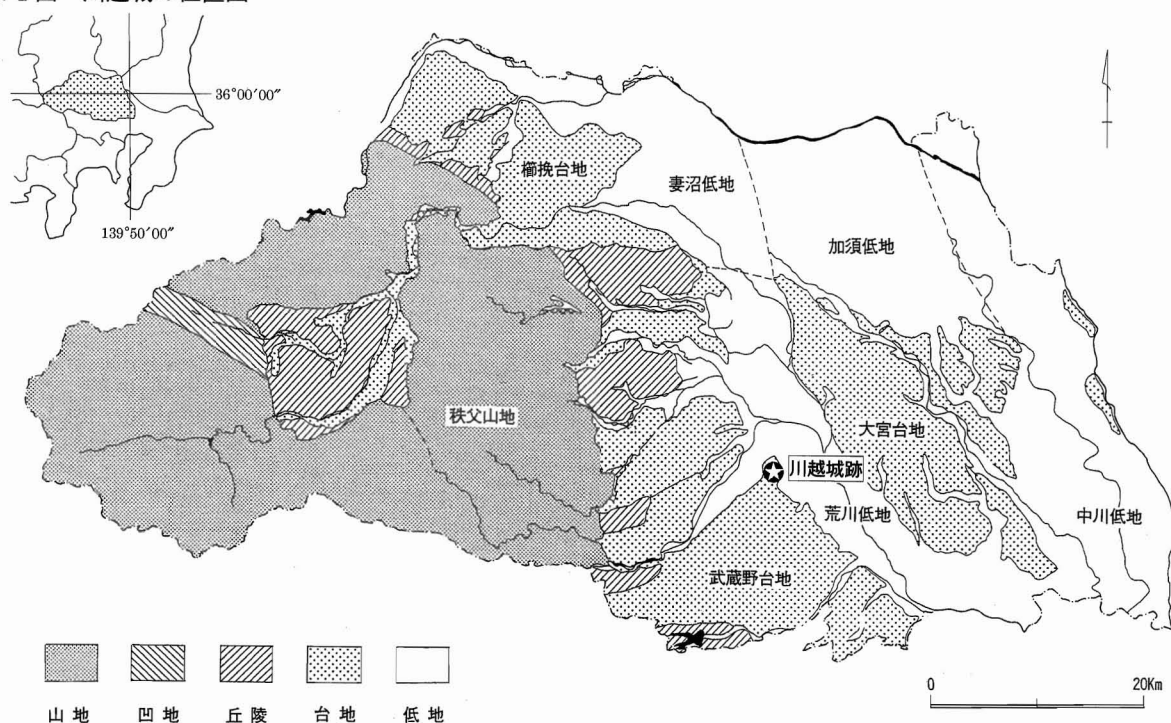
川越市を取り囲むこれらの地形的条件は、埼玉県の地形に大きく影響されたもので、荒川より以西の地形的条件と合致する。埼玉県は西北部の山地を源流とする河川が大きくは東流し、荒川との合流付近から南流を開始する特徴があり、西が高く東が低い地形を呈している。

武蔵野台地と入間台地を分ける入間川は、外秩父山地の妻坂峠付近に端を発し、やや南下しながら東流して、飯能市付近からやや北東へ流路を変える。さらに、

川島町付近で越辺川と合流し、南流を開始して荒川と出合い、その氾濫源に広大な沖積地である荒川低地を形成する。

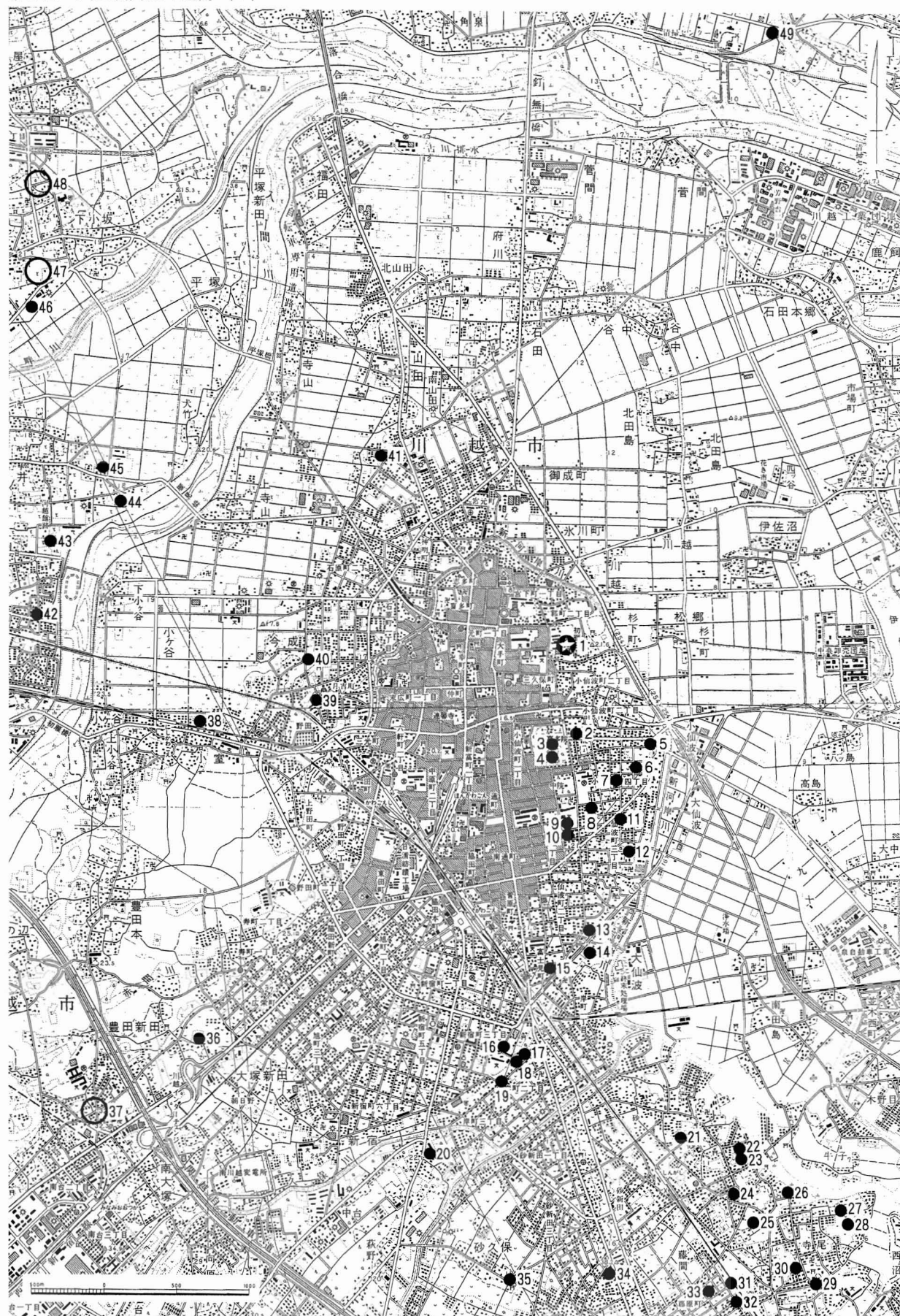
一方、突出した台地先端部を取り巻く新河岸川は、江戸時代から明治時代にかけて江戸と川越の舟運に供されていたが、もとは狭山市付近に端を発し、武蔵野台地縁辺部沿いに仙波台地を迂回して伊佐沼に流れ込んでいた赤間川が、近代の河川改修で新河岸川と結ばれたものである。本来の新河岸川は仙波町滝ノ下付近を水源としていたが、1638(寛永15)年の川越城焼失復興資材の運搬ため、城南側の低地部を流れる「七つ釜」と呼ばれた湧水池を持つ遊女川と連結されて可航川となり、その後、赤間川と結ばれて今日の流路である新河岸川となったものである。遊女川自体も、川越城の外堀としての役割を果たしていたものと考えられている。新河岸川は、その後流下の途中で柳瀬川や黒目川と合流し、やがて隅田川となって東京湾へ注ぐが、河川改修以前は和光市付近で荒川と合流していた。

第1図 川越城の位置図

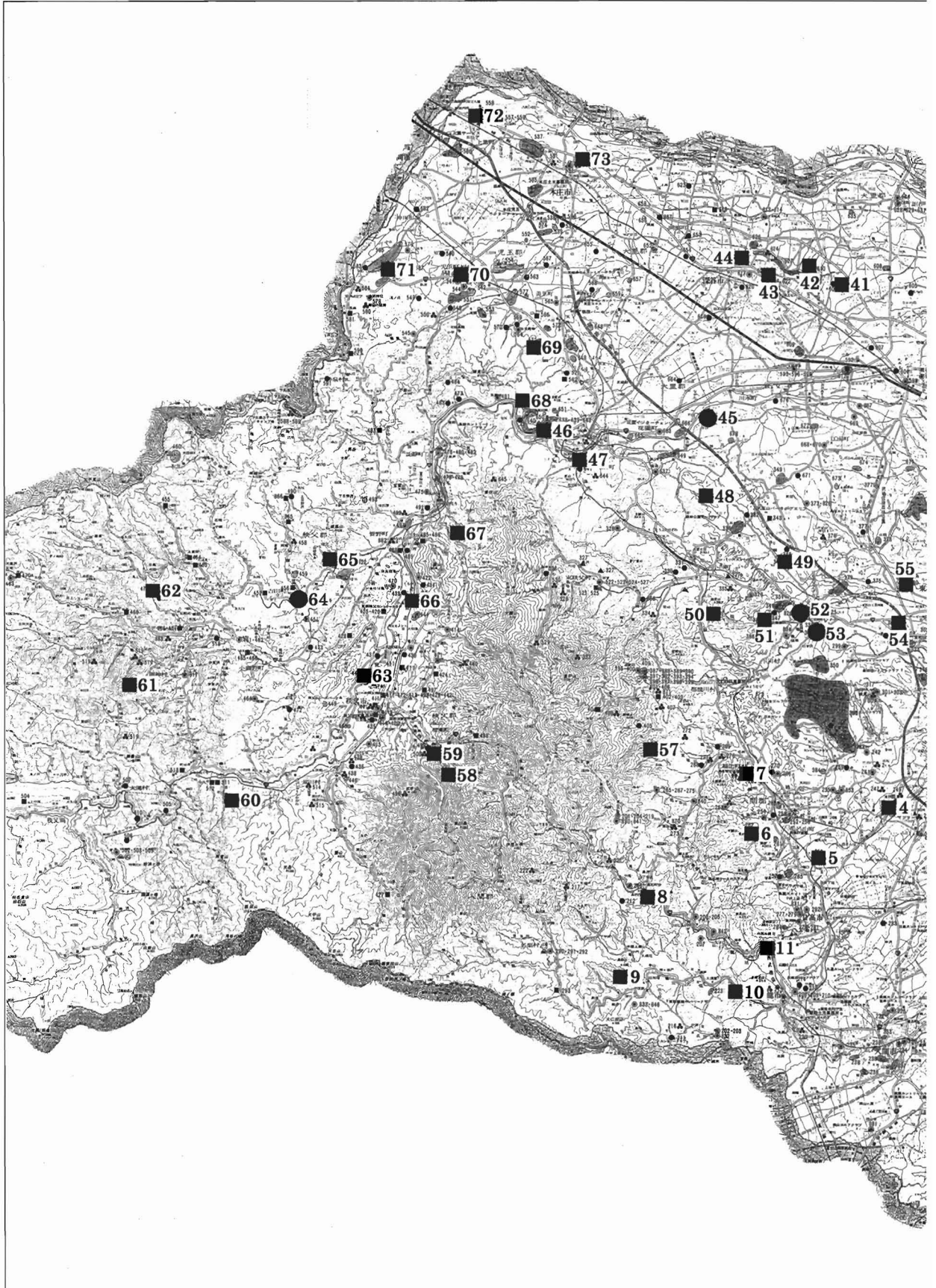




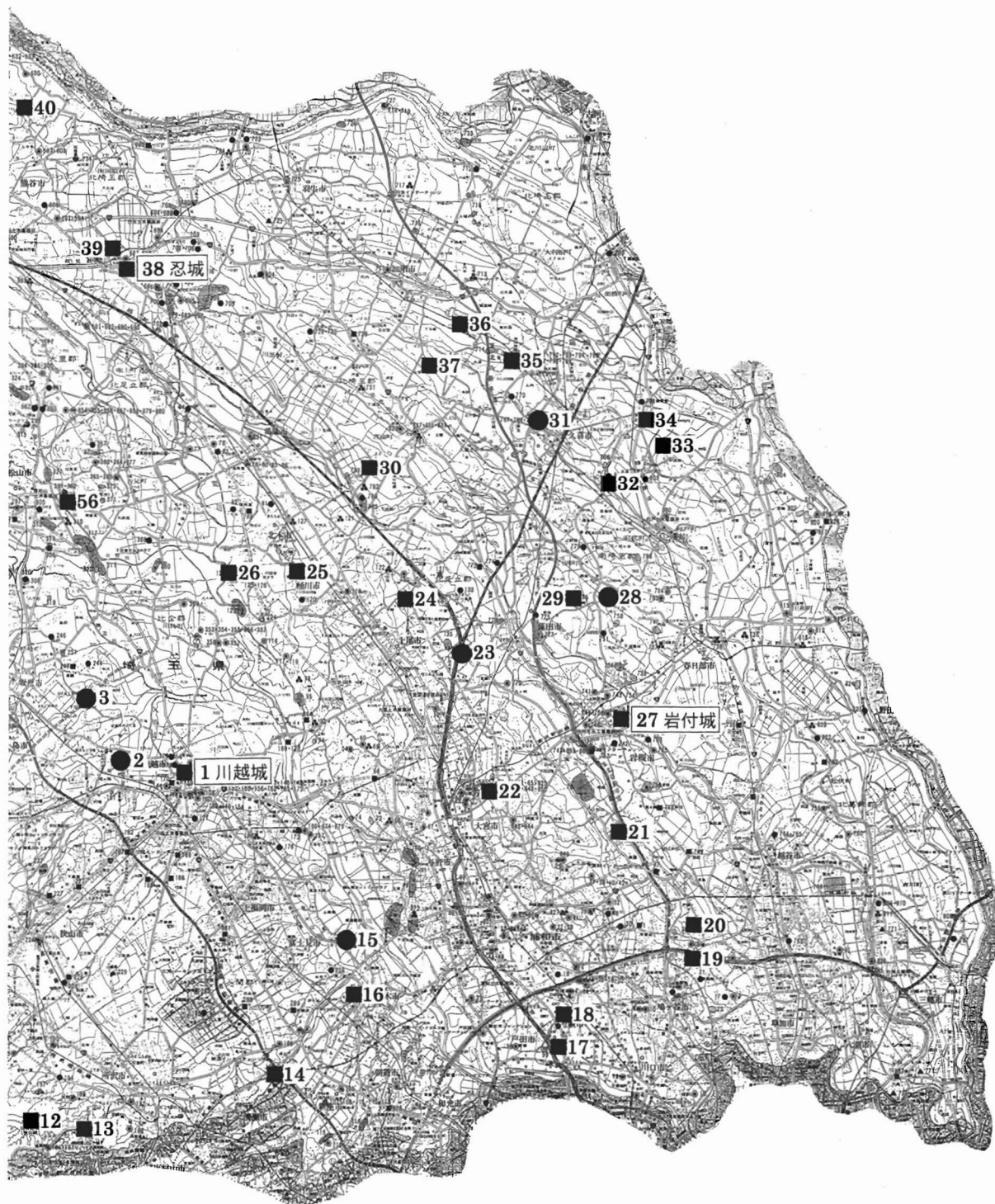
第2図 川越城周辺の遺跡（1）



第3図 川越城周辺の遺跡（中・近世）



- 城跡
- 館跡





第1表 遺跡地名表

川越城跡周辺の遺跡

市町村	番号	遺 跡 名	時 代
川越市	1	川越城	
	2	多宝塔古墳	古墳
	3	慈眼堂古墳	古墳
	4	小仙波堀ノ内	中世
	5	小仙波貝塚	縄文
	6	小仙波4丁目遺跡	縄文・古墳・奈良・平安
	7	三麥稲荷神社古墳	古墳
	8	弁天西遺跡	古墳・奈良・平安・中世
	9	仙波古代集落遺跡	古墳・奈良・平安
	10	弾正屋敷	中世
	11	弁天南遺跡	縄文・古墳
	12	仙波氏館	中世
	13	氷川神社古墳	古墳
	14	愛宕神社古墳	古墳
	15	浅間神社古墳	古墳
	16	熊野神社西遺跡	古墳・奈良・平安
	17	岸町1～4号横穴墓	古墳
	18	岸町の一横穴	古墳
	19	岸町山下の横穴	古墳
	20	八雲神社古墳	古墳
	21	漆谷遺跡	奈良・平安
	22	寺尾城	中世
	23	寺尾廃寺	縄文・平安
	24	河岸原遺跡	縄文・平安
	25	原遺跡	縄文

市町村	番号	遺 跡 名	時 代
	26	河岸遺跡	縄文・平安・近世
	27	寺尾貝塚	縄文・奈良・平安
	28	後原寺側遺跡	縄文・奈良・平安
	29	多成遺跡	縄文・平安・中世
	30	中原遺跡	縄文・古墳
	31	藤原町遺跡	縄文
	32	稲荷町遺跡	縄文
	33	藤原町西遺跡	縄文・奈良・平安
	34	吉田神社古墳	古墳
	35	砂久保障場	中世
	36	山王塚古墳	古墳
	37	南大塚古墳群	古墳
	38	水野屋敷	近世
	39	月吉屋敷	中世
	40	今成屋敷	中世
	41	南山田遺跡	弥生・古墳
	42	霞ヶ関遺跡	弥生・古墳
	43	河越氏館	中世
	44	浅間下遺跡	古墳・平安
	45	会下遺跡	古墳・中世
	46	登戸遺跡	弥生・古墳
坂戸市	47	下小坂古墳群	古墳
	48	天王山古墳群	古墳
川島町	49	浅間塚古墳	古墳

埼玉県の城館跡

番号	遺 跡 名
1	川越城
2	河越氏館
3	大堀山
4	浅羽城
5	田波目城
6	竜ノ谷城
7	高取城
8	岡部城
9	リュウガイ城
10	大河原城
11	岡城
12	根古屋城
13	山口城
14	滝の城
15	難波田氏館
16	柏の城
17	戸田城
18	蕨城
19	赤山城

番号	遺 跡 名
20	戸塚城
21	代山城
22	寿能城
23	伊奈氏館跡
24	菅谷北城
25	武城
26	石戸城
27	岩付城
28	太田陣屋
29	江ヶ崎城
30	菖蒲城
31	足利政氏館
32	高野城
33	天神島城
34	幸手城
35	粟原城
36	花崎城
37	私市城
38	忍城

番号	遺 跡 名
39	皿尾城
40	東城
41	別府城
42	東方城
43	序鼻和城
44	深谷城
45	畠山城
46	花園城
47	鉢形城
48	高見城
49	杉山城
50	青山城
51	小倉城
52	菅谷館
53	大蔵館
54	青鳥城
55	羽尾城
56	松山城
57	大築城

番号	遺 跡 名
58	古御岳城
59	根古屋城
60	熊倉城
61	塩沢城
62	日尾城
63	永田城
64	秩父氏館
65	竜ヶ谷城
66	諏訪城
67	竜ヶ谷城
68	円良田城
69	白石城
70	雉ヶ岡城
71	池田城
72	南城
73	本庄城

川越城下は西、北、東側を新河岸川で、その外側を入間川と荒川で囲まれる自然の要害としての地形を持ち、新河岸川の舟運に恵まれ、江戸城の北の守りとして繁栄してきたが、川越城を含む台地周辺部には原始、古代からの遺跡も多数存在している。今回の調査でも、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代の遺構遺物が発見されている。

旧石器時代では明瞭な遺跡はないが、フレイク、製品が単品で散見されている程度である。

縄文時代では台地東縁部に存在する、早期末から前期にかけての貝塚として著名な小仙波貝塚(5)や寺尾貝塚(27)が存在する。台地の縁辺部には、前期と後期の海進に合わせるように、小仙波4丁目遺跡(6)、弁天南遺跡(11)、河岸原遺跡(24)、原遺跡(25)、川岸遺跡(26)、後原寺側遺跡(28)等の早期末から前期、中期、後期の土器片を散布する遺跡が散見される。特に、小仙波4丁目遺跡では、前期黒浜式から諸磯a式にかけての集落跡が調査され、第15号住居跡からは黒浜式古段階の良好な土器群が出土している。また、川越市の南部地域となるが、藤原町地区の藤原町遺跡では中期勝坂式から加曾利E式期にかけての集落跡が調査されており、住居跡24軒が検出されている。後期では、老袋地区の入間川河床から丸木舟が出土していることも著名である。小仙波4丁目遺跡では、称名寺式期の遺構も検出されている。

弥生時代は、現時点では遺跡の不毛地帯となるが、現在埋没している入間川、荒川筋の自然堤防上に遺跡の存在する可能性は極めて高いと言えよう。

古墳時代では多宝塔古墳(2)、慈眼堂古墳(3)、三変稲荷神社古墳(7)、氷川神社古墳(13)、愛宕神社古墳(14)、浅間神社古墳(15)等の古墳が存在する。集落跡では小仙波4丁目遺跡から、古墳時代前期と中期の住居跡が発見されており、第12号住居跡からはハケ目を持つ壺、甕の他に、肩部に縄文を施す壺が伴っている。小仙波4丁目遺跡は古墳時代後期から奈良・平安時代にかけての集落も調査されており、拠点的な複合遺跡であることが理解される。第3号住居跡からは、

6世紀末葉に位置付けられる完形の須恵器ハソウが出土している。また、底部周辺ヘラ削りを施す須恵器杯を持つ住居跡も検出されている。

さらに、熊野神社西遺跡(16)では、古墳時代末から奈良時代にかけての集落が調査されている。奈良時代から平安時代では、弁天西遺跡(8)で底部全面ヘラ削りを施す須恵器杯を持つ住居跡と、底部周辺ヘラ削りを施す須恵器杯を出土する住居跡等が調査されている。

平安時代の終末以降、川越市を中心とした入間郡市周辺は歴史の舞台として注目を浴びてくる。川越周辺と関係深い事項を抜粋してみる。

律令制の衰退のもとで班田収授制が解体し、荘園の増大が図られてくると、国司達は任期終了後土着化し、荘園を背景とした富と武力をもとに土豪として成長していった。935(承平5)年平将門の乱等を契機として治安が乱れ始めると、各地で武士団が形成され、埼玉県では秩父氏、足立氏、比企氏をはじめとする、武蔵七党などの中小武士団が台頭してきた。武士団たちは平安時代末期から様々な紛争に巻き込まれながらも、源平両氏のいずれかに就き所領を安堵されてきた。

坂東八平氏である秩父氏からは、畠山氏や河越氏が出ており、河越氏は1180(治承4)年の源頼朝挙兵、関東進出の際に頼朝側に就いた。その後、有力御家人として活躍したが、1185(文治元)年河越重頼は源義経の縁者という理由で領地を没収され失脚した。また、頼朝の死後、比企能員は1203(建仁2)年、畠山重忠は1205(元久2)年に、それぞれ謀反及びその疑いで討たれるなど、有力御家人の台頭は抑えられてきた。

1333(元弘3)年には、関東の武士を率いた足利尊氏が上洛し、京都の六波羅探題を攻め、新田義貞が上野で挙兵して鎌倉に攻め込み、幕府を滅ぼすなどの戦いがあり、武蔵武士たちは、幕府の御家人としてまたは足利氏や新田氏に従い、敵味方に分かれて戦っていた。1335(建武2)年には、北条時行が鎌倉幕府の復興をかけて蜂起し、新田氏と戦ってこれを破り、さらに南下して女影原、小手指原などで足利直義軍を破り、鎌倉を攻略するが、足利尊氏によって討たれてしまう。

南北朝分裂後、優遇されてきた足利氏と新田氏の対立は深まり、1338(暦応元)年尊氏が征夷大將軍となって勢力を増すと、さらに直義との間にも兄弟抗争が激化していった。尊氏が1351(観応2)年に直義を討ち、兄弟抗争は終わったが、以後、関東の争乱は激しくなるばかりであった。翌年の1352(観応3)年新田義興が上野で挙兵し、足利直義に就いていた北武蔵の武士たちを従えて鎌倉に向かったが、これを尊氏が小手指原、笛吹峠で向い討ち、笛吹峠にて新田勢を撃破した。これを機に尊氏は、鎌倉の守りと越後にいた新田氏に備えるため、基氏を入間川御所に配置し、畠山国清を関東管領に命じた。これ以降、新田氏に従っていた北武蔵武士たちは、足利氏に就くようになった。

その後、鎌倉府に対する所領安堵等の不満から、1368(応安元)年には、宇都宮氏等と共に、河越氏を中心とする平一揆が河越館で蜂起したが、河越氏は敗れて伊勢へ逃げ落ちている。河越氏は秩父氏の出であるが、重隆が入間郡の荘官となって河越に移り住み、その子能隆が河越氏を名乗ったもので、重頼の時に頼朝に領地を没収されるが、河越三郎重員は1226(嘉禄2)年武蔵国留守所惣検校職についており、1260(文応元)年には河越次郎経重が新日吉山王社に銅鐘を寄進する等、約200年に亘って栄えた一族である。

平安時代末から南北朝時代にかけて活躍した、この河越氏の館跡が、川越城の西方約3.5km、入間川対岸の上戸地区に位置する国指定史跡の河越館跡と考えられている。河越館跡から北北西約3.5kmの地点の下広谷地区には、著名な大堀山館跡が存在し、河越館跡とこの大堀山館跡の間及び周辺の平地には中世の館跡が集中して存在している。近年、圏央道関連の調査で、さらに幾つかの館跡が見つかっており、この地域が川越城築造以前の中心地であったことを物語っている。

南北朝統一後、室町幕府と鎌倉府の対立や、関東管領と鎌倉府、上杉氏内部の対立は深刻化してきた。関東管領上杉氏憲と鎌倉公方足利持氏との争いの際に、氏憲に就いた別府氏や北武蔵の武士たちは厳しい処分を受け、その後衰退していった。上杉憲実が1438(永

享10)年に幕府の命を受けて対立していた足利持氏を討ち、1454(享徳3)年鎌倉公方となった持氏の子足利成氏は、関東管領上杉憲忠を殺害した。その翌年の1455年には、成氏は幕府の討伐の命を受けた今川氏に攻められ、鎌倉から古河に逃げ落ち、そこを本拠地とした。成氏は初代古河公方となって勢力を強めていき、以後古河公方は東国において大きな影響力を持つようになっていった。

古河公方の脅威に接し、これに対抗するため、関東管領扇谷上杉持朝は、1457(長禄元)年家臣の太田道真・道灌に命じて川越城を築城させた。古河公方足利成氏は栗橋、騎西、菖蒲、関宿などの諸城に家臣を配置し、現在の元荒川より東側の地域を次第に掌握していったが、山内・扇谷上杉は荒川沿いにある深谷、松山、川越、岩付、江戸の諸城を補修または新たに築城して、これに対抗していった。太田道真・道灌は川越城の他に、岩付城、江戸城を築城したといわれており、父子の築城した城は非常に堅固な造りであることが知られていた。これらの城は、江戸城が鎌倉との中間にあたるとともに、北下総方面に対する防禦基地としての役割を果たし、岩付城が古河、関宿、騎西方面に対する防禦基地となり、その要の部分に川越城が位置する配置になっていたと考えられている。

古河公方と上杉氏は県内各地で攻防を繰り返していたが、1457(長禄元)年、1466(寛正7)年、1473(文明5)年の三度にわたる五十子の戦いは有名である。古河公方は足利成氏の後、政氏、高基、晴氏、義氏へと五代続くが、四代目の晴氏は1545年(天文14)年に上杉憲政と組んで川越城を攻め込み敗れている。世に言う川越夜戦である。

古河公方と上杉氏の対立が複雑になるころ、山内上杉顕定の家老長尾景春は家督問題の纏れから、1473(文明5)年顕定に背いて古河公方の足利成氏に就いた。同時に、景春に就いていた武蔵・相模の武士たちも足利に従い、成氏と顕定の対立は激しさを増していったが、1478(文明10)年には両者の間に和議が成立した。しかし、今度は上杉氏の山内と扇谷の対立が深まり、



扇内上杉定正に使えていた太田道灌は、景春と五十子、用土原などで戦い、1480(文明12)年に秩父日野城で景春を降伏させた。以後、両上杉の関係は平穏となるが、道灌は1486(文明18)年顕定に不義を企てているという理由から定正によって謀殺された。その後、太田氏は山内上杉に、長尾景春は扇谷上杉に就くようになり、両上杉の対立はなお続いた。

この頃より、関東進出を目論んでいた北条早雲(後北条氏)は1495(明応4)年に扇内上杉の小田原城を攻め、関東進出の足掛かりとした。

両上杉の対立は1505(永正2)年川越城主扇谷上杉定正の養子朝良が山内上杉顕定に降伏して和平となるが、朝良の後を受けた朝興は北条氏綱に江戸城を追われて川越城に落ち逃れた。しかし、川越城も攻められて1537(天文6)年に落城する。その後城主となった上杉朝定は松山城に逃げ落ちている。ここに、持朝、政真、定正、朝良、朝興、朝定の六代約80年間に亘る扇内上杉の川越領支配が終わりを告げる。

上杉の後を受けた北条は、川越領を支配していくが、川越城奪回を目論む上杉朝定、憲政は古河公方足利晴氏と組み、1545(文明14)年川越城を囲み込むが、1546(文明15)年に川越城を守る福島綱成は、北条氏綱の子氏康の援軍と組んで上杉軍に夜襲をかけ、上杉連合軍を打ち破った。これが川越夜戦であり、朝定は戦死、憲政は藤岡へ落ち、足利春氏は古河へ退き、これより完全に後北条が川越を領有することになる。北条氏は氏綱、氏康、氏政の三代に亘って川越城主となり、北条氏の譜代の重臣大導寺氏を城代とし、盛昌、周勝、政繁の三代(周勝のあとに政勝、直繁の四代とする考えもある)に亘って治めさせている。

川越城奪回に敗れた上杉憲政は越後の長尾景虎のもとへ逃げ落ち、上杉の名跡・系図を景虎に譲った。その後、上杉景虎は武蔵への進出を何度も試みており、北条氏康は1560(永禄3)年に景虎に対するために出陣し、翌年1561(永禄4)年には今川氏の援軍と共に川越城に籠城して、上杉景虎と戦っている。

全国統一を目指す豊臣秀吉は、1590(天正18)年に小田原城を攻略し、関東進出の足掛かりとした。前田利家、浅野長吉、石田三成等の関東にむかった秀吉軍は、松山城、岩付城を攻め落とし、忍城を水攻めにして、鉢形城等も落城させていった。武田の進出に備えて造られた秩父の諸城や、深谷、菖蒲の諸城も落城し、北条の支配から徳川の支配へと変わっていった。

同年の1590(天正18)年、川越城は大導寺氏の家臣大導寺隼人が守っていたが、前田利家に囲まれ無血開城となった。徳川家康の関東入国に伴って、酒井重忠が一万石で川越城主となり、以後、忠利、忠勝の三代に渡って酒井家が城主を務めた。以降、堀田氏一代、松平氏三代、柳沢氏一代、秋元氏四代、再び松平氏九代と続き、廃城となったが、何度となく城内の火事に見舞われ、補修、改築が行われている。

川越城の沿革は、詳細は考察で検討するとして、1639年(寛永16)年の松平信綱の増改築を最も大きなものとするが、上杉氏支配の頃には現在の本丸、二の丸が城内となり、後北条の頃から信綱の改築の間に三の丸、八幡曲輪が増築され、信綱の外曲輪、田曲輪、新曲輪の増設によって、今日知る川越城の輪郭が形成されたものと考えられている。また、「江戸図屏風」は現在まで資料が少なくその実態が掴み難いとされている、信綱の増築以前の本丸と二の丸の様子が窺える貴重な資料となっている。さらに、信綱以降の城内の様子は、何種類かの絵図面によって窺うことができる。

川越城二の丸については、すでに調査報告書が刊行されている。今回の発掘調査区は八幡曲輪に相当し、出土遺物や遺構も上杉、後北条時代から、江戸前期のものを主体としている。

参考文献(詳細は巻末に掲載)

『川越城本丸御殿修理報告書』川越市教育員会

『川越城一失われた遺構を探る』川越市立博物館

『川越城二の丸』川越市立博物館

『埼玉の中世城館跡』埼玉県教育委員会

『復元日本大観1 城と館』世界文化社

## 2 調査の概要

今回の川越城関係の発掘調査は、平成9年度から平成10年にかけて、都合3回に分け、2670㎡について行った。第9次調査である体育館部分の調査は、平成9年8月1日から平成9年11月10にかけて、2000㎡について行った。第12次調査となる図書館部分の調査は、平成10年4月1日から平成10年5月20日までと、平成10年7月21日から平成10年8月31日にかけての2回に分けて、670㎡を調査した。

本来、第9次調査に相当する部分は体育館の敷地全体を対象としていたが、体育館部分は基礎工事の撤去等により壊滅しており、付属施設の部分が対象となった。従って、調査区も非常に複雑な形状を呈している。また、第12次調査区も同様に基礎工事の攪乱を受けていたが、基礎工事が浅く、遺構面に達していない部分もあり、半分以上の面積に遺構が残されていた。

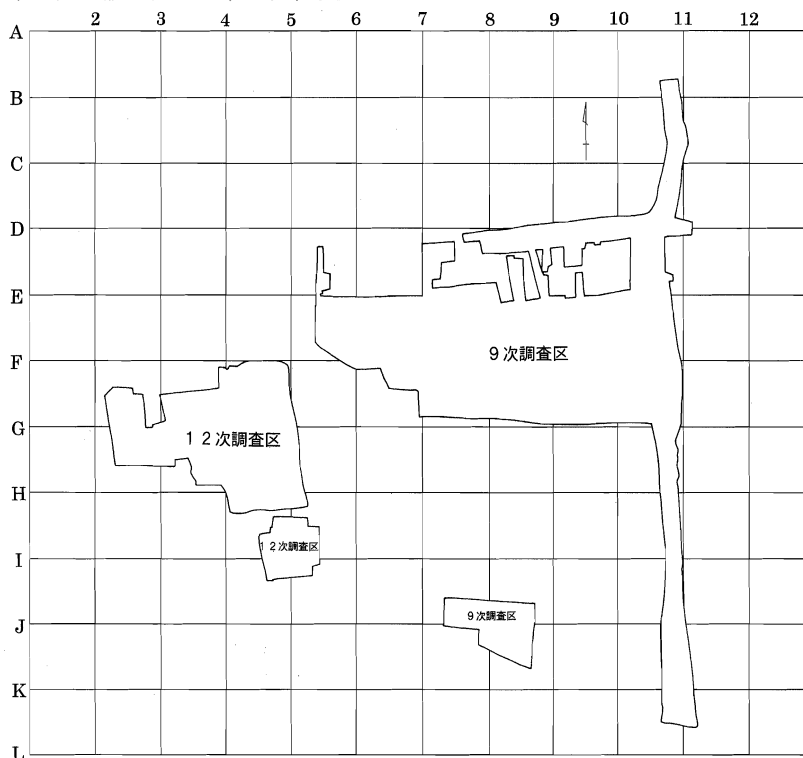
第9次調査区と第12次調査区は隣接しているにもかかわらず、土層の堆積状態が異なっていた。第12次調査区は台地肩部分に相当し、第9次調査区からなだら

かに傾斜していたため、調査区第9次調査の西端部分の土層堆積と連続する良好な土層堆積状態が期待された。しかし、近年の攪乱と、江戸時代及びそれ以前と思われる造成の攪乱を受けており、層序の対応は困難であった。

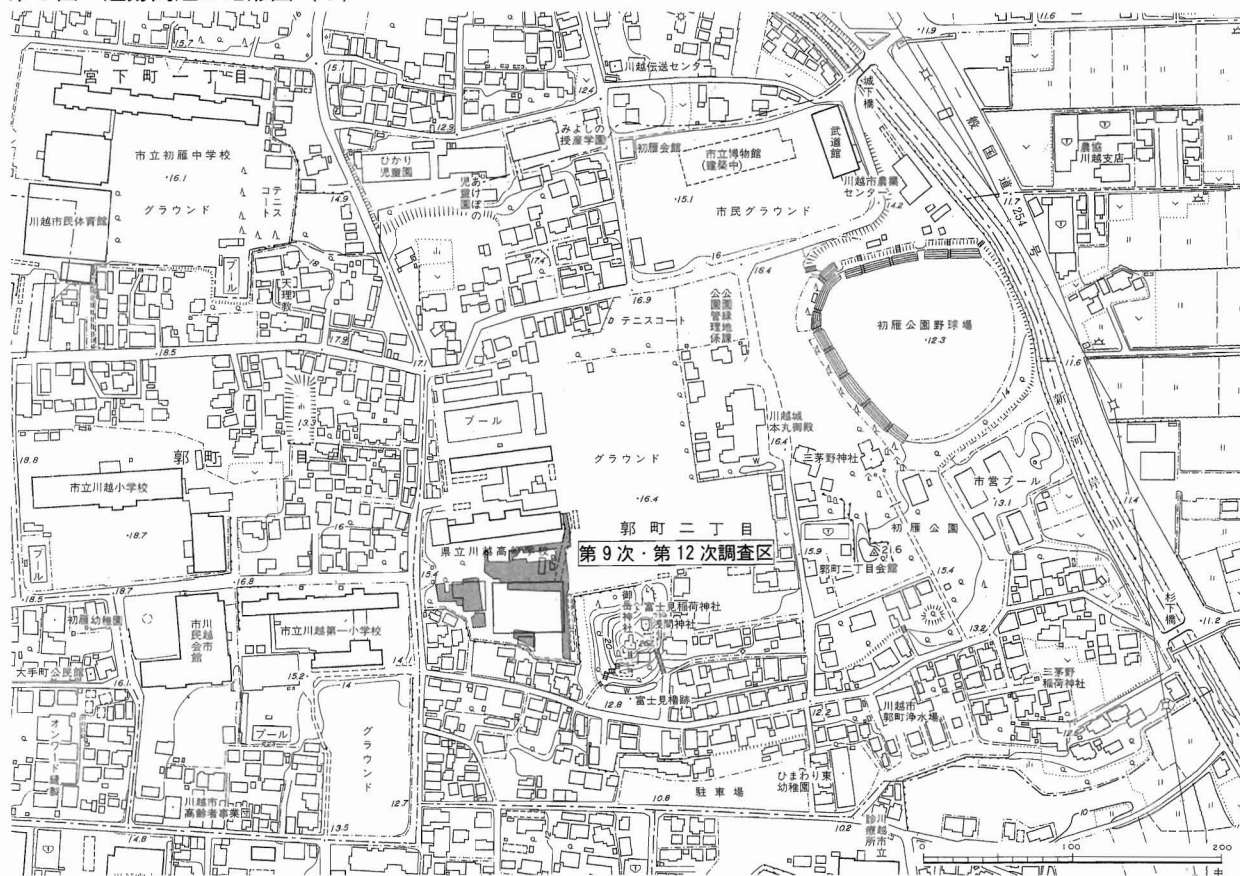
従って、第9次調査の西端部の土層堆積状態を説明して、把握された遺跡の形成過程を示して置きたい。なお、調査区中央部より東は包含層が削平されており、表土の下にローム面が露呈していた部分も多かった。

第10図に示した土層を基本土層とするが、第12次調査区とは一致しない。第Ⅲ層は整地層で、薄く締まっており、出土遺物からおよそ19世紀中頃の整地面であると推定された。第Ⅳ層も広く遺跡を覆っている整地層と考えられ、遺物は少ないが、およそ18世紀代の遺物が出土している。17世紀の遺物を含む廃棄遺構(ゴミ穴)が、第Ⅳ層にバックされている。第Ⅴ層は部分的に第Ⅴ'層と分層される。第Ⅵ層は固い整地層で、出土遺物から17世紀前半の整地層と推定され、第Ⅴ・

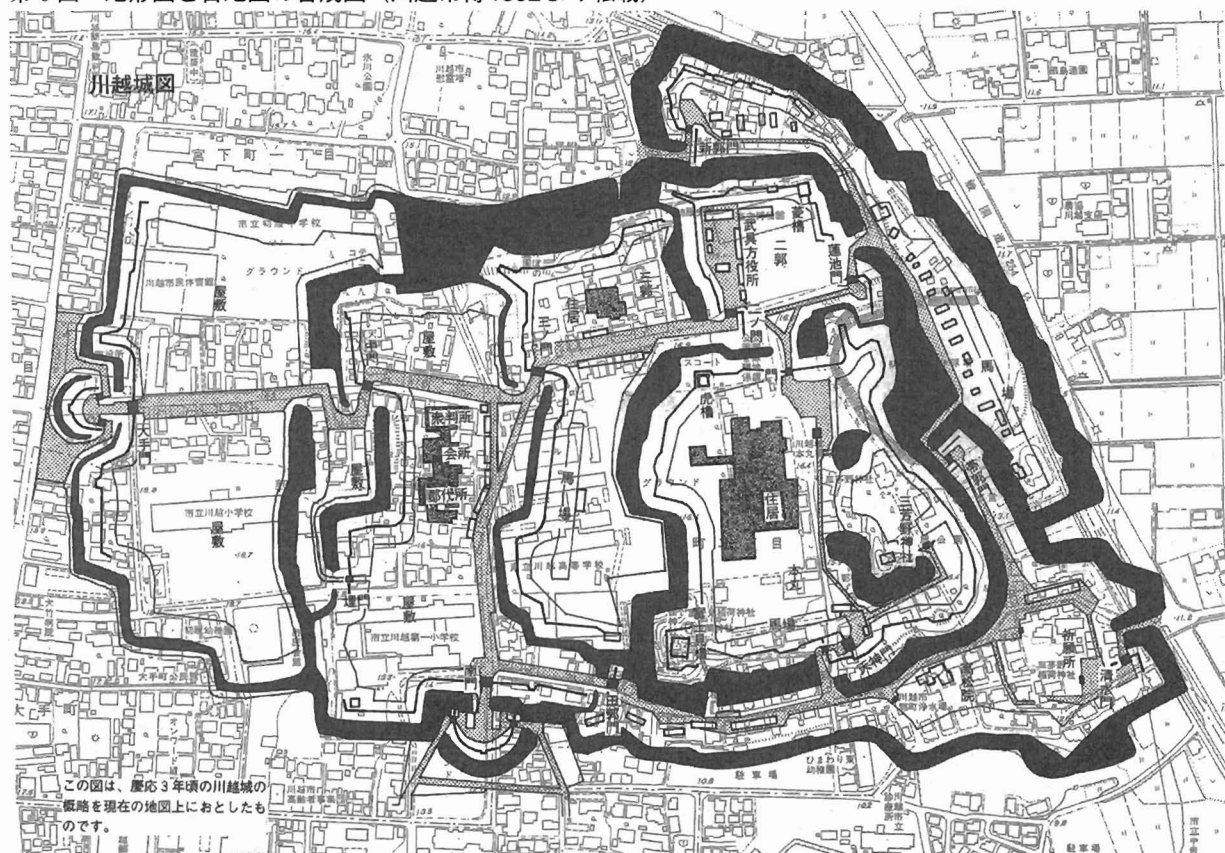
第4図 調査区グリッド配置図



第5図 遺跡周辺の地形図(1)



第6図 地形図と古地図の合成図(川越市博1992より転載)





第7図 調査区全体図



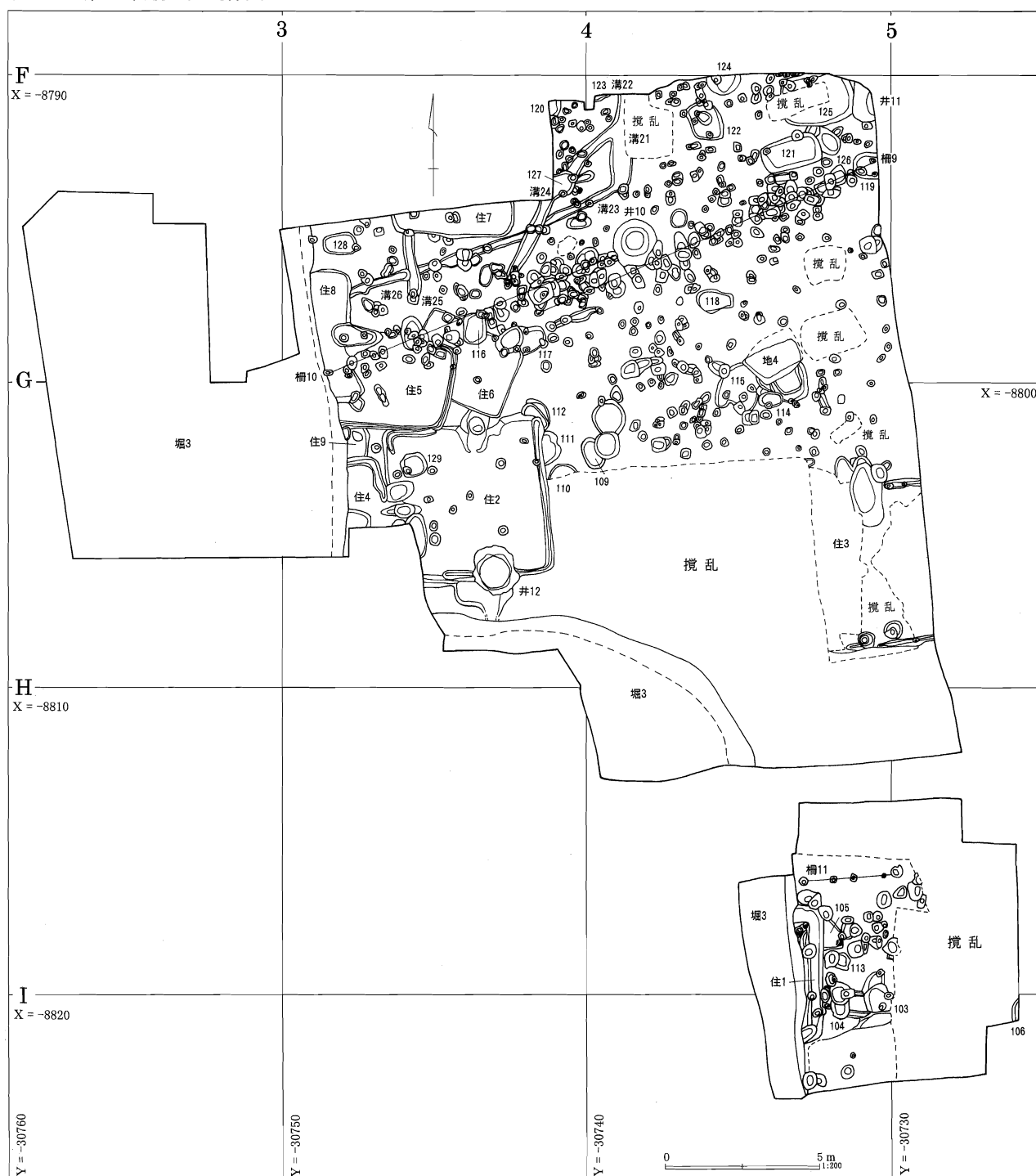
V'層からはおよそ17世紀代の遺物が出土している。第Ⅶ～Ⅷ層にかけては部分的に細かな整地面が互層を成すが、16世紀から17世紀初頭にかけての遺物が出土する。

検出された遺構は、奈良・平安時代の住居跡9軒、その他の遺構は中世末から近世の所産で、明瞭に時期区分されるものが少ないが、掘立柱建物跡9棟、柵列11列、竪穴状遺構5基、地下式墳4基、土壇130基(土

壇の中には墓壇・土器埋納遺構・門跡等を含む)、井戸12基、堀4本、溝26本、各時期のピット1629基、瓦敷遺構1基、廃棄遺構(ゴミ穴)5基であった。

古代の住居跡は、第12次調査区の台地肩部に集中して構築されていた。第12次調査区からは近世の遺物は殆ど出土していないため、検出された遺構は殆どが中世段階のものと推定される。また、第9次調査区の西側では第Ⅵ層下に多種の遺構が検出されており、大半

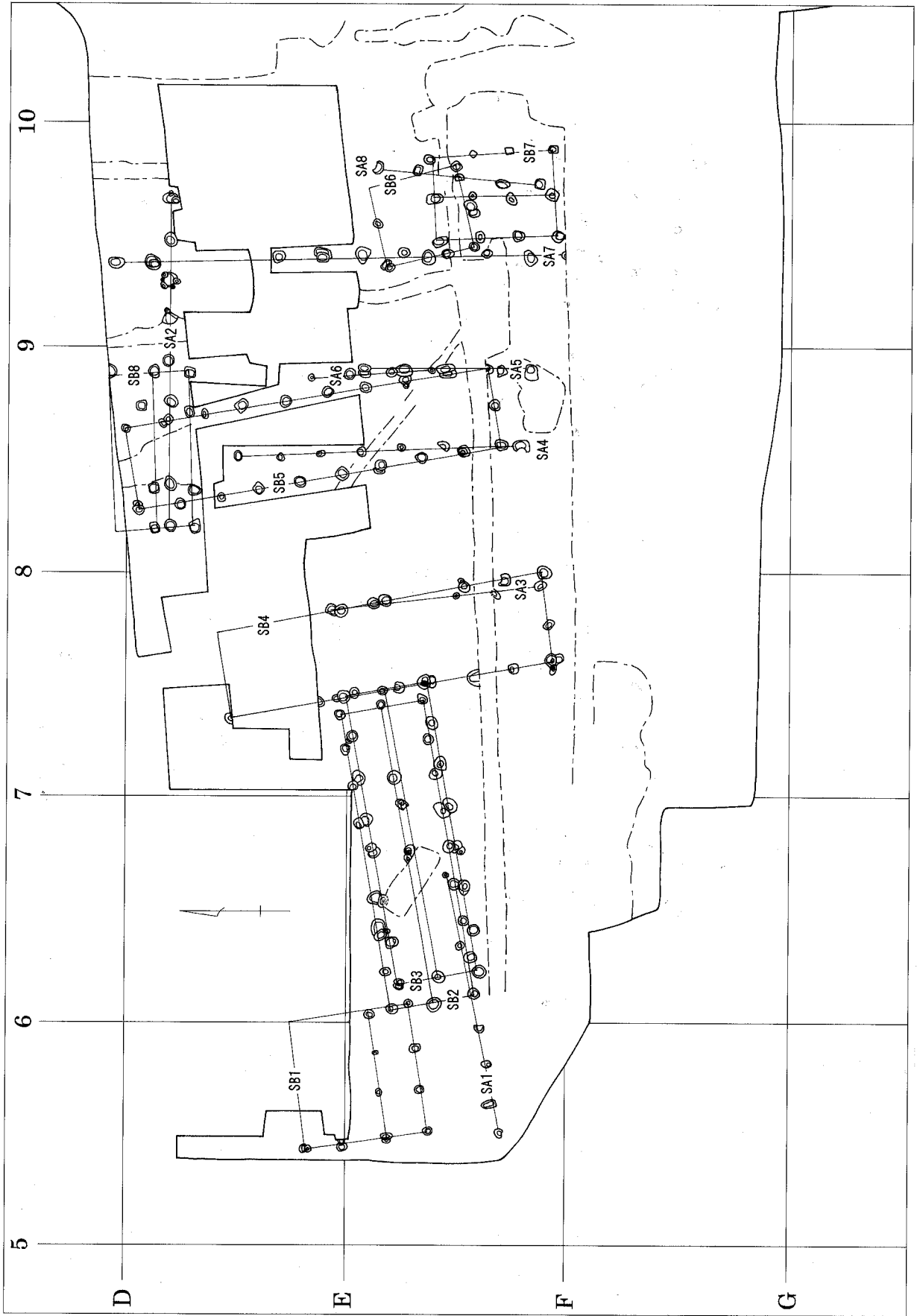
第8図 第12次調査区全体図



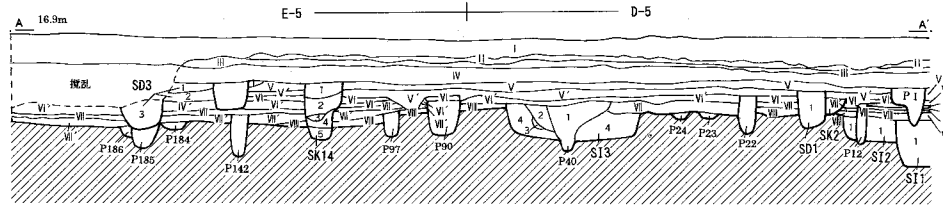
が中世末から近世初頭と推定される。中世段階と近世初頭段階の遺構が混在するが、明瞭に区分し得ない。なお、第Ⅵ層検出段階でも遺構確認を行っているが、掘立柱建物跡の大半は確認されず、第Ⅵ層以下の構築であることを物語っている。

堀・溝に関しては、現存する絵図で確認されないものも検出されており、出土遺物から明らかに中世段階のものも存在している。今回の調査では、従来不明とされていた、上杉氏時代、後北条氏時代、酒井氏時代の遺構も検出されているものと推定される。

第9図 掘立柱建物跡配置図







SD 3

- 1 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 2 暗青灰色土 灰、炭化物を多く含む。
- 3 青灰色土 灰、焼土粒子を多く含む。

SK 14

- 1 茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 暗黒褐色土 ローム粒子を若干含む。
- 3 黒褐色土 粘土、礫を多く含む。
- 4 暗褐色土 ロームを少量含む。
- 5 褐色土 ロームブロックを少量含む。

SD 1

- 1 暗褐色土 炭化物を少量含む。

SI 1

- 1 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む、しまり弱い。

SI 2

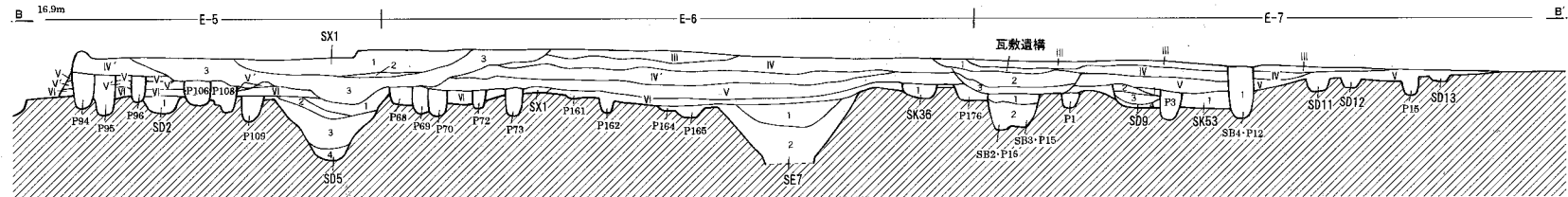
- 1 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含む、しまり強い。

SI 3

- 1 茶褐色土 ロームブロック、炭化物を多く含む。
- 2 灰白色土 灰、炭を多量に含む。
- 3 暗茶褐色土 灰を少量含む、非常に脆い。
- 4 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む、脆い。

基本土層

- I 表 土
- II 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- III 茶褐色土 小礫及び粘土まじりの整地層。ローム粒子、焼土粒子を多く含む、しまり非常に強い。
- IV 暗褐色土 炭化物、焼土粒子を少量含む、しまり強い。
- IV' 暗褐色土 中間で整地面が一部確認され、上下に分層される。上がIV層、下がIV'層、しかし面的には分層不可。
- V 暗茶褐色土 灰・及び炭化物を多く含む、しまりやや弱い。
- V' 暗茶褐色土 ロームブロック及び、炭化物、灰等を含み、固い整地層を形成する。
- VI 茶褐色土 ロームブロックを貼る、整地層。
- VI' 暗褐色土 IV層と共に貼り床されたもので、しまりの弱い部分。
- VII 暗褐色土 ロームブロック、炭化物、焼土ブロックを少量含む、しまりの強い層。
- VII' 茶褐色土 VII層に含まれるロームブロックが層状になっている部分。
- VIII 暗茶褐色土 ロームブロック、炭化物を少量含む、しまり非常に強い。



SD 2

- 1 褐色土 ローム粒子を多量に、ロームブロックを部分的に含む。

SX 1

- 1 褐色土 炭化物、焼土を少量含む、しまり強い。
- 2 黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 3 暗褐色土 炭化物、焼土を少量含む、礫を混入。しまり弱い。

SD 5

- 1 褐色土 焼土、炭化物を少量含む、しまり強く、粘性弱い。
- 2 暗褐色土 焼土、炭化物を僅かに含む、しまり強く、粘性弱い。
- 3 黄褐色土 ロームブロックを多量に、焼土を僅かに含む、やや脆い。
- 4 暗褐色土 ロームブロックを少量含む、しまり弱い。

SE 7

- 1 暗褐色土 ローム粒子、焼土を少量含む、礫混入。しまり強い。
- 2 褐色土 ローム粒子を多量、ロームブロックを少量含む。焼土、炭化物を若干含む。

SK 36

- 1 褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土を僅かに含む。

瓦敷遺構

- 1 褐色土 III層下にある貼り床。
- 2 暗褐色土 焼土粒子、炭化物、小礫、ロームを僅かに含む、瓦包含層
- 3 褐色土 ロームを僅かに含む、焼土粒子、炭化物を少量含む。

SB 2 P15・16

- 1 褐色土 ローム粒子を少量含む、脆い。
- 2 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。

SD 9

- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 3 褐色土 焼土、炭化物を少量含む。
- 4 黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

SK 53

- 1 褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含む。

SB 4 P12

- 1 褐色土 礫、焼土粒子、炭化物を僅かに含む。

### 3 発見された遺構と遺物

#### (1) 住居跡

発見された住居跡は9軒で、全て奈良・平安時代のものであった。遺構は第12調査区のF～G-3区に集中して、重複しながら構築されていた。しかし、H-3区に奈良時代の住居跡1軒、F-4区の調査区東端に貯蔵穴と思われる古墳時代後期の土壌が存在し、また、第9次調査区内からも古墳時代前期や後期の土器片、平安時代の須恵器坏が出土していることを考慮すると、台地縁辺部に沿った広範囲に、古墳時代から平安時代にかけての住居跡を中心とした遺構が存在していたものと推定される。

#### 第1号住居跡（第11図）

H～I-4区にまたがって位置する。長径4.50m、短径0.98m、深さ0.25mを測る。主軸はほぼ北方向を示す。住居跡西側の大半が、近世の第3号堀によって攪乱を受けている。住居跡の覆土の大半が、切り込んでいる堀の覆土であり、本来の覆土は三角状の堆積が堀肩部に残存していたに過ぎなかった。従って、住居跡は東側の壁と壁溝、北東、南東コーナーを現存するのみである。壁溝は0.5m前後をはかり、全周するものと思われ、比較的幅広く構築されている。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀の前半期が推定される。

遺物は壁構内から、底部全面へラ削りと周辺へラ削りの須恵器坏、比企型の崩れた土師器坏が出土している。いずれも破片からの復元である。

#### 第2号住居跡（第12図～第14図）

G-3区に位置する。長径、短径とも5.18m、深さ0.17mを測る方形を呈し、主軸はほぼ北を示す。竈の先端部で第6号住居跡と、北西壁で第5号住居跡と、西壁で第4号住居跡と重複し、南壁中央部で第12号井戸と重複し、それぞれの攪乱を受けている。壁溝はほぼ全周するものと思われるが、北東壁の部分では不明瞭である。柱穴は4本確認され、深さはP1=0.35m、P2=0.49m、P3=0.28m、P4=0.47mを測る。それぞれのピット間は、P1～P2が2.18m、P2～P3が2.24m、P3～P4が2.30m、P4～P1が2.24mの間隔を持つ。竈は北壁中央部やや東寄りに構築されており、作り付けの袖の両芯に土師器の甕を倒置で使用している。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀の前半期が想定される。

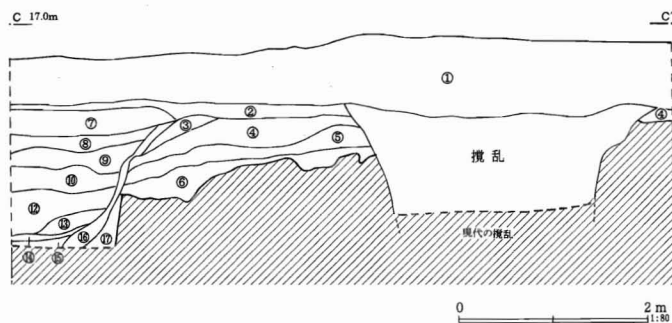
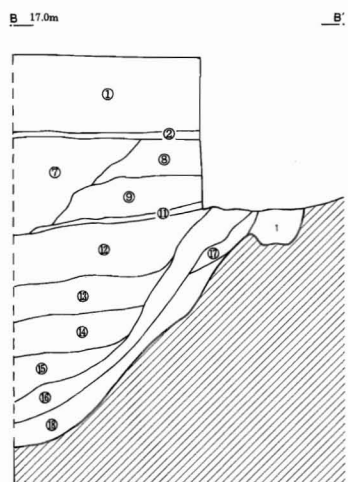
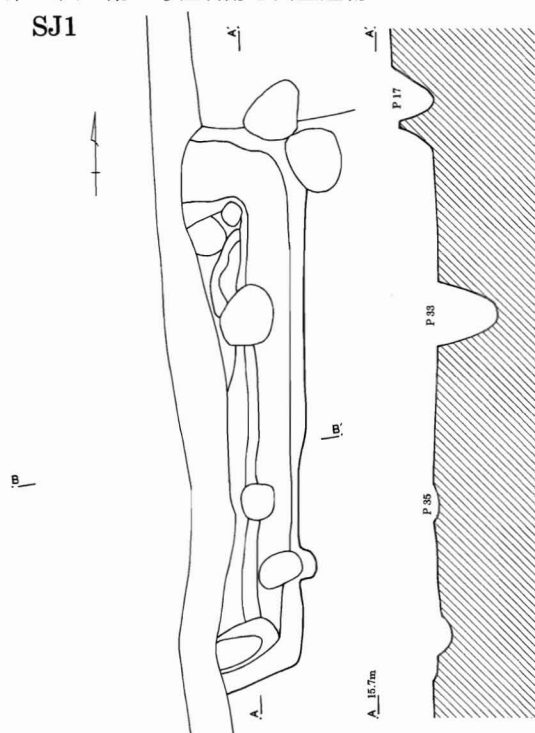
遺物は南壁の壁溝上から第13図1、2が重なって出土しており、竈覆土内や、住居跡の覆土内からも須恵器、土師器が出土している。住居跡が多くの遺構と重複するため、遺物にも混じりが認められるが、本住居跡が最も古い住居跡である。須恵器坏は底部全面へラ削りと、糸切り後未調整のものが混じっている。土師器はハケ目をもつ古式土師器の破片が混入していたが、グリッド遺物へ含めた。また、比企型坏や口径の大きい鉢が出土しており、器面の整形が非常に丁寧であった。また甕と思われる口縁部破片も存在し、この時期としてはやや古相を帯びていると思われるものを含んでいる。しかし、袖芯に使用されている甕は口縁部が「く」字状に屈曲するもので、この住居跡の時期を

第1号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
11	1	坏	(15.0)	3.6	(10.0)	A E 針	普通	灰 褐 色	30	南比企産
	2	坏		(2.0)	(9.8)	A C E 針	良好	灰オリーブ色	20	南比企産
	3	坏		(1.9)	(9.2)	A B E 針	良好	灰 色	破片	南比企産
	4	坏	(12.4)	(3.0)		A C	普通	明 赤 褐 色	破片	内面全面・外面口縁部赤彩
	5	坏	(14.6)	(3.0)		A C	普通	明 赤 褐 色	破片	
	6	坏	(16.0)	(2.2)		A C	普通	にぶい赤褐色	破片	内面赤彩

第11図 第1号住居跡と出土遺物

SJ1

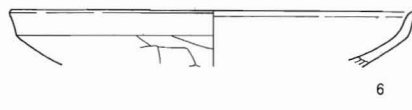
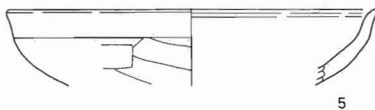
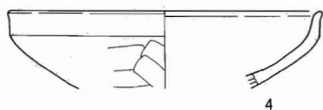
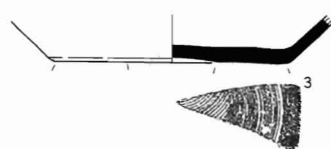
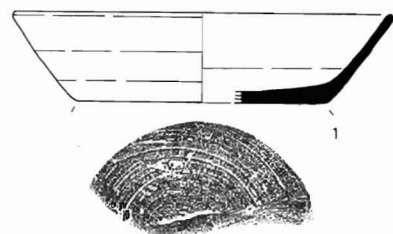


## SJ1

1 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土・炭化物粒子を多く含む。しまり弱い。

## 第12次調査区土層

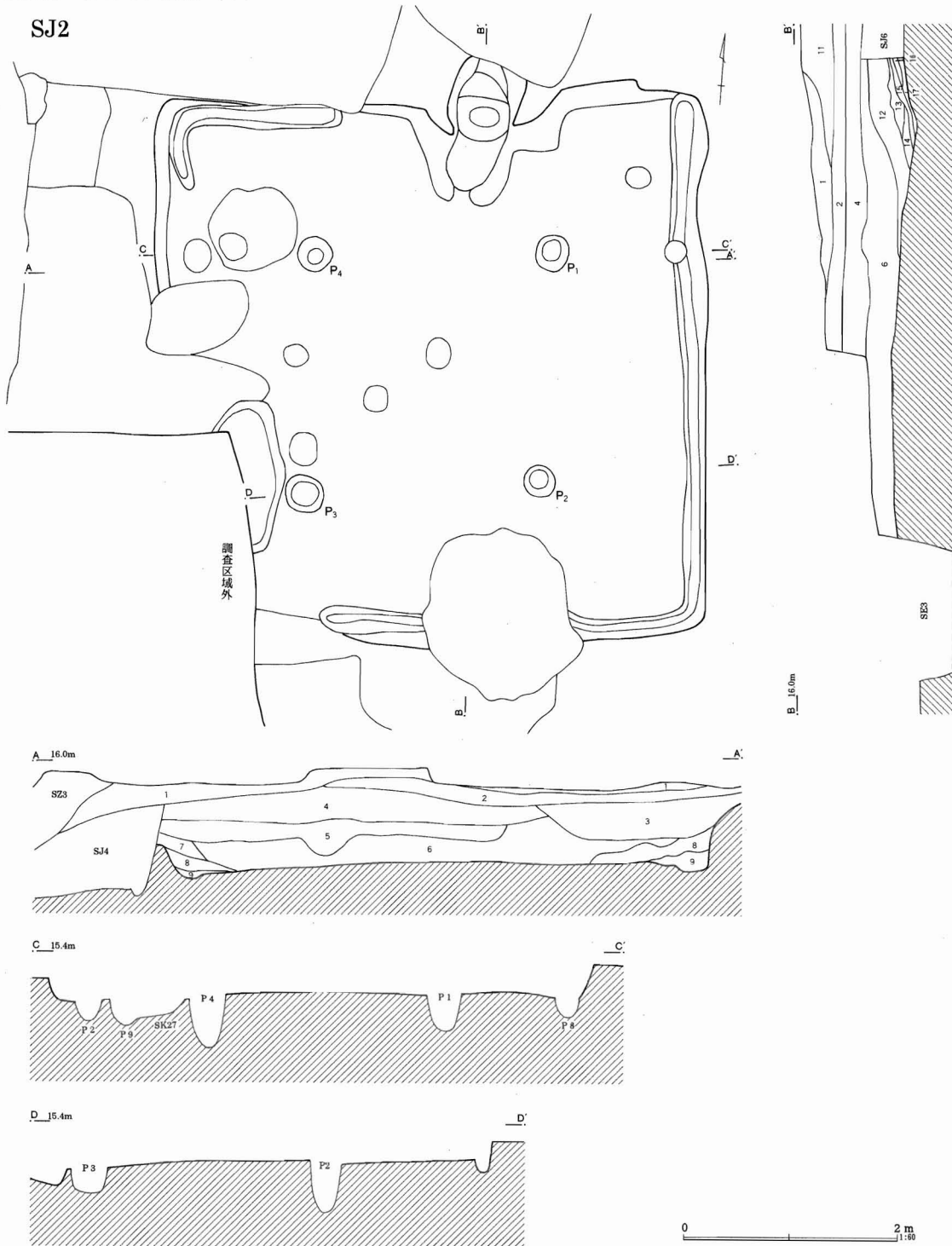
- ① 表 土
- ② 暗褐色土 ロームブロックを多量、白色粘土ブロックを少量含み、しまり弱い。
- ③ 暗黄褐色土 ローム粒子を大量に含み、炭・焼土粒を少量含む。しまり弱い。
- ④ 黄褐色土 ロームブロックを主体とし、黒色土ブロックを含む。炭化物、焼土粒子を多量に含む。
- ⑤ 黒褐色土 ロームブロックを少量含み、焼土・炭化物粒子を微量に含む。
- ⑥ 暗灰褐色土 ロームブロックを多量に含み、焼土・炭化物を多量に含む。
- ⑦ 灰褐色土 白色粘土ブロックを大量、小礫を少量含む、しまり強い。
- ⑧ 暗褐色土 粘土ブロックをまばらに含む。
- ⑨ 赤褐色土 同色の粘土ブロックを主体とし、小礫を少量含む。しまり強い。
- ⑩ 暗茶褐色土 同色の粘土ブロックを主体とし、小礫を少量含む。しまり強い。
- ⑪ 暗褐色土 粘土ブロックが層状に堆積するが、ブロックの径は小さい。
- ⑫ 暗褐色土 赤味を帯びた黄褐色粒ブロックと白色粘土ブロックを大量に含む。しまり強い。
- ⑬ 暗褐色土 ロームブロックを大量に、炭化物・焼土粒子を少量含む。しまり極めて強い。
- ⑭ 暗褐色土 13層よりボソボソの土を多く含み、しまり弱い。
- ⑮ 暗褐色土 赤味を帯びたロームブロックを主体とする。粘性極めて強いがしまりは弱い。
- ⑯ 灰黄褐色土 ローム粒子と白色粘土粒子を多量に、炭化物・焼土粒子を少量含む。しまり弱い。
- ⑰ 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含む。しまり弱い。
- ⑱ 灰褐色土 白色粘土粒子を多量に含む。しまり弱い。



0 10cm  
1:3

第12図 第2号住居跡(1)

SJ2



SJ2

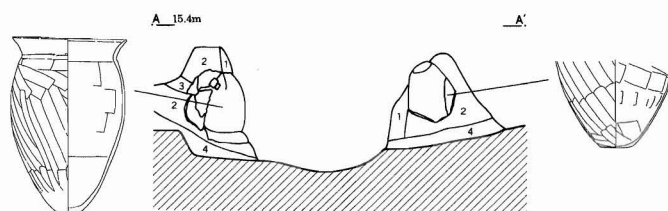
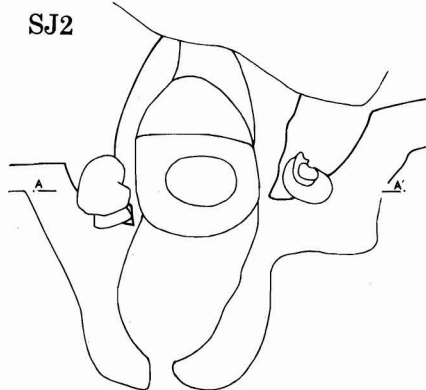
- 1 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりやや弱い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、固くしまる。
- 3 黒褐色土 ローム小ブロック粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土 ローム粒子少量含み、粘性弱く、脆い土。
- 5 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 6 暗黄褐色土 ロームブロック粒子を多量に含み、しまり強く、粘性弱い
- 7 暗褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 8 暗黒褐色土 ロームブロックを少量含み、しまり弱い。
- 9 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、しまり弱い。

- 10 黄褐色土 ローム粒子・ブロックを多量に含む。しまり強い。
- 11 暗褐色土 ローム粒子・焼土粒子を含む。しまり弱い。
- 12 淡黄褐色土 白色粘土とローム土を主体とする。黒褐色土と焼土を少量含む。崩落カマド天井部である。
- 13 黒色土 カマドの天井から落ちた焼土と灰・土のたまり。
- 14 白灰色土 ワラ灰のような軟らかい灰層。
- 15 赤褐色土 カマド床面。良く焼けしまっている。
- 16 灰色土 灰を含む粘土層で、粘性強い。
- 17 暗黄褐色土 白色粘土とロームの混合粘土をカマド堀方の直上に貼った物。粘性強く、しまりやや強い。



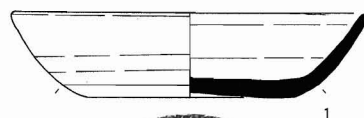
第13図 第2号住居跡(2)と出土遺物(1)

SJ2

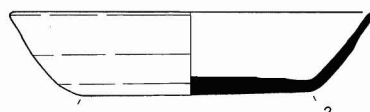


SJ2 カマド

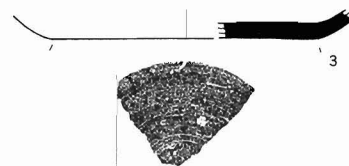
- 1 赤褐色土 カマドの内壁。
- 2 灰褐色土 白色の粘土で、よく叩きしめられる。
- 3 暗褐色土 しまり弱い。
- 4 黒褐色土 ロームブロックを含む貼り床。

0 1m  
1:30

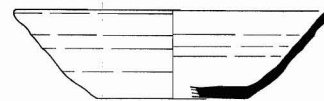
1



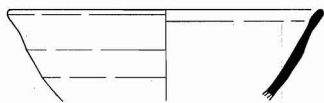
2



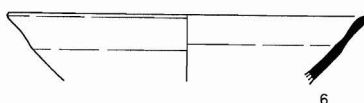
3



4



5



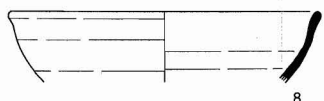
6



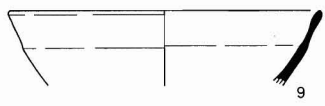
4



7



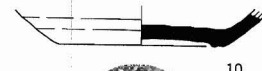
8



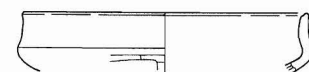
9



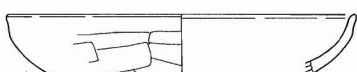
7



10



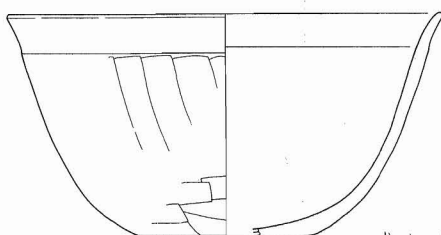
11



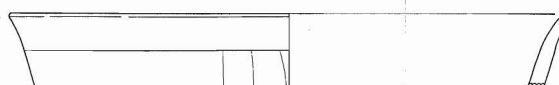
12



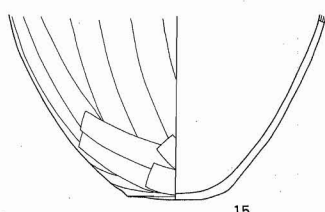
10

0 10cm  
1:3

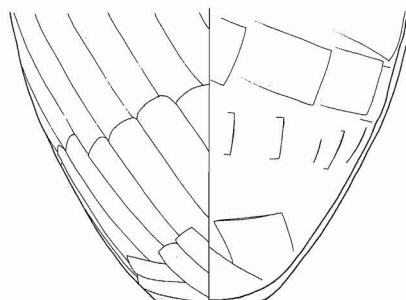
13



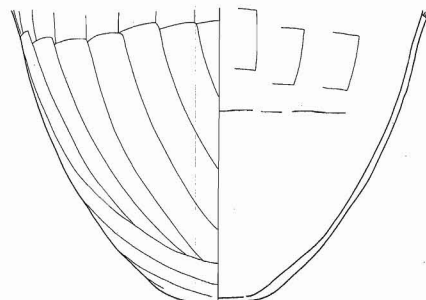
14



15

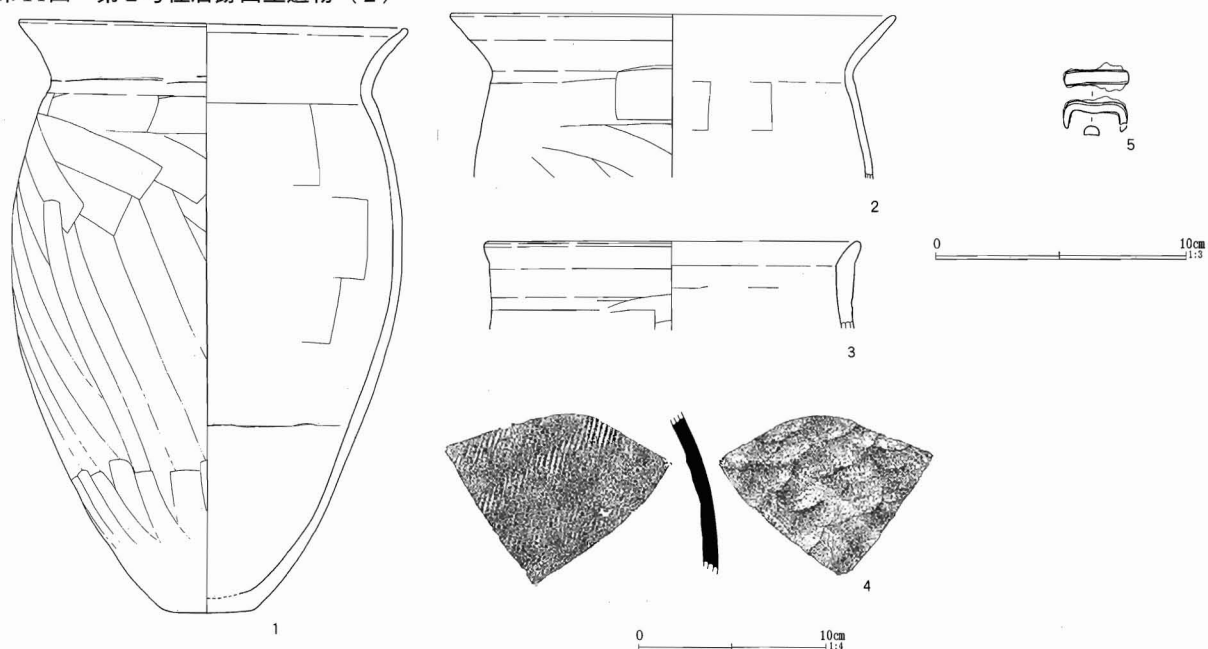
0 10cm  
1:4

16



17

第14図 第2号住居跡出土遺物(2)



第2号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
13	1	坏	13.9	3.3	8.2	ACE針	良好	青灰色	95	南比企産
	2	坏	14.4	3.3	9.2	ACE針	良好	青灰色	95	南比企産
	3	坏		(1.2)	(10.6)	ACE針	良好	青灰色	破片	南比企産
	4	坏	(12.4)	4.5	(6.0)	ABCEF	普通	灰白色	20	東金子産
	5	坏	(12.3)	(3.6)		ABCE針	良好	青灰色	破片	南比企産
	6	坏	(14.1)	(2.7)		ACE針	普通	黄灰色	破片	南比企産
	7	坏		(2.4)	(8.0)	ACE	良好	暗青灰色	破片	東金子産
	8	坏	(12.2)	(2.8)		ACE針	普通	灰オリーブ色	破片	南比企産
	9	坏	(12.3)	(3.0)		ACE針	普通	灰色	破片	南比企産
	10	坏		(1.6)	(6.5)	ACE	普通	灰黄色	40	東金子産
	11	坏	(11.2)	(2.3)		ABCE	普通	赤褐色	破片	内面全面・外面口唇部赤彩
	12	坏	(13.8)	(2.5)		ABCE	普通	にぶい黄褐色	破片	
	13	鉢	(23.1)	(11.9)	(9.7)	ABCD	普通	暗褐色	20	
	14	鉢	(29.6)	(4.0)		ABC	普通	暗褐色	破片	
	15	甕		(9.8)	5.2	ABCE	普通	にぶい赤褐色	70	
	16	甕		(15.7)	5.5	ABCE	普通	明赤褐色	70	
	17	甕		(15.7)	(6.0)	ABCE	普通	にぶい赤褐色	40	
14	1	甕	(20.5)	26.7	4.9	ABCE	普通	明褐色	50	
	2	甕	(23.6)	(8.5)		ABCE	普通	赤褐色	破片	
	3	甕	(19.8)	(4.7)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	
	4	甕				ABCE	良好	暗青灰色	破片	
	5	鉄?	幅0.6、長さ2.6cm							鉄製

示している。鉄器は、後世のものが混入したものと思われる。

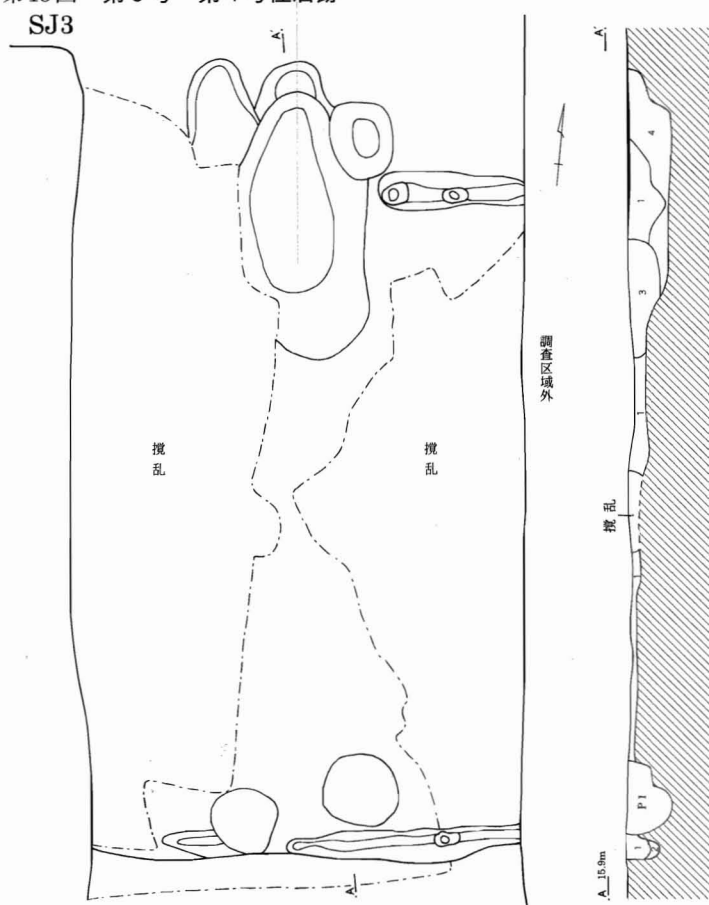
### 第3号住居跡(第15図、第16図)

G-4~5区にかけて位置する。長径5.48m、短径

3.0m、深さ0.06mを測るが、長方形に近いプランを呈するものと思われる。主軸はほぼ北方向を示す。竈と北壁、南壁の一部を現するのみで、大半が攪乱による欠損を受けていた。竈は北壁の中央部のやや東寄りに構築されているものと思われ、東西に並列重複して

第15図 第3号・第4号住居跡

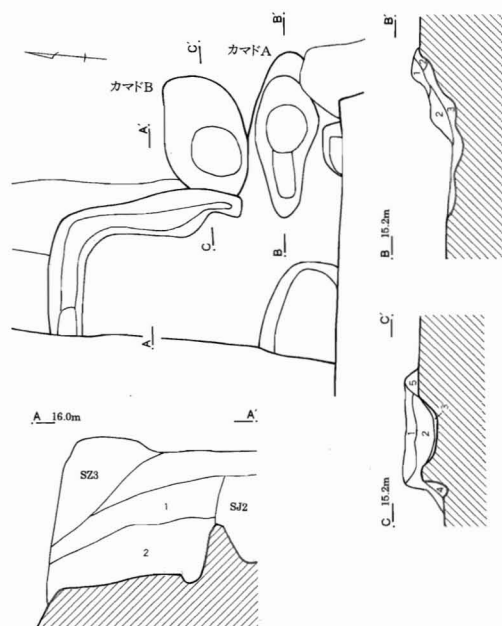
SJ3



S J 3

- 1 黒褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を多く含む。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を多く含み、しまり弱く、粘性強い。
- 3 暗褐色土 ロームブロック、焼土ブロックを多く含み、脆い。
- 4 赤褐色土 焼土ブロックを多量に含み、脆い。

SJ4



S J 4

- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子を若干含み、しまり弱い。
- 2 暗褐色土 ロームブロック粒子を多く含み、しまり強く、粘性強い。

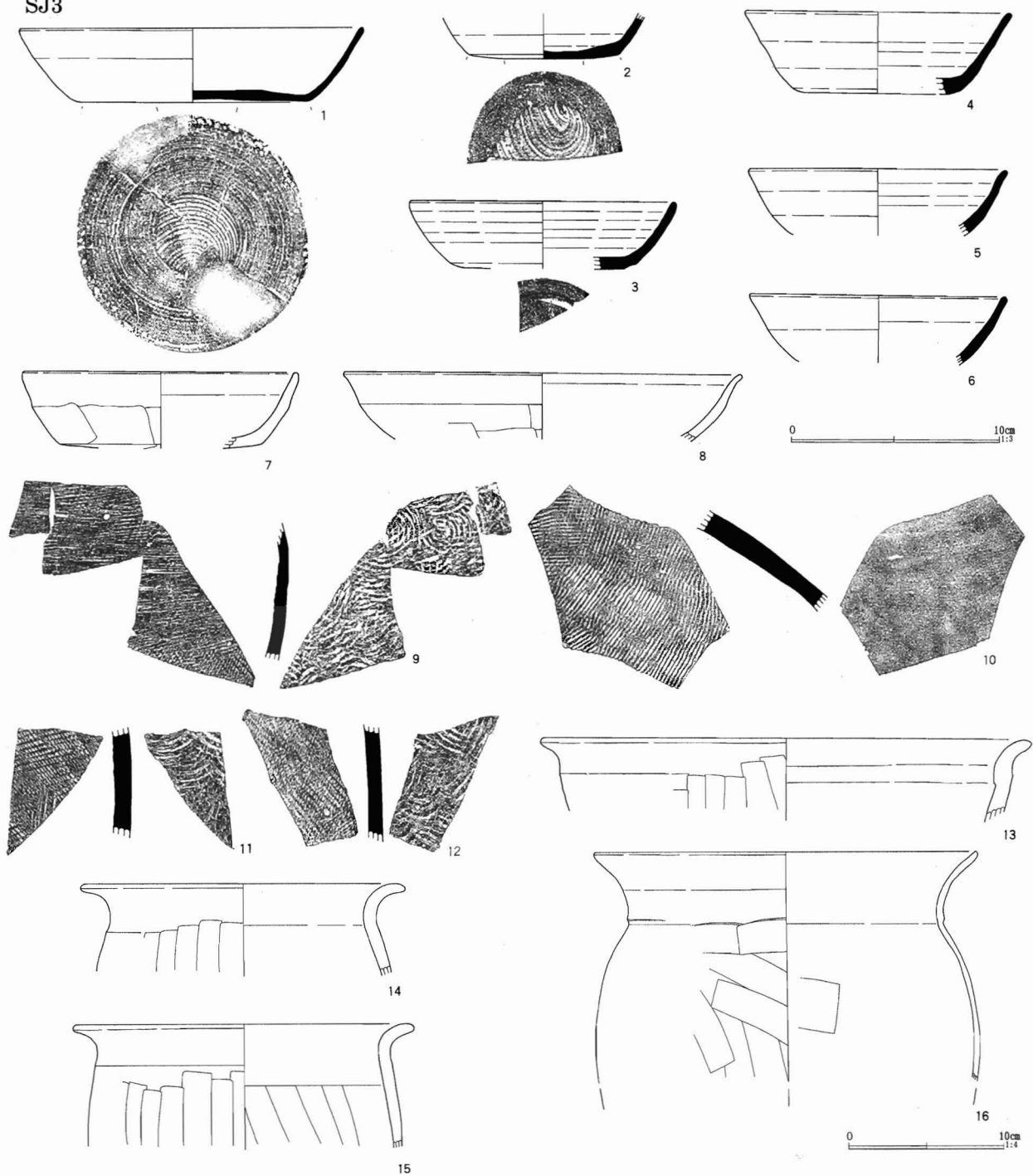
S J 4 カマドA

- 1 赤褐色土 焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 焼土粒子、ローム粒子を少量含む。
- 3 暗黒褐色土 灰を多く含み、しまり弱い。

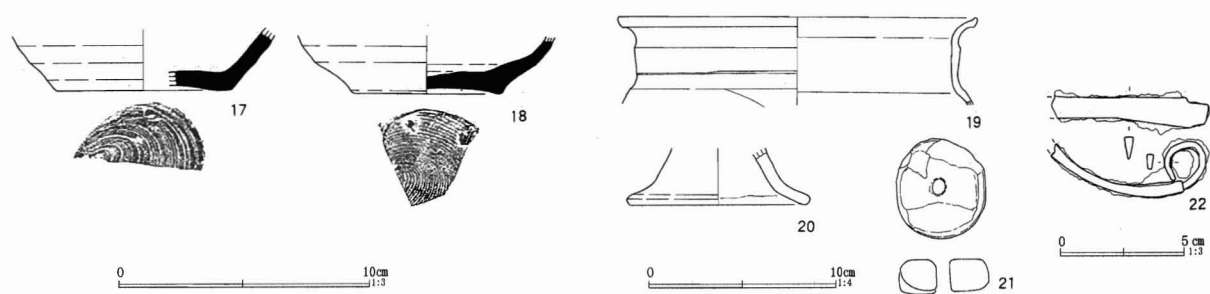
S J 4 カマドB

- 1 赤褐色土 焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、しまり弱い。
- 3 黒褐色土 炭化物・焼土粒子を少量含み、灰を若干含む。
- 4 灰褐色土 粘土粒子を多く含む。
- 5 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含み、しまり強い土。

第16図 第3号・第4号住居跡出土遺物  
SJ3



SJ4





第3号・第4号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器 種	口径	器高	底径	胎 土	焼成	色 調	残存率	備 考
SJ3										
16	1	坏	16.3	3.5	10.9	A B C E 針	普通	灰 白 色	80	南比企産
	2	坏		(2.1)	7.2	A E	良好	暗 青 灰 色	30	東金子産
	3	坏	(12.6)	3.2	(7.9)	A B C	良好	青 灰 色	20	
	4	坏	(12.6)	3.8	(7.0)	A E	普通	褐 灰 色	20	
	5	坏	(12.2)	(3.1)		A C E	良好	青 灰 色	20	
	6	坏	12.0	(3.2)		A C E	良好	灰 色	50	
	7	坏	(13.0)	(3.7)		A C E	普通	橙 色	30	
	8	坏	(19.0)	(3.2)		A B C	普通	明 赤 褐 色	破片	内面赤彩
	9	甕				A E 片	良好	青 灰 色	破片	末野産
	10	甕				A B C E	普通	灰 白 色	破片	
	11	甕				A C E 片	良好	青 灰 色	破片	末野産
	12	甕				A C E 片	良好	青 灰 色	破片	末野産
	13	甕	(31.0)	(5.3)		A B C E	普通	にぶい赤褐色	破片	
	14	甕	(20.0)	(5.8)		A B C E	普通	にぶい赤褐色	破片	
	15	甕	(21.4)	(7.9)		A B C E	普通	明 赤 褐 色	破片	
	16	甕	(24.4)	(14.7)		A B C	普通	にぶい赤褐色	破片	
SJ4										
16	17	坏		(2.5)	(7.0)	A C E	普通	にぶい黄褐色	20	
	18	坏		(2.3)	(5.8)	A C E	良好	暗 青 灰 色	20	
	19	甕	(19.0)	(4.6)		A B C D	普通	明 赤 褐 色	破片	
	20	台付甕		(3.0)	(9.3)	A B C E	普通	にぶい褐色	20	
	21	紡錘車	大径4.7、小径4.2、厚さ1.8、孔径0.7cm							土製
	22	刀子	現存長6.2、刃幅1.2、背幅0.3cm							鉄製 故意に折り曲げている

2ヶ所が存在する。西側の竈の方が古く、浅い。壁溝は現存する壁際に存在し、ほぼ全周するものと思われる。その他の、付属施設は攪乱のため、不明となっている。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀の後半期が推定される。

遺物は、かろうじて現存する壁溝付近の覆土内と、竈の覆土内から出土している。須恵器は底部周辺へラ削り坏と、甕の胴部破片が出土している。土師器坏は、器高が高く、底部付近に横位の削りを施すものと、口縁部の外反する比企型坏の系統が出土しており、混在の可能性ある。土師器甕は口縁部の外反度が強いものと、やや緩く立ち上がるものがあり、これ等の時期差が竈の時間差を示している可能性が高い。

#### 第4号住居跡（第15図、第16図）

G-3区に位置する。長径2.26m、短径1.18m、深さ0.37mを測る。主軸は、ほぼ東を示す。住居跡西側半分を第3号堀、南半分が調査区外に当たり、竈が第

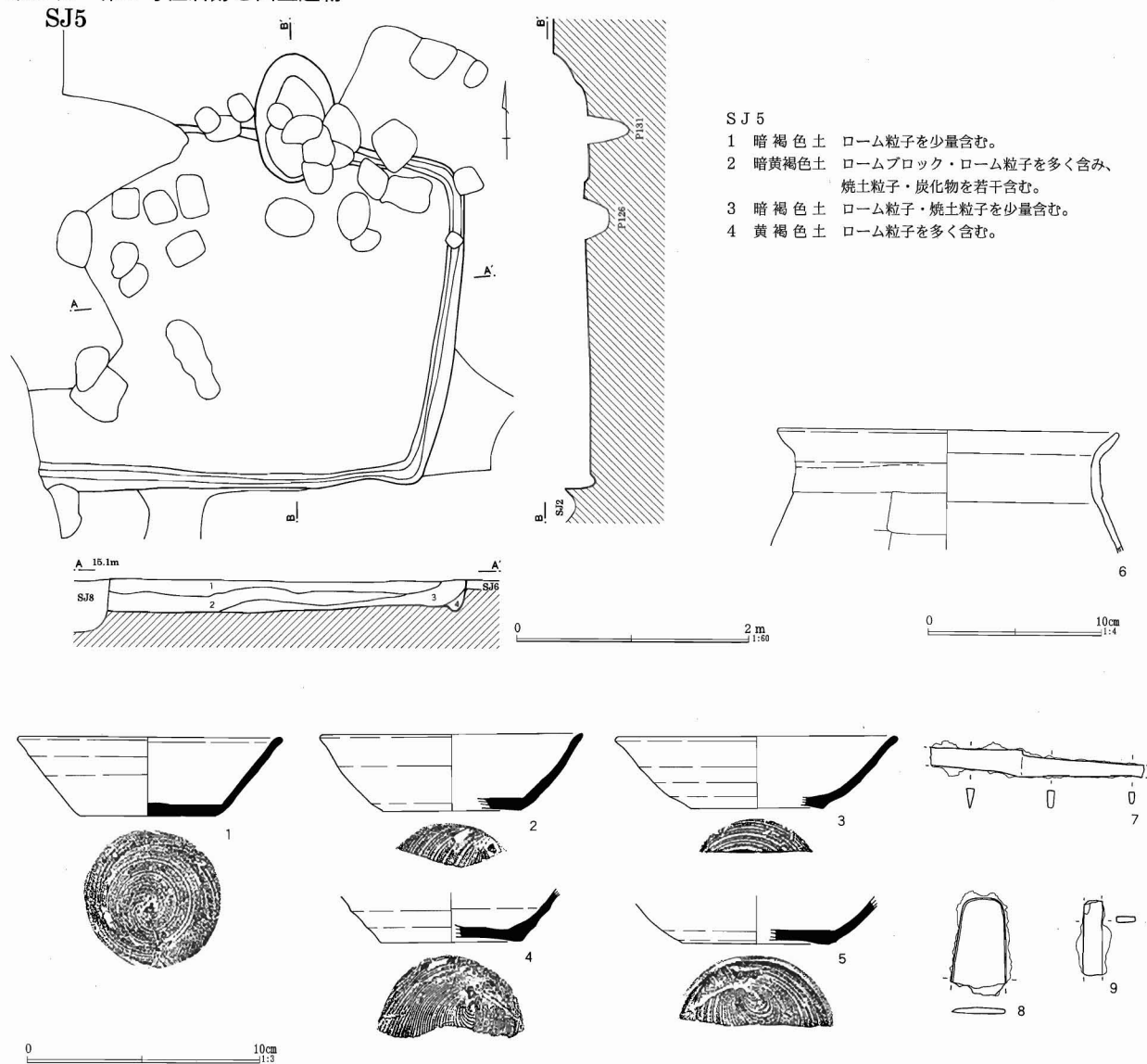
2号住居跡と重複する。本住居跡の方が新しい。住居跡の北東コーナーと、竈が現存する。竈は東壁のほぼ中央部と思われる所に、南北に並列して2ヶ所設けられている。南側の竈の方が新しい。壁溝は現存する壁際に存在することから、全周するものと思われる。柱穴は確認されなかった。出土遺物から、住居跡の所属時期は9世紀の後半と推定される。

遺物は、底部糸切り後未調整の須恵器坏や、「コ」字状口縁を持つ土師器甕、台付甕の脚部が出土しており、陶製の紡錘車も出土している。また、端部を丸く曲げられた刀子も出土している。

#### 第5号住居跡（第17図）

F～G-3区にまたがって位置する。長径3.55m、短径3.10m、深さ0.53mを測る。主軸はほぼ北を示す。住居跡西側で第8号住居跡と第3号堀と、北東コーナーで第6号住居跡と重複する。また、住居跡内を第10号柵列が攪乱する。本住居跡は、第6号住居跡より

第17図 第5号住居跡と出土遺物



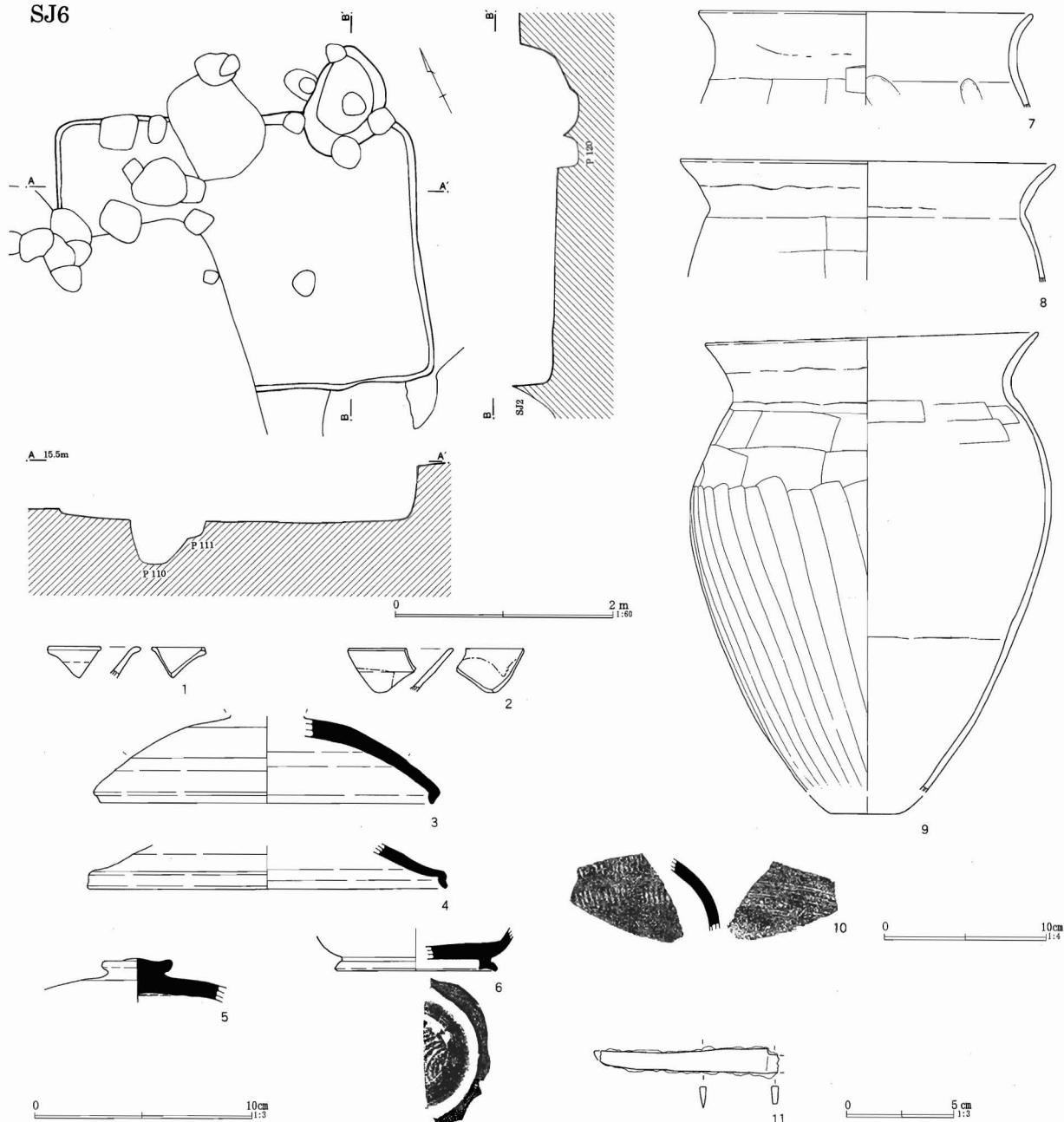
第5号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器 種	口径	器高	底径	胎 土	焼成	色 調	残存率	備 考
17	1	坏	11.3	2.9	5.9	A B C E	普通	にぶい 橙 色	100	南比企産 南比企産
	2	坏	(11.2)	3.2	(6.0)	A C E	良好	暗 青 灰 色	20	
	3	坏	(12.0)	3.1	(5.7)	A C E	普通	にぶい 橙 色	20	
	4	坏		(2.2)	(6.0)	A B C E 針	普通	灰 白 色	30	
	5	坏		(2.1)	(6.4)	A C E 針	普通	にぶい 橙 色	20	
	6	甕	(19.6)	(6.9)		A B C E	普通	にぶい 橙 色	破片	
	7	刀 子	現存長 9.3、刃幅 1.2、背幅 0.3cm							鉄製 切先・茎先欠失 小札状鉄製品 棒状鉄製品
	8	不 明	幅 2.3、現存長 4.2cm							
	9	不 明	幅 0.9、現存長 3.1cm							

新しく、第8号住居跡より古い。竈は北壁中央部より東寄りに設けられている。壁溝はほぼ全周するものと思われる。柱穴は確認されなかった。出土遺物から、

住居跡の所属時期は、9世紀の中頃が推定される。

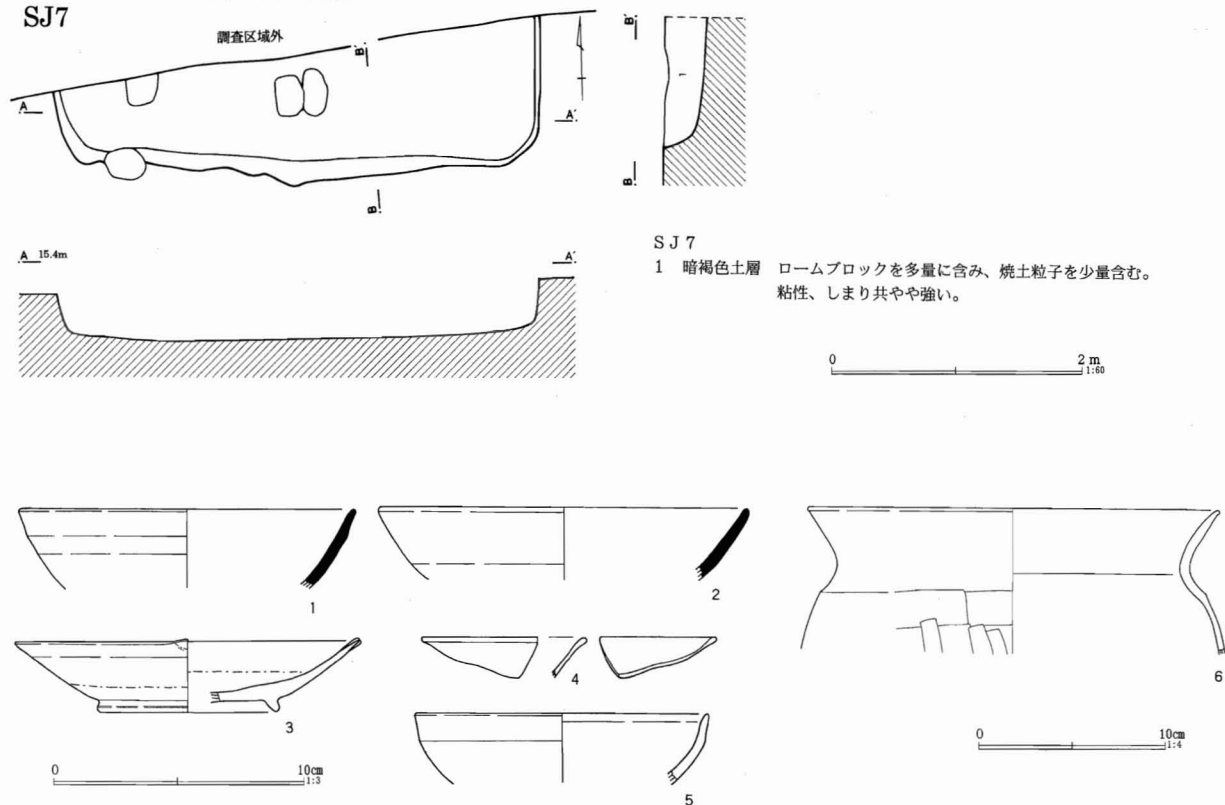
遺物は底部回転糸切り後未調整の須恵器坏、「コ」字状口縁のやや緩い土師器甕、刀子等が出土している。

第18図 第6号住居跡と出土遺物  
SJ6

第6号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器 種	口径	器高	底径	胎 土	焼成	色 調	残存率	備 考
18	1	坏				A	良好	灰 色	破片	灰釉陶器 9c後半
	2	坏				A	良好	灰 白 色	破片	灰釉陶器 9c後半
	3	蓋	(15.2)	(4.1)		ABCE	普通	黄 灰 色	20	
	4	蓋	(16.4)	(2.0)		AC	良好	青 灰 色	破片	東金子産
	5	蓋		(2.0)		AC	普通	灰 白 色	破片	
	6	高台付坏		(1.9)	(7.3)	A	良好	青 灰 色	30	東金子産・転用硯
	7	甕	(20.4)	(5.6)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	
	8	甕	(22.9)	(7.2)		ABCE	普通	明 褐 色	破片	
	9	甕	20.3	(28.5)		ABCE	普通	明 褐 色	80	
	10	壺				AE	普通	黄 灰 色	破片	東金子産
	11	刀 子	現存長 8.5、刃幅 1.1、背幅 0.3cm							鉄製 茎欠失

第19図 第7号住居跡と出土遺物  
SJ7



第7号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器 種	口径	器高	底径	胎 土	焼成	色 調	残存率	備 考
19	1	坏	(13.3)	(3.2)		A B C 針	良好	灰 色	破片	南比企産 灰釉陶器 全面赤彩
	2	坏	(14.7)	(2.9)		A C E	普通	灰 黄 色	破片	
	3	皿	(13.6)	2.9	(7.0)	A C E	良好	灰 白 色	20	
	4	坏				A	良好	灰 白 色	破片	
	5	坏	(11.5)	(2.8)		A B E	普通	暗 赤 褐 色	破片	
	6	甕	(21.8)	(7.8)		A B C E	普通	にぶい赤褐色	破片	

#### 第6号住居跡 (第18図)

F～G-3区にまたがって位置する。長径3.40m、短径2.50m、深さ0.43mを測る。プランは東西方向に細長い長方形で、住居跡の主軸は北北東方向を示す。第5号住居跡と南西コーナーで重複し、本住居跡の方が古い。竈は北壁の北東コーナー寄りに設置されており、土壌等によって攪乱を受けている。壁溝と柱穴は確認されなかった。住居跡の所属時期は、出土遺物から8世紀前半と推定される。

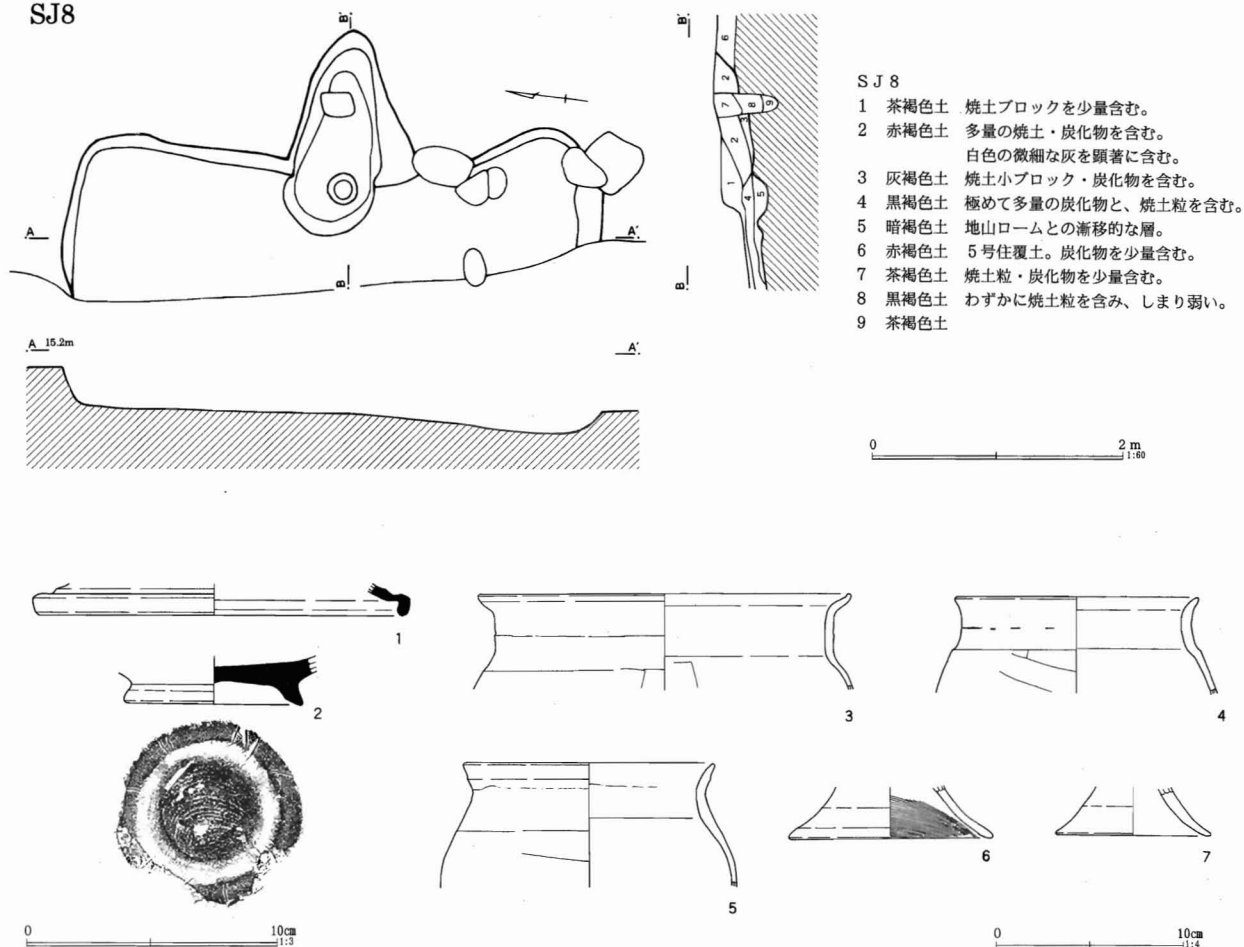
遺物は須恵器の蓋、高台付坏、壺の胴部破片、土師器では甕の口縁部、やや大形の破片等が出土している。

また、覆土内に9世紀代の灰釉陶器の破片や、底部回転糸切り後未調整の須恵器坏の破片等が混在していた。

#### 第7号住居跡 (第19図)

F-3区に位置する。長径4.00m、短径1.10m、深さ0.35mを測る。プランは長方形を呈するものと思われるが不明で、竈が検出されなかったため住居跡の主軸方向も不明である。住居跡の大半が調査区外に当たり、住居跡の南壁近くが現存するのみで、詳細は不明である。壁溝は存在しない。柱穴は確認されなかったが、床面は凹凸が著しかった。出土遺物には混在が多く認められ、所属時期を決定し得ないが、9世紀後半



第20図 第8号住居跡と出土遺物  
SJ8

第8号住居跡出土遺物観察表

図版	番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	備考
20	1	蓋	(14.4)	(1.2)		ACE	良好	灰色	破片	東金子産
	2	高台付坏		(2.0)	7.0	ABCE	普通	青灰色	80	
	3	甕	(20.7)	(5.1)		ABCE	普通	にぶい褐色	破片	
	4	台付甕	(12.7)	(5.1)		ABCE	普通	にぶい褐色	破片	
	5	台付甕	(13.2)	(5.6)		ABCE	普通	にぶい赤褐色	破片	
	6	台付甕		(2.8)	(10.7)	ABCE	普通	赤褐色	20	
	7	台付甕		(2.6)	(8.2)	ABCE	普通	にぶい橙色	破片	

代を推定して置きたい。

遺物は灰釉陶器の皿の破片や、須恵器坏の口縁部破片、土師器坏、土師器甕が出土している。

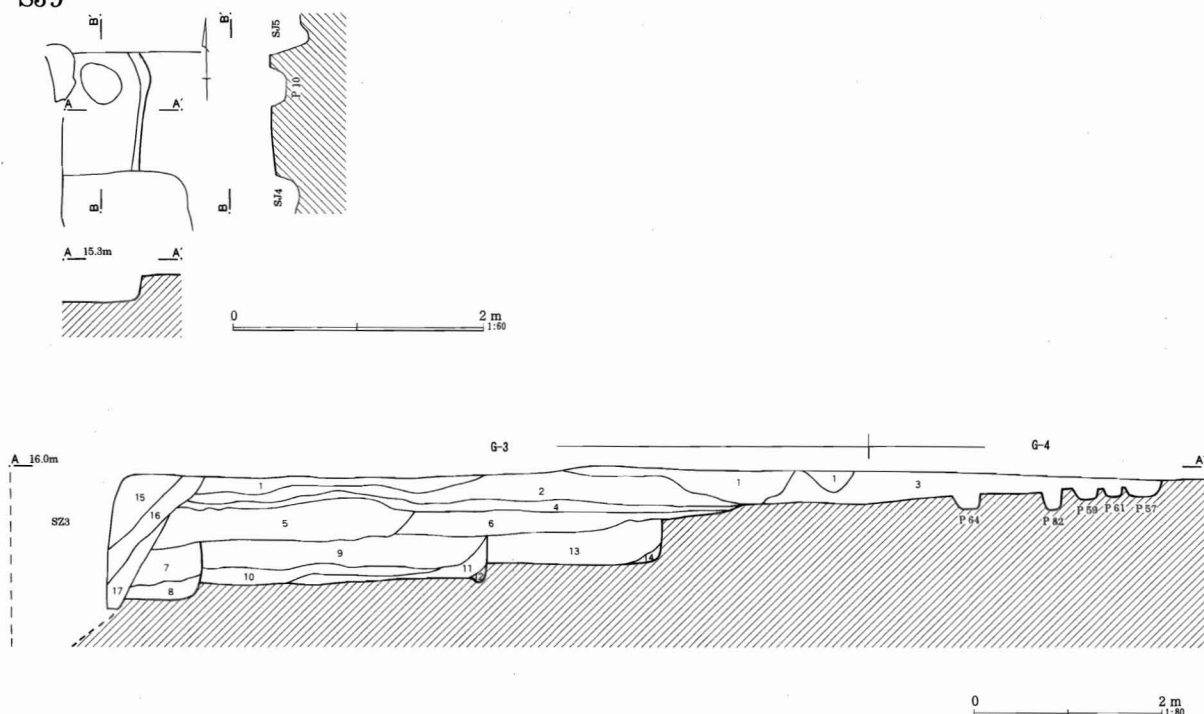
### 第8号住居跡（第20図）

F～G-3区にまたがって位置する。長径4.25m、短径1.14m、深さ0.29mを測る。住居跡の主軸はほぼ東方向を示している。プランは長方形を呈するものと

思われるが、住居跡西側半分に第3号溝による攪乱を受ける。また、竈から南東コーナーにかけてが第6号住居跡と重複するが、本住居跡の方が新しい。竈は東壁のほぼ中央部に設置されており、やや細長い煙道部を持つ。壁溝は存在せず、柱穴も確認されなかった。出土遺物から、住居跡の所属時期は9世紀の後半段階が想定される。

遺物は須恵器蓋、高台付坏、「コ」字状口縁を持つ土

第21図 第9号住居跡  
SJ9



基本土層

- 1 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりやや弱い。
- 2 暗褐色土 2層上に堆積した土で、ローム粒子、焼土粒子などを含む。しまり弱い。
- 3 黒色土 ローム粒子を少量含み、しまり、粘性弱い。中世段階の覆土。
- 4 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、非常に堅くしまる。遺構の東半分を覆っている土。
- 5 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物等を少量含み、しまり弱い。カワラケが多く出土。
- 6 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、しまり、粘性弱い。
- 7 茶褐色土 焼土ブロックを少量含み、しまりやや強い。(SJ8)
- 8 黒褐色土 極めて多量の炭化物と、焼土粒子を含む。(SJ8)
- 9 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。(SJ5)
- 10 暗黄褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含み、焼土粒子、炭化物を若干含む。(SJ5)
- 11 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。(SJ5)
- 12 黄褐色土 ローム粒子を多く含む。(SJ5)
- 13 暗褐色土 ローム小粒子を多量に、焼土と炭化物を少量含む。しまり強い。(SJ6)
- 14 黄褐色土 ロームブロック主体の壁崩壊土。粘性やや強く、しまり強い。(SJ6)
- 15 茶褐色土 粘土ブロック、焼土ブロックなどを含み、しまり強い。(SZ3)
- 16 灰白色土 粘土粒子、ロームブロックを多く含み、しまり非常に固い土。(SZ3)
- 17 暗褐色土 粘土粒子を多く含み、しまり強い。(SZ3)

師器甕、台付甕の脚部が出土している。

第9号住居跡 (第21図)

G-3区に位置する。長径0.9m、短径0.7m、深さ0.18mを測る。東壁の一部のみ存在し、北側で第5号住居跡、南側で第4号住居跡、西側で第3号堀で攪乱されている。本住居跡は何れの遺構よりも古いものと考えられる。図示可能な遺物は出土しておらず、各時期の小片が出土しているのみで、遺構の所属時期を決

定し得ないが、9世紀代の住居跡より古いことを想定すると、8世紀代所産の可能性が高くなる。

また、第21図には東西グリッドラインの土層断面図を掲載した。5、6層以上が中世の包含層で、遺構状の落込みも見られる。近世の第3号堀の覆土は15～17層で、中世の包含層を切り込んでいることが理解される。さらに、古代の第5号、第6号、第8号住居跡の切り合い関係も明らかである。

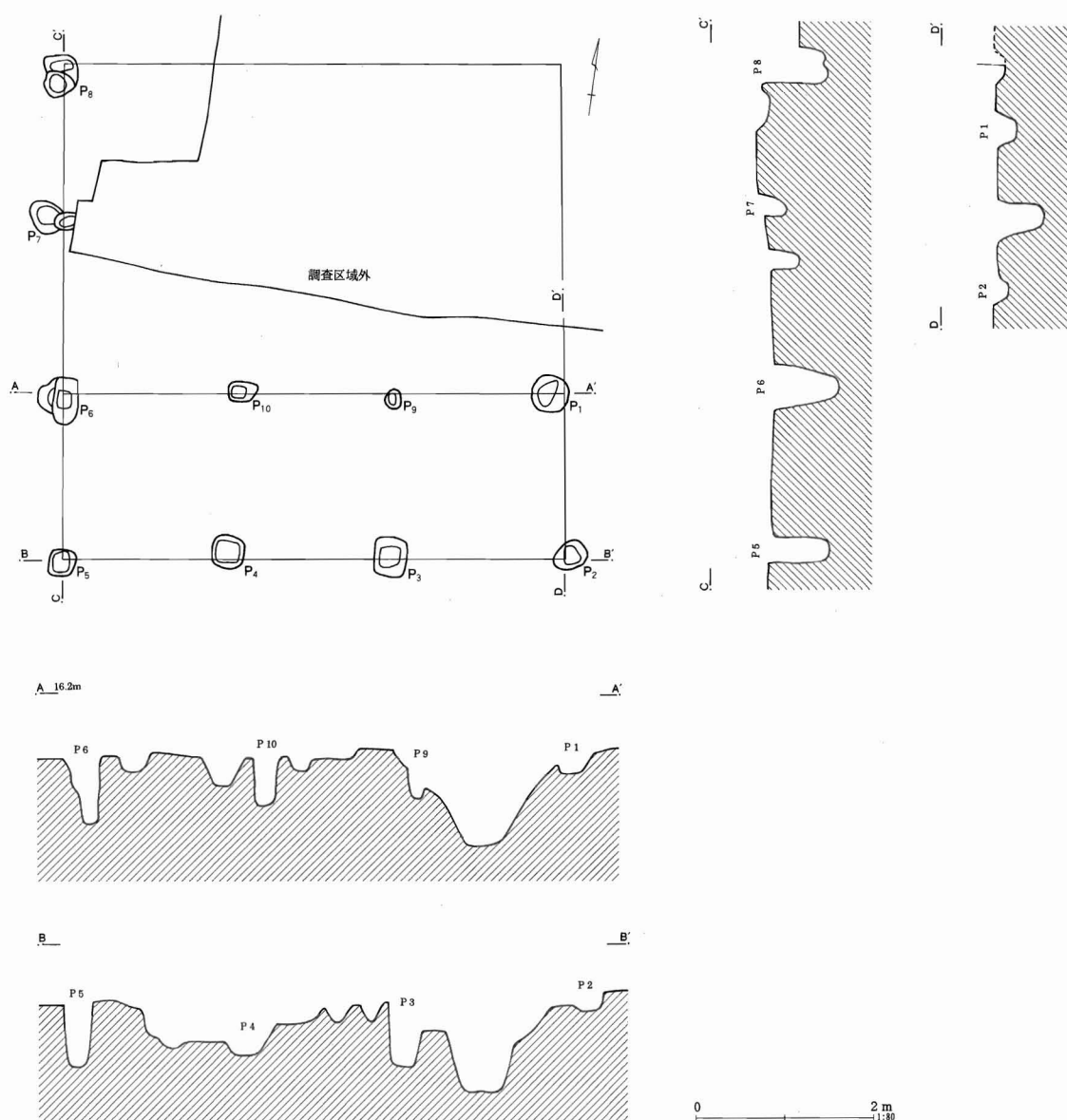
## (2) 掘立柱建物跡

調査区全体に亘って多数の柱穴状ピットが存在しており、それ等全てを確実に遺構としての繋がりで認識することは不可能であった。それでも、可能な限りの組み合わせを抽出し、合計9棟を掘立柱建物跡と認識した。しかし、夥しい数の柱穴状ピットを考慮すると、中世末から、近世終末にかけて全体でどれほどの建物があり、また、何時の時期にどれだけの建物が存在していたか、推測すら不可能であることを認識せざるを得ない状況であった。

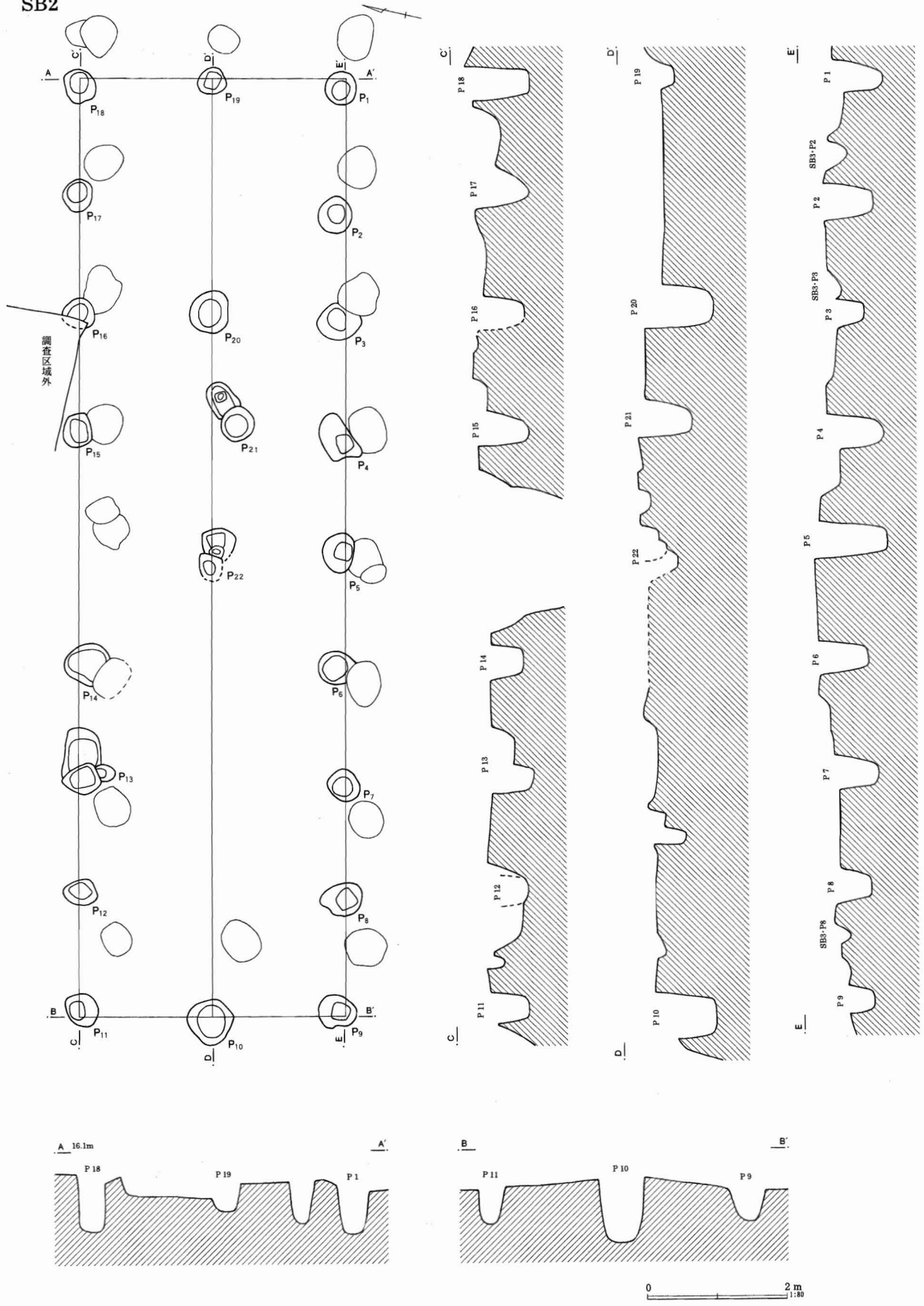
その中にあって、第9次調査区の西側半分で、層位的な調査が可能な部分については、掘立柱建物群の構築面が把握されるものも存在した。しかし、これについても厳密なものではなく、出土遺物が殆どないことから、時期比定は慎重に成らざるを得ない状況であった。

掘立柱建物跡は、大きくは東西方向のものと、南北方向のものが存在し、同じような場所に何度となく建て替えている場合が多い。さらに、東西の隣接する掘立柱建物跡が組み合って、1棟を構成していることも

第22図 第1号掘立柱建物跡  
SB1

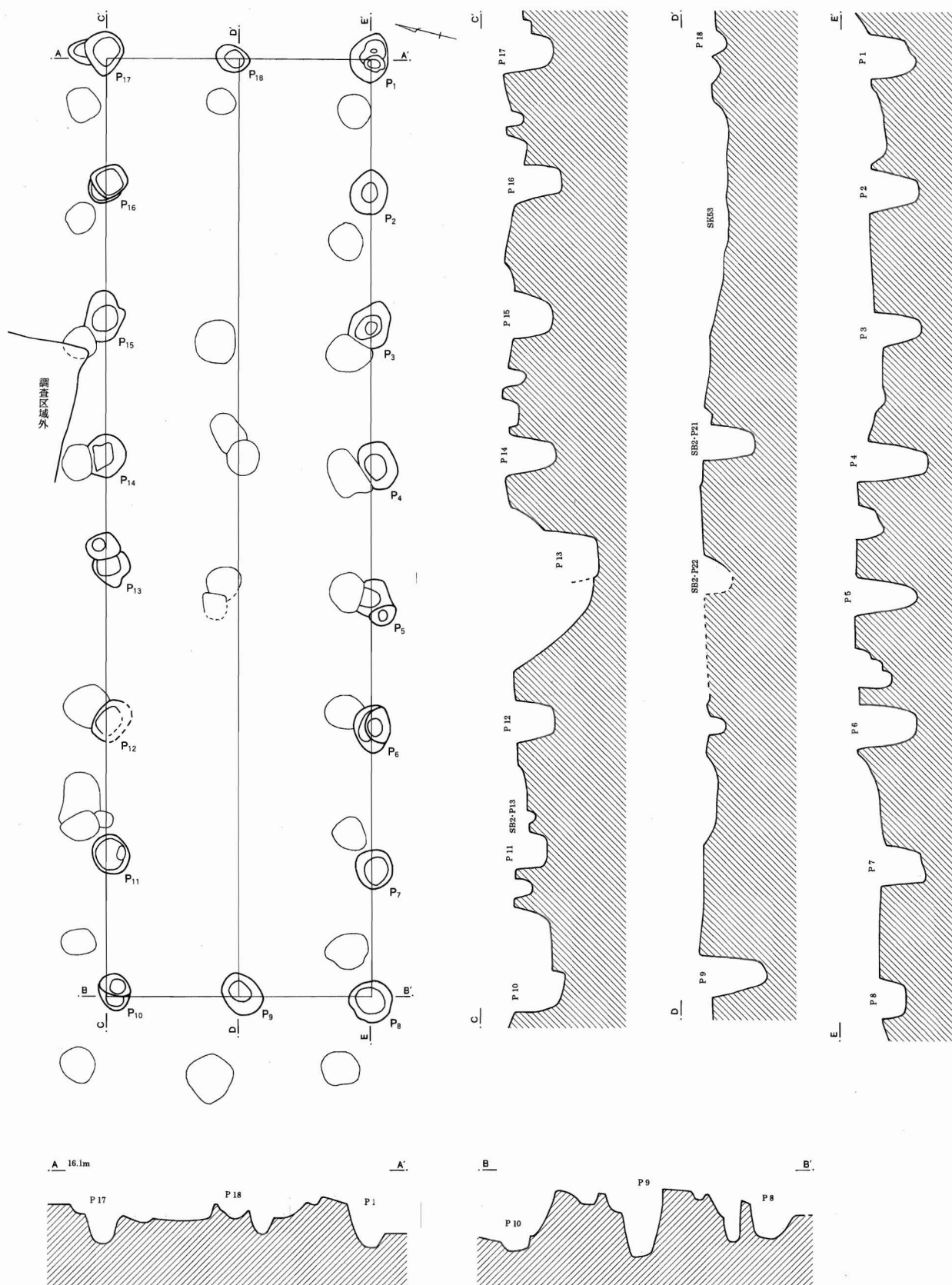


第23图 第2号掘立柱建物跡  
SB2





第24図 第3号掘立柱建物跡  
SB3



可能性としてある。また、後述するが、布掘りを持つ  
柵列との区別も難しく、誤認している部分もある可  
能性がある。

#### 第1号掘立柱建物跡（第22図）

D～E－5～6区に位置する。北東コーナーにかけ  
て調査区外となるため全柱穴を抽出できないが、建物  
規模は3間(5.86m)×3間(5.68m)の総柱建物と思わ  
れ、梁間1.95m、桁間1.89mである。主軸方位はN－  
8°－Wである。南東部分が第2号掘立柱建物跡と重  
複する。

#### 第2号掘立柱建物跡（第23図）

D～E－6～7区に位置する。南西方向にややずれ  
てほぼ重なるように、第3号掘立柱建物跡と重複する。  
建物規模は2間(3.84m)×8間(13.44m)の側柱建物と  
思われ、梁間1.92m、桁間1.68mである。主軸方位は  
N－80°－Eである。

#### 第3号掘立柱建物跡（第24図）

D～E－6～7区に位置する。北東方向にややずれ  
てほぼ重なるように、第2号掘立柱建物跡と重複する。  
建物規模は2間(3.68m)×7間(12.96m)の側柱建物と  
思われ、梁間1.84m、桁間1.85mである。主軸方位は  
N－80°－Eである。

#### 第4号掘立柱建物跡（第25図、第33図）

D～E－7～8区に位置する。北側2間分が未調査  
区内にあるため詳細は不明であるが、北西端のピット  
から全体を推定した。第5号掘立柱建物跡と並行して  
存在することから、桁行が延びる可能性がある。桁行  
の間隔が不揃いの部分もあるが、建物規模は2間(4.00  
m)×8間(14.72m)の側柱建物と思われ、梁間2.00m、  
桁間1.84mである。主軸方位はN－10°－Wである。  
遺物はP14からかわらけが、P5から板碑が出土して  
いる。

#### 第5号掘立柱建物跡（第26図、第33図）

D～E－8区に位置する。建物規模は2間(3.68m)  
×9間(16.56m)の側柱建物と思われ、梁間1.84m、  
桁間1.84mである。北側部分の桁行が調査区外にあり、  
10間となる可能性もある。主軸方位はN－10°－Wで  
ある。遺物はP15から、鉄釘が3点出土している。

#### 第6号掘立柱建物跡（第27図）

E－9区に位置する。東の桁側が遺構の攪乱により  
未検出であるが、建物規模は2間(3.76m)×2間(4.00  
m)の側柱建物と思われ、梁間1.88m、桁間2.00mで  
ある。方形の掘り方を持つ柱穴で構成されている。主  
軸方位はN－13°－Wである。

#### 第7号掘立柱建物跡（第27図）

E－9区に位置する。東の桁側の中央部2本、P2、  
P3は柱穴の底部のみ確認されている。南梁側が攪乱  
内に延びていた可能性もあるが、現存部分の建物規模  
は2間(3.76m)×3間(5.60m)の総柱建物と思われ、  
梁間1.88m、桁間1.87mである。方形の掘り方を持つ  
柱穴で構成されている。主軸方位はN－1°－Wであ  
る。

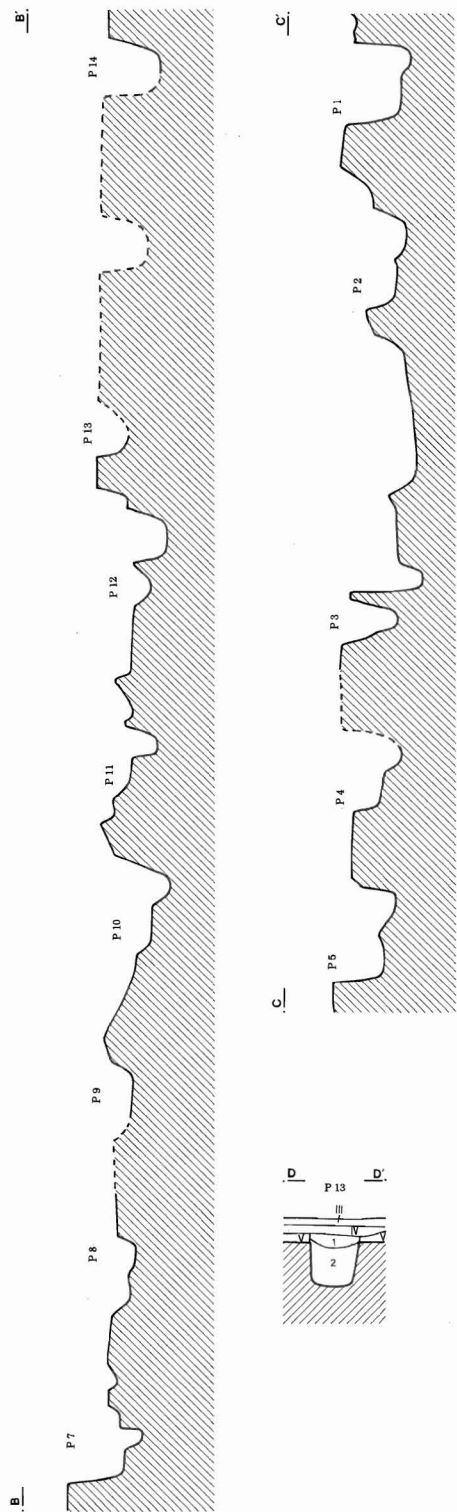
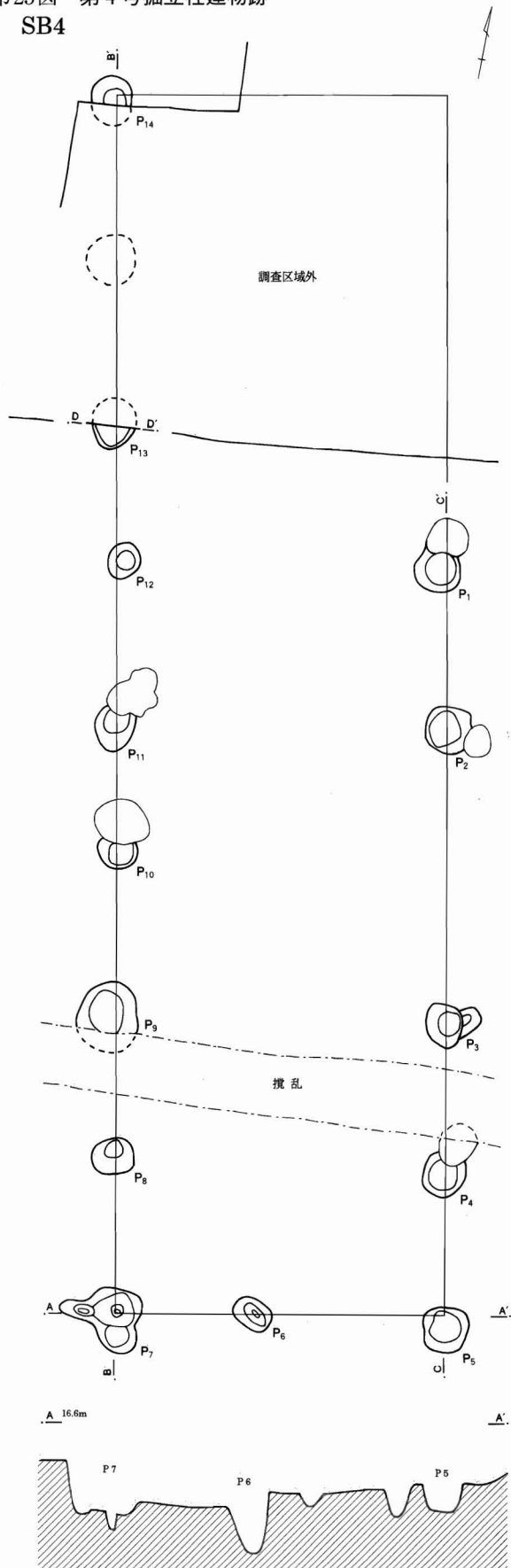
#### 第8号掘立柱建物跡（第28図）

C～D－8区に位置する。北側が未調査区内にある  
ため詳細は不明である。桁行の間隔が不揃いの部分も  
あるが、建物規模は2間(3.52m)×4間(7.04m)の総  
柱建物と思われ、梁間1.76m、桁間1.76mである。柱  
穴の掘り方は方形を呈する。主軸方位はN－88°－E  
である。

#### 第9号掘立柱建物跡（第28図）

A～B－10～11区に位置する。北東部分が調査区外  
に当たり、詳細は不明である。現存部分の建物規模は  
2間(3.52m)×2間(3.76m)の側柱建物と思われ、梁  
間1.76m、桁間1.88mである。柱穴の掘り方は方形を  
呈する。主軸方位はN－23°－Eである。

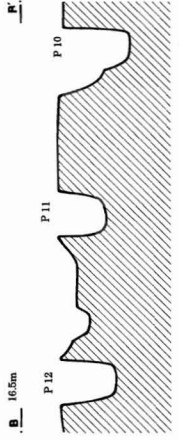
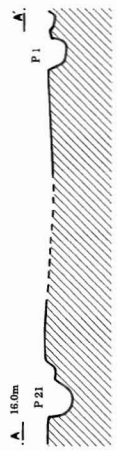
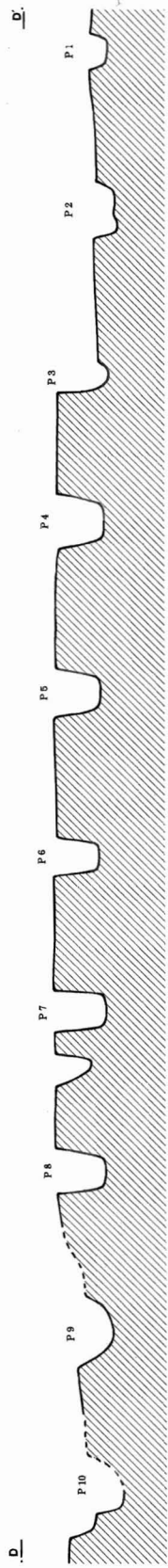
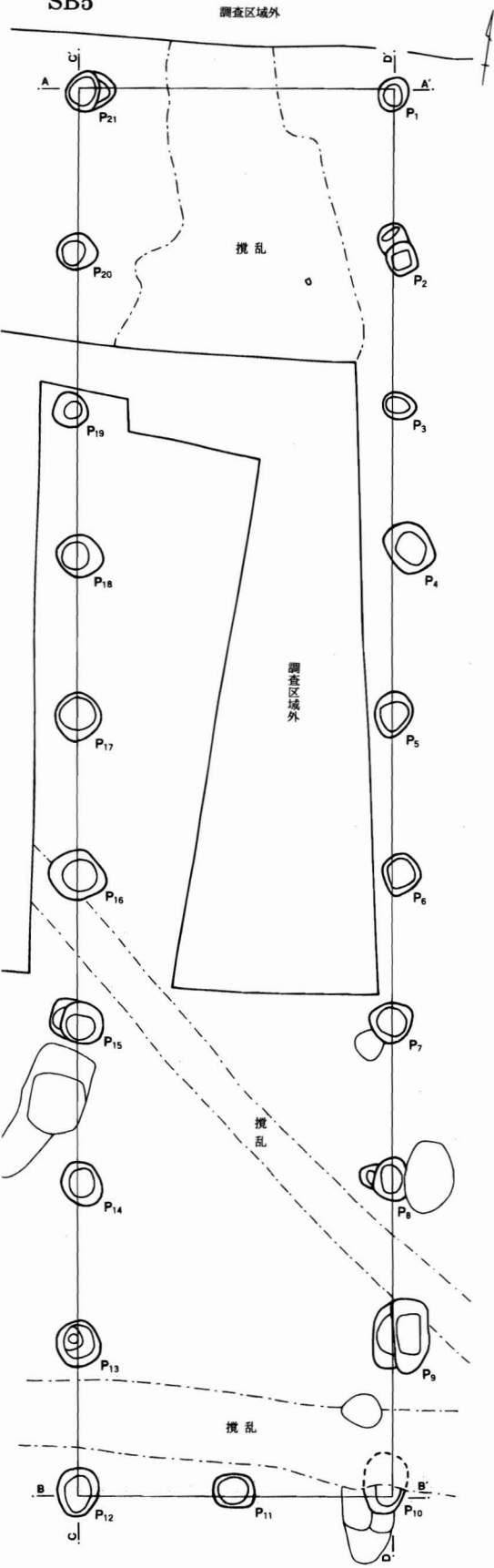
第25図 第4号掘立柱建物跡  
SB4



P13

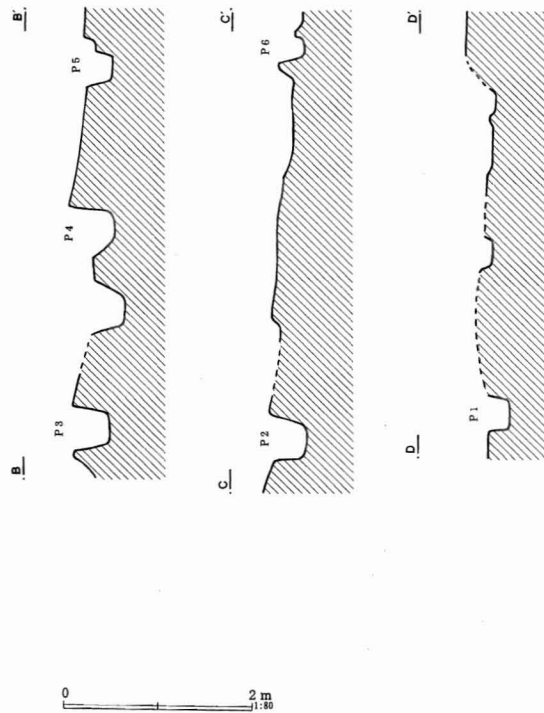
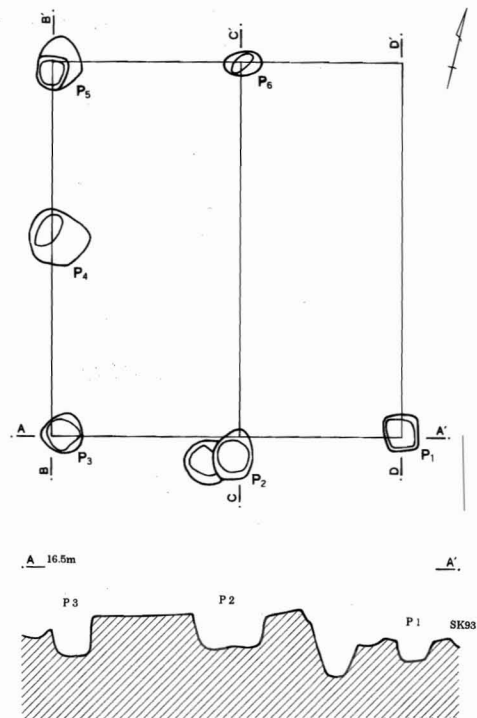
- 1 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を多く含む。しまり強い。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを含み、しまりやや弱い。

第26图 第5号掘立柱建物跡  
SB5

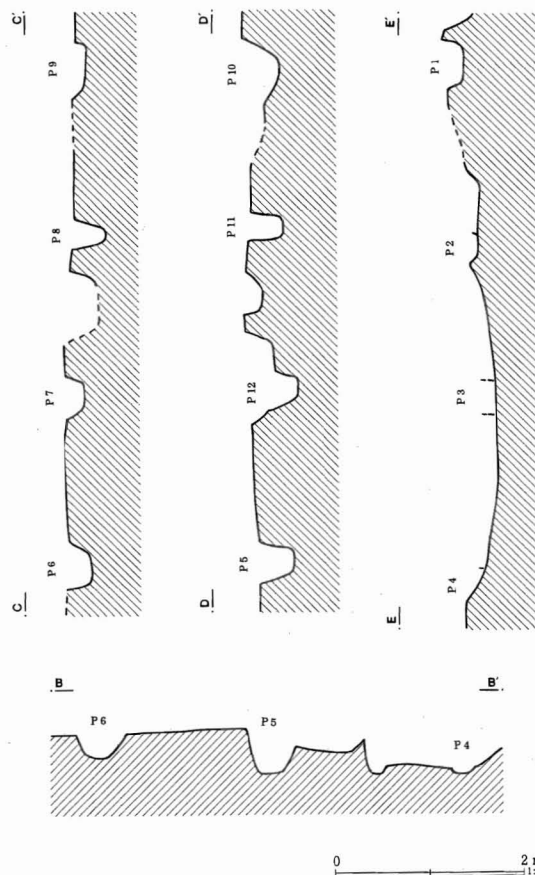
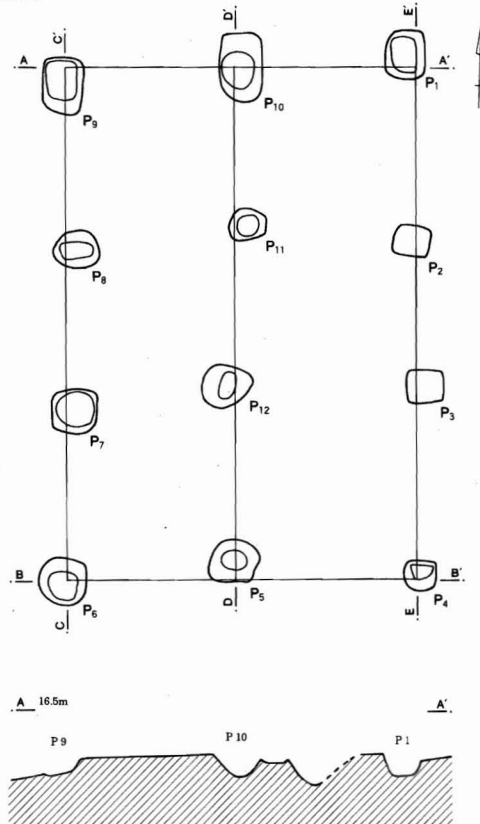




第27図 第6号・第7号掘立柱建物跡  
SB6

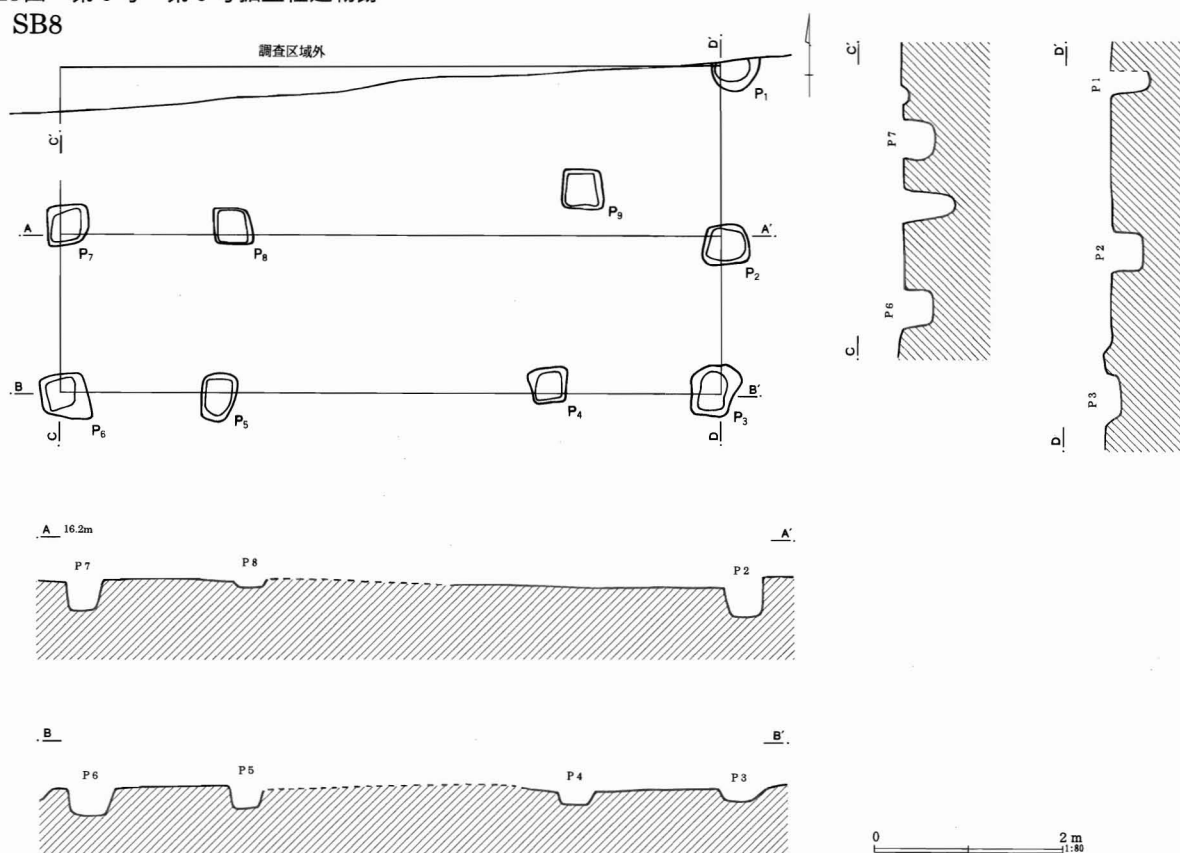


SB7

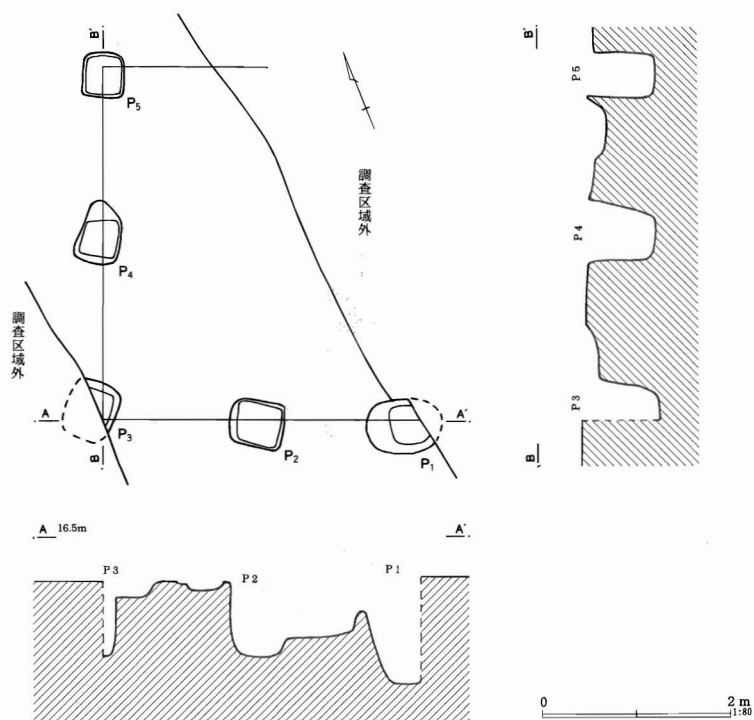


第28图 第8号・第9号掘立柱建物跡

SB8



SB9

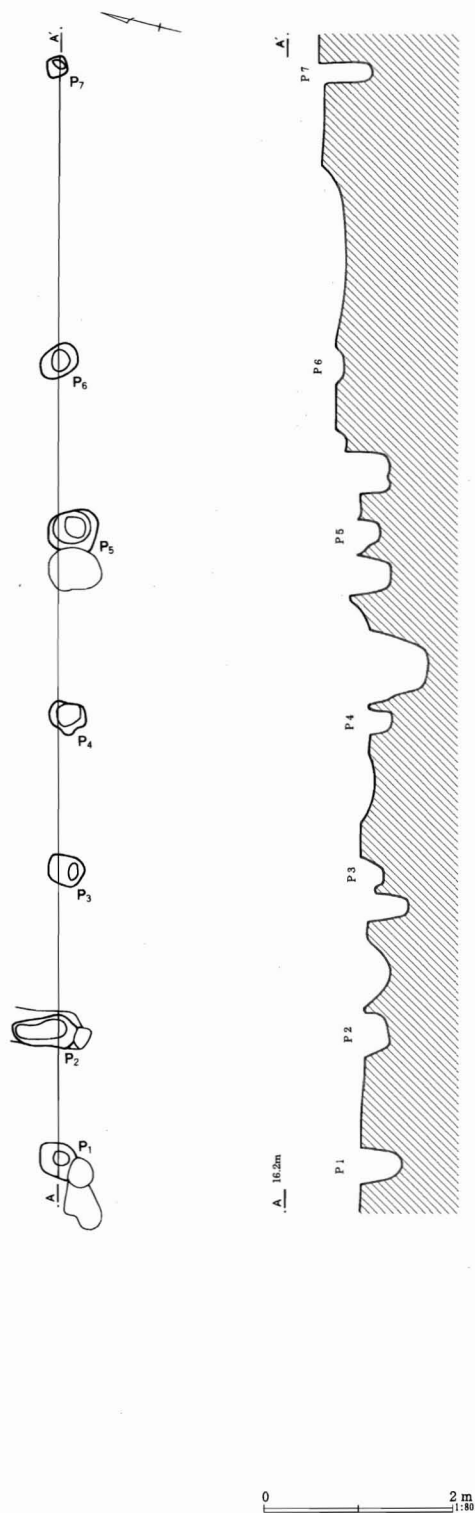


## (3) 柵列

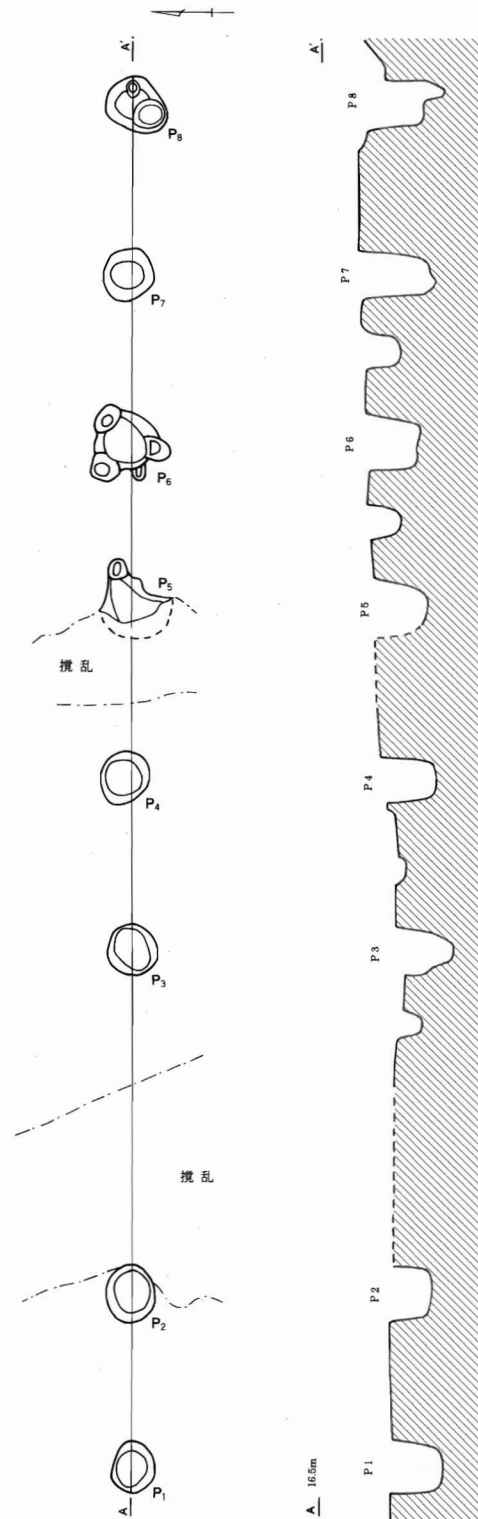
調査区内からは、掘立柱建物跡のように組み合う柱

穴のない柱穴列が多数存在した。これ等についても、掘立柱建物跡を誤認して柵列にしている可能性もある

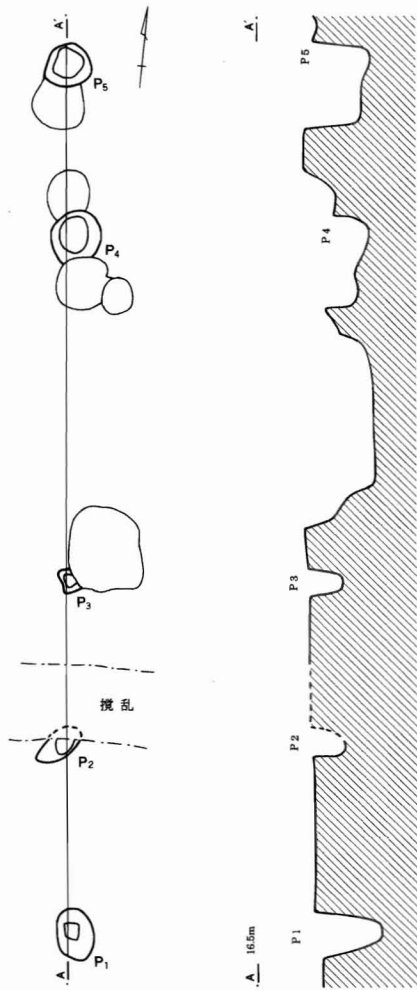
第29図 第1号・第2号柵列  
SA1



SA2



第30図 第3号・第4号柵列  
SA3

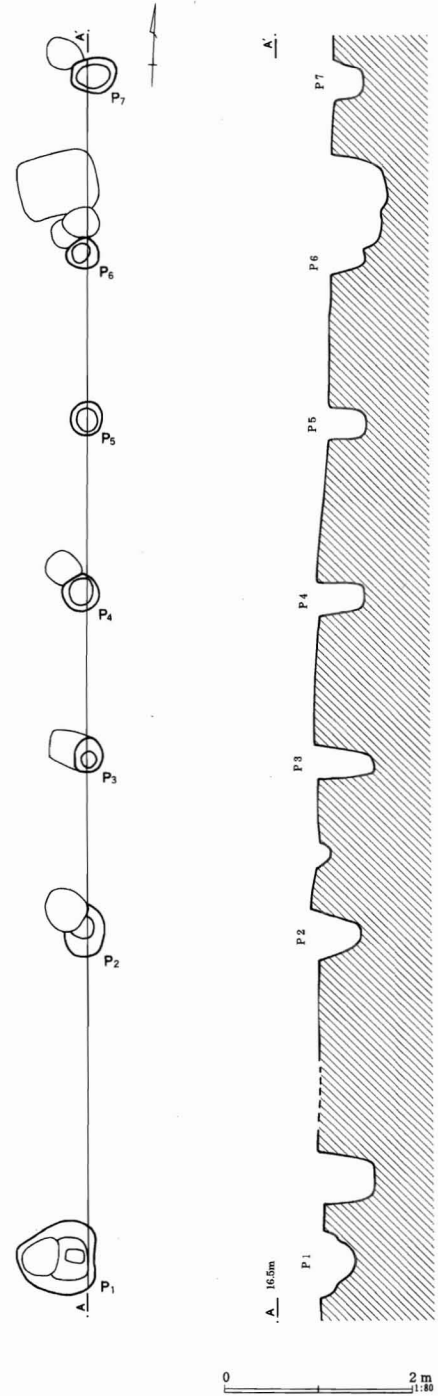


が、比較的長い柱穴列と認識されるものを抽出し、柵列とした。

#### 第1号柵列（第29図）

E-5～6区にかけて位置する。第1号掘立柱建物跡の梁行に並行して南側に位置し、第2号、第3号掘立柱建物跡と一部重複する。柵列の規模は11.76mで、

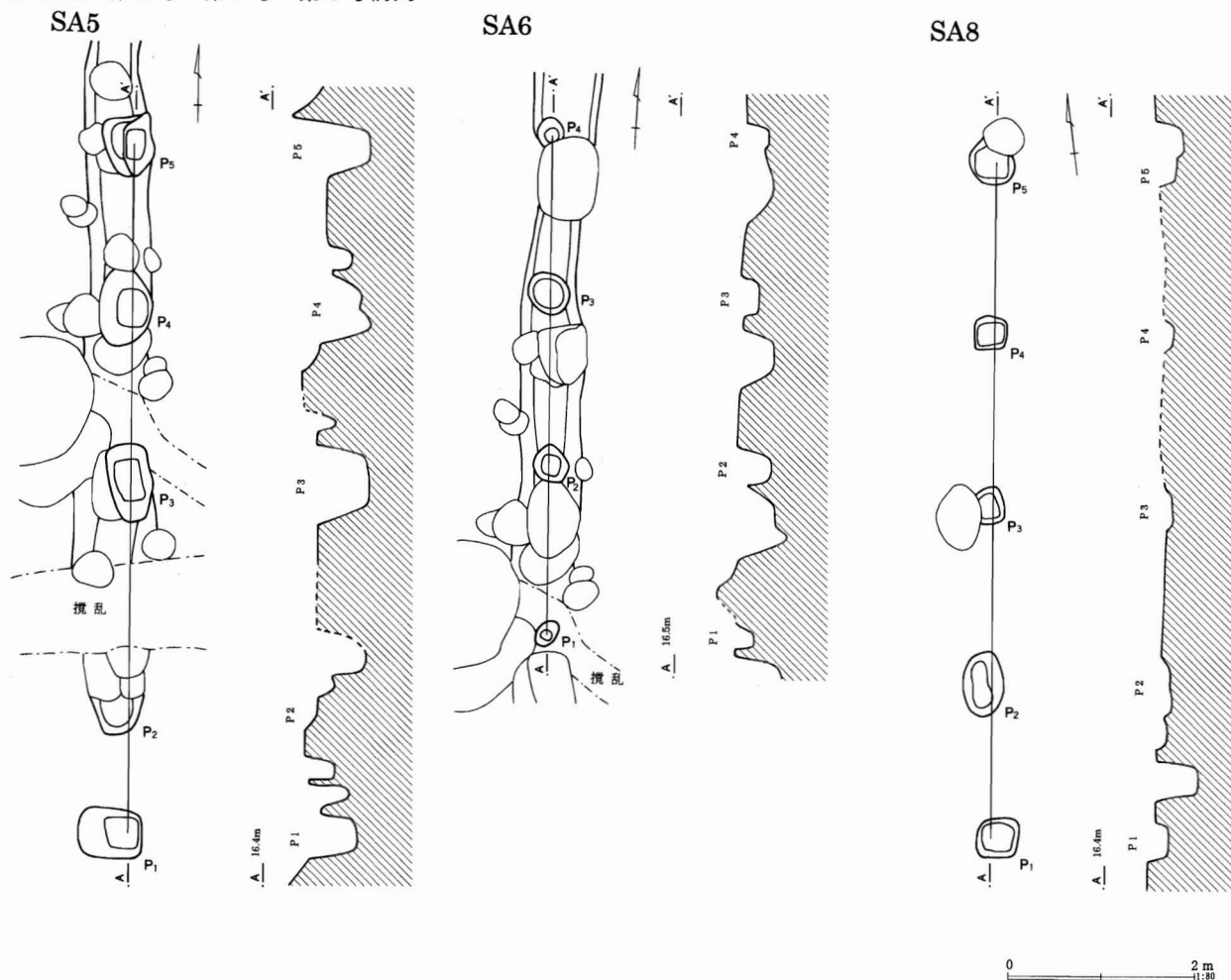
SA4



6間分の柱穴が確認された。P6とP7の間隔がやや開くので、P1～P6(8.64m)で構成されていた可能性もある。P1～P7までの平均間尺は1.96m、P1～P5までの平均間尺は1.73mとなる。主軸方位はN-78°-Eである。

#### 第2号柵列（第29図）

第31図 第5号・第6号・第8号柵列



D-8~9区にかけて位置する。第5号、第8号掘立柱建物跡、第7号柵列と重複する。第7号柵列とは梁行が並行している。柵列の規模は14.72mで、P2とP3の間の1本を攪乱で欠損するが、8間分で構成されていたものと思われる。P1~P8までの平均間尺は1.84mとなる。第2号柵列は掘立柱建物跡になる可能性もあるが、明瞭に対応する柱穴を抽出できなかった。主軸方位はN-91°-Wである。

### 第3号柵列 (第30図)

D~E-7区にかけて位置する。第4号掘立柱建物跡の東桁行とややずれながら一部重複して存在する。柵列の規模は9.36mで、P3とP4の間の1本を攪乱で欠損するが、5間分で構成されていたものと思われる。P1~P5までの平均間尺は1.87mとなる。主軸

方位はN-6°-Eである。

### 第4号柵列 (第30図、第33図)

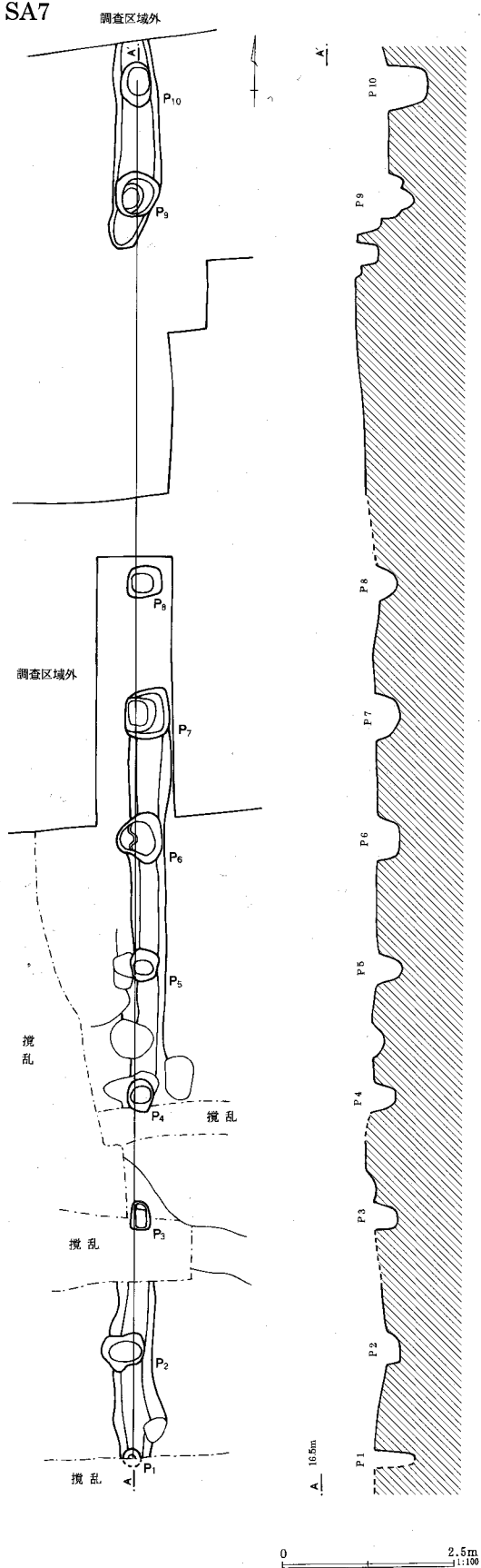
D~E-8区にかけて位置する。第5号掘立柱建物跡の西桁行と交差しながら存在する。柵列の規模は確定できないが、12.64mで、P1とP2の間の1本を攪乱で欠損するが、7間分、もしくはそれ以上で構成されていたものと推定される。P1~P7までの平均間尺は1.81mとなる。第5号柵列と組んで掘立柱建物跡になる可能性もあるが、桁行は平行しても柱穴が明瞭に対応しなかった。主軸はN-2°-Wである。柵列を構成するP7から、宋銭が出土している。

### 第5号柵列 (第31図)

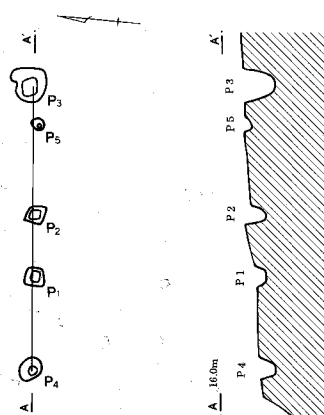
E-8区に位置する。第5号掘立柱建物跡の東桁行



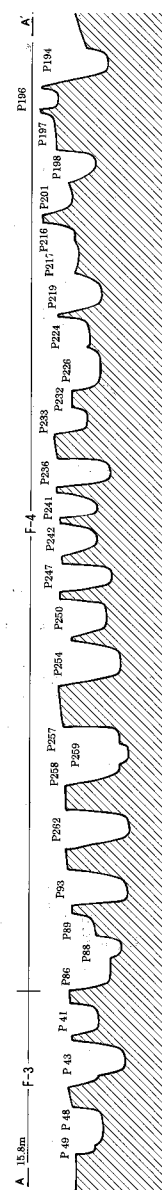
第32图 第7号·第9号·第10号·第11号栅列  
SA7



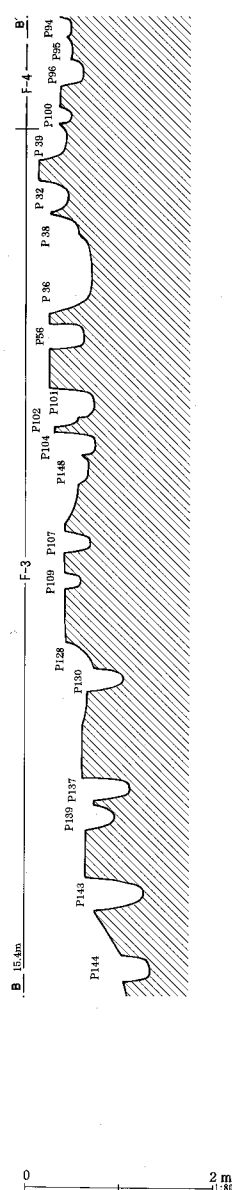
SA11



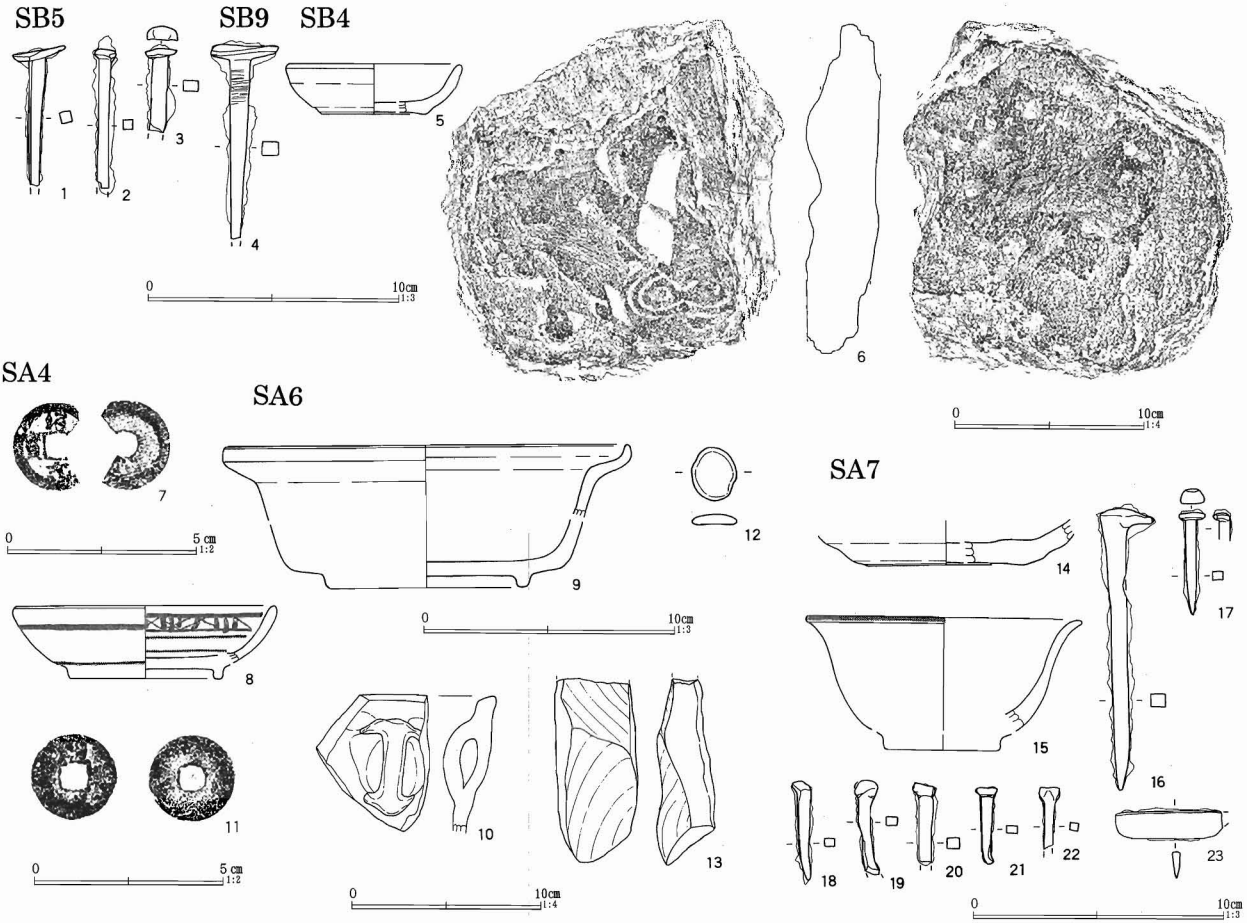
SA9



SA10



第33図 掘立柱建物跡・柵列出土遺物



掘立柱建物跡・柵列跡出土遺物観察表

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SB5												
33	1	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.1、現存長 5.5cm								
	2	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 5.5cm								
	3	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.3cm								
SB4												
33	5	土 器	かわらけ	(7.0)	2.0	(4.0)					在地系	
	6	石	板 碑	残存長 17.5、幅 14.9、厚さ 3.8cm								
SB9												
33	4	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.7、現存長 7.7cm								
SA4												
33	7	古 銭	紹聖元寶	銭径 23.8、内径 19.1、銭厚 1.50mm、量目 1.47 g							北宋 1094 年	
SA6												
33	8	磁 器	小 皿	(10.5)	(2.3)			丸 形	横 線		在地系	16c 青磁釉
	9	磁 器	五 寸 皿	(16.1)	(3.0)			稜 皿 形				
	10	土 器	土 鍋		(7.3)							
	11	古 銭	不 明	銭径 22.9、内径 19.8、銭厚 1.51mm、量目 2.10 g								
	12	石	碁 石	長径 2.1、短径 1.8、厚さ 0.5cm								
	13	石	碁 石	残存長 9.9、幅 4.5、厚さ 3.0cm								
SA7												
33	14	土 器	かわらけ		(1.8)	(6.1)					在地系	中国 口紅
	15	磁 器	小 碗	(10.9)	(4.5)			端 反 形				

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
33	16	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.1、長さ 11.5cm								
	17	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.2cm								
	18	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 4.1cm								
	19	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.8cm								
	20	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.2cm								
	21	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.1cm								
	22	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 2.4cm								
	23	鉄	刃 物	現存長 4.2、刃幅 1.1、背幅 0.3cm								

と交差しながら、また、第6号柵列とほぼ重複しながら存在する。柵列の規模は確定できないが布掘を持つ柵列で、7.52mの4間分、もしくはそれ以上で構成されていたものと推定される。P1～P5までの平均間尺は1.88mとなる。第6号柵列と布掘を共有しており、同一場所に何回か建て替えている可能性が高い。主軸はN-1°-Wである。

#### 第6号柵列（第31図、第33図）

D～E-8区にかけて位置する。第5号掘立柱建物跡の東桁行と交差し、また、第5号柵列とほぼ重複しながら存在する。やはり、柵列の規模は確定できないが第5号柵列と共通する布掘を持ち、5.44mの3間分を確認したが、それ以上で構成されていたものと推定される。P1～P4までの平均間尺は1.81mとなる。主軸はN-4°-Wである。布掘の中より、染付の磁器、青磁皿、土鍋、古銭、碁石、砥石が出土している。

#### 第7号柵列（第32図、第33図）

C～E-9区にかけて位置する。第7号掘立柱建物跡の桁行と平行し、その東側に位置し、また、第6号掘立柱建物跡と一部重複しながら存在する。柵列の規模は確定できないが第5号柵列と同様な布掘を持ち、20.20mの推定を含む11間分を確認したが、それ以上で構成されていたものと推定される。P8～P9の間に柱穴を確認できなかったが、門状の施設も考えられる。P1～P10までの平均間尺は1.84mとなる。主軸はN-1°-Wである。布掘の中よりかわらけの底部破片、磁器の端反茶碗、刀子、鉄釘が出土している。

#### 第8号柵列（第31図）

E-9区に位置する。第6号、第7号掘立柱建物跡、第15号溝と重複する。柵列の規模は確定できないが7.36mの4間分を確認したが、それ以上で構成されていたか、もしくは掘立柱建物跡を構成していた可能性もある。P1～P4までの平均間尺は1.84mとなる。主軸はN-5°-Eである。

#### 第9号柵列（第32図）

F-3～4区にかけて位置する。明確に列としての柱穴列を指摘し得ないが、何重にも重複するピット群列を柵列として認識した。何回もの建て替えを行っているもので、その都度の柱穴の組み合わせは限定し得ない。円形を基本とし、比較的深くてしっかりとした大きな柱穴が多く、柵列といっても堅固な構築物が考えられる。さらに、西方向に延びるものであるが、ローム面が傾斜していることや、第3号堀などに攪乱される等、全体構成は不明な点が多い。第10号井戸と重複する部分で、比較的大きくしっかりとしたピットが軸からはずれて、軸を取り囲むように配置されている部分がある。門などの施設が想定される。約12m程を認定したが、堀まで続くとなると19mを測る。主軸方位はN-66°-Eである。

#### 第10号柵列（第32図）

F-3～4区にかけて位置する。第9号柵列と、軸を同じくし若干離れて重複する。第10号柵列と同一の

可能性もある。約10mを認識した。主軸方位はN-67°-Eである。

#### 第11号柵列 (第32図)

H-4～5区にかけて位置する。間隔は不揃いであ

#### (4) 竪穴状遺構

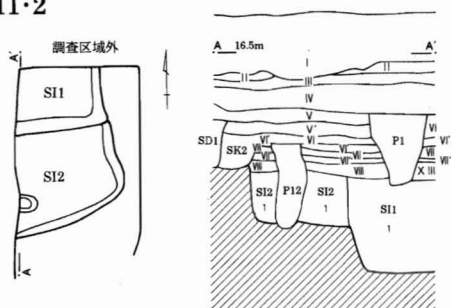
方形状の竪穴で、他に特別の付属施設が認められないものを竪穴状遺構とした。明瞭な出土遺物はないが、構築面等の検討から、中世段階の遺構であることが理解される。

るが、柵列の規模として約3.04mを認識した。第11号柵列の南側には、4本柱穴を組み合わせたもので、明確にはし得ないが祠状の建物跡が検出されている。主軸方位はN-85°-Eである。

#### 第1号竪穴状遺構 (第34図)

D-5区に位置する。第2号竪穴状遺構と重複し、本遺構の方が新しい。プランは方形状を呈するものと思われ、長径0.70m、短径0.53m、深さ0.79mを調査した。基本土層のⅧ層でバックされており、追認できる遺構の中で最も古い遺構の一つである。しかし、出

第34図 竪穴状遺構  
SI1・2



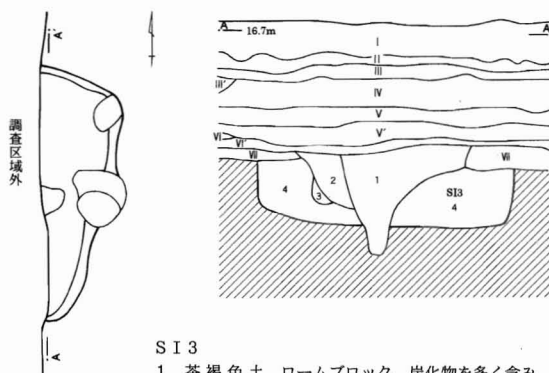
##### SI1

1 黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりやや弱い。

##### SI2

1 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含み、しまり強い。

##### SI3



##### SI3

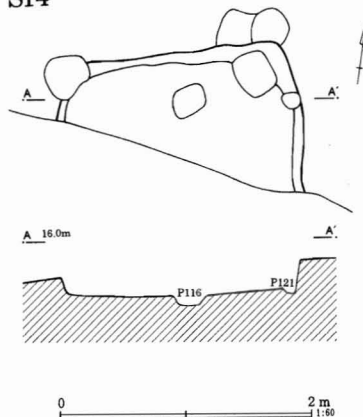
1 茶褐色土 ロームブロック、炭化物を多く含み、やや脆い。

2 灰白色土 灰・墨を多量に含む。

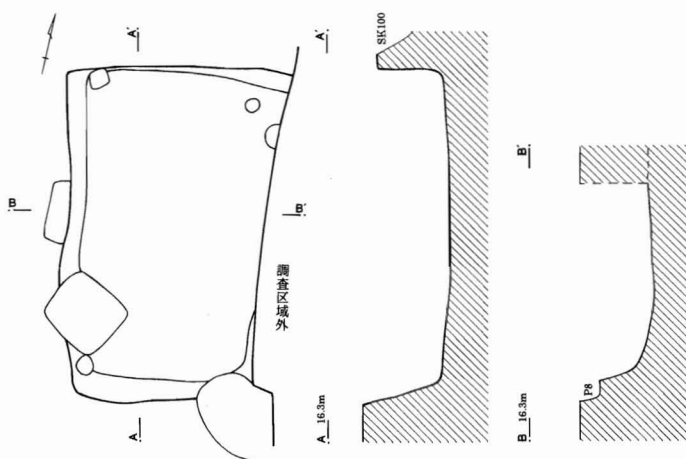
3 暗茶褐色土 灰を少量含み、非常に脆い。

4 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含み、脆い。

##### SI4



##### SI5



土遺物が無く、実際の時期は不明である。遺構の覆土は分層することができず、1層で構成されている。一度に埋められているものと思われる。

### 第2号竪穴状遺構（第34図）

D-5区に位置する。第1号竪穴状遺構と重複し、本遺構の方が古い。プランは方形状を呈するものと思われ、長径0.82m、短径0.78m、深さ0.31mを調査した。基本土層のⅧ層でバックされており、追認できる遺構の中で最も古い遺構の一つである。しかし、出土遺物が無いのは第1号竪穴状遺構と同じであり、実際の時期は不明である。遺構の覆土は同様に分層することができず、1層で構成されている。一度に埋められているものと思われる。床面の南側にピットが存在するが、土層断面で理解されるようにⅥ層段階からの掘り込みピットである。

### 第3号竪穴状遺構（第34図）

D-5区に位置する。南北とトレンチの断面にかかっている遺構であるが、プランは方形状を呈するものと思われ、長径2.02m、短径0.66m、深さ0.48mを調査した。床面はやや皿状を呈するが、壁は直に立ち上がる。基本土層の第Ⅶ層でバックされており、第1

## （5）地下式墳

入口が付き、横穴状の主体部を持つ遺構を地下式墳として認定した。土層断面で把握されるように基本土層Ⅶ下に構築されているものが多い。

### 第1号地下式墳（第35図、第37図）

D-7～8区にかけて位置する。主体部の大半が調査区外にあるため、全体の形状を確定できないが、方形状の主体部を持つものと思われる。しかし、入口部の西側の辺が斜め方向に走っていることから、他の遺構と重複している可能性がある。長径4.00m、短径1.70m、深さ2.07mを測る。約1m弱の方形状の入口が付き、約1.8m程下がった底面からさらに0.25m程

号、第2号竪穴状遺構よりも新しい。出土遺物が無く、遺構の覆土が分層できない点等が類似する。中央部にはⅥ層から掘り込まれたピットや、それに伴う新しい土層が観察される。さらに、東壁中央部で、第1号掘立柱建物跡と重複するが、掘立柱建物の方が新しいものと判断された。

### 第4号竪穴状遺構（第34図）

E-6区に位置する。第5号溝によって遺構南半分を欠損する。また、第6号溝とも重複するが、本遺構の方が古い。プランは方形状を呈するものと思われ、長径1.92m、短径1.18m、深さ0.29mを調査した。出土遺物は無く、実際の時期は不明である。床面は比較的平坦で、壁は直に立ち上がる。

### 第5号竪穴状遺構（第34図）

B-10区に位置する。遺構東半分が調査区外に当たり、第9号掘立柱建物跡や第1号堀と重複するが、本遺構の方が古いと判断された。プランは方形状を呈するものと思われ、長径2.66m、短径1.72m、深さ0.64mを調査した。出土遺物は無く、実際の時期は不明である。

の段が付いて主体部底面となる。入口部底面には小ピットが2ヶ所に付き、階段の足場を想起させる。底面は平坦で、壁は直に立ち上がり、1.2m程上からドーム状にハングし始める。第Ⅶ層にバックされており、開口部付近には天井部の崩落土が層上に堆積していた。遺物は入口部の底部付近からかわらけ、播鉢、陶器の深皿、鉄釘、板碑の破片が出土しており、上の方からも播鉢の破片が出土している。

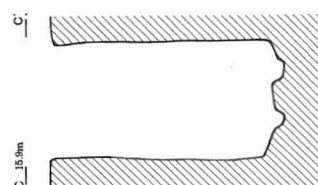
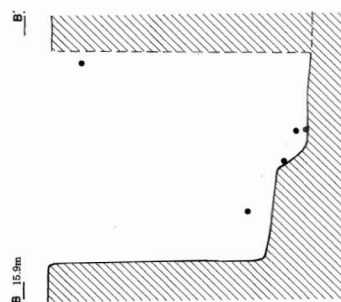
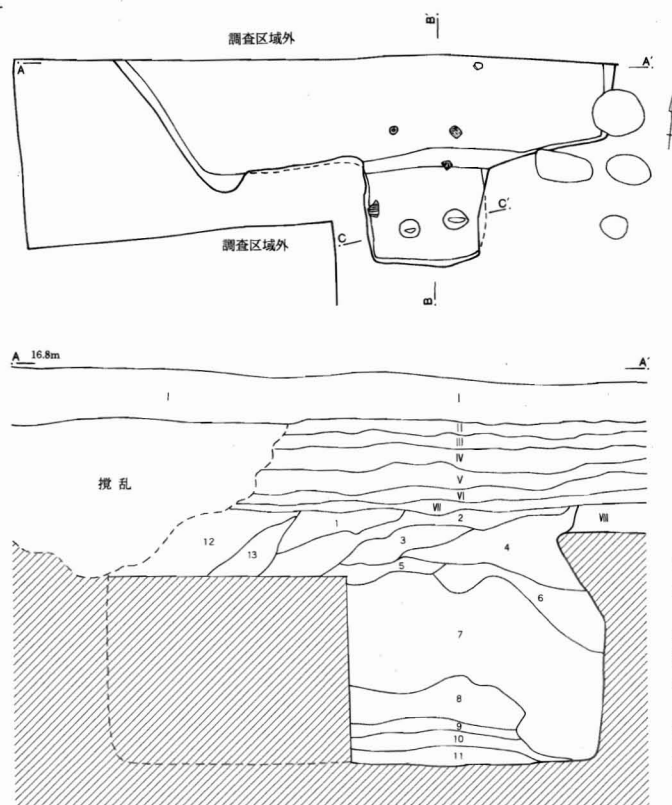
### 第2号地下式墳（第35図、第37図）

D-7区に位置する。主体部の半分が調査区外にあるため、全体の形状を確定できないが、やや隅丸の方形状の底部を持つものと思われる。そして、調査時



第35図 地下式竈（1）

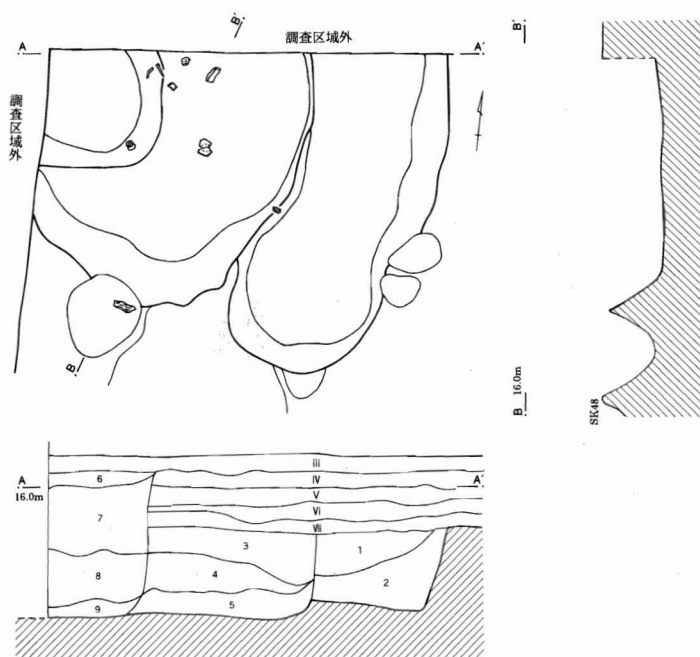
SL1



SL1

- 1 黒褐色土 ロームを主体とし褐色土少量混入。白色砂をブロック状に含む。しまりよし。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを主体とし褐色土混入。
- 3 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロックおよび黒褐色土ブロックを混入。しまり弱い。
- 5 黒褐色土 ローム粒子を少量、炭化物・焼土粒子を微量に含む。
- 6 黒褐色土 ローム粒子を少量含み、しまりなく脆い。
- 7 黒褐色土 ローム大ブロックを主体とし、暗褐色土充填。しまりなし。
- 8 黒褐色土 ローム粒子・ローム大ブロック混入。
- 9 暗褐色土 ロームを主体とし、黒褐色土混入。粘性あり。
- 10 黒褐色土 ローム粒子を少量含み、粘性あり。
- 11 黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、粘性あり。
- 12 黒褐色土 焼土をわずかに含み、しまりなし。
- 13 暗褐色土 黄褐色砂質土ブロックを少量含み、炭化物を微量に含む。しまりよし。

SL2

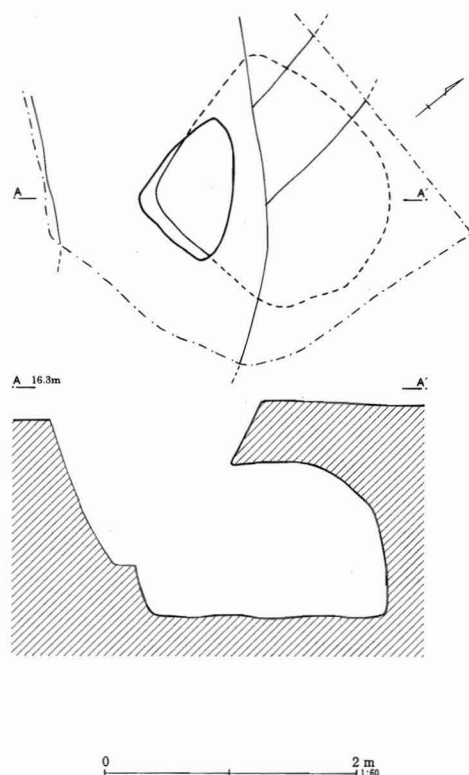


SL2

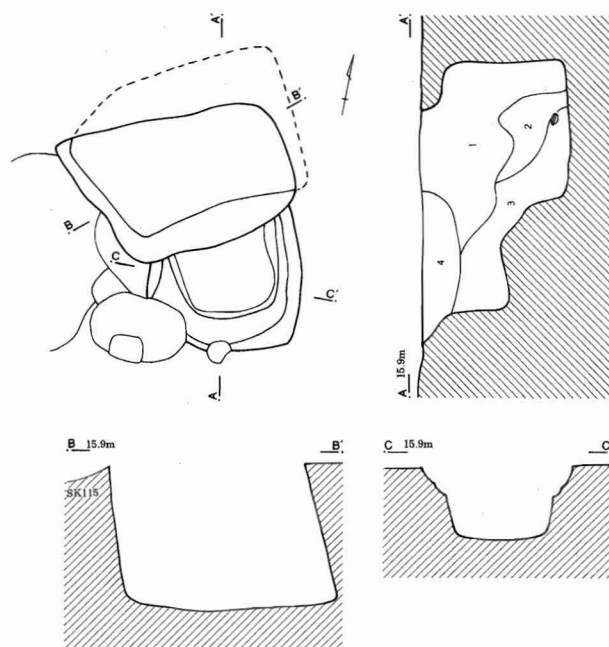
- 1 暗褐色土 炭化材（やや大きめ）を含み、しまりよし。
- 2 暗茶褐色土 ロームブロックを多く含み、粘性あり。
- 3 黒褐色土 炭化物、焼土粒子を多く含む。
- 4 暗茶褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 5 暗褐色土 炭化物を少量含む。
- 6 黒褐色土 炭化物、焼土粒子を多めに含む。
- 7 暗褐色土 小礫をやや多く含み、炭化物を少量含む。
- 8 暗茶褐色土 ロームブロックを多量に含み、しまりよし。
- 9 暗褐色土 白色粘土ブロックを多く含む。

0 2m  
1:60

第36図 地下式墳 (2)  
SL3



SL4



SL4

- 1 暗褐色土 白色粘土を主体、暗褐色土を客体とする埋土。粘性強く、しまりやや強い。
- 2 黄褐色土 ハードローム。落盤した天井部。粘性・しまり共に強い。
- 3 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。粘性・しまり共欠く。
- 4 暗茶褐色土 白色粘土ブロックを多量に含む。粘性・しまり共に弱い。

点では同一と思われていたが、終了時には中央の主体部の他に、東側に長楕円形の土壌が、西側に不整形の土壌が重複していることが判明した。従って、遺物等混在していて判別のつかないものが存在するため、全体を第2号地下式墳として、区分し得る遺物は区分した。第2地下式墳は3つの遺構の重複状態として認識されるが、中央と東側の2つの遺構は第Ⅶ層下に構築されており、西側の遺構は第Ⅲ層下に構築され時間差は歴然としていた。長径3.20m、短径2.56m、深さ0.77mを測る。図示した遺物の分布は、この西端の遺構に伴うものと判断され、近世の遺物が集中する。遺物は第37図に図示したが、12~20は東端の遺構出土で、21~29は混在しているが中央と西端の遺構からの出土である。内、青磁水差し23、陶器皿24、染付磁器25、青銅製釘30、31、板碑破片29は実測図内に分布を示したものである。これ等は寛永通寶47や多くの鉄器類と同様に、共に近世段階で廃棄されたものと判断される。また、21、22のかわらけはその器形から中世段階のも

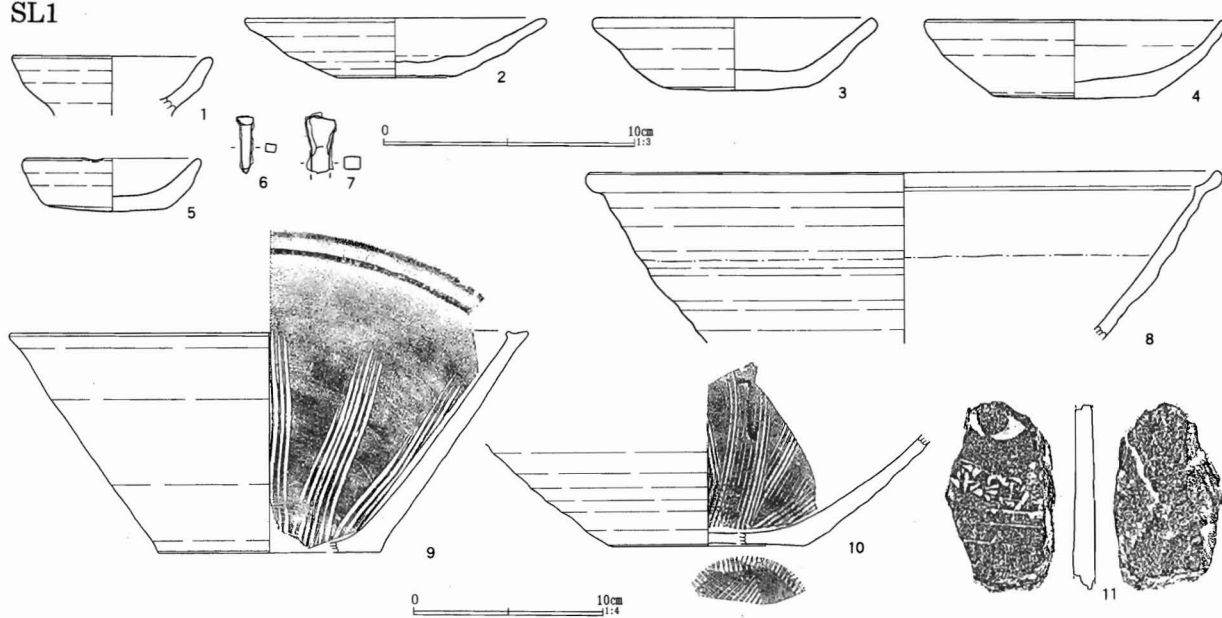
のと判断され、中央の地下式墳から出土したものと思われる。

### 第3号地下式墳 (第36図、第38図)

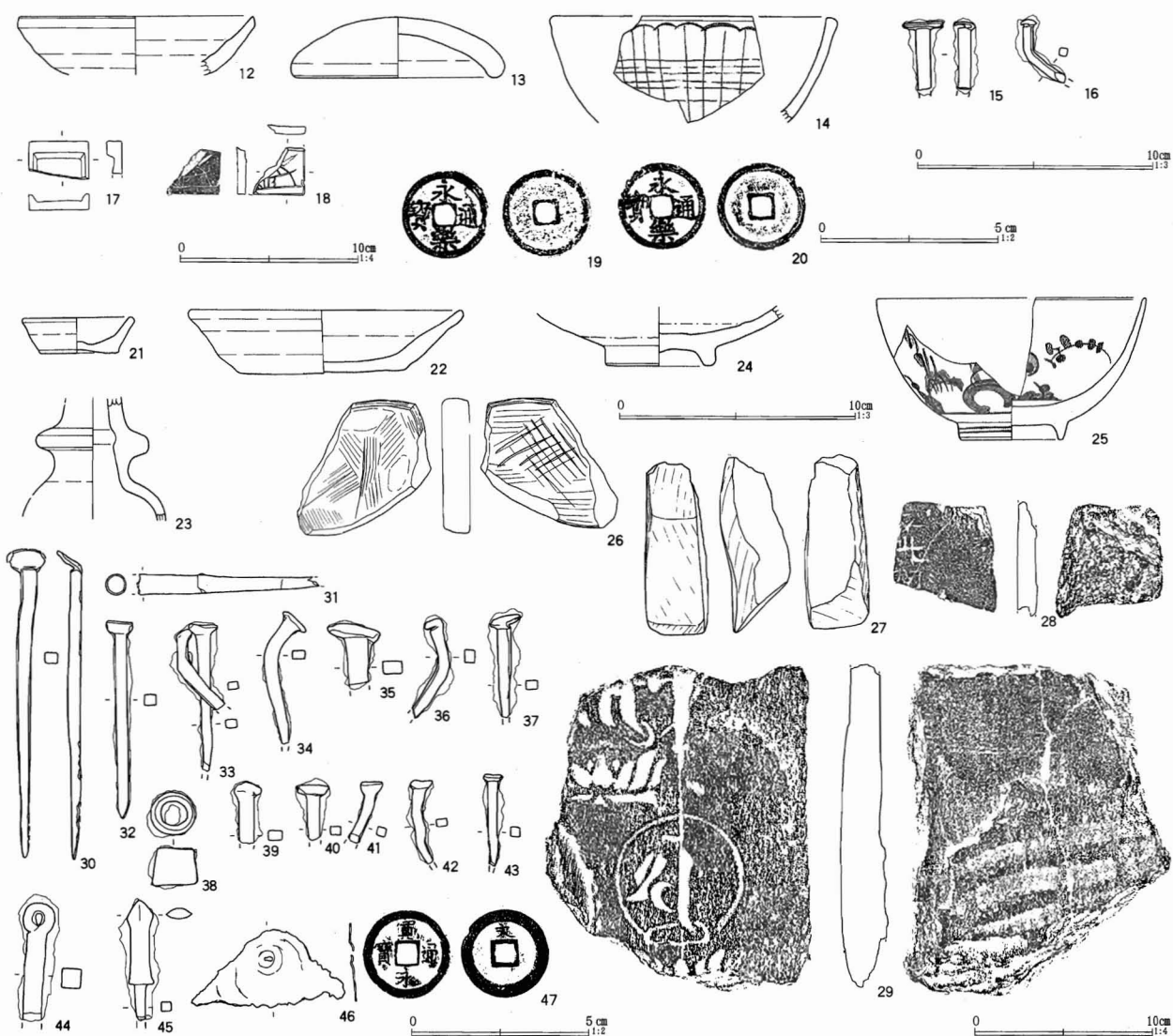
F-7区に位置する。第5号溝と重複関係にあり、溝の壁面に開口部が存在するような形態である。入口部が他の部分に存在していたかは不明であるが、溝壁面の開口部以外は天井部分が存在していた。この地下式墳の入口部が、第5号溝の壁面に存在するとすれば、大変珍しい事例となる。主体部は方形状を呈するもので、長径0.80m、短径0.73m、深さ1.27mを測る。遺物は底部付近の柔らかい覆土の中から、第38図1~4のかわらけが出土している。1~3はやや小形のかわらけで、2は口縁部に灯芯を出す部分と思われる刻みが施されており、灯明皿と推定される。全体的に底部の造りが厚く、高い器高で、内面の底部と体部の立ち上がり部分に、強い凹線状の整形を施しているのが特徴的である。また、口唇部にやや外削状の強い整形を

第37図 地下式墳出土遺物 (1)

SL1

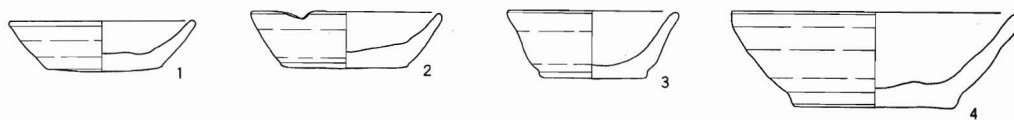


SL2

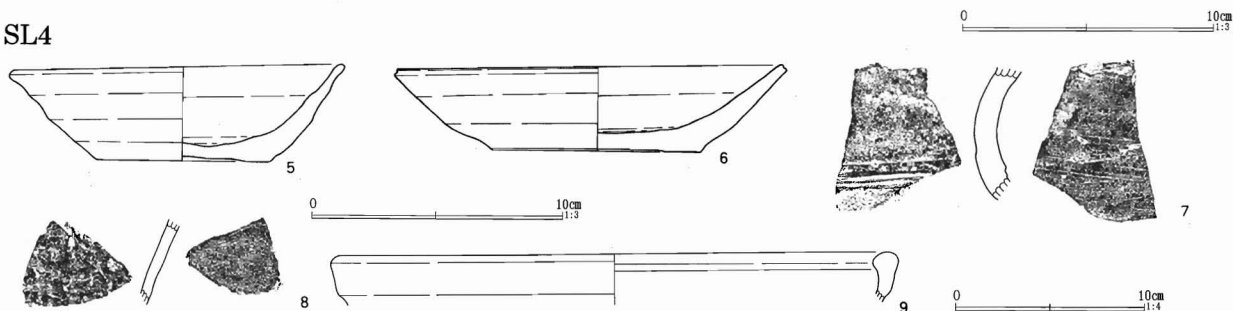


第38図 地下式竈出土遺物（2）

SL3



SL4



地下式竈出土遺物観察表

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SL1												
37	1	土 器	かわらけ	(7.0)	(2.4)						在地系	15c 後 口灰釉 15c 後 15c 後 鉄釉
	2	土 器	かわらけ	(12.0)	2.4	4.6					在地系	
	3	土 器	かわらけ	(11.3)	2.8	(5.6)					在地系	
	4	土 器	かわらけ	(12.0)	3.1	(6.4)					在地系	
	5	土 器	かわらけ	7.1	2.1	4.0					在地系	
	6	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、長さ 2.3cm								
	7	鉄	頭 巻 釘	現存長 2.2cm								
	8	陶 器	深 皿	(33.8)	(15.0)			折 線 形			瀬 戸	
	9	炆 器	播 鉢	(27.7)	11.7	(11.7)					在地系	
	10	炆 器	播 鉢		(6.0)	(10.0)					瀬戸美濃	
	11	石	板 碑	残存長 9.8、幅 5.3、厚さ 1.1cm								
SL2												
37	12	土 器	かわらけ	(10.0)	(2.5)						在地系	焼き塩壺の蓋？ 16c 前 青磁釉 B4類       明 1408 年 明 1408 年    17c 青磁釉 17c 後見込蛇の目釉剥ぎ 17c 後
	13	土 器	蓋 ？	(9.0)	2.6						在地系	
	14	磁 器	中 碗	(11.5)	(4.5)			丸 形	連弁文		龍泉窯	
	15	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.7、現存長 2.9cm								
	16	鉄	頭 巻 釘	頭幅 0.7、現存長 3.1cm								
	17	石	硯	残存長 2.2、幅 3.4、厚さ 0.9cm								
	18	石	硯	残存長 2.7、幅 3.0、厚さ 0.5cm								
	19	古 銭	永楽通宝	銭径 24.8、内径 20.8、銭厚 1.32mm、量目 2.20 g								
	20	古 銭	永楽通宝	銭径 25.1、内径 20.8、銭厚 1.65mm、量目 3.05 g								
	21	土 器	かわらけ	4.7	1.5	3.3					在地系	
	22	土 器	かわらけ	11.4	2.9	7.0					在地系	
	23	磁 器	燭 台 ？		(5.0)							
	24	陶 器	皿		(2.5)	4.6					肥前系	
	25	磁 器	中 碗	(10.4)	6.1	4.3		丸 形	草花文		肥前系	
	26	土 器	転 用 硯	残存長 7.6、幅 7.5、厚さ 1.6cm								
	27	石	砥 石	残存長 9.8、幅 3.7、厚さ 3.8cm								
	28	石	板 碑	残存長 6.4、幅 5.7、厚さ 1.2cm								
	29	石	板 碑	残存長 18.3、幅 14.3、厚さ 2.6cm								
	30	銅	頭 巻 釘	頭幅 1.6、長さ 13.0cm								
	31	銅	煙管吸口	径 0.9、現存長 7.7cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
37	32	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、長さ 8.3cm								2 本付着
	33	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.2cm								
	34	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.6cm								
	35	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.2、現存長 2.8cm								
	36	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.2cm								
	37	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.4cm								
	38	鉄	不 明	幅 1.9、長さ 1.6cm								
	39	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 2.5cm								
	40	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 2.3cm								
	41	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 2.8cm								
	42	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.6cm								
	43	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.9cm								
	44	鉄	不 明	先端部幅 1.4、現存長 5.1cm								
	45	鉄	鉄 鏃	鏃身部幅 1.2、現存長 5.0、厚さ 0.5cm								
	46	銅	不 明	幅 3.3、長さ 6.5cm								
	47	古 銭	寛永通寶	銭径 25.2、内径 20.3、銭厚 1.30mm、量目 2.17 g								銅版破片 文銭 1668 年
	SL3											
38	1	土 器	かわらけ	7.4	2.1	4.4					在地系	
	2	土 器	灯 明 皿	7.7	2.2	5.0					在地系	
	3	土 器	かわらけ	6.7	2.7	4.2					在地系	
	4	土 器	かわらけ	11.4	4.7	6.3					在地系	
SL4												
38	5	土 器	かわらけ	(13.0)	3.9	7.0					在地系	14c 後
	6	土 器	かわらけ	15.2	3.6	8.4					在地系	14c 後
	7	炆 器	甕								常 滑	14c 後
	8	土 器	鍋								在地系	
	9	土 器	鍋	(30.4)	(2.6)						在地系	

施すのも特徴的である。

#### 第 4 号地下式墳（第36図、第38図）

F～G－4 区にかけて位置する。約 0.9m 程度の方形状の入口部から、台形状に開く主体部に繋がっており、開口部底面から主体部底面までにかけて緩やかな段差を持つ。開口部から主体部までの長径 2.30m、短径 1.87m、深さ 1.21m を測る。主体部の天井部は崩落していたが、壁面近くは残存しており、残存天井部までの高さは約 1m を測る。底面は平坦であり、壁面への遺構は緩いが、壁は直に立つ。壁から天井部への遺構も緩い。遺物は床面近くから大形のかかわらけが 2 点

出土しており、覆土から甕の破片も出土している。第 28 図 5、6 はかわらけで、5 はやや器高の高いもので、底部が厚く、底部糸切り後未調整で、体部に轆轤成形痕を強く残すのを特徴とする。内面底部には回転ケズリを施し、同心円状または螺旋状の削り痕が残る。非常に特徴的な成形痕を残す。6 は口径が大きくて器高の低い皿状を呈し、外面の成形痕はナデによって丁寧に消されている。やはり、底部は厚く、内面に回転ケズリを施した螺旋状の削り痕を残している。口唇端部は面取りを施している。両者とも赤褐色を呈する特徴的なかわらけである。



## (6) 土壌

土壌は調査区全体にわたって満遍なく存在しており、全て通し番号を付けて処理した。従って、墓壇、埋納遺構、門などを構成する遺構も土壌としたが、機能が明瞭なものについては別項目で取り扱うことにする。しかし、墓壇については必ずしも明確な判断根拠がないものも存在するため、本項で扱い、その可能性を指摘することにする。

### 第1号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは円形で、やや大きなピット状を呈するものと思われる。長径0.41m、短径0.22m、深さ0.45mを測る。遺構北側半分が調査区外にある。底面は小さく、やや尖り気味となる。遺物は出土していない。

### 第2号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは楕円形を呈するものと思われ、底面は丸底状を呈する。遺構の4分の1程を調査した。長径0.44m、短径0.37m、深さ0.22mを測る。遺物は出土していない。

### 第3号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは不整円形で、一部が調査区外に当たる。底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径0.54m、短径0.40m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

### 第4号土壌 (第39図、第50図)

D-5区に位置する。遺構のプランはほぼ円形で、一部が調査区外に当たる。底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.42m、短径0.38m、深さ0.18mを測る。遺物は中国製染付磁器皿と、キセルの雁首が出土している。

### 第5号土壌 (第39図、第50図)

D-5区に位置する。第10・11・12号土壌と重複す

る。遺構のプランは円形で底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径0.78m、短径0.57m、深さ0.44mを測る。遺物は土壌上面を被う様に火消壺の破片と、その蓋、宋銭が出土している。火消壺は完形に復元された。

### 第6号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは長方形に近い楕円形で、一部が第3号堅穴状遺構と重複する。底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径0.63m、短径0.46m、深さ0.08mを測る。遺物は出土していない。

### 第7号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第10号土壌、中央部でグリッドピットと重複する。遺構のプランは不整楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.64m、短径0.42m、深さ0.53mを測る。遺物は出土していない。

### 第8号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。遺構のプランは不整円形で、底面はやや凹凸があり、壁は緩く立ち上がる。長径0.48m、短径0.42m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

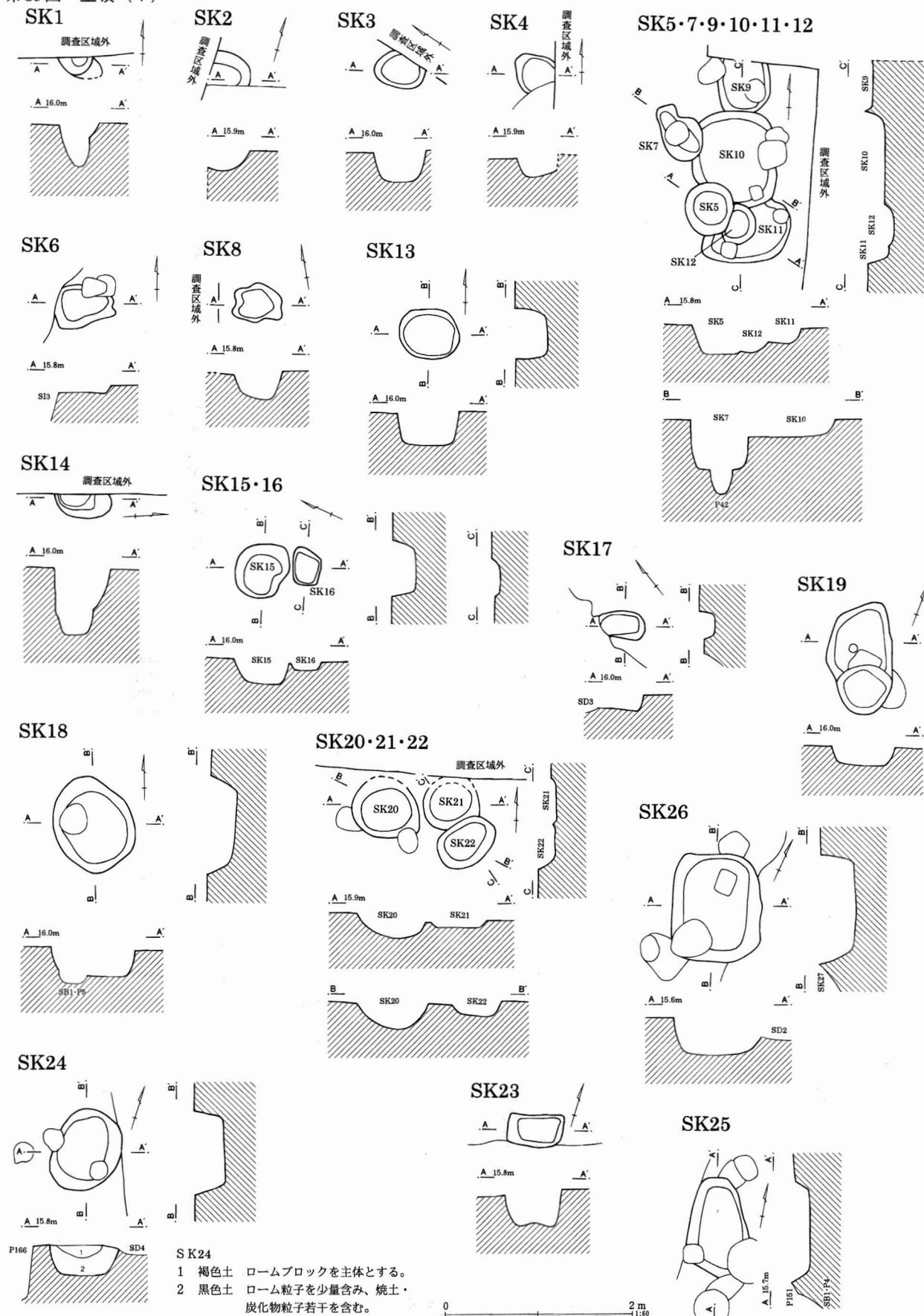
### 第9号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第10号土壌、グリッドピットと重複し、一部が調査区外に当たる。遺構のプランは楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.54m、短径0.56m、深さ0.07mを測る。遺物は出土していない。

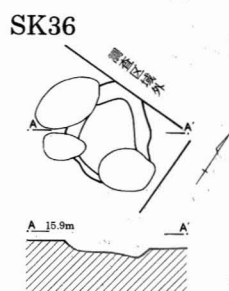
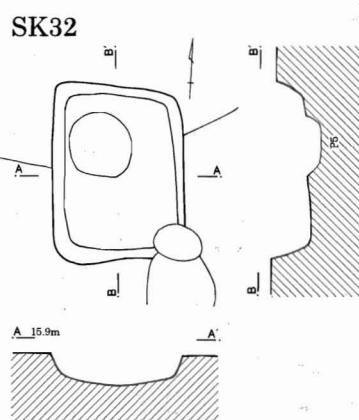
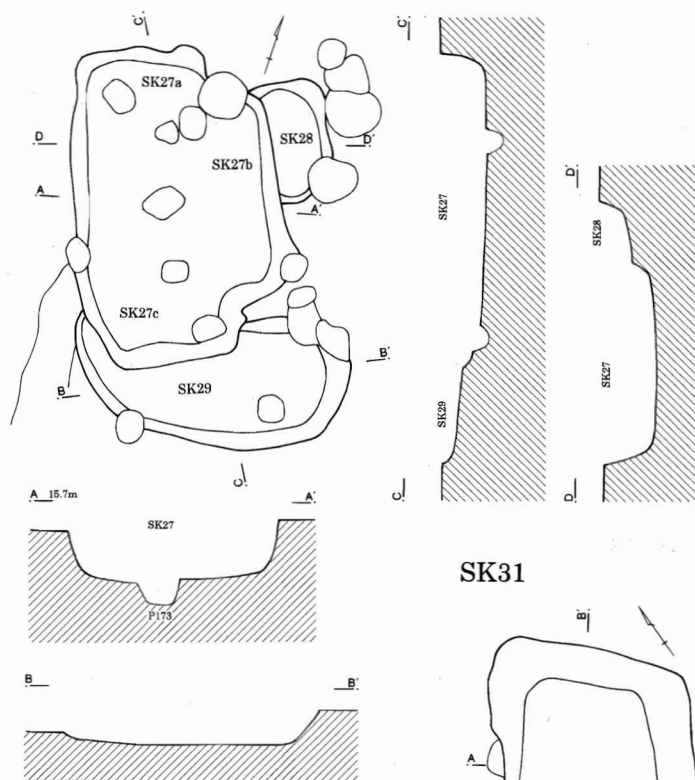
### 第10号土壌 (第39図)

D-5区に位置する。第5・7・9・11・12号土壌、グリッドピットと重複する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径1.01m、短径0.90m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していないが、第10号土壌の確認面付近で良く焼けた焼土跡と灰

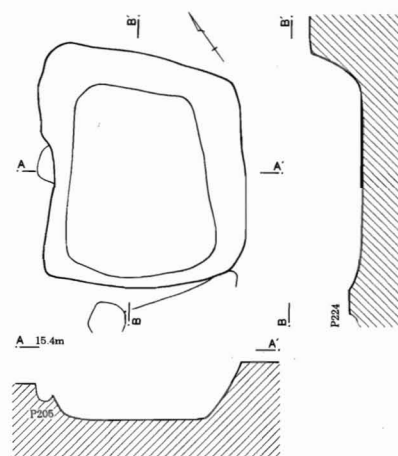
第39図 土壌 (1)



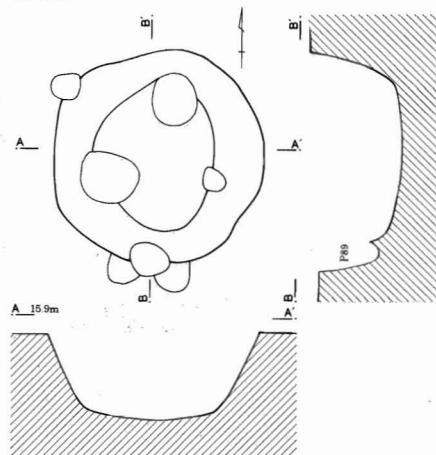
第40図 土坑 (2)  
SK27a・27b・27c・28・29



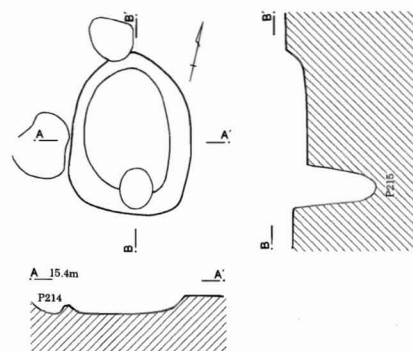
SK31



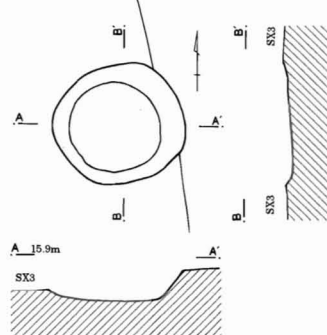
SK33



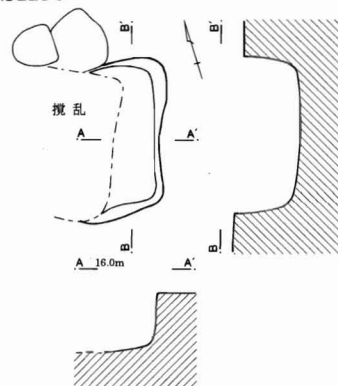
SK30



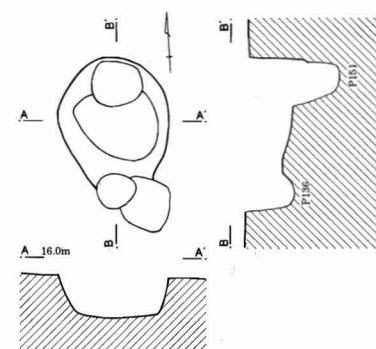
SK34



SK35

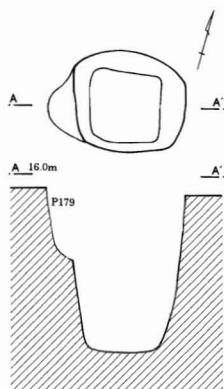


SK37

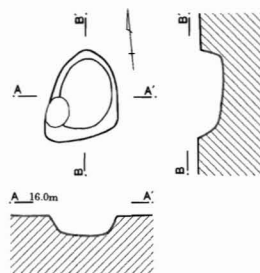


0 2 m 1:60

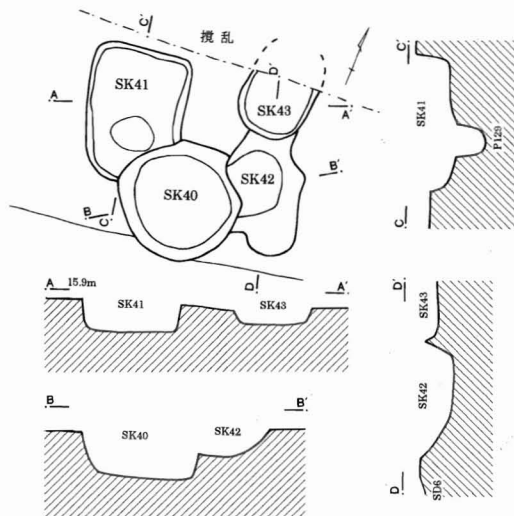
第41図 土壌 (3)  
SK38



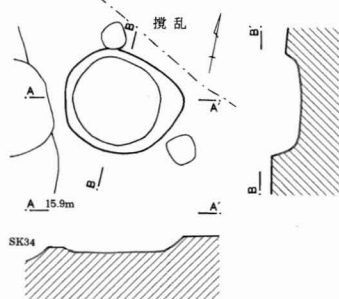
SK39



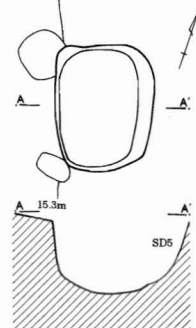
SK40・41・42・43



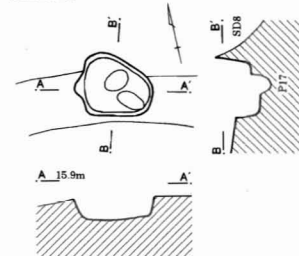
SK44



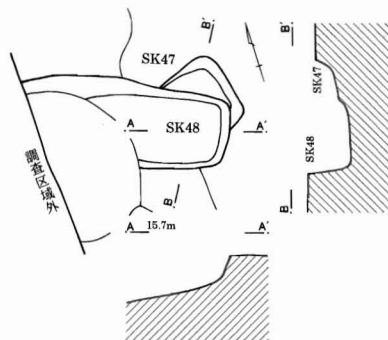
SK45



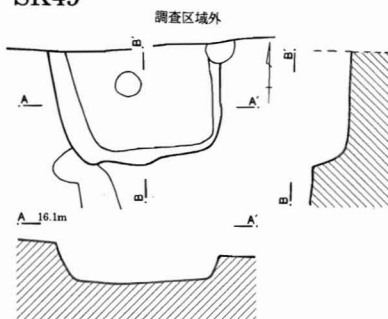
SK46



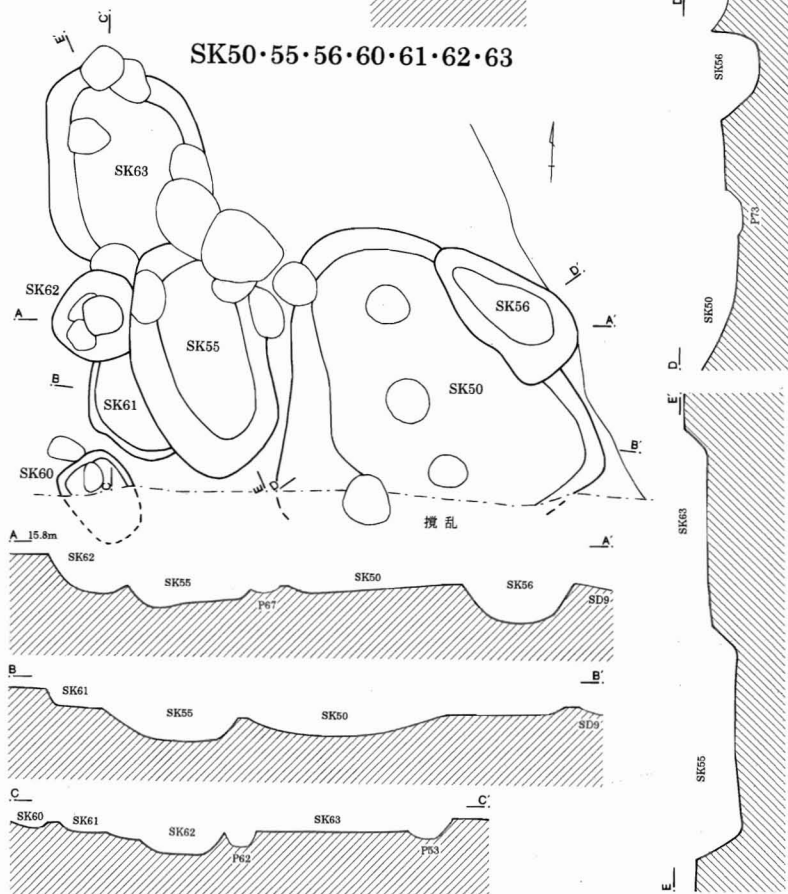
SK47・48



SK49



SK50・55・56・60・61・62・63



0 2 m  
1:60

が、1 m位の範囲で確認された(第60図参照)。

#### 第11号土壇 (第39図)

D-5区に位置する。第5・10・12号土壇、グリッドピットと重複する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦で、壁は緩く立ち上がる。長径1.00 m、短径0.58 m、深さ0.15 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第12号土壇 (第39図)

D-5区に位置する。第5・10・11号土壇、グリッドピットと重複する。遺構のプランはほぼ円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.43 m、短径0.35 m、深さ0.28 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第13号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.64 m、短径0.52 m、深さ0.35 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第14号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。ピット状の土壇で、半分程が調査区外に当たる。プランは不整円形である。底面は小さく平坦であるが、壁は直に立ち上がり、上部でやや開く。長径0.60 m、短径0.28 m、深さ0.70 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第15号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。第16号土壇が隣接する。遺構のプランは楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.65 m、短径0.56 m、深さ0.26 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第16号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。第15号土壇が隣接する。遺構のプランは不整円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く

立ち上がる。長径0.40 m、短径0.29 m、深さ0.08 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第17号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。第3号溝と重複する。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.48 m、短径0.30 m、深さ0.16 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第18号土壇 (第39図、第50図)

E-5区に位置する。第1号掘立柱建物跡のピットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.98 m、短径0.83 m、深さ0.28 mを測る。遺物は大・中・小のかわらけと陶器縁釉小皿、刀子、砥石が出土している。

#### 第19号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.15 m、短径0.68 m、深さ0.14 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第20号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。グリッドピットと重複し、第21・22号土壇と隣接する。遺構のプランは楕円形で、底面は皿状を呈し、壁は緩く立ち上がる。長径0.78 m、短径0.60 m、深さ0.28 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第21号土壇 (第39図)

E-5区に位置する。第22号土壇と重複し、第20号土壇が隣接する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.59 m、短径0.57 m、深さ0.07 mを測る。遺物は出土していない。

#### 第22号土壇 (第39図)



E-5区に位置する。第21号土壙と重複し、第20号土壙が隣接する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.65m、短径0.45m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

#### 第23号土壙（第39図）

E-5区に位置する。第3号溝と重複する。遺構のプランはほぼ長方形を呈し、底面は凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.59m、短径0.35m、深さ0.39mを測る。遺物は出土していない。

#### 第24号土壙（第39図）

E-5区に位置する。第4号溝、グリッドピットと重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.92m、短径0.68m、深さ0.31mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙であり、墓壙の可能性が高い。

#### 第25号土壙（第39図、第48図、第50図）

E-5区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは台形状を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.06m、短径0.66m、深さ0.26mを測る。第Ⅵ層より下から確認された土壙で、人骨が埋葬されていた。墓壙である。遺物は宋銭が出土している。

#### 第26号土壙（第39図）

E-5区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランはほぼ長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.16m、短径0.94m、深さ0.38mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙であり、墓壙の可能性が高い。

#### 第27a・b・c号土壙（第40図）

E-5区に位置する。第28・29号土壙、グリッドピットと重複するが、本遺構自体3基の土壙の重複と思われる。遺構のプランはそれぞれ長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。全体で長径2.52m、短径1.77m、深さ0.43mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙で、重複する墓壙の可能性が高い。

#### 第28号土壙（第40図）

E-5区に位置する。第27号土壙、グリッドピットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面はやや皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.97m、短径0.51m、深さ0.38mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙であり、墓壙の可能性が高い。

#### 第29号土壙（第40図）

E-5区に位置する。第27号土壙、グリッドピットと重複する。遺構のプランは不整長方形を呈し、底面はやや皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径2.18m、短径1.20m、深さ0.26mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙であり、重複した墓壙の可能性が高い。

#### 第30号土壙（第40図）

E-5区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.26m、短径0.95m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙であり、墓壙の可能性が高い。

#### 第31号土壙（第40図）

E-5区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面はやや皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.88m、短径1.59m、深さ0.40mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層より下から確認された土壙であり墓壙の可能性もある。し

かし、形状等から竪穴状遺構の可能性も考えられる。

#### 第32号土壌 (第40図)

E-6区に位置する。掘立柱建物跡の柱穴や、グリッドピット等と重複し、第5号溝の上に構築されていた。遺構のプランは長方形を呈し、底面はやや皿状凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.42m、短径1.05m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していないが、第Ⅵ層段階で確認された遺構である。

#### 第33号土壌 (第40図、第50図)

E-6区に位置する。掘立柱建物跡の柱穴や、グリッドピット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.68m、短径1.66m、深さ0.64mを測る。遺物はかわらけの底部破片が出土している。底部の形態は、近世以前のかかわらけの特徴を持つ。

#### 第34号土壌 (第40図)

E-6区に位置する。第3号廃棄遺構と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は皿状凹凸で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.05m、短径0.96m、深さ0.23mを測る。遺物は出土していない。

#### 第35号土壌 (第40図)

E-6区に位置する。西側半分に攪乱を受ける。遺構のプランは長方形を呈するものと思われ、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.29m、短径0.42m、深さ0.48mを測る。遺物は出土していない。

#### 第36号土壌 (第40図)

E-6区に位置する。グリッドピットと重複し、一部調査区外に当たる。遺構のプランは楕円形を呈し、底面には凹凸が認められ、壁は緩く立ち上がる。長径0.79m、短径0.68m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

#### 第37号土壌 (第40図)

E-6区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面はやや凹凸があり、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.96m、短径0.87m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していない。

#### 第38号土壌 (第41図)

E-6区に位置する。遺構のプランはほぼ方形を呈し、底面は皿状凹凸で、壁が比較的直に立ち上がる深い土壌である。長径0.88m、短径0.78m、深さ1.22mを測る。遺物は出土していない。

#### 第39号土壌 (第41図)

E-6区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは不整円形を呈し、底面は皿状となり、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.70m、短径0.57m、深さ0.16mを測る。遺物は出土していない。

#### 第40号土壌 (第41図)

E-6区に位置する。第41・42号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.97m、短径0.93m、深さ0.34mを測る。遺物は出土していない。

#### 第41号土壌 (第41図)

E-6区に位置する。第40号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ長方形を呈し、底面は平坦である。壁は比較的直に立ち上がる。長径1.05m、短径0.79m、深さ0.24mを測る。遺物は青銅製の釘が出土した。

#### 第42号土壌 (第41図、第50図)

E-6区に位置する。第40・43号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは不整円形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がる。長径0.92m、短径0.64m、深さ0.24mを測る。遺物は

陶器の香炉が出土している。

#### 第43号土壇（第41図）

E-6区に位置する。第42号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。遺構の北半分が攪乱されている。プランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.48m、短径0.45m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

#### 第44号土壇（第41図）

E-6区に位置する。グリッドピットと一部重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がる。長径0.94m、短径0.83m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

#### 第45号土壇（第41図）

E-5～6区にかけて位置する。第5号溝と重複するが、本土壇の方が新しい。また、本土壇の第2廃棄遺構が構築されていた。遺構のプランは隅丸長方形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は比較的直に立ち上がる。長径1.02m、短径0.78m、深さ0.55mを測る。遺物は出土していない。

#### 第47号土壇（第41図、第50図）

D-7区に位置する。第48号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは方形か長方形を呈し、底面は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がる。長径0.60m、短径0.36m、深さ0.17mを測る。遺物は常滑産の甕口縁部破片が出土している。

#### 第48号土壇（第41図）

D-7区に位置する。第47号土壇、第3号井戸と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.33m、短径0.92m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

#### 第49号土壇（第41図）

D-7区に位置する。グリッドピットと重複する。北半分が調査区外に当たる。遺構のプランは方形か長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.60m、短径0.65m、深さ0.33mを測る。遺物は出土していない。

#### 第50号土壇（第41図、第50図）

E-7区に位置する。第56号土壇、グリッドピット等と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは不整形円形を呈し、底面は皿状で凹凸を有する。壁は緩やかに立ち上がる。長径2.56m、短径2.08m、深さ0.15mを測る。遺物はかわらけ、鉄絵陶器皿、石臼の上臼の破片が出土している。出土遺物から中世段階の土壇と思われる。

#### 第51号土壇（第41図、第51図）

E-7区に位置する。第79号土壇、門跡とした第102号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径3.58m、短径2.12m、深さ0.65mを測る。遺物は播鉢の口縁部破片、砥石、鉄釘が出土している。

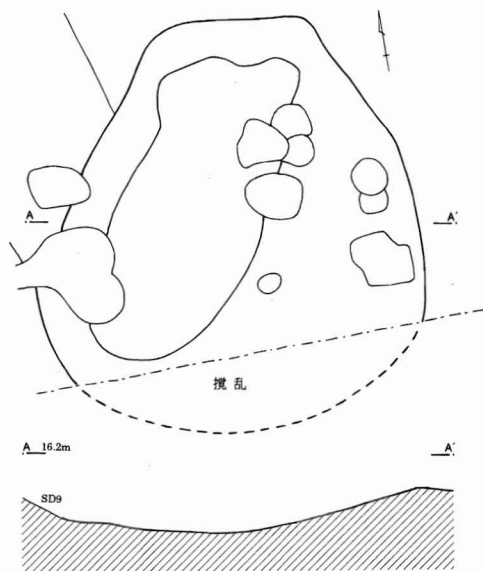
#### 第52号土壇（第42図、第48図、第51図）

E-7区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.91m、短径0.76m、深さ0.55mを測る。遺物は土製の玩具である狢、猿、鳥、かわらけのミニチュア、陶器茶碗のミニチュア、播鉢のミニチュア、陶器釜が、遺構の上面から出土した。

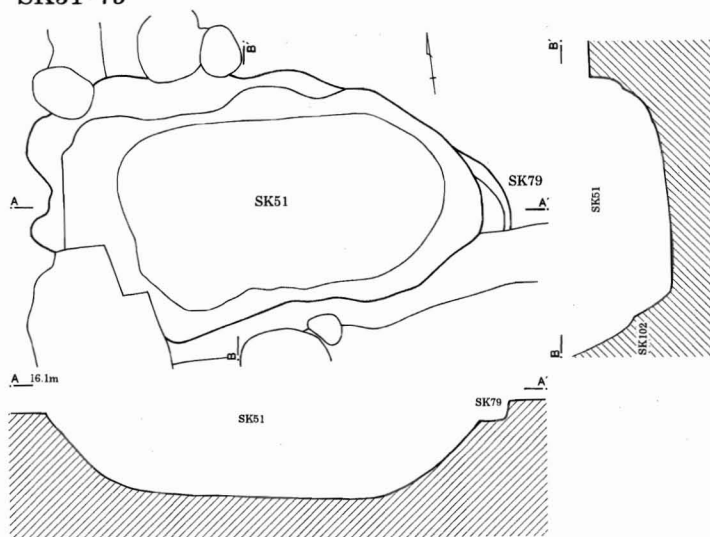
#### 第53号土壇（第42図）

E-7区に位置する。第9号溝、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径4.15m、短径1.61m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

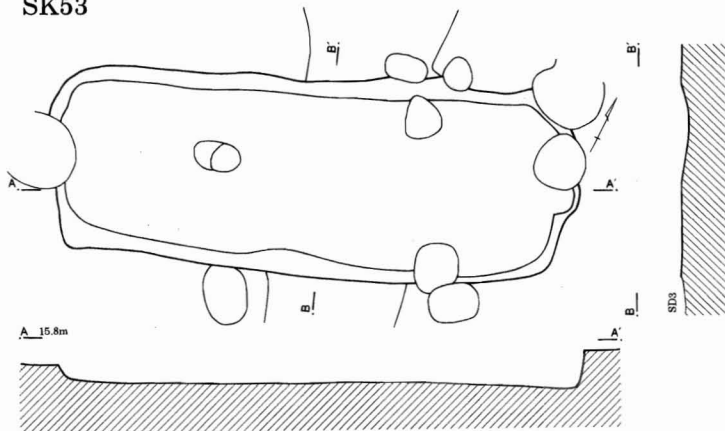
第42图 土壤 (4)  
SK54



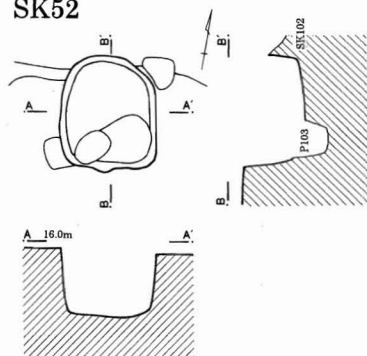
SK51·79



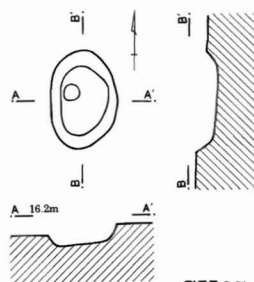
SK53



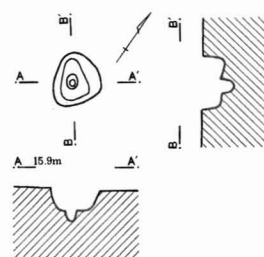
SK52



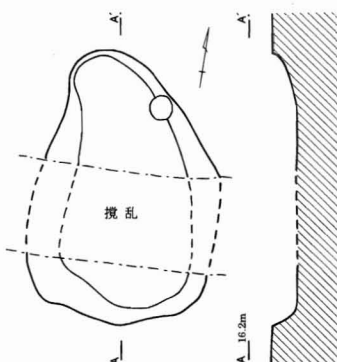
SK58



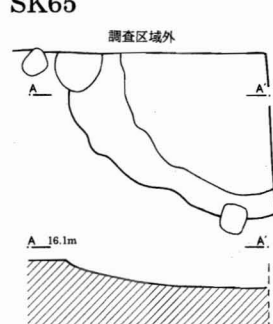
SK59



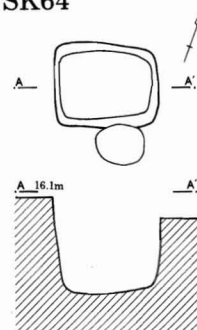
SK57



SK65

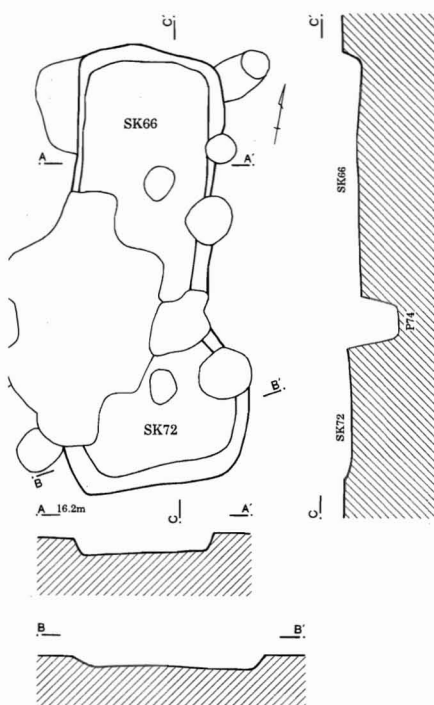


SK64

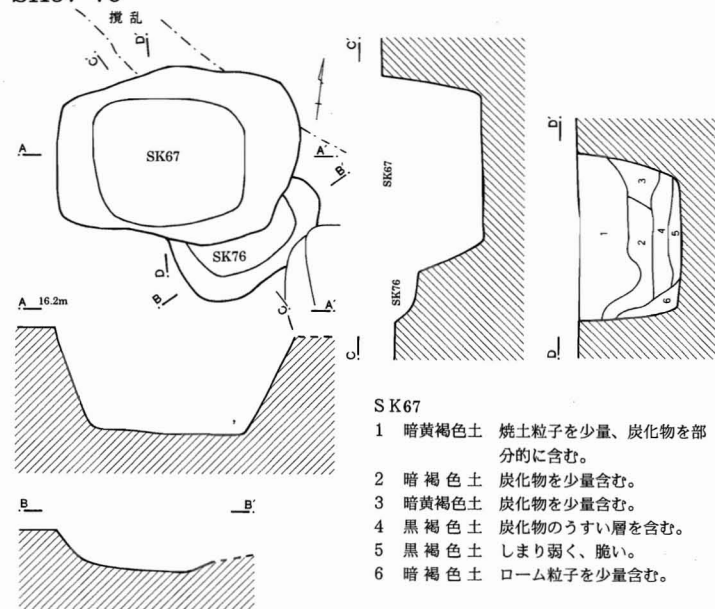


0 2 m 1:50

第43図 土壌 (5)  
SK66・72



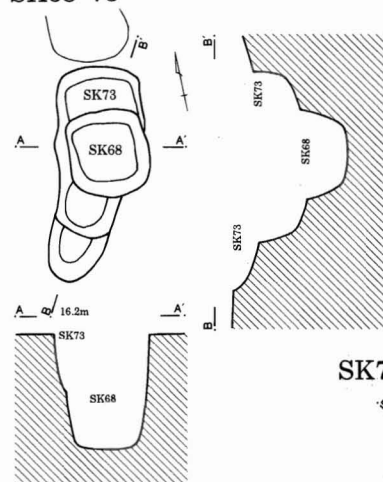
SK67・76



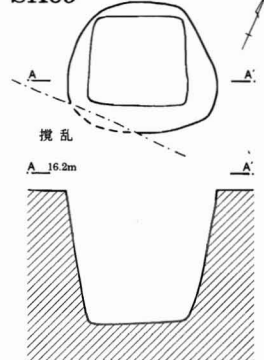
SK67

- 1 暗黄褐色土 焼土粒子を少量、炭化物を部分的に含む。
- 2 暗褐色土 炭化物を少量含む。
- 3 暗黄褐色土 炭化物を少量含む。
- 4 黒褐色土 炭化物のうすい層を含む。
- 5 黒褐色土 しまり弱く、脆い。
- 6 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。

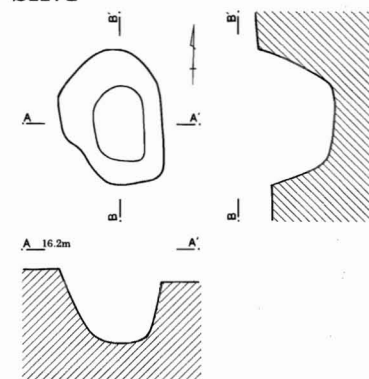
SK68・73



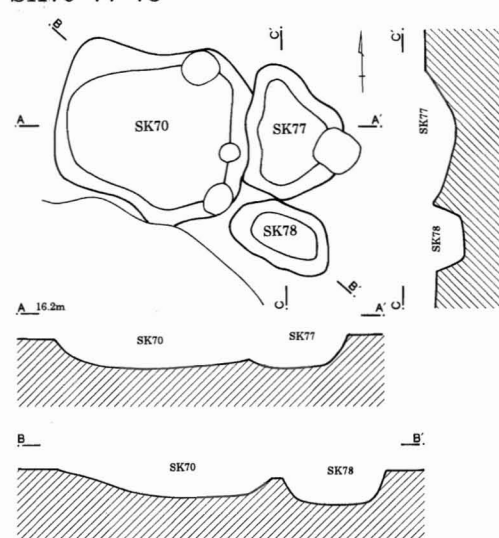
SK69



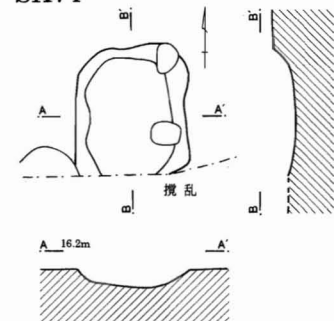
SK71



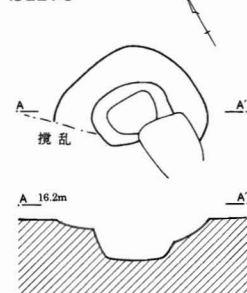
SK70・77・78



SK74



SK75



0 2 m  
1:50



#### 第54号土壙（第42図、第52図）

E-7区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構南側に攪乱を受けるが、不整円形を呈し、底面は皿状でやや凹凸を持ち、壁は緩やかに立ち上がる。長径3.10m、短径2.64m、深さ0.18mを測る。遺物はかわらけ、陶器皿、磁器茶碗、磁器段重蓋、播鉢等が出土したが、第52図1～3は中世段階の遺物であり、混在と認識される。遺構自体は近世の所産と思われる。

#### 第55号土壙（第41図）

E-7区に位置する。第61・62・63号土壙、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長楕円形を呈し、底面はやや凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.90m、短径1.09m、深さ0.22mを測る。遺物は出土していない。

#### 第56号土壙（第41図）

E-7～8区にかけて位置する。第50号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は不整楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.32m、短径0.66m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していない。

#### 第57号土壙（第42図、第52図）

E-7区に位置する。中央部に東西の溝状の攪乱を受けるが、遺構は不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径2.15m、短径1.43m、深さ0.20mを測る。遺物は石臼の破片のみ、3点出土した。第52図9は下臼に受けの縁が付いている茶臼と思われる。

#### 第58号土壙（第42図）

E-7区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.78m、短径0.53m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

#### 第59号土壙（第42図）

E-7区に位置する。ピット状の土壙で、不整円形を呈し、底面は平坦である。壁は比較的直に立ち上がる。長径0.42m、短径0.38m、深さ0.26mを測る。遺物は出土していない。

#### 第60号土壙（第41図）

E-7区に位置する。遺構の大半に攪乱を受けるが、長方形を呈するものと思われ、底面は皿状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.54m、短径0.36m、深さ0.05mを測る。遺物は出土していない。

#### 第61号土壙（第41図）

E-7区に位置する。第55・62号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は楕円形を呈し、底面は皿状でやや凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.95m、短径0.46m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

#### 第62号土壙（第41図）

E-7区に位置する。第55・61号土壙、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構はピット状の楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.72m、短径0.62m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

#### 第63号土壙（第41図）

E-7区に位置する。第55号土壙、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.58m、短径1.23m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

#### 第64号土壙（第42図）

D-8区に位置する。第4号柵列と重複する。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.82m、短径0.66m、深さ0.58mを測る。

遺物は出土していない。

#### 第65号土壇（第42図）

D－8区に位置する。大半が調査区域外に相当するが、遺構は不整な円形を呈するものと思われる。底面は皿状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.60m、短径1.30m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

#### 第66号土壇（第43図）

E－8区に位置する。第72号土壇、門跡とした第102号土壇、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.98m、短径1.18m、深さ0.15mを測る。遺物は出土していない。

#### 第67号土壇（第43図、第52図）

E－8区に位置する。第76号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。長径1.92m、短径1.37m、深さ0.76mを測る。遺物はかわらけ、播鉢の口縁部破片、刀子、鉄釘、砥石、板碑破片が出土している。出土遺物から本遺構は中世段階の所産と思われる。

#### 第68号土壇（第43図）

E－8区に位置する。第73号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。遺構はほぼ方形のピット状を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.70m、短径0.65m、深さ0.90mを測る。遺物は出土していない。

#### 第69号土壇（第43図、第53図）

E－8区に位置する。一部攪乱を受けるが、プランはほぼ方形を呈し、底面は平坦で、壁は直に立ち上がる。長径1.20m、短径1.03m、深さ1.04mを測る。遺物はかわらけ、陶器縁釉皿、甕の底部、播鉢が出土し

ている。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と思われる。

#### 第70号土壇（第43図）

E－7～8区にかけて位置する。第77号土壇、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は不整長方形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.54m、短径1.37m、深さ0.16mを測る。遺物はかわらけ、陶器縁釉小皿、播鉢、土鍋の口縁部破片、石臼が出土している。

#### 第71号土壇（第43図）

E－8区に位置する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩やかに立ち上がる。長径1.08m、短径0.80m、深さ0.59mを測る。遺物は出土していない。

#### 第72号土壇（第43図、第53図）

E－8区に位置する。第66号土壇、門跡とした第102号土壇、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.50m、短径1.00m、深さ0.12mを測る。遺物は鉄釘が出土している。

#### 第73号土壇（第43図）

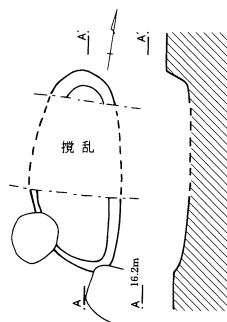
E－8区に位置する。第68号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、底面は凹凸を持ち、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.70m、短径0.68m、深さ0.46mを測る。遺物は出土していない。

#### 第74号土壇（第43図）

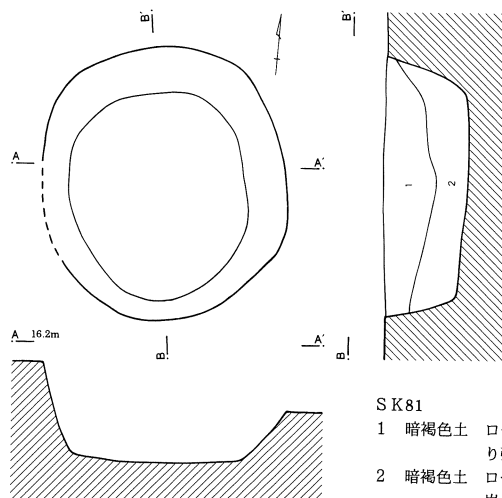
E－8区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構は長方形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.03m、短径0.90m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

第44図 土壌 (6)

SK80



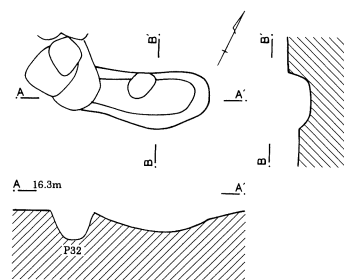
SK81



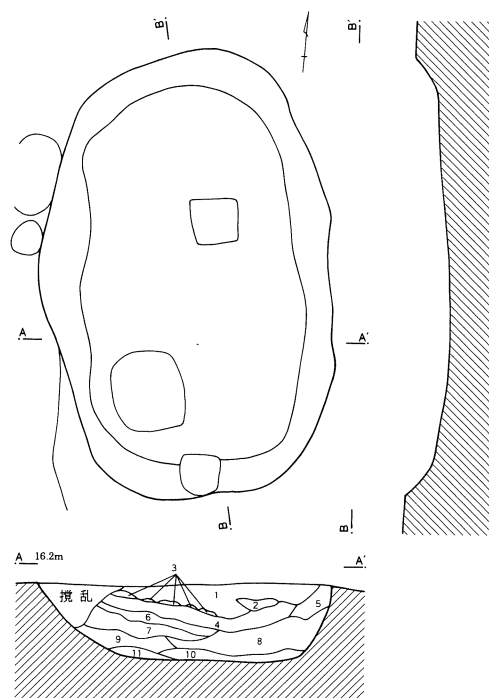
SK81

- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物を若干含む。しまり強く、粘性弱い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子及びロームブロックを均等に多く含み、焼土粒子、炭化物を若干含む。しまり弱く、粘性弱い。

SK85



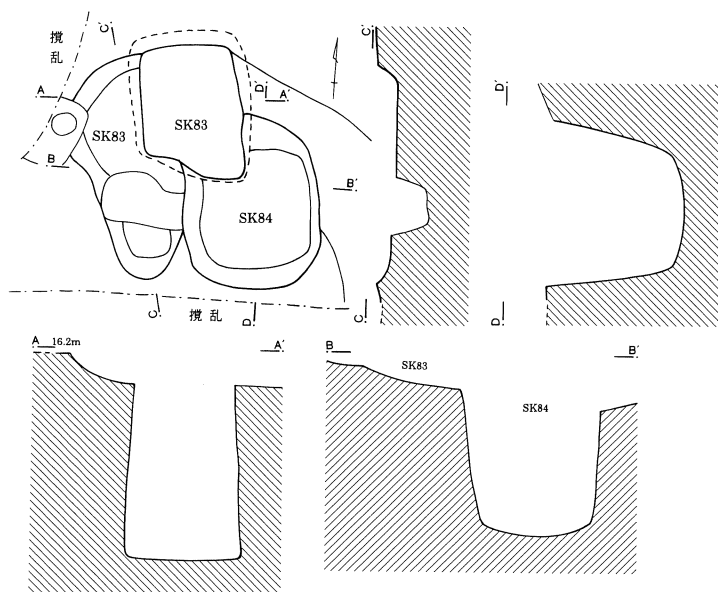
SK82



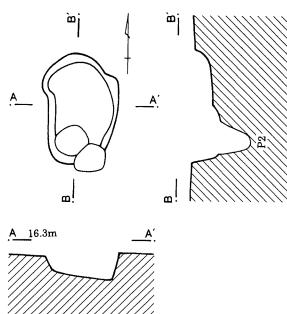
SK82

- 1 褐色土 焼土粒子、炭化物をやや多く含み、灰を部分的に含む。
- 2 褐色土 炭化物を集中的に含み、焼土粒子を少量含む。
- 3 褐色土 灰を集中的に含む。
- 4 褐色土 焼土粒子、炭化物を少量含む。
- 5 褐色土 焼土を若干含む。
- 6 暗褐色土 焼土、炭化物を若干含み、灰を部分的に多く含む。
- 7 暗褐色土 焼土、炭化物、灰をやや多く含む。
- 8 暗褐色土 焼土、炭化物を若干含む。
- 9 暗褐色土 焼土、炭化物、灰を少量含む。
- 10 暗黄褐色土 焼土、炭化物を僅かに含む。
- 11 暗褐色土 焼土、炭化物を若干含む。

SK83・84

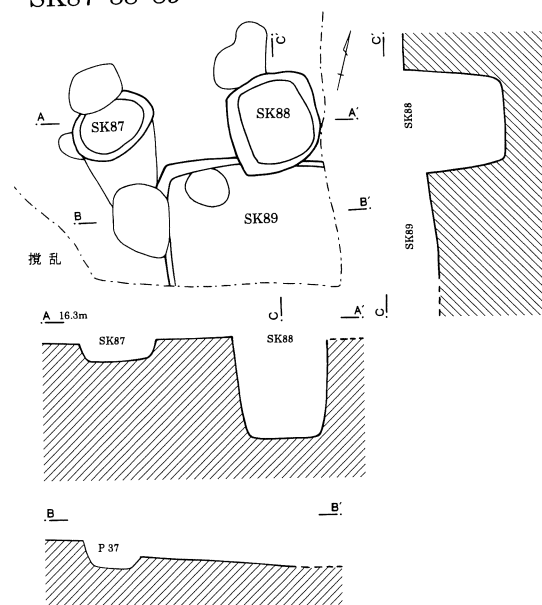


SK86

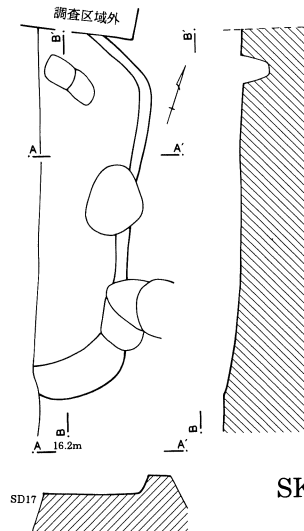


0 2 m 1:60

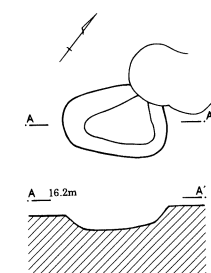
第45図 土塙(7)  
SK87・88・89



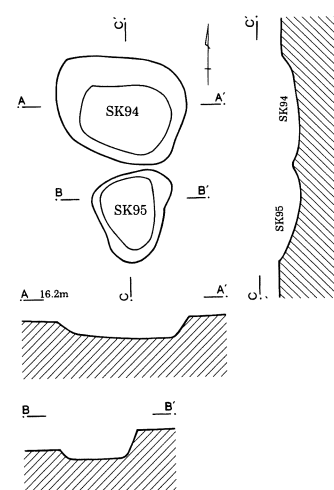
SK90



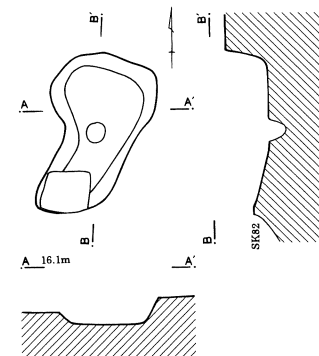
SK92



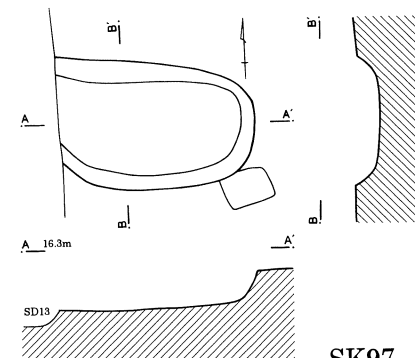
SK94・95



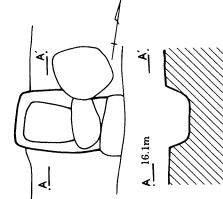
SK93



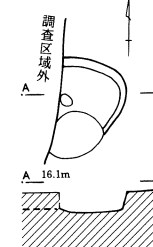
SK91



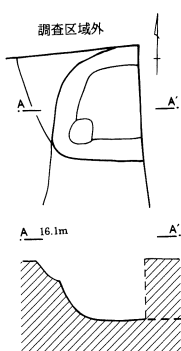
SK98



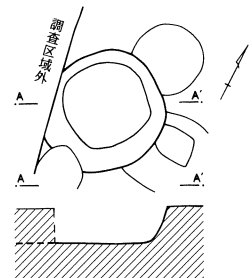
SK99



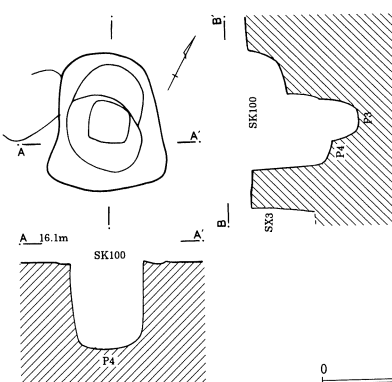
SK96



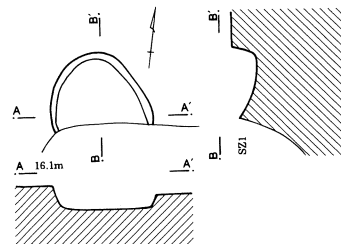
SK97



SK100



SK101



0 2 m  
1:50

#### 第75号土壙（第43図）

E－8区に位置する。グリッドピットと重複し、南側に攪乱を受けている。遺構は楕円形で、底面は二段掘り状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、長径1.05m、短径0.87m、深さ0.30mを測る。遺物は出土していない。

#### 第76号土壙（第43図、第53図）

E－8区に位置する。第67号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈するものと思われ、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.24m、短径0.48m、深さ0.17mを測る。遺物は宋銭が出土している。

#### 第77号土壙（第43図）

E－8区に位置する。第70号土壙、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。遺構は不整楕円を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.08m、短径0.78m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

#### 第78号土壙（第43図、第53図）

E－8区に位置する。遺構は楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.83m、短径0.50m、深さ0.27mを測る。遺物は宋銭が出土している。

#### 第79号土壙（第42図）

E－8区に位置する。第51号土壙、門跡とした第102号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は一部のみ現存するため形状は不明であり、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.65m、短径0.20m、深さ0.15mを測る。遺物は出土していない。

#### 第80号土壙（第44図）

E－8区に位置する。グリッドピットと重複し、中央部に攪乱を受けている。遺構は長楕円形を呈し、底

面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径1.60m、短径0.73m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

#### 第81号土壙（第44図、第53図）

D－9区に位置する。遺構はほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。長径2.16m、短径1.95m、深さ0.76mを測る。遺物は陶器鍋、常滑産甕の底部破片、板碑の破片が出土している。

#### 第82号土壙（第44図）

E－9区に位置する。第7号掘立柱建物跡、グリッドピットと重複する。土壙底面に掘立柱の柱痕部のみの圧痕が見られたことから、本土壙の方が古い。遺構は長楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径3.50m、短径2.32m、深さ0.32mを測る。遺物は出土していないが、覆土から馬の歯が出土している。従って、馬の墓壙であった可能性が高い。

#### 第83号土壙（第44図、第53図）

E－8～9区にかけて位置する。第84号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。本土壙は、本来方形と楕円形の土壙が重複しているものと思われる。方形土壙部分は開口部がややハングしており、長径1.21m、短径0.97m、深さ1.60mを測る。楕円形土壙部分は長径1.81m、深さ0.27mを測る。遺物は方形土壙内からかわらけ、陶器縁釉小皿、砥石、鉄釘が出土している。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と判断される。

#### 第84号土壙（第44図、第54図）

E－9区に位置する。第83号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。遺構は長方形を呈し、長径1.38m、短径1.10m、深さ1.08mを測る。遺物はかわらけの底部、板碑の大形破片が出土している。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と判断される。



**第85号土壇（第44図）**

E－8～9区にかけて位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。長径0.88m、短径0.43m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

**第86号土壇（第44図）**

E－9区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは不整長方形を呈し、底面は皿状でやや傾斜し、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.87m、短径0.61m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していない。

**第87号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.66m、短径0.44m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

**第88号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。第89号土壇、グリッドピット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.78m、短径0.72m、深さ0.80mを測る。遺物は出土していない。

**第89号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。第88号土壇、グリッドピット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈するものと思われるが、大半に攪乱を受けている。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.37m、短径1.00m、深さ0.08mを測る。遺物は出土していない。

**第90号土壇（第45図、第53図）**

E－9区に位置する。第17号溝、グリッドピット等と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは長楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は大変緩く立ち上がる。長径2.87m、短径0.91m、深さ0.17mを測る。遺物はかわらけが出土している。出土遺物から、本遺

構は中世段階の所産と思われる。

**第91号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.55m、短径1.02m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していない。

**第92号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.88m、短径0.57m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

**第93号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは不整形を呈し、底面はやや凹凸が存在する。壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.33m、短径0.83m、深さ0.34mを測る。遺物は出土していない。

**第94号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。第95号土壇と隣接する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は大変緩く立ち上がる。長径1.06m、短径0.82m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

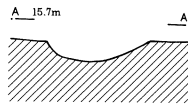
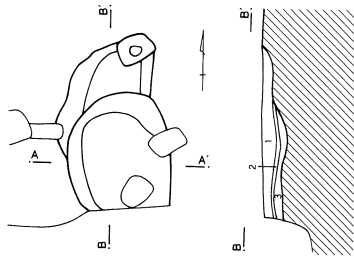
**第95号土壇（第45図）**

E－9区に位置する。第94号土壇と隣接する。遺構のプランは不整円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩く立ち上がる。長径0.61m、短径0.52m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していない。

**第96号土壇（第45図）**

A－10区に位置する。グリッドピット等と重複し、東半分が調査区外に当たる。遺構のプランは長方形と思われる。底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.88m、短径0.62m、深さ0.39mを測る。遺物は

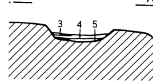
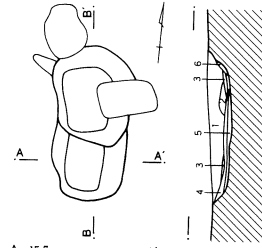
第46図 土壌 (8)  
SK103



SK103

- 1 暗褐色土 焼土粒子、炭化物を少量含む。
- 2 灰褐色土 白色灰を少量含む。
- 3 赤褐色土 ロームブロックの被熱層。
- 4 暗黄褐色土 ロームブロックを多く含む、ボソボソの土。

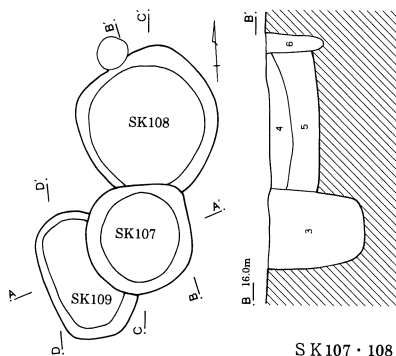
SK104



SK104

- 1 暗茶褐色土 炭化物・焼土を少量含む。
- 2 暗灰褐色土 灰褐色粘土・ロームブロック・焼土を多量に含む。
- 3 灰褐色土 灰層。
- 4 赤褐色土 被熱ローム。
- 5 明褐色土 被熱ローム。
- 6 暗黄褐色土 焼土を多量に含む。

SK107・108・109



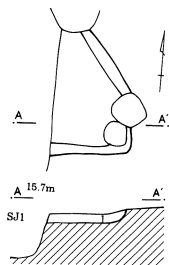
SK107・108

- 1 暗褐色土 ローム粒子、粘土を少量含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3 暗黄褐色土 ローム粒子を多く含む。(SK107)
- 4 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。(SK108)
- 5 黒黄褐色土 ローム粒子を多く含む。(SK108)
- 6 暗褐色土 ローム粒子を多く含む。(P53)

SK109

- 1 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 2 灰褐色土 灰層で炭化物、骨、貝を含む。
- 3 暗褐色土 ロームブロックを含む。

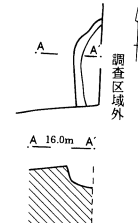
SK105



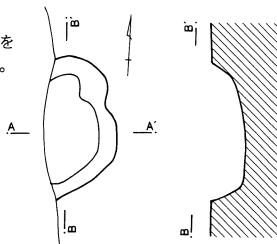
SK105

- 1 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

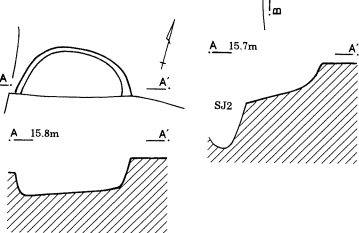
SK106



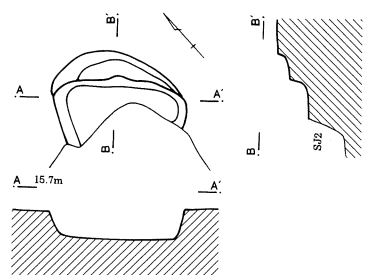
SK111



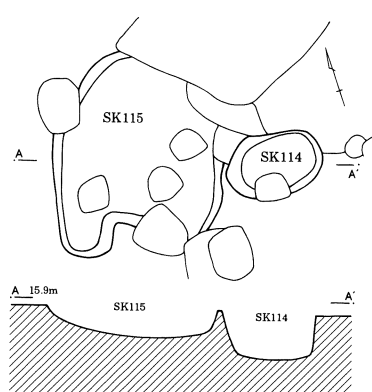
SK110



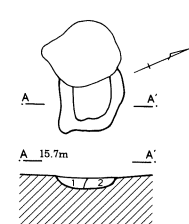
SK112



SK114・115



SK113



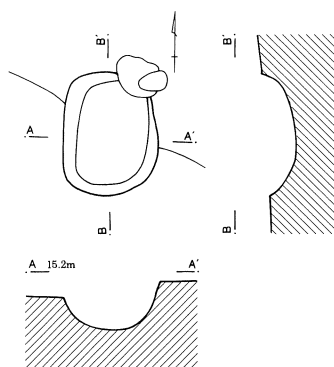
SK113

- 1 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 2 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。

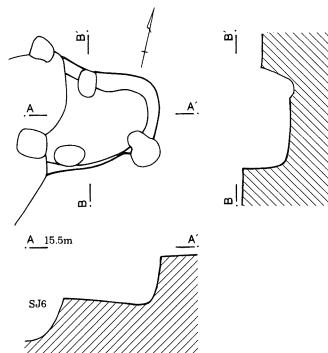
0 2m  
1:50

## 第47図 土壌 (9)

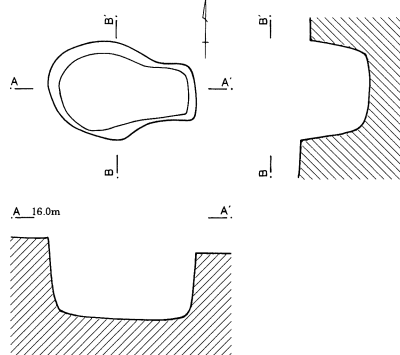
SK116



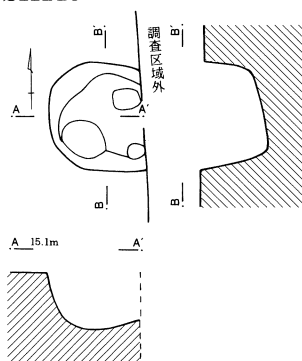
SK117



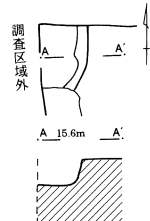
SK118



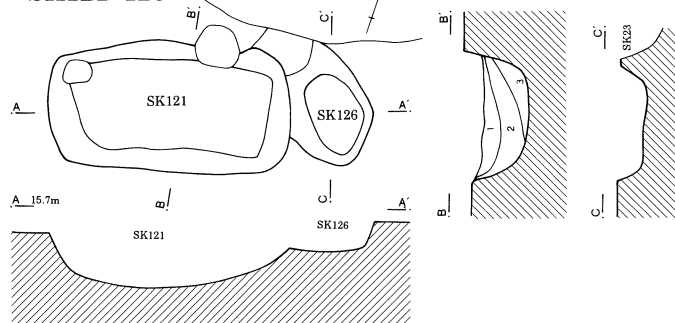
SK119



SK120



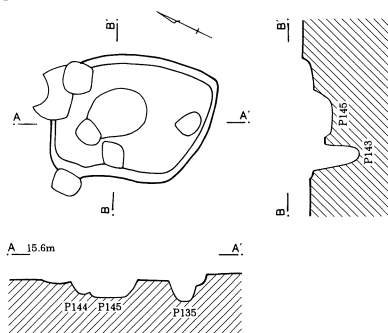
SK121・126



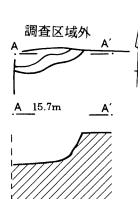
SK121

- 1 灰茶褐色土 炭化物と白色粘土を多量に層状に含む。
- 2 暗灰褐色土 炭、粘土小ブロックを少量、焼土を僅かに含む。
- 3 暗灰褐色土 ロームブロックを多量に含む。

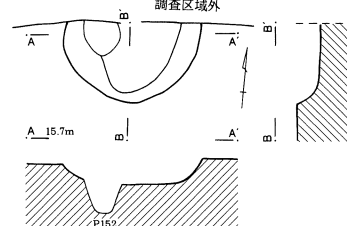
SK122



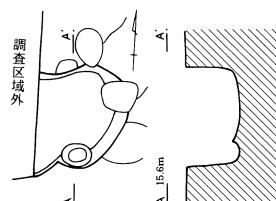
SK123



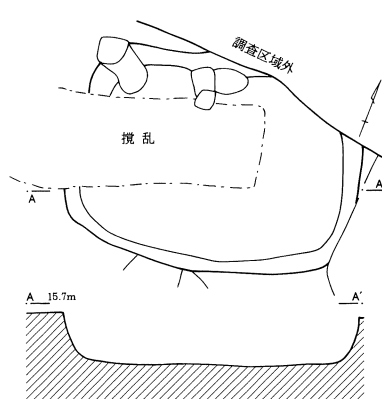
SK124



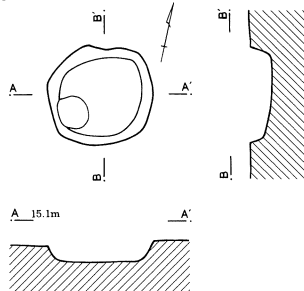
SK127



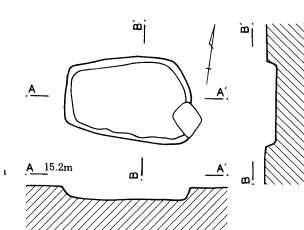
SK125



SK129



SK128



0 2 m  
1:50

出土していない。

#### 第97号土壙（第45図）

A-10区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.98m、短径0.93m、深さ0.34mを測る。遺物は出土していない。

#### 第98号土壙（第45図）

B-10区に位置する。第19号溝、グリッドピット等と重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.69m、短径0.48m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

#### 第99号土壙（第45図）

B-10区に位置する。グリッドピット等と重複する。西半分が調査区外に当たる。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.55m、短径0.52m、深さ0.15mを測る。遺物は出土していない。

#### 第100号土壙（第45図）

E-9区に位置する。グリッドピット等と重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.09m、短径0.96m、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

#### 第101号土壙（第45図）

E-10区に位置する。第1号堀と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形を呈するものと思われ、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.80m、短径0.56m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

#### 第103号土壙（第46図）

H~I-4区にかけて位置する。第104号土壙と隣接し、グリッドピット等と重複する。南側部分に攪乱

を受けるが、遺構のプランは二段掘状の楕円形を呈し、底面は凹凸を持つ。壁は比較的緩く立ち上がっている。床面は被熱し、覆土中に灰層を含むなど、火を燃していることは確実であるが、用途は不明である。長径1.30m、短径0.48m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

#### 第104号土壙（第46図）

H~I-4区にかけて位置する。第103号土壙と並列して存在し、グリッドピット等と重複する。2基の土壙が重複したような二段掘状の楕円形を呈し、底面は比較的平坦で、壁は緩く立ち上がっている。床面は被熱し、覆土中に灰層を含むなど、火を燃していることは確実であるが、用途は不明である。長径1.18m、短径0.58m、深さ0.17mを測る。遺物は出土していない。

#### 第105号土壙（第46図）

H-4区に位置する。遺構の大半が調査区外にあるものと思われ、グリッドピット等と重複する。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.96m、短径0.62m、深さ0.13mを測る。遺物は出土していない。

#### 第106号土壙（第46図）

I-5区に位置する。遺構の大半が調査区外にあるものと思われ、遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.70m、短径0.21m、深さ0.13mを測る。遺物は出土していない。

#### 第107号土壙（第46図）

G-4区に位置する。第108・109号土壙と重複するが新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ円形で、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.86m、短径0.82m、深さ0.59mを測る。遺物は出土していないが、座棺の人骨が埋葬されており、人骨の遺存

状態は比較的良好であった。墓墳である。

#### 第108号土墳（第46図）

G－4区に位置する。第107号土墳、グリッドピットと重複するが新旧関係は不明である。遺構のプランはほぼ円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.12m、短径1.10m、深さ0.39mを測る。遺物は出土していないが、墓墳の可能性が高い。

#### 第109号土墳（第46図、第54図）

G－3～4区にかけて位置する。第107号土墳と重複するが新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形で、底面は平坦であり、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.04m、短径0.62m、深さ0.10mを測る。遺物はかわらけが出土している。第54図5は厚い底部を持ち、外面底部付近に強く幅広のケズリ整形を施している。本土墳は、中世段階の所産と思われる。

#### 第110号土墳（第46図）

G－3区に位置する。遺構の南半分に攪乱を受ける。遺構のプランはほぼ円形を呈するものと思われ、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.92m、短径0.40m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していないが、墓墳の可能性はある。

#### 第111号土墳（第46図）

G－3区に位置する。第2号住居跡と重複するが、本遺構の方が新しい。遺構のプランは不整円形であるが、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.10m、短径0.59m、深さ0.33mを測る。遺物は出土していないが、墓墳の可能性はある。

#### 第112号土墳（第46図）

G－3区に位置する。第2号住居跡の北東コーナーと重複するが本遺構の方が新しい。2基の遺構が重複しているようであるが、遺構のプランは楕円形で、底面は段を持つ。壁は比較的直に立ち上がる。長径1.09

m、短径0.76m、深さ0.24mを測る。遺物は出土していない。

#### 第113号土墳（第46図）

H－4区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは不整形を呈し、底面は皿状で、壁は緩く立ち上がる。長径0.50m、短径0.40m、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

#### 第114号土墳（第46図、第54図）

G－4区に位置する。第4号地下式墳の入口部と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.78m、短径0.56m、深さ0.38mを測る。遺物はかわらけが出土している。出土遺物から、本土墳は中世段階の所産と思われる。

#### 第115号土墳（第46図）

F～G－4区に位置する。第4号地下式墳と重複するが、新旧関係は不明である。遺構のプランは不整形を呈するが、長方形のプランに、ピットが重複しているものと判断される。底面は皿状を呈し、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.38m、短径1.35m、深さ0.24mを測る。遺物は出土していない。

#### 第116号土墳（第47図）

F－3区に位置する。第6号住居跡と重複するが、本遺構の方が新しい。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.96m、短径0.75m、深さ0.20mを測る。遺物は出土していないが、墓墳の可能性が高い。

#### 第117号土墳（第47図）

F－3区に位置する。第6号住居跡の竈、グリッドピットと重複するが、本遺構の方が新しい。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.91m、短径0.89m、深さ0.36mを

測る。

#### 第118号土壌（第47図）

F－4区に位置する。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径1.16m、短径0.76m、深さ0.52mを測る。遺物は出土していない。

#### 第119号土壌（第47図、第54図）

F－4区に位置する。東側の一部が調査区外にあり、グリッドピットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈するものと思われ、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.84m、短径0.76m、深さ0.48mを測る。遺物は、古墳時代後期の土師器壺の口縁部が出土している。古墳時代後期の住居跡の貯蔵穴の可能性が高い。

#### 第120号土壌（第47図、第54図）

F－3区に位置する。調査区のコーナーに当たり、遺構の大半が調査区外にある。遺構のプランは不明であるが、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.49m、短径0.37m、深さ0.21mを測る。遺物は須恵器蓋が出土している。

#### 第121号土壌（第47図、第54図）

F－4区に位置する。第126号土壌と一部重複し、グリッドピットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.93m、短径1.02m、深さ0.44mを測る。遺物はかわらけの底部破片、播鉢の破片、甕の破片が出土している。出土遺物から、本遺構は中世段階の所産と思われる。

#### 第122号土壌（第47図、第54図）

F－4区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.28m、短径1.02m、深さ

0.09mを測る。遺物は土師器坏が出土している。

#### 第123号土壌（第47図）

F－4区に位置する。遺構の大半が調査区外にあり、プランは不明である。底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径0.52m、短径0.16m、深さ0.23mを測る。遺物は出土していない。

#### 第124号土壌（第47図）

F－4区に位置する。遺構の北半分が調査区外にあり、グリッドピットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.06m、短径0.63m、深さ0.19mを測る。遺物は出土していない。

#### 第125号土壌（第47図）

F－4区に位置する。西壁から中央部にかけて攪乱を受け、グリッドピットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径2.35m、短径1.14m、深さ0.46mを測る。遺物は出土していない。

#### 第126号土壌（第47図、第54図）

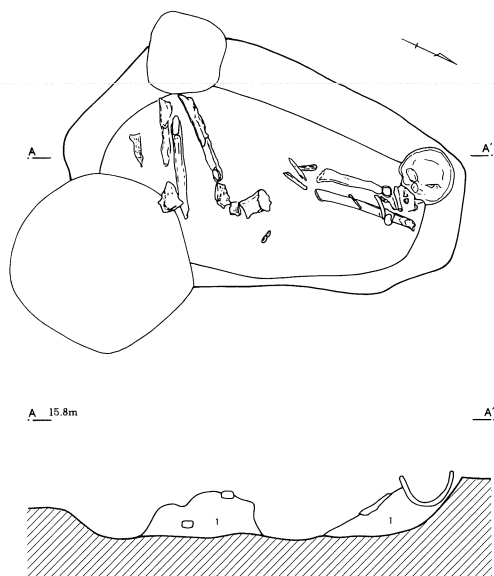
F－4区に位置する。第121号土壌と一部重複し、グリッドピットと重複する。遺構のプランは楕円形を呈し、底面はやや凹凸があり、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.76m、短径0.68m、深さ0.20mを測る。遺物は土師器坏の破片が出土している。出土遺物から、本遺構は古墳時代後期住居跡の貯蔵穴の可能性はある。

#### 第127号土壌（第47図、第54図）

F－3区に位置する。遺構西側が攪乱を受けており、第24号溝と重複するが、新旧関係は不明である。プランは不整形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.74m、短径0.71m、深さ0.34mを測る。遺物はかわらけが出土している。出土遺物から、



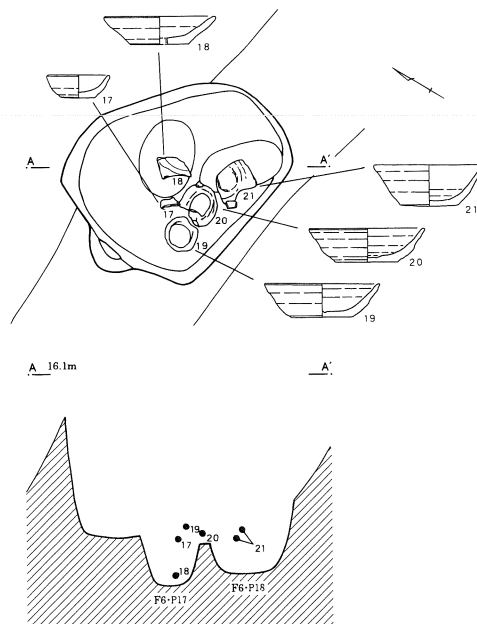
第48図 土壌 (10) (墓墳・埋納土壌)  
SK25



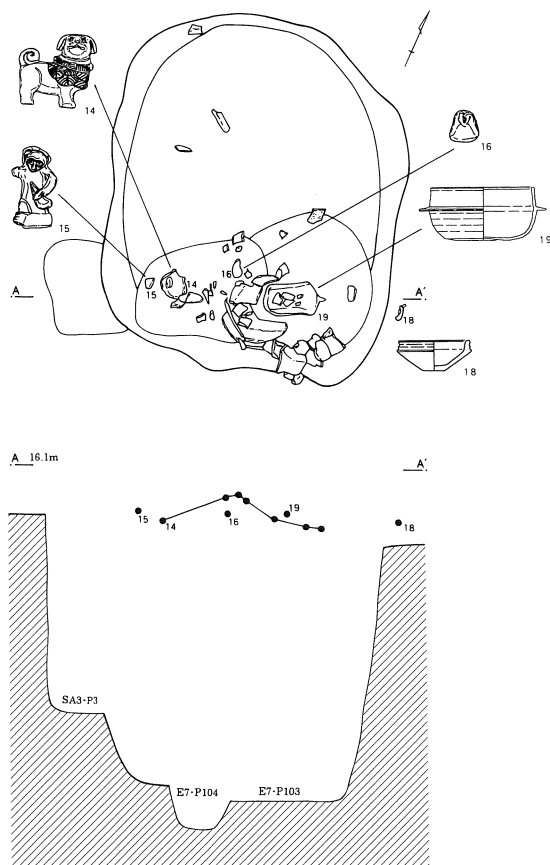
S K 25 (人骨出土)

1 褐色土 ローム粒子を多く含む。しまり弱く、粘性なし。部分的にロームが集中する。

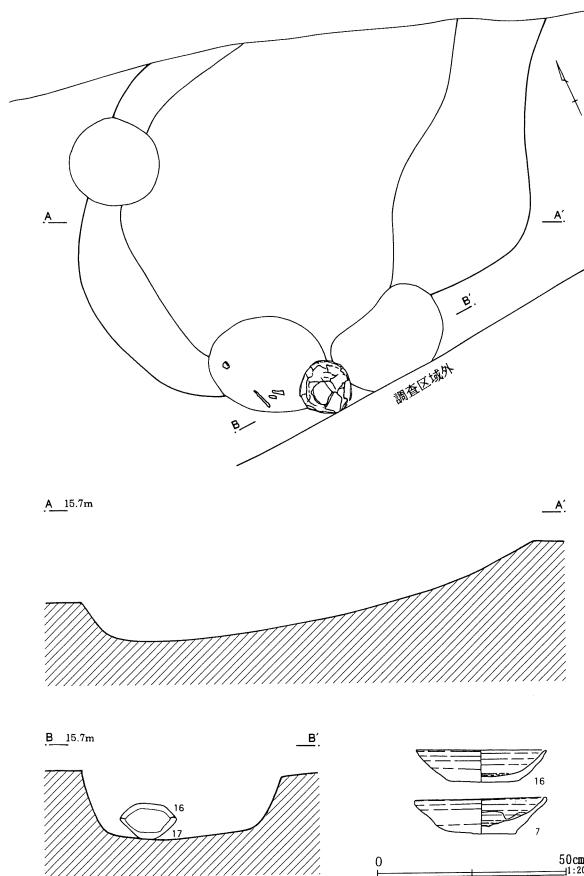
SK46



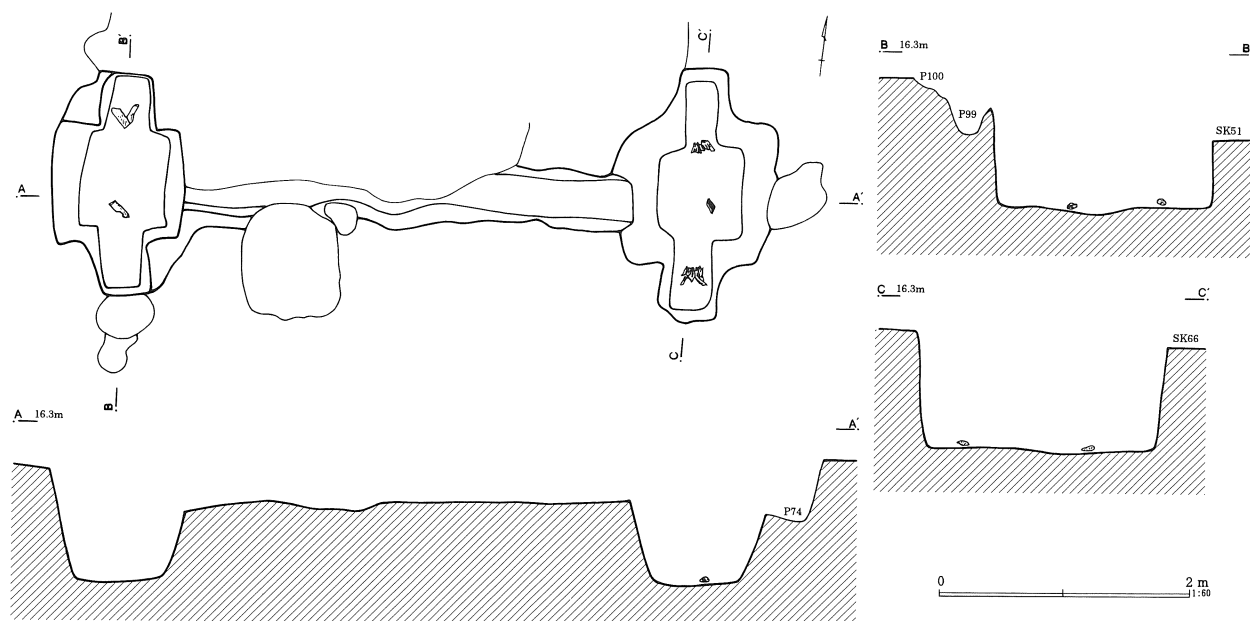
SK52



SK130



第49図 土壇（11）（門跡）  
SK102



本遺構は中世段階の所産と思われる。

#### 第128号土壇（第47図）

F－3区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランは長方形を呈し、底面は平坦で、壁は比較的緩く立ち上がる。長径1.00m、短径0.66m、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

#### （7）土器埋納遺構

明らかに何らかの意図を持って、かわらけを遺構内に設置したものについて、土器埋納遺構と認識した。合計3遺構存在するが、1つについては土器のみ集中しており、遺構は検出されなかった。

#### 第46号土壇（第48図、第50図17～21）

F－6区に位置する。第8号溝、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。土器が遺構内の底面付近から出土していることから、溝の方が新しいとしても遺物が現存したものと思われる。また、グリッドピットとの関係は、ピット内に遺物が落ち込んだのか、ピット廃棄と同時期にピット内を含めて遺物を

#### 第129号土壇（第47図）

G－3区に位置する。グリッドピットと重複する。遺構のプランはほぼ円形を呈し、底面は皿状で、壁は比較的直に立ち上がる。長径0.81m、短径0.79m、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

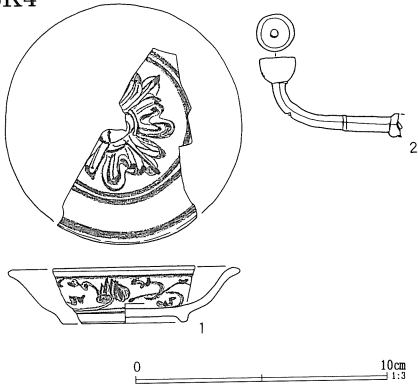
埋納したのかのいずれかと思われる。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は平坦である。壁は比較的緩く開きながら立ち上がる。長径0.62m、短径0.48m、深さ0.18mを測る。かわらけは5個体が埋納されていた。17のみ小さく、他は比較的大きいもので、器高のやや低いもの、外面整形が強いもの、器高の高いもの等、同時期のバリエーションが見られる。いずれにしても、中世段階のもので、遺構もその時期に比定されるものと思われる。

#### 第130号土壇（第48図、第54図16、17）

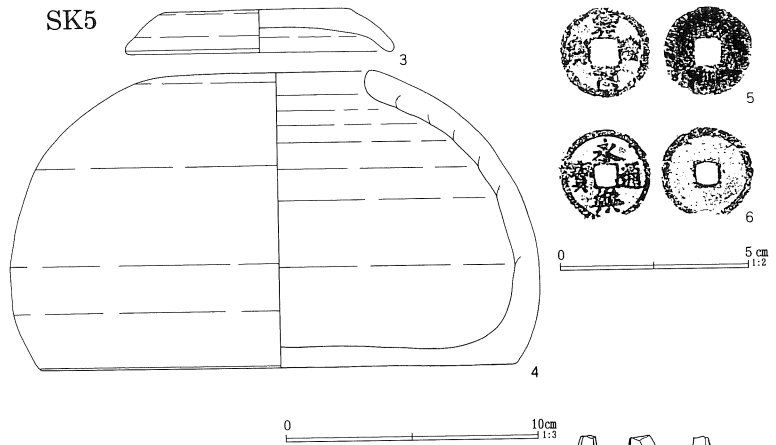
E～F－6区に位置する。第5号溝、グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。調査区外の

第50図 土壌出土遺物 (1)

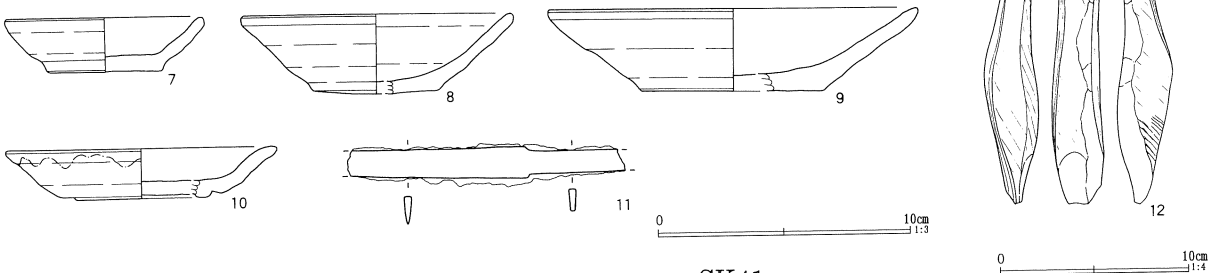
SK4



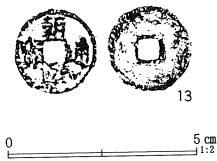
SK5



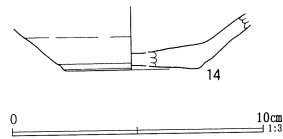
SK18



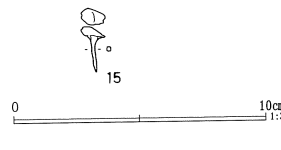
SK25



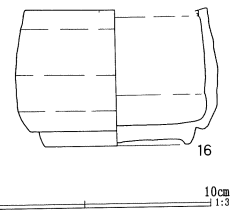
SK33



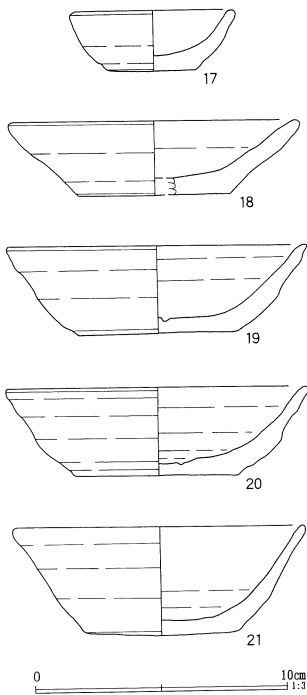
SK41



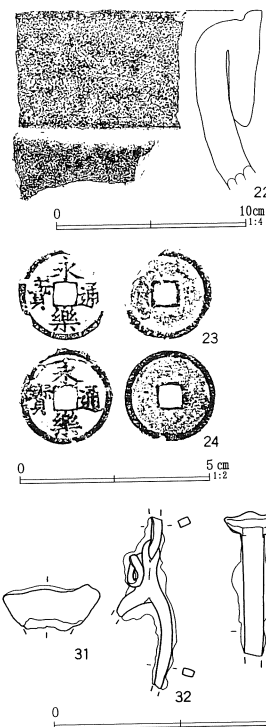
SK42



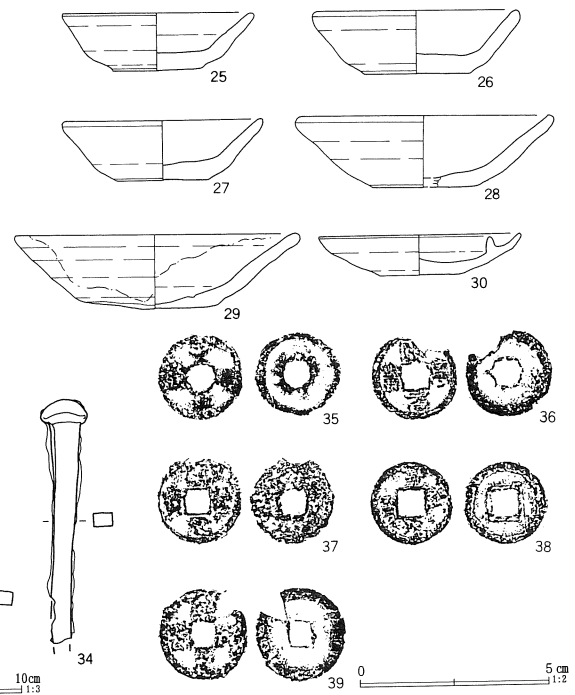
SK46



SK47

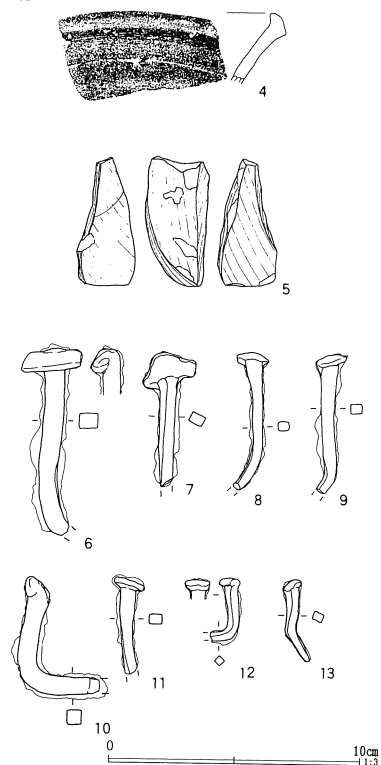


SK82

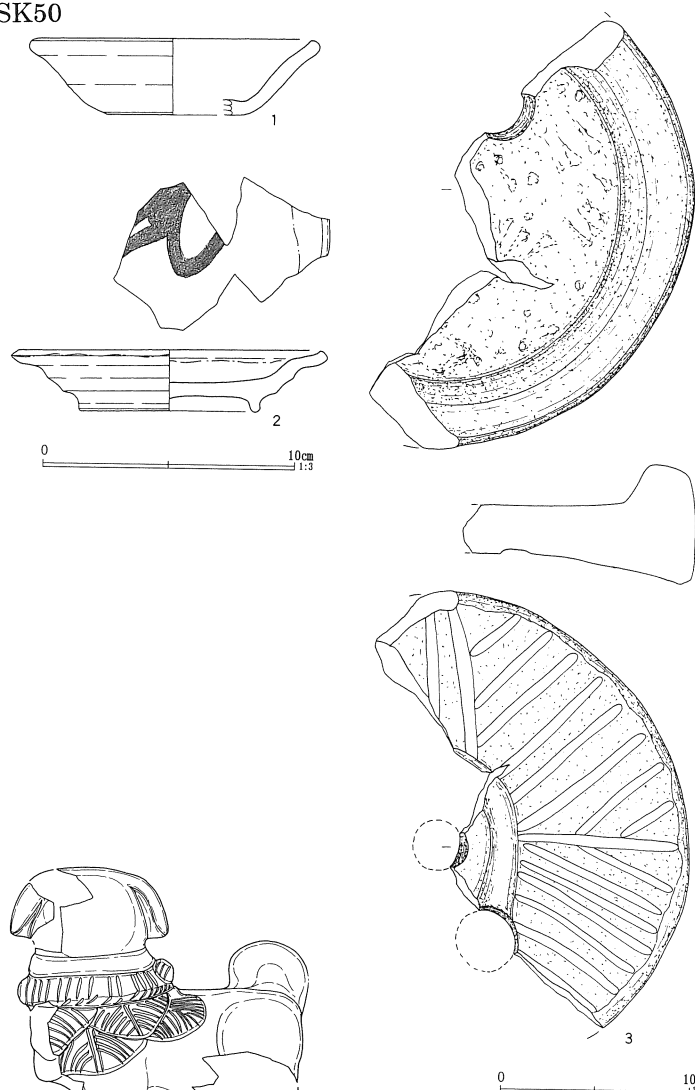


第51図 土壙出土遺物 (2)

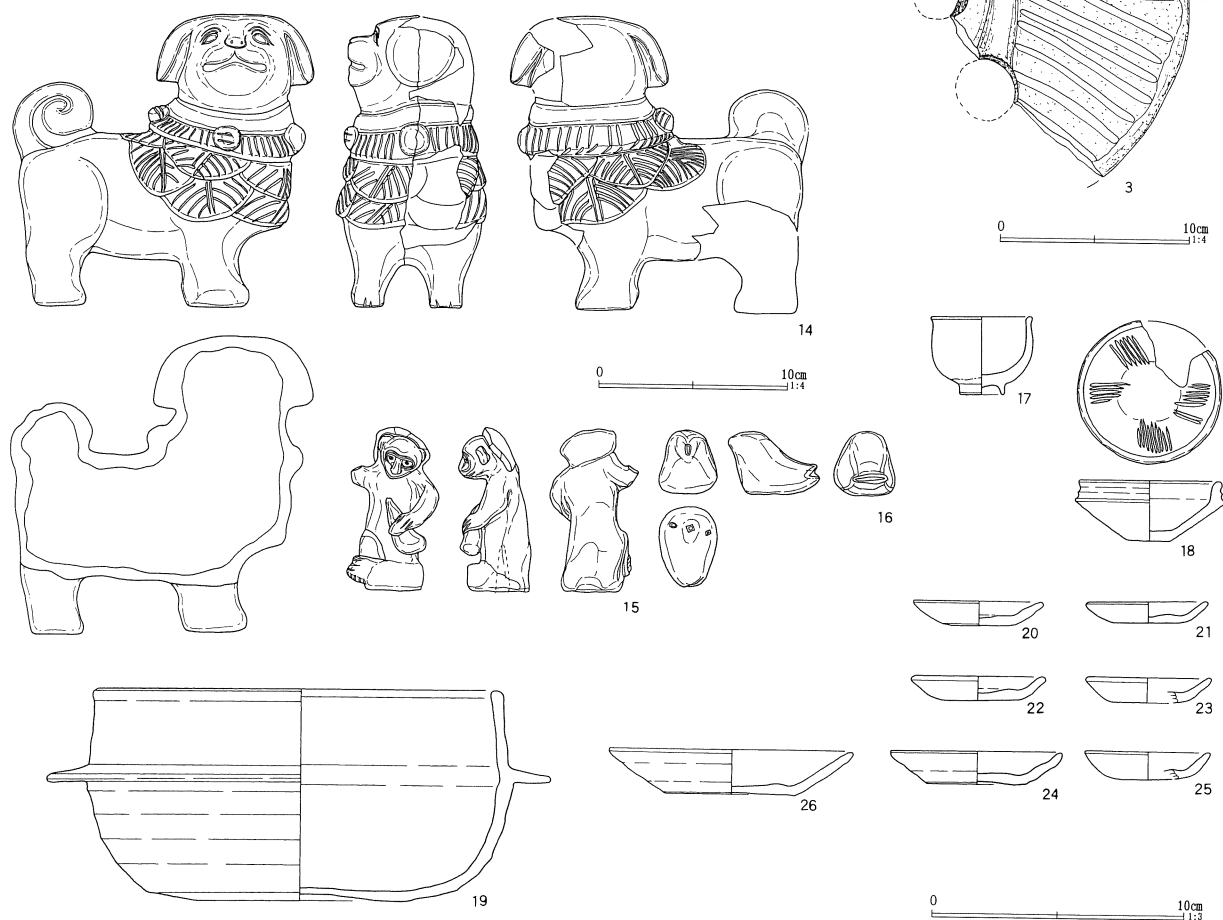
SK51



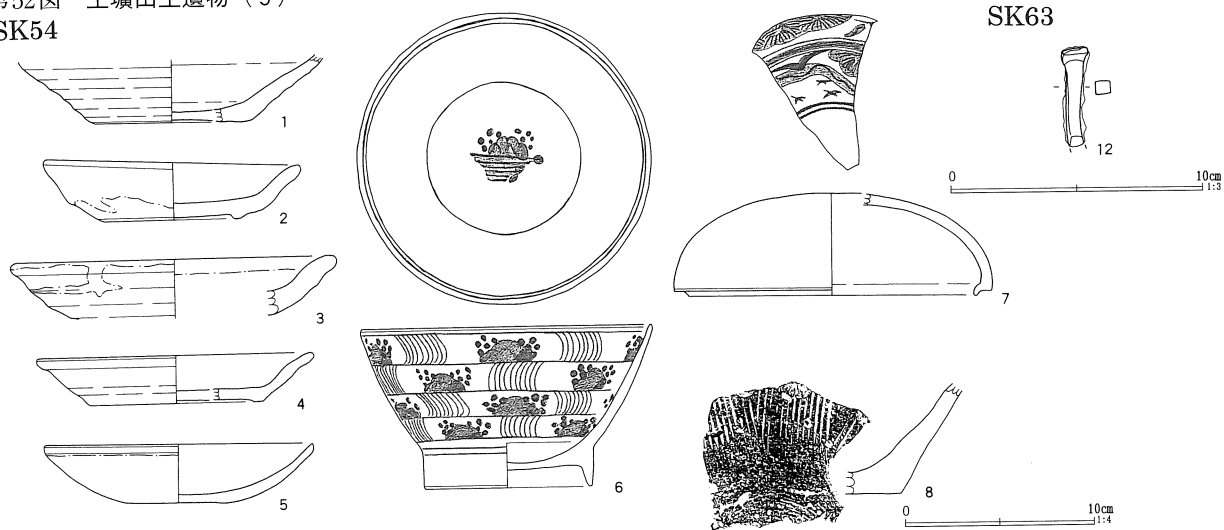
SK50



SK52



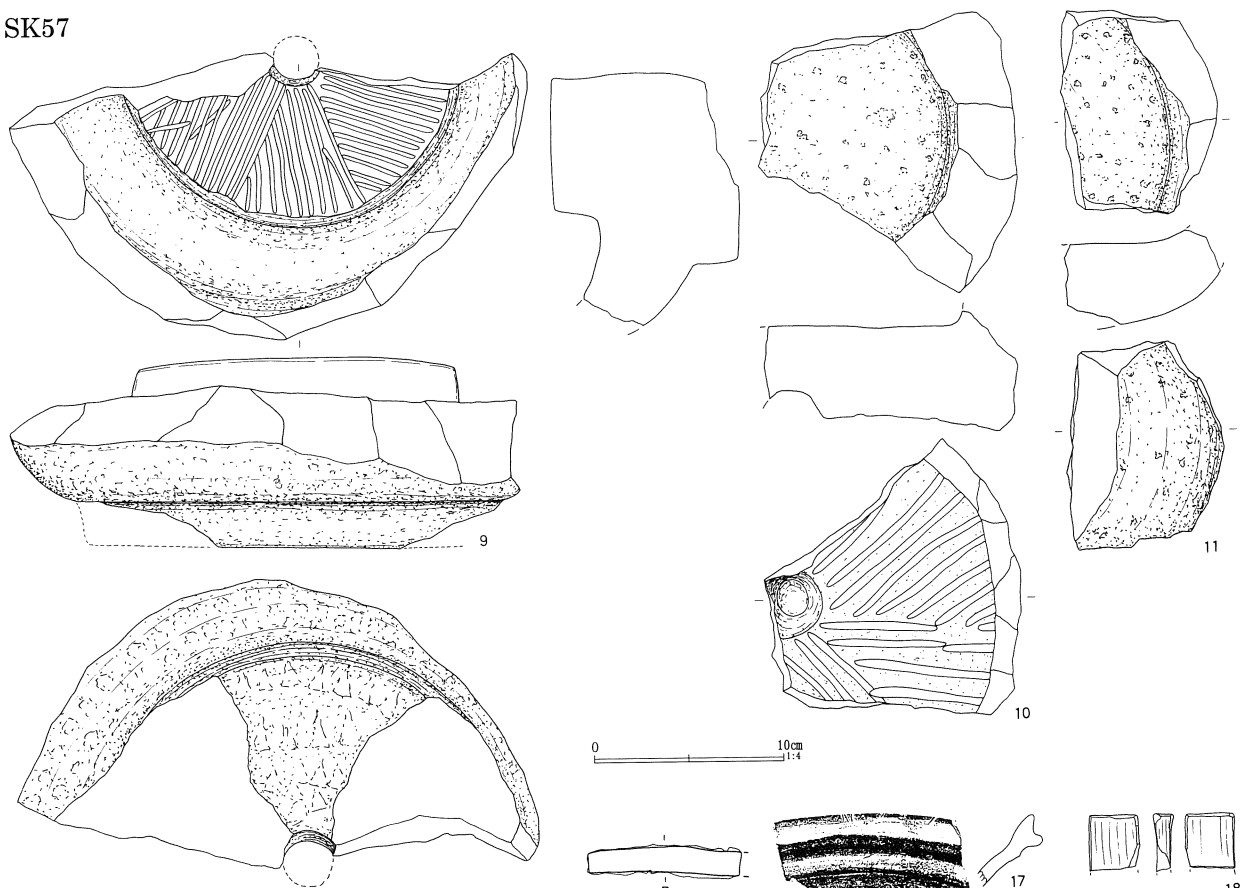
第52図 土壙出土遺物 (3)  
SK54



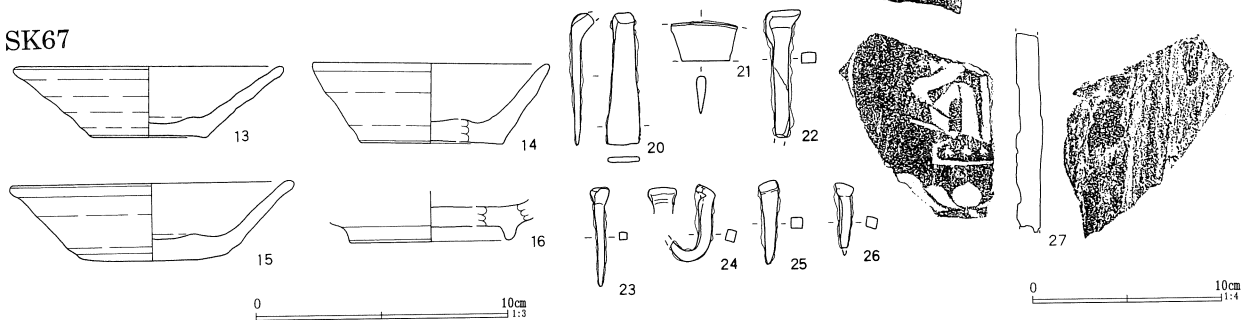
SK63



SK57

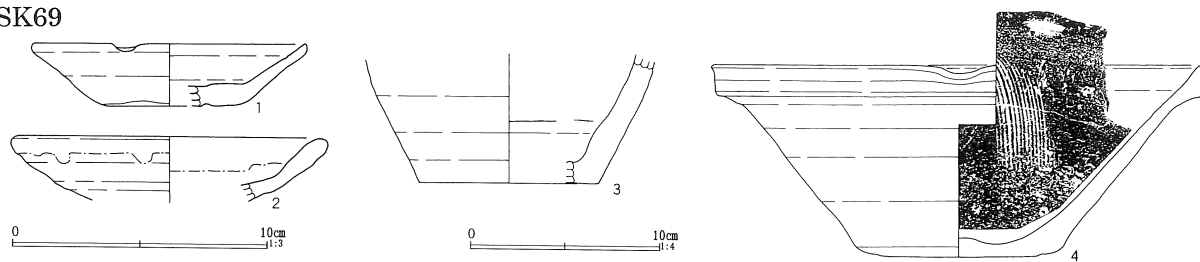


SK67

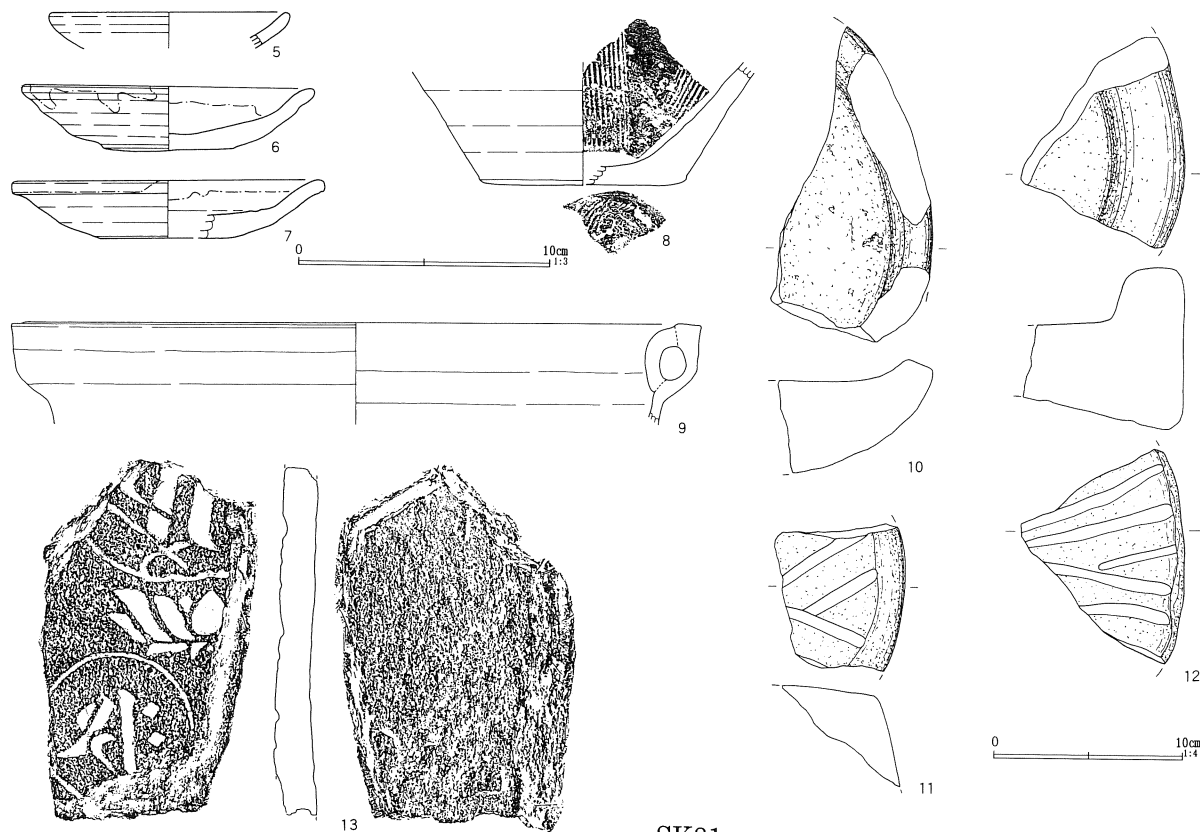


第53図 土壙出土遺物（4）

SK69

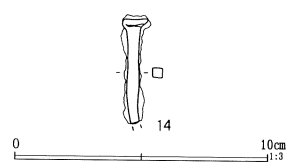


SK70



SK81

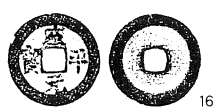
SK72



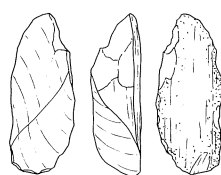
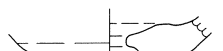
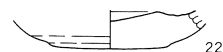
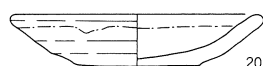
SK76



SK78



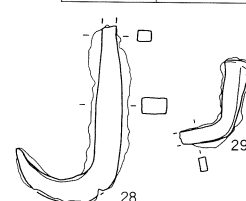
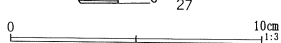
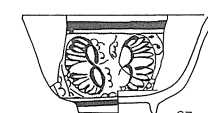
SK83



SK90

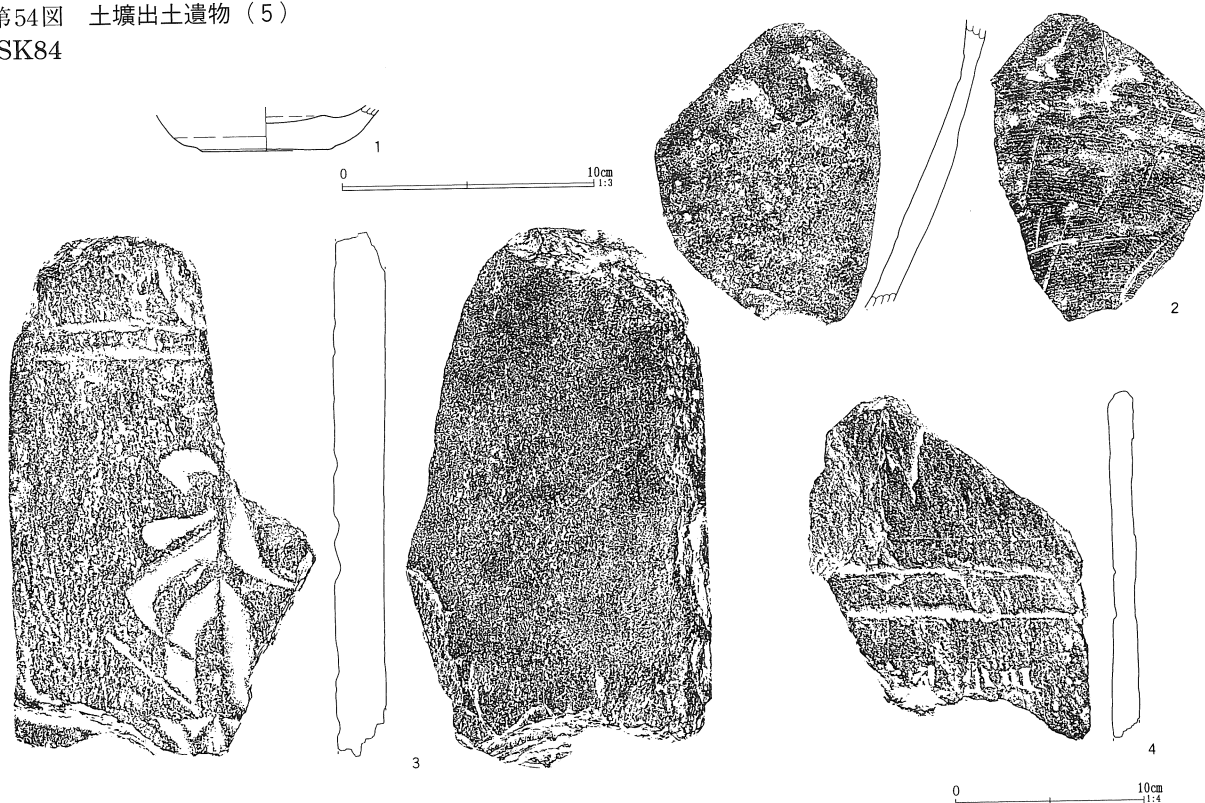


SK102





第54図 土壇出土遺物 (5)  
SK84



土壌出土遺物観察表（第 50 図～第 54 図）

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SK4												
50	1	磁 器 銅	小 皿	(9.4)	2.2	5.0		端 反 形	花唐草	十字花文	景德鎮窯	16c
	2		煙管雁首	火皿径 1.5、現存長 5.4cm								
SK5												
50	3	土 器	蓋	14.3	2.4	9.7					在地系	火消壺蓋  北宋 1068 年 篆書 明 1408 年
	4	土 器	火 消 壺	10.0	15.6	25.2					在地系	
	5	古 錢	熙寧元宝	錢径 24.2、内径 20.0、錢厚 1.50mm、量目 2.15 g								
	6	古 錢	永樂通宝	錢径 24.7、内径 21.1、錢径 1.60mm、量目 2.04 g								
SK18												
50	7	土 器	かわらけ	7.8	2.2	4.5					在地系	15c 後 灰釉
	8	土 器	かわらけ	10.8	3.2	5.0					在地系	
	9	土 器	かわらけ	(14.6)	3.3	(7.2)					在地系	
	10	陶 器	縁 釉 皿	(10.8)	(2.1)	(5.2)		端 反 形			瀬 戸	
	11	鉄	小 柄	現存長 10.9、刃幅 1.3、背幅 0.3cm								
	12	石	砥 石	残存長 13.9、幅 2.9、厚さ 2.8cm								
SK25												
50	13	古 錢	朝鮮通寶	錢径 23.2、内径 20.0、錢厚 1.72mm、量目 2.37 g							朝鮮 1423 年	
SK33												
50	14	土 器	かわらけ		(2.2)	(5.4)					在地系	
SK41												
50	15	銅	鋌	頭幅 1.0、長さ 1.8cm								
SK42												
50	16	陶 器	香 炉	(7.2)	5.4	5.3		半 筒 形			瀬戸美濃	18c 鉄釉
SK46												
50	17	土 器	かわらけ	6.5	2.4	3.4					在地系	
	18	土 器	かわらけ	11.7	3.0	6.0					在地系	
	19	土 器	かわらけ	12.0	3.5	6.3					在地系	
	20	土 器	かわらけ	12.1	3.5	6.4					在地系	
	21	土 器	かわらけ	11.5	4.3	6.1					在地系	
SK47												
50	22	炆 器	甕	(42.0)	(9.5)						常 滑	16c 自然釉付着 明 1408 年 明 1408 年
	23	古 錢	永樂通宝	錢径 24.2、内径 21.1、錢厚 1.40mm、量目 1.44 g								
	24	古 錢	永樂通宝	錢径 24.7、内径 20.8、錢径 1.70mm、量目 1.82 g								
SK82												
50	25	土 器	かわらけ	7.6	2.3	3.5					在地系	内外面黒色物付着 18c 後 鉄釉  北宋 1068 年 篆書  新 無背
	26	土 器	かわらけ	(8.2)	2.5	4.2					在地系	
	27	土 器	かわらけ	8.0	2.4	3.6					在地系	
	28	土 器	かわらけ	10.3	2.9	3.0					在地系	
	29	土 器	かわらけ	11.3	3.0	5.4					在地系	
	30	陶 器	灯明受皿	8.0	1.6	3.3					瀬戸美濃	
	31	鉄	頭巻釘？	頭幅 3.9cm								
	32	鉄	不 明	幅 2.1、現存長 6.8cm								
	33	鉄	頭 巻 釘	頭幅 2.1、現存長 5.7cm								
	34	鉄	頭 巻 釘	頭幅 1.9、現存長 9.6cm								
	35	古 錢	不 明	錢径 23.2、錢厚 1.10mm、量目 1.81 g								
	36	古 錢	熙寧元寶	錢径 23.2、内径 19.4、錢厚 1.50mm、量目 1.73 g								
	37	古 錢	不 明	錢径 23.2、錢厚 1.70mm、量目 2.75g								
	38	古 錢	寛永通寶	錢径 22.1、内径 18.6、錢厚 1.10mm、量目 1.60 g								
	39	古 錢	不 明	錢径 25.2、内径 20.3、錢厚 1.65mm、量目 1.77 g								
SK50												
51	1	土 器	かわらけ	(11.6)	3.0	(5.5)					在地系	

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
51	2	陶 器	小 皿	(12.0)	2.4	(7.2)		折 縁 形		草 文	瀬戸美濃	17c初 志野織部 鉄絵文皿
	3	石	石 臼	残存長 22.8、高 6.4、推定孔 2.9cm								
SK51												
51	4	炆 器	播 鉢		(3.8)						瀬戸美濃	15c後 鉄釉
	5	石	砥 石	残存長 6.9、幅 3.4、厚さ 3.5cm								
	6	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.4、現存長 7.5cm								
	7	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.1、現存長 5.3cm								
	8	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 5.5cm								
	9	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.6cm								
	10	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.7cm								
	11	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.8cm								
	12	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 2.5cm								
	13	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 3.2cm								
	SK52											
51	14	土 器	狎	残存高 16.0、幅 15.6、厚さ 8.2cm							在地系	19c前 小坏 19c前 播鉢 19c前 鉄釉・灰釉
	15	土 器	猿	残存高 6.5、幅 3.5、厚さ 2.9cm							在地系	
	16	土 器	鳥	残存高 2.5、幅 2.3、厚さ 3.6cm							在地系	
	17	陶 器	ミニチュア	4.0	3.1	1.8				瀬戸美濃		
	18	陶 器	ミニチュア	5.6	2.4	1.6				在地系		
	19	陶 器	釜	16.2	8.4	12.4	22.0			在地系		
	20	土 器	かわらけ	(5.2)	1.0	2.6				在地系		
	21	土 器	かわらけ	4.8	0.9	2.8				在地系		
	22	土 器	かわらけ	(5.4)	1.0	2.4				在地系		
	23	土 器	かわらけ	5.0	1.0	(2.3)				在地系		
	24	土 器	かわらけ	6.8	1.3	4.0				在地系		
	25	土 器	かわらけ	5.0	1.1	(2.3)				在地系		
26	土 器	かわらけ	(9.6)	1.8	(5.0)				在地系			
SK54												
52	1	土 器	かわらけ		(2.5)	(6.2)					在地系	瀬戸美濃 16c 鉄釉 瀬 戸 15c後 灰釉 瀬戸美濃 16c 輪トチン 信 楽 19c前 無高台 肥前系 19c初 肥前系 18末～19c初 瀬戸美濃 16c
	2	陶 器	皿	10.2	2.5	5.4		端 反 形	鉄 釉			
	3	陶 器	縁 釉 皿	(13.0)	(2.2)			端 反 形				
	4	陶 器	皿	(11.1)	2.0	(6.8)		端 反 形				
	5	陶 器	灯 明 皿	(10.7)	2.4	(3.6)		平 形				
	6	磁 器	碗	11.5	6.4	6.5		広 東 形	南天・波文	南天・波文		
	7	磁 器	段 重 蓋	(11.4)	(4.0)							
	8	炆 器	播 鉢		(5.8)							
SK57												
52	9	石	石 臼	残存長 27.7、高 10.0、推定孔 2.3cm							茶臼	
	10	石	石 臼	残存長 14.9、高 6.5、孔 1.6cm								
	11	石	石 臼	残存長 10.9、高 5.0cm								
SK63												
52	12	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.9cm								
SK67												
52	13	土 器	かわらけ	10.8	2.8	4.5					在地系	青磁釉 16c前
	14	土 器	かわらけ	9.5	3.2	5.7					在地系	
	15	土 器	かわらけ	11.3	3.0	6.0					在地系	
	16	磁 器	碗		(2.0)	(6.2)					肥 前	
	17	炆 器	播 鉢		(3.7)						瀬戸美濃	
	18	石	砥 石	残存長 3.0、幅 2.7、厚さ 1.0cm								
	19	鉄	不 明 品	幅 1.2、現存長 6.1cm								
	20	鉄	不 明 品	幅 1.3、現存長 5.3cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
52	21	鉄	刃 物	現存長 2.6、刃幅 1.5、背幅 0.3cm									
	22	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 5.0cm									
	23	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、長さ 4.0cm									
	24	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.1cm									
	25	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 3.3cm									
	26	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.6cm									
	27	石	頭 卷 釘	残存長 10.5、幅 8.0、厚さ 1.4cm									
SK69													
53	1	土 器	かわらけ	(10.7)	2.5	(5.6)		丸 形			在地系	15c後 灰釉 灰釉 瀬戸美濃 16c前	
	2	陶 器	縁 釉 皿	(12.0)	(2.6)				瀬 戸				
	3	陶 器	甕		(6.9)	(9.6)							
	4	炆 器	播 鉢	(26.2)	10.2	11.2			瀬戸美濃				
SK70													
53	5	陶 器	灯 明 皿	(9.2)	(1.4)			端 反 形 端 反 形			瀬戸美濃	鉄釉	
	6	陶 器	縁 釉 皿	11.3	2.5	5.2			瀬 戸	15c後 灰釉			
	7	陶 器	縁 釉 皿	(12.0)	2.3	(6.0)			瀬 戸	15c後 灰釉			
	8	炆 器	播 鉢		(6.5)	(11.0)			瀬戸美濃	鉄釉			
	9	土 器	土 鍋	(36.6)	(5.4)				在地系				
	10	石	石 白	残存長 16.8、高 6.1cm									
	11	石	石 白	残存長 8.0、高 5.6cm									
	12	石	石 白	残存長 11.3、高 8.6cm									
	13	石	板 碑	残存長 18.5、幅 10.0、厚さ 2.1cm									
SK72													
53	14	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm									
SK76													
53	15	古 銭	洪武通寶	錢径 23.1、内径 18.1、錢厚 1.20mm、量目 2.52 g								明 1368年	
SK78													
53	16	古 銭	咸平元寶	錢径 24.9、内径 18.9、錢厚 1.32mm、量目 2.50 g								北宋 998年	
SK81													
53	17	陶 器	鍋			(8.8)					瀬戸美濃	19c前 鉄釉	
	18	炆 器	甕			(11.8)					常 滑	18c後	
	19	石	板 碑	残存長 13.3、幅 8.1、厚さ 1.0cm									
SK83													
53	20	陶 器	縁 釉 皿	(9.6)	2.1	(5.0)		丸 形			瀬 戸	15c後 灰釉   底部穿孔	
	21	土 器	かわらけ		(1.6)	5.7			在地系				
	22	土 器	かわらけ		(1.6)	4.6			在地系				
	23	土 器	かわらけ		(1.7)	(5.6)			在地系				
	24	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.5cm									
	25	石	砥 石	残存長 8.6、幅 3.5、厚さ 2.5cm									
SK90													
53	26	土 器	かわらけ	(8.3)	2.5	(5.0)					在地系		
SK102													
53	27	磁 器	小 碗	(7.6)	4.0	(3.0)		端 反 形	葵唐草		瀬戸美濃	19c前	
	28	鉄	鉤	幅 4.2、現存長 7.1、厚さ 0.6cm									
	29	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.8cm									
SK84													
54	1	土 器	かわらけ		(1.7)	5.4					在地系		
	2	炆 器	大 甕							常 滑			
	3	石	板 碑	残存長 28.0、幅 15.9、厚さ 2.3cm									
	4	石	板 碑	残存長 18.4、幅 14.5、厚さ 1.5cm									

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SK109												
54	5	土 器	かわらけ	(10.2)	3.8	(5.6)					在地系	
SK114												
54	6	土 器	灯 明 皿	(7.7)	2.5	5.0					在地系	
SK119												
54	7	炆 器	甕	(17.7)	(5.3)							
SK120												
54	8	土 器	蓋	20.4	3.9		3.4				南比企産	須恵器
SK121												
54	9	土 器	かわらけ		(1.5)	5.8					在地系	13c後～14c前 14c?
	10	炆 器	甕								常 滑	
	11	炆 器	播 鉢								在地系	
SK122												
54	12	土 器	坏	(12.6)	(3.7)	(9.0)						土師器
SK126												
54	13	土 器	坏	(12.8)	(5.0)							土師器
	14	土 器	坏	(15.0)	(3.7)							土師器・体部両面ミガキ
SK127												
54	15	土 器	かわらけ	(11.2)	(3.0)						在地系	
SK130(埋納遺構)												
54	16	土 器	かわらけ	12.9	3.4	7.1					在地系	
	17	土 器	かわらけ	12.8	3.1	7.0					在地系	
F4区埋納遺構												
54	18	土 器	かわらけ	10.4	3.2	5.8					在地系	
	19	土 器	かわらけ	10.4	2.8	6.4					在地系	
	20	土 器	かわらけ	10.1	2.8	6.3					在地系	
	21	土 器	かわらけ	13.4	3.3	7.0					在地系	

際で検出されており、グリッドピットの上に乗るように埋納されていることから、第46号土壇と出土状態が類似している。遺構のプランは不整楕円形を呈し、底面は皿状で、壁は緩く開きながら立ち上がる。長径1.20m、短径0.85m、深さ0.16mを測る。かわらけは2個体が上下に口を合わせて埋納されていた。えな埋納説、地鎮説等の解釈があるが、機能は不明である。かわらけは中世段階のもので、遺構もその時期に比定されよう。

## (8) 門跡

### 第102号土壇 (第49図、第53図26～28)

E-7～8区にかけて位置する。東西に同形の土壇を2基配し、それを布掘状の溝で繋いでいる。土壇は東側が長径2.06m、短径1.27m、深さ0.97m、西側が

### F 4 区埋納遺構 (第54図18～21)

F-4区とF-3区の境界付近から、かわらけを4枚重ねたものが出土した。遺構は検出できなかったが、かわらけは全て完形で、4枚全てを重ねた状態で検出された。第54図21が一番大きく、他はほぼ同じ大きさで、器形、整形等異なるものが共伴という形で検出されている。他の埋納遺構とかわらけの様相が少し異なるが、中世段階のものと思われる。

長径1.87m、短径1.06m、深さ0.91mを測る。土壇の間隔は3.46m、溝幅が0.48mを測る。およそ、間口2間の門跡となる。土壇内には、柱痕の根絡み部分が遺存していた。遺物は染付端反茶碗と、鉄釘が出土している。

### (9) 井戸跡

井戸は調査区内に満遍なく検出されているが、中世段階のものは開口部が開く傾向にあり、近世段階のものは筒状で開口部が開かない傾向にある。また、井戸枠等の付属施設が検出されたものはない。

#### 第1号井戸 (第55図)

D-5区に位置する。グリッドピットや第9号土壌等と重複するが、第1号井戸は第Ⅵ層段階の調査時点で検出されている。従って、遺物は出土していないが、近世の所産と考えられる。また、隣接する第10号土壌上の第Ⅵ層面には焼土と灰層の分布面が確認されており、さらに、火消壺などが第Ⅵ層面で出土していることから、この近辺がある時期の台所、炊事場等の機能を果たしていたことが想像される。井戸は東側約半分が調査区外に当たり、長径1.06m、短径0.51m、深さ0.48mまでを調査した。

#### 第2号井戸 (第55図)

E-6区に位置する。第7号井戸が北西側に隣接する。プランはほぼ円形で、長径0.75m、短径0.70mを測り、深さは1.85mまでを調査した。筒状の井戸で、遺物は検出されなかった。

#### 第3号井戸 (第55図、第57図1～11)

D-7区に位置する。遺構西半分が調査区外にあり、第48号土壌やグリッドピットと重複する。プランはほぼ円形を呈し、長径1.26m、短径0.69mで、深さは1.43mまでを調査した。遺物はかわらけ、陶器香炉、刀子、板碑の破片が出土している。第57図1のかわらけはやや器高が高く、薄手の造りで、中世的な造りと、近世的な造りの中間的な様相を示している。また、2は底部破片であり、混入の可能性もあるが、中世段階のかわらけである。3の香炉等が近世初頭期に位置付けられるものと思われる事等から、本井戸の所属を中世末から近世初頭と位置付けて置きたい。

#### 第4号井戸 (第55図、第57図12～17)

D-7区に位置する。遺構開口部の北西コーナーの一部が調査区内に当たる。従って、全体構成は不明であるが、プラン開口部を開く漏斗状の井戸で、長径1.49m、短径0.80mで、深さは1.15mまでを調査した。本井戸は第Ⅵ層にバックされており、第Ⅶ層段階で機能していたものと推測される。遺物はかわらけ、播鉢の口縁部破片、鉄釘が出土している。第57図12、13のかわらけは、造りが厚く、口唇端部に面取り状の整形を施すなど、中世段階の特徴を持つ。出土遺物、及び井戸の形状から、本遺構は中世段階の所産と推測される。

#### 第5号井戸 (第55図、第57図18～29)

D-8区に位置する。グリッドピットと重複するが、ほぼ全体を調査した。プランはほぼ円形の筒状を呈し、長径1.14m、短径1.10mで、深さは2.40mまでを調査した。井戸内の覆土は一度に埋め戻された土が充填されており、開口部が貼床状に硬化面を成していた。D-7～9の調査区は、2面に互って調査を行っているが、本遺構は下面の2面目で検出されている。この、2面目はおよそ第Ⅵ層に相当することから、遺構自体も第Ⅵ層以前の中世段階の構築と推定される。遺物はかわらけ、陶器縁釉小皿、火鉢、播鉢、刀子、砥石の破片が出土している。第57図18～20のかわらけはやや厚みがあるが、均一的な厚さを保ち、底部が大きく、丁寧な造りである。外面の轆轤成形も均一的で丁寧である。特に、白色がかった色調は特徴的で、胎土もきめ細かいものである。接合はしないが、27と25は胎土・焼成等類似し同一個体の可能性が高く、25のかきめが胴下半部にのみ施されている可能性が高い。出土遺物から、本井戸は中世段階の所産と考えられる。

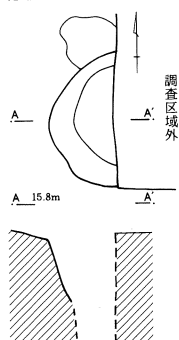
#### 第6号井戸 (第55図)

D-8区に位置する。遺構東半分が調査区外に当たるため、全体像は明らかにし得ないが、やや開口部を開く筒状の井戸と思われる。長径1.52m、短径0.81m

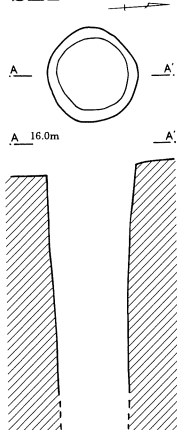


第55図 井戸跡（1）

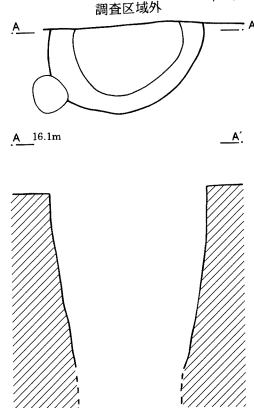
SE1



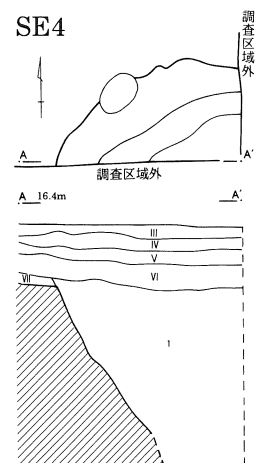
SE2



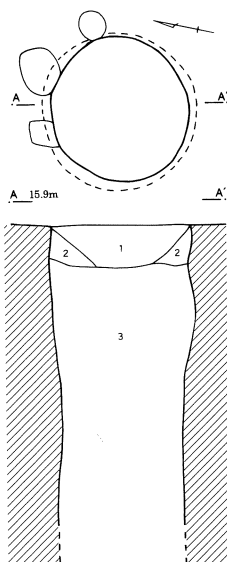
SE3



SE4



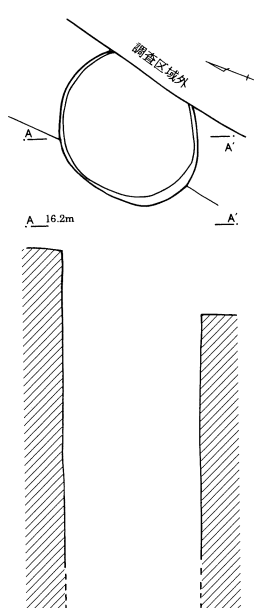
SE5



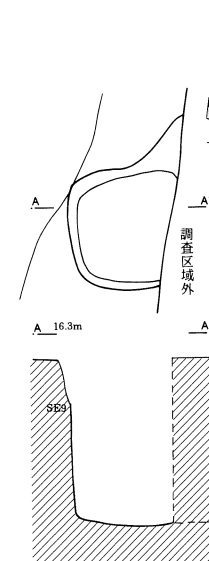
SE4

- 1 暗褐色土 小礫、ロームブロック、粘土ブロック、炭化物、焼土を少量含む埋土。

SE8



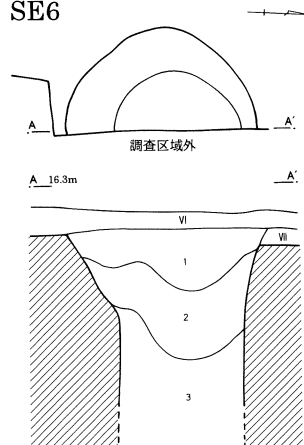
SE9



SE5

- 1 暗褐色土 焼土、粘土、小礫を多く含み、しまり強く、粘性強い。  
2 暗褐色土 しまりやや強い。  
3 茶褐色土 ロームブロック等を多く含み、固くしまる。

SE6

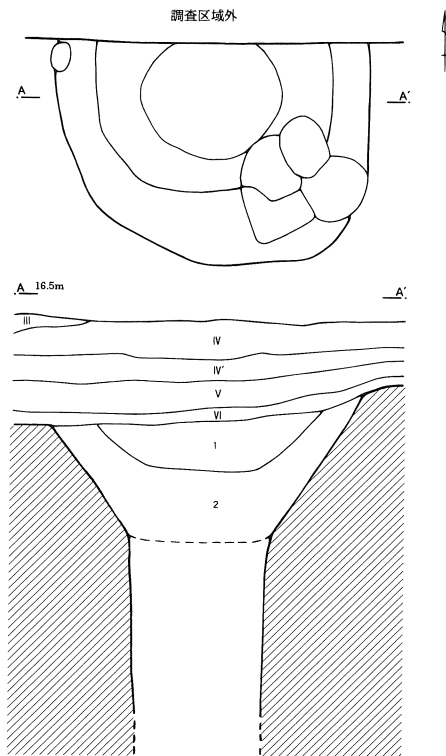


SE6

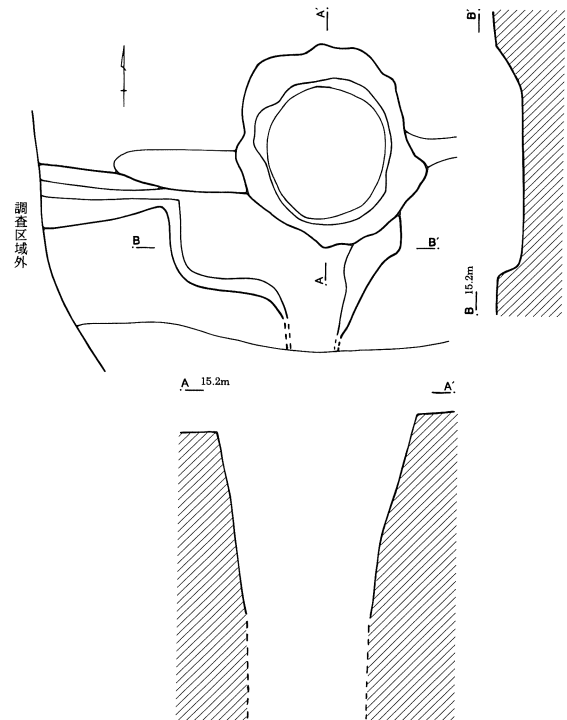
- 1 暗褐色土 焼土、炭化物をわずかに含み、粘性弱く、しまりやや強い。  
2 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土、炭化物を少量含む。粘性弱く、しまり弱い。  
3 黒褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土、炭化物を若干含む。粘性弱く、しまり弱い。

0 2 m  
1:60

第56図 井戸跡（2）  
SE7



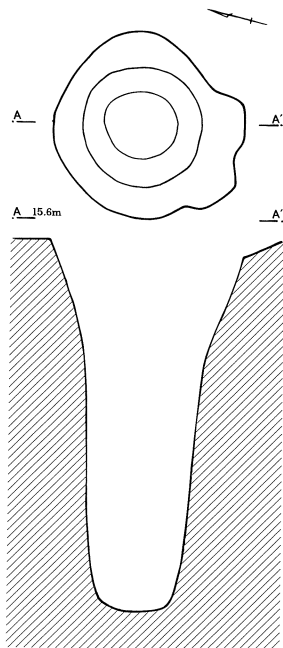
SE12



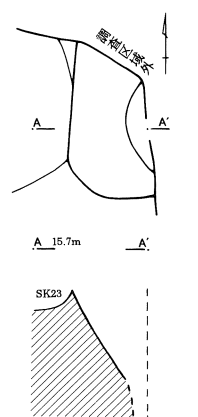
SE7

- 1 暗褐色土 ローム粒子、焼土を少量含み、礫混入。しまりよし。
- 2 褐色土 ローム粒子を多量、ロームブロックを少量含む。焼土、炭化物を若干含む。

SE10



SE11



0 2 m  
1:50

で、深さは1.40mまでを調査した。遺物は出土していない。本井戸は第Ⅵ層にバックされていることから、第5号土塋と同様に、中世段階の所産の可能性が高い。

#### 第7号井戸（第56図、第58図1～11）

E-6区に位置する。遺構北半分が調査区外にあり、第2・3号掘立柱建物跡と重複するが、本遺構の方が新しい。プランは開口部の開く漏斗状を呈し、長径2.48m、短径1.77mで、深さは2.56mまでを調査した。遺物は1、2の陶器志野皿、常滑産の甕の口縁部破片、甕の底部、砥石、石臼、石製円盤、鉄釘が出土している。当初、土塋として調査を始めていることから、第Ⅵ層調査時点で見え隠れしていたものと思われ、断面図では第Ⅵ層にバックされている。出土遺物から遺構所属時期を推定すると、中世最終末から近世初頭の位置付けが可能となる。

#### 第8号井戸（第55図、第58図12～16）

C-10区に位置する。遺構東側の一部が調査区外にあり、第1号堀と重複するが、新旧関係は不明である。プランはほぼ円形の筒状を呈し、長径1.25m、短径0.96mで、深さは2.53mまでを調査した。遺物は中世段階のかわらけ、板碑の破片が出土している。土層断面での重複関係は把握されなかったが、出土遺物から第1号堀と前後する時期の所産と考えられる。

#### 第9号井戸（第55図、第59図1）

C-10区に位置する。遺構東側一部が調査区外にあり、第1号堀と重複するが、新旧関係は不明である。第8号溝同様に、第1号溝と前後する時期か、あるいはやや古い段階の所産と思われる。プランは不整の円形で、長径1.35m、短径0.83mで、深さは0.92mを測る。遺物はかわらけの破片が出土している。深度が浅いため、他の遺構の可能性もあるが、井戸として認識

した。

#### 第10号井戸（第56図）

F-4区に位置する。グリッドピットと重複するが、新旧関係は不明である。プランは漏斗状のほぼ円形を呈し、長径1.52m、短径1.47mで、深さは2.90mであった。今回の調査で、唯一完掘できた井戸であるが、残念ながら遺物は出土していない。遺物がなく時期判断が難しいが、本調査地点から近世の遺物が殆ど出土していない点や、井戸の形状から判断して、所属を中世段階に考えて置きたい。

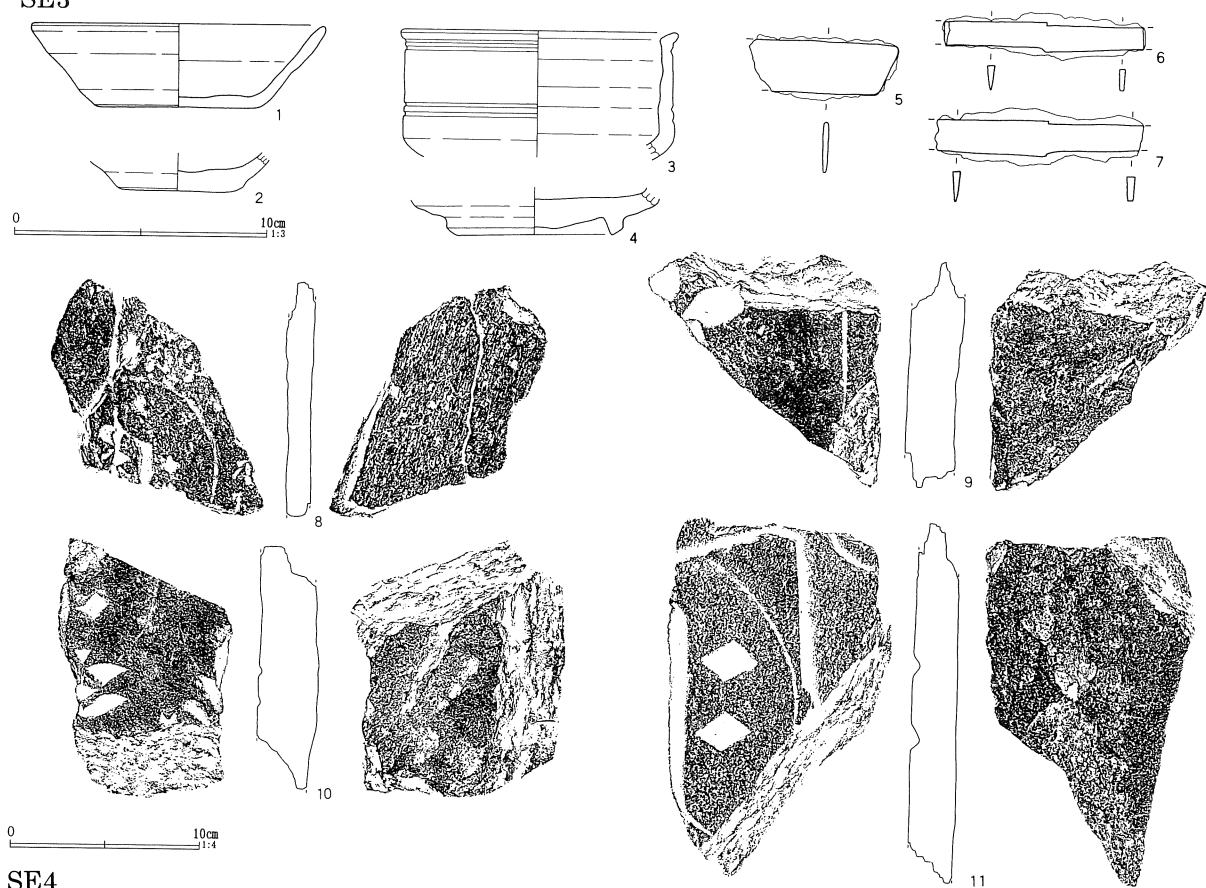
#### 第11号井戸（第55図）

F-4区に位置する。調査区のコーナーに検出された井戸で、大半が調査区外に当たる。詳細は不明で、長径1.14m、短径0.67mで、深さは0.92mまでを調査した。

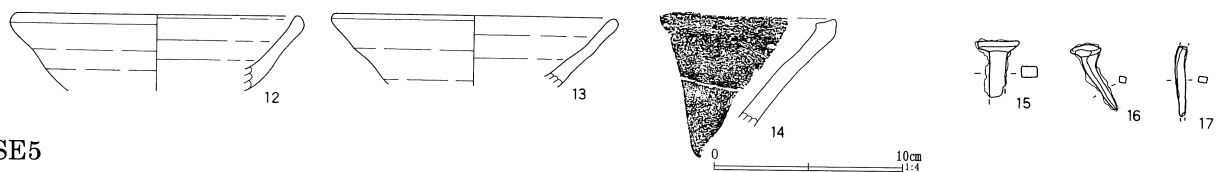
#### 第12号井戸（第55図、第59図4～14）

G-3区に位置する。第2号住居跡と重複するが、本遺構の方が新しい。プランは緩い漏斗状を呈し、長径1.60m、短径1.48mで、深さは1.64mまでを調査した。この井戸の南側には、井戸から溝が続いており、この井戸の付属施設と考えられる。遺物はかわらけ、青磁碗、陶器瀬戸平碗、甕、土鍋の口縁部破片、鉄釘等が出土している。第59図4のかわらけは底部と胴部下半がやや厚い成形で、外面の轆轤調整は細かく丁寧なものとなっている。5は底部が厚い造りである。14は在地産の短頸壺は、外面の風化が著しく、器面の剥落がみられる。一括廃棄されていたもので、ほぼ完形である。およそ、14世紀代の年代が与えられ、今回の調査の中では、中世としては最も古い年代を与えられる一括遺物である。遺構としても、その年代が与えられよう。

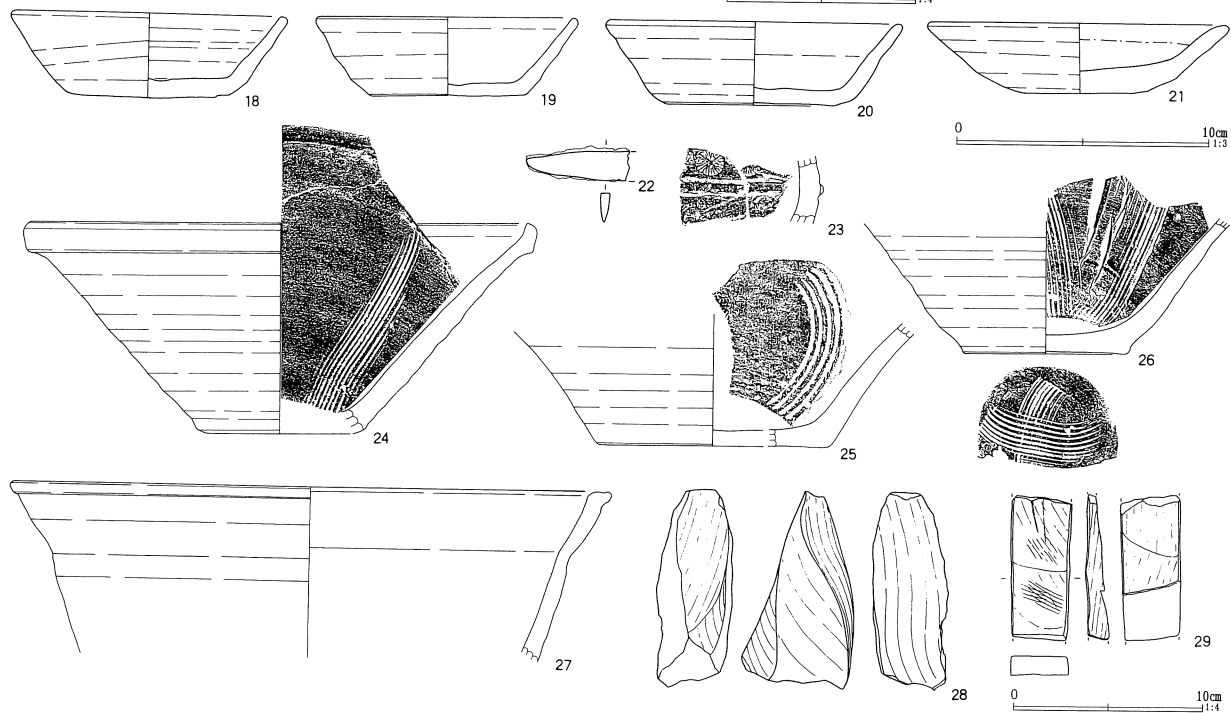
第57図 井戸跡出土遺物 (1)  
SE3



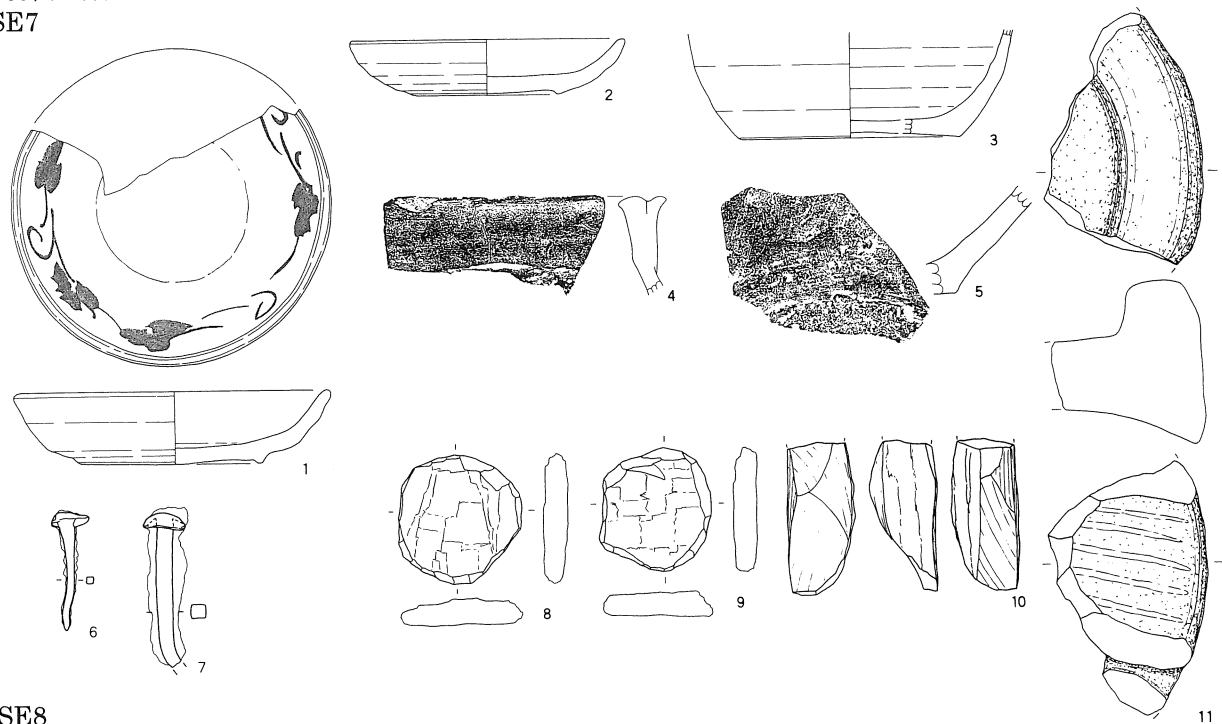
SE4



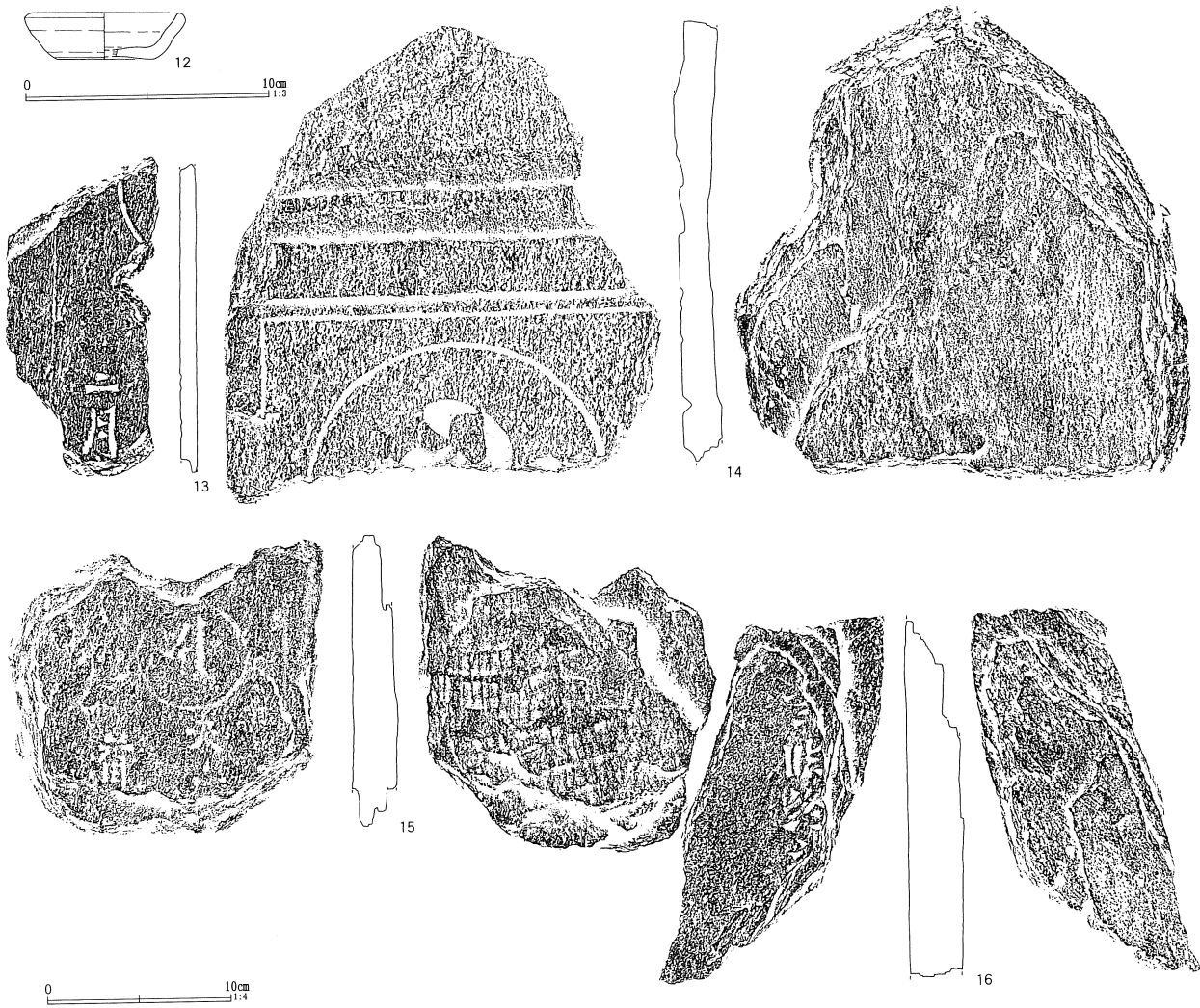
SE5



第58図 井戸跡出土遺物（2）  
SE7

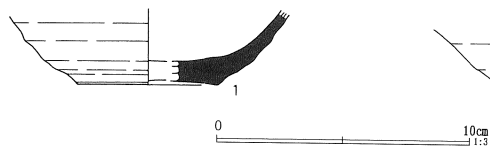


SE8



第59図 井戸跡出土遺物（3）

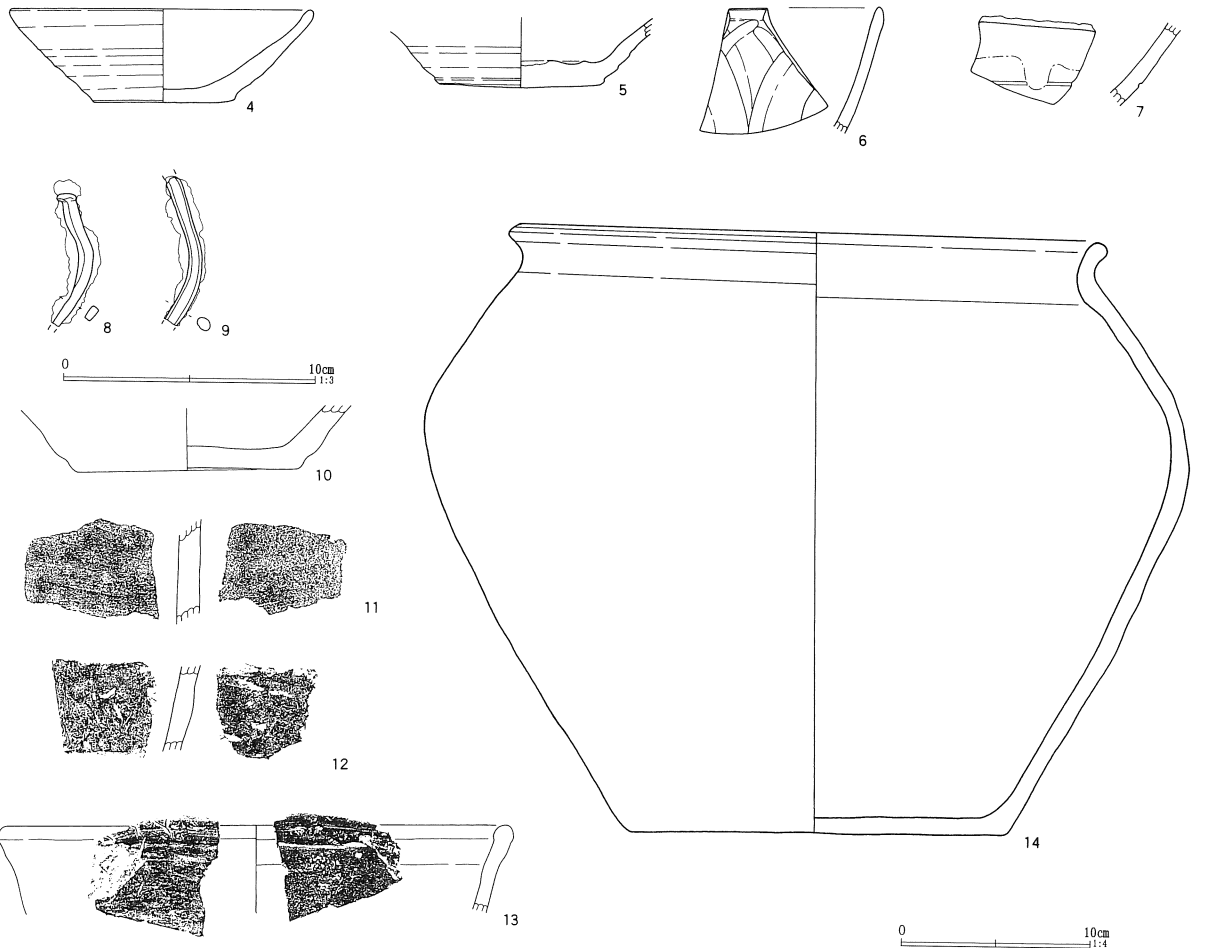
SE9



SE11



SE12



井戸跡出土遺物観察表（第57図～第59図）

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SE3												
57	1	土 器	かわらけ	11.7	3.3	6.4		轆轤半筒形			在地系	17c? 灰釉 16c 青磁釉  切先・茎尻欠失 切先・茎尻欠失
	2	土 器	かわらけ		(1.5)	4.6					在地系	
	3	陶 器	香 炉	(11.0)	(5.0)					瀬戸美濃		
	4	陶 器	皿 ?		(2.0)	(6.2)				瀬戸美濃		
	5	鉄	不 明	現存長 5.9、幅 2.0cm								
	6	鉄	刀 子	現存長 7.9、刀幅 1.2、背幅 0.3cm								
	7	鉄	刀 子	現存長 8.1、刀幅 1.4、背幅 0.3cm								
	8	石	板 碑	残存長 12.4、幅 11.3、厚さ 1.5cm								
	9	石	板 碑	残存長 12.3、幅 8.7、厚さ 3.2cm								
	10	石	板 碑	残存長 12.0、幅 12.3、厚さ 2.8cm								
	11	石	板 碑	残存長 19.1、幅 11.0、厚さ 2.5cm								
SE4												
57	12	土 器	かわらけ	(10.2)	(3.0)						在地系	
	13	土 器	かわらけ	(11.1)	(2.8)						在地系	



図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
57	14	土 器	鉢		(5.8)						在地系	脚部片
	15	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 2.2cm								
	16	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.0cm								
	17	銅	釘	現存長 2.8cm								
SE5												
57	18	土 器	かわらけ	10.7	3.4	6.4					在地系	15c後 灰釉  16c前 16c前 鉄釉 16c前 鉄釉
	19	土 器	かわらけ	(10.2)	3.1	(6.4)					在地系	
	20	土 器	かわらけ	(11.4)	3.3	(7.0)					在地系	
	21	陶 器	縁 釉 皿	12.0	3.0	5.2		丸 形			瀬 戸	
	22	鉄	刀 子	長さ 4.2、刀幅 1.2、背幅 0.4cm								
	23	土 器	火 鉢								在地系	
	24	炆 器	搥 鉢	(27.6)	(11.2)	(9.0)					瀬戸美濃	
	25	炆 器	搥 鉢		(6.7)						在地系	
	26	炆 器	搥 鉢		(7.3)	8.8					瀬戸美濃	
	27	炆 器	搥 鉢	(32.2)	(9.3)						在地系	
	28	石	砥 石	残存長 10.5、幅 4.0、厚さ 6.0cm								
	29	石	砥 石	残存長 7.8、幅 3.2、厚さ 1.2cm								
SE7												
58	1	磁 器	小 皿	12.5	2.9	7.2		丸 形		薦 文	瀬戸美濃	17c初 長石釉 (鼠志野)
	2	陶 器	小 皿	10.9	2.2	5.6		丸 形			瀬戸美濃	17c初 長石釉 (鼠志野)
	3	陶 器	大 瓶		(5.6)	11.7		舟 徳 利			瀬戸美濃	鉄釉
	4	炆 器	甕		(5.3)						常 滑	16c後
	5	炆 器	甕		(4.5)							
	6	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、長さ 4.8cm								
	7	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.1cm								
	8	石	石製円盤	長径 6.9、短径 6.5、厚さ 1.5cm								
	9	石	石製円盤	長径 6.6、短径 6.6、厚さ 1.4cm								
	10	石	砥 石	残存長 8.1、短径 3.7、厚さ 3.5cm								
	11	石	石 臼	残存長 13.5、高 8.7cm								
SE8												
58	12	土 器	かわらけ	(5.3)	1.9	(4.0)					在地系	16c
	13	石	板 碑	残存長 17.0、幅 8.2、厚さ 0.9cm								「二月」
	14	石	板 碑	残存長 24.8、幅 23.9、厚さ 2.1cm								
	15	石	板 碑	残存長 16.1、幅 15.0、厚さ 2.5cm								
	16	石	板 碑	残存長 19.6、幅 11.0、厚さ 3.1cm								
SE9												
59	1	土 器	坏		(3.0)	(5.6)					東金子産	須恵器
SE11												
59	2	土 器	かわらけ		(2.5)	(5.7)					在地系	14c
	3	炆 器	甕									
SE12												
59	4	土 器	かわらけ	(11.8)	3.7	5.7					龍泉窯 瀬 戸	13c後～14c前 青磁釉 B1 類 15c
	5	土 器	かわらけ		(2.8)	6.4						
	6	磁 器	碗		(5.0)							
	7	陶 器	平 碗	頭幅 0.8、現存長 5.3cm								
	8	鉄	釘	現存長 5.9、断面径 0.6cm								
	9	鉄	不 明								在地系	
	10	土 器	甕		(3.3)	12.0					常 滑 在地系	14c 14c前
	11	土 器	甕									
	12	炆 器	甕									
	13	土 器	土 鍋	(26.8)	(4.7)							
	14	土 器	短 頸 壺	30.8	33.2	19.7					在地系	

第60図 ビット状遺構（１）



## (10) ピット状遺構

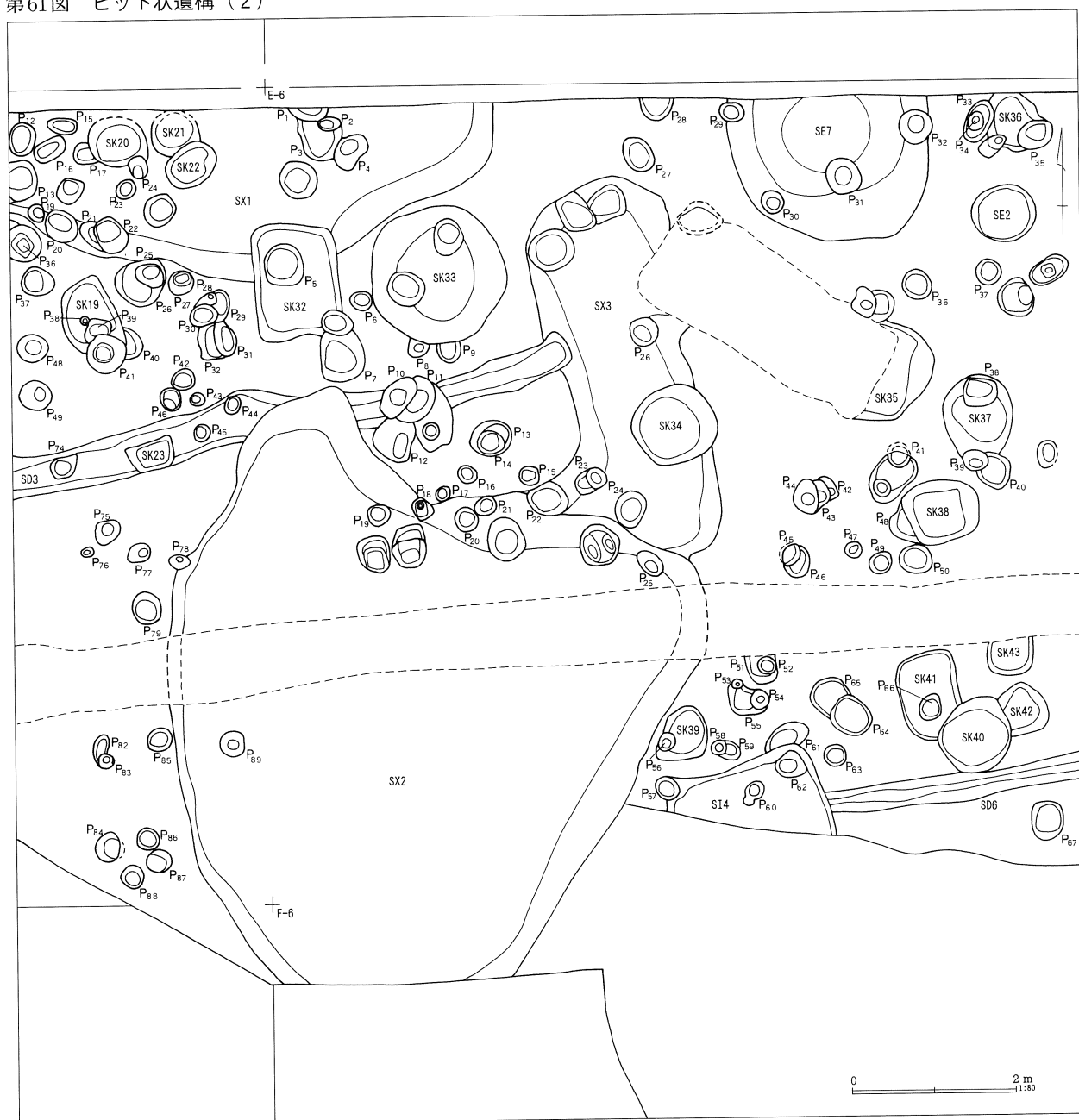
ピット状遺構は、調査区内全般に亘って、多数発見されており、グリッドピットとして番号をつけたものが1629個であった。ローム面にまで達しないピットも多数存在しており、実際の総数はかなりの数に昇るものと思われる。また、これらのピットが、基本的には何かの建物等を構成していたであろうことは明らかで、それ等の組み合わせを認識できなかったことが悔やまれる。さりとて、曖昧な組み合わせによる遺構の

推定も不可能であり、今後の調査による新たな知見との総合から遺構の断定が可能になるよう、全てのピット状遺構に対して計測値等の統計を残した。

これ等のピット状遺構は、ある程度の組み合わせが把握されているものも多く存在する。しかし、建物として確定されるにまで至らないものであり、ピットとして処理した。

全体の傾向を把握しておきたい。第12次調査区では柵列状のピットが多く、何度も立て直されたことが窺

第61図 ピット状遺構（2）



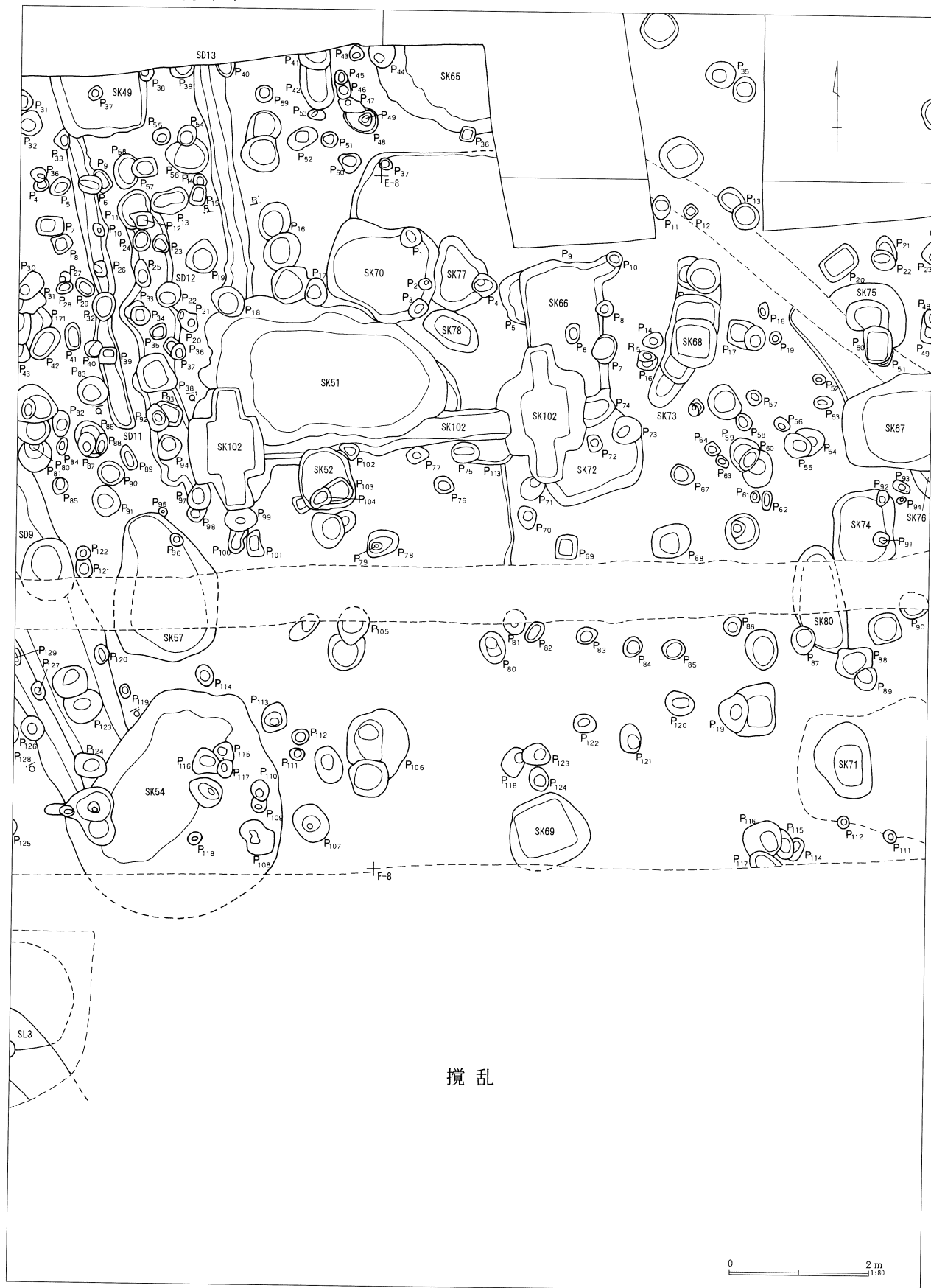
第62図 ピット状遺構（3）



第63図 ピット状遺構（４）

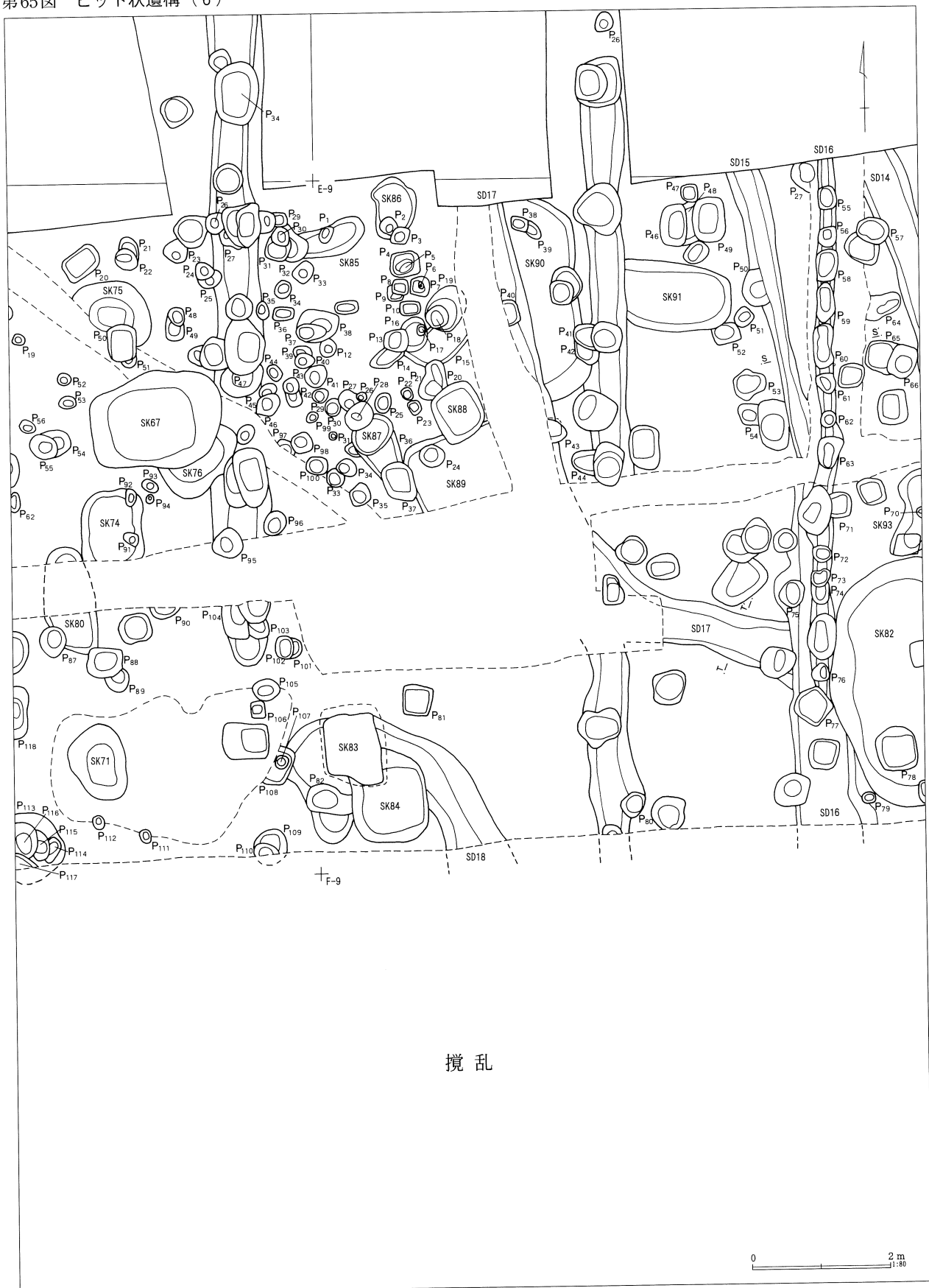


第64図 ヒット状遺構 (5)



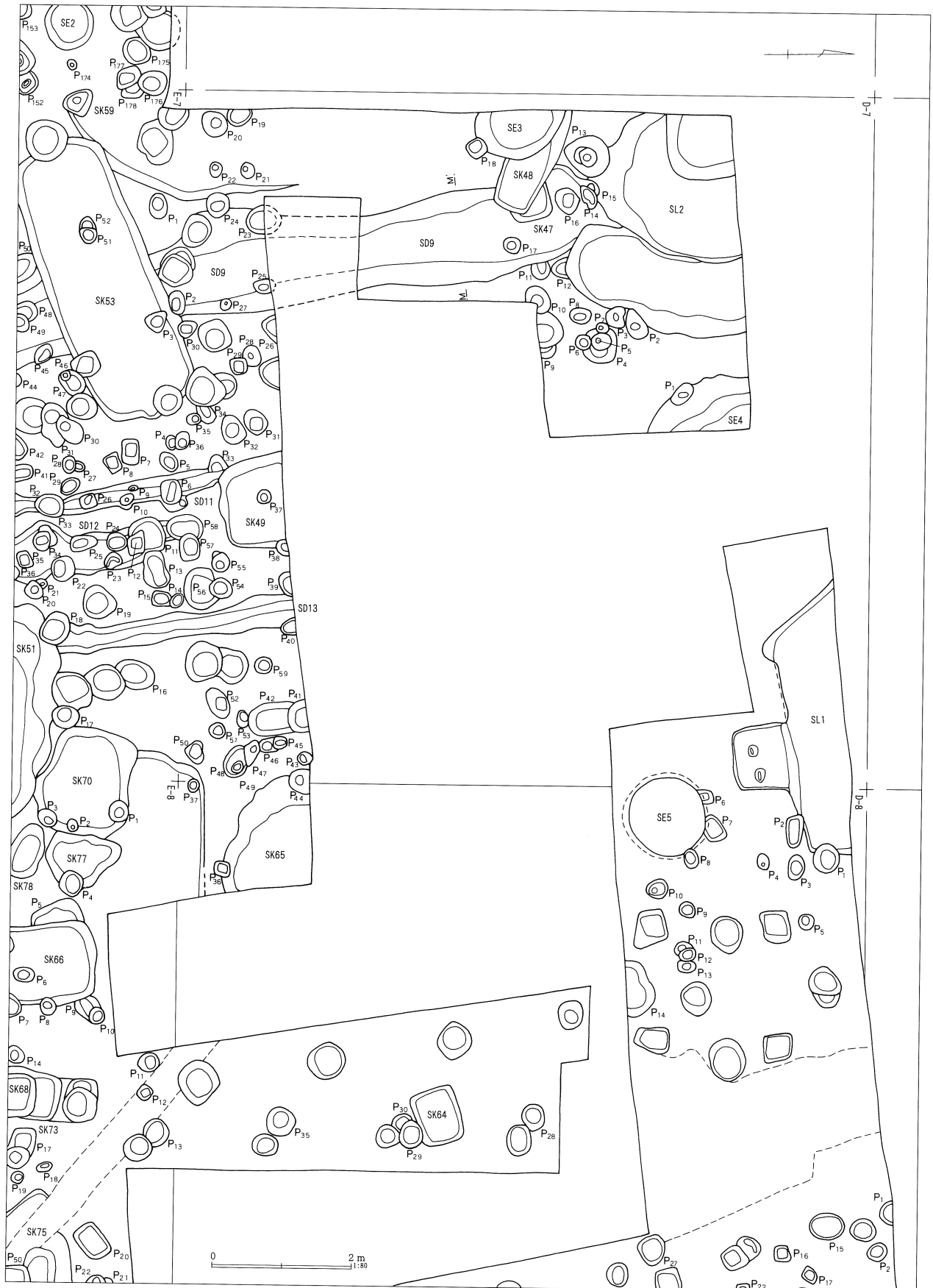


第65図 ピット状遺構（6）

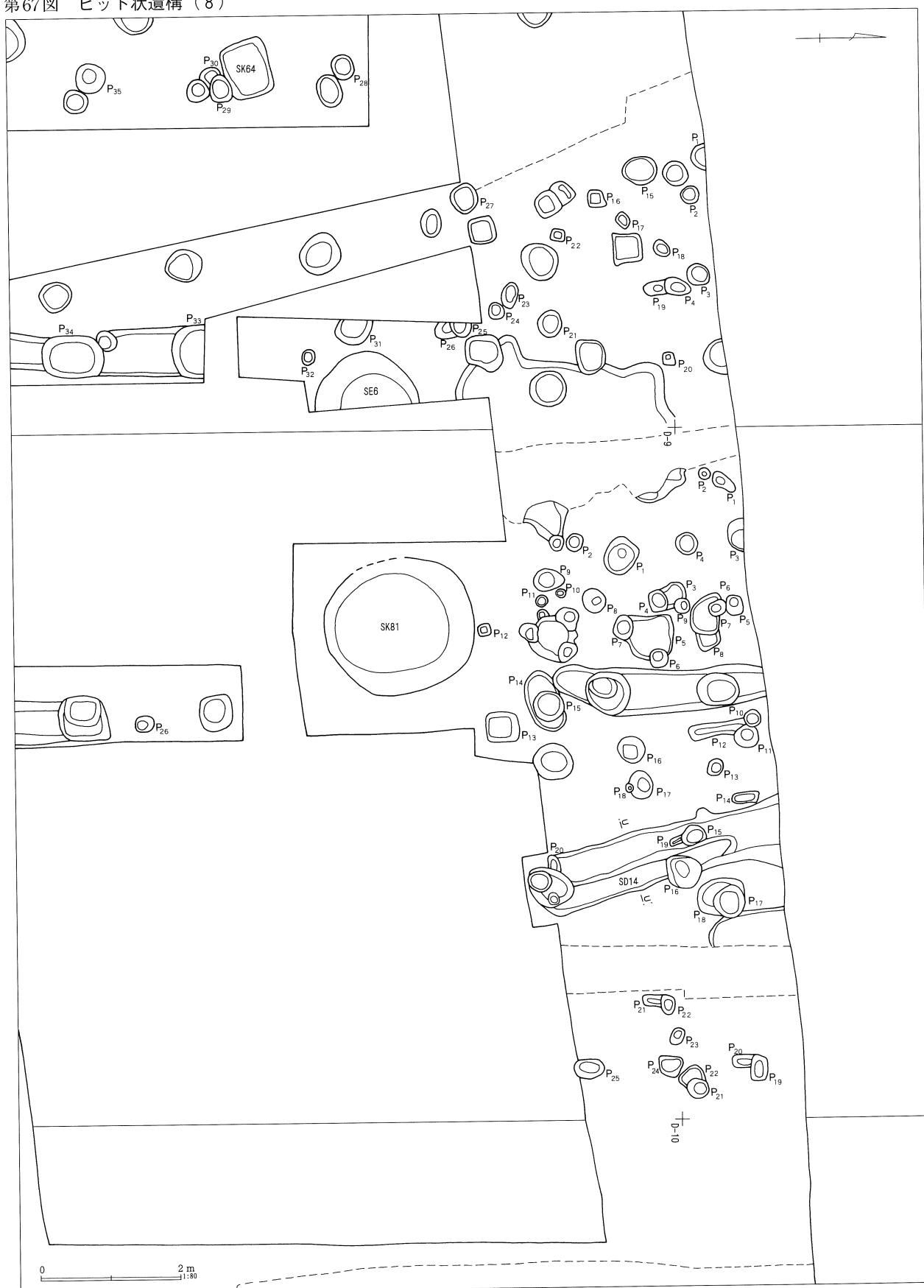


攪乱

第66図 ヒット状遺構（7）



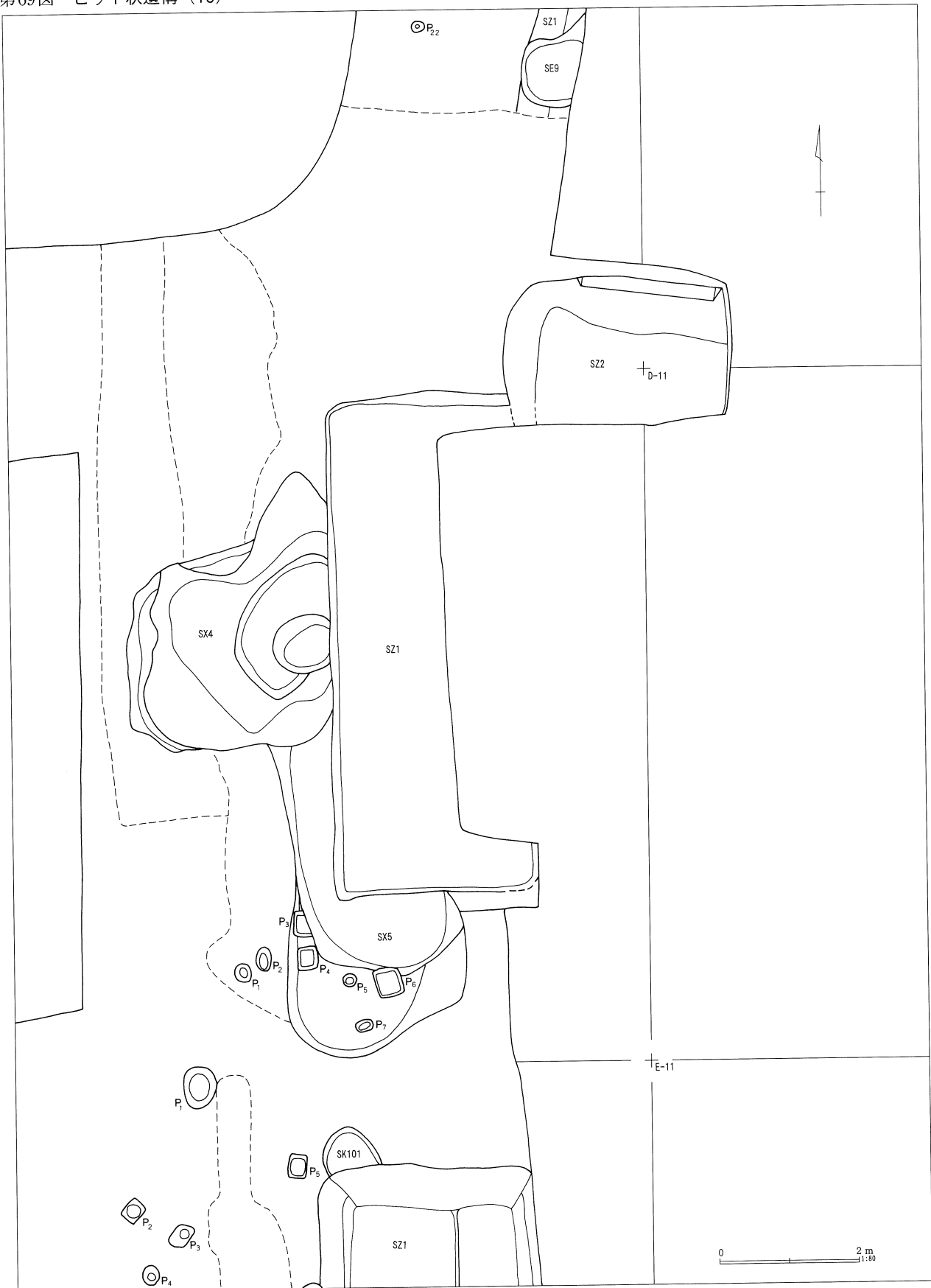
第67図 ピット状遺構（8）



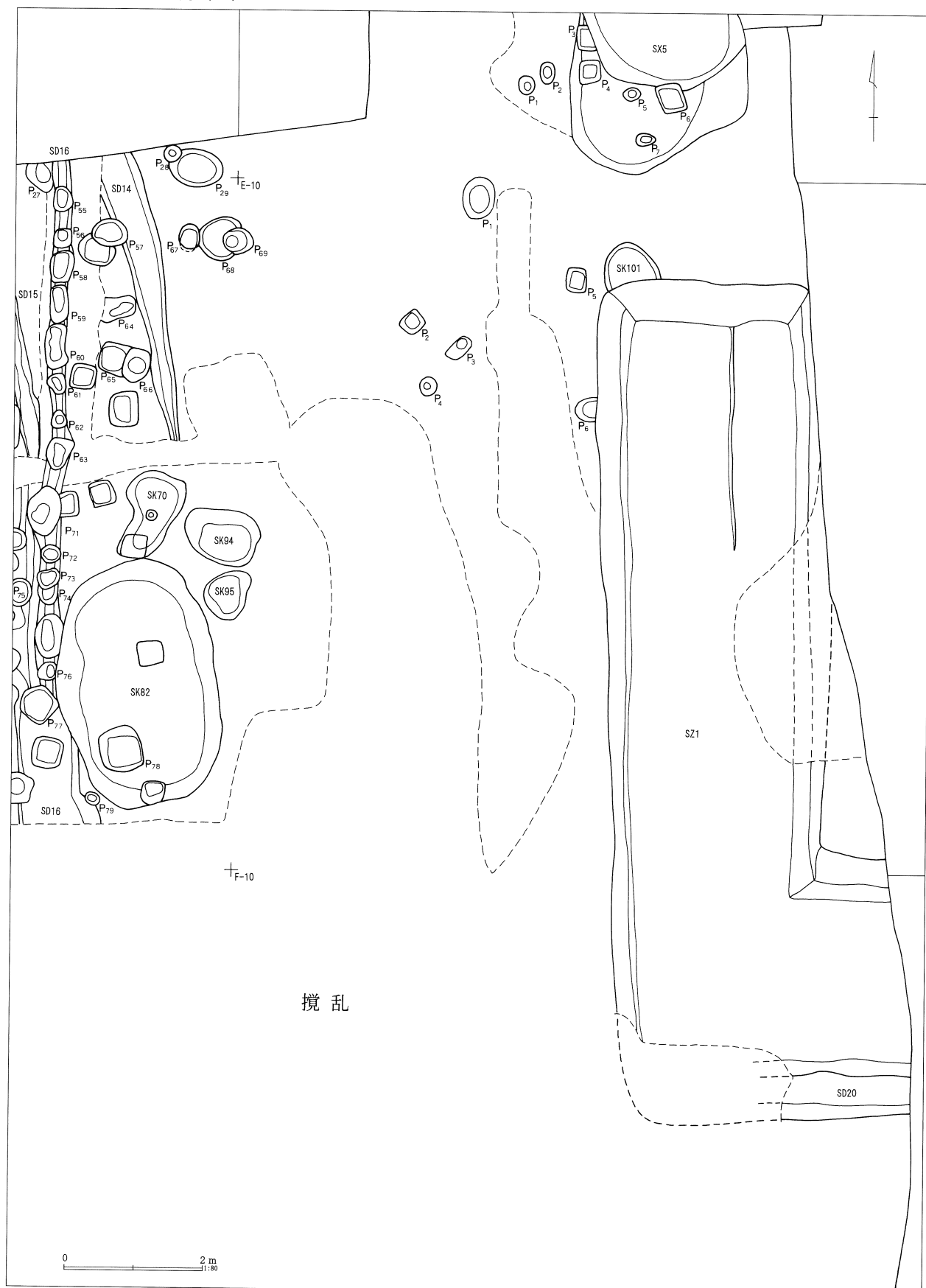
第68図 ピット状遺構（9）



第69図 ピット状遺構 (10)



第70図 ピット状遺構 (11)

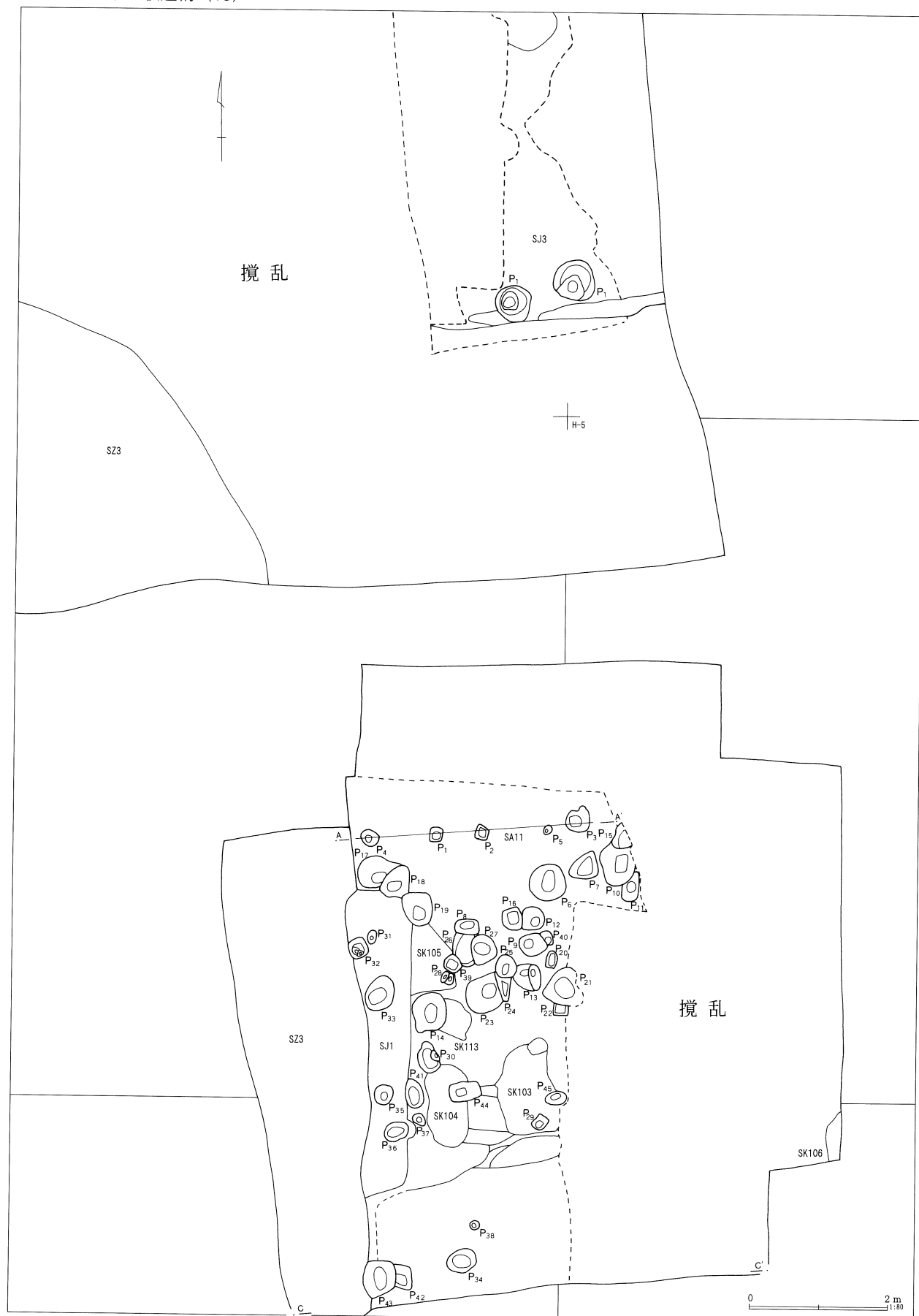




第71図 ピット状遺構 (12)



第72図 ピット状遺構 (13)



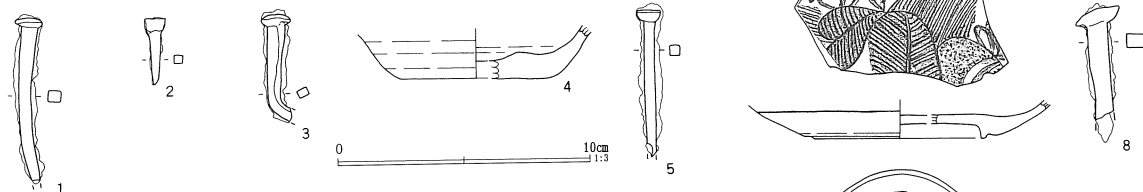
第73図 ビット遺構出土遺物

B10G・P3 C9G・P16 D5G・P8

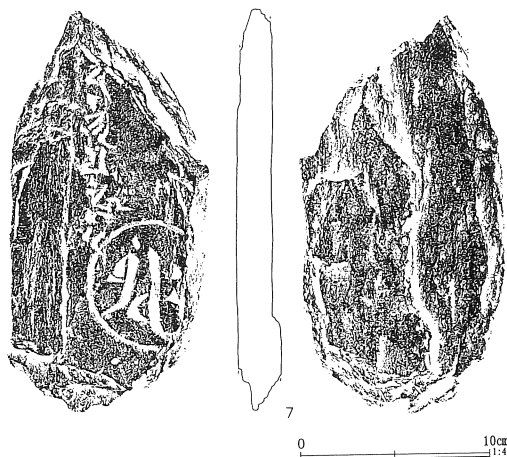
D5G・P14

D7G・P16

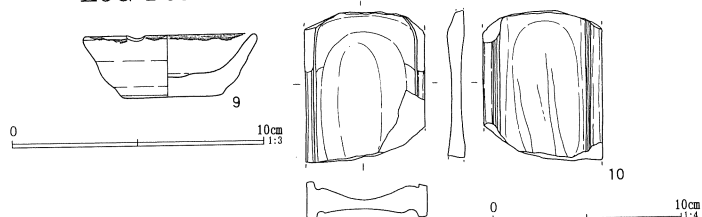
E5G・P50



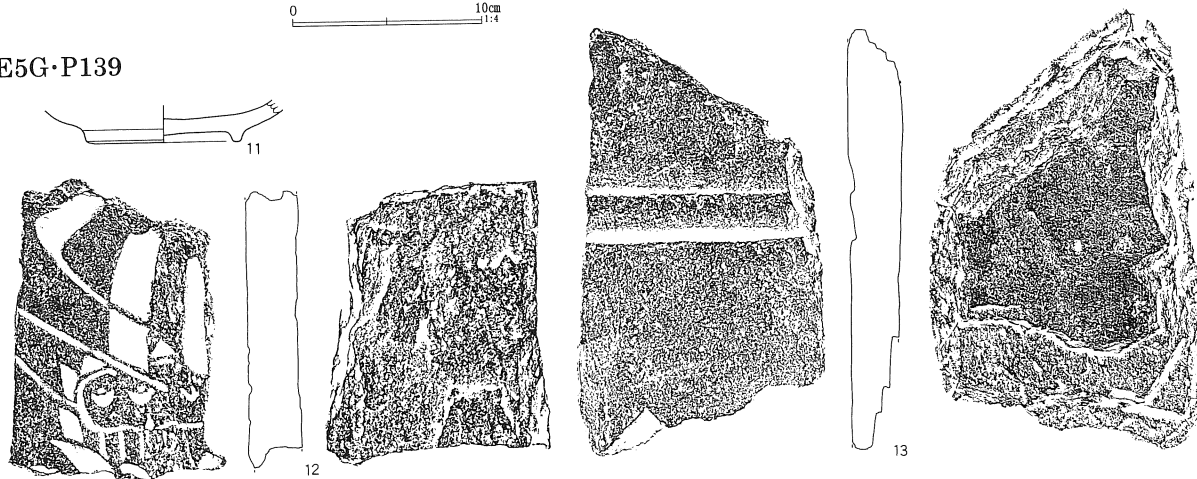
E5G・P33



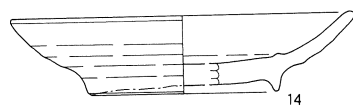
E5G・P65



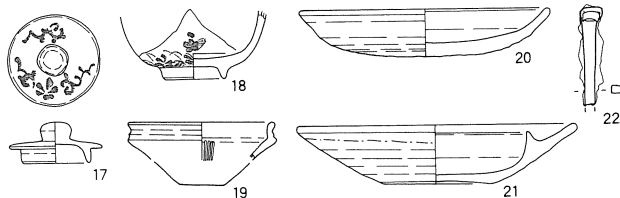
E5G・P139



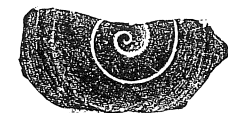
E6G・P34



E7G・P106



E8G・P24

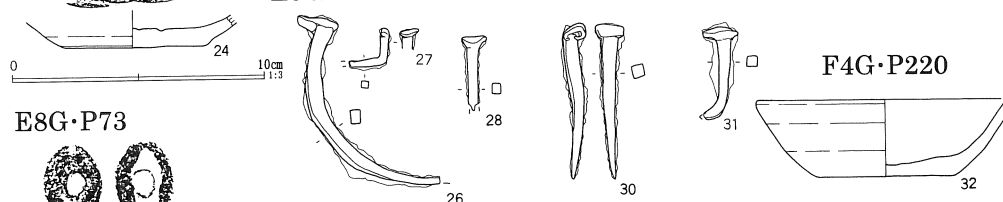


E9G・P19

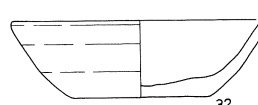
E9G・P27

E9G・P79

E9G・P65



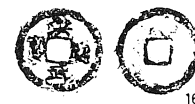
F4G・P220



E7G・P15



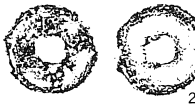
E7G・P48



E7G・P134



E9G・P37



E8G・P73



ピット出土遺物観察表

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
73	1	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 6.7cm								B10・P3 C9・P16 D5・P8
	2	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 2.6cm								
	3	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.4cm								
	4	土 器	かわらけ		(2.0)	(6.0)					在地系	D5・P14
	5	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 5.8cm								
	6	磁 器	皿		(1.5)	(6.7)		丸 形		葉 文	景德鎮	D7・P16 16c後 E5・P33 E5・P50
	7	石	板 碑	残存長 21.3、幅 9.8、厚さ 2.3cm								
	8	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.8、現存長 5.4cm								E5・P65
	9	土 器	灯 明 皿	6.9	2.4	3.9				在地系		
	10	石	硯	残存長 8.0、幅 6.4、厚さ 1.9cm								E5・P139 16c 長石釉
	11	陶 器	皿		(1.5)	6.2		丸 形			瀬戸美濃	
	12	石	板 碑	残存長 14.6、幅 11.4、厚さ 2.9cm								E6・P34 17c後 灰釉 E7・P15 北宋 1068年 E7・P48 明 1368年
	13	石	板 碑	残存長 22.3、幅 13.0、厚さ 2.9cm								
	14	陶 器	五 寸 皿	(13.7)	3.1	(7.4)		丸 形			瀬戸美濃	E7・P106 19c後 小坏 播鉢 18c後 鉄釉 19c前 灰釉
	15	古 銭	熙寧元寶?	銭厚 2.26mm、量目 1.68g								
	16	古 銭	洪武通寶	銭径 23.3、内径 18.5、銭厚 1.90mm、量目 1.96g								
	17	磁 器	蓋	3.7	1.7	1.2	2.7	丸 形	花唐草		瀬戸美濃	
	18	磁 器	ミニチュア		(2.8)	2.4					肥前系	
	19	陶 器	ミニチュア	5.8	(1.5)						瀬戸美濃	
	20	陶 器	灯 明 皿	10.0	1.9	6.0					瀬戸美濃	
	21	陶 器	灯明受皿	11.1	(2.3)	(4.3)	(7.2)				信 楽	
	22	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.9cm								E7・P134 北宋 1038年 E8・P24
	23	古 銭	皇宋通宝	銭径 24.3、内径 20.0、銭厚 1.35mm、量目 2.24g								
	24	陶 器	皿		(1.5)	5.7						E8・P73 E9・P19
	25	古 銭	雁 首 銭	銭径 長径 21.0、短径 15.6、銭厚 2.15mm、量目 1.35g								
	26	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 6.2cm								E9・P27 E9・P37
	27	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 1.6cm								
	28	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 2.9cm								E9・P79 E9・P65
	29	古 銭	不 明	銭径 24.1、内径 20.3、銭厚 1.80mm、量目 2.09g								
	30	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 6.2cm								F4・P220
	31	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 3.7cm								
	32	土 器	かわらけ	(10.0)	3.5	(5.4)					在地系	

える。また、柵列より内側の南側では、四角形状のピットが多数存在し、掘立柱建物跡が存在していたことは確かなものと思われる。また、H-4区では4本柱の祠状建物が何度も改築された様子が窺われたが、不確実なため物跡とはしなかった。

さらに、D～E-5～7区にかけては一部層位的な調査が可能であったが、それぞれの時点で柱穴の並びを確定することは困難であった。第Ⅵ層面と、第Ⅷ層面が最終的な判断の調査面となったが、それでも第Ⅵ層面において、柱穴並びの認定は困難を極めた。これ等の調査区については、2面にわたる平面図を用意し

た。

D-7～9区にかけては、第Ⅵ面と第Ⅶ～Ⅷ層面にかけての面の、2面を調査した。しかし、同様に第Ⅵ層面で確認された遺構の配列は、不確実であった。

E-8～11区にかけては、層位的な調査は不可能であり、全時期の遺構を、ルーム面上で調査したことになる。遺構の重なり等、詳細な部分が不正確となっている。

ピット出土遺物は少なく、図示し得るものは第73図に示した。総じて、近世段階の遺物が少ない傾向にある。

## (11) 堀跡

今回の調査区からは、古絵図に記される堀や、新たに調査で発見された堀を含めて4条の堀が確認された。

### 第1号堀（第74図、第76図1～7）

B～F-10区にかけて位置する。第5号竪穴状遺構、第8・9号井戸、第2号堀と重複するが、第2号堀より古く、他の遺構より新しいものと判断された。馬出しと思われる部分がD～E-10区で、クランク状に西側へ張り出し、その中央部に土橋が存在する。土橋の間隔は約1.70mである。調査区際に検出されたため全体構成を把握しきれないが、堀の底は平坦で、2度程掘り直している。壁断面は台形状に直線的に広がり、底幅は約1.11mで、上幅を確認できる部分はなかった。張り出し部分の長さは10.59mで、クランク状に北側へ延びている。遺物は張り出し部の北側コーナーの覆土内からかわらけが、また、D-10区の埋土の中から、ほぼ完形の土釜、甕の破片、板碑の破片が出土した。かわらけから判断して、溝の構築時期は中世終末と判断した。

### 第2号堀（第74図、第76図8～10）

D～E-10～11区にかけて位置する。第1号堀と重複するが、本堀の方が新しい。第1号堀とほぼ直角方向に存在し、堀幅も広く、深い。堀の形状は不明であるが、地表面から底面まで約3.04mを測る。近世段階

## (12) 溝跡

調査区全体で、新旧合わせて合計26条の溝跡を検出した。堀との区別は、その規模の違いを基準とした。

### 第1号溝（第60図、第75図、第77図1、2）

D-5区に位置する。トレンチ掘りの中で、東西方向に存在する。第Ⅵ層調査段階で検出されており、断面が箱状を呈し、幅0.56mを測る。遺物はかわらけ、天目茶碗の破片、石臼の破片が出土した。

の堀と思われるが、古絵図に相当しない堀と思われる。出土遺物は陶器灯明皿と、火鉢の破片、板碑の破片が出土した。

### 第3号堀（付図、第76図11～21）

第12次調査区と、第9次調査区のJ-7～8区にかけて、調査区内を南北東西にジグザグに区画する。ほぼ古絵図と一致する堀であるが、堀の肩部分のみ明らかにされており、F-2区では地表面より4～5m掘り下げても底面は現れなかった。堀は白色粘土等を含めた埋土で、何層にも互って人為的に埋められており、その埋土の中から遺物が出土している。遺物はかわらけの小破片や、播鉢、焙烙の破片等が出土している。堀の正確な時期を表すものは少ないと思われるが、第3号堀は位置、形状から近世段階の堀と判断される。

### 第4号堀（付図）

F～J-10区にかけて位置する。富士見櫓に面する部分で、古絵図においても堀の存在が明らかにされている部分である。今回の調査では堀の肩部分を検出した。この堀はJ-10～11区位で西方向へ曲がるものと思われる、第3号堀と一つになる可能性が高い。遺物は出土していない。

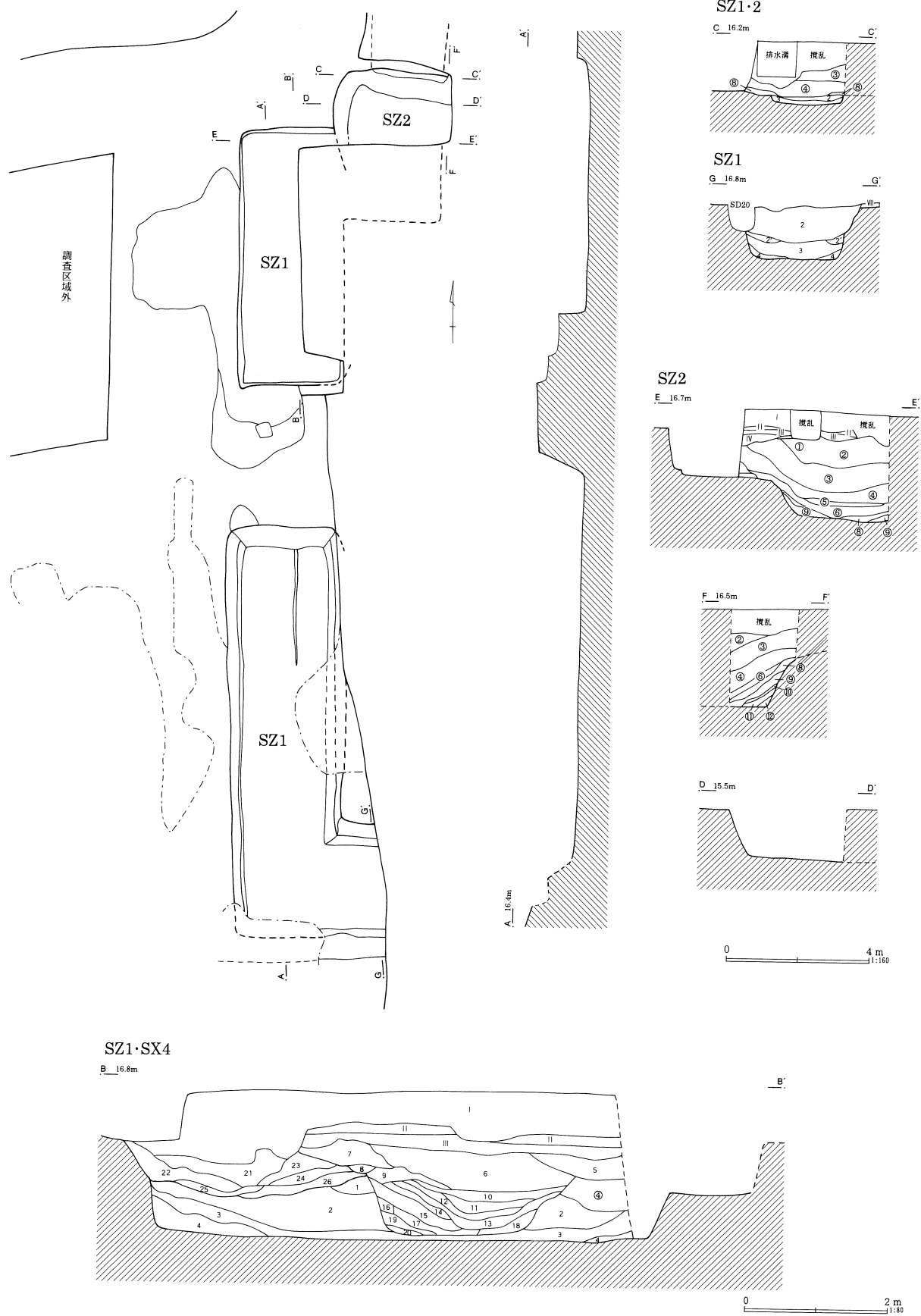
### 第2号溝（第60図、第75図、第77図3）

E-5区に位置する。南北方向に存在し、第3号溝と重複する。第1号溝と類似した溝で、やはり第Ⅵ層調査段階で検出されている。断面が箱状を呈し、幅0.55m、全長6.60mを調査した。遺物はかわらけ、鉄釘が出土した。

### 第3号溝（第60図、第75図、第77図6～11）

E-5～6区にかけて位置する。第2号溝と交差し、東西方向に存在する。調査区西端で北方向に曲がり

第74図 第1号・第2号堀跡  
SZ1・2





## SZ1・SX4

- 1 褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含み、焼土、炭化物を僅かに含む。粘性、しまりに弱い。(SZ1)
- 2 褐色土 ローム粒子を多く含み、焼土、炭化物を僅かに含む。粘性弱い。(SZ1)
- 3 暗褐色土 ローム粒子及びロームブロックを多量に含む。粘性、しまりに弱く、大変脆い。(SZ1)
- 4 黄褐色土 ローム粒子と暗褐色土で構成され、部分的にロームブロックを含む。粘性弱く、しまりに欠け、非常に脆い。(SZ1)
- 5 褐色土 ロームを主体とする整地層で、褐色土とロームブロックが混在する。
- 6 暗褐色土 ローム粒子をまばらに含み、焼土、炭化物を均等に少量含む。粘性、しまりにやや強い。
- 7 褐色土 ローム粒子とロームブロックを少量含み、焼土、炭化物を均等に含む。小礫を混入、しまり強く、粘性やや強い。
- 8 暗褐色土 白色粘土ブロックを混入し、ロームブロック、焼土、炭化物を少量含む。しまり弱く、粘性やや強い。
- 9 暗褐色土 ローム粒子、白色粘土ブロックを少量、焼土、炭化物を部分的に多く含む。粘性弱く、しまり弱い。
- 10 暗褐色土 9層に類似するが、炭化物と焼土の含有量が少なくなる。
- 11 褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含み、白色粘土ブロックを少量含む。焼土、炭化物を僅かに含み、しまり弱く、脆い。
- 12 灰褐色土 粘質土で、焼土、炭化物を僅かに含む。粘性が強く、しまりもやや強い。
- 13 暗褐色土 12層の粘質土とロームブロック、炭化物層が互層を成し、焼土を少量含む。しまり強く、粘性も強い。
- 14 暗褐色土 炭化物を主体とする層で、焼土、ロームブロック、粘土を少量含む。しまり、粘性弱く、非常に脆い。
- 15 暗褐色土 白色粘土ブロックを部分的に多く含み、焼土、炭化物を少量含む。しまり弱いが、粘性強い。
- 16 暗褐色土 白色粘土ブロックとロームブロックが均等に混じり、焼土、炭化物を少量含む。しまり弱く、粘性やや強い。
- 17 暗褐色土 15層に類似するが、粘性、しまりに共に強くなる。
- 18 褐色土 ロームブロックとローム粒子を均等に含み、焼土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性も強い。
- 19 黒褐色土 炭化物を多く含み、焼土を少量含む。しまり弱く、粘性も弱い。

- 20 灰褐色土 白色粘土ブロックを多く含み、炭化物、焼土を少量含む。
- 21 暗褐色土 炭化物を多量に含み、ローム粒子、焼土を少量含む。しまり、粘性共に強い。
- 22 黄褐色土 ロームブロックを主体とし、炭化物、焼土を少量含む。しまり強く、粘性弱い。
- 23 黒褐色土 炭化物を主体とする層で、焼土、ロームブロックを多く含む。
- 24 灰褐色土 粘質土で、ロームブロック、焼土、炭化物を多く含む。しまり強く、粘性も強い。
- 25 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒子を多く含み、炭化物、焼土を僅かに含む。しまり、粘性弱く、脆い。

## SZ2

- ① 暗褐色土 ローム粒子、焼土、炭化物を含む。小礫を混入し、しまり強い。
- ② 褐色土 焼土、炭化物を少量含む。小礫を混入し、しまり強く、粘性弱い。
- ③ 褐色土 ②層に類似するが、礫類の混入が多く、遺物を多く含む。
- ④ 暗褐色土 焼土、炭化物を②層よりも多く含む。小礫を混入し、しまりは強く、粘性を欠く。
- ⑤ 暗褐色土 ローム粒子を多く含む。焼土と炭化物を若干含み、しまり弱く、粘性も弱い。
- ⑥ 黒褐色土 ローム粒子を多量に含む。焼土、炭化物を僅かに含み、しまり弱く、粘性も弱い。
- ⑦ 暗褐色土 ⑧層に類似するが、ローム粒子の混入が少ない。
- ⑧ 暗褐色土 ローム粒子を極めて多く含む。他の混入物はほとんどなく、しまり弱く、やや脆い。
- ⑨ 黄褐色土 ローム粒子を主体とする。⑧層土をブロック状に少量混入し、しまり強く、粘性強い。
- ⑩ 黒褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含む。しまり強く、粘性やや強い。
- ⑪ 黄褐色土 ローム粒子を主体とする。⑩層土を少量混入し、粘性は強いが、しまりやや弱い。
- ⑫ 黄褐色土 ロームブロックを主体とし、⑩層土を少量混入する。粘性強く、しまり弱い。

かけている様子が窺える。第1・2号溝同様に断面が箱状を呈し、幅は0.57mを測り、全長10.15mを調査した。遺物は銅製品、鉄釘が出土した。

## 第4号溝（第62図、第75図）

E-5区に位置する。北北西方向に存在する溝で、第5号溝と重複するが、新旧関係は不明である。第Ⅵ層下の調査段階で検出されており、中世段階に構築された可能性が高い。幅0.48m、全長5.70mを調査した。遺物は出土していない。

## 第5号溝（第62～63図、第75図、第77図12～15）

E～F-5～7区にかけて位置する。第1号掘立柱建物跡、第4号竪穴状遺構、第45号土壇、第4・7・10号溝、第3号地下式塋等多くの遺構と重複するが、明確に新旧関係が把握されるのは第45号土壇より古いといえるだけである。E-5区では南北方向に、E-

6区東西方向に方向を変える。第Ⅵ層でバックされており、中世段階の所産と考えられる。断面の形状は台形状の箱堀状を呈し、幅1.92mを測り、全長約24.00mを調査した。遺物は中国製磁器染付皿、鉄釘、板碑破片が出土した。

## 第6号溝（第63図、第75図）

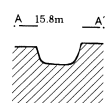
E-6～7区にかけて位置する。第4号竪穴状遺構等と重複するが、新旧関係は不明である。東西方向に存在する溝で、幅0.40mを測り、長さ5.60mを調査した。遺物は出土していない。

## 第7号溝（第63図、第75図）

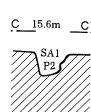
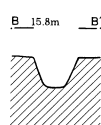
F-6区に位置する。第5号溝と重複するが、新旧関係は不明である。南北方向に存在する溝で、幅0.80mを測り、長さ1.34mを調査した。遺物は出土していない。

第75図 溝跡断面図

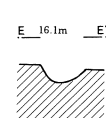
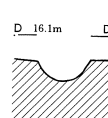
SD1



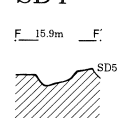
SD2



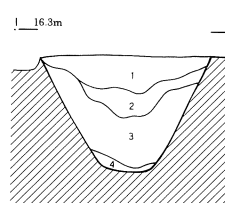
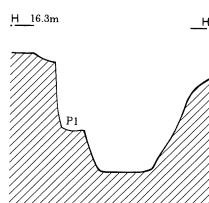
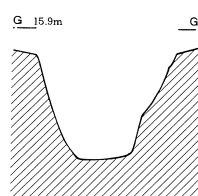
SD3



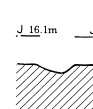
SD4



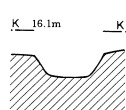
SD5



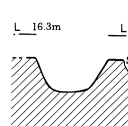
SD6



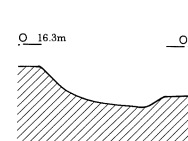
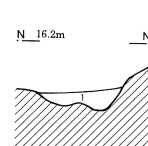
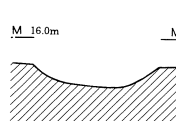
SD7



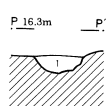
SD8



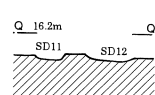
SD9



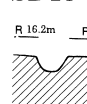
SD10



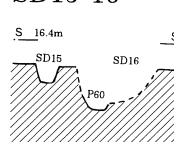
SD11・12



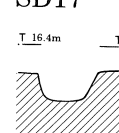
SD13



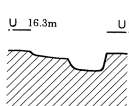
SD15・16



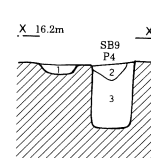
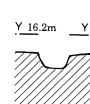
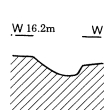
SD17



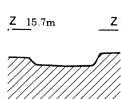
SD14



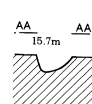
SD19



SD21



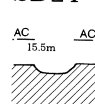
SD22



SD23



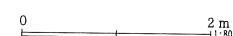
SD24



SD25



SD26



SD 5

- 1 褐色土 ローム粒子を均等に多く含み、ロームブロックを部分的に含む。焼土、炭化物を少量含み、しまり強く、粘性弱い。
- 2 暗褐色土 ローム粒子を多く含み、焼土、炭化物を少量含む。しまり強く、粘性弱い。
- 3 褐色土 ローム粒子及びロームブロックを多量に含み、焼土を僅かに含む。しまり弱く、脆い。
- 4 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多く含み、しまり、粘性共に弱く、脆い。

SD 9

- 1 暗褐色土 ローム粒子、小ブロックを多く含み、しまり強い。

SD10

- 1 黒褐色土 ローム粒子を多量に含み、しまり強い。

SD19

- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土 ブラックバンドロームのブロックを含む。

**第8号溝**（第63図、第75図）

F－6～7区にかけて位置する。第5号溝に沿う形で東西方向に平行して存在する。土器埋納遺構である第46号土壇、第7号溝等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.32mを測り、長さ8.70mを調査した。遺物は出土していない。

**第9号溝**（第63・64図、第66図、第75図）

D～E－7区にかけて位置する。北北西方向に存在し、第2・3・4号掘立柱建物跡、第2号地下式墳、第47・48・53・54号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。最下層に近い深い部分で検出された遺構で、出土遺物も中世段階のものである。幅1.04m前後を測り、長さ15.20mを調査した。遺物はかわらけが多く出土しており、各種のタイプを含んでいる。他に、播鉢、焙烙等の破片が出土している。

**第10号溝**（第63図、第75図）

E～F－7区にかけて位置する。第50号土壇、第5号溝等と重複するが、新旧関係は不明である。第9号溝と平行するように西側に並列して存在するが、浅い部分に構築されているため、E－7区で断ち切れている。幅0.72m前後を測り、長さ5.40mを調査した。遺物は出土していない。

**第11号溝**（第64図、第75図、第78図1）

D～E－7区にかけて位置する。南北方向に存在し、第49号土壇等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.36mを測り、長さ4.30mを調査した。遺物は播鉢が出土している。

**第12号溝**（第64図、第75図、第78図2～7）

E－7区に位置する。南北方向に存在し、第11号溝と平行して存在する。また、多数のグリッドピットと重複する。幅0.56m前後を測り、長さ4.36mを調査した。遺物はかわらけ、甕の底部、磁器茶碗、播鉢、鉄製品が出土している。

**第13号溝**（第64図、第75図、第78図8）

D～E－7区にかけて位置する。南北方向に存在し、第11・12号溝と並列して存在する。第51号土壇等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.40m前後を測り、長さ3.38mを調査した。遺物は鉄釘が出土している。

**第14号溝**（第67・70図、第75図、第78図9、10）

C～E－9区にかけて位置する。一部調査区外を挟んで、南北方向に存在する。第2号柵列等と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.72mを測り、長さ合計8.05mを調査した。遺物はかわらけの底部破片と、脚付火鉢の底部、寛永通寶が出土している。

**第15号溝**（第65図、第75図、第78図15）

D～E－9区にかけて位置する。南北方向に存在し、第15号溝と重複するが、新旧関係は不明である。第14号溝とほぼ同じ軸方向を採る。幅0.48mを測り、長さ4.24mを調査した。遺物は出土していない。

**第16号溝**（第65図、第75図）

D～E－9区にかけて位置する。南北方向に存在し、布掘の溝状を呈する。グリッドピットとして処理したが、細かなピットを連続して持つ。第14号溝とはやや軸方向が異なり、本溝の方が南北方向に近い。幅0.32mを測り、長さ9.60mを調査した。遺物は出土していない。

**第17号溝**（第65図、第75図、第78図14、15）

E－9区に位置する。南北方向に存在し、第16号溝に向って大きく弧を描くが、調査区際では第14・15号溝と並列方向に存在する。幅0.56mを測り、長さ8.30mを調査した。遺物は磁器紅猪口、素焼のミニチュア鉢の底部破片が出土している。

**第18号溝**（第65図）

E－9区に位置する。北西方向に弧を描きながら存

在し、第83・84号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。南側に攪乱を受けているため、全容は不明である。幅0.72mを測り、長さ2.10mを調査した。遺物は出土していない。

#### 第19号溝（第68図、第75図）

A～B-10区にかけて位置する。第5号竪穴状遺構を回避するように、南北にS字状を描いて存在する。第9号掘立柱建物跡、グリッドピット等と重複するが新旧関係は不明である。幅0.50m前後を測り、長さ9.40mを調査した。遺物は出土していない。

#### 第20号溝（第70図）

F-10区に位置する。第1号堀の南側の肩部分に沿うように重複する。本溝は東西方向に存在するが、第1号堀のコーナー部分から先が攪乱を受けていて、どの方向へ溝が向うかは不明である。しかし、第1号溝とは重複しているのみで、断面図の観察から付属施設ではないことは明らかである。幅0.92mを測り、長さ1.84mを調査した。遺物は出土していない。

#### 第21号溝（第71図、第75図）

F-4区に位置する。南北方向に存在し、北側の調査区外へと続く。第22・23号溝と重複するが、新旧関係は不明である。また、第22・23号溝へと分岐している可能性もある。幅0.76mを測り、長さ3.12mを調査した。遺物は出土していない。

#### 第22号溝（第71図、第75図）

F-3～4区にかけて位置する。北東方向に軸を採り、第21号溝と、南西側で第24号溝と重複するが、新旧関係は不明である。第24号溝とはほぼ同じ軸方向を採るため、本来は同一の溝の可能性もある。幅0.40m前後を測り、長さ1.92mを調査した。遺物は出土していない。

#### 第23号溝（第71図、第75図）

F-3～4区にかけて位置する。東西方向に横たわる溝であるが、第24・25・26号溝と重複し、それらとの新旧関係は不明である。第21号溝から方向を変えた可能性もあるが、急に細くなるのも不自然である。第26号溝とは同じ軸方向を採るため、同一の溝の可能性が高い。幅0.24m前後を測り、長さ6.88mを調査した。遺物は出土していない。

#### 第24号溝（第71図、第75図）

F-3区に位置する。北東方向に軸を採り、第22号溝とはやや軸方向が異なるが、同一の溝になる可能性もある。本溝は浅く、末端である南側は地山が傾斜するためグリッドピットP58の先で痕跡を留めなくなる。幅0.44m前後を測り、長さ4.20mを調査した。遺物は出土していない。

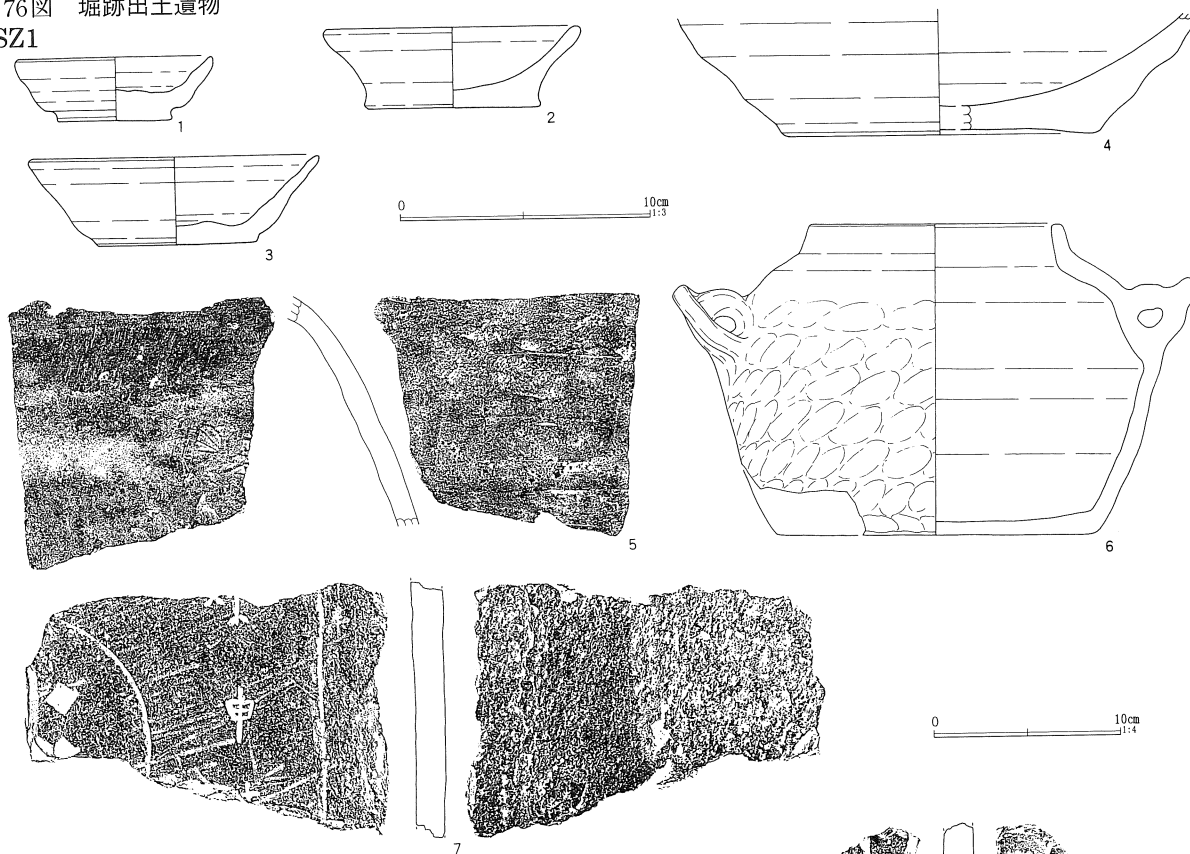
#### 第25号溝（第71図、第75図）

F-3区に位置する。南北方向に存在し、第7号住居跡、第23号溝と重複するが、第7号住居跡より新しく、第23号溝との新旧関係は不明である。幅0.45m前後を測り、長さ2.48mを調査した。遺物は出土していない。

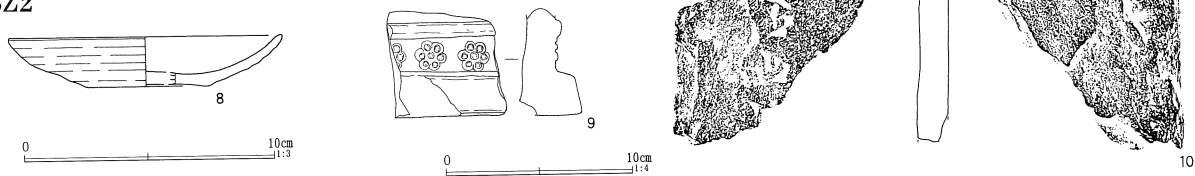
#### 第26号溝（第71図、第75図）

F-3区に位置する。東西方向に存在し、第8号住居跡、第23・25号溝と重複するが、第8号溝より新しく、第23・25号溝との新旧関係は不明である。第23号溝とはほぼ同じ軸方向を採ることから、同一溝とも考えられるが、ローム面の傾斜に合わせて長い距離に互って溝が存在することは、斜面の造成が進む前の比較的古い段階での溝である可能性を示している。幅0.25m前後を測り、長さ2.08mを調査した。遺物は出土していない。

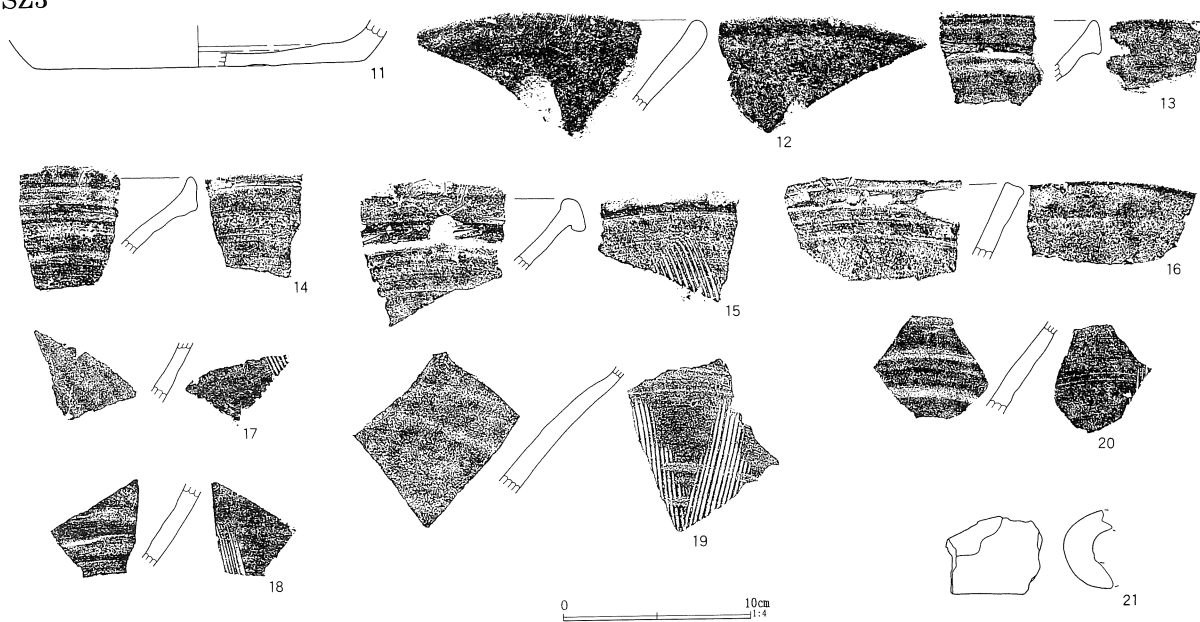
第76図 堀跡出土遺物  
SZ1



SZ2

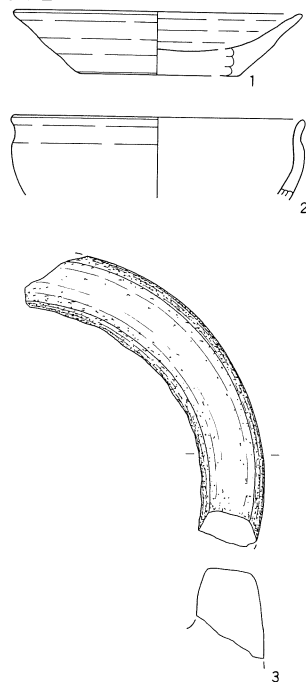


SZ3

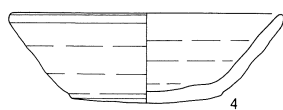


第77図 溝跡出土遺物 (1)

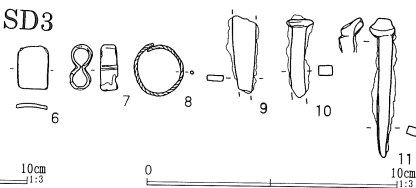
SD1



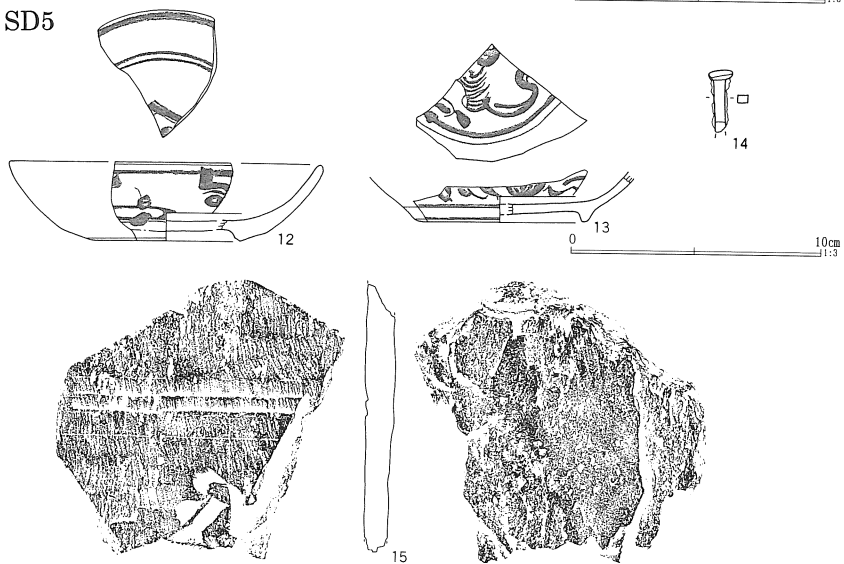
SD2



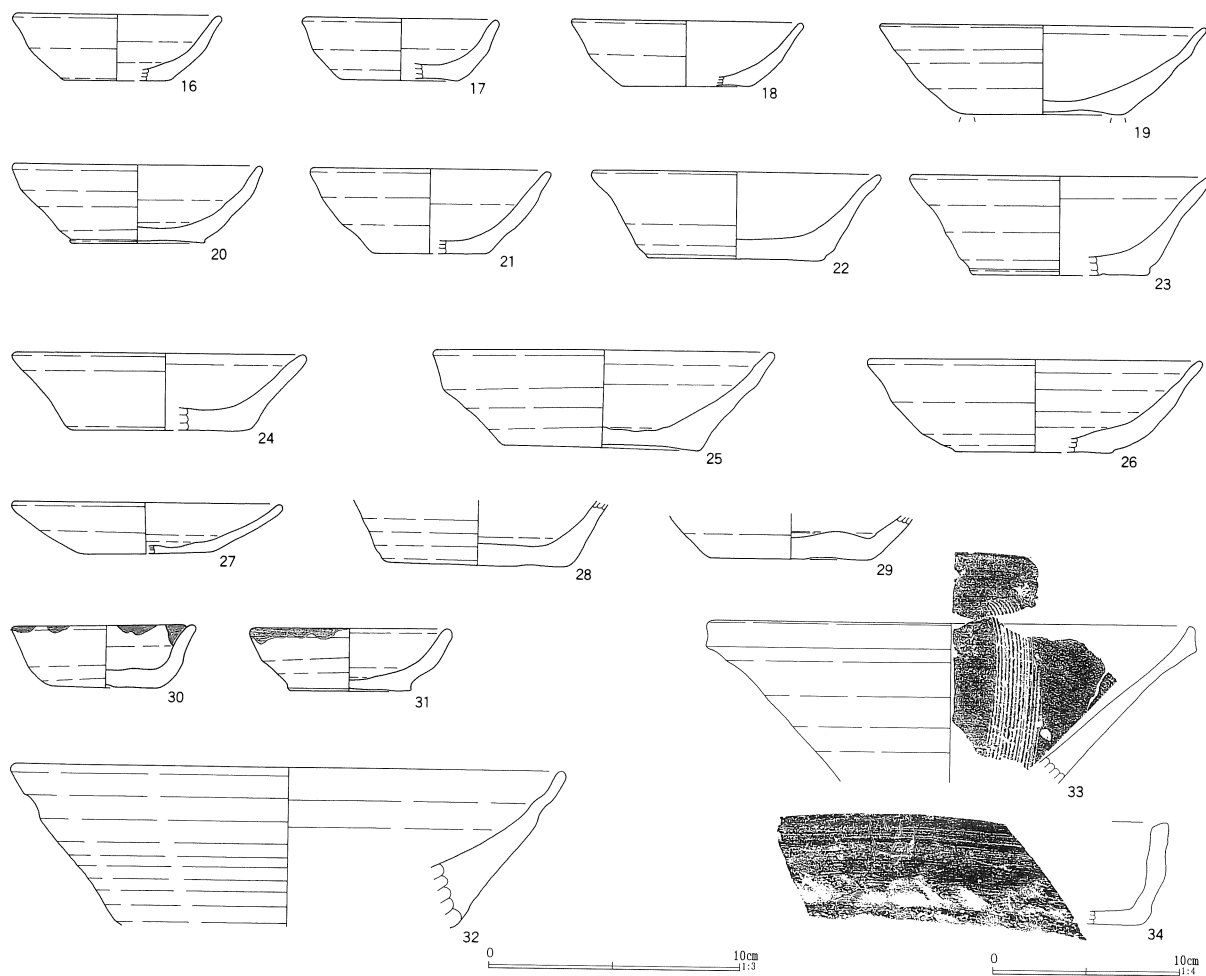
SD3



SD5

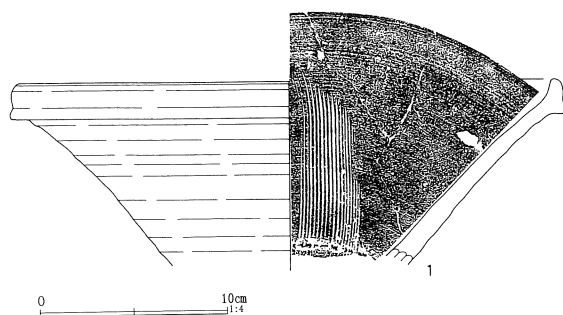


SD9

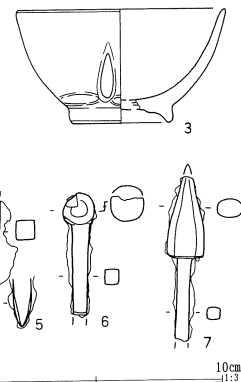
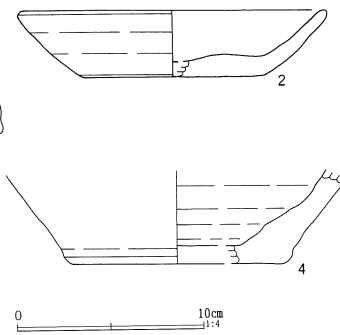


第78図 溝跡出土遺物(2)

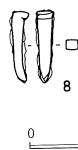
SD11



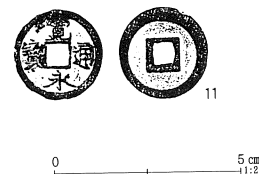
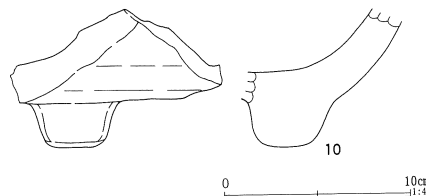
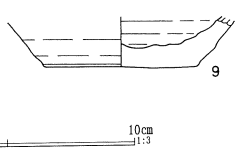
SD12



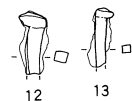
SD13



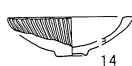
SD14



SD15



SD17



堀跡出土遺物観察表

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SZ1												
76	1	土 器	かわらけ	7.9	2.5	4.5					在地系	押印帯
	2	土 器	かわらけ	(10.0)	3.2	7.0					在地系	
	3	土 器	かわらけ	(11.6)	3.5	6.4					在地系	
	4	土 器	かわらけ		(5.0)	(12.2)					在地系	
	5	炆 器	甕								常 滑	
	6	土 器	釜	13.6	16.5	17.0	28.3				在地系	
	7	石	板 碑	残存長 13.6、幅 19.0、厚さ 1.6cm								
SZ2												
76	8	陶 器	灯 明 皿	(11.0)	2.0	(4.8)					瀬戸美濃	18c後 鉄釉
	9	土 器	火 鉢		(5.7)						在地系	15c末～16c前
	10	石	板 碑	残存長 12.1、幅 11.0、厚さ 1.6cm								
SZ3												
76	11	土 器	鉢		(2.3)	(18.0)					在地系	14c
	12	土 器	鉢		(4.8)						在地系	14c～15c前
	13	炆 器	播 鉢		(3.2)						瀬戸美濃	15c後 鉄釉
	14	炆 器	播 鉢		(4.0)						瀬戸美濃	15c後
	15	炆 器	播 鉢		(3.8)						瀬戸美濃	16c前
	16	炆 器	片 口 鉢		(4.0)						常 滑	14c後～15c前
	17	炆 器	播 鉢								瀬戸美濃	15c後
	18	炆 器	播 鉢								瀬戸美濃	15c後
	19	炆 器	播 鉢								瀬戸美濃	16c前
	20	炆 器	播 鉢								瀬戸美濃	15c後
	21	土 器	羽 口	推定径 4.2、残存厚 1.6、推定送風孔 1.6cm								



溝跡出土遺物観察表（第77図～第78図）

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
SD1													
77	1	土 器	かわらけ	(11.6)	2.5	(6.3)		天 目 形			在地系	16c 鉄釉	
	2	陶 器	中 碗	(11.8)	(3.2)					瀬戸美濃			
	3	石	石 臼	残存長 18.7、高 4.9cm									
SD2													
77	4	土 器	かわらけ	10.9	3.6	6.0					在地系	木質付着	
	5	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.4cm									
SD3													
	6	銅	不 明	幅 1.2、長さ 1.7、厚さ 0.2cm									
	7	銅	不 明	幅 0.7、長さ 1.8cm									
	8	銅	不 明	直径 2.0、断面径 0.1cm									
	9	鉄	不 明	幅 0.9、現存長 3.0cm									
	10	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.1cm									
	11	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 5.5cm									
SD5													
77	12	磁 器	小 皿	12.6	3.1	(6.0)		丸 形			景德鎮	16c	
	13	磁 器	小 皿		(2.0)	6.4		丸 形		玉取獅子	景德鎮	16c	
	14	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.4cm									
	15	石	板 碑	残存長 14.1、幅 15.2、厚さ 1.6cm									
SD9													
77	16	土 器	かわらけ	(8.0)	2.6	(4.4)					在地系	15c後	
	17	土 器	かわらけ	(7.6)	2.5	(4.6)					在地系		
	18	土 器	かわらけ	9.1	2.7	5.2					在地系		
	19	土 器	かわらけ	12.9	3.6	6.6					在地系		
	20	土 器	かわらけ	9.8	3.2	5.3					在地系		
	21	土 器	かわらけ	(9.5)	3.4	4.5					在地系		
	22	土 器	かわらけ	(11.4)	3.5	7.0					在地系		
	23	土 器	かわらけ	(11.8)	3.9	(7.0)					在地系		
	24	土 器	かわらけ	(11.6)	3.1	(7.5)					在地系		
	25	土 器	かわらけ	13.4	4.0	7.9					在地系		
	26	土 器	かわらけ	(13.2)	3.7	(6.4)					在地系		
	27	土 器	かわらけ	10.6	2.2	5.4					在地系		
	28	土 器	かわらけ		(2.6)	7.5					在地系		
	29	土 器	かわらけ		(1.8)	6.9					在地系		
	30	土 器	灯 明 皿	7.2	2.6	4.3					在地系		
	31	土 器	灯 明 皿	7.8	2.5	5.0					在地系		
	32	土 器	かわらけ	(21.9)	(6.5)						在地系		
	33	炆 器	播 鉢	(25.5)	(8.5)						瀬戸美濃		
	34	土 器	焙 烙		5.5						在地系		
SD11													
78	1	炆 器	播 鉢	(29.0)	(9.8)						瀬戸美濃	16c前 鉄釉	
SD12													
78	2	土 器	かわらけ	(12.3)	2.6	(7.2)		丸 形			在地系	19c後 クロム青磁	
	3	磁 器	小 碗	(8.4)	4.5	(4.0)							
	4	炆 器	甕		(5.0)	(11.5)							
	5	鉄	釘	長さ 5.2cm									
	6	鉄	不 明	端部幅 1.3、現存長 1.3cm									
	7	鉄	鉄 鋸	鋸身幅 1.5、長さ 6.6、厚さ 0.8cm									
SD13													
78	8	鉄	頭 卷 釘	長さ 2.9cm									

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SD14												
78	9	土 器	かわらけ		(2.0)	(6.2)					在地系	古 1636～1657年
	10	土 器	火 鉢		(7.3)						在地系	
	11	古 銭	寛永通寶	銭径 24.4、内径 20.4、銭厚 1.40mm、量目 3.29 g								
SD15												
78	12	鉄 鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.5cm								
	13		頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.4cm								
SD17												
78	14	磁 器	紅 猪 口	5.0	(1.5)	(1.2)		菊 花 形				19c初
	15	土 器	ミニチュア?		(2.5)	(3.6)					在地系	

### (13) 瓦敷遺構

#### 瓦敷遺構（第79～88図）

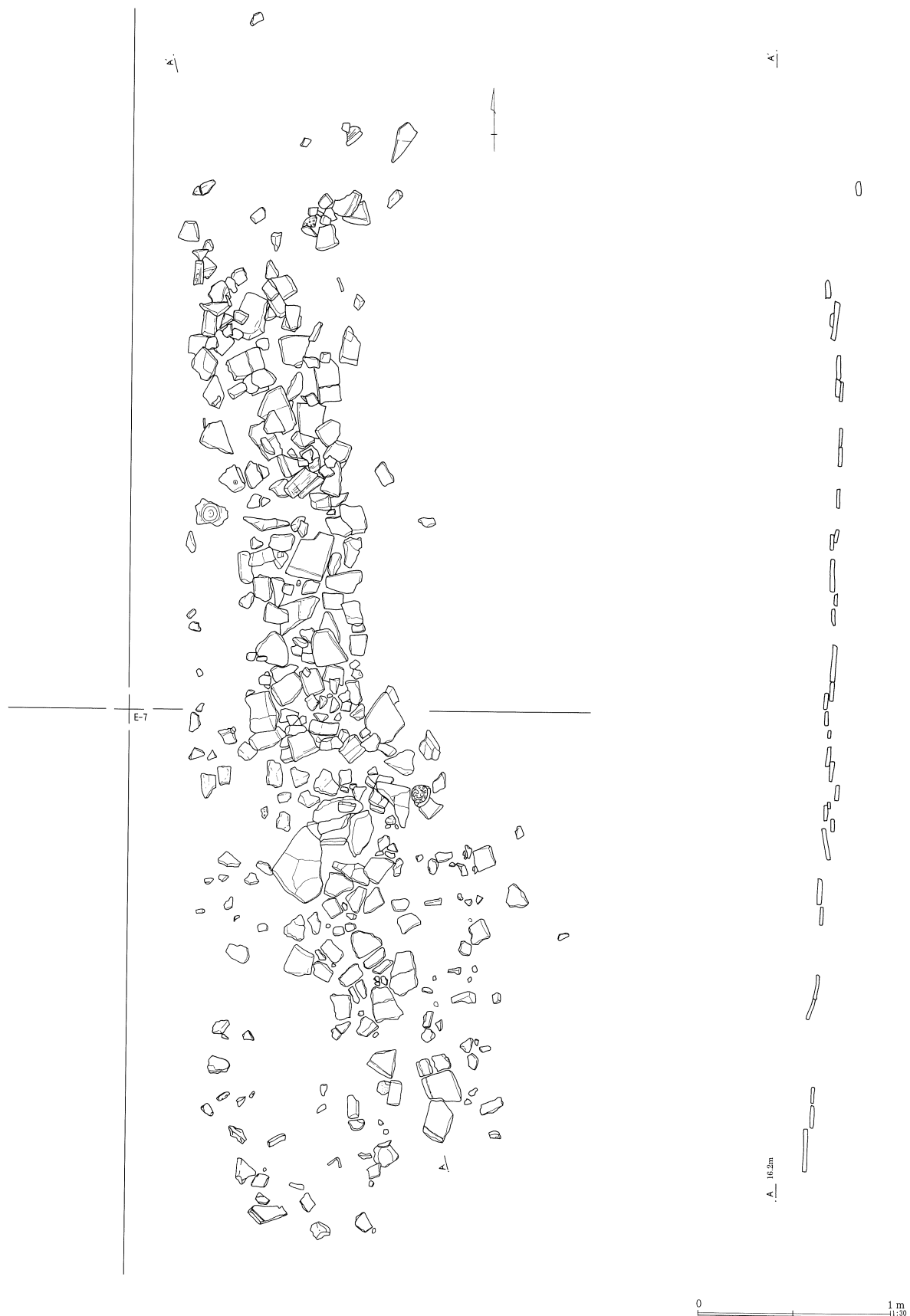
D～E－7区にかけて位置する。明確ではないが、第Ⅲ層より下層に構築されていたが、第Ⅳ層との関係は微妙で、前後する段階に構築されたものと思われる。約1.2mから1.5mの幅で、約6.0mに亘って瓦が敷かれていた。明らかに、平坦面を形成することを目的として南北方向に瓦が敷かれており、幅も一定の間隔を持っていた。瓦は平瓦を中心とするが、丸瓦、軒平、軒丸等も混じる。しかし、平瓦が圧倒的に多く、ほぼ完形に復元されるものも多数あり、道状に平瓦を中心とした瓦類を塙のように敷いたものと判断された。従って、通常の廃棄遺構とは性格の異なるものとして、瓦敷遺構として認識した。

この瓦敷遺構が単独で存在したのか、何かの施設と共に存在していたかは不明である。瓦敷遺構の延長上北側には、ちょうど第3号井戸が存在する。第3号井戸の出土遺物が中世末から近世初頭と推定されることから、若干年代的なずれも存在するが、井戸が継続的に使用されていたことを仮定すると、この井戸と瓦敷遺構との有機的な関係が想定される。

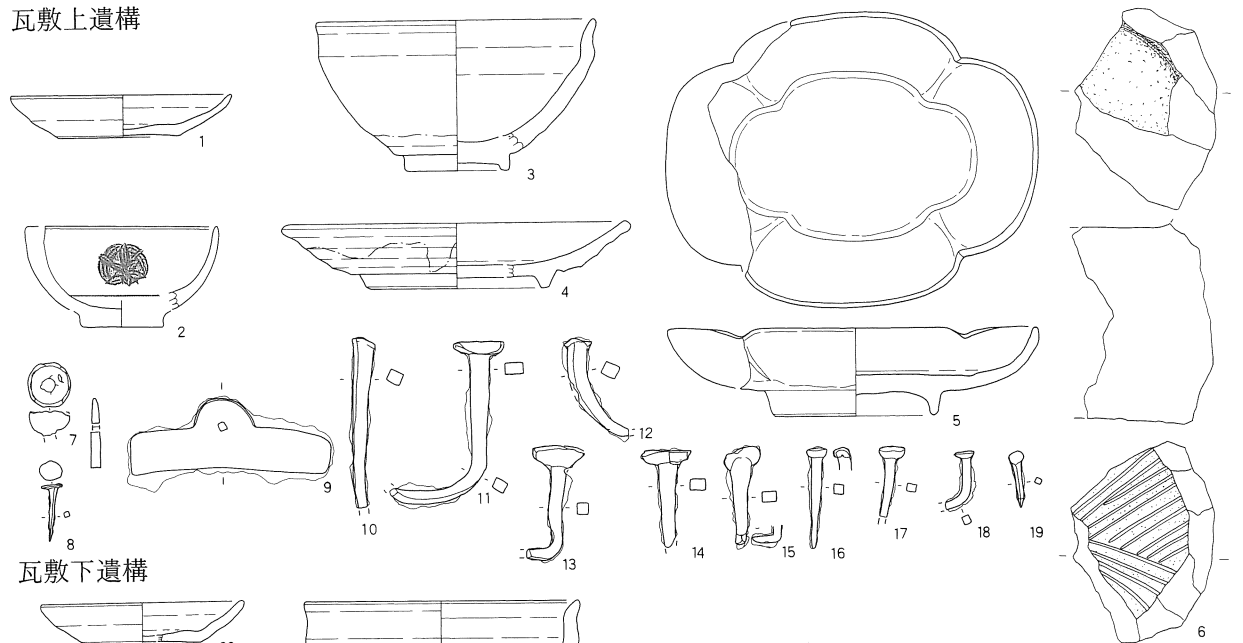
また、瓦敷の範囲内には第2・3号掘立柱建物跡が存在するが、重複関係からこれらに伴うものではないことも判断される。

遺物は瓦敷面の直上から出土しているものと、瓦敷面及びその下部から出土しているものとに分けられた。しかし、下部出土遺物の中には遺構、時期の異なるものが含まれている可能性がある。直上からは、かわらけ、磁器染付茶碗、陶器天目茶碗、陶器皿、石臼の破片、キセル、青銅釘、鉄釘等の鉄製品が出土している。また、遺構面及びその直下からは、かわらけ、磁器染付茶碗、陶器天目茶碗、焙烙、石臼、石製円盤、青銅釘、刀子、鉄釘等の鉄製品、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、平瓦、鯨瓦、道具瓦、熨斗瓦等の各種の瓦類が出土している。上下で取り上げた遺物群はおおよそ17世紀の前半から、18世紀の前葉段階を含んでおり、陶器と磁器の間に時期的なばらつきがある。従って遺構の構築時期は、混じり等考慮して新しい磁器を代表とする18世紀の初頭前後を推定して置きたい。また、これ等の出土遺物の組み合わせは、位置的にも近い関係があるのか、第3号廃棄遺構と良く類似している。

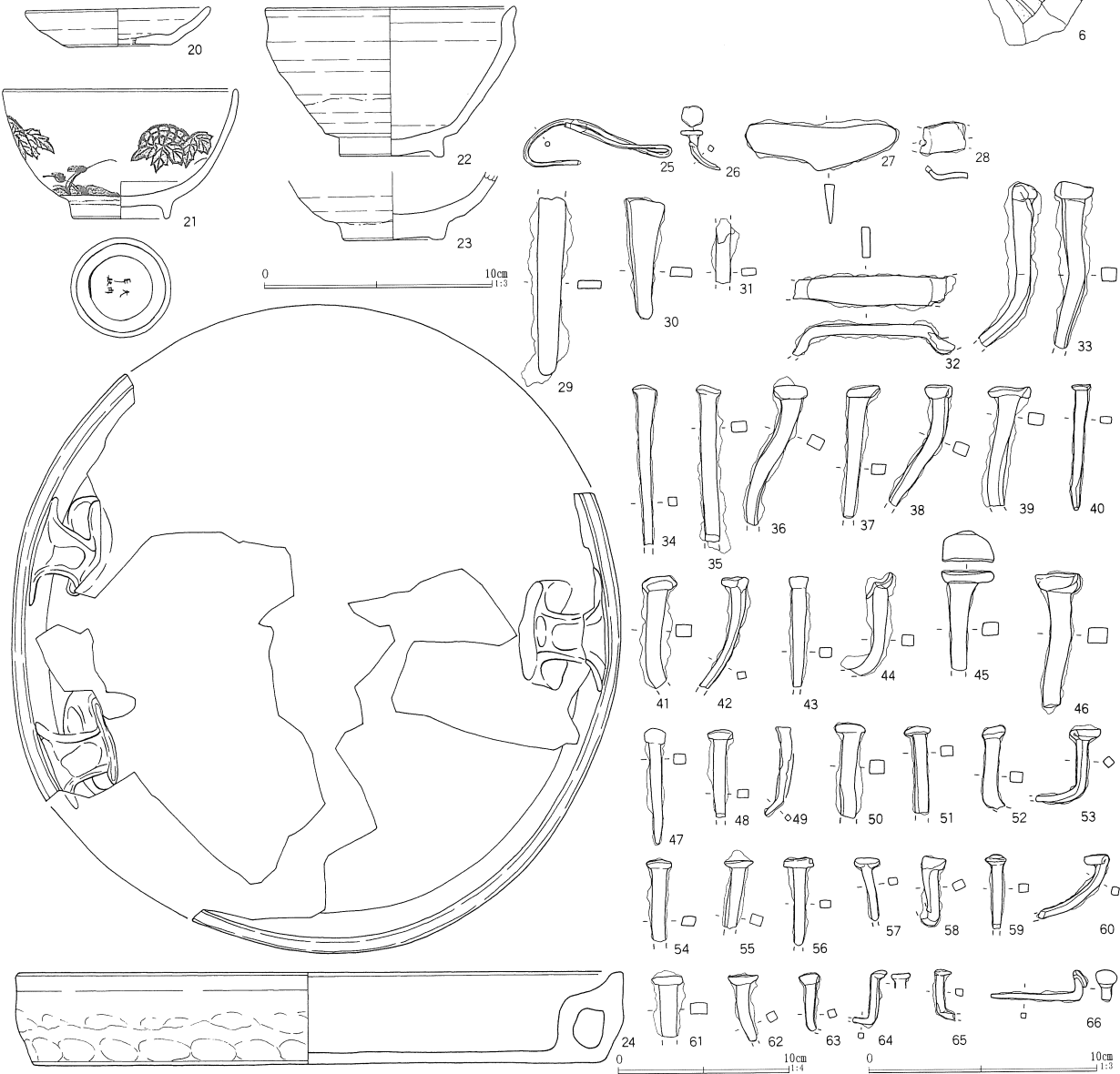
第79図 瓦敷遺構



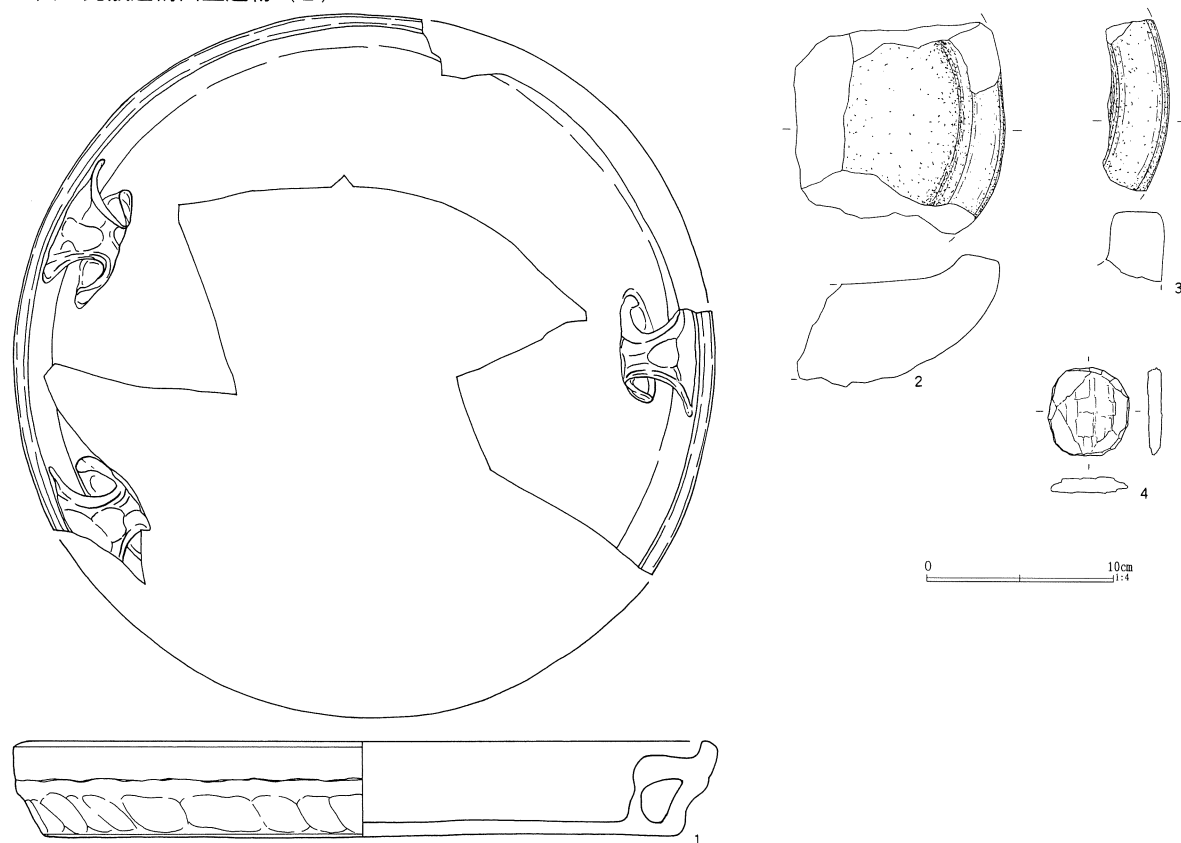
第80図 瓦敷遺構出土遺物（1）  
瓦敷上遺構



瓦敷下遺構



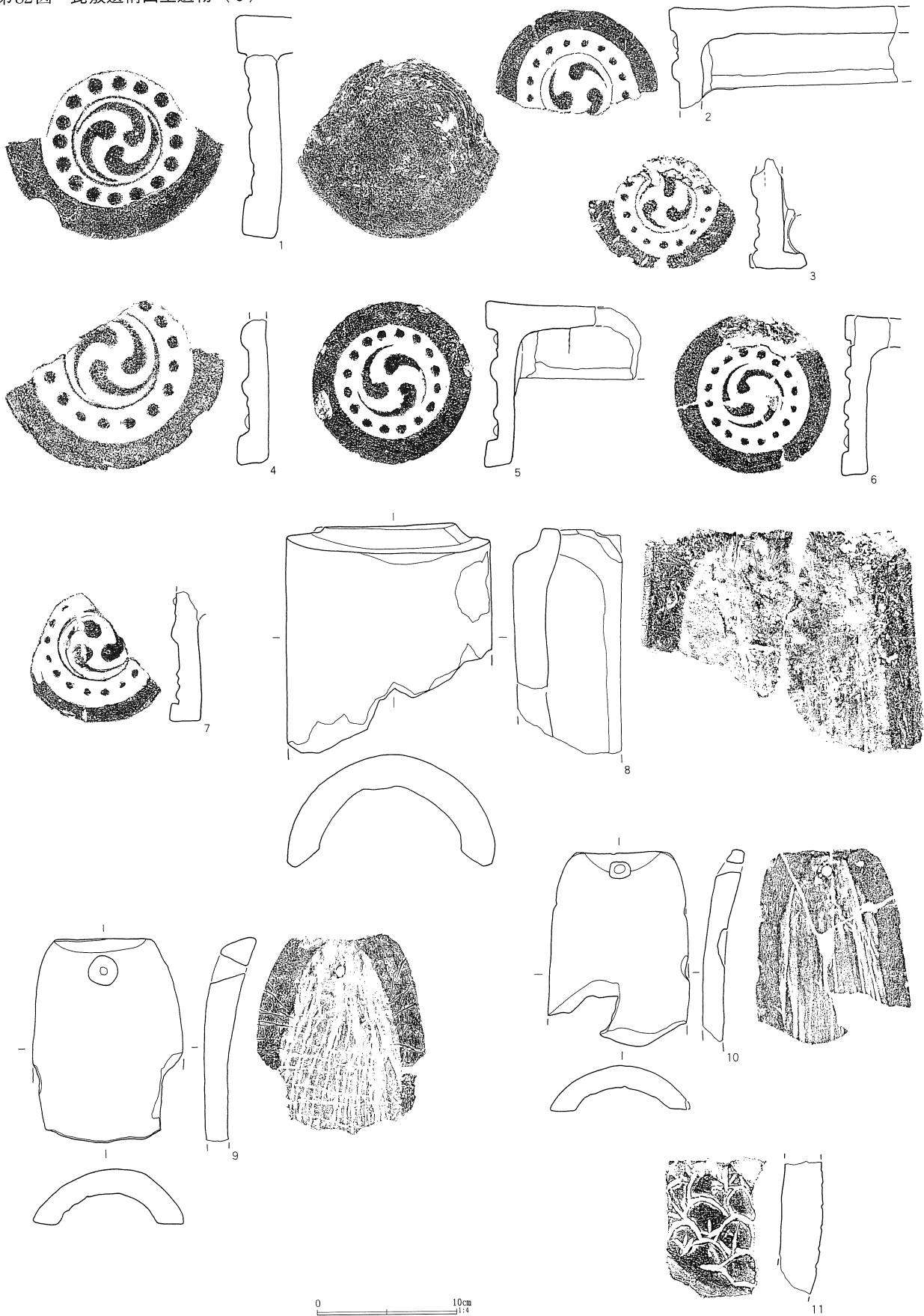
第81図 瓦敷遺構出土遺物（2）



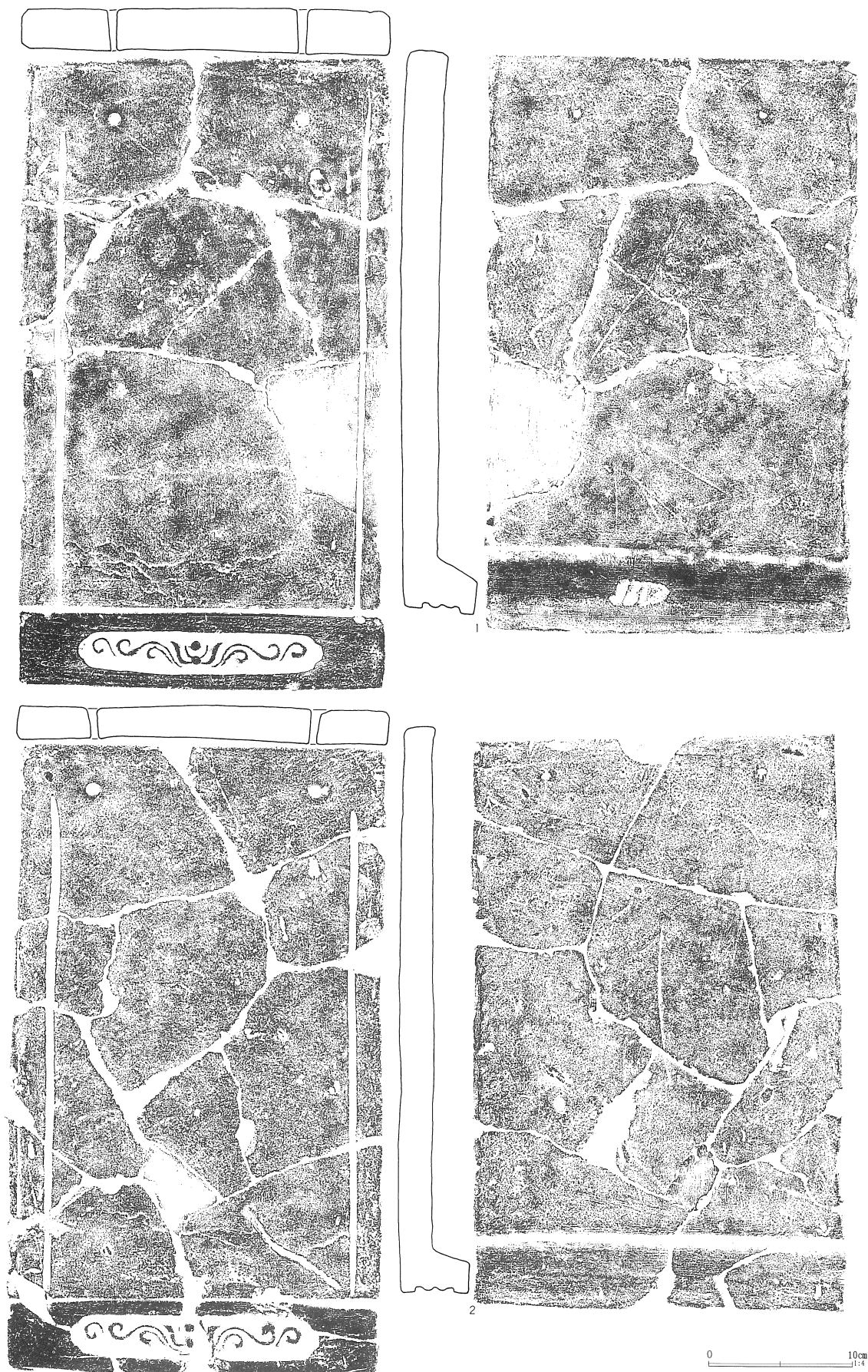
瓦敷遺構出土遺物観察表（第80図～第81図）

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
瓦敷上遺構												
80	1	土 器	かわらけ	8.8	1.7	4.8					在地系	18c前 17c後 鉄釉 17c後 御深井釉 17c後 御深井釉
	2	磁 器	小 碗	(7.7)	(4.0)			丸 形	丸 文		肥前系	
	3	陶 器	中 碗	(11.2)	(6.0)	(4.0)		天 目 形			瀬戸美濃	
	4	陶 器	皿	(13.6)	2.6	(7.2)		平 形			肥前系	
	5	陶 器	皿	14.7	3.5	6.5		木 瓜 形			肥前系	
	6	石	石 白	残存長 10.7、高 10.7cm								
	7	銅	煙管雁首	火皿径 1.7cm								
	8	銅	釘	頭幅 0.9、長さ 2.2cm								
	9	鉄	火 打 金	長さ 8.1、幅 3.1cm								
	10	鉄	角 釘	現存長 6.7cm								
	11	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.1、現存長 6.3cm								
	12	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.5cm								
	13	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 4.1cm								
	14	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 3.8cm								
	15	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 3.9cm								
	16	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 4.1cm								
	17	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 2.8cm								
	18	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 2.4cm								
	19	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 2.2cm								
瓦敷下遺構												
80	20	土 器	かわらけ	8.0	1.6	(4.5)					在地系	「太明年製」 17c前 鉄釉
	21	磁 器	中 碗	10.2	5.6	4.2		丸 形	草花文		肥前系	
	22	陶 器	中 碗	(11.0)	6.5	4.6		天 目 形			瀬戸美濃	

第82図 瓦敷遺構出土遺物（3）

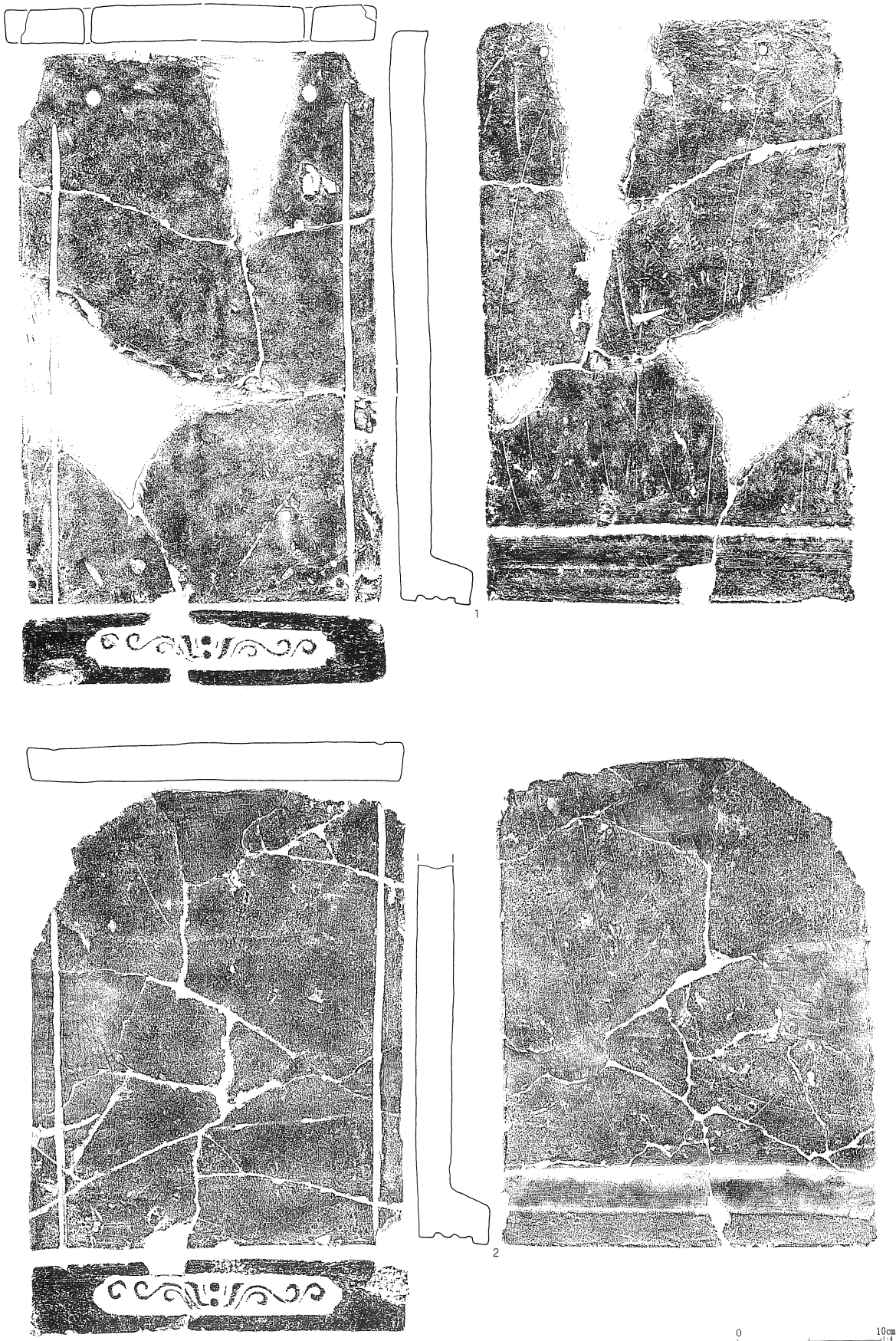


第83図 瓦敷遺構出土遺物（4）

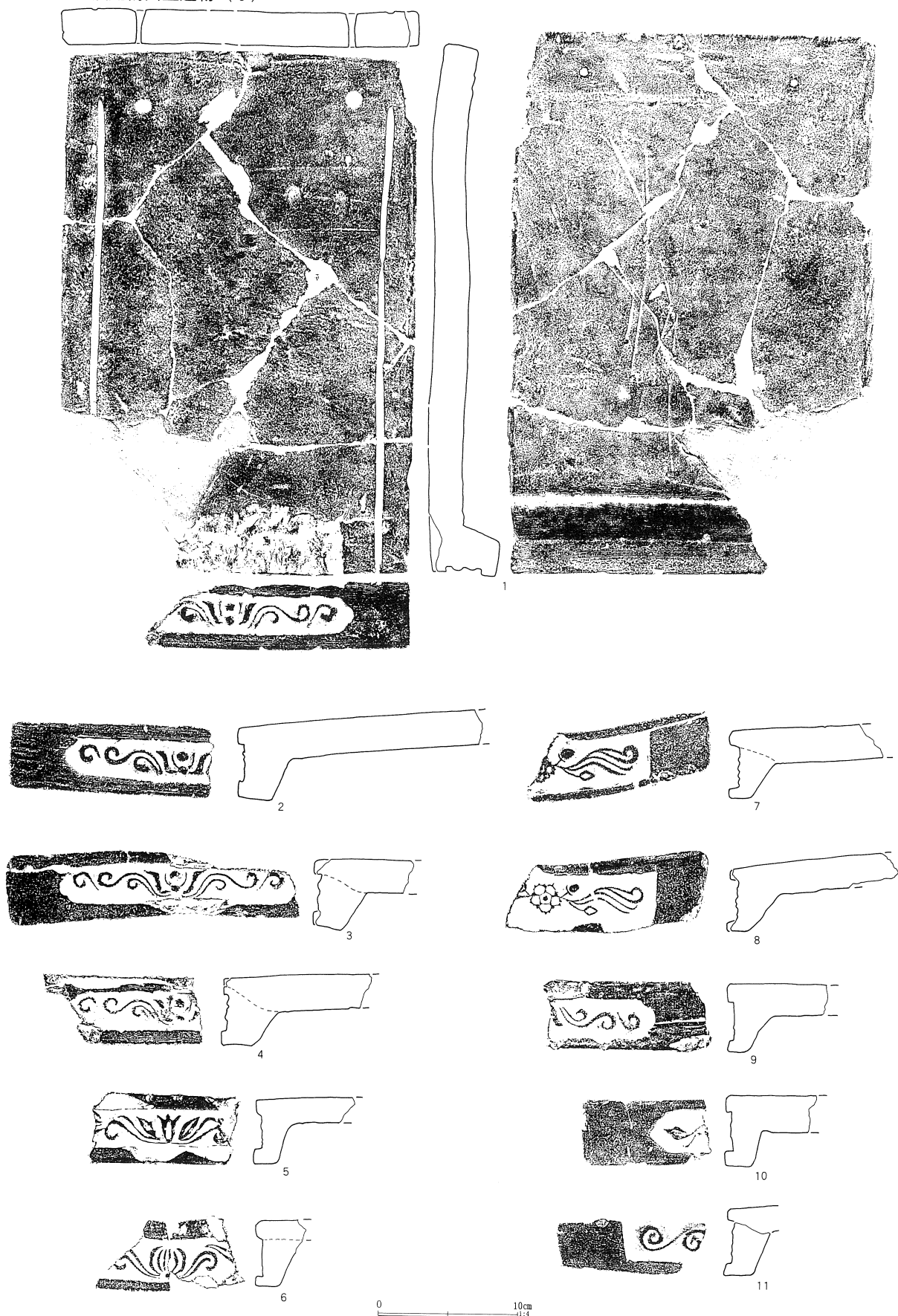




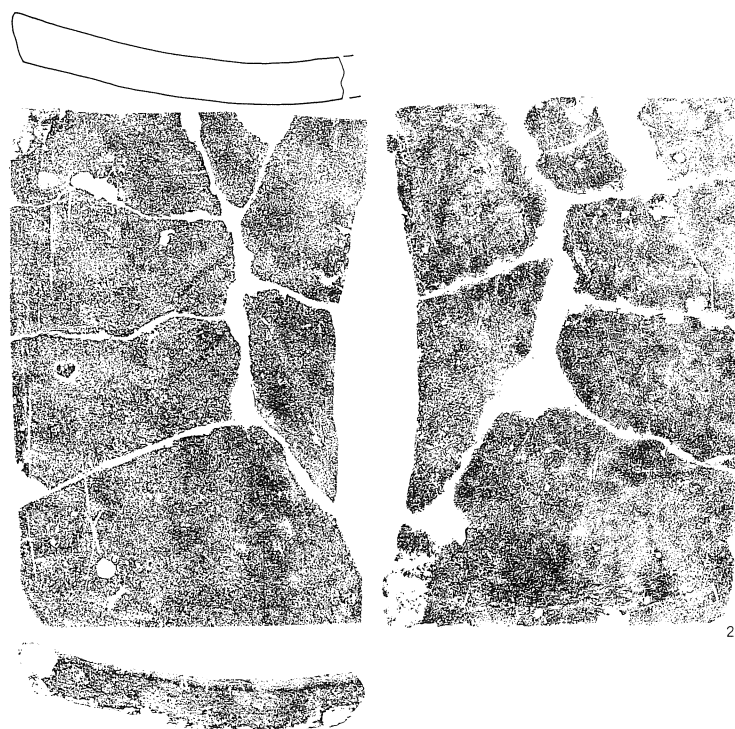
第84図 瓦敷遺構出土遺物（5）



第85図 瓦敷遺構出土遺物（6）

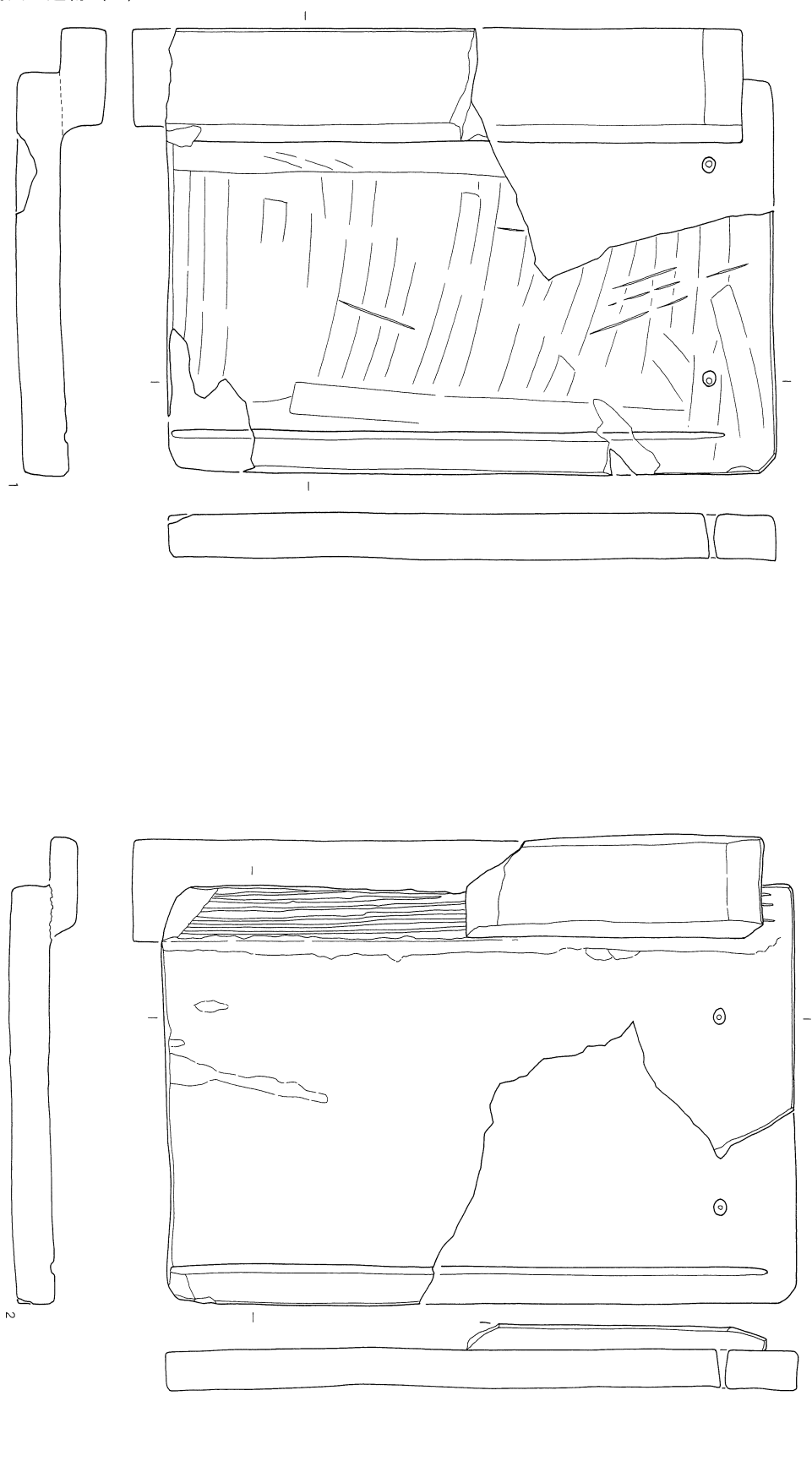


第86図 瓦敷遺構出土遺物（7）

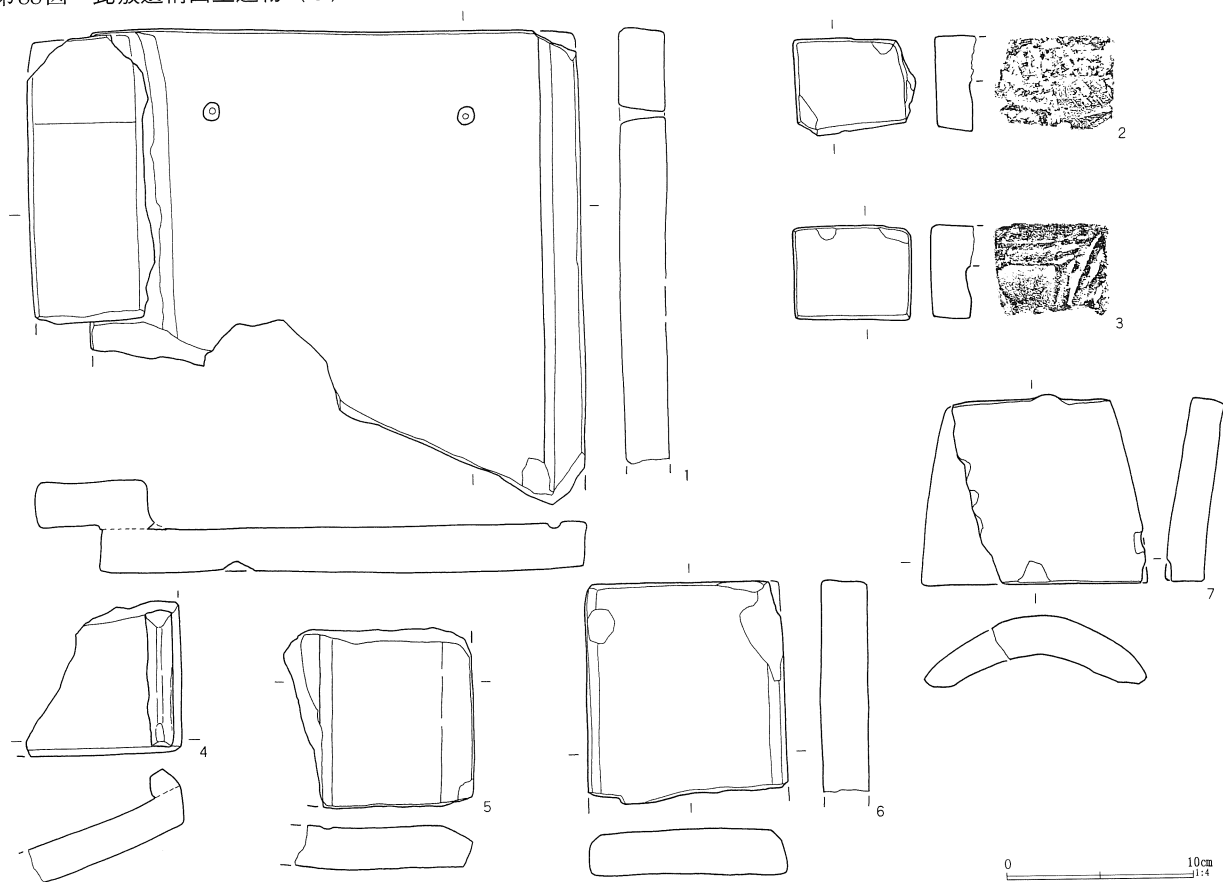


0 10cm  
1:4

第87図 瓦敷遺構出土遺物（8）



第88図 瓦敷遺構出土遺物（9）



図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考		
				a	b	c	d		外 面	内 面				
80	23	陶 器	中 碗		(3.0)	4.4		天 目 形			瀬戸美濃 在地系	17c前 鉄釉		
	24	土 器	焙 烙	35.6	5.4	33.4								
	25	銅	銅 線	径 0.2、長さ 6.6cm										
	26	銅	釘	頭幅 1.0、長さ 1.7cm										
	27	鉄	刃 物	全長 6.7、刀幅 2.2、背幅 0.4cm										
	28	鉄	不 明	幅 1.3、現存長 2.1cm										
	29	鉄	不 明	幅 1.2、現存長 7.7cm										
	30	鉄	不 明	幅 1.7、長さ 5.3cm										
	31	鉄	不 明	幅 0.9、現存長 2.9cm										
	32	鉄	鋸	幅 1.3、現存長 7.2、厚さ 0.4cm										
	33	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 7.3cm										
	34	鉄	頭 卷 釘	現存長 6.9cm										
	35	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 6.8cm										
	36	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 6.5cm										
	37	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 5.8cm										
	38	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.8cm										
	39	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.9、現存長 5.4cm										
	40	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 5.5cm										
	41	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.8cm										
	42	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.0cm										
	43	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm										
	44	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 4.5cm										
	45	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.3、現存長 4.3cm										

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
80	46	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、長さ 5.9cm									
	47	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 5.0cm									
	48	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.8cm									
	49	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、長さ 4.0cm									
	50	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.1cm									
	51	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.9cm									
	52	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.4cm									
	53	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 3.3cm									
	54	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.6cm									
	55	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.4cm									
	56	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.8cm									
	57	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.8cm									
	58	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.0cm									
	59	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.2cm									
	60	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.9cm									
	61	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 2.6cm									
	62	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.0cm									
	63	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm									
	64	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 2.2cm									
	65	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 2.2cm									
	66	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 4.2cm									
81	1	瓦 質	焙 烙	36.3	5.1	34.0					在地系		
	2	石	石 臼	残存長 9.1、高 3.7cm									
	3	石	石 臼	残存長 11.3、高 5.0cm									
	4	石	石製円盤	長径 4.7、短径 4.4、厚さ 0.9cm									

瓦敷遺構出土瓦観察表

図版	番号	種 類	瓦当径	瓦当厚	全 長	全 幅	高 さ	厚 み	胎 土	色 調	備 考
82	1	軒 丸 瓦	(15.9)	2.6	—	—	—	—	砂 質	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／珠文大きい
	2	軒 丸 瓦	11.2	—	—	11.0	5.6	1.9	精 良	暗 灰	連珠三巴左巻16珠／圏線明瞭／キラコ付着
	3	隅軒丸瓦	(10.7)	(4.1)	—	—	—	—	やや砂質	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭
	4	軒 丸 瓦	(16.0)	2.2	—	—	—	—	砂 質	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／離れ砂付着
	5	軒 丸 瓦	11.8	1.9	—	—	5.2	1.7	精 良	黒 灰	連珠三巴左巻16珠／離れ砂付着
	6	軒 丸 瓦	(11.3)	1.9	—	—	—	2.1	やや砂質	黒灰(縞状)	連珠三巴左巻16珠／離れ砂付着
	7	軒 丸 瓦	—	2.2	—	—	—	—	精 良	銀 灰	連珠三巴右巻／圏線明瞭／燻しによる銀化
	8	丸 瓦	—	—	—	14.8	7.8	2.2	やや砂質	橙 灰 ～ 灰	玉縁長1.5cm／被熱による変色
	9	丸 瓦	—	—	—	10.8	—	1.7	やや砂質	灰	玉縁なし／釘孔
	10	丸 瓦	—	—	—	10.1	—	1.5	やや砂質	暗 灰	玉縁なし／釘孔
	11	鯉 瓦	—	—	—	—	—	2.9	やや砂質	暗 灰	鱗線状表現／内面指など
83	1	塀 瓦	—	5.2	39.1	25.8	—	2.7	やや砂質	橙 灰	両辺水切り溝／側縁刳り込み／釘孔2カ所
	2	塀 瓦	—	4.9	39.2	26.1	—	2.4	やや砂質	灰 白	両辺水切り溝／側縁刳り込み／釘孔2カ所
84	1	塀 瓦	—	5.1	39.9	(26.0)	—	2.5	やや砂質	黄 灰	両辺水切り溝／側縁刳り込み／釘孔2カ所
	2	塀 瓦	—	5.0	—	26.5	—	2.6	やや砂質	橙 灰	両辺水切り溝／側縁刳り込み／被熱痕
85	1	塀 瓦	—	(5.0)	38.0	(25.8)	—	2.6	やや砂質	灰 ～ 黒 灰	両辺水切り溝／側縁刳り込み／釘孔2カ所
	2	塀 瓦	—	5.3	—	—	—	2.5	やや砂質	橙 灰	側辺水切り溝／側縁刳り込み
	3	塀 瓦	—	5.1	—	—	—	2.4	やや砂質	黄 灰	側辺水切り溝
	4	塀 瓦	—	4.9	—	—	—	2.5	やや砂質	灰	側辺水切り溝／側縁刳り込み／爪痕
	5	塀 瓦	—	4.6	—	—	—	1.8	精 良	暗 灰	顎下部幅が小さい／キラコ付着
	6	軒 平 瓦	—	4.8	—	—	—	1.5	やや砂質	灰	江戸式／1号地下式坑と接合
	7	軒 平 瓦	—	4.9	—	—	—	2.5	やや砂質	灰	離れ砂付着
	8	軒 平 瓦	—	4.5	—	—	—	2.3	やや砂質	橙 灰	離れ砂付着
	9	塀 瓦	—	4.9	—	—	—	2.3	やや砂質	灰 白	笠型天地逆／側辺水切り溝
	10	塀 瓦	—	5.1	—	—	—	2.6	やや砂質	黒 灰	側辺水切り溝

図版	番号	種 類	瓦当径	瓦当厚	全 長	全 幅	高 さ	厚 み	胎 土	色 調	備 考
86	11	軒 平 瓦	—	(4.8)	—	—	—	—	やや砂質	橙灰(縞状)	接合部刻み目
	1	平 瓦	—	—	28.0	32.7	—	1.9	やや砂質	暗 灰	谷深さ2.9cm／釘孔
	2	平 瓦	—	—	28.9	—	—	2.3	砂 質	黄 灰	谷深さ3.9cm／釘孔2カ所
87	1	堀 瓦	—	—	38.5	28.0	5.6	2.9	精 良	暗 灰	右側縁水切り溝／釘孔2カ所
	2	堀 瓦	—	—	40.0	(29.1)	4.0	2.4	精 良	暗 灰	右側縁水切り溝／接合部かき目／釘孔2カ所
88	1	堀 瓦	—	—	—	29.1	5.0	2.4	精 良	暗 灰	右側縁水切り溝／釘孔2カ所
	2	堀 瓦	—	—	—	—	—	1.8	やや砂質	暗 灰	瓦当部／裏面逆L字剥離痕／刻み目
	3	堀 瓦	—	—	—	—	—	2.1	砂 質	暗 灰	瓦当部／裏面逆L字剥離痕／刻み目
	4	谷 平 瓦	—	—	—	—	—	1.9	精 良	暗 灰	垂れを接合／凸面弓状圧痕
	5	道 具 瓦	—	—	—	—	—	2.2	やや砂質	灰	水切り溝
	6	熨 斗 瓦	—	—	—	10.7	—	2.6	やや砂質	灰	鉄釘付着
	7	輪 違 瓦	—	—	9.7	(12.1)	3.7	2.0	精 良	灰	台形平面／凹面布袋痕刺し縫い

#### (14) 廃棄遺構

今回の調査区内からは、明瞭に遺構と判定されない比較的広い範囲から集中的に遺物が出土する場所が何箇所か存在した。調査の結果、明らかに掘り窪めて遺物を一括投棄しているものもあるが、ある程度の窪地に遺物を一括投棄するものも存在した。これ等に種々雑多な遺物が含まれていることから、ゴミ穴的な性格を想定し、廃棄遺構と認識した。合計5箇所の廃棄遺構を検出した。

##### 第1号廃棄遺構（第89図、第91～93図）

E-5～6区にかけて位置する。北側約半分位が調査区外に当たり、各種のグリッドピットや第5号溝等と重複するが、最も新しい遺構である。土層断面では明確には捉えられなかったが、第Ⅲ層下、及第Ⅳ層と相前後して構築されたものと判断された。調査区の第Ⅲ層を剥がした時点で、多量の遺物が出現した。明確なプラン及び掘り込みは確認されなかったが、不整形の広い範囲の落ち込み内に、多量の遺物が詰まっていた。遺構底面の、ローム面への掘り込みは浅いが、範囲は長径7.25m、短径2.15mで、確認面からの最も深いところの深さは0.68mを測る。遺物はいくつか、泥面子、磁器紅猪口、磁器蓋、陶器皿、播鉢、硯、砥石、石臼、青銅釘、キセル、刀子、鉄製鍵、鉄釘、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、熨斗瓦、道具瓦等が出土している。出土遺物は第91図4のかわらけと、14の播鉢が中世段階で、他は近世のものである。6のかわらけの底部には

穿孔が見られ、底部外面には放射状の沈線が施される。

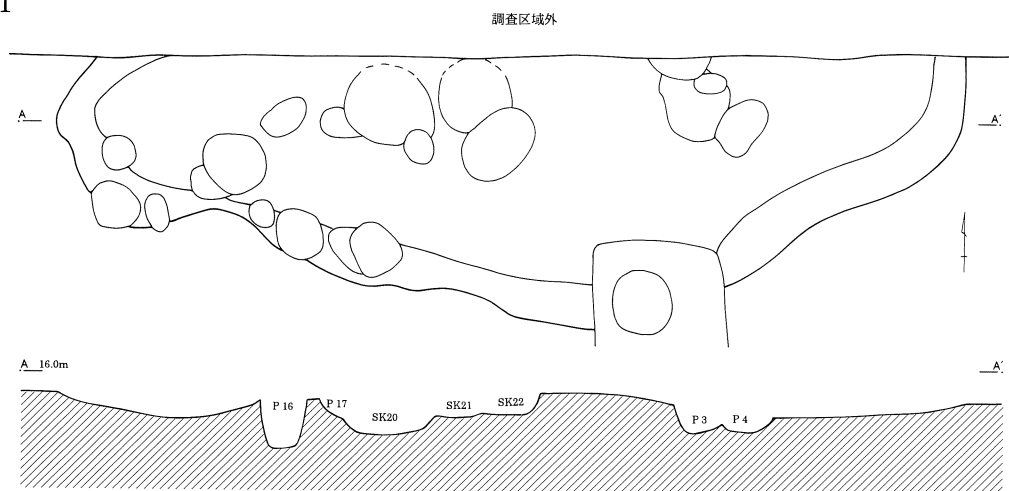
また、最も新しいと思われる遺物は8の紅猪口で、19世紀初頭の可能性が高い。この紅猪口が混じりであるとするれば、この廃棄遺構は17世紀後半から18世紀初頭にかけての所産と思われるが、遺構の構築面との関係を考慮すると、19世紀初頭まで下る可能性もなくはない。

##### 第2号廃棄遺構（第89図、第94～107図）

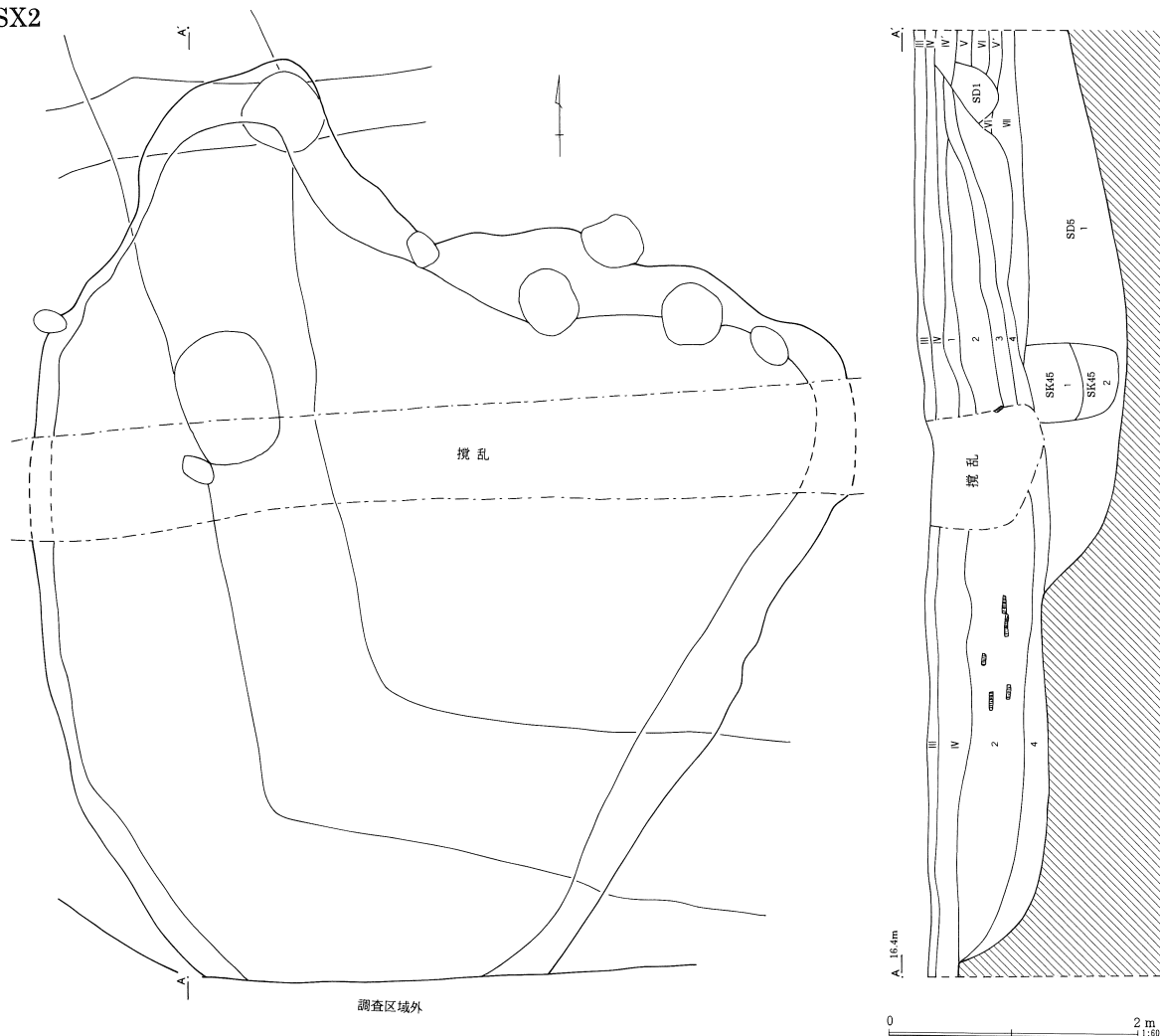
E～F-5～6区にかけて位置する。広い範囲に互って比較的深く掘り込まれた窪地に、大量の遺物が投棄されていた。一部調査区外にあると思われるが、大半を調査できたものと思われる。北東部分で第3号廃棄遺構と重複するが、新旧関係は掴めず、一連の遺構の可能性が高い。プランは不整の楕円形を呈し、長径7.30m、短径6.50m、深さは約0.90mを測る。第5号溝、第45号土壇等と重複するが、本遺構の方が新しい。本遺構は調査確認時では、第Ⅳ層にバックされた状態で検出された。覆土は4層に分層できたが、いずれも焼土や灰層の互層を成し、埋め戻し状を呈していた。遺物はいくつか、猪口から茶碗を含めた各種の磁器碗類、皿類、徳利、蓋、仏飯具、陶器茶碗類、皿類、鉢類、壺類、香炉、青磁鉢、青磁香炉、播鉢、各種焙烙、甕類、焼塩壺、火鉢類、火消壺と蓋、基石、砥石、板碑片、西行法師の土人形、土人形、刀子、キセル、青銅製吊金具、青銅釘、宋銭、寛永通寶、鉄火箸、鉄鍵、鉄鏝、鉄釘、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、平瓦、道具瓦、



第89図 廃棄遺構（1）  
SX1



SX2



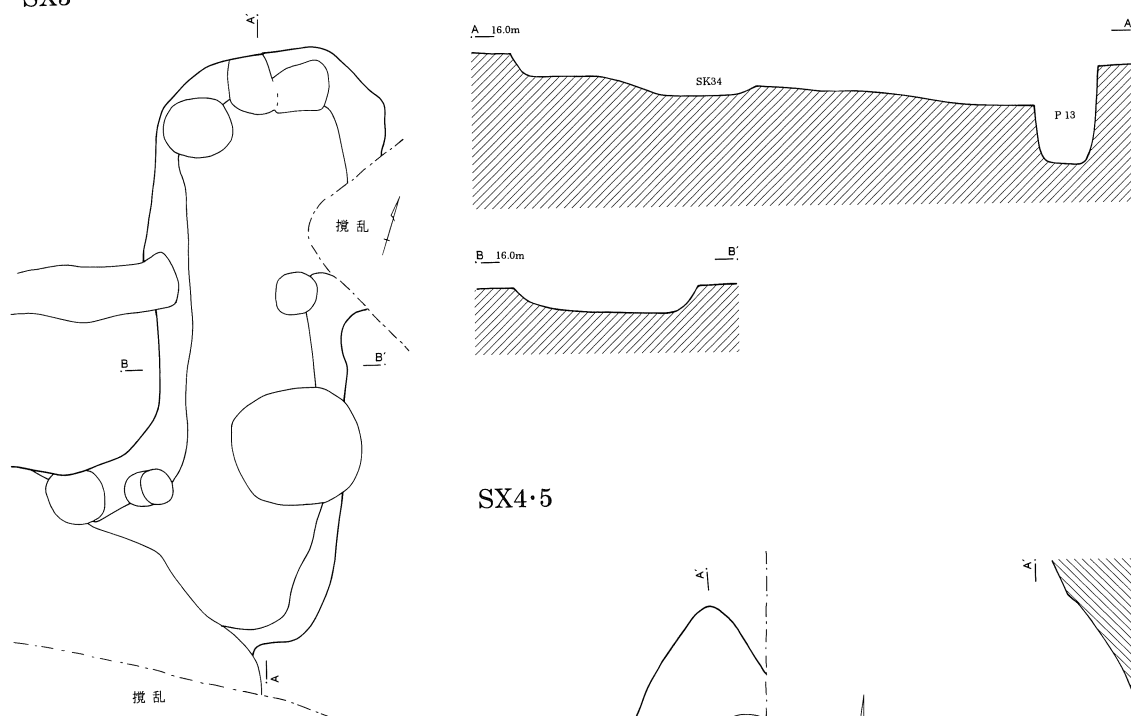
SX2

- 1 褐色土 ロームブロックを多く含み、炭化物を僅かに含む。
- 2 暗褐色土 ロームブロックを殆ど含まず、焼土・炭化物を少量含む。  
礫を混入し、遺物を多く含む。
- 3 褐色土 ロームブロックを少量含み、焼土・炭化物を少量含む。
- 4 暗褐色土 ロームブロックを少量含み、部分的に炭化物を多く含む。

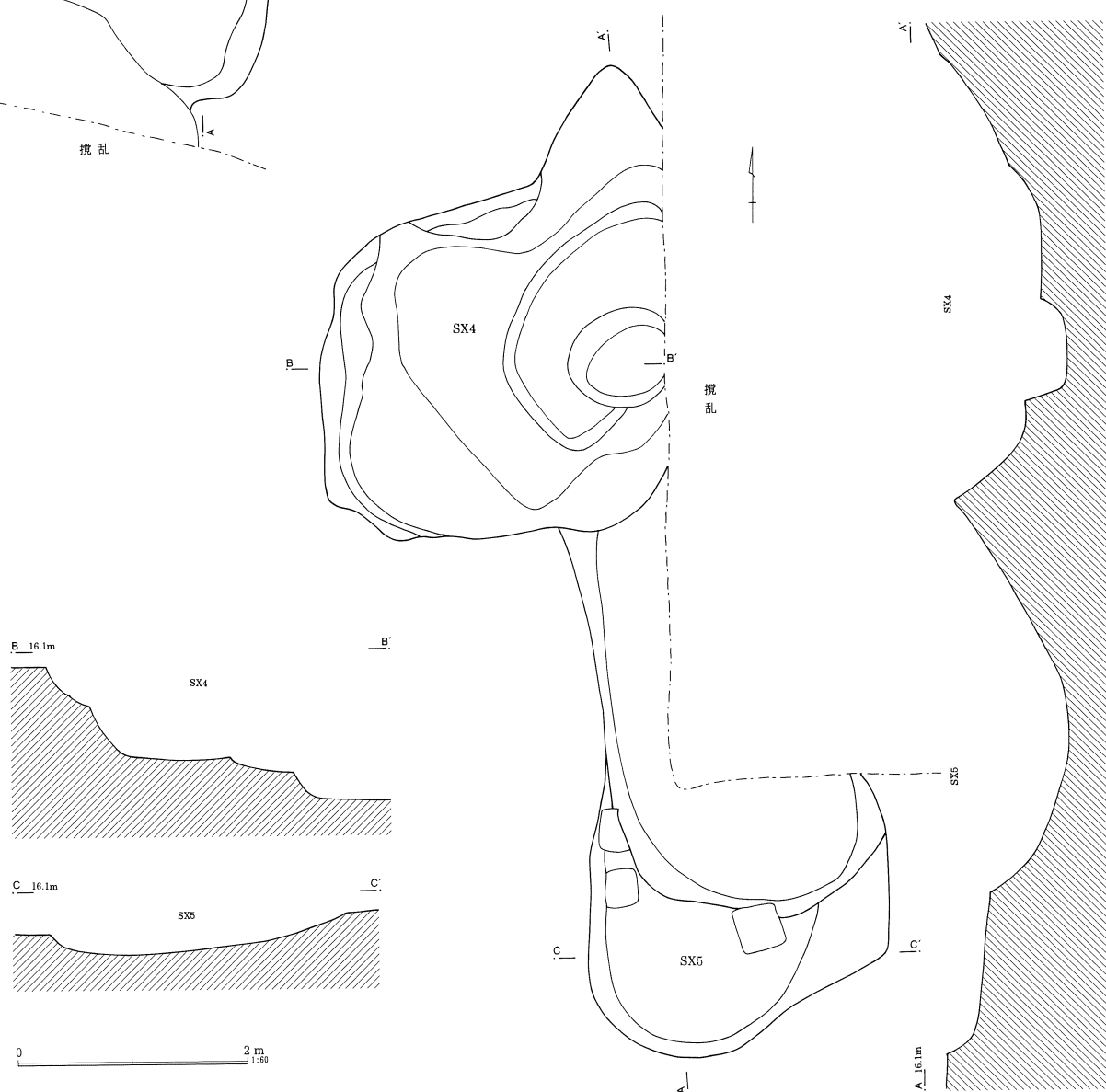
SK45

- 1 褐色土 ロームブロックを多く含み、しまり弱い。
  - 2 暗褐色土 ローム粒子を僅かに含み、骨片を含み、しまり弱い。
- SD1
- 1 褐色土 ローム粒子、炭化物、焼土を少量含む。
- SD5
- 1 褐色土 ロームブロックを多く含み、炭化物を部分的に多く含む。

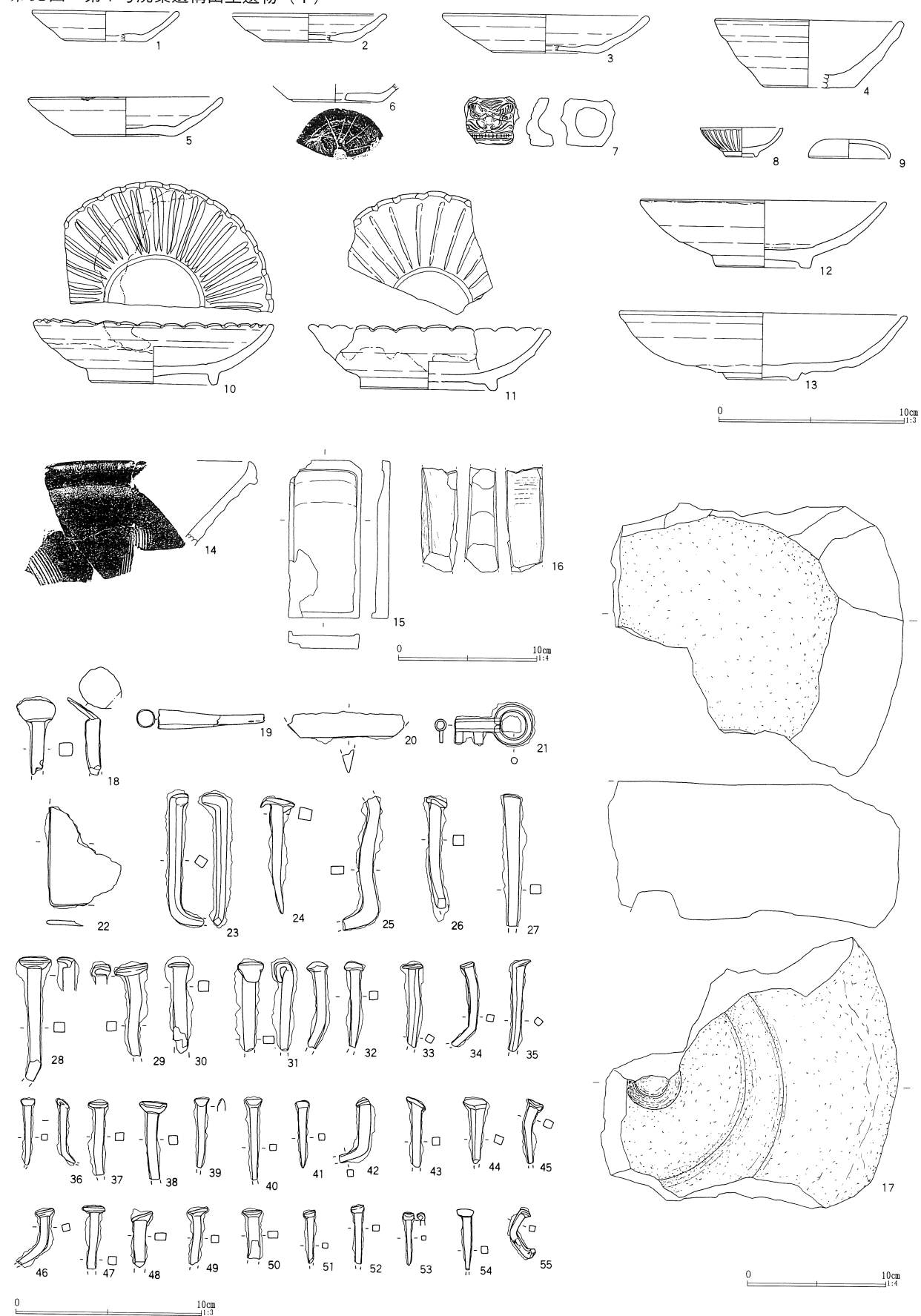
第90図 廃棄遺構（2）  
SX3



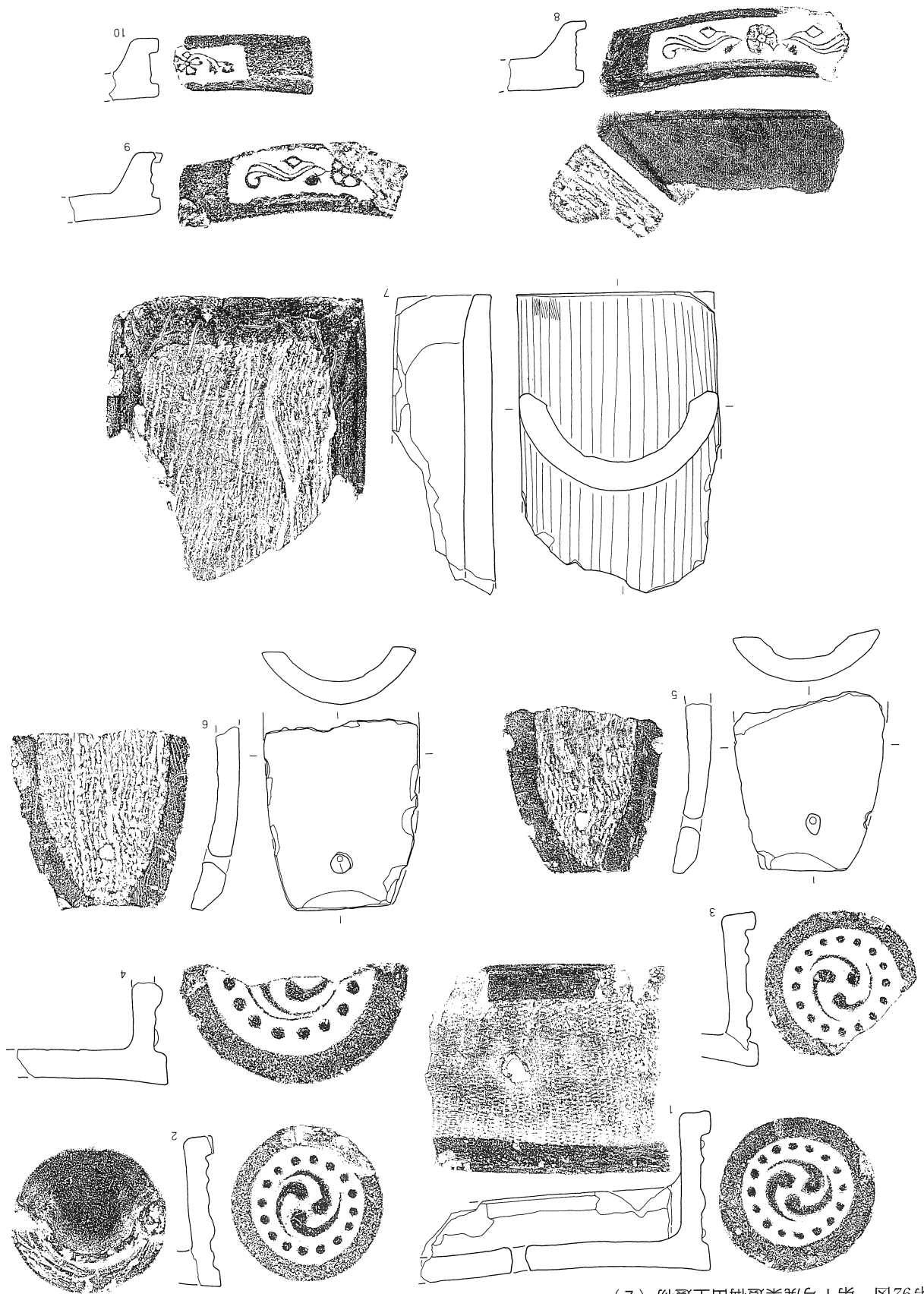
SX4・5



第91図 第1号廃棄遺構出土遺物(1)

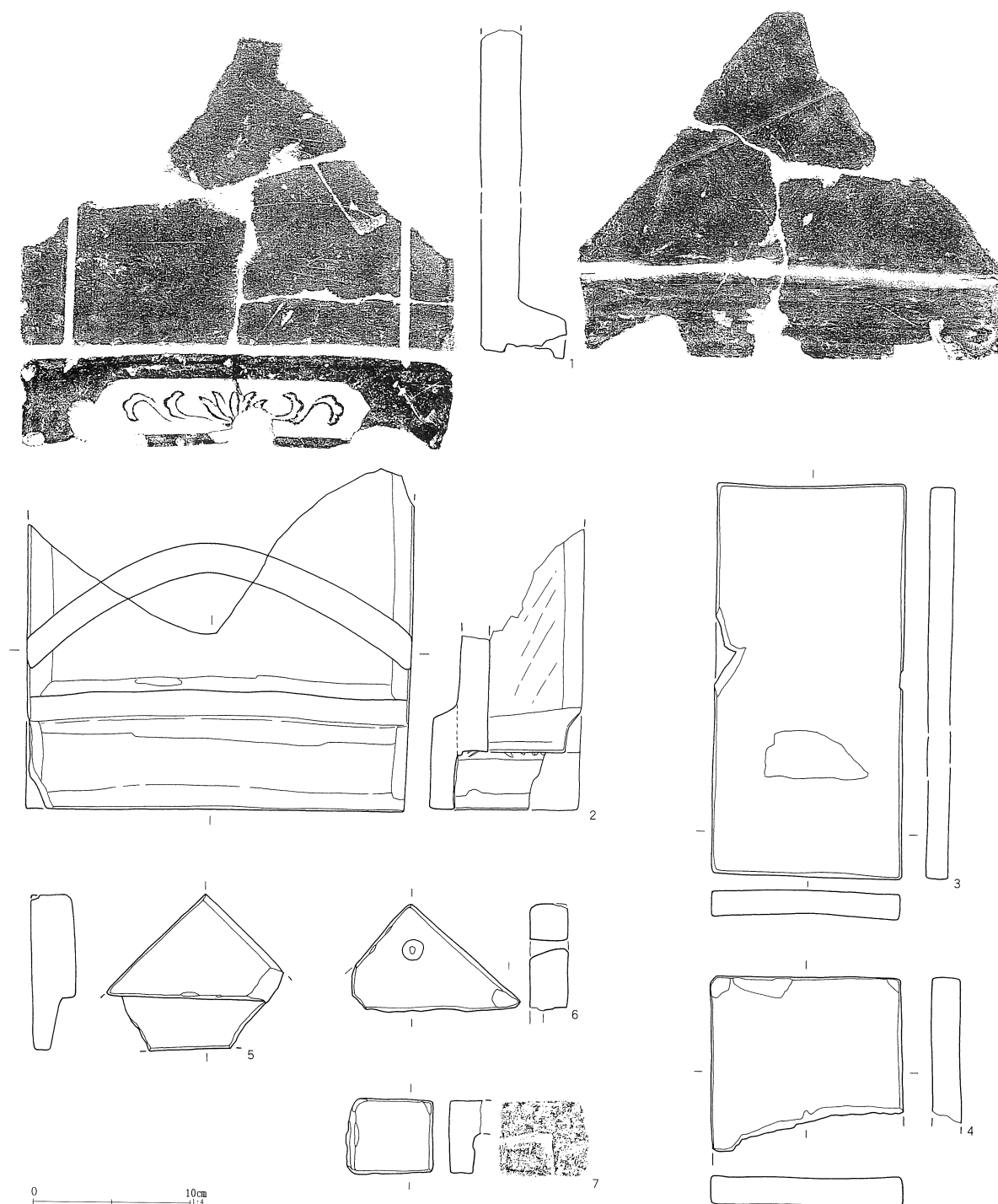


0 10cm



第92図 第1号廃棄遺構出土遺物(2)

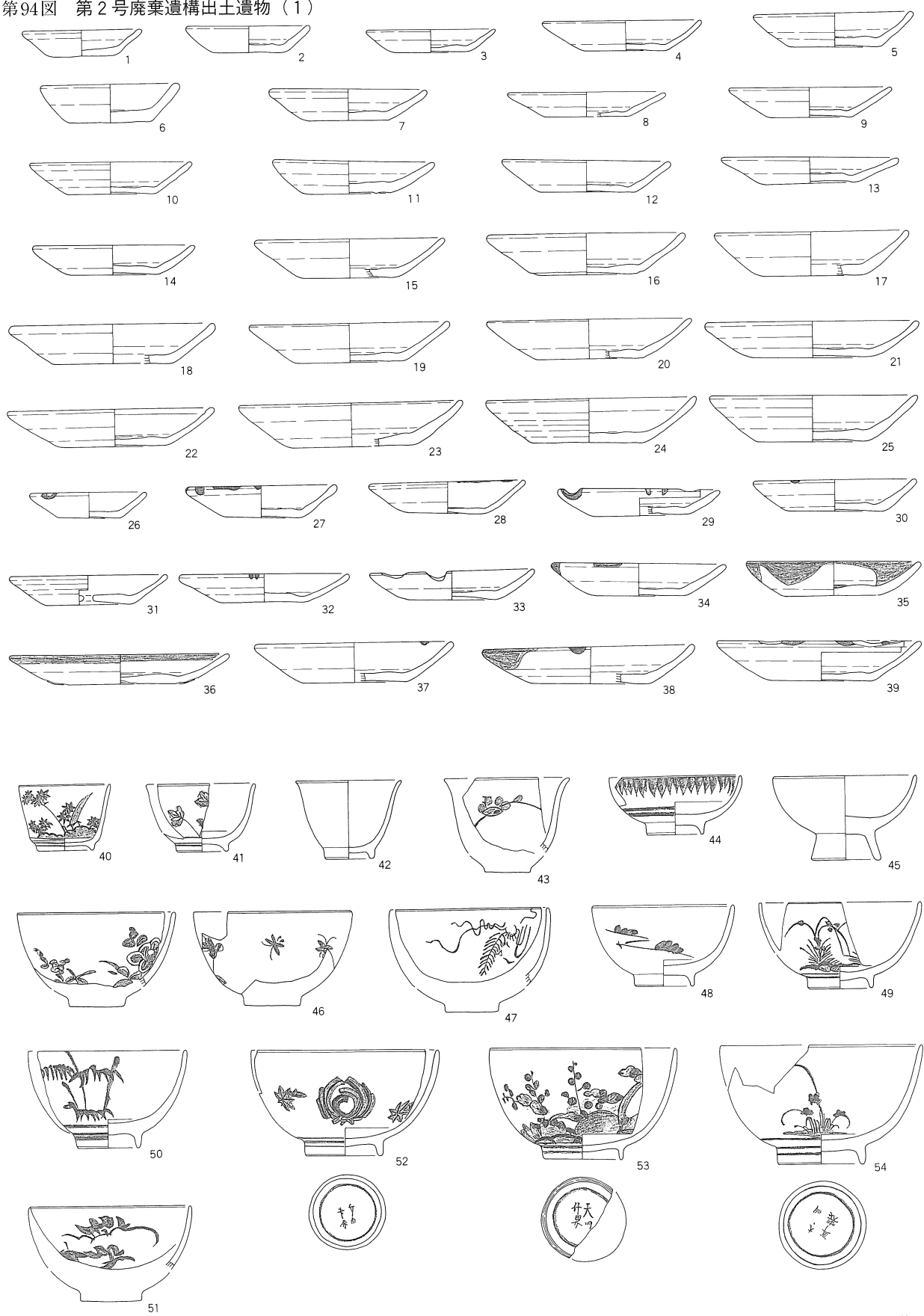
第93図 第1号廃棄遺構出土遺物(3)



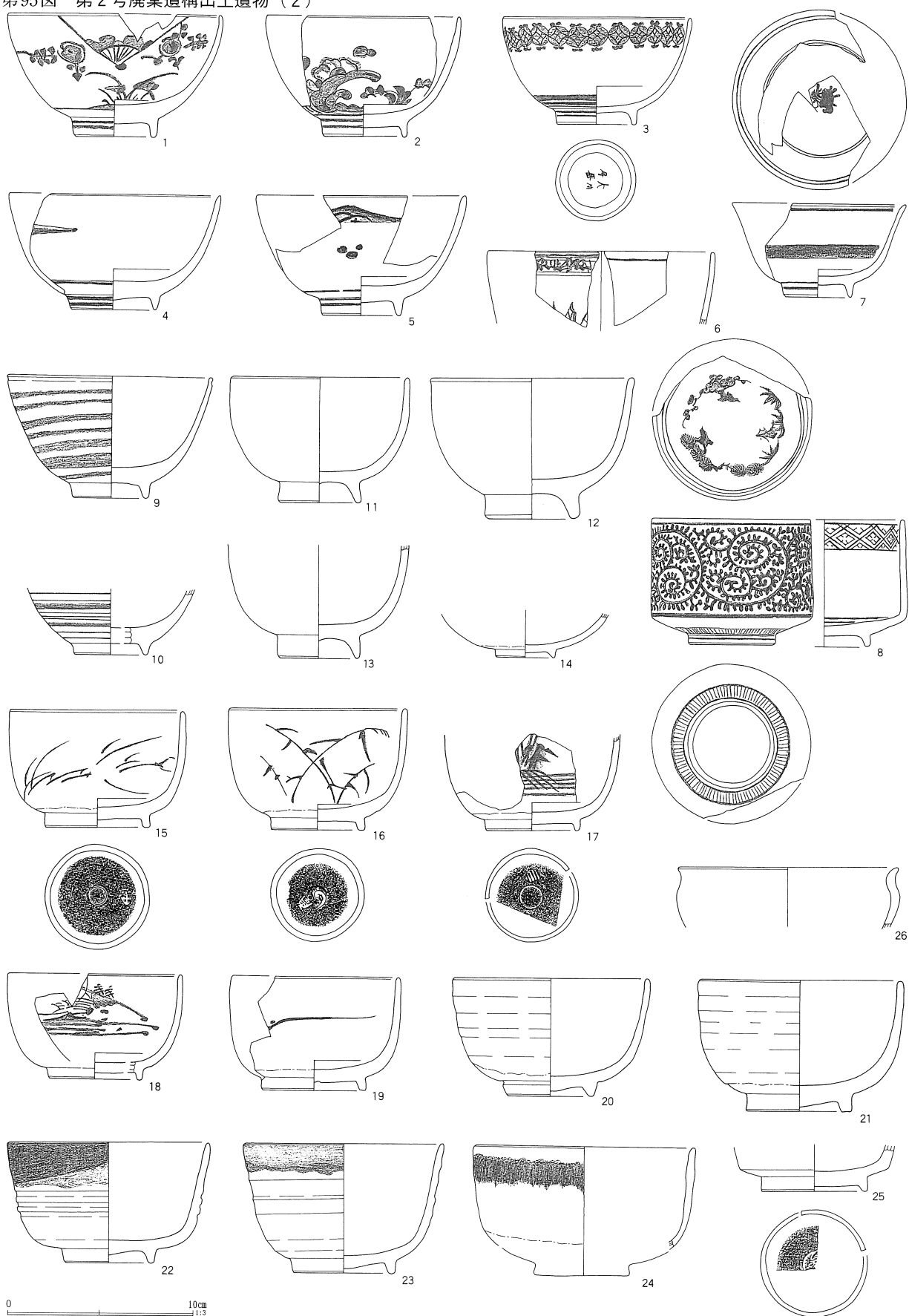
鯰瓦等種々雑多な遺物が多量に出土している。特に、瓦類は大量に出土しており、図化したものはほんの一部である。特に注目されるのは、灯明皿として使用されているかわらけが多いこと、第94図46、47、第97図9の様な比較的古い段階の赤絵が、良好に遺存してい

ること、第96図5の中国景德鎮産の磁器皿が出土していること等である。遺物は中世段階の混じりのものも存在するが、17世紀前半から18世紀前葉にかけてのものが存在する。従って、遺構の構築時期もほぼ18世紀の前葉に前後する時期と推定される。

第94図 第2号廃棄遺構出土遺物(1)

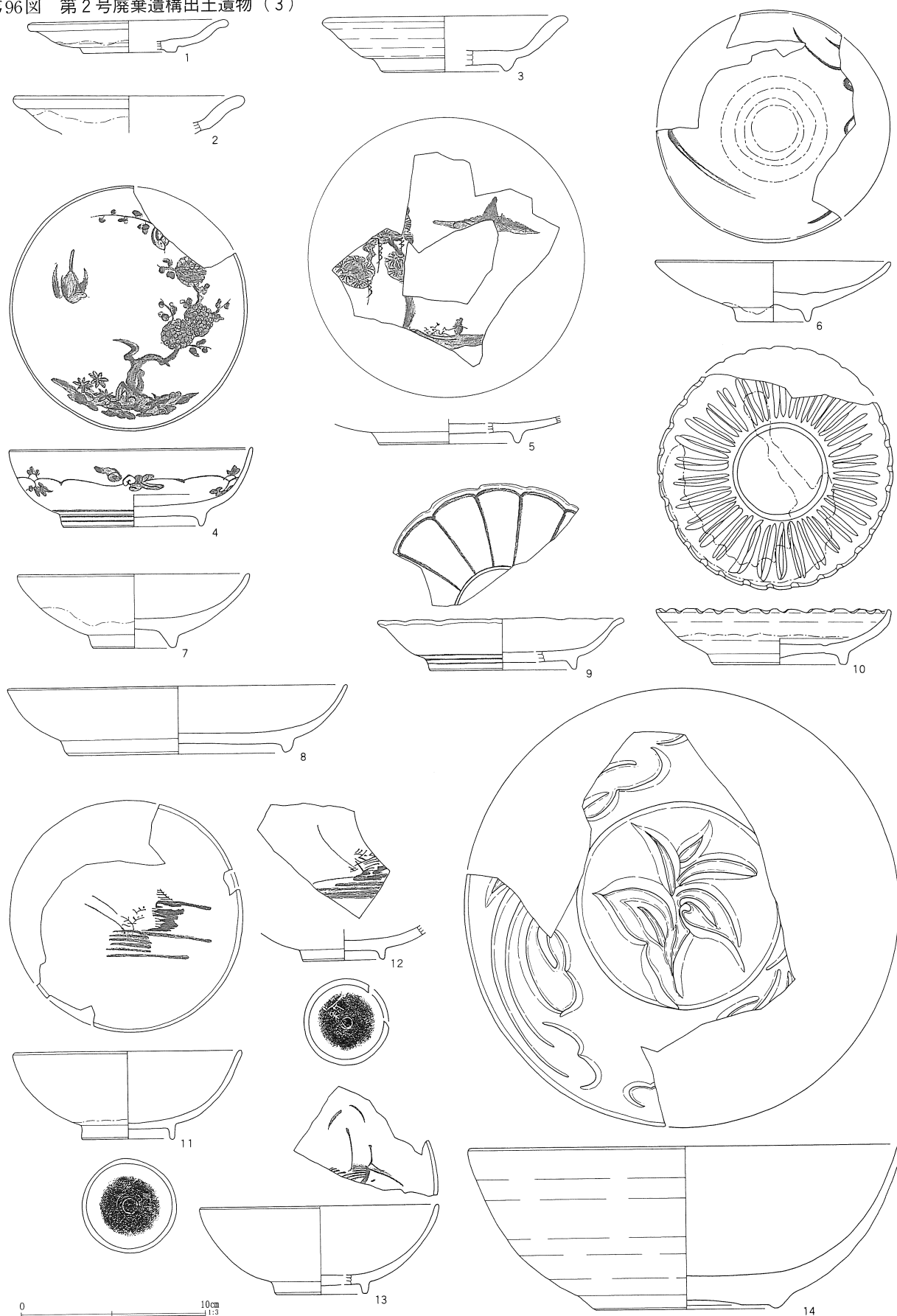


第95図 第2号廃棄遺構出土遺物(2)





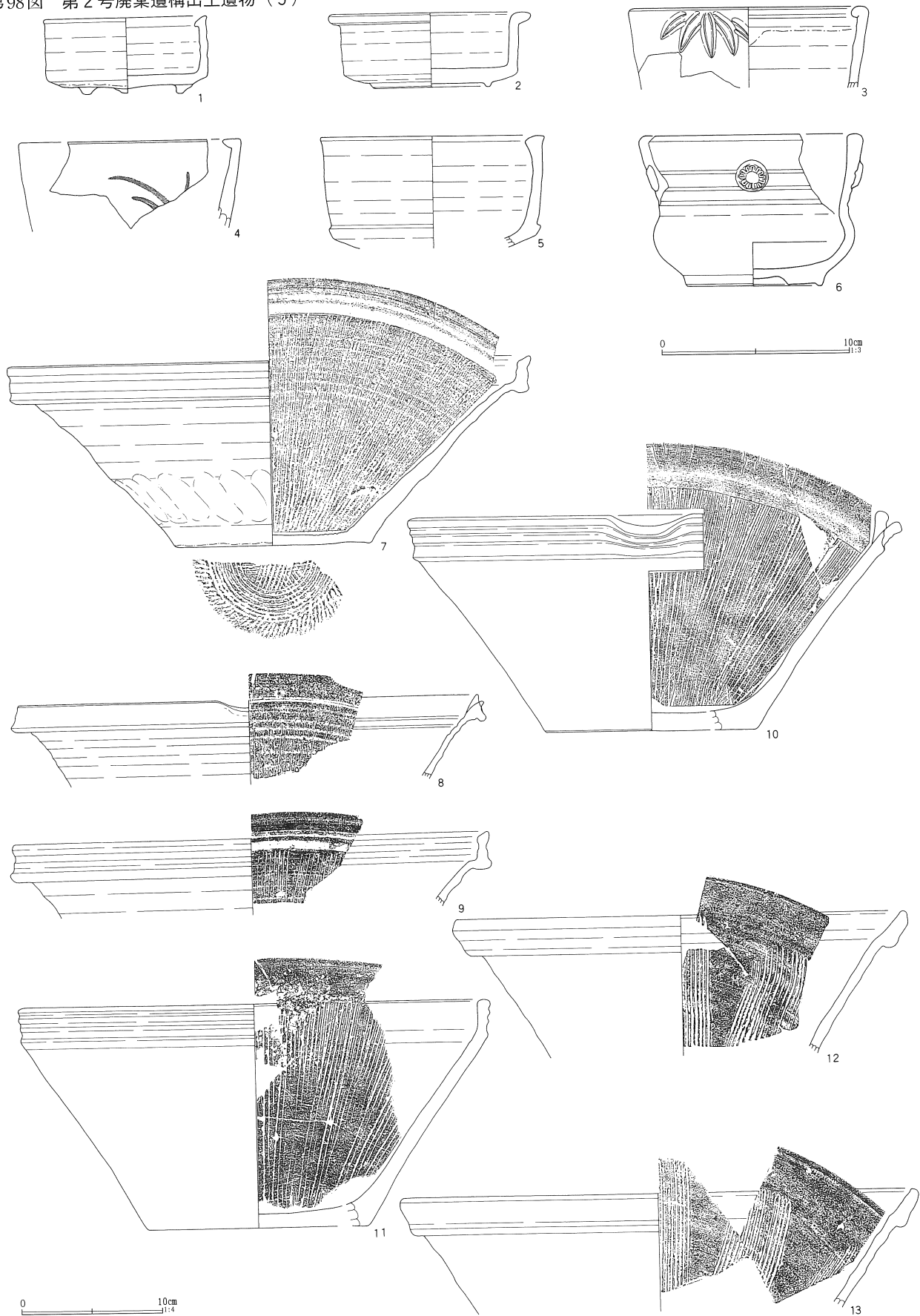
第96図 第2号廃棄遺構出土遺物（3）



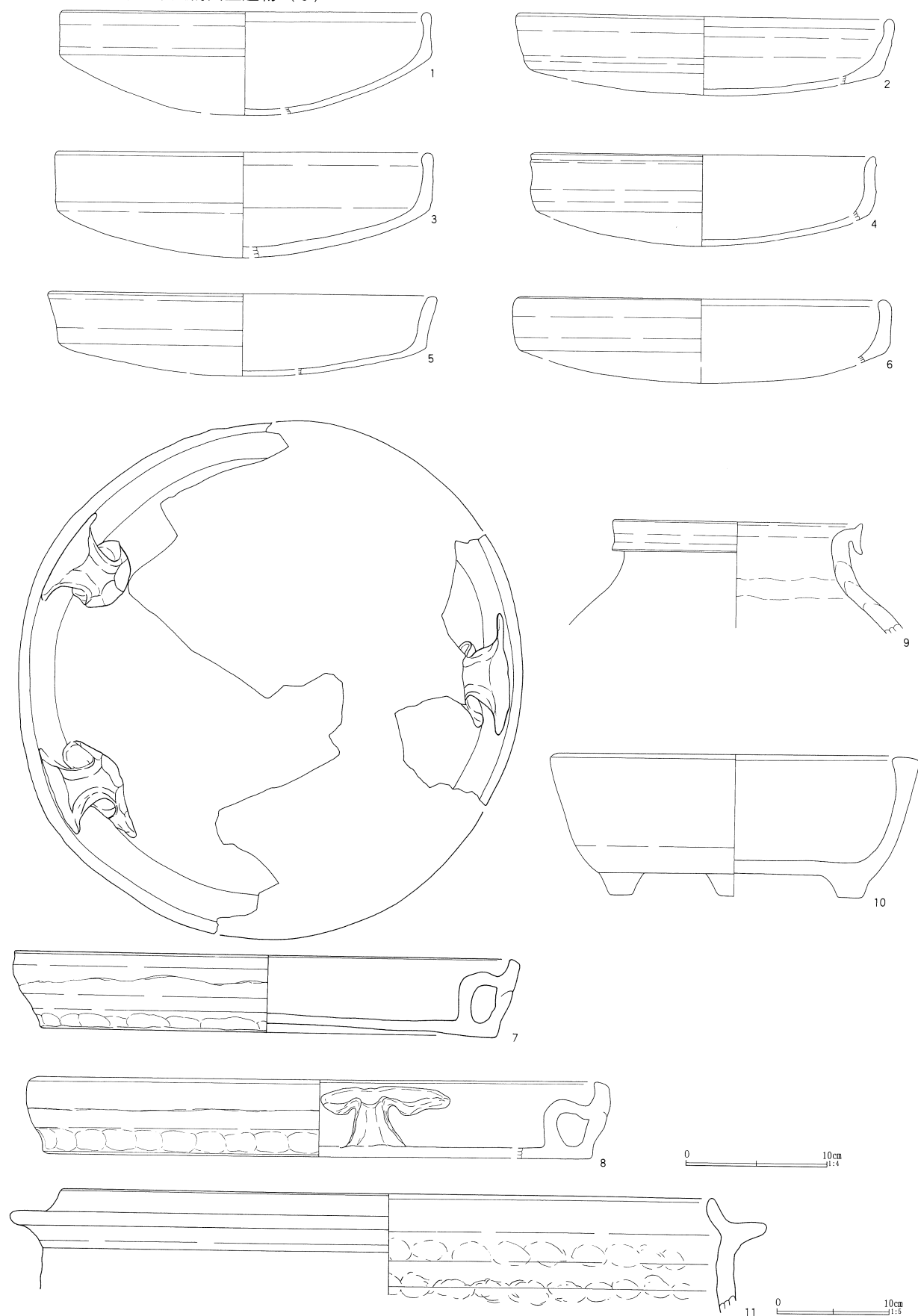
第97図 第2号廃棄遺構出土遺物（4）



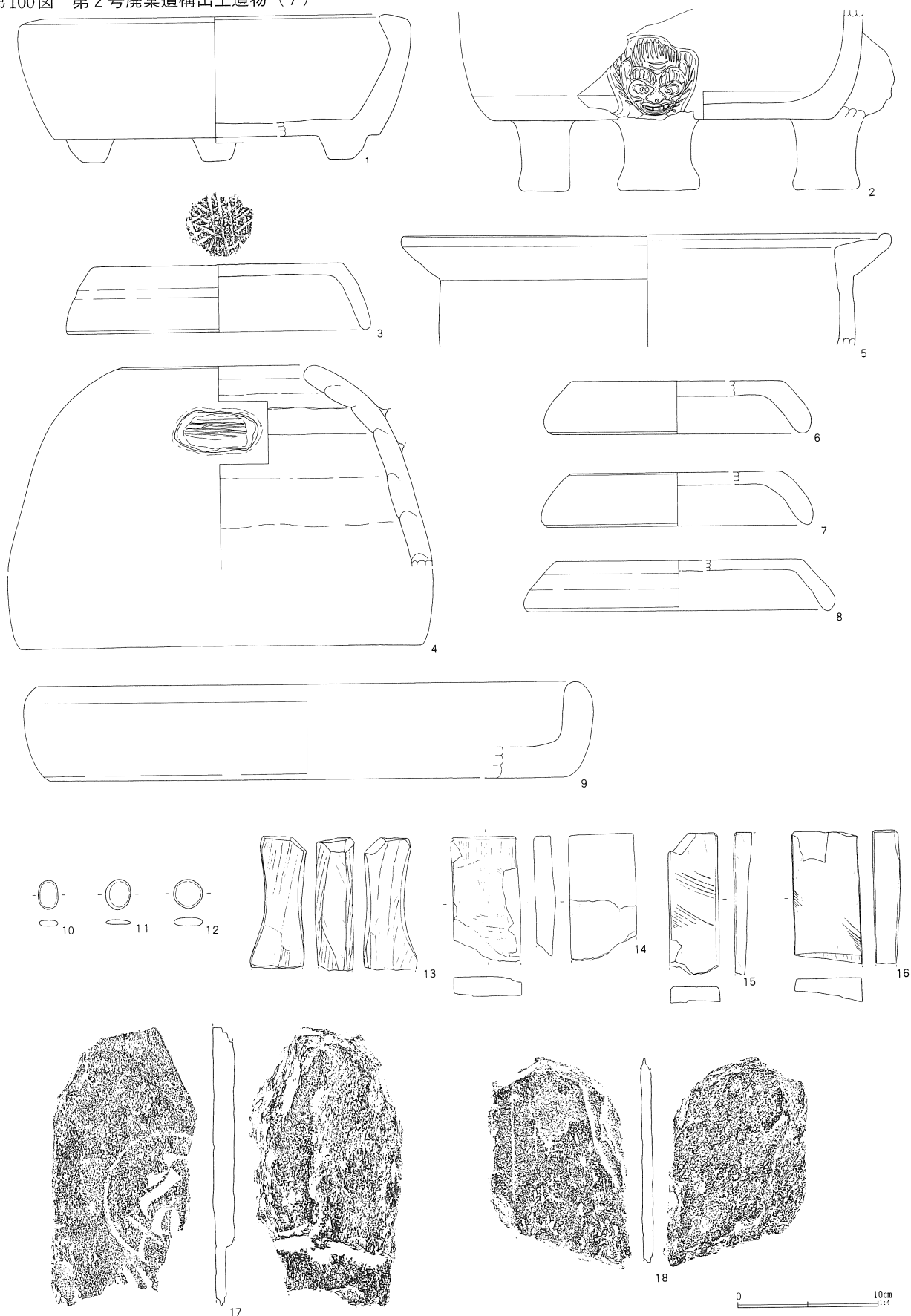
第98図 第2号廃棄遺構出土遺物（5）



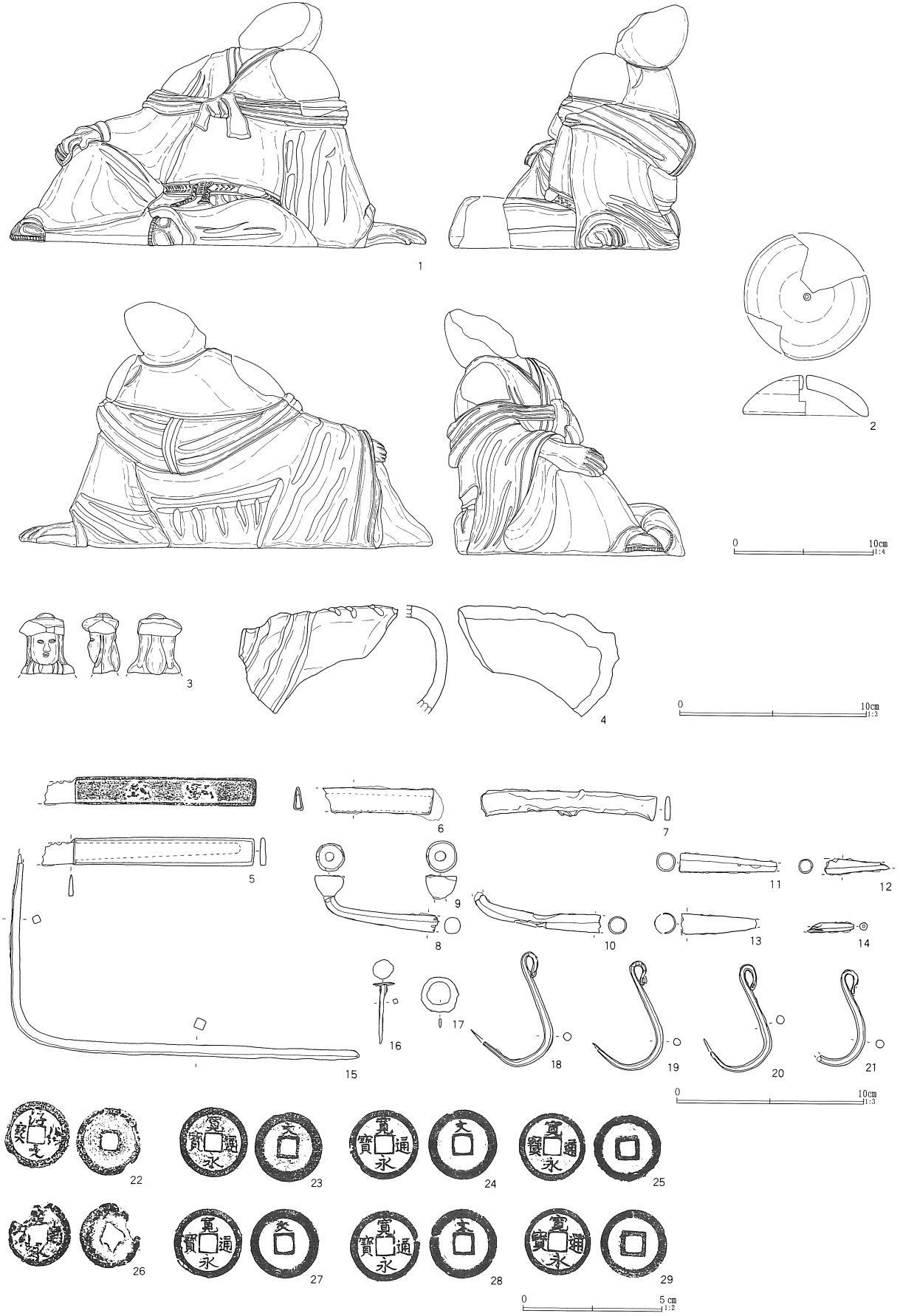
第99図 第2号廃棄遺構出土遺物（6）



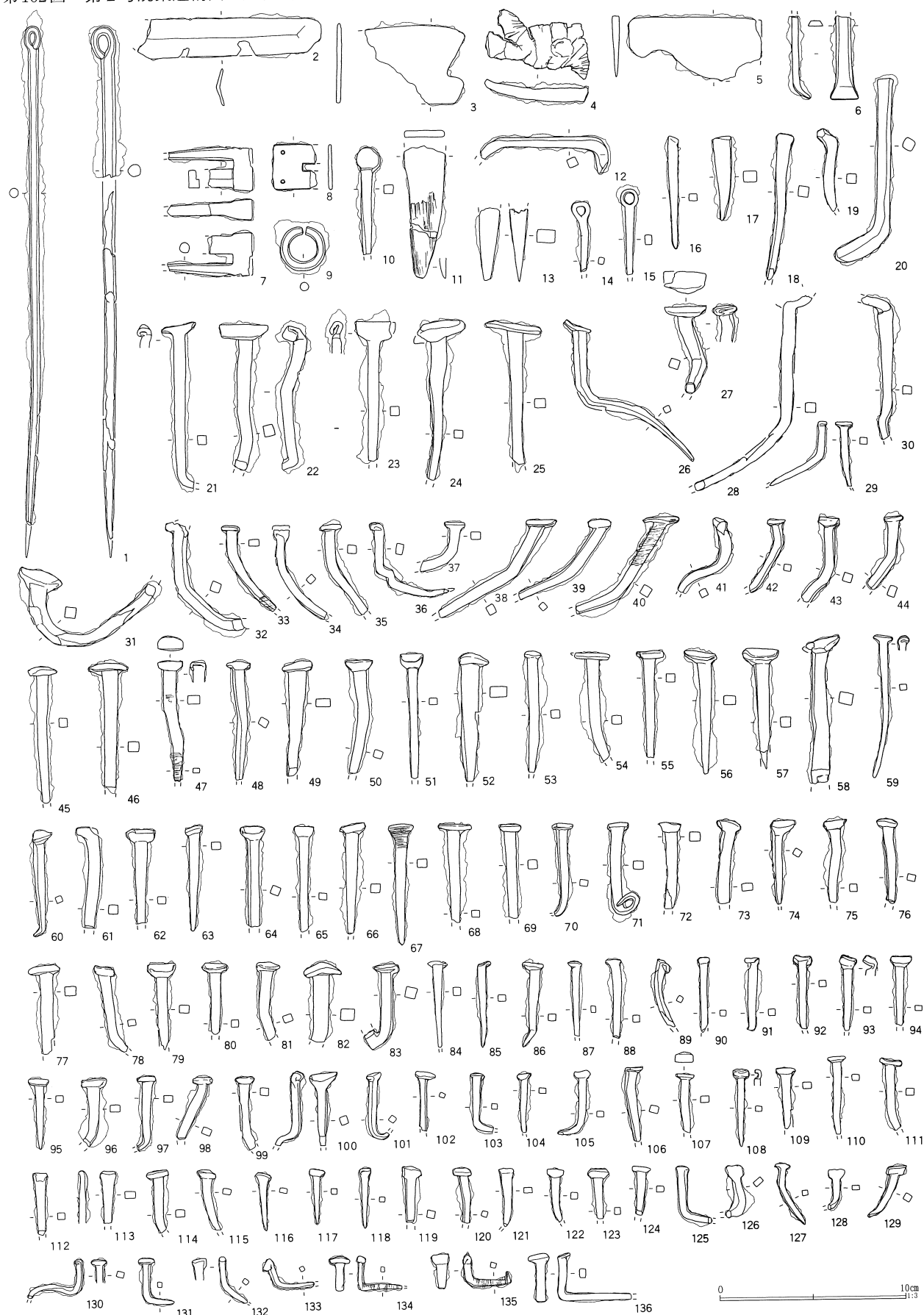
第100図 第2号廃棄遺構出土遺物（7）



第101図 第2号廃棄遺構出土遺物（8）

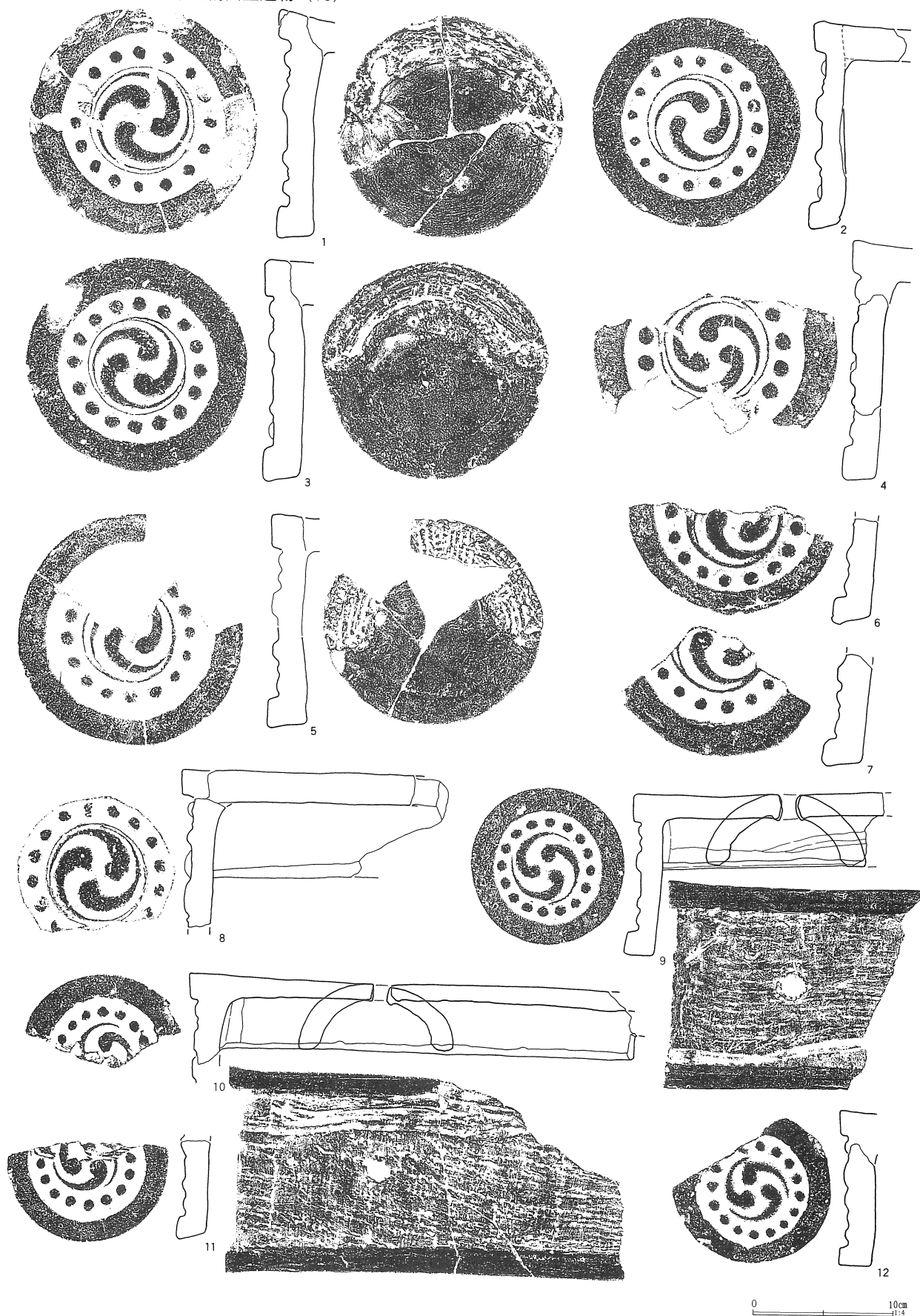


第102図 第2号廃棄遺構出土遺物(9)

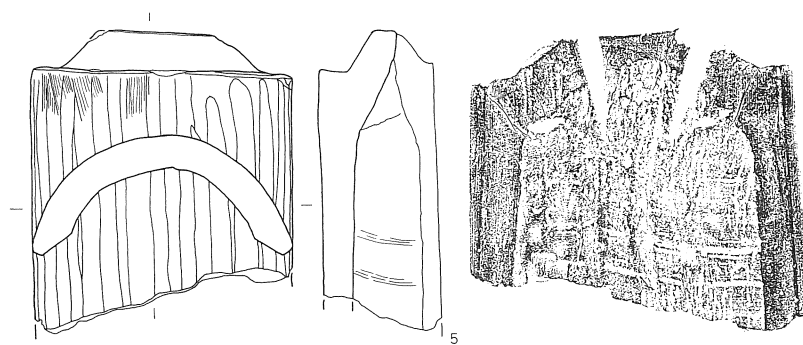
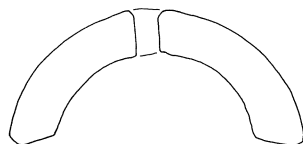
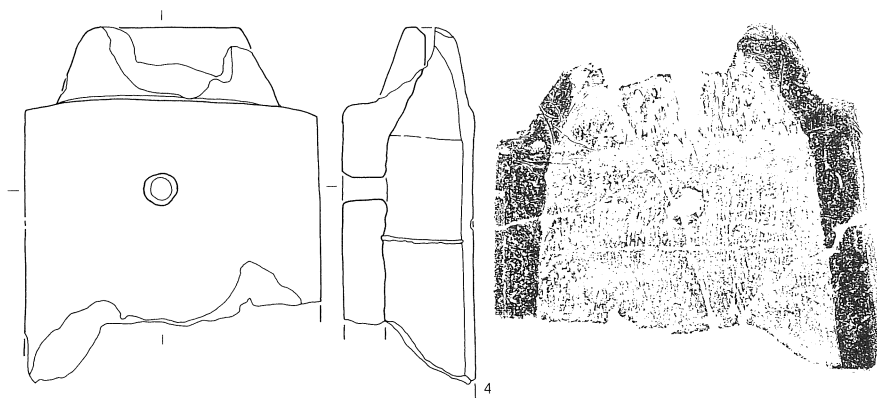
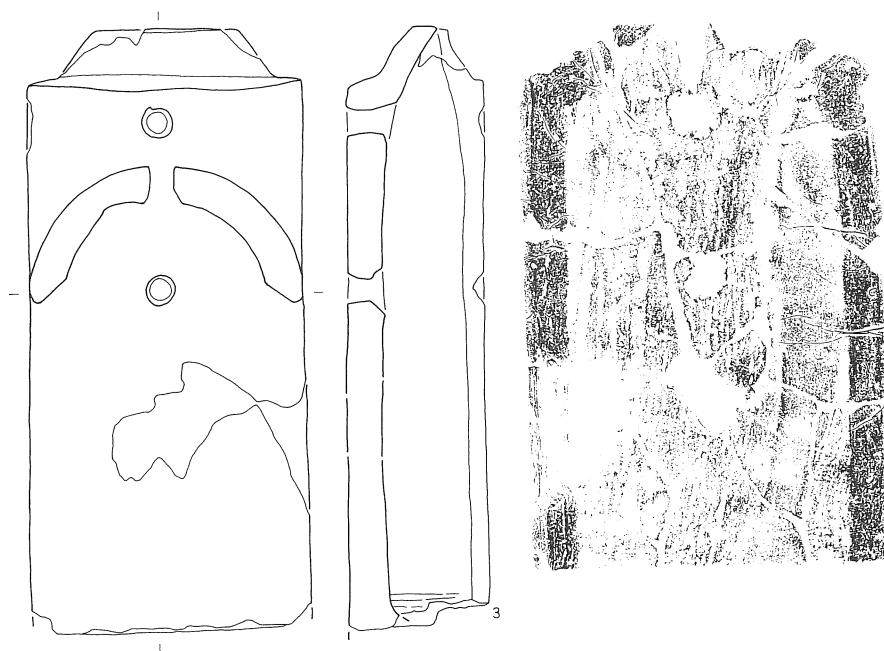
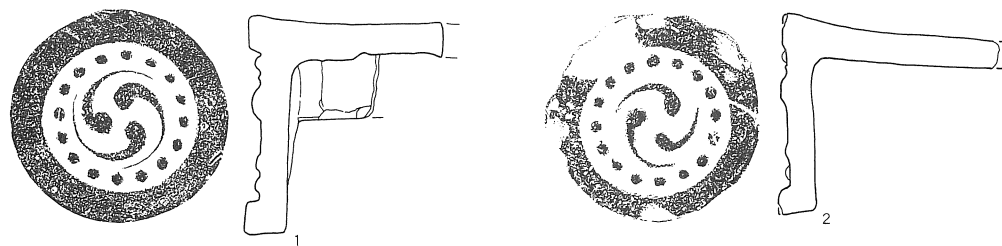




第103図 第2号廃棄遺構出土遺物 (10)

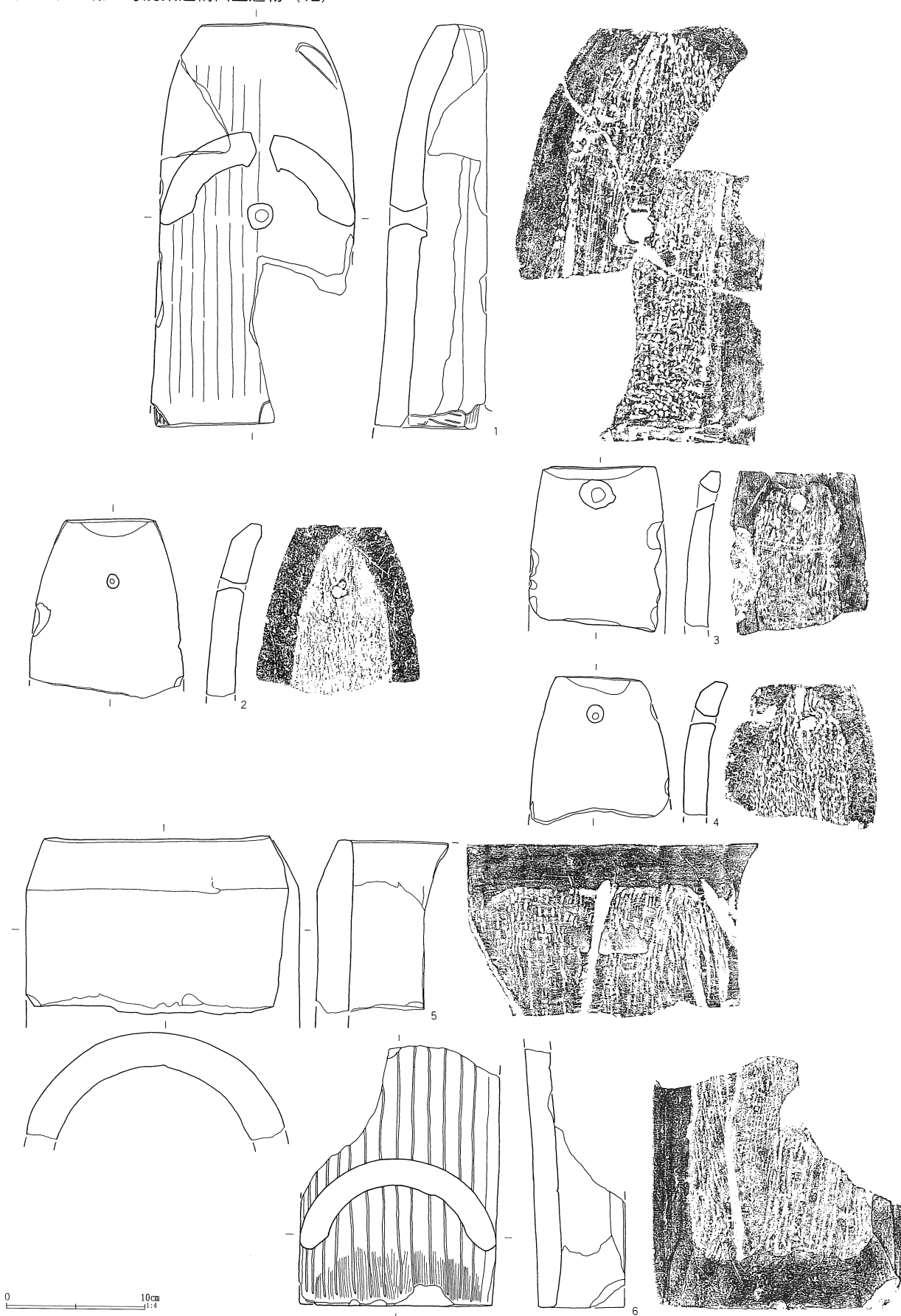


第104図 第2号廃棄遺構出土遺物 (11)

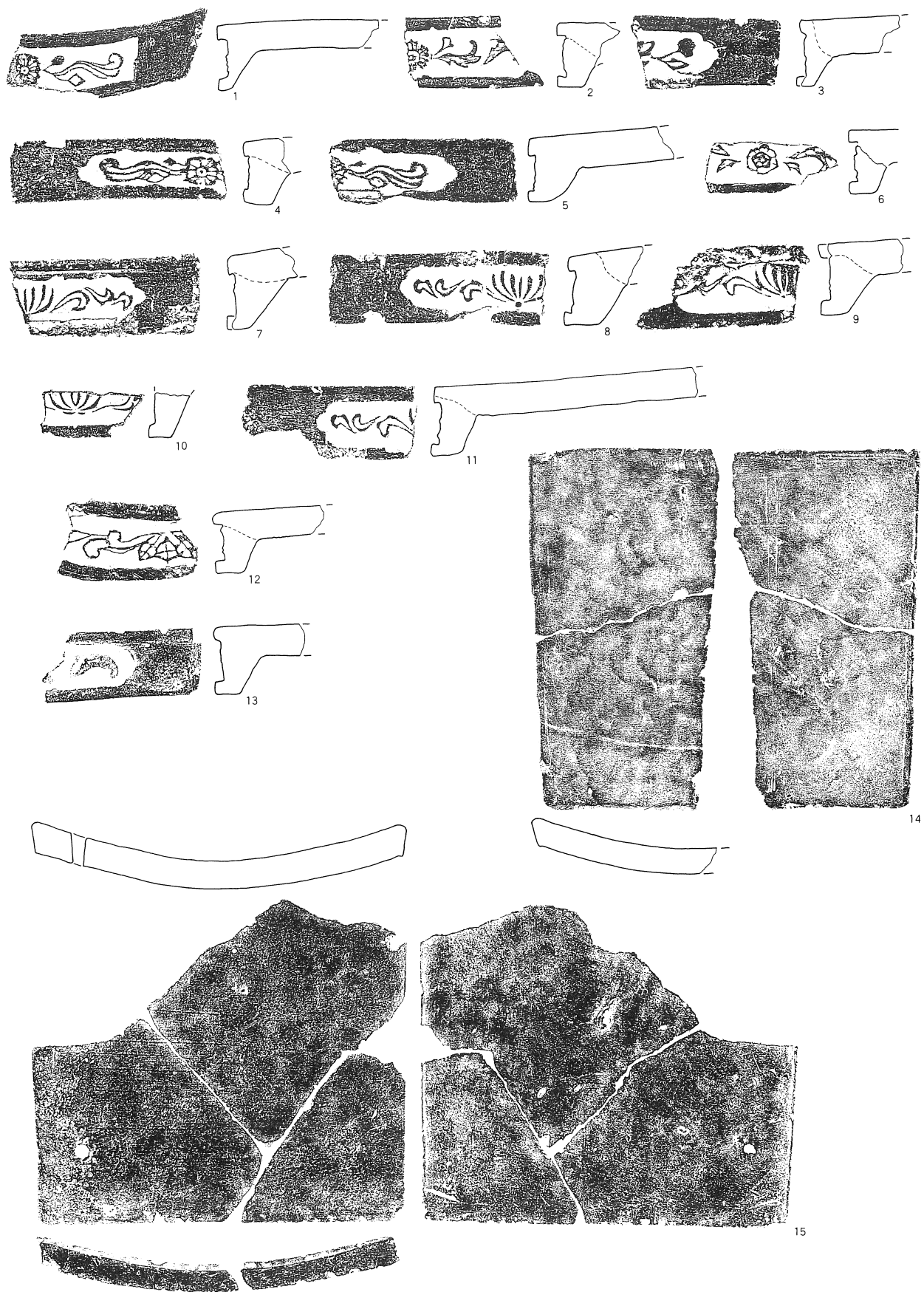


0 10cm  
1:4

第105図 第2号廃棄遺構出土遺物 (12)

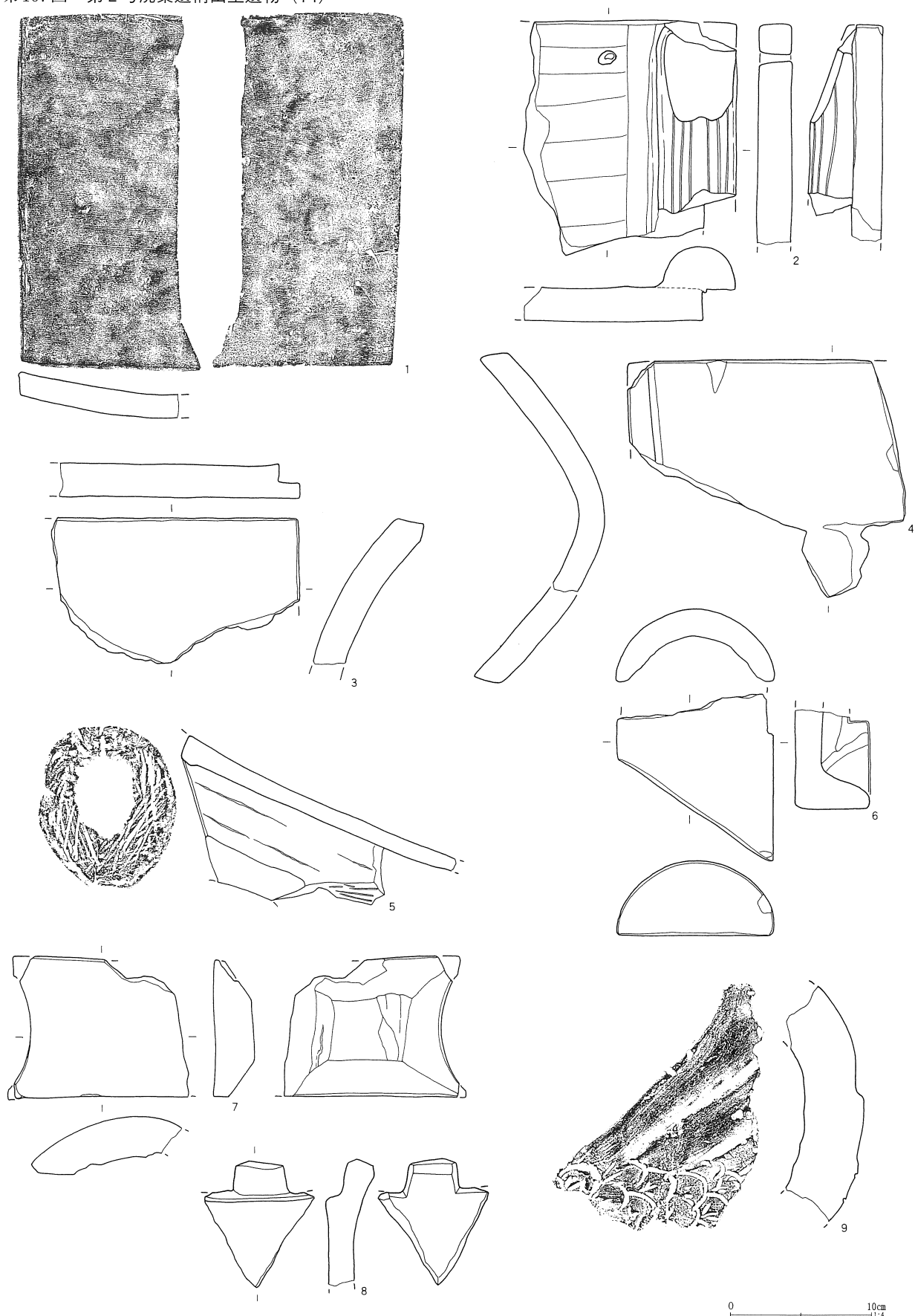


第106図 第2号廃棄遺構出土遺物 (13)

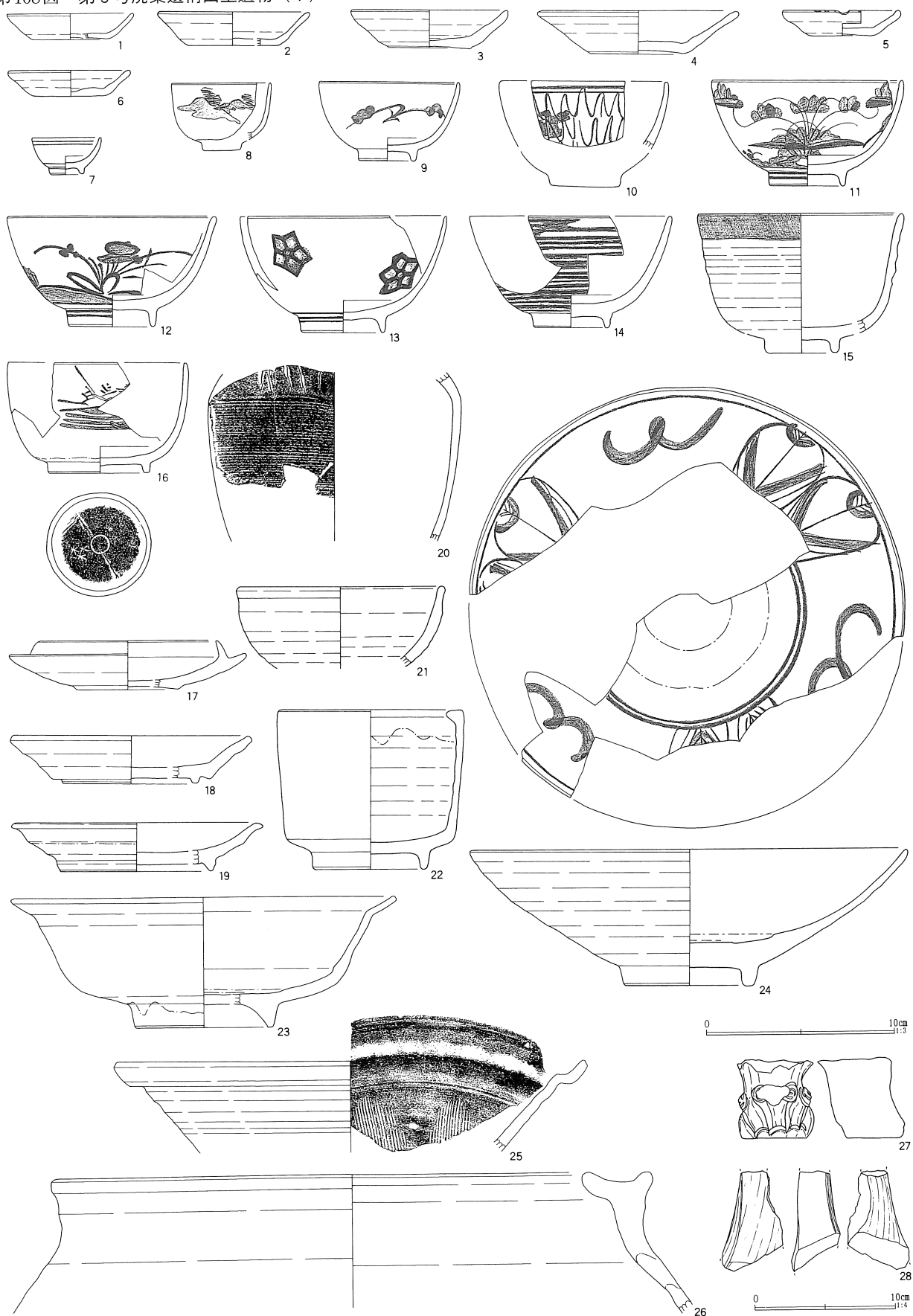


0 10cm  
3:4

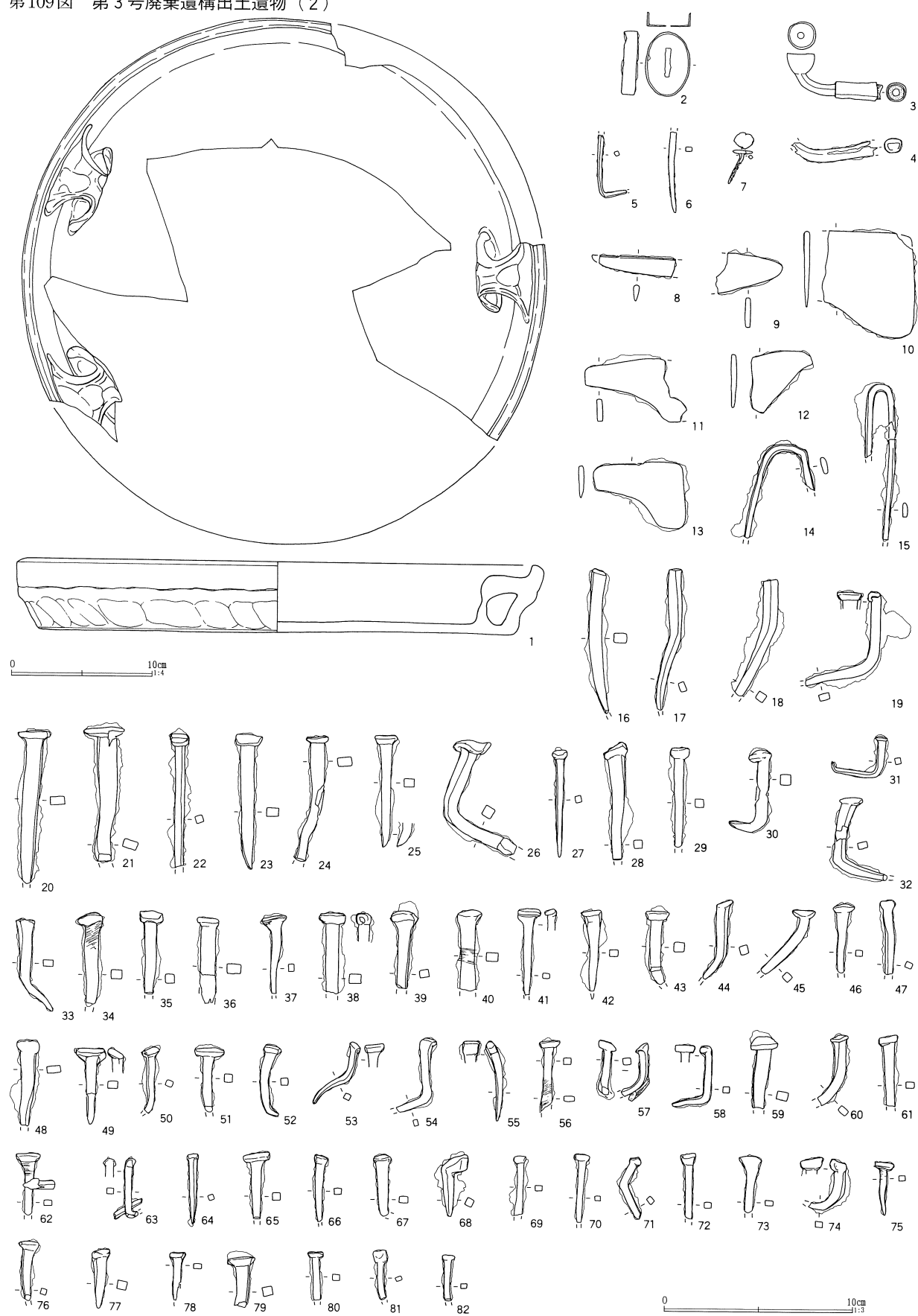
第107図 第2号廃棄遺構出土遺物 (14)



第108図 第3号廃棄遺構出土遺物(1)

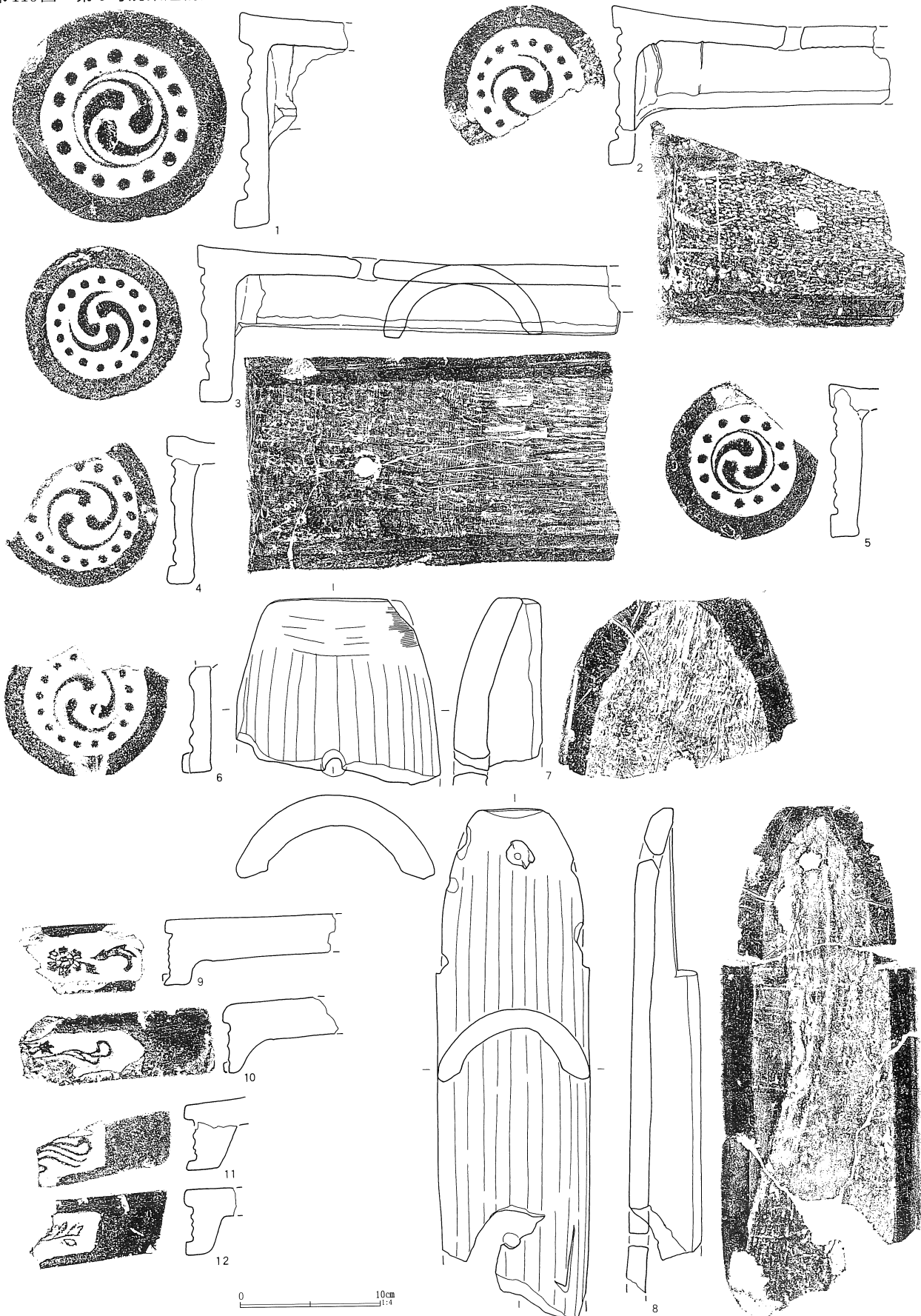


第109図 第3号廃棄遺構出土遺物（2）

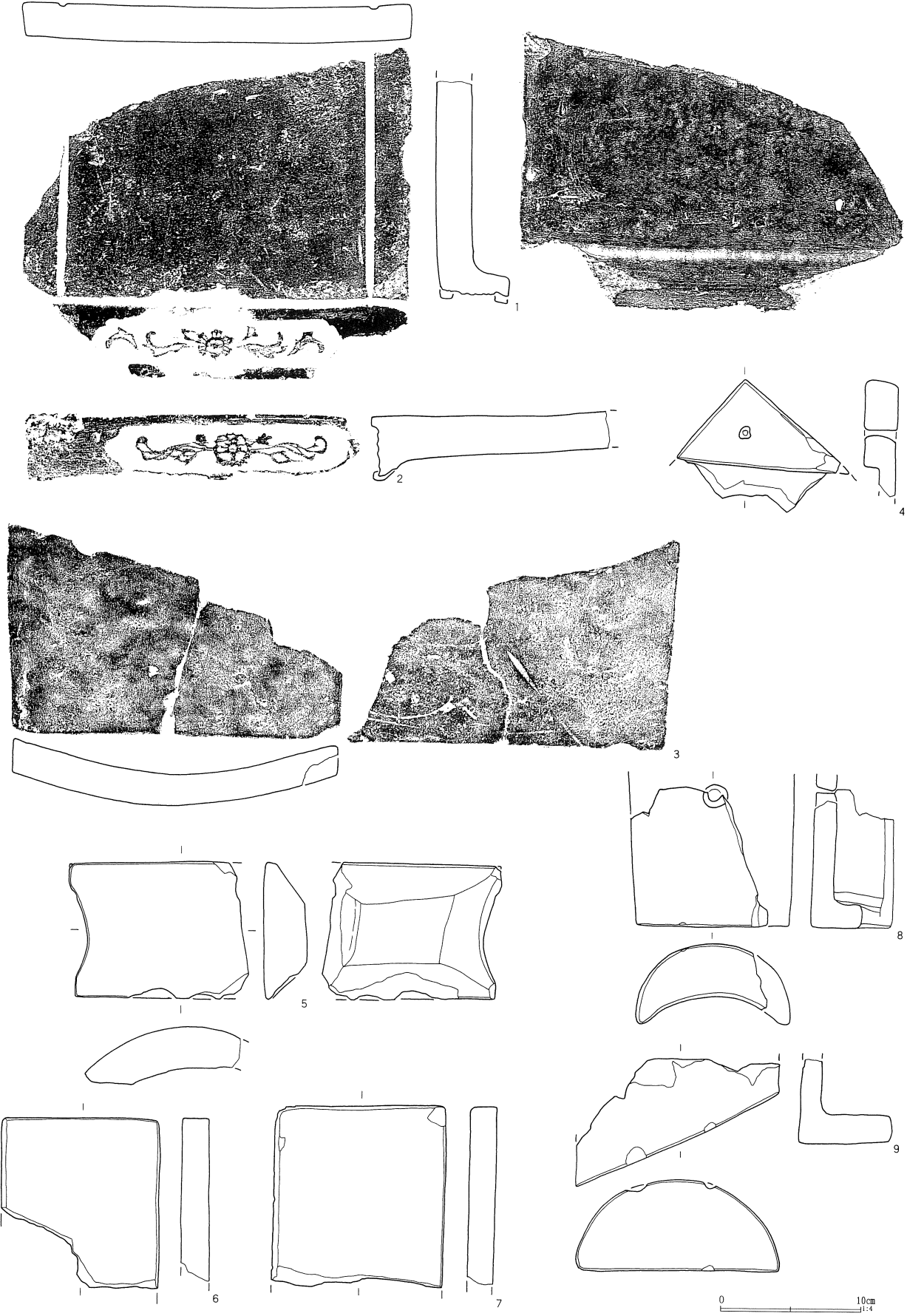




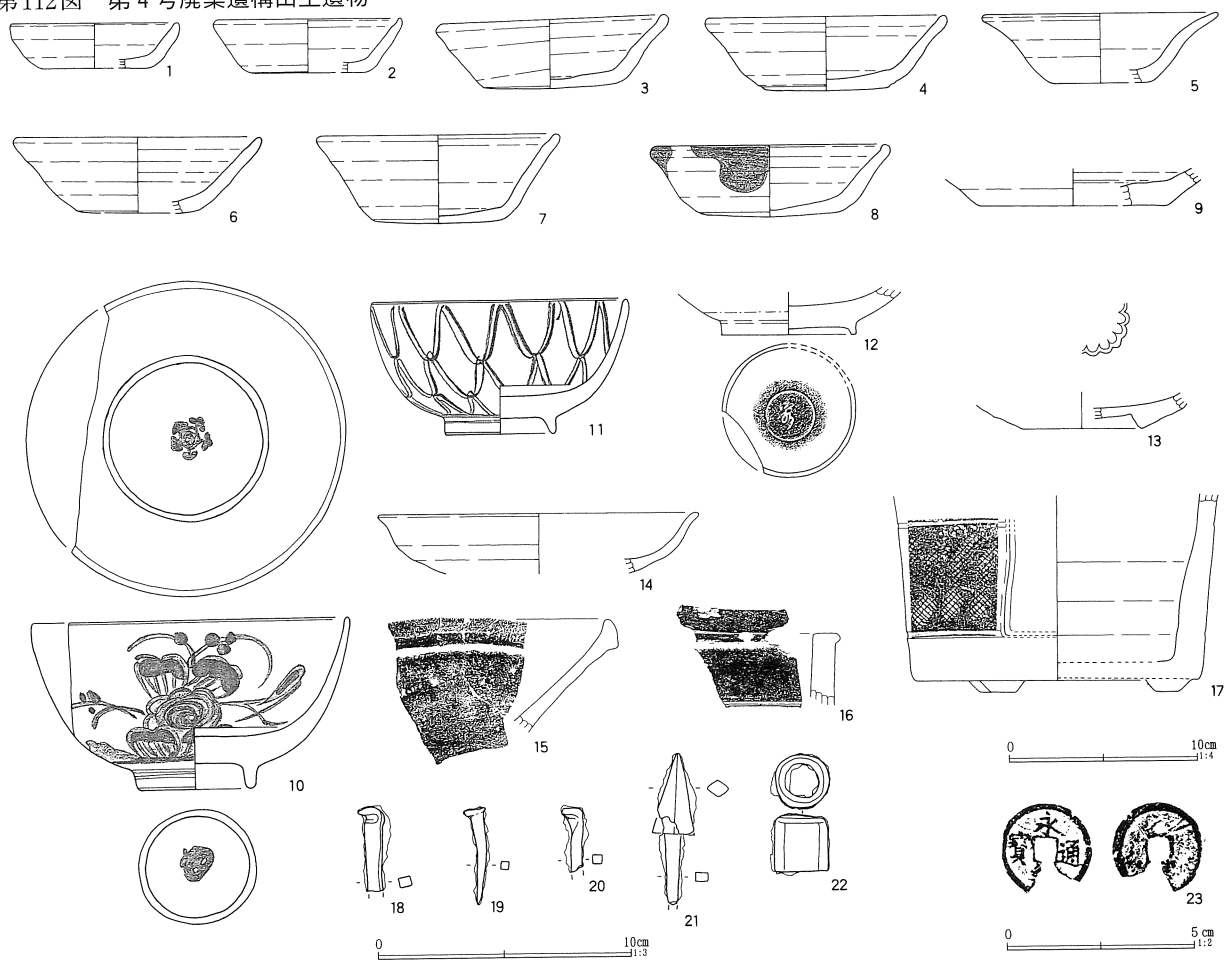
第110図 第3号廃棄遺構出土遺物（3）



第111図 第3号廃棄遺構出土遺物（4）



第112図 第4号廃棄遺構出土遺物



### 第3号廃棄遺構（第90図、第108～111図）

E-6区に位置し、第2号廃棄遺構と南側で重複する。新旧関係というよりも、一連の遺構の可能性が高い。長径4.70m、短径1.80m、深さ0.70mを測る。遺物も第2号廃棄遺構とほぼ同様なものが出土している。

### 第4号廃棄遺構（第90図、第112図）

D-10区に位置し、第1号堀と重複するが、本遺構の方が新しい。本遺構は第1号堀を東西にまたがる形で構築されており、その形状も変形している。覆土には焼土と灰層などが互層を成して堆積しており、一時期の埋土であることを物語っていた。遺物はかわらけ、磁器茶碗、陶器皿、播鉢、焜炉、鉄釘、鉄鏝、宋銭等であった。第4号廃棄遺構から出土したかわらけは、器高が高く、外反気味の器形で、やや厚身の成形であ

り、いわゆる近世のかわらけと異なる。第1号堀と重複していることから、遺物が混入している可能性もある。これ等が中世段階であるとすれば、第112図13、15、16と伴う可能性が高い。従って、本廃棄遺構は近世段階の18世紀後半段階の所産と思われる。

### 第5号廃棄遺構（第90図）

D-10に位置する。第1号堀と重複し、第4号廃棄遺構と隣接する。長径2.58m、短径1.35m、深さ0.37mを測る。覆土は第4号廃棄遺構と同様に、焼土と灰層で充填されていたが、図示し得るような遺物は出土していない。第4号廃棄遺構と隣接すること、覆土の状態が類似することから、遺構の構築時期を18世紀の後半段階と推定した。

廃棄遺構出土遺物観察表（第 91 図～第 112 図）

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
SX1												
91	1	土 器	かわらけ	(7.8)	1.6	(4.2)					在地系	底部穿孔・ヘラ書き  19c初  17c後 17c後 17c後 見込蛇の目釉剥ぎ 17c初 16c後 鉄釉
	2	土 器	かわらけ	(8.3)	1.5	4.7					在地系	
	3	土 器	かわらけ	11.0	2.1	5.7					在地系	
	4	土 器	かわらけ	(10.2)	3.6	(4.8)					在地系	
	5	土 器	かわらけ	10.4	2.1	5.4					在地系	
	6	土 器	かわらけ		(1.0)	(4.8)					在地系	
	7	土 器	泥 面 子	(3.0)	(2.6)	(1.6)					在地系	
	8	磁 器	紅 猪 口	4.4	1.6	1.8		菊 花 形				
	9	磁 器	合子・蓋	4.4	1.0				沙綾形		肥前系	
	10	陶 器	小 皿	(12.6)	3.3	7.0		菊 花 形	しのぎなし	緑釉流し	瀬戸美濃	
	11	陶 器	小 皿	(13.0)	3.5	(7.4)		菊 花 形	しのぎなし	緑釉流し	瀬戸美濃	
	12	陶 器	小 皿	(13.2)	3.6	(5.1)		丸 形			肥前系	
	13	陶 器	五 寸 皿	15.5	3.6	4.0		丸形底狭			志戸呂	
	14	炆 器	播 鉢		(6.0)						瀬戸美濃	
	15	石	砥 石	長さ 11.3、幅 5.1、厚さ 1.2cm								
	16	石	砥 石	長さ 7.5、幅 2.7、厚さ 2.4cm								
	17	石	石 臼	残存長 19.5、高 10.2、孔 2.6cm								
	18	銅	頭 卷 釘	頭幅 2.1、現存長 4.0cm								
	19	鉄	煙管吸口	径 1.0、長さ 5.7cm								
	20	鉄	不 明	幅 1.4、現存長 6.3cm								
	21	鉄	鍵	長さ 4.2、幅 2.2cm								
	22	鉄	不 明	幅 3.9、現存長 5.3cm								
	23	鉄	折 釘	長さ 7.0cm								
	24	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.9、長さ 6.3cm								
	25	鉄	鋸 ？	現存長 7.2cm								
	26	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.0cm								
	27	鉄	切 釘	現存長 7.0cm								
	28	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.8、現存長 6.7cm								
	29	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.8、現存長 4.9cm								
	30	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.8cm								
	31	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.8cm								
	32	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.7cm								
	33	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.7cm								
	34	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.5cm								
	35	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.9cm								
	36	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 13.5cm								
	37	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.9cm								
	38	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 4.2cm								
	39	鉄	切 釘	頭幅 0.8、現存長 3.7cm								
	40	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.3cm								
	41	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、長さ 3.6cm								
	42	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.5cm								
	43	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.7cm								
	44	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.4cm								
	45	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.4cm								
	46	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.1cm								
	47	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.4cm								
	48	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.0cm								
	49	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.0cm								
	50	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 2.8cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
91	51	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.9cm								
	52	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	53	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 2.8cm								
	54	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.2cm								
	55	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.6cm								
SX2												
94	1	土 器	かわらけ	(6.3)	1.4	(3.6)					在地系	
	2	土 器	かわらけ	(6.4)	1.4	(3.8)					在地系	
	3	土 器	かわらけ	(6.8)	1.2	(4.0)					在地系	
	4	土 器	かわらけ	8.4	1.6	4.3					在地系	
	5	土 器	かわらけ	8.3	1.9	4.9					在地系	
	6	土 器	かわらけ	(7.2)	2.1	4.4					在地系	
	7	土 器	かわらけ	8.2	1.7	4.4					在地系	
	8	土 器	かわらけ	(8.3)	1.3	(4.6)					在地系	
	9	土 器	かわらけ	(8.6)	1.6	(4.4)					在地系	
	10	土 器	かわらけ	(8.5)	1.7	(4.8)					在地系	
	11	土 器	かわらけ	8.5	1.9	5.0					在地系	
	12	土 器	かわらけ	8.8	1.7	5.0					在地系	
	13	土 器	かわらけ	9.2	1.5	5.1					在地系	
	14	土 器	かわらけ	8.5	1.7	4.8					在地系	
	15	土 器	かわらけ	(10.0)	2.1	(5.4)					在地系	
	16	土 器	かわらけ	(10.4)	2.2	(5.4)					在地系	
	17	土 器	かわらけ	(10.2)	2.3	(5.6)					在地系	
	18	土 器	かわらけ	(10.6)	2.1	(6.4)					在地系	
	19	土 器	かわらけ	(10.5)	2.1	(5.6)					在地系	
	20	土 器	かわらけ	(10.8)	2.1	(5.8)					在地系	
	21	土 器	かわらけ	11.2	1.9	6.6					在地系	
	22	土 器	かわらけ	10.8	2.0	5.6					在地系	
	23	土 器	かわらけ	(11.8)	2.3	(6.4)					在地系	
	24	土 器	かわらけ	11.1	2.4	6.0					在地系	
	25	土 器	かわらけ	(11.0)	2.4	(6.0)					在地系	
	26	土 器	灯 明 皿	6.1	2.8	3.3					在地系	
	27	土 器	灯 明 皿	7.8	1.8	4.3					在地系	
	28	土 器	灯 明 皿	8.2	1.8	4.4					在地系	
	29	土 器	灯 明 皿	(8.5)	1.5	(5.1)					在地系	
	30	土 器	灯 明 皿	8.6	1.7	5.1					在地系	
	31	土 器	灯 明 皿	(8.2)	1.6	(4.6)					在地系	
	32	土 器	灯 明 皿	8.8	1.5	4.5					在地系	
	33	土 器	灯 明 皿	(8.7)	2.1	(4.8)					在地系	
	34	土 器	灯 明 皿	9.0	1.7	4.9					在地系	
	35	土 器	灯 明 皿	9.1	1.8	4.1					在地系	
	36	土 器	灯 明 皿	(11.6)	1.5	(6.8)					在地系	
	37	土 器	灯 明 皿	(10.4)	2.1	(5.6)					在地系	
	38	土 器	灯 明 皿	11.2	2.1	6.4					在地系	
	39	土 器	灯 明 皿	10.8	2.1	5.4					在地系	
	40	磁 器	小 坏	4.8	3.5	3.0		桶 形	楓文		肥前系	18c後 口紅
	41	磁 器	小 碗	(5.9)	3.6	(2.7)		端 反 形	牡丹文		肥前系	
	42	磁 器	小 碗	(5.6)	4.1	(2.6)		端 反 形				
	43	磁 器	小 碗	(6.7)	(5.0)	(2.4)		端 反 形	折梅文			18c初
	44	磁 器	小 碗	7.0	3.1	3.0		浅 丸 形	雨降り文		肥前系	
	45	磁 器	小 碗	7.7	4.4	3.3						

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
94	46	磁 器	小 碗	8.5	(5.0)			丸 形	蝶花文		肥前系	17c後 色絵
	47	磁 器	小 碗	(8.6)	(4.1)			丸 形	藤 文		肥前系	17c後 色絵
	48	磁 器	小 碗	7.5	4.3	3.2		丸 形	松葉折文		肥前系	18c初
	49	磁 器	小 碗	8.7	4.6	3.4		丸 形	草花文		肥前系	18c初
	50	磁 器	小 碗	8.4	5.1	3.4		丸 形	竹 文		肥前系	18c初
	51	磁 器	小 碗	(8.7)	(3.3)			丸 形	草花文		肥前系	18c初
	52	磁 器	中 碗	(10.0)	5.6	4.2		丸 形	花 文		肥前系	18c初「太明年製」
	53	磁 器	中 碗	10.0	5.8	4.2		丸 形	草花文		肥前系	18c初「太明年製」
95	54	磁 器	中 碗	10.8	6.3	4.6		丸 形	草花文		肥前系	18c初「太明年製」
	1	磁 器	中 碗	11.6	6.6	4.6		丸 形	扇草花文		肥前系	18c初
	2	磁 器	中 碗	(10.4)	6.4	4.6		丸 形	草花文		肥前系	18c初
	3	磁 器	中 碗	10.0	5.7	4.3		丸 形	七宝繋ぎ		肥前系	18c初「太明年製」
	4	磁 器	中 碗	(11.6)	6.3	4.7		丸 形			肥前系	18c初
	5	磁 器	中 碗	(11.3)	6.4	4.2		丸 形	山水文		肥前系	18c初
	6	磁 器	大 碗	(12.3)	(4.3)			丸 形	波濤文 帯色蕉葉文		景德鎮	16c前
	7	磁 器	小 碗	9.3	5.0	3.7		端 反 形	横 線	見込草花文	瀬戸美濃	19c前
96	8	磁 器	小 碗	8.5	6.8	4.7		筒 形	蜻唐草文	四方襷	肥 前	18c後
	9	磁 器	中 碗	11.0	6.5	4.2		丸 形	刷毛目	刷毛目	唐 津	17c後
	10	磁 器	中 碗		(3.5)	(4.0)		丸 形	刷毛目	刷毛目	唐 津	17c後
	11	磁 器	小 碗	9.5	6.7	4.5		呉 器 形			肥 前	17c後
	12	磁 器	中 碗	(11.0)	7.5	(5.0)		呉 器 形			肥 前	17c後
	13	磁 器	小 碗		(6.0)	4.4		呉 器 形			肥 前	17c後
	14	磁 器	中 碗		(2.5)	3.2		平 碗			京焼風	17c後
	15	陶 器	中 碗	9.4	6.3	5.6		腰 張 形	草 文		京焼風	17c後 刻印
	16	陶 器	中 碗	9.5	6.5	5.0		腰 張 形	葦 文		京焼風	17c後 刻印「雲」
	17	陶 器	中 碗		(5.2)	(5.0)		腰 張 形	草 文		京焼風	17c後 刻印
	18	陶 器	中 碗	(9.5)	5.6	(5.1)		腰 張 形	楼閣山水文		京焼風	17c後
	19	陶 器	中 碗	8.8	6.1	5.5		腰 張 形	草 文		京焼風	17c後
	20	陶 器	中 碗	10.4	6.3	4.6		腰 張 形			京焼風	17c後 灰釉
	21	陶 器	中 碗	11.0	7.0	5.6		腰 張 形			京焼風	17c後 灰釉
	22	陶 器	中 碗	11.0	6.4	5.0		腰 張 形			瀬戸美濃	17c後 腰錆茶碗
	23	陶 器	中 碗	10.8	6.9	5.6		腰 張 形			瀬戸美濃	17c後 腰錆茶碗
	24	陶 器	中 碗	(12.0)	(6.9)			腰 張 形			瀬戸美濃	17c前
	25	陶 器	中 碗		(2.5)	5.6		半 筒 形			京焼風	17c後
	26	陶 器	中 碗	(11.7)	(3.2)			天 目 形			瀬戸美濃	17c前 鉄釉
	1	陶 器	縁 釉 皿	(10.6)	1.8	(5.0)		端 反 形			瀬 戸	15c後 灰釉
	2	陶 器	縁 釉 皿	(12.2)	(2.0)			端 反 形			瀬 戸	15c後 灰釉
	3	陶 器	中 皿	(12.8)	3.0	(6.8)		丸 形				
	4	磁 器	中 皿	13.1	4.2	7.6		丸 形			肥前系	18c初 鍋島風
	5	磁 器	皿		(1.8)	7.1					景德鎮	17c初
	6	磁 器	小 皿	12.7	3.3	4.0		丸形底狭			伊万里	17c後 見込蛇の目剥ぎ
	7	陶 器	小 皿	12.5	4.0	4.6		丸形底狭			伊万里	17c後 見込蛇の目剥ぎ
	8	磁 器	中 皿	(18.5)	3.7	(12.0)		丸 形			肥 前	18c初 口紅
	9	磁 器	小 皿	(13.3)	2.7	(8.0)		輪花端反形	菊花文		肥 前	17c後
	10	陶 器	小 皿	12.6	3.0	7.3		菊 花 形	見込菊花文		瀬戸美濃	17c後 緑釉流し
	11	陶 器	小 鉢	12.3	4.7	5.0		浅丸形底狭	楼閣山水文		京焼風	17c後
	12	陶 器	小 鉢		(1.6)	4.5		浅丸形底狭	楼閣山水文		京焼風	17c後 刻印「新」
	13	陶 器	小 鉢	(13.0)	4.7	(5.0)		浅丸形底狭	楼閣山水文		京焼風	17c後
	14	磁 器	大 鉢	(23.4)	8.8	10.0		丸 形	窠描花文		肥前系	蛇の目高台 17c後

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
97	1	陶 器	大 鉢	(30.9)	(5.7)			腰 折 形	刷毛目	刷毛目	唐 津	17c後
	2	陶 器	片 口	(14.7)	(7.0)			孫 太 形			瀬戸美濃	17c前 長石釉
	3	陶 器	大 鉢	(20.6)	12.1	(9.2)		丸 形			唐 津	17c後 緑釉
	4	陶 器	片 口	13.2	8.5	6.8	15.6	丸 形			瀬戸美濃	17c前 口縁切込 長石釉
	5	陶 器	片 口	(23.0)	(11.0)	(10.0)	(25.0)	丸 形			唐 津	17c後 口縁帯下注口
	6	陶 器	蓋	5.0	1.4	3.6					瀬戸美濃	壺の蓋
	7	磁 器	蓋	7.6	2.8	1.2	6.0				肥前系	17c 中壺の蓋
	8	磁 器	小 瓶	2.9	(3.5)							
	9	磁 器	小 瓶		(11.0)	4.7						17c後 色絵
	10	陶 器	中 瓶		(11.7)	8.4					瀬戸美濃	18c初 鉄釉 舟徳利
	11	陶 器	中 瓶		(5.3)	(7.4)					瀬戸美濃	18c初 鉄釉 舟徳利
	12	磁 器	仏 飯 器	8.3	6.0	4.3					肥前系	18c後
	13	磁 器	仏 飯 器	8.5	6.4	4.3					肥前系	18c後
	14	磁 器	仏 飯 器	9.0	6.4	4.4					肥前系	18c後
	15	陶 器	灯 明 皿	11.0	1.7	5.6	(11.7)				志戸呂	17c後 摘み付 鉄釉
	16	陶 器	灯明受皿	11.1	(2.2)		8.4				志戸呂	17c後 鉄釉
	17	土 器	蓋	8.0	1.7	7.6					在地系	塩焼壺蓋
	18	土 器	塩 焼 壺	5.4	9.6	4.8	7.6				泉州系	泉州麻生 板作成形
	19	土 器	塩 焼 壺	(6.4)	(11.0)	(4.6)					泉州系	泉州麻生 板作成形
	20	土 器	小 壺	4.6	(3.0)						在地系	
	21	陶 器	中 壺	(7.4)	(5.8)						瀬戸美濃	18c初
	22	陶 器	中 壺	(6.4)	(9.6)			瀬戸壺形			瀬戸美濃	18c初 耳付
	23	陶 器	中 壺	(12.7)	(3.8)						瀬戸美濃	18c初
98	1	陶 器	香 炉	8.7	4.1	5.4		半 筒 形	草 文	草 文		18c?
	2	陶 器	香 炉	(10.8)	4.0	(6.3)		無 三 足			瀬戸美濃	17c前 鉄釉
	3	磁 器	香 炉	(13.0)	(4.2)						肥前系	17c前 青磁釉
	4	磁 器	香 炉	(12.0)	(4.7)						肥前系	17c後 染付
	5	陶 器	香 炉	(12.1)	6.0						瀬戸美濃	17c前 鉄釉
	6	磁 器	香 炉	12.0	8.2	7.3					肥前系	17c前 青磁釉
	7	炆 器	播 鉢	(37.4)	13.2	(14.4)					丹 波	17c後
	8	炆 器	播 鉢	(33.4)	(6.0)						丹 波	17c後
	9	炆 器	播 鉢	(34.6)	(5.5)						丹 波	17c後
	10	炆 器	播 鉢	(34.0)	15.4	(15.2)	(35.8)					
	11	炆 器	播 鉢	(32.0)	(16.0)							
	12	炆 器	播 鉢	(32.4)	(10.0)						瀬戸美濃	17c後 鉄釉
	13	炆 器	播 鉢	(37.0)	(8.5)						瀬戸美濃	17c後 鉄釉
99	1	土 器	焙 烙	26.4	(7.3)				竹 文	竹 文		
	2	土 器	焙 烙	(27.2)	(5.6)						在地系	
	3	土 器	焙 烙	26.8	(7.5)						在地系	
	4	土 器	焙 烙	(24.6)	(6.5)						在地系	
	5	土 器	焙 烙	(28.0)	(5.8)						在地系	
	6	土 器	焙 烙	(26.8)	(6.0)						在地系	
	7	土 器	焙 烙	(35.6)	5.5	(32.5)					在地系	
	8	土 器	焙 烙	(39.8)	5.5	(39.0)					在地系	
	9	炆 器	甕	(18.0)	(7.5)						常 滑	14c前
	10	土 器	火 鉢	26.0	10.0	18.2					在地系	
	11	炆 器	大 甕	(58.3)	(9.0)		(67.6)				常 滑	
100	1	土 器	火 鉢	28.0	10.3	19.6					在地系	
	2	土 器	火 鉢		(7.8)						在地系	
	3	土 器	蓋	(21.8)	4.8	18.0					在地系	火消壺蓋
	4	土 器	火 消 壺	(14.0)	(14.5)						在地系	



図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
100	5	土 器	植 木 鉢	(35.2)	(8.0)						在地系	火消壺蓋 火消壺蓋 火消壺蓋 火消壺蓋	
	6	土 器	蓋	(18.6)	3.8	(15.2)				在地系			
	7	土 器	蓋	(19.8)	3.8	(15.6)				在地系			
	8	土 器	蓋	(22.3)	3.6	(17.8)				在地系			
	9	土 器	鍋	(39.0)	5.7	(38.0)				在地系			
	10	石	碁 石	長径 2.1、短径 1.5、厚さ 0.5cm									
	11	石	碁 石	長径 2.1、短径 1.8、厚さ 0.3cm									
	12	石	碁 石	直径 2.1、厚さ 0.6cm									
	13	石	砥 石	残存長 9.5、幅 3.9、厚さ 2.8cm									
	14	石	砥 石	残存長 8.9、幅 4.9、厚さ 1.5cm									
	15	石	砥 石	残存長 10.1、幅 3.6、厚さ 1.3cm									
	16	石	砥 石	残存長 9.6、幅 4.9、厚さ 2.0cm									
	17	石	板 碑	残存長 19.6、幅 10.3、厚さ 1.5cm									
	18	石	板 碑	残存長 14.6、幅 10.0、厚さ 0.8cm									
	101	1	土 器	西行法師	残存高 17.6、幅 30.2、厚さ 17.9cm								在地系
		2	土 器	笠	直径 9.2、高さ 3.9cm								在地系
		3	土 器	人 形	残存長 3.3、幅 3.0、厚さ 2.1cm								在地系
		4	土 器	犬 ？	残存長 6.0、幅 8.5、厚さ 2.2cm								在地系
5		銅・鉄	小 柄	現存長 11.6、幅 1.5、厚さ 0.3cm									
6		銅・鉄	小 柄	現存長 6.0、幅 1.4、厚さ 0.5cm									
7		銅	小 柄	長さ 9.5、幅 1.6、厚さ 0.3cm									
8		銅	煙管雁首	火皿径 1.5、現存長 6.8cm									
9		銅	煙管雁首	火皿径 1.7、現存長 1.3cm									
10		銅	煙管雁首	現存長 6.9cm									
11		銅	煙管吸口	径 1.0、現存長 5.3cm									
12		銅	煙管吸口	径 0.8、現存長 3.6cm									
13		銅	煙管吸口	径 1.1、現存長 4.1cm									
14		銅	煙管吸口	径 0.4、現存長 2.6cm									
15		銅	不 明	幅 10.5、現存長 19.0cm									
16		銅	釘	頭幅 1.2、長さ 3.3cm									
17		銅	不 明	径 2.0cm									
18		銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 6.2cm									
19		銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 5.9cm									
20		銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 5.9cm									
21		銅	吊手金具	断面径 0.4、長さ 5.3cm									
22		古 銭	淳化元宝	銭径 24.7、内径 18.6、銭厚 1.55mm、量目 1.84 g									北宋 990年
23		古 銭	寛永通寶	銭径 24.4、内径 20.0、銭厚 1.30mm、量目 2.77 g									古 1636～1656年
24		古 銭	寛永通寶	銭径 24.6、内径 19.8、銭厚 1.40mm、量目 2.94 g									古 1636～1656年
25		古 銭	寛永通寶	銭径 22.7、内径 19.5、銭厚 1.20mm、量目 1.54 g									古 1636～1656年
26		古 銭	寛永通寶	銭径 25.3、内径 20.9、銭厚 1.30mm、量目 2.63 g									文銭 1668年
27		古 銭	寛永通寶	銭径 25.2、内径 20.9、銭厚 1.20mm、量目 2.95 g									文銭 1668年
28		古 銭	寛永通寶	銭径 25.3、内径 20.1、銭厚 1.28mm、量目 2.62 g									文銭 1668年
29		古 銭	寛永通寶	銭径 25.1、内径 20.0、銭厚 1.10mm、量目 2.12 g									文銭 1668年
102	1	鉄	火 箸	右:現存長 27.6、断面径 0.7cm 左:現存長 26.9、断面径 0.5cm									
	2	鉄	不 明	幅 10.0、現存長 2.2cm									
	3	鉄	不 明	幅 5.4、現存長 4.2cm									
	4	鉄	不 明	幅 3.7、長さ 5.7cm									
	5	鉄	刃 物 ？	幅 7.2、現存長 3.4cm									
	6	鉄	毛 拔 き	幅 1.6、現存長 4.5cm									
	7	鉄	錠 前	幅 2.3、現存長 4.6cm									
	8	鉄	不 明	幅 2.5、現存長 2.4cm									

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
102	9	鉄	鉄 環	長径 2.4、断面径 0.5cm								
	10	鉄	不 明	端部幅 1.3、現存長 5.9cm								
	11	鉄	楔 ？	幅 2.7、現存長 7.1cm								
	12	鉄	鋸 ？	現存長 7.0cm								
	13	鉄	楔	幅 1.1、現存長 4.0、厚さ 0.7cm								
	14	鉄	不 明	端部幅 1.0、現存長 3.8cm								
	15	鉄	不 明	端部幅 1.0、現存長 4.6cm								
	16	鉄	角 釘	長さ 6.1cm								
	17	鉄	切 釘	長さ 4.6cm								
	18	鉄	角 釘	現存長 7.9cm								
	19	鉄	角 釘	現存長 4.5cm								
	20	鉄	不 明	頭幅 0.8、長さ 10.0cm								
	21	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.9、現存長 9.0cm								
	22	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.7、現存長 7.9cm								
	23	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.2、現存長 7.5cm								
	24	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.6、現存長 8.6cm								
	25	鉄	頭 卷 釘	頭幅 3.1、現存長 8.2cm								
	26	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、長さ 7.8cm								
	27	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.3、現存長 4.7cm								
	28	鉄	頭 卷 釘	現存長 10.6cm								
	29	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.5cm								
	30	鉄	折 釘	現存長 7.8cm								
	31	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.5、現存長 7.4cm								
	32	鉄	頭 卷 釘	現存長 6.6cm								
	33	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.7cm								
	34	鉄	頭 卷 釘	現存長 5.4cm								
	35	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	36	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.6cm								
	37	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.7cm								
	38	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 7.8cm								
	39	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.4cm								
	40	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 7.3cm								
	41	鉄	頭 卷 釘	現存長 3.3cm								
	42	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.2cm								
	43	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	44	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.0cm								
	45	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 7.3cm								
	46	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.1、現存長 7.0cm								
	47	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 6.5cm								
	48	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 6.4cm								
	49	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 6.2cm								
	50	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 6.1cm								
	51	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 6.7cm								
	52	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 6.9cm								
	53	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 6.5cm								
	54	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 6.0cm								
	55	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 5.8cm								
	56	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.8、長さ 6.7cm								
	57	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 6.6cm								
	58	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.9、現存長 8.0cm								
	59	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 7.7cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
102	60	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 5.8cm								
	61	鉄	折 釘	現存長 5.5cm								
	62	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 5.1cm								
	63	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 5.7cm								
	64	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 5.5cm								
	65	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 5.7cm								
	66	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 6.1cm								
	67	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、長さ 6.6cm								
	68	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 5.4cm								
	69	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.1cm								
	70	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.0cm								
	71	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 5.0cm								
	72	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.7cm								
	73	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 4.6cm								
	74	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.6cm								
	75	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.5cm								
	76	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.6cm								
	77	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 4.8cm								
	78	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	79	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 4.7cm								
	80	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.8cm								
	81	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.3cm								
	82	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 4.3cm								
	83	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 4.6cm								
	84	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.7cm								
	85	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 4.7cm								
	86	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 4.6cm								
	87	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.1cm								
	88	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.2cm								
	89	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.7cm								
	90	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 4.0cm								
	91	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.9cm								
	92	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.0cm								
	93	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	94	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.7cm								
	95	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 3.9cm								
	96	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 3.7cm								
	97	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	98	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.7cm								
	99	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.0cm								
	100	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 4.0cm								
	101	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.6cm								
	102	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.3cm								
	103	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	104	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.2cm								
	105	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.5cm								
	106	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.1cm								
	107	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.2cm								
	108	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 4.2cm								
	109	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.3cm								
	110	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.2cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
102	111	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.0cm									
	112	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.4cm									
	113	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.8cm									
	114	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.4cm									
	115	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.3cm									
	116	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.2cm									
	117	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 3.0cm									
	118	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 3.3cm									
	119	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.0cm									
	120	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.0cm									
	121	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.1cm									
	122	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.9cm									
	123	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 2.7cm									
	124	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 2.6cm									
	125	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm									
	126	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長2.7cm									
	127	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 3.6cm									
	128	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.2cm									
	129	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 3.3cm									
	130	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 1.3cm									
131	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 2.5cm										
132	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 2.6cm										
133	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、現存長 2.3cm										
134	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 1.9cm										
135	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 2.3cm										
136	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.6cm										
SX3													
108	1	土 器	かわらけ	(6.7)	1.4	(4.0)						在地系	
	2	土 器	かわらけ	(8.2)	1.8	(5.0)						在地系	
	3	土 器	かわらけ	8.4	2.0	4.4						在地系	
	4	土 器	かわらけ	(10.8)	2.3	(5.0)						在地系	
	5	土 器	灯 明 皿	6.0	1.4	3.4						在地系	
	6	土 器	灯 明 皿	6.5	1.4	4.0						在地系	
	7	磁 器	ミニチュア	3.6	2.0	1.8		丸 形	横 線				小坏
	8	磁 器	小 碗	(5.4)	(3.0)			腰 張 形					17c後 色絵
	9	磁 器	小 碗	7.4	4.2	3.1		丸 形	蚊帳吊草文			肥前系	18c後半
	10	磁 器	小 碗	(8.8)	(3.5)			丸 形	一重網目文			肥前系	18c初
	11	磁 器	中 碗	10.2	5.6	4.0		丸 形	草花文			肥前系	18c初
	12	磁 器	中 碗	11.0	5.9	4.6		丸 形	草花文			肥前系	18c後
	13	磁 器	中 碗	11.0	6.2	4.4		丸 形	花 文			肥前系	18c後 蒔蒨印判
	14	陶 器	中 碗	(10.8)	6.0	4.0		丸 形	刷毛目	刷毛目		唐 津	17c後
	15	陶 器	中 碗	(11.0)		(4.0)		腰 張 形				瀬戸美濃	17c後 腰鎗茶碗
	16	陶 器	中 碗	(9.4)	5.9	5.4		腰 張 形	楼閣山水文			京焼風	17c後 刻印「森」
	17	土 器	灯明受皿	(12.8)	2.7	(9.6)						在地系	
	18	陶 器	小 皿	(13.0)	2.6	(7.3)		端 反 形				肥前系	17c後 灰釉
	19	陶 器	小 皿	(13.6)	2.6	(8.2)		端 反 形				肥前系	17c後 灰釉
	20	陶 器	大 瓶									瀬戸美濃	18c
	21	陶 器	中 碗	11.3	(5.7)			天 目 形				志戸呂	17c後
	22	陶 器	香 炉	9.8	8.5	6.0		半 筒 形				肥前系	17c後 灰釉
	23	磁 器	中 鉢	23.8	7.2	7.0		浅 丸 形				肥前系	17c後 緑釉
	24	磁 器	中 鉢	(28.0)	7.0	(7.5)		腰 折 形		矢羽根文		肥前系	17c後 見込蛇の目剥ぎ

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
108	25	炆 器	播 鉢	(33.6)	(6.5)						瀬戸美濃 常 滑 在地系	17c後 18c
	26	炆 器	大 甕	(42.4)	(9.5)							
	27	土 器	足		(5.7)							
28		石	砥 石	残存長 7.2、幅 4.3、厚さ 3.6cm								
109	1	炆 器	焙 烙	38.2	5.3	34.4					在地系	
	2	銅	柄縁金具	幅 2.3、長さ 3.4cm								
	3	銅	煙管雁首	火皿径 1.5、長さ 4.9cm								
	4	銅	煙管雁首	現存長 3.9cm								
	5	銅	釘	現存長 3.3cm								
	6	銅	釘	現存長 4.3cm								
	7	銅	鋌	頭幅 1.1、長さ 1.8cm								
	8	鉄	刀 子	現存長 4.1、刀幅 1.0、背幅 0.3cm								
	9	鉄	不 明	幅 2.1、現存長 4.1cm								
	10	鉄	鎌	幅 5.0、現存長 5.8cm								
	11	鉄	不 明	幅 4.3、現存長 3.5cm								
	12	鉄	不 明	幅 3.3、長さ 3.3cm								
	13	鉄	不 明	幅 3.5、長さ 4.8cm								
	14	鉄	毛抜き？	幅 3.6、現存長 5.1cm								
	15	鉄	毛抜き？	幅 1.6、現存長 8.3cm								
	16	鉄	角 釘	長さ 7.8cm								
	17	鉄	角 釘	現存長 7.6cm								
	18	鉄	角 釘	現存長 6.2cm								
	19	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 5.0cm								
	20	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 8.2cm								
	21	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.2、現存長 7.2cm								
	22	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 7.2cm								
	23	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、長さ 7.2cm								
	24	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 16.7cm								
	25	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、長さ 6.0cm								
	26	鉄	頭 卷 釘	頭幅 2.0、現存長 5.9cm								
	27	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 5.7cm								
	28	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 6.3cm								
	29	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 5.3cm								
	30	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、長さ 4.4cm								
	31	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、長さ 2.2cm								
	32	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.4cm								
	33	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 5.1cm								
	34	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.9cm								
	35	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.4cm								
	36	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.6cm								
	37	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 4.2cm								
	38	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 4.3cm								
	39	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 4.1cm								
	40	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 4.2cm								
	41	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.6cm								
	42	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.4cm								
	43	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.9cm								
	44	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.3cm								
	45	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 3.6cm								
	46	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.7cm								
	47	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.9cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
109	48	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.6cm								
	49	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 4.1cm								
	50	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.6cm								
	51	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 3.1cm								
	52	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.8cm								
	53	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 3.3cm								
	54	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.0cm								
	55	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 4.2cm								
	56	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.8cm								
	57	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 2.9cm								
	58	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 3.3cm								
	59	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 3.9cm								
	60	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.8cm								
	61	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.8cm								
	62	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.3cm								
	63	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	64	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 3.8cm								
	65	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 3.6cm								
	66	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.6cm								
	67	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 3.3cm								
	68	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.4cm								
	69	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.2cm								
	70	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.7cm								
	71	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 3.3cm								
	72	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 3.5cm								
	73	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.0cm								
	74	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 2.7cm								
	75	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 2.9cm								
	76	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 3.2cm								
	77	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 3.2cm								
	78	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm								
	79	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.4、現存長 2.7cm								
	80	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 2.6cm								
	81	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.7cm								
82	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、現存長 2.5cm									
SX4												
112	1	土 器	かわらけ	(6.6)	1.8	(4.4)					在地系	18c後 蒔薨印判 崩し渦福 18c後 17c前 刻印「清水」 16c前 底部削り出輪高台 17c前
	2	土 器	かわらけ	(7.4)	2.1	(4.8)					在地系	
	3	土 器	かわらけ	9.0	2.8	5.4					在地系	
	4	土 器	かわらけ	(9.4)	2.9	(5.0)					在地系	
	5	土 器	かわらけ	(9.3)	1.7	(4.2)					在地系	
	6	土 器	かわらけ	(9.7)	3.0	(4.9)					在地系	
	7	土 器	かわらけ	(9.4)	3.5	(5.4)					在地系	
	8	土 器	灯 明 皿	(9.2)	2.9	(5.8)					在地系	
	9	土 器	かわらけ		(1.5)	(7.6)					在地系	
	10	磁 器	大 碗	12.5	6.7	4.5		丸 形	二重網目文	見込五弁花	肥前系	
	11	磁 器	中 碗	10.0	5.3	4.3		丸 形		肥前系		
	12	陶 器	中 碗		(1.7)	5.3		丸 形		肥前系		
	13	陶 器	皿		(1.4)	(4.8)				見込印花文	瀬戸美濃	
	14	陶 器	小 皿	(12.2)	(2.4)			端 反 形			瀬戸美濃	

図版	番号	材質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
112	15	炆 器	播 鉢		(6.0)						瀬戸美濃 在地系 在地系	16c前 鉄釉 16c      明 1408年
	16	土 器	植 木 鉢		(3.8)							
	17	土 器	焜 炉		(10.5)	(15.0)						
	18	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 3.3cm								
	19	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.9cm								
	20	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.6cm								
	21	鉄	鉄 鏃	現存長 5.9、幅 1.6、厚さ 0.6cm								
	22	鉄	不 明	幅 2.1、長さ 2.2cm								
	23	古 銭	永楽通寶	銭径 24.2、内径 21.0、銭厚 1.31mm、量目 1.30g								

廃棄遺構出土瓦観察表

図版	番号	種 類	瓦当径	瓦当厚	全 長	全 幅	高 さ	厚 み	胎 土	色 調	備 考
SX1											
92	1	軒 丸 瓦	11.0	2.2	-	11.4	5.1	1.7	精 良	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／釘孔
	2	軒 丸 瓦	10.5	(2.1)	-	-	-	(2.2)	やや砂質	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／接合部かき目・刻み目
	3	軒 丸 瓦	(10.9)	2.4	-	-	-	-	砂 質	黄 褐 灰	連珠三巴右巻16珠
	4	軒 丸 瓦	15.5	-	-	-	-	2.0	やや砂質	灰	連珠三巴右巻／巴尾長い／珠文大粒
	5	丸 瓦	-	-	-	10.6	-	1.8	精 良	灰 ～ 黒 灰	玉縁なし／釘孔
	6	丸 瓦	-	-	-	11.0	-	1.5	精 良	黄 褐 灰	玉縁なし／釘孔
	7	丸 瓦	-	-	-	14.1	6.9	2.1	精 良	黒 灰	凸面寛なで／木口面取り／側縁面取り
	8	隅軒平瓦	-	4.6	-	-	-	2.2	精 良	灰	接合部刻み目
	9	隅軒平瓦	-	4.3	-	-	-	1.8	砂 質	黄 褐 灰	接合部刻み目
	10	軒 平 瓦	-	4.1	-	-	-	1.8	精 良	黒 灰	離れ砂付着
93	1	塀 瓦	-	5.4	-	27.7	-	2.5	精 良	暗 灰	両辺水切り溝
	2	伏 間 瓦	-	-	-	24.3	7.9	2.0	やや砂質	暗 灰	接合部刻み目
	3	熨 斗 瓦	-	-	24.7	11.9	-	1.5	やや砂質	黄 灰	離れ砂付着
	4	熨 斗 瓦	-	-	-	12.1	-	1.8	やや砂質	黄 灰	離れ砂付着
	5	道 具 瓦	-	-	9.7	-	-	2.8	やや砂質	暗 灰	三角形平面／端部段
	6	道 具 瓦	-	-	-	-	-	2.4	やや砂質	灰	三角形平面／端部段／釘孔
	7	塀 瓦	-	-	-	-	-	1.6	精 良	暗灰(縞状)	瓦当部／裏面逆L字剥離痕
SX2											
103	1	軒 丸 瓦	(16.3)	2.7	-	-	-	(2.2)	やや砂質	黄 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／接合部かき目
	2	軒 丸 瓦	14.9	2.4	-	-	-	2.4	やや砂質	黄 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭
	3	軒 丸 瓦	15.9	2.8	-	-	-	(3.0)	やや砂質	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／接合部かき目
	4	軒 丸 瓦	(17.2)	2.4	-	-	-	-	やや砂質	灰 白	連珠三巴左巻／圏線明瞭／珠文大粒
	5	軒 丸 瓦	15.2	2.8	-	-	-	(2.3)	精 良	灰 白	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／接合部刻み目
	6	軒 丸 瓦	14.7	2.8	-	-	-	-	やや砂質	暗 灰	連珠三巴右巻／圏線明瞭
	7	軒 丸 瓦	-	2.9	-	-	-	-	砂 質	灰 白	連珠三巴右巻／圏線明瞭
	8	軒 丸 瓦	-	-	-	15.0	7.5	2.2	やや砂質	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／凸面寛なで
	9	軒 丸 瓦	11.6	2.2	-	11.4	5.2	1.6	精 良	灰 ～ 黒 灰	連珠三巴左巻16珠／釘穴
	10	軒 丸 瓦	(11.6)	-	(32.5)	11.1	4.9	1.2	やや砂質	暗灰～黒灰	連珠三巴左巻／釘穴
	11	軒 丸 瓦	11.5	-	-	-	-	2.1	精 良	黄 灰	連珠三巴左巻／瓦当面範傷
	12	軒 丸 瓦	(11.0)	-	-	-	-	2.4	やや砂質	黒 灰	連珠三巴左巻16珠／瓦当面離れ砂付着
104	1	軒 丸 瓦	11.5	2.2	-	11.4	5.0	1.6	精 良	黒 灰	連珠三巴左巻16珠／釘穴
	2	軒 丸 瓦	10.7	2.0	-	(10.7)	-	1.6	やや砂質	灰 白	連珠三巴左巻16珠／瓦当面離れ砂付着
	3	軒 丸 瓦	-	-	(32.0)	15.0	7.2	2.0	やや砂質	黒 灰	瓦当面欠損／釘穴2ヵ所／玉縁長2.5cm
	4	丸 瓦	-	-	-	15.7	7.2	2.3	精 良	暗 灰	玉縁長3.6cm／凸面寛なで／釘孔
	5	丸 瓦	-	-	-	13.9	6.2	1.8	精 良	銀 灰	玉縁長2.1cm／凸面はけ目後、寛なで／銀化
105	1	軒 丸 瓦	-	-	(29.1)	14.0	7.7	2.3	精 良	灰 ～ 暗 灰	瓦当面欠損／玉縁なし／体部へう記号／釘穴
	2	丸 瓦	-	-	-	11.1	-	2.0	やや砂質	灰 白	玉縁なし／凸面寛なで／釘孔
	3	丸 瓦	-	-	-	(9.8)	-	1.7	精 良	暗 灰	玉縁なし／凸面寛なで／釘孔

図版	番号	種 類	瓦当径	瓦当厚	全 長	全 幅	高 さ	厚 み	胎 土	色 調	備 考
105	4	丸 瓦	—	—	—	(10.1)	—	1.7	砂 質	黒 灰	玉縁なし／凸面窠などで釘孔
	5	伏 間 瓦	—	—	—	(19.8)	—	2.4	精 良	暗 灰	玉縁なし／面取り
	6	丸 瓦	—	—	—	14.0	6.6	1.9	精 良	黒 灰	凸面はけ目後、窠みがき／銀化
106	1	軒 平 瓦	—	4.7	—	—	—	2.0	精 良	暗 灰	顎下部幅が小さい／瓦当面離れ砂付着
	2	堀 瓦	—	4.7	—	—	—	—	精 良	黒 灰	瓦当面に木目の圧痕
	3	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.6	精 良	灰 ～ 黒 灰	側辺水切り溝／側縁削り込み
	4	堀 瓦	—	4.7	—	—	—	2.6	砂 質	灰 白	側辺水切り溝
	5	堀 瓦	—	4.6	—	—	—	2.4	砂 質	暗 橙 褐	側辺水切り溝／断面縞状／被熱による変色
	6	堀 瓦	—	(4.6)	—	—	—	—	精 良	黒 灰	剥離面刻み目
	7	堀 瓦	—	5.4	—	—	—	2.2	精 良	暗 灰	側辺水切り溝／離れ砂付着
	8	堀 瓦	—	5.2	—	—	—	2.5	やや砂質	灰 白 ～ 灰	側辺水切り溝
	9	堀 瓦	—	5.1	—	—	—	2.4	やや砂質	灰 白	離れ砂付着
	10	堀 瓦	—	—	—	—	—	—	精 良	黒 灰	接合部刻み目
	11	堀 瓦	—	5.0	—	—	—	2.2	砂 質	灰 ～ 暗 灰	側辺水切り溝／側縁削り込み
	12	軒 平 瓦	—	4.5	—	—	—	2.1	精 良	暗 灰	離れ砂付着
	13	堀 瓦	—	4.9	—	—	—	2.2	精 良	暗 灰	側辺水切り溝／側縁削り込み
	14	平 瓦	—	—	26.0	—	—	1.8	精 良	暗 灰	谷深さ2.2cm／凸面離れ砂付着
	15	平 瓦	—	—	—	27.1	—	2.0	精 良	橙 灰	谷深さ2.7cm／被熱による変色／釘孔
107	1	平 瓦	—	—	25.4	—	—	1.7	精 良	暗 灰	谷深さ2.3cm／凸面離れ砂付着
	2	堀 瓦	—	—	—	—	5.3	2.4	精 良	灰	釘穴／円筒部貼付／下面離れ砂付着
	3	伏 間 瓦	—	—	—	—	—	2.3	精 良	灰 白	端部段差／凹面離れ砂付着
	4	伏 間 瓦	—	—	—	(23.5)	8.1	1.9	精 良	暗 青 灰	端部水切り溝／凹面離れ砂付着
	5	鳥伏間瓦	—	—	—	7.8	—	2.4	砂 質	灰白(縞状)	瓦当面欠損／接合部刻み目／内面などで
	6	谷 丸 瓦	—	—	—	11.2	5.3	1.8	砂 質	灰	凹面布袋痕刺し縫い
	7	面 戸 瓦	—	—	10.0	—	4.2	2.9	やや砂質	黒 灰	凹面などで
	8	道 具 瓦	—	—	—	—	—	1.7	やや砂質	灰	ホヅ状突起／凹面離れ砂付着
	9	鯨 瓦	—	—	—	—	—	4.2	精 良	暗 灰	鱗線刻表現／内面指などで
SX3											
110	1	軒 丸 瓦	15.5	2.5	—	14.8	7.9	1.9	精 良	黄 灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／離れ砂付着
	2	軒 丸 瓦	(11.5)	—	—	—	6.7	1.5	精 良	暗 灰	連珠三巴右巻16珠／離れ砂付着
	3	軒 丸 瓦	11.2	2.4	(30.5)	11.4	5.3	1.5	やや砂質	暗 灰	連珠三巴左巻16珠／凹面棒状圧痕
	4	軒 丸 瓦	(10.6)	2.0	—	—	—	—	砂 質	灰	連珠三巴右巻16珠／離れ砂付着
	5	軒 丸 瓦	(11.0)	2.0	—	—	—	—	精 良	黄 灰	連珠三巴右巻12珠／圏線明瞭／離れ砂付着
	6	軒 丸 瓦	11.3	(2.1)	—	—	—	—	やや砂質	暗灰(縞状)	連珠三巴右巻16珠／離れ砂付着
	7	丸 瓦	—	—	—	14.3	6.0	2.4	やや砂質	黄灰～黒灰	玉縁なし／凸面窠などで釘孔
	8	丸 瓦	—	—	(36.7)	11.0	5.2	1.5	精 良	灰 ～ 黒 灰	玉縁なし／体部へう記号／釘孔2カ所
	9	堀 瓦	—	4.7	—	—	—	2.9	精 良	灰	側辺水切り溝
	10	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.8	やや砂質	黄 灰	側辺水切り溝／側縁削り込み
	11	軒 平 瓦	—	(4.8)	—	—	—	—	砂 質	暗灰(縞状)	接合部刻み目
	12	軒 平 瓦	—	4.7	—	—	—	2.0	精 良	黒 灰	両辺水切り溝／側縁削り込み
111	1	堀 瓦	—	5.0	—	28.0	—	2.6	精 良	暗 灰	両辺水切り溝／側縁削り込み
	2	堀 瓦	—	(4.6)	—	(27.8)	—	2.6	精 良	黄 灰	両辺水切り溝／側縁削り込み
	3	平 瓦	—	—	—	23.5	2.3	2.2	やや砂質	橙 褐	被熱痕／凸面弓状圧痕
	4	道 具 瓦	—	—	—	—	—	2.3	やや砂質	暗 灰	三角形平面／端部段／釘孔
	5	面 戸 瓦	—	—	9.7	—	4.2	3.0	砂 質	黒 灰	凹面などで
	6	熨 斗 瓦	—	—	—	11.4	—	2.0	砂 質	黒 灰	離れ砂付着
	7	熨 斗 瓦	—	—	—	12.3	—	1.8	精 良	灰	離れ砂付着
	8	谷 丸 瓦	—	—	—	(11.6)	5.8	1.6	精 良	灰 白	凹面布袋痕刺し縫い／釘孔
	9	谷 丸 瓦	—	—	—	14.6	6.5	1.5	精 良	黄 灰 ～ 灰	凹面布袋痕刺し縫い



### (15) グリッド出土遺物

調査区内からは、中・近世の遺物が大量に出土しており、その大半が近世の瓦であった。また、古代以前の遺物も少なからず出土しており、ここではそれ等を中心に説明を加えることにする。中・近世の遺物についての詳細は、観察表に譲りたい。

### 旧石器時代の遺物（第113図1、2）

1、2は旧石器時代後期のナイフ形石器である。両者とも黒曜石製で、1はほぼ完形品である。基部と両側縁に、細かな調整剥離を施している。縦3.9cm、横1.5cm、厚さ0.6cmを測る。2は先端部を欠損するナイフ形石器であるが、欠損面に表裏面からの調整剥離を施している。縦1.8cm、横1.5cm、厚さ0.4cmを測る。

### 縄文時代の遺物（第113図3～15）

3は黒曜石製の石鏃である。若干先端部を欠損するが、ほぼ完形品である。

4～15は縄文土器の破片である。4～9は縄文時代早期後葉の条痕文系土器群である。4は口縁部破片で、角頭状を呈する口縁部が緩く開く器形を呈し、内外面に条痕整形を施している。5～9は胴部破片で、5～8は細かな擦痕状整形の上に、粗い条痕文を施文する。9は外面に粗い条痕文、内面に擦痕整形を施す。

10、11は前期の繊維土器である黒浜式土器である。10は斜縄文のみ施されるもので、11は半截竹管による細い平行沈線でモチーフを描くもので、底部付近に縦位の文様を描いている。肋骨文系のモチーフと思われる。

12～15は中期末葉の加曽利E式土器で、口縁部破片と、胴部破片である。12は肥厚する口縁部が緩く開くキャリバー系土器の口縁部破片で、口縁部凹線区画内に縄文施文が僅かに認められる。13は地文縄文上に3本位沈線懸垂文が垂下するもので、14は無地文上に浅い擦痕状の沈線文が施文される。これらの土器群は加曽利EⅢ式に比定されよう。

### 古墳時代前期の遺物（第113図16～20、第114図14）

古墳時代前期の五領式土器が出土している。調査区の比較的西側に寄った部分から纏まって出土している。奈良・平安時代の住居跡内からも出土していることから、台地の縁辺部に遺構があった可能性がある。16は内彎する口縁部を持つ瓢形の甕と思われる。東海系統の土器と思われ、比較的器肉が厚く、ナデ整形もやや荒い。17～20は細かなハケ目を施す甕の破片で、17には中央部の窪む底部が付く。

第114図14は管玉である。非常に精巧な造りの管玉で、碧玉製である。径1mm以下の孔が穿たれる。古墳時代前期に位置付けておきたい。

### 古墳時代後期の遺物（第113図21～36）

21～23は古墳時代後期の土師器模倣坏である。21は蓋、22、23は身の模倣坏であるが、いずれも内外面とも赤彩されている。24は土師器高坏で、かなり寸詰まりの器形となっている。いずれも6世紀の前半に位置付けられよう。

25～36は円筒埴輪の破片である。25は口縁部破片で、口端部は面取りが施される。27、28、31の凸帯は比較的低く、凸帯のなぞり整形もややだれている。色調は白っぽいものが多く、赤褐色のものは少ない。遺跡全体に互って散布しており、周辺に古墳址のあった可能性も否定できない。

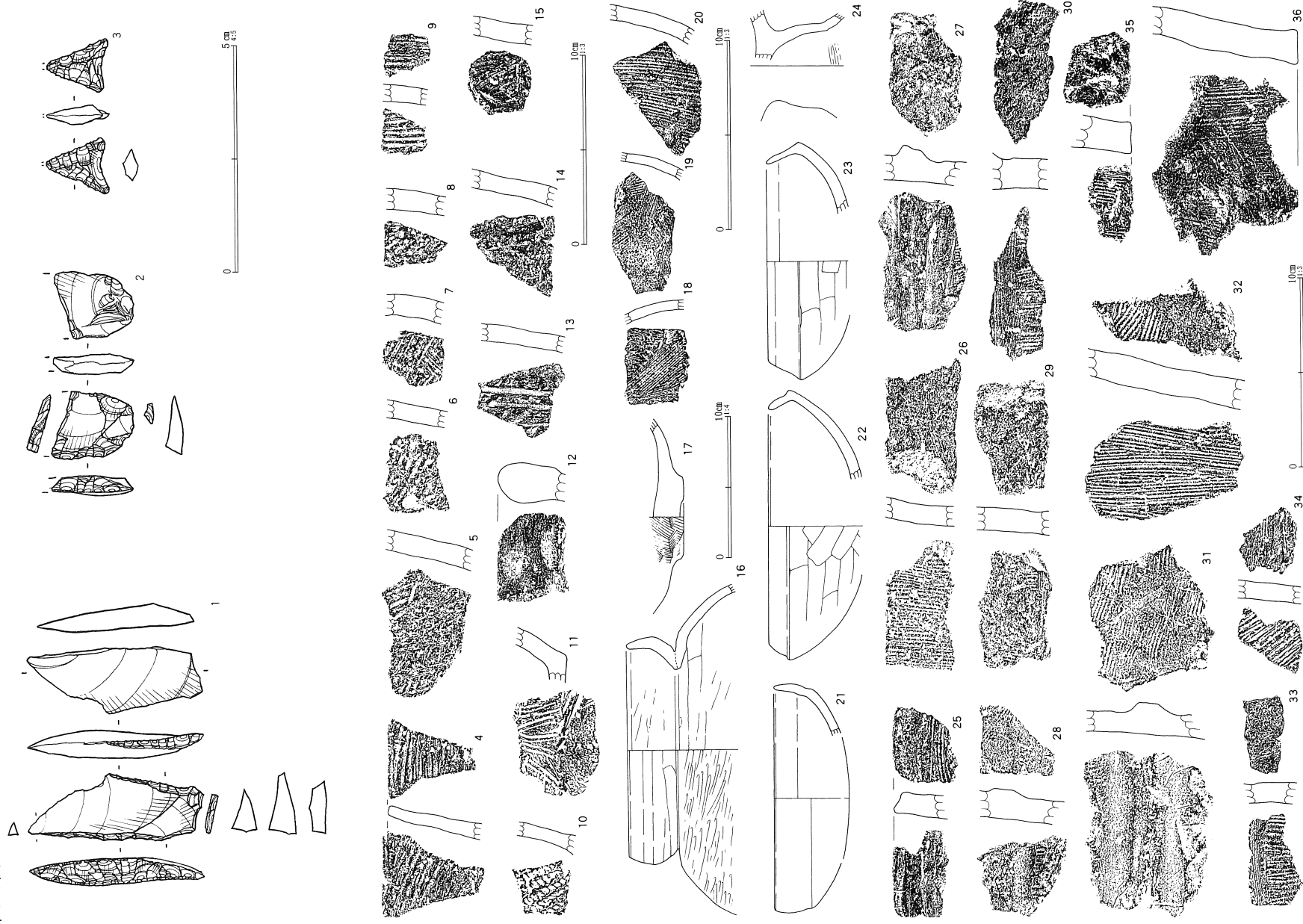
### 奈良・平安時代の遺物（第114図1～13、15、16）

1、2は土師器坏、10は土師器甕、3は灰釉陶器皿、4は底部全面回転ヘラ削りの須恵器坏、5は底部周辺ヘラ削りの須恵器坏、6～8は回転糸切後未調整の須恵器坏、9は高台付の瓶である。15、16は布目瓦、11～13は土錘である。

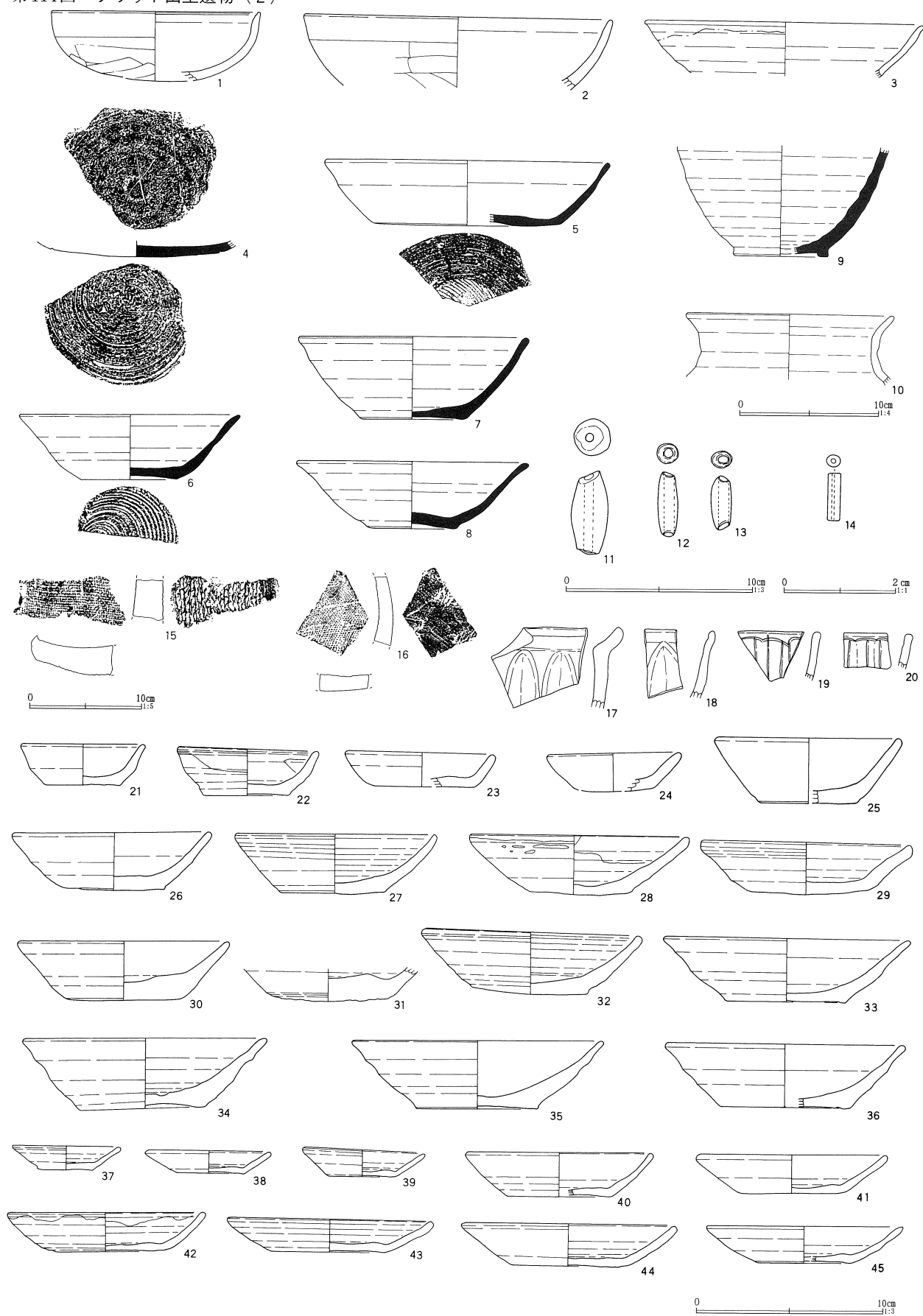
### 中・近世の遺物（第114図17～45、第115～125図）

かわらけ 第114図21～45はかわらけで、21～36は中世、37～45は近世の所産で、近世のかわらけは、大きさが4段階に分類できる。中世のかわらけは底部およ

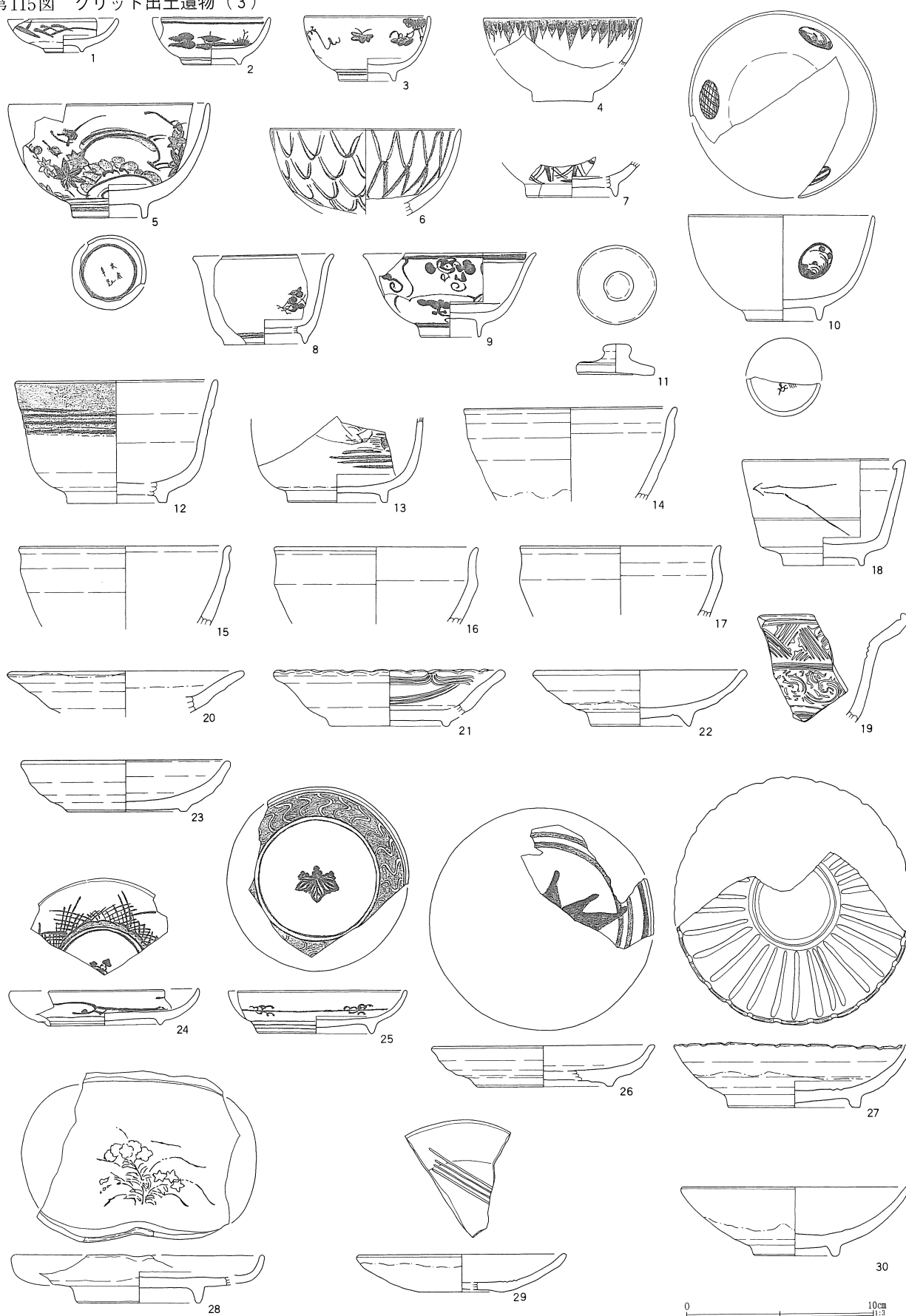
第113図 グリッド出土遺物 (1)



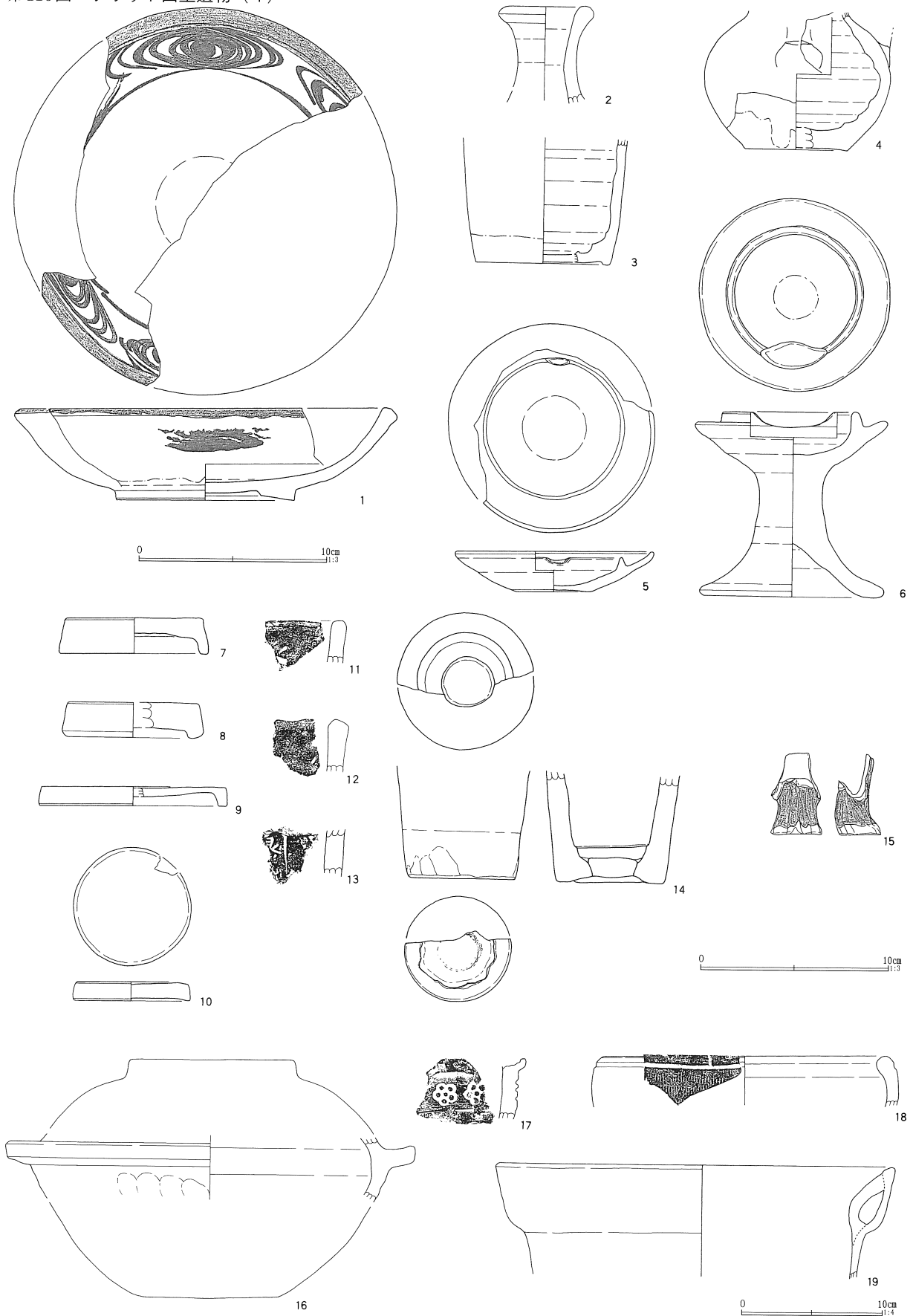
第114図 グリッド出土遺物（2）



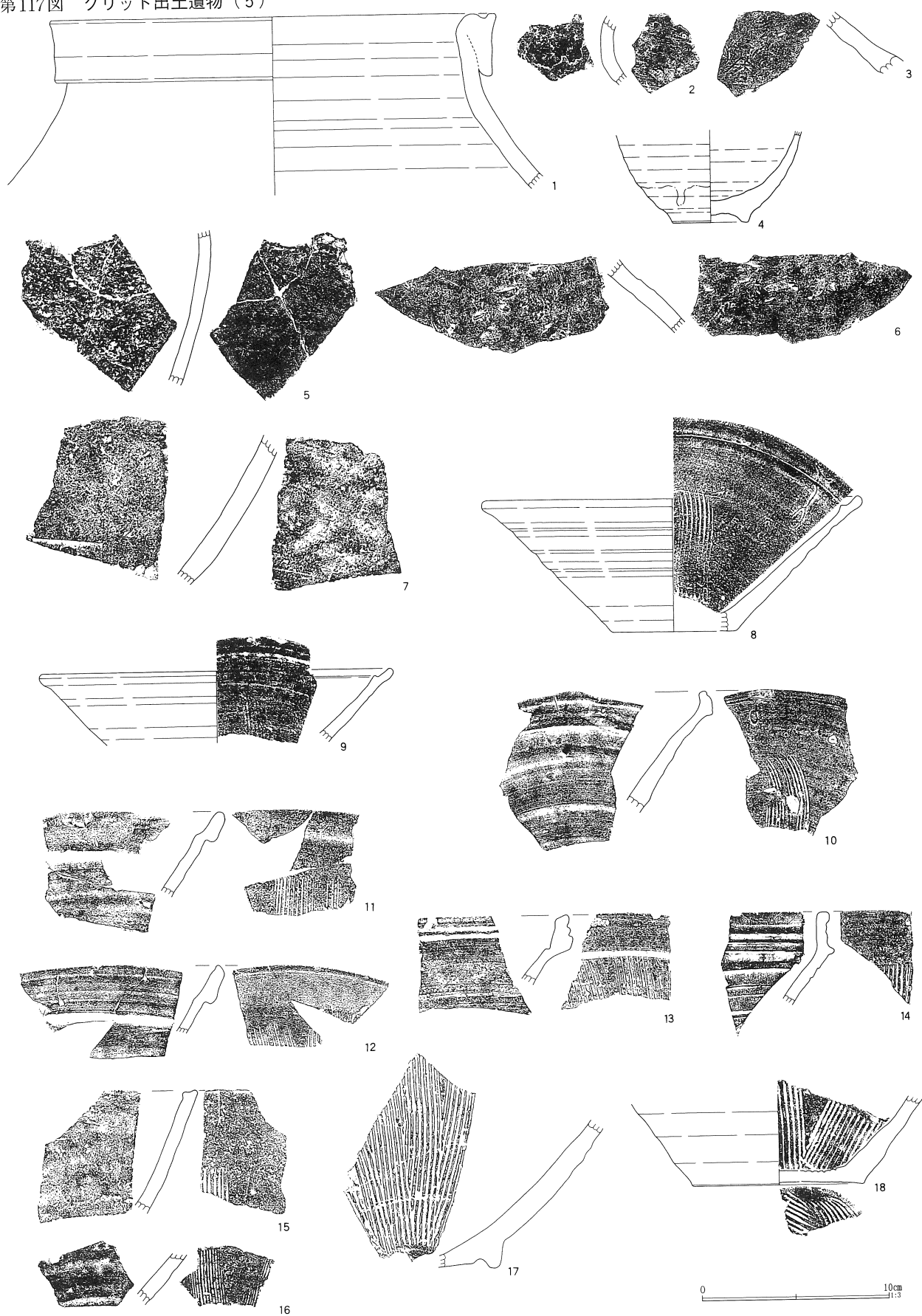
第115図 グリッド出土遺物（3）



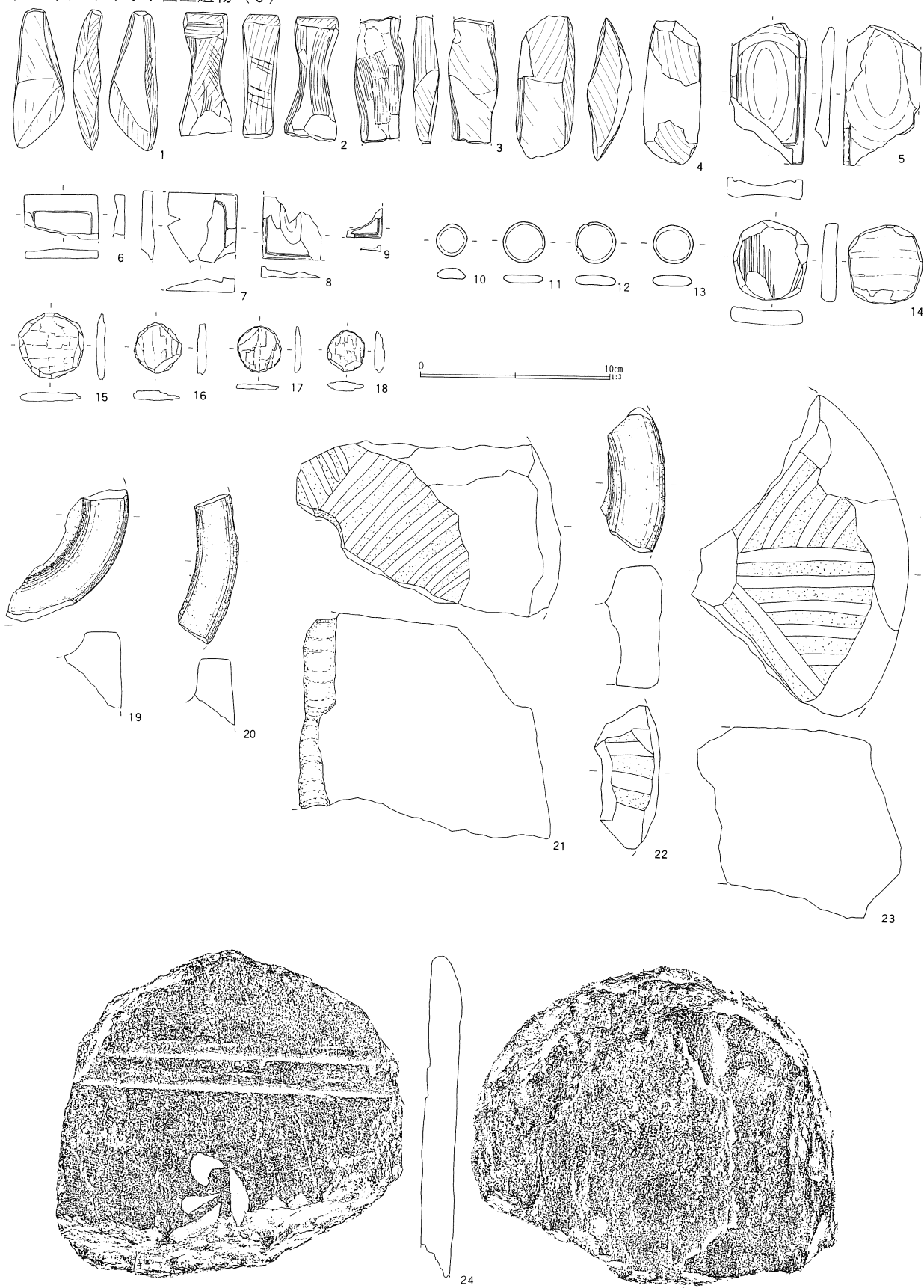
第116図 グリッド出土遺物（4）



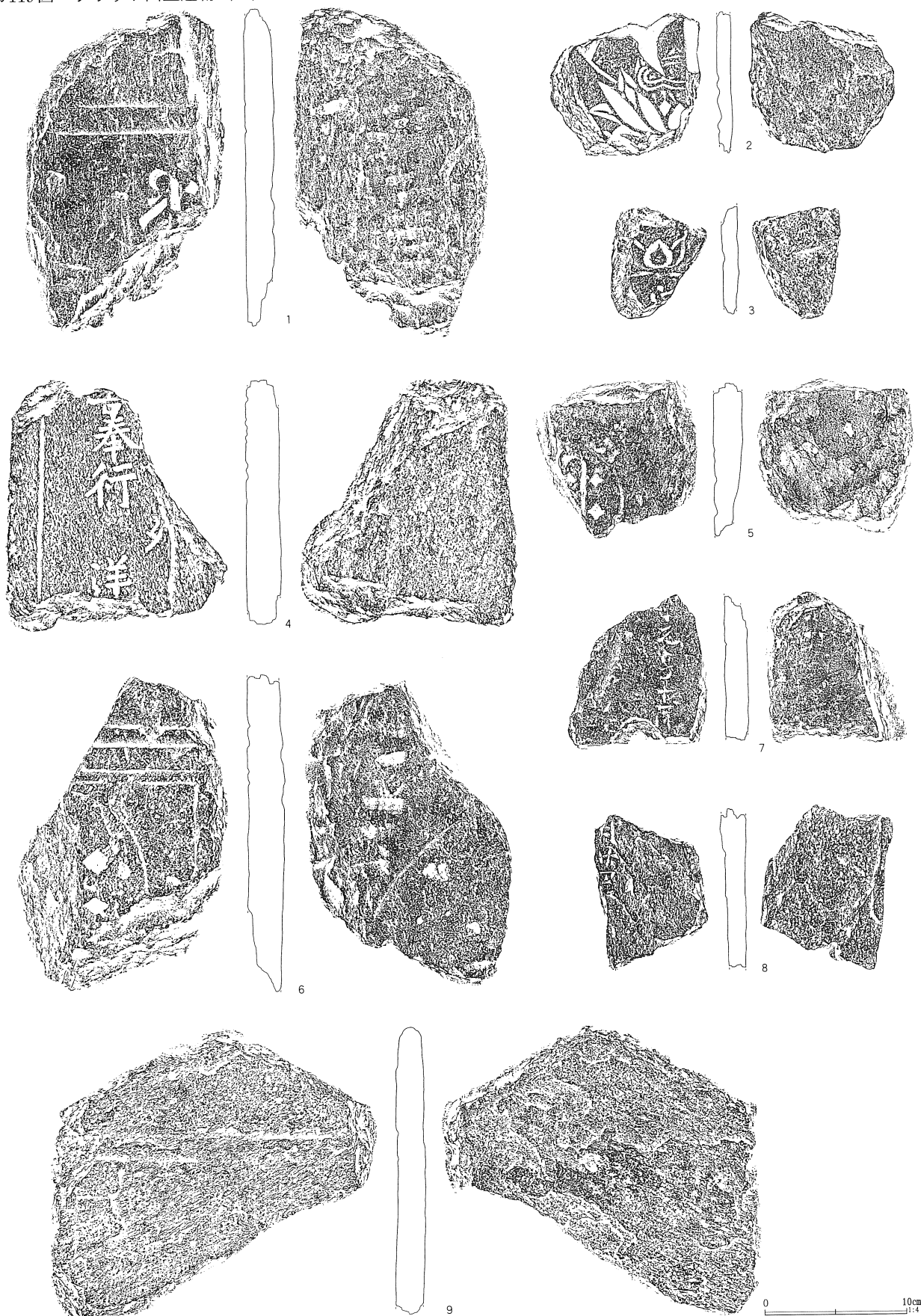
第117図 グリッド出土遺物（5）



第118図 グリッド出土遺物（6）

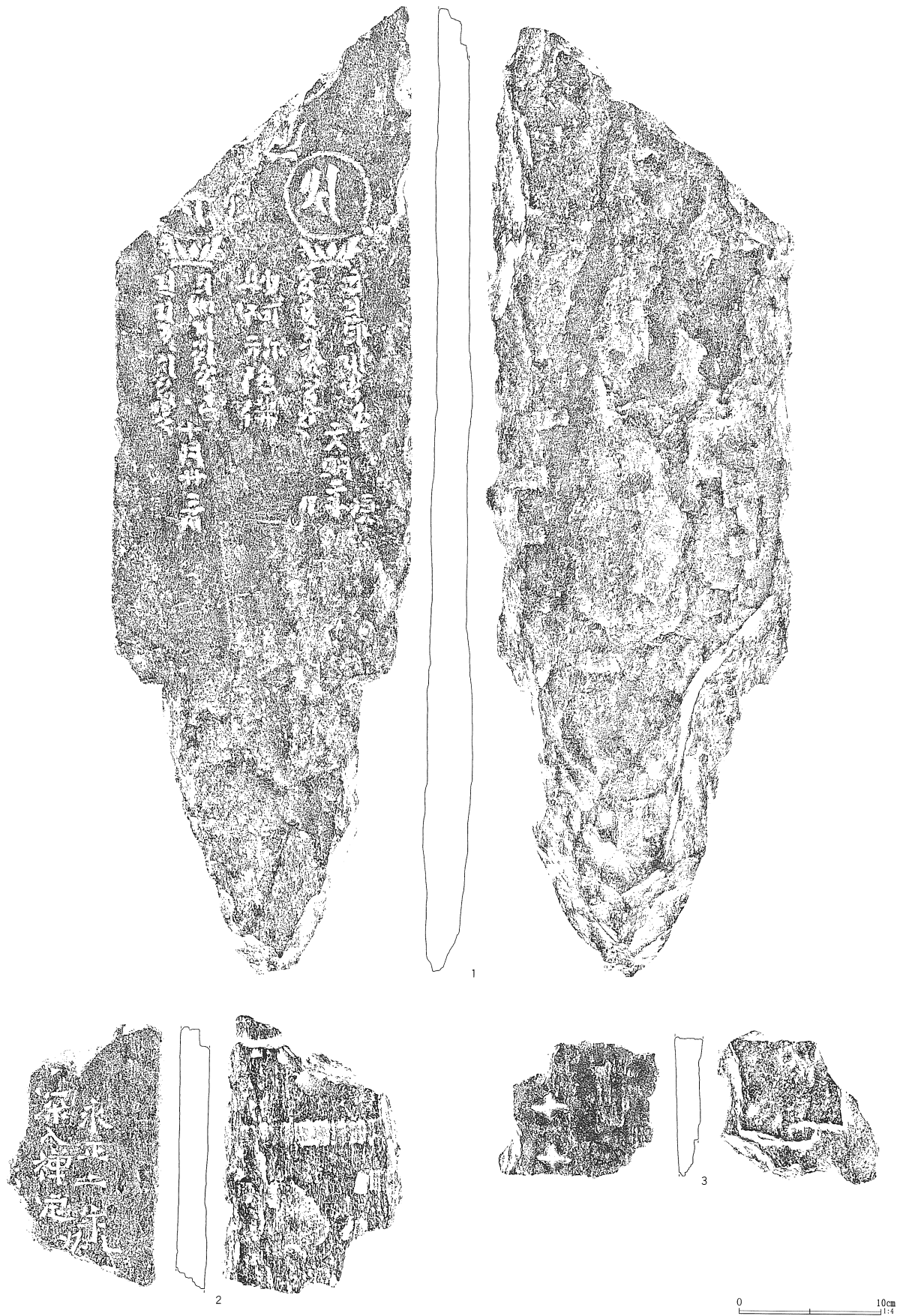


第119図 グリッド出土遺物（7）

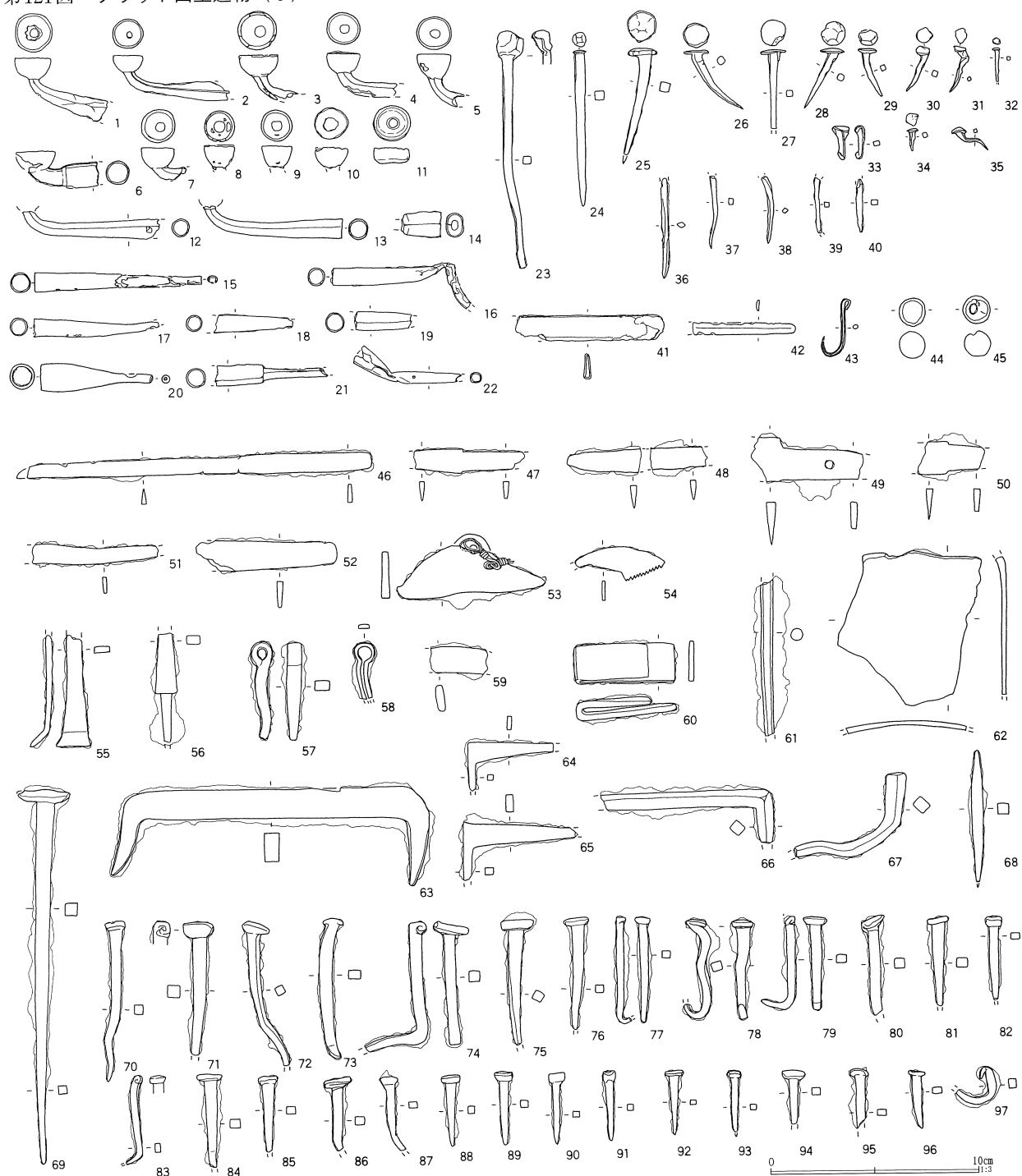




第120図 グリッド出土遺物（8）



第121図 グリッド出土遺物(9)



び体部の造りが厚く、器高が高くて、底部内面を削り出したり、轆轤成形痕を強く残す特徴がある。これに対して、近世のかわらけは皿状のものが多く、薄くて、底部が上げ底状を呈するものが多い。

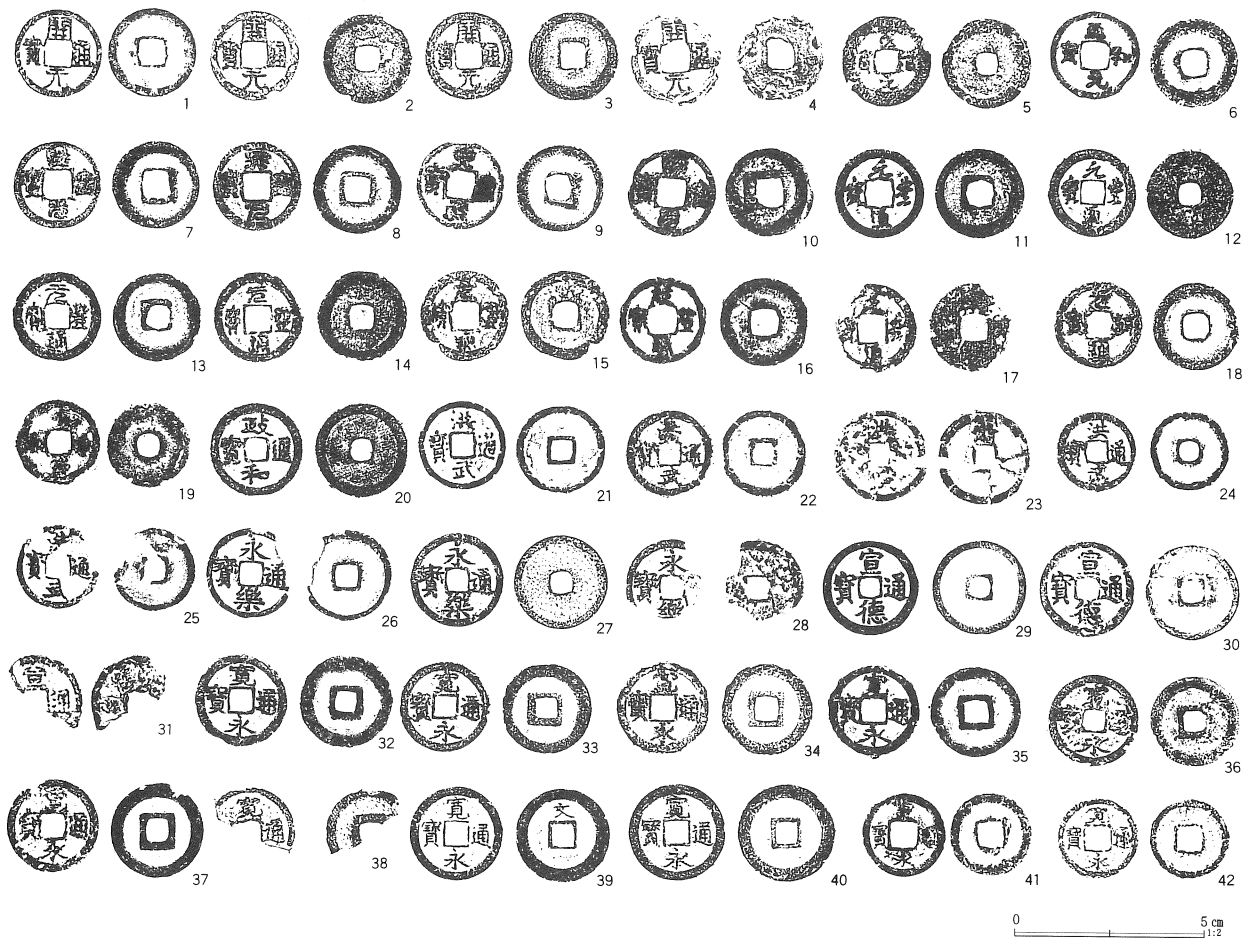
青磁 第114図17～20は青磁碗で、中世の遺物である。19、20は、第2号地下式墳出土第37図14と同一固体と

思われる。

陶磁器 第115図、第116図1～6、15である。近世に関する出土遺物の内容は、第1～3号廃棄遺構の内容とほぼ一致する。第116図6は土製の台付灯明受皿である。第116図15は磁器の小人形である。

焼塩壺 第116図7・8・10～14は焼塩壺の部品で、

第122図 グリッド出土遺物 (10)



7・8・10は蓋である。かえしの深いもの、浅いもの、ないもの等バラエティーがある。14は底部の造りが良く分かるものである。

瓦質器 第116図16～19、17、18は火鉢と思われ、16は土釜、19は土鍋の破片である。中世段階のものが多し。第117図1～3、5～7はいずれも常滑の甕の破片である。第117図9～18は播鉢で、8～10、15は中世段階の、他は近世の播鉢である。

石器 第118図1～4は砥石である。5～9は硯で、5は両面を使用している。10～13は碁石である。14～18は石製円盤で、14は播鉢の破片を代用している。他は緑泥片岩の破片(板碑)を使用している。19から23は石臼である。

板石塔婆 第118図24、第119～120図。完形品はなく、

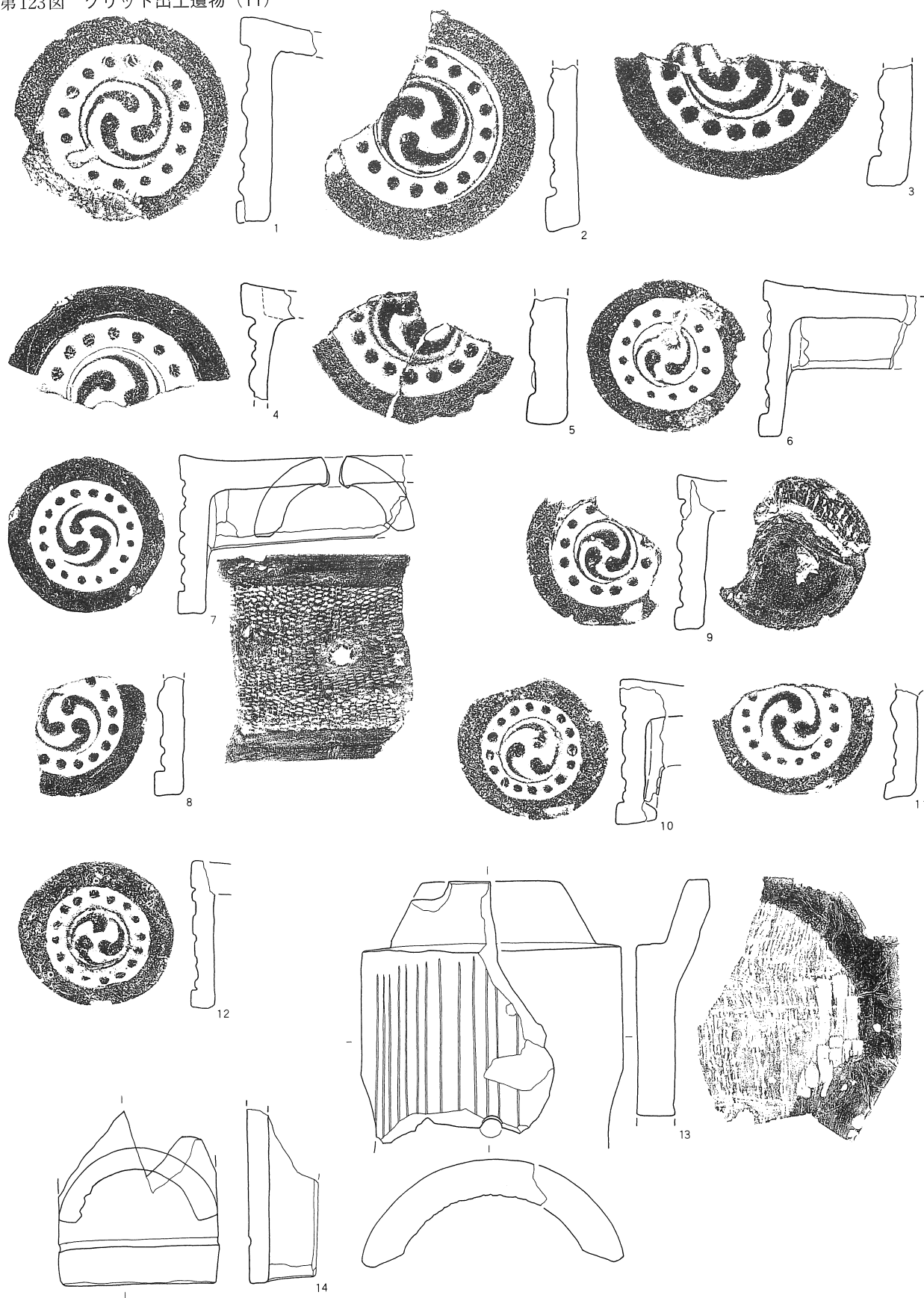
殆どが細かな破片であったが、中でも比較的大きなものを図示した。銘文が読めるものは殆どなく、第120図1は頭部を欠損するが、基部まで残っている。

青銅・鉄製品 第121図。青銅製品はキセル、飾り釘などが多い。第121図43は小形の吊金具、44、45は鉄砲の弾である。鉄製品は刀子や鉄釘が目立つが各種のものが存在し、55は毛抜き、63は鋸である。

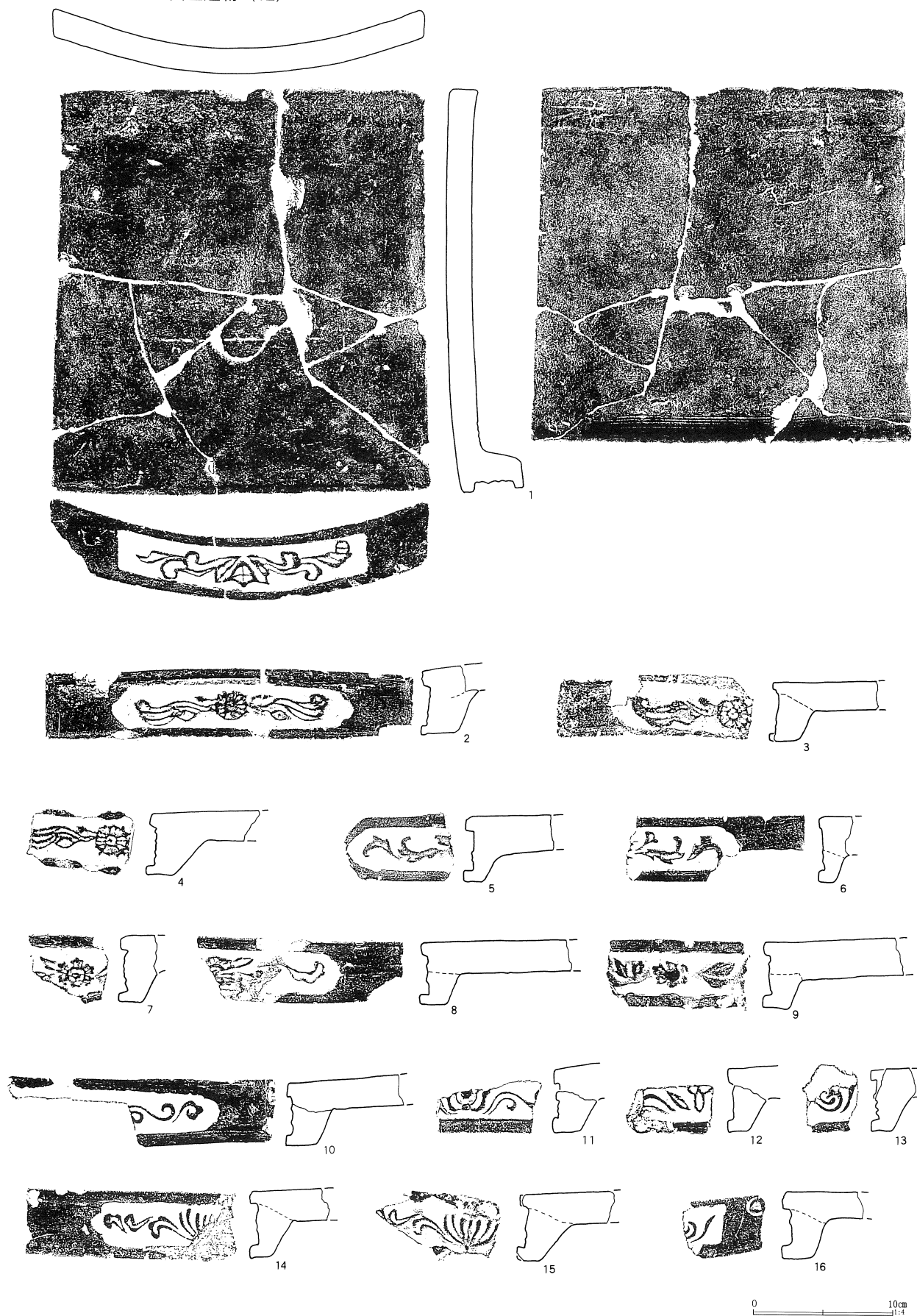
古銭 調査区内からは第Ⅵ層以下から多くの古銭が出土したが、種類の判断されるものを図示した。また、グリッドからは多量の古銭が、火を受けて融着したものも出土している。

瓦 調査区内から多量の瓦が出土している。大半は平瓦の破片であるが、軒丸瓦、丸瓦、軒平瓦、平瓦、熨斗瓦、道具瓦、鯨瓦の破片等が出土している。

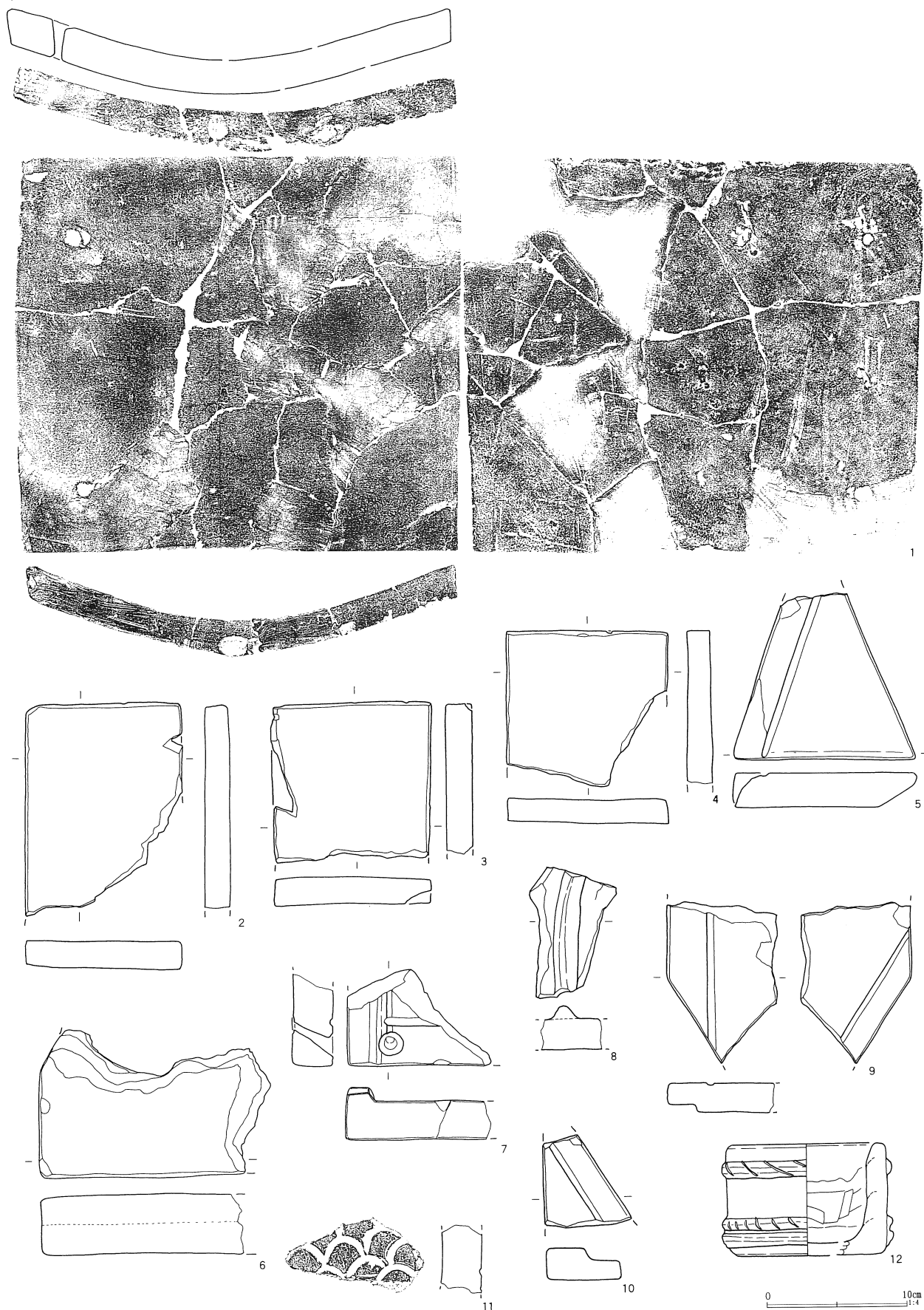
第123図 グリッド出土遺物 (11)



第124図 グリッド出土遺物 (12)



第125図 グリッド出土遺物 (13)



グリッド出土遺物観察表（第 113 図～第 122 図）

図版	番号	器 種	口径	器高	底径	胎 土	焼成	色 調	残存率	備 考
113	1	石 器	縦 3.9、横 1.5、厚さ 0.6cm、重さ 2.79 g							ナイフ形 黒曜石製
	2	石 器	縦 1.8、横 1.5、厚さ 0.4cm、重さ 1.18 g							ナイフ形 黒曜石製
	3	石 器	縦 1.4、横 1.3、厚さ 0.4cm、重さ 0.43 g							石鏃 黒曜石製
	4	縄 文	(15.2)	(7.9)	4.4	B C F	良好	浅 黄 橙 色	20	縄文早期後葉 条痕文系土器
	5	縄 文								縄文早期後葉 条痕文系土器
	6	縄 文								縄文早期後葉 条痕文系土器
	7	縄 文								縄文早期後葉 条痕文系土器
	8	縄 文								縄文早期後葉 条痕文系土器
	9	縄 文								縄文早期後葉 条痕文系土器
	10	縄 文								縄文前期 黒浜式土器
	11	縄 文								縄文前期 黒浜式土器
	12	縄 文								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	13	縄 文								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	14	縄 文								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	15	縄 文								縄文中期末葉 加曾利 E 式土器
	16	甕								SX4 古墳時代前期
	17	甕								SJ1 古墳時代前期
	18	甕								古墳時代前期
	19	甕								古墳時代前期
	20	甕								古墳時代前期
	21	坏	(11.8)	(3.5)		A B C	普通	赤 褐 色	破	SJ5 全面赤彩 古墳時代後期
	22	坏	(12.6)	(4.9)		A B C	良好	赤 褐 色	20	E5G 全面赤彩 古墳時代後期
	23	坏	(10.5)	(4.3)		A B 針	良好	赤 褐 色	20	E7G 全面赤彩 古墳時代後期
	24	高 坏	(15.2)	(7.9)	4.4	A B C E	普通	赤 褐 色	40	SJ4 坏部内面・外面赤彩 古墳時代後期
	25	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	26	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	27	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	28	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	29	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	30	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	31	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	32	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	33	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	34	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	35	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
	36	埴 輪								円筒埴輪 古墳時代後期
114	1	坏	11.3	3.7		A C	普通	にぶい赤褐色	50	瓦敷上遺構
	2	坏	(16.5)	(3.8)		A B C D	普通	明 赤 褐 色	破	SK113
	3	皿	(15.0)	(2.8)		A	良好	灰 色	破	E5G 灰釉陶器
	4	坏	(15.2)	(0.8)	(9.0)	A B C E 針	普通	青 灰 色	破	SJ5 須恵器 南比企産 内面にへう書きあり
	5	坏		3.5	(10.0)	A B C E	普通	灰 白 色	20	G5・P1 須恵器 南比企産
	6	坏	(11.9)	3.5	(5.3)	A E	良好	青 灰 色	30	SK113 須恵器
	7	坏	11.3	4.5	5.7	A C E	良好	灰 色	70	SZ1 須恵器
	8	坏	(12.3)	3.6	4.8	A E	良好	灰 色	30	SX2 須恵器
	9	瓶	(15.0)	(8.0)	(7.0)	A B C	良好	灰 白 色	破	SZ1 須恵器
	10	甕		(4.7)		A B C F 針	普通	赤 褐 色	破	SZ1
	11	土 錘	残存長 4.5、幅 2.0、孔径 0.5 cm							SE3
	12	土 錘	残存長 3.5、幅 1.2、孔径 0.5 cm							SD5
	13	土 錘	残存長 3.0、幅 1.2、孔径 0.6 cm							SD5
	14	管 玉	残存長 0.85、幅 0.25、孔径 0.10 cm							E5G
	15	瓦								表面採集 平瓦
	16	瓦								F3G



図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
114	17	磁 器	青 磁 碗		(4.4)						龍泉窯	E6G 13c後～14c前
	18	磁 器	青 磁 碗		(3.6)						龍泉窯	D5G B 2 類 14c
	19	磁 器	青 磁 碗		(2.6)						龍泉窯	B区17a B 4 類 16c前
	20	磁 器	青 磁 碗		(1.9)						龍泉窯	B区17b B 4 類 16c前
	21	土 器	かわらけ	(6.5)	2.2	(4.1)					在地系	F4G
	22	土 器	かわらけ	7.7	3.0	4.5					在地系	E5G
	23	土 器	かわらけ	(7.7)	1.9	5.6					在地系	G3G
	24	土 器	かわらけ	(6.9)	2.1	(4.3)					在地系	F4G
	25	土 器	かわらけ	(9.6)	3.5	(5.2)					在地系	F4G
	26	土 器	かわらけ	(10.5)	3.2	5.4					在地系	F4G
	27	土 器	かわらけ	(10.9)	3.2	5.7					在地系	E7G
	28	土 器	かわらけ	(11.9)	3.2	(5.3)					在地系	D5G
	29	土 器	かわらけ	(11.4)	2.8	6.3					在地系	E7G
	30	土 器	かわらけ	(11.2)	3.2	6.2					在地系	D7G
	31	土 器	かわらけ		(1.7)	6.3					在地系	E6G
	32	土 器	かわらけ	(11.9)	3.4	6.3					在地系	E5G
	33	土 器	かわらけ	(13.0)	3.4	(6.4)					在地系	F3G
	34	土 器	かわらけ	12.9	3.9	6.8					在地系	SJ2・5
	35	土 器	かわらけ	(13.4)	3.6	6.4					在地系	F3G
	36	土 器	かわらけ	(12.6)	3.4	(7.0)					在地系	SJ5
	37	土 器	かわらけ	(5.9)	1.3	2.9					在地系	E6G
	38	土 器	かわらけ	6.9	1.2	3.7					在地系	E6G
	39	土 器	かわらけ	(6.7)	1.4	(3.4)					在地系	E6G
	40	土 器	かわらけ	(9.8)	2.3	(5.6)					在地系	E5G
	41	土 器	かわらけ	(10.1)	2.1	5.8					在地系	E5G
	42	土 器	かわらけ	10.8	2.1	5.9					在地系	E6G
	43	土 器	かわらけ	11.1	1.8	6.1					在地系	E5G
	44	土 器	かわらけ	(11.6)	2.3	(6.3)					在地系	E6G
	45	土 器	かわらけ	(10.5)	2.0	(5.0)					在地系	表面採集
115	1	磁 器	紅 猪 口	5.8	1.8	2.0		浅丸形小高台	草花文			E6G 1780～
	2	磁 器	紅 猪 口	6.4	2.6	3.2		浅 丸 形	東屋山水文		肥前系	E6G
	3	磁 器	小 碗	6.5	3.5	3.0		丸 形	蝶草花文		肥前系	表面採集
	4	磁 器	小 碗	(8.4)	(2.6)			丸 形	雨降り文		肥前系	表面採集
	5	磁 器	中 碗	10.6	6.1	4.0		丸 形	草花文		肥前系	E6G
	6	磁 器	中 碗	(10.0)	(4.6)			丸 形	二重網目文	二重網目文	肥前系	E6G 18c後
	7	磁 器	中 碗		(2.1)	(4.7)						E6G 色絵
	8	磁 器	猪 口	(7.6)	4.8	(4.4)		腰 張 形			肥前系	E6G
	9	磁 器	中 碗	(9.4)	4.5	(3.2)		端 反 形	仙芝祝寿文			E7G
	10	磁 器	中 碗	10.0	5.7	(4.0)		丸 形		丸 文	肥前系	E5G 18c 「太明年製」口紅
	11	陶 器	蓋	4.0	1.6	1.5						B区No9
	12	陶 器	中 碗	(11.6)	6.6	(5.2)		腰 張 形			瀬戸美濃	E6G 17c後 腰鏝茶碗
	13	陶 器	中 碗		(4.6)	5.3		腰 張 形		楼閣山水文	京焼風	E6G 17c後
	14	陶 器	中 碗	(11.4)	(5.0)			天 目 形			瀬戸美濃	表面採集 17c前
	15	陶 器	中 碗	(11.2)	(4.3)			天 目 形			瀬戸美濃	C区No5 17c前
	16	陶 器	中 碗	(10.8)	(4.2)			天 目 形			瀬戸美濃	表面採集 17c前
	17	陶 器	中 碗	(10.7)	(3.8)			天 目 形			瀬戸美濃	E6G 17c前
	18	陶 器	香炉・火入れ	8.7	5.8	4.4		半 筒 形	折松葉文		瀬戸美濃	E6G 19c
	19	陶 器	鉢		(5.8)			腰 折 形			唐 津	表面採集
	20	陶 器	緑 釉 皿	(12.4)	(2.2)			端 反 形			瀬 戸	E9G 15c後 灰釉
	21	磁 器	小 皿	(12.1)	3.0	(6.4)		端反輪花形			中 国	E5G 15c後 青磁釉
	22	陶 器	小 皿	(11.2)	3.0	(5.4)		丸 形				E6G



図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
115	23	陶 器	小 皿	(11.0)	3.0	(6.4)		丸 形			瀬戸美濃	E6G 長石釉
	24	磁 器	小 皿	(10.0)	1.9	(6.0)		丸形底広	唐草文	見込五弁花 内面草文	肥 前	E6G
	25	磁 器	小 皿	9.6	2.3	6.3		丸形底広	唐草文	見込桐・墨 弾き連続文		E5G
	26	陶 器	小 皿	(10.8)	2.2	(7.2)		丸 形		蘭竹文	瀬戸美濃	E7G 志野織部 鉄絵文皿
	27	陶 器	小 皿	(12.8)	3.3	7.2		菊 花 形			瀬戸美濃	E5G 17c後
	28	陶 器	中 皿		2.6	6.6		変 形		草花文	瀬戸美濃	E5G 擦絵 御深井釉
	29	陶 器	小 皿	(11.0)	2.0	(4.4)		丸 形			信 楽	E7G 19c前 見込櫛目
	30	陶 器	小 皿	(10.2)	3.7	(4.7)		丸形底狭			唐 津	C区 見込蛇の目釉剥ぎ
	1	陶 器	中 皿	20.4	4.9	(9.6)				馬ノ目(6)	瀬戸美濃	E7G 18c後 蛇の目高台
	2	陶 器	大 瓶	4.0	(5.0)						瀬戸美濃	E6G
116	3	陶 器	中 瓶		(6.7)	(7.1)					瀬戸美濃	E7G
	4	陶 器	小 壺		(7.3)	(5.4)						D5G
	5	陶 器	灯明受皿	(10.6)	2.2	4.2		油溝半月状				表面採集
	6	土 器	灯明受皿	10.3	9.9	9.9	7.1				在地系	B区VI層上 台付
	7	土 器	蓋	7.9	2.0	7.2					在地系	E6G
	8	土 器	蓋	(7.6)	1.9	(6.9)					在地系	E6G
	9	陶 器	蓋	(10.1)	1.0	(9.8)					在地系	E7G
	10	土 器	蓋	6.2	1.0	5.9					在地系	表面採集
	11	土 器	塩 焼 壺		(3.0)						在地系	表面採集
	12	土 器	塩 焼 壺		(3.8)						在地系	表面採集
117	13	土 器	塩 焼 壺								在地系	B区
	14	土 器	塩 焼 壺		(5.8)	5.7					在地系	D5G
	15	磁 器	人 形	(2.6)	(4.3)	(2.5)					在地系	E6G
	16	土 器	釜		(4.6)						在地系	E5G
	17	土 器	火 鉢		(4.3)						在地系	E6G
	18	土 器	火 鉢	(20.2)	(3.5)			胴 丸 形			在地系	B区
	19	土 器	土 鍋	(27.0)	(8.0)						在地系	F4G・P222
	1	炆 器	大 甕	(32.0)	(12.5)						常 滑	G3G
	2	炆 器	甕								常 滑	SJ2北西上層 灰釉
	3	炆 器	甕								常 滑	表面採集 押印帯
118	4	陶 器	小 壺		(5.0)	4.0						E6G 灰釉
	5	炆 器	甕								常 滑	SJ2北西上層
	6	炆 器	甕								常 滑	SJ2
	7	炆 器	甕								常 滑	SJ2北西上層
	8	炆 器	播 鉢	(26.8)	9.6	(9.0)					瀬戸美濃	G5G・P2
	9	炆 器	播 鉢	(25.2)	(5.2)						瀬戸美濃	SJ2北西
	10	炆 器	播 鉢		(8.6)						瀬戸美濃	E7G
	11	炆 器	播 鉢		(6.0)						瀬戸美濃	E7G
	12	炆 器	播 鉢		(4.9)						瀬戸美濃	E6G
	13	炆 器	播 鉢		(5.0)						瀬戸美濃	E6G
118	14	炆 器	播 鉢		(6.7)							表面採集
	15	炆 器	播 鉢		(9.0)						在地系	表面採集
	16	炆 器	播 鉢								瀬戸美濃	SJ2
	17	炆 器	播 鉢		(10.5)						瀬戸美濃	表面採集
	18	炆 器	播 鉢		(6.0)	(12.4)					瀬戸美濃	表面採集
118	1	石	砥 石	残存長 10.0、幅 3.5、厚さ 2.0cm								E5G
	2	石	砥 石	残存長 9.9、幅 3.8、厚さ 2.5cm								E6G
	3	石	砥 石	残存長 9.0、幅 3.5、厚さ 1.9cm								表面採集
	4	石	砥 石	残存長 10.2、幅 4.1、厚さ 3.1cm								D5G

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考	
				a	b	c	d		外 面	内 面			
118	5	石	硯	残存長 10.0、幅 5.4、厚さ 1.4cm								E7G	
	6	石	硯	残存長 3.2、幅 5.3、厚さ 0.6cm								E5G	
	7	石	硯	残存長 4.9、幅 4.9、厚さ 1.0cm								E6G	
	8	石	硯	残存長 4.4、幅 4.2、厚さ 0.8cm								E7G	
	9	石	硯	残存長 2.1、幅 2.6、厚さ 0.3cm								E7G	
	10	石	白 碁 石	直径 1.7、厚さ 0.5cm								E6G	
	11	石	黒 碁 石	直径 2.2、厚さ 0.4cm								E5G	
	12	石	黒 碁 石	直径 2.2、厚さ 0.5cm								B区西	
	13	石	黒 碁 石	長径 2.2、短径 2.0、厚さ 0.7cm									
	14	陶 器	播鉢製円盤	長径 5.6、短径 5.3、厚さ 1.2cm								E6G	
	15	石	石製円盤	直径 4.7、厚さ 0.7cm								表面採集	
	16	石	石製円盤	長径 4.7、短径 4.4、厚さ 0.9cm								瓦敷下遺構	
	17	石	石製円盤	長径 3.3、短径 3.0、厚さ 0.5cm								E6G	
	18	石	石製円盤	長径 3.0、短径 2.7、厚さ 0.8cm								E5G	
	19	石	石 白	残存長 12.5、高 5.5cm								E5G	
	20	石	石 白	残存長 10.7、高 5.3cm								E6G	
	21	石	石 白	残存長 12.3、高 15.1cm								C区	
	22	石	石 白	残存長 10.2、高 8.8cm								E5G	
	23	石	石 白	残存長 22.8、高 13.5cm								E5G	
	24	石	板 碑	残存長 22.9、幅 24.0、厚さ 2.3cm									
	119	1	石	板 碑	残存長 22.4、幅 12.0、厚さ 2.1cm								
		2	石	板 碑	残存長 10.0、幅 8.1、厚さ 1.0cm								
		3	石	板 碑	残存長 7.6、幅 5.0、厚さ 1.1cm								
		4	石	板 碑	残存長 17.3、幅 15.5、厚さ 2.5cm								「奉行 洋」
5		石	板 碑	残存長 10.3、幅 9.5、厚さ 2.1cm									
6		石	板 碑	残存長 22.5、幅 10.9、厚さ 2.6cm									
7		石	板 碑	残存長 10.2、幅 9.1、厚さ 1.7cm									
8		石	板 碑	残存長 11.4、幅 7.2、厚さ 1.8cm									
120	9	石	板 碑	残存長 20.5、幅 21.5 厚さ 2.0cm									
	1	石	板 碑	残存長 68.3、幅 21.0、厚さ 3.3cm								「妙阿弥陀佛 文明二年 (1470) 十月廿三日」	
121	2	石	板 碑	残存長 18.5、幅 10.3、厚さ 2.1cm								「深入禅定 永正二年(1505)」	
	3	石	板 碑	残存長 9.8、幅 10.0、厚さ 2.0cm									
	1	銅	煙管雁首	火皿径 1.8、現存長 4.5cm									
	2	銅	煙管雁首	火皿径 1.5、現存長 5.7cm									
	3	銅	煙管雁首	火皿径 1.9、現存長 2.9cm									
	4	銅	煙管雁首	火皿径 1.6、現存長 3.4cm									
	5	銅	煙管雁首	火皿径 1.7、現存長 2.3cm									
	6	銅	煙管雁首	現存長 4.0cm									
	7	銅	煙管雁首	火皿径 1.6、現存長 2.2cm									
	8	銅	煙管雁首	火皿径 1.5cm									
	9	銅	煙管雁首	火皿径 1.5cm									
	10	銅	煙管雁首	火皿径 1.7cm									
	11	銅	煙管雁首	火皿径 1.8、厚さ 0.7cm									
	12	銅	煙管雁首	径 0.9、現存長 6.6cm									
	13	銅	煙管雁首	径 0.9、現存長 6.8cm									
	14	銅	煙管雁首	径 1.2cm、現存長 1.9cm									
	15	銅	煙管吸口	径 0.9、長さ 8.1cm									
16	銅	煙管吸口	径 0.8、現存長 6.7cm										
17	銅	煙管吸口	径 0.9、現存長 6.1cm										

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
121	18	銅	煙管吸口	径 0.8、現存長 3.9cm								
	19	銅	煙管吸口	径 0.9、現存長 2.8cm								
	20	銅	煙管吸口	径 1.2、長さ 5.4cm								
	21	銅	煙管吸口	径 1.0、現存長 5.5cm								
	22	銅	煙管吸口	径 0.5、現存長 5.3cm								
	23	銅	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 11.4cm								
	24	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 7.5cm								
	25	銅	釘	頭幅 1.4、現存長 5.3cm								
	26	銅	釘	頭幅 1.2、長さ 2.7cm								
	27	銅	釘	頭幅 1.3、現存長 3.8cm								
	28	銅	釘	頭幅 1.2、長さ 3.3cm								
	29	銅	釘	頭幅 0.9、長さ 2.3cm								
	30	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 2.4cm								
	31	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 2.3cm								
	32	銅	釘	頭幅 0.4、長さ 1.6cm								
	33	銅	釘	頭幅 0.9、現存長 1.6cm								
	34	銅	釘	頭幅 0.6、長さ 1.1cm								
	35	銅	釘	頭幅 0.7、長さ 2.0cm								
	36	銅	釘	現存長 4.9cm								脚部
	37	銅	釘	現存長 3.5cm								脚部
	38	銅	釘	現存長 3.3cm								脚部
	39	銅	釘	現存長 2.7cm								脚部
	40	銅	釘	現存長 2.6cm								脚部
	41	鉄	小 柄	幅 1.3、現存長 7.3、厚さ 0.4cm								
	42	鉄	筭	幅 0.6、現存長 5.0cm								
	43	鉄	吊 金 具	断面径 0.2、現存長 2.9cm								
	44	不 明	鉄 砲 玉	径 1.2cm								
	45	不 明	鉄 砲 玉	径 1.3cm								
	46	鉄	小 柄	現存長 17.2、幅 0.9、厚さ 0.2cm								
	47	鉄	刀 子	現存長 5.4、刀幅 1.2、背幅 0.3cm								
	48	鉄	刀 子	現存長 6.7、刀幅 1.1、背幅 0.3cm								
	49	鉄	短 刀	現存長 5.5、刀幅 2.1、背幅 4.0cm								
	50	鉄	刀 子	現存長 3.2、刀幅 1.6、背幅 0.3cm								
	51	鉄	不 明	幅 1.1、現存長 6.1cm								刀子茎か？
	52	鉄	不 明	現存長 6.8、刀幅 1.5、背幅 0.3cm								刀子茎か？
	53	銅・鉄	火 打 金	幅 7.2、長さ 3.6cm								銅線の吊手付
	54	鉄	不 明	幅 0.9、現存長 1.7cm								刃が鋸上の工具
	55	鉄	毛 抜 き	幅 1.3、現存長 5.3cm								
	56	鉄	鉄 鋸	幅 1.1、現存長 5.3cm								
	57	鉄	不 明	端部幅 1.0、長さ 4.8cm								
	58	鉄	不 明	端部幅 1.0、長さ 2.7cm								
	59	鉄	不 明	幅 1.3、現存長 2.7cm								
	60	鉄	不 明	幅 2.1、長さ 4.9cm								
	61	鉄	不 明	幅 0.6、現存長 7.5cm								
	62	鉄	不 明	幅 5.8、現存長 6.6cm								
	63	鉄	鋸	長さ 15.4、幅 4.8cm								
	64	鉄	不 明	幅 2.3、長さ 4.1cm								
	65	鉄	不 明	幅 2.8、現存長 5.4cm								
	66	鉄	鋸 ？	幅 2.6、現存長 8.4cm								
	67	鉄	角 釘	現存長 4.3cm								
	68	鉄	合 釘	長さ 6.3cm								

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
121	69	鉄	瓦 釘	頭幅 2.5、長さ 18.0cm								
	70	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、長さ 7.7cm								
	71	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.5、現存長 6.4cm								
	72	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 7.1cm								
	73	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 6.8cm								
	74	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.7、現存長 6.0cm								
	75	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.6、現存長 6.1cm								
	76	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 5.4cm								
	77	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 5.1cm								
	78	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.8cm								
	79	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、長さ 4.5cm								
	80	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 4.8cm								
	81	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.0、現存長 4.3cm								
	82	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 4.0cm								
	83	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、現存長 4.2cm								
	84	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.2、現存長 4.5cm								
	85	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.7cm								
	86	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.3、現存長 3.6cm								
	87	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 3.5cm								
	88	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.5cm								
	89	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.6cm								
	90	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.8、長さ 3.5cm								
	91	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 3.4cm								
	92	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、長さ 3.2cm								
	93	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.7、現存長 2.9cm								
	94	鉄	頭 卷 釘	頭幅 1.1、現存長 2.6cm								
	95	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.9、現存長 2.9cm								
	96	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、長さ 2.9cm								
	97	鉄	頭 卷 釘	頭幅 0.6、現存長 1.8cm								

グリッド出土古銭観察表

図版	番号	材 質	器 種	法 量 (cm)				形 状	文 様		産 地	備 考
				a	b	c	d		外 面	内 面		
122	1	古 銭	開元通寶	銭径 23.8、内径 20.1、銭厚 1.12mm、量目 2.12 g								唐 621年
	2	古 銭	開元通寶	銭径 24.2、内径 20.5、銭厚 1.23mm、量目 1.57 g								唐 621年
	3	古 銭	開元通寶	銭径 23.8、内径 18.9、銭厚 1.45mm、量目 3.06 g								唐 621年
	4	古 銭	開元通寶	銭径 24.5、内径 20.4、量目 1.96 g								唐 621年
	5	古 銭	至道通寶	銭径 24.0、内径 16.3、銭厚 1.51mm、量目 2.70 g								北宋 995年
	6	古 銭	至和元寶	銭径 23.7、内径 19.7、銭厚 1.31mm、量目 2.17 g								北宋 1054年
	7	古 銭	熙寧元寶	銭径 23.8、内径 20.0、銭厚 1.12mm、量目 2.43 g								北宋 1068年
	8	古 銭	熙寧元寶	銭径 23.9、内径 19.9、銭厚 1.40mm、量目 2.25 g								北宋 1068年
	9	古 銭	熙寧元寶	銭径 23.8、内径 20.7、銭厚 1.70mm、量目 2.80 g								北宋 1068年 篆書
	10	古 銭	熙寧元寶	銭径 23.9、内径 20.8、銭厚 1.21mm、量目 2.41 g								北宋 1068年 篆書
	11	古 銭	元豊通寶	銭径 23.8、内径 19.0、銭厚 1.35mm、量目 2.93 g								北宋 1072年
	12	古 銭	元豊通寶	銭径 23.7、内径 18.2、銭厚 1.50mm、量目 2.97 g								北宋 1072年
	13	古 銭	元豊通寶	銭径 23.9、内径 18.7、銭厚 1.25mm、量目 2.56 g								北宋 1072年
	14	古 銭	元豊通寶	銭径 24.3、内径 19.0、銭厚 1.08mm、量目 2.01 g								北宋 1072年
	15	古 銭	元豊通寶	銭径 24.3、内径 19.4、銭厚 1.20mm、量目 2.38 g								北宋 1072年
	16	古 銭	元豊通寶	銭径 23.5、内径 19.6、銭厚 1.60mm、量目 1.80 g								北宋 1072年
	17	古 銭	元豊通寶	銭径 23.8、内径 18.4、量目 1.16 g								北宋 1072年
	18	古 銭	元?通寶	銭径 23.7、内径 19.0、銭厚 1.45mm、量目 2.08 g								北宋 1086年
	19	古 銭	元符通寶	銭径 22.9、内径 18.3、銭厚 1.49mm、量目 2.57 g								北宋 1098年
	20	古 銭	政和通寶	銭径 24.9、内径 19.9、銭厚 1.45mm、量目 2.85 g								北宋 1111年
	21	古 銭	洪武通寶	銭径 23.4、内径 20.0、銭厚 1.99mm、量目 2.08 g								明 1368年
	22	古 銭	洪武通寶	銭径 23.0、内径 19.0、銭厚 1.85mm、量目 1.99 g								明 1368年
	23	古 銭	洪武通寶	銭径 25.2、内径 20.6、銭厚 1.90mm、量目 1.54 g								明 1368年
	24	古 銭	洪武通寶	銭径 21.2、内径 17.3、銭厚 1.55mm、量目 2.04 g								明 1368年
	25	古 銭	洪武通寶	銭径 22.2、内径 19.2、銭厚 1.59mm、量目 1.11 g								明 1368年
	26	古 銭	永楽通寶	銭径 24.2、内径 21.3、銭厚 1.40mm、量目 1.74 g								明 1408年
	27	古 銭	永楽通寶	銭径 24.9、内径 21.1、銭厚 1.30mm、量目 2.10 g								明 1408年
	28	古 銭	永楽通寶	銭厚 1.80mm、量目 1.33 g								明 1408年
	29	古 銭	宣徳通寶	銭径 25.3、内径 21.0、銭厚 1.40mm、量目 2.35 g								明 1433年
	30	古 銭	宣徳通寶	銭径 25.4、内径 21.8、銭厚 1.30mm、量目 2.33 g								明 1433年
	31	古 銭	宣徳通寶	銭厚 1.60mm、量目 1.08 g								明 1433年
	32	古 銭	寛永通寶	銭径 24.9、内径 20.2、銭厚 1.15mm、量目 2.71 g								古 1636～1656年
	33	古 銭	寛永通寶	銭径 24.2、内径 19.9、銭厚 1.35mm、量目 3.01 g								古 1636～1656年
	34	古 銭	寛永通寶	銭径 24.7、内径 20.3、銭厚 1.10mm、量目 1.96 g								古 1636～1656年
	35	古 銭	寛永通寶	銭径 24.1、内径 19.9、銭厚 1.10mm、量目 1.75 g								古 1636～1656年
	36	古 銭	寛永通寶	銭径 24.3、内径 20.0、銭厚 1.70mm、量目 2.43 g								古 1636～1656年
	37	古 銭	寛永通寶	銭径 25.1、内径 20.3、銭厚 1.29mm、量目 2.79 g								古 1636～1656年
	38	古 銭	寛永通寶	銭径 22.2、内径 20.0、量目 1.03 g								
	39	古 銭	寛永通寶	銭径 25.2、内径 20.0、銭厚 1.40mm、量目 2.86 g								文銭 1668年
	40	古 銭	寛永通寶	銭径 25.9、内径 20.7、銭厚 1.25mm、量目 3.15 g								新 1673～1741年
	41	古 銭	寛永通寶	銭径 22.0、内径 18.1、銭厚 1.40mm、量目 1.87 g								新 1673～1741年
	42	古 銭	寛永通寶	銭径 21.8、内径 18.2、銭厚 0.85mm、量目 1.28 g								新 1673～1741年

グリッド出土瓦観察表

図版	番号	遺構	種類	瓦当径	瓦当厚	全長	全幅	高さ	厚み	胎土	色調	備考
123	1	E6	軒丸瓦	14.5	(2.5)	—	—	—	1.7	やや砂質	暗灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭
	2	E6	軒丸瓦	15.8	2.5	—	—	—	—	精 良	黒灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／離れ砂付着
	3	E6	軒丸瓦	(17.5)	2.9	—	—	—	—	やや砂質	暗灰	連珠三巴左巻／圏線明瞭
	4	E6	軒丸瓦	—	—	—	—	—	1.9	精 良	灰	連珠三巴右巻／圏線明瞭／瓦当范に木目
	5	SD7	軒丸瓦	(15.0)	2.9	—	—	—	—	砂 質	暗灰	連珠三巴右巻／圏線明瞭
	6	E6	軒丸瓦	11.0	1.7	—	—	5.4	1.7	やや砂質	灰	連珠三巴右巻12珠／圏線明瞭／釘孔
	7	E5	軒丸瓦	11.3	2.0	—	11.4	5.8	1.9	やや砂質	暗灰	連珠三巴左巻16珠／釘孔
	8	E6	軒丸瓦	—	2.1	—	—	—	—	砂 質	黒灰	連珠三巴左巻／断面黄灰
	9	E6	軒丸瓦	(11.0)	2.0	—	—	—	—	やや砂質	暗灰	連珠三巴右巻(12珠)／圏線明瞭／接合部刻み目
	10	SD6	隅軒丸瓦	(10.3)	(2.9)	—	—	—	(2.4)	やや砂質	黄灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／離れ砂付着
	11	E6	軒丸瓦	10.8	2.2	—	—	—	—	やや砂質	黄灰	連珠三巴右巻／被熱により一部橙灰
	12	SB6・P2	軒丸瓦	10.5	1.8	—	—	—	(2.0)	やや砂質	暗灰	連珠三巴右巻16珠／圏線明瞭／接合部かき目
	13	E6	丸 瓦	—	—	—	(18.6)	7.5	2.6	精 良	暗灰	玉縁長4.5cm／側縁削り込み／凹面棒状圧痕
	14	E6	丸 瓦	—	—	—	11.4	5.0	1.5	精 良	暗灰	凸面端部水切り溝／凹面布袋痕刺し縫い
124	1	SK51	軒平瓦	—	4.6	29.3	27.0	—	1.8	やや砂質	黄灰	谷深さ2.8cm／完形
	2	E6	堀 瓦	—	4.7	—	—	—	2.0	やや砂質	暗灰	両辺水切り溝
	3	SD5	堀 瓦	—	4.3	—	—	—	2.1	やや砂質	灰	側辺水切り溝
	4	E6	堀 瓦	—	4.5	—	—	—	2.2	砂 質	灰白	
	5	E6	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.6	やや砂質	黒灰	
	6	表採	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.7	精 良	暗灰	側辺水切り溝
	7	E6	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	—	精 良	暗灰	接合部刻み目
	8	E6	堀 瓦	—	4.5	—	—	—	2.2	やや砂質	黒灰	側辺水切り溝
	9	E6	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.7	精 良	暗灰	
	10	SX4	堀 瓦	—	4.5	—	(26.3)	—	2.2	精 良	黒灰	両辺水切り溝／側縁削り込み／接合部刻み目
	11	E6	堀 瓦	—	(4.7)	—	—	—	—	やや砂質	黄灰	接合部刻み目／キラコ付着
	12	E6	堀 瓦	—	(4.6)	—	—	—	—	やや砂質	暗灰	接合部刻み目
	13	表採	軒平瓦	—	4.5	—	—	—	2.2	やや砂質	黄灰	江戸式
	14	E6	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.3	精 良	暗灰	側辺水切り溝
	15	E6	堀 瓦	—	4.8	—	—	—	2.2	やや砂質	灰白	
	16	E6	軒平瓦	—	4.8	—	—	—	1.8	やや砂質	灰白	江戸式／瓦当面刻印「丸に三角」
125	1	E8・P74	平 瓦	—	—	28.9	32.2	—	2.5	やや砂質	黒灰	谷深さ3.8cm／釘穴2カ所
	2	E6	鬘斗瓦	—	—	—	11.3	—	2.0	やや砂質	黒灰	離れ砂付着
	3	E6	鬘斗瓦	—	—	—	11.3	—	2.0	精 良	黄灰	離れ砂付着
	4	E6	鬘斗瓦	—	—	—	11.6	—	1.7	精 良	暗灰	離れ砂付着
	5	E6	道具瓦	—	—	(17.5)	13.1	—	2.5	砂 質	暗灰	三角形平面／水切り溝／端部斜め切り落とし
	6	B区	埴 塼	—	—	—	—	—	4.2	やや砂質	暗灰	側縁削り込み
	7	E6	谷平瓦	—	—	—	—	—	2.9	精 良	暗灰	垂れを接合／水切り溝／釘孔斜め
	8	D7	谷平瓦	—	—	—	—	—	2.2	やや砂質	暗灰	垂れを接合
	9	E6	道具瓦	—	—	—	—	—	2.2	やや砂質	橙灰	水切り溝／端部段
	10	D5	道具瓦	—	—	—	—	—	2.3	やや砂質	灰白	三角形平面／端部段
	11	E5	鯉 瓦	—	—	—	—	—	2.8	やや砂質	橙灰	鱗線刻表現／内面指など
	12	E5	化粧瓦?	—	—	—	—	—	1.5	やや砂質	暗灰	瓦質容器／復元口径11.4cm／器高8.0cm

第2表 川越城跡 新旧対照表

SD-1	SD-1
SD-2	SD-2
SD-3	SD-1上層
SD-4	SD-19
SD-5	SD-8
SD-6	SD-9・18
SD-7	SD-20
SD-8	SD-21
SD-9	SD-3
SD-10	SD-7
SD-11	D・E区 SD-4
SD-12	SD-5
SD-13	SD-6
SD-14	SD-16
SD-15	SD-14
SD-16	SD-15
SD-17	SD-22
SD-18	SD-17
SD-19	A・B区 SD-4
SD-20	SD-23
SD-21	12次 SD-1
SD-22	12次 SD-2
SD-23	12次 SD-3
SD-24	12次 SD-4
SD-25	12次 SD-5
SD-26	12次 SD-6

新番	旧番
SL-1	SX-2
SL-2	B区SK-1・3・SX-1
SL-3	A区SX-1
SL-4	12次地下式坑

新番	旧番
SZ-1	SD-5
SZ-2	SD-9
SZ-3	12次 堀
SZ-4	

SE-1	SE1-1 D-5・SK-5
SE-2	SE1-2
SE-3	B区 SE-2
SE-4	B区 SE-3
SE-5	SE1-3
SE-6	A区 SE-3
SE-7	SE2-2 E-6・SK-22
SE-8	SE-4
SE-9	SE-5
SE-10	12次 SE-1
SE-11	12次 SE-2
SE-12	12次 SK-15

新番	旧番
SX-1	EG・SK-8
SX-2	EG・SK-9
SX-3	EG・SK-10・11
SX-4	EG・SK-61・62
SX-5	EG・SK-63

新番	旧番
SI-1	D区
SI-2	SX-1
SI-3	SX-1
SI-4	E区
SI-5	SX-3

新番	旧番
SA-6	SD-10
SA-7	SD-13

第3表 川越城跡 土壇新旧対照表

新 番	旧 番
SK-1	D-5 SK-1
SK-2	D-5 SK-2
SK-3	D-5
SK-4	D-5 SK-4
SK-5	D-5 SK-6
SK-6	D-5
SK-7	D-5
SK-8	D-5 SK-7
SK-9	D-5 SK-8
SK-10	D-5 SK-9
SK-11	D-5 SK-10
SK-12	D-5 SK-11
SK-13	E-5 SK-1
SK-14	E-5 SK-2
SK-15	E-5 SK-3
SK-16	E-5 SK-4
SK-17	E-5 SK-5
SK-18	E-5 SK-6
SK-19	E-5 SK-7
SK-20	E-5 SK-15
SK-21	E-5 SK-16
SK-22	E-5 SK-17
SK-23	E-5 SK-18
SK-24	E-5 SK-58
SK-25	E-5 SK-60
SK-26	E-5
SK-27	E-5
SK-28	E-5
SK-29	E-5
SK-30	E-5
SK-31	E-5
SK-32	E-6 SK-12
SK-33	E-6 SK-19
SK-34	E-6 SK-20
SK-35	E-6 SK-23
SK-36	E-6 SK-24
SK-37	E-6 SK-25
SK-38	E-6 SK-26
SK-39	E-6 SK-48
SK-40	E-6 SK-50
SK-41	E-6 SK-52
SK-42	E-6 SK-53
SK-43	E-6 SK-54
SK-44	E-6

新 番	旧 番
SK-45	E-5・6
SK-46	F-6 SK-49
SK-47	D-7 SK-5
SK-48	D-7 SK-45
SK-49	D-7 SK-47
SK-50	E-7 SK-13
SK-51	E-7 SK-14
SK-52	E-7 SK-29
SK-53	E-7 SK-30
SK-54	E-7 SK-31
SK-55	E-7 SK-35
SK-56	E-7 SK-36
SK-57	E-7 SK-37
SK-58	E-7 SK-38
SK-59	E-7 SK-44
SK-60	E-7 SK-41
SK-61	E-7 SK-40
SK-62	E-7 SK-42
SK-63	E-7 SK-43
SK-64	D-8 SK-89
SK-65	D-8
SK-66	E-8 SK-32
SK-67	E-8 SK-33
SK-68	E-8 SK-34
SK-69	E-8 SK-55
SK-70	E-8 SK-59
SK-71	E-8 SK-62
SK-72	E-8 SK-64
SK-73	E-8 SK-65
SK-74	E-8 SK-66
SK-75	E-8 SK-67
SK-76	E-8 SK-68
SK-77	E-8 SK-81
SK-78	E-8 SK-82
SK-79	E-8 SK-83
SK-80	E-8
SK-81	D-9 SK-87
SK-82	E-9 SK-45
SK-83	E-8・9 SK-56
SK-84	E-9 SK-57
SK-85	E-8・9 SK-69
SK-86	E-9 SK-70
SK-87	E-9 SK-71
SK-88	E-9 SK-72

新 番	旧 番
SK-89	E-9 SK-73
SK-90	E-9 SK-74
SK-91	E-9 SK-75
SK-92	E-9 SK-76
SK-93	E-9 SK-77
SK-94	E-9 SK-79
SK-95	E-9 SK-80
SK-96	A-10 SK-6
SK-97	A-10 SK-7
SK-98	B-10 SK-8
SK-99	B-10 SK-9
SK-100	B-10
SK-101	E-10 SK-88
SK-102	E-7 SK-27
	E-8 SK-28
	E-7・8 SK-84
SK-103	12次 SK-1
SK-104	12次 SK-2
SK-105	12次 SK-3
SK-106	12次 SK-4
SK-107	12次 SK-5
SK-108	12次 SK-6
SK-109	12次 SK-7
SK-110	12次 SK-8
SK-111	12次 SK-9
SK-112	12次 SK-10
SK-113	12次 SK-28
SK-114	12次 SK-12
SK-115	12次 SK-13
SK-116	12次 SK-14
SK-118	12次 SK-16
SK-119	12次 SK-17
SK-120	12次 SK-18
SK-121	12次 SK-19
SK-122	12次 SK-20
SK-123	12次 SK-21
SK-124	12次 SK-22
SK-125	12次 SK-23
SK-126	12次 SK-24
SK-127	12次 SK-25
SK-128	12次 SK-26
SK-129	12次 SK-27
SK-130	E・F-6



第4表 川越城跡住居跡一覧表

番号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(cm)	カ マ ド	主 軸 方 向	備 考
1	H・I-4	4.50	0.98	25	-	-	SK105
2	G-3	5.18	5.18	17	北壁中央部やや東	N-6°-W	SJ4・5・6 SK111・112・129 SE3
3	G-4・5	5.48	(3.00)	6	北壁	N-10°-W	
4	G-3	(2.26)	(1.18)	37	東壁2基	-	SJ2・9 SZ3
5	F・G-3	(3.55)	3.10	53	北壁中央部やや東	N-8°-E	SJ2・6・8・9 SZ3
6	F・G-3	3.40	2.50	43	北壁東コーナー寄り	N-20°-E	SJ2・5 SK116・117
7	F-3	(4.00)	(1.10)	35	-	-	SD25
8	F・G-3	4.25	(1.40)	29	東壁	N-87°-E	SJ5 SD26
9	G-3	(0.90)	(0.70)	18	-	-	SJ4・5 SZ3

第5表 川越城跡掘立柱建物跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-1 P-1	E-6	0.42	0.40	0.21
SB-1 P-2	E-6	0.36	0.31	0.22
SB-1 P-3	E-5	0.42	0.36	0.67
SB-1 P-4	E-5	0.38	0.36	0.17
SB-1 P-5	E-5	0.29	0.29	0.65
SB-1 P-6	E-5	0.50	0.46	0.73
SB-1 P-7	D・E-5	0.50	0.36	0.31
SB-1 P-8	D-5	0.44	0.40	0.76
SB-1 P-9	E-5	0.21	0.17	0.19
SB-1 P-10	E-5	0.28	0.23	0.55
SB-2 P-1	E-7	0.46	0.46	0.56
SB-2 P-2	E-7	0.51	0.47	0.71
SB-2 P-3	E-7	(0.48)	0.50	0.49
SB-2 P-4	E-6	0.70	0.42	0.88
SB-2 P-5	E-6	0.56	0.46	1.02
SB-2 P-6	E-6	0.48	(0.44)	0.71
SB-2 P-7	E-6	0.48	0.48	0.64
SB-2 P-8	E-6	0.60	0.48	0.45
SB-2 P-9	E-6	0.54	0.46	0.44
SB-2 P-10	E-6	0.66	0.64	0.87
SB-2 P-11	E-6	0.48	0.45	0.51
SB-2 P-12	E-6	0.45	0.37	0.09
SB-2 P-13	E-6	0.94	0.74	0.58
SB-2 P-14	E-6	0.59	(0.48)	0.47
SB-2 P-15	E-6	0.48	0.43	0.76
SB-2 P-16	D・E-7	0.42	(0.30)	0.62
SB-2 P-17	D-7	0.45	0.40	0.59
SB-2 P-18	D-7	0.50	0.45	0.84
SB-2 P-19	E-7	0.40	0.35	0.37
SB-2 P-20	E-7	0.60	0.58	0.99
SB-2 P-21	E-6	0.90	0.46	0.75
SB-2 P-22	E-6	0.74	0.49	0.50
SB-3 P-1	E-7	0.70	0.54	0.61
SB-3 P-2	E-7	0.58	0.41	0.65
SB-3 P-3	E-7	0.61	0.57	0.64
SB-3 P-4	E-6	0.68	0.49	0.88
SB-3 P-5	E-6	(0.57)	0.55	0.85
SB-3 P-6	E-6	0.64	0.49	0.81
SB-3 P-7	E-6	0.53	0.52	0.53

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-3 P-8	E-6	0.58	0.54	0.49
SB-3 P-9	E-6	0.60	0.53	0.95
SB-3 P-10	E-6	0.47	0.41	0.18
SB-3 P-11	E-6	0.53	0.53	0.57
SB-3 P-12	E-6	0.58	(0.24)	0.55
SB-3 P-13	E-6	0.78	0.51	0.76
SB-3 P-14	E-6	0.58	(0.48)	0.81
SB-3 P-15	E-7	(0.52)	0.50	0.55
SB-3 P-16	D・E-7	0.58	0.48	0.46
SB-3 P-17	D-7	0.76	0.58	0.81
SB-3 P-18	E-7	0.45	0.38	0.15
SB-4 P-1	D-7	0.56	0.53	0.60
SB-4 P-2	E-7	(0.57)	(0.52)	0.53
SB-4 P-3	E-7	0.67	0.55	0.50
SB-4 P-4	E-7	0.51	(0.46)	0.33
SB-4 P-5	E-7・8	0.57	0.53	0.34
SB-4 P-6	E-7	0.48	0.38	0.72
SB-4 P-7	E-7	0.86	0.77	0.34
SB-4 P-8	E-7	0.49	0.43	0.23
SB-4 P-9	E-7	0.75	(0.62)	0.24
SB-4 P-10	E-7	0.49	(0.30)	0.42
SB-4 P-11	E-7	0.49	(0.46)	0.22
SB-4 P-12	E-7	0.43	0.40	0.44
SB-4 P-13	D-7	(0.46)	(0.28)	0.45
SB-4 P-14	D-7	(0.50)	(0.36)	0.59
SB-5 P-1	C・D-8	0.40	0.35	0.16
SB-5 P-2	D-8	0.60	0.35	0.26
SB-5 P-3	D-8	0.38	0.31	0.10
SB-5 P-4	D-8	0.59	0.52	0.52
SB-5 P-5	D-8	0.52	0.44	0.51
SB-5 P-6	D-8	0.44	0.42	0.49
SB-5 P-7	E-8	0.48	0.47	0.57
SB-5 P-8	E-8	(0.53)	0.48	0.51
SB-5 P-9	E-8	(0.73)	(0.23)	0.43
SB-5 P-10	E-8	(0.47)	(0.31)	0.72
SB-5 P-11	E-8	0.46	0.41	0.44
SB-5 P-12	E-8	0.58	0.48	0.59
SB-5 P-13	E-8	0.52	0.49	0.53
SB-5 P-14	E-8	0.53	0.44	0.53

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-5 P-15	E-8	0.63	0.48	0.64
SB-5 P-16	D-8	0.64	0.58	0.53
SB-5 P-17	D-8	0.54	0.54	0.52
SB-5 P-18	D-8	0.54	0.49	0.53
SB-5 P-19	D-8	0.41	0.37	0.63
SB-5 P-20	D-8	0.47	0.42	0.26
SB-5 P-21	D-8	0.60	0.43	0.24
SB-6 P-1	E-9	0.39	0.35	0.23
SB-6 P-2	E-9	0.74	0.50	0.36
SB-6 P-3	E-9	0.43	0.42	0.40
SB-6 P-4	E-9	0.62	0.53	0.21
SB-6 P-5	E-9	0.54	0.45	0.29
SB-6 P-6	E-9	0.38	0.26	0.26
SB-7 P-1	E-9	0.51	0.42	0.16
SB-7 P-2	E-9	0.38	0.32	0.06
SB-7 P-3	E-9	0.37	0.35	0.16
SB-7 P-4	E-9	0.33	0.31	0.04
SB-7 P-5	E-9	0.49	0.44	0.31
SB-7 P-6	E-9	0.48	0.48	0.21
SB-7 P-7	E-9	0.48	0.46	0.14

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SB-7 P-8	E-9	0.48	0.37	0.34
SB-7 P-9	E-9	0.60	0.41	0.14
SB-7 P-10	E-9	0.72	0.46	0.38
SB-7 P-11	E-9	0.37	0.33	0.34
SB-7 P-12	E-9	0.48	0.44	0.25
SB-8 P-1	C-8	0.50	(0.33)	0.41
SB-8 P-2	D-8	0.49	0.42	0.46
SB-8 P-3	D-8	0.52	0.52	0.18
SB-8 P-4	D-8	0.38	0.36	0.15
SB-8 P-5	D-8	0.49	0.36	0.26
SB-8 P-6	D-8	0.50	0.49	0.31
SB-8 P-7	D-8	0.44	0.41	0.30
SB-8 P-8	D-8	0.38	0.38	0.02
SB-8 P-9	D-8	0.44	0.40	0.19
SB-9 P-1	B-10・11	(0.70)	0.56	0.78
SB-9 P-2	B-10	0.56	0.48	0.80
SB-9 P-3	B-10	(0.63)	(0.28)	0.62
SB-9 P-4	B-10	(0.64)	0.46	0.68
SB-9 P-5	A-10	0.46	0.43	0.65

第6表 川越城跡柵列跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SA-1 P-1	E-5	0.37	(0.36)	0.42
SA-1 P-2	E-5	0.68	0.35	0.29
SA-1 P-3	E-5	0.38	0.31	0.21
SA-1 P-4	E-5	0.38	(0.31)	0.26
SA-1 P-5	E-6	0.56	(0.39)	0.38
SA-1 P-6	E-6	0.43	0.33	0.55
SA-1 P-7	E-6	0.21	0.21	0.53
SA-2 P-1	D-8	0.53	0.46	0.56
SA-2 P-2	D-8	0.61	0.52	0.44
SA-2 P-3	D-8	0.55	0.50	0.39
SA-2 P-4	D-8	0.52	0.51	0.54
SA-2 P-5	D-9	0.70	0.62	0.65
SA-2 P-6	D-9	0.80	0.80	0.54
SA-2 P-7	D-9	0.55	0.54	0.76
SA-2 P-8	D-9	0.69	0.56	0.85
SA-3 P-1	E-7	0.45	0.40	0.65
SA-3 P-2	E-7	(0.32)	0.24	0.34
SA-3 P-3	E-7	0.25	(0.14)	0.37
SA-3 P-4	E-7	0.54	(0.48)	0.70
SA-3 P-5	D-7	0.50	(0.37)	0.68
SA-4 P-1	E-8	0.46	(0.35)	0.38
SA-4 P-2	E-8	0.55	0.41	0.43
SA-4 P-3	E-8	0.35	0.30	0.58
SA-4 P-4	E-8	0.38	0.37	0.30
SA-4 P-5	D-8	0.34	0.32	0.39
SA-4 P-6	D-8	0.34	0.33	0.38
SA-4 P-7	D-8	0.46	0.36	0.23
SA-5 P-1	E-8	0.66	0.54	0.40

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
SA-5 P-2	E-8	(0.54)	(0.38)	0.12
SA-5 P-3	E-8	0.84	0.43	0.55
SA-5 P-4	E-8	(0.80)	0.57	0.68
SA-5 P-5	E-8	0.63	0.52	0.74
SA-6 P-1	E-8	0.28	0.24	0.19
SA-6 P-2	E-8	0.39	0.39	0.32
SA-6 P-3	D・E-8	0.46	0.40	0.08
SA-6 P-4	D-8	0.30	(0.26)	0.21
SA-7 P-1	E-9	(0.24)	(0.12)	0.03
SA-7 P-2	E-9	0.62	0.50	0.65
SA-7 P-3	E-9	0.40	0.28	0.31
SA-7 P-4	E-9	0.48	0.39	0.56
SA-7 P-5	E-9	0.46	0.42	0.33
SA-7 P-6	E-9	0.74	0.68	0.66
SA-7 P-7	D-9	0.72	0.66	0.44
SA-7 P-8	D-9	0.50	0.46	0.23
SA-7 P-9	D-9	0.64	0.63	0.80
SA-7 P-10	C-9	0.60	0.44	0.56
SA-8 P-1	E-9	0.44	0.42	0.17
SA-8 P-2	E-9	0.64	0.40	0.13
SA-8 P-3	E-9	0.38	(0.24)	0.04
SA-8 P-4	E-9	0.35	0.34	0.08
SA-8 P-5	E-9	0.52	(0.31)	0.17
SA-11 P-1	H-4	0.20	0.19	0.08
SA-11 P-2	H-4	0.19	0.19	0.15
SA-11 P-3	H-5	0.38	0.35	0.32
SA-11 P-4	H-4	0.25	0.21	0.18
SA-11 P-5	H-4	0.14	0.11	0.08

第7表 川越城跡竪穴状遺構一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S I - 1	D - 5	(0.70)	(0.53)	0.79
S I - 2	D - 5	(0.82)	(0.78)	0.31
S I - 3	D - 5	(2.02)	(0.66)	0.48
S I - 4	E - 6	(1.92)	(1.18)	0.29
S I - 5	B - 10	2.66	(1.72)	0.64

第8表 川越城跡地下式墳跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S L - 1	D - 7・8	4.00	1.70	2.07
S L - 2	D - 7	3.20	2.56	0.77
S L - 3	F - 7	(0.80)	(0.73)	1.27
S L - 4	F・G - 4	2.30	1.87	1.21

第9表 川越城跡土墳一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S K - 1	D - 5	(0.41)	(0.22)	0.45
S K - 2	D - 5	(0.44)	(0.37)	0.22
S K - 3	D - 5	(0.54)	(0.40)	0.30
S K - 4	D - 5	(0.42)	(0.38)	0.18
S K - 5	D - 5	0.78	0.57	0.44
S K - 6	D - 5	(0.63)	0.46	0.08
S K - 7	D - 5	0.64	0.42	0.53
S K - 8	D - 5	0.48	0.42	0.30
S K - 9	D - 5	(0.54)	0.56	0.07
S K - 10	D - 5	1.01	0.90	0.20
S K - 11	D - 5	1.00	(0.58)	0.15
S K - 12	D - 5	0.43	(0.35)	0.28
S K - 13	E - 5	0.64	0.52	0.35
S K - 14	E - 5	(0.60)	(0.28)	0.70
S K - 15	E - 5	0.65	0.56	0.26
S K - 16	E - 5	0.40	0.29	0.08
S K - 17	E - 5	(0.48)	0.30	0.16
S K - 18	E - 5	0.98	0.83	0.28
S K - 19	E - 5	1.15	0.68	0.14
S K - 20	E - 5	0.78	(0.60)	0.28
S K - 21	E - 5	0.59	(0.57)	0.07
S K - 22	E - 5	0.65	0.45	0.18
S K - 23	E - 5	0.59	0.35	0.39
S K - 24	E - 5	0.92	0.68	0.31
S K - 25	E - 5	(1.06)	(0.66)	0.26
S K - 26	E - 5	1.16	0.94	0.38
S K - 27	E - 5	2.52	1.77	0.43
S K - 28	E - 5	0.97	(0.51)	0.38
S K - 29	E - 5	(2.18)	(1.02)	0.26
S K - 30	E - 5	1.26	0.95	0.17
S K - 31	E - 5	1.88	1.59	0.40
S K - 32	E - 6	1.42	1.05	0.32
S K - 33	E - 6	1.68	1.66	0.64
S K - 34	E - 6	1.05	0.94	0.23
S K - 35	E - 6	(1.29)	(0.42)	0.48
S K - 36	E - 6	(0.79)	0.68	0.10
S K - 37	E - 6	(0.92)	0.87	0.32

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S K - 38	E - 6	0.88	0.78	1.22
S K - 39	E - 6	0.70	0.57	0.16
S K - 40	E - 6	0.97	0.93	0.34
S K - 41	E - 6	(1.05)	0.79	0.24
S K - 42	E - 6	(0.92)	(0.64)	0.24
S K - 43	E - 6	(0.48)	0.45	0.10
S K - 44	E - 6	0.94	0.83	0.18
S K - 45	E - 5・6	1.02	0.78	0.55
S K - 46	F - 6	0.62	0.48	0.18
S K - 47	D - 7	0.60	(0.36)	0.17
S K - 48	D - 7	1.33	(0.92)	0.28
S K - 49	D - 7	(1.60)	0.65	0.33
S K - 50	E - 7	2.56	(2.08)	0.15
S K - 51	E - 7・8	3.58	2.12	0.65
S K - 52	E - 7	0.91	0.76	0.55
S K - 53	E - 7	4.15	1.61	0.30
S K - 54	E - 7	3.10	(2.64)	0.18
S K - 55	E - 7	1.90	1.09	0.22
S K - 56	E - 7	1.32	0.66	0.32
S K - 57	E - 7	2.15	1.43	0.20
S K - 58	E - 7	0.78	0.53	0.14
S K - 59	E - 7	0.42	0.38	0.26
S K - 60	E - 7	0.54	(0.36)	0.05
S K - 61	E - 7	(0.95)	(0.46)	0.14
S K - 62	E - 7	0.72	(0.62)	0.17
S K - 63	E - 7	(1.58)	1.23	0.17
S K - 64	D - 8	0.82	0.66	0.58
S K - 65	D - 8	(1.60)	(1.30)	0.18
S K - 66	E - 8	(1.97)	1.18	0.15
S K - 67	E - 8	1.92	1.37	0.76
S K - 68	E - 8	0.70	0.65	0.90
S K - 69	E - 8	1.20	1.03	1.04
S K - 70	E - 7・8	1.54	1.37	0.16
S K - 71	E - 8	1.08	0.80	0.59
S K - 72	E - 8	(1.50)	(1.00)	0.12
S K - 73	E - 8	1.70	0.68	0.46
S K - 74	E - 8	(1.03)	0.90	0.14
S K - 75	E - 8	(1.05)	(0.87)	0.30
S K - 76	E - 8	1.24	(0.48)	0.17
S K - 77	E - 8	1.08	0.78	0.28
S K - 78	E - 8	0.83	0.50	0.27
S K - 79	E - 8	(0.65)	(0.20)	0.15
S K - 80	E - 8	1.60	(0.73)	0.18
S K - 81	D - 9	2.16	1.95	0.76
S K - 82	E - 9	3.50	2.32	0.32
S K - 83	E - 8・9	1.81	(1.38)	1.60
S K - 84	E - 9	1.38	1.10	1.08
S K - 85	E - 8・9	(0.88)	0.43	0.18
S K - 86	E - 9	0.87	0.61	0.20
S K - 87	E - 9	0.66	0.44	0.14
S K - 88	E - 9	0.78	0.72	0.80
S K - 89	E - 9	(1.37)	(1.00)	0.08

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S K - 90	E - 9	(2.87)	(0.91)	0.17
S K - 91	E - 9	(1.55)	1.02	0.20
S K - 92	E - 9	0.82	0.57	0.14
S K - 93	E - 9	1.33	0.83	0.34
S K - 94	E - 9	1.06	0.82	0.17
S K - 95	E - 9	0.61	0.52	0.20
S K - 96	A - 10	(0.88)	(0.62)	0.39
S K - 97	A - 10	(0.98)	0.93	0.34
S K - 98	B - 10	(0.69)	0.48	0.17
S K - 99	B - 10	(0.55)	(0.52)	0.15
S K - 100	B - 10	1.09	0.95	0.28
S K - 101	E - 10	0.80	(0.56)	0.18
S K - 103	H・I - 4	(1.03)	0.84	0.14
S K - 104	H・I - 4	1.18	0.58	0.17
S K - 105	H - 4	(0.96)	(0.62)	0.13
S K - 106	I - 5	(0.70)	(0.21)	0.13
S K - 107	G - 4	0.86	0.82	0.59
S K - 108	G - 4	1.12	(1.10)	0.25
S K - 109	G - 3・4	1.04	(0.62)	0.10
S K - 110	G - 3	(0.92)	(0.40)	0.20
S K - 111	G - 3	1.10	(0.59)	0.33
S K - 112	G - 3	1.09	(0.76)	0.24
S K - 113	H - 4	0.50	(0.40)	0.14
S K - 114	G - 4	0.78	0.56	0.38
S K - 115	F・G - 4	1.38	1.35	0.24
S K - 116	F - 3	0.96	0.75	0.20
S K - 117	F - 3	0.91	0.89	0.36
S K - 118	F - 4	1.16	0.76	0.52
S K - 119	F - 4	0.84	(0.76)	0.48
S K - 120	F - 3	(0.49)	(0.37)	0.21
S K - 121	F - 4	1.93	1.02	0.44
S K - 122	F - 4	1.28	1.02	0.09
S K - 123	F - 4	(0.52)	(0.16)	0.23
S K - 124	F - 4	1.06	(0.63)	0.19
S K - 125	F - 4	(2.35)	(1.14)	0.46
S K - 126	F - 4	(0.76)	0.68	0.20
S K - 127	F - 3	(0.74)	0.71	0.34
S K - 128	F - 3	1.00	0.66	0.10
S K - 129	G - 3	0.81	0.79	0.18
S K - 130	E・F - 6	1.20	(0.85)	0.16

第 13 表 川越城跡廃棄遺構一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S X - 1	E - 5・6	(7.25)	(2.15)	0.68
S X - 2	E・F - 5・6	(7.30)	6.50	0.90
S X - 3	E - 6	(4.70)	1.80	0.70
S X - 4	D - 10	(7.00)	(2.95)	0.88
S X - 5	D - 10	(2.58)	(1.35)	0.37

第 10 表 川越城跡井戸跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
S E - 1	D - 5	1.06	(0.51)	(0.48)
S E - 2	E - 6	0.75	0.70	(1.85)
S E - 3	D - 7	1.26	(0.69)	(1.43)
S E - 4	D - 7	(1.49)	(0.80)	(1.15)
S E - 5	D - 8	1.14	1.10	(2.40)
S E - 6	D - 8	1.52	(0.81)	(1.40)
S E - 7	E - 6	2.48	(1.77)	(2.56)
S E - 8	C - 10	1.25	(0.96)	(2.53)
S E - 9	C - 10	(1.35)	(0.83)	0.92
S E - 10	F - 4	1.52	1.47	2.90
S E - 11	F - 4	(1.14)	(0.67)	0.92
S E - 12	G - 3	1.60	1.48	1.64

第 11 表 川越城跡堀跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	幅(m)
S Z - 1	B～F - 10	10.59	1.11
S Z - 2	D・E - 10・11		
S Z - 3	J - 7・8		
S Z - 4	F～J - 10		

第 12 表 川越城跡溝跡一覧表

番 号	位 置	長径(m)	幅(m)
S D - 1	D - 5	(1.00)	0.56
S D - 2	E - 5	6.60	0.55
S D - 3	E - 5・6	10.15	0.57
S D - 4	E - 5	(5.70)	0.48
S D - 5	E - 5・6F - 6・7	24.00	1.92
S D - 6	E - 6・7	5.60	0.40
S D - 7	F - 6	(1.34)	0.80
S D - 8	F - 6・7	8.70	0.32
S D - 9	D・E - 7	15.20	1.04
S D - 10	E・F - 7	(5.40)	0.72
S D - 11	D・E - 7	(4.30)	0.36
S D - 12	E - 7	(4.36)	0.56
S D - 13	D・E - 7	(3.38)	0.40
S D - 14	C・D・E - 9	8.00	0.72
S D - 15	D・E - 9	(4.20)	0.48
S D - 16	D・E - 9	(9.60)	0.32
S D - 17	E - 9	(8.30)	0.56
S D - 18	E - 9	(2.10)	0.72
S D - 19	A・B - 10	(9.40)	0.50
S D - 20	F - 10	(1.77)	0.92
S D - 21	F - 4	(3.09)	0.76
S D - 22	F - 3・4	(1.70)	0.40
S D - 23	F - 3・4	(5.05)	0.24
S D - 24	F - 3	(3.18)	0.44
S D - 25	F - 3	(2.16)	0.45
S D - 26	F - 3	(2.10)	0.25

第 14 表 川越城跡ピット一覧表

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
A10-P1	A-10	(0.66)	(0.34)	0.13
A10-P2	A-10	(0.28)	(0.19)	0.08
A10-P3	A-10	0.55	(0.49)	0.06
A10-P4	A-10	0.36	0.36	0.32
A10-P5	A-10	0.11	(0.08)	0.02
A10-P6	A-10	(0.13)	(0.09)	0.06
A10-P7	A-10	0.17	0.14	0.08
A10-P8	A-10	(0.11)	0.10	0.07
A10-P9	A-10	0.25	0.16	0.08
A10-P10	A-10	0.28	0.26	0.08
A10-P11	A-10	0.63	(0.49)	0.11
A10-P12	A-10	0.29	0.25	0.21
A10-P13	A-10	0.26	0.21	0.03
A10-P14	A-10	0.27	0.19	0.09
A10-P15	A-10	0.20	0.18	0.15
A10-P16	A-10	0.55	0.47	0.10
A10-P17	A-10	(0.15)	0.12	0.07
A10-P18	A-10	0.24	0.22	0.07
A10-P19	A-10	(0.17)	0.13	0.09
A10-P20	A-10	0.31	0.16	0.05
A10-P21	A-10	(0.16)	0.13	0.04
A10-P22	A-10	(0.17)	(0.15)	0.09
A10-P23	A-10	(0.34)	(0.15)	0.31

B10-P1	B-10	(0.23)	(0.13)	0.16
B10-P2	B-10	0.31	(0.27)	0.64
B10-P3	B-10	0.34	0.32	0.17
B10-P4	B-10	0.68	0.53	0.64
B10-P5	B-10	0.54	(0.39)	0.12
B10-P6	B-10	0.48	0.42	0.51
B10-P7	B-10	(0.39)	0.24	0.19
B10-P8	B-10	0.48	(0.18)	0.27
B10-P9	B-10	0.37	0.35	0.17
B10-P10	B-10	0.32	0.30	0.34
B10-P11	B-10	0.26	0.26	0.21
B10-P12	B-10	0.41	0.33	0.29
B10-P13	B-10	0.24	(0.17)	0.63
B10-P14	B-10	0.25	0.22	0.22
B10-P15	B-10	0.34	0.33	0.34
B10-P16	B-10	0.71	0.32	0.22
B10-P17	B-10	(0.12)	0.10	0.10
B10-P18	B-10	0.16	0.13	0.09
B10-P19	B-10	0.34	0.33	0.10
B10-P20	B-10	0.51	0.51	0.05
B10-P21	B-10	(0.41)	0.34	0.30
B10-P22	B-10	0.10	0.08	0.25
B10-P23	B-10	0.17	0.13	0.09
B10-P24	B-10	0.12	0.11	0.05
B10-P25	B-10	(0.18)	(0.10)	0.09

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
B10-P26	B-10	0.13	0.13	0.08
C8-P1	C-8	(0.36)	(0.20)	0.02
C8-P2	C-8	0.28	0.27	0.04
C8-P3	C-8	0.34	0.30	0.10
C8-P4	C-8	0.40	0.24	0.04
C9-P1	C-9	0.40	0.22	0.10
C9-P2	C-9	0.16	0.15	0.05
C9-P3	C-9	(0.45)	(0.21)	0.57
C9-P4	C・D-9	0.30	0.29	0.27
C9-P5	C-9	0.31	0.25	0.41
C9-P6	C-9	0.26	0.22	0.16
C9-P7	C-9	0.60	0.40	0.11
C9-P8	C-9	0.37	(0.26)	0.07
C9-P9	C・D-9	0.22	0.21	0.58
C9-P10	C-9	0.24	0.24	0.09
C9-P11	C-9	0.32	0.30	0.52
C9-P12	C-9	(0.80)	0.22	0.09
C9-P13	C-9	0.23	0.22	0.07
C9-P14	C-9	0.39	0.17	0.08
C9-P15	C-9	0.36	0.28	0.12
C9-P16	C・D-9	0.52	0.47	0.73
C9-P17	C-9	0.45	0.44	0.36
C9-P18	C-9	0.67	0.54	0.13
C9-P19	C-9	0.35	0.23	0.13
C9-P20	C-9	(0.26)	0.17	0.11
C9-P21	C-9	0.30	0.27	0.17
C9-P22	C・D-9	0.36	(0.17)	0.12

C10-P1	C-10	0.33	(0.25)	0.10
C10-P2	C-10	(0.64)	0.44	0.10
C10-P3	C-10	0.16	0.13	0.08
C10-P4	C-10	0.14	0.12	0.08
C10-P5	C-10	0.16	0.15	0.03
C10-P6	C-10	0.11	0.09	0.05
C10-P7	C-10	0.28	0.24	0.11
C10-P8	C-10	0.22	0.16	0.08
C10-P9	C-10	0.12	(0.08)	0.16
C10-P10	C-10	(0.51)	(0.19)	0.15
C10-P11	C-10	0.37	0.24	0.13
C10-P12	C-10	0.28	0.27	0.42
C10-P13	C-10	0.34	(0.09)	0.06
C10-P14	C-10	0.29	0.26	0.07
C10-P15	C-10	0.33	0.32	0.16
C10-P16	C-10	(0.47)	0.23	0.08
C10-P17	C-10	0.46	0.35	0.09
C10-P18	C-10	0.22	0.11	0.16
C10-P19	C-10	0.27	0.24	0.14

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
C10-P20	C-10	(0.19)	(0.17)	0.06
C10-P21	C-10	0.26	0.25	0.16
C10-P22	C-10	0.20	0.16	0.04

D5-P1	D-5	0.24	0.20	0.32
D5-P2	D-5	0.30	0.26	0.71
D5-P3	D-5	0.41	(0.30)	0.61
D5-P4	D-5	(0.40)	0.34	0.53
D5-P5	D-5	0.26	0.21	0.44
D5-P6	D-5	0.35	0.31	0.32
D5-P7	D-5	0.36	0.23	0.21
D5-P8	D-5	0.30	(0.29)	0.35
D5-P9	D-5	0.23	(0.17)	0.19
D5-P10	D-5	0.31	0.25	0.59
D5-P11	D-5	0.26	0.22	0.25
D5-P12	D-5	0.27	(0.18)	0.51
D5-P13	D-5	0.42	0.29	-
D5-P14	D-5	0.37	0.34	0.93
D5-P15	D-5	0.22	0.21	0.32
D5-P16	D-5	0.23	0.21	0.15
D5-P17	D-5	0.15	0.12	0.14
D5-P18	D-5	0.09	0.09	0.12
D5-P19	D-5	(0.27)	(0.22)	0.26
D5-P20	D-5	0.32	0.21	0.27
D5-P21	D-5	0.38	0.25	0.69
D5-P22	D-5	(0.22)	(0.09)	-
D5-P23	D-5	0.28	(0.24)	0.05
D5-P24	D-5	0.42	0.28	0.05
D5-P25	D-5	0.25	(0.22)	0.14
D5-P26	D-5	0.32	0.22	0.28
D5-P27	D-5	0.24	0.22	0.27
D5-P28	D-5	0.30	(0.27)	0.16
D5-P29	D-5	0.35	0.30	0.13
D5-P30	D-5	0.24	(0.12)	0.41
D5-P31	D-5	0.30	0.29	0.77
D5-P32	D-5	(0.44)	(0.08)	0.07
D5-P33	D-5	0.28	(0.22)	0.52
D5-P34	D-5	0.24	(0.17)	0.39
D5-P35	D-5	0.16	0.14	0.27
D5-P36	D-5	0.14	0.13	0.16
D5-P37	D-5	0.16	0.16	0.16
D5-P38	D-5	0.26	(0.20)	-
D5-P39	D-5	0.27	0.22	0.09
D5-P40	D-5	(0.23)	(0.18)	0.21
D5-P41	D-5	0.30	0.19	0.26
D5-P42	D-5	0.26	0.26	0.27
D5-P43	D-5	0.35	0.34	0.47
D5-P44	D-5	0.22	0.22	0.37

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D7-P1	D-7	0.37	0.25	0.13
D7-P2	D-7	0.43	0.28	0.31
D7-P3	D-7	0.32	0.25	0.30
D7-P4	D-7	0.50	0.45	0.08
D7-P5	D-7	0.28	0.23	0.05
D7-P6	D-7	0.24	0.22	0.10
D7-P7	D-7	0.17	0.16	0.08
D7-P8	D-7	0.32	0.22	0.08
D7-P9	D-7	(0.24)	(0.16)	0.11
D7-P10	D-7	0.40	(0.34)	0.20
D7-P11	D-7	(0.24)	0.24	0.09
D7-P12	D-7	(0.33)	(0.18)	0.15
D7-P13	D-7	0.65	0.58	0.72
D7-P14	D-7	0.34	0.20	0.07
D7-P15	D-7	(0.12)	(0.07)	0.04
D7-P16	D-7	0.34	0.32	0.18
D7-P17	D-7	0.24	0.20	0.38
D7-P18	D-7	0.26	0.25	0.35
D7-P19	D-7	0.34	(0.22)	0.31
D7-P20	D-7	0.41	0.34	0.19
D7-P21	D-7	0.22	0.21	0.16
D7-P22	D-7	0.20	0.18	0.34
D7-P23	D-7	(0.41)	(0.27)	0.21
D7-P24	D-7	0.35	0.32	0.56
D7-P25	D-7	(0.23)	0.19	0.04
D7-P26	D-7	(0.38)	(0.20)	0.68
D7-P27	D-7	0.16	0.16	0.29
D7-P28	D-7	0.28	0.23	0.02
D7-P29	D-7	0.23	0.22	0.19
D7-P30	D・E-7	0.25	0.23	0.12
D7-P31	D-7	0.36	0.30	0.40
D7-P32	D-7	0.40	0.34	0.35
D7-P33	D-7	(0.26)	(0.23)	0.14
D7-P34	D-7	(0.28)	0.20	0.11
D7-P35	D-7	0.18	0.15	0.39
D7-P36	D・E-7	0.24	0.19	0.16
D7-P37	D-7	0.20	0.20	0.10
D7-P38	D-7	0.22	(0.16)	0.23
D7-P39	D-7	(0.34)	(0.16)	0.04
D7-P40	D-7	0.24	(0.18)	0.18
D7-P41	D-7	0.45	(0.28)	0.10
D7-P42	D-7	(0.55)	0.46	0.09
D7-P43	D-7	0.20	0.18	0.07
D7-P44	D-7・8	0.37	(0.29)	0.07
D7-P45	D-7	0.20	0.18	0.18
D7-P46	D-7	(0.19)	0.18	0.09
D7-P47	D-7	0.40	0.22	0.07
D7-P48	D-7	0.47	0.35	0.21
D7-P49	D-7	0.20	0.15	0.08

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D7-P50	D-7	0.32	0.26	0.12
D7-P51	D-7	0.24	0.22	0.15
D7-P52	D-7	0.43	0.28	0.36
D7-P53	D-7	0.26	0.18	0.18
D7-P54	D-7	0.30	0.28	0.19
D7-P55	D-7	0.30	0.25	0.13
D7-P56	D-7	0.59	(0.39)	0.12
D7-P57	D・E-7	0.50	0.35	0.09
D7-P58	D・E-7	0.39	0.30	0.23
D7-P59	D-7	0.24	0.24	0.08

D8-P1	D-8	0.40	0.37	0.05
D8-P2	D-8	0.45	0.23	0.07
D8-P3	D-8	0.36	0.23	0.10
D8-P4	D-8	0.20	0.18	0.22
D8-P5	D-8	0.23	0.21	0.04
D8-P6	D-8	(0.19)	0.19	0.27
D8-P7	D-8	0.38	0.29	0.29
D8-P8	D-8	0.23	0.21	0.12
D8-P9	D-8	0.22	0.20	0.03
D8-P10	D-8	0.30	0.26	0.08
D8-P11	D-8	0.23	(0.14)	0.04
D8-P12	D-8	0.23	0.16	0.05
D8-P13	D-8	0.26	0.17	0.10
D8-P14	D-8	(0.79)	(0.43)	0.07
D8-P15	D-8	0.50	0.40	0.19
D8-P16	D-8	0.24	0.22	0.09
D8-P17	D-8	0.21	0.16	0.12
D8-P18	D-8	0.22	0.19	0.05
D8-P19	D-8	(0.30)	0.18	0.07
D8-P20	D-8	0.17	0.15	0.32
D8-P21	D-8	0.38	0.35	0.10
D8-P22	D-8	0.19	0.18	0.12
D8-P23	D-8	0.37	0.22	0.06
D8-P24	D-8	0.25	0.23	0.05
D8-P25	D-8	0.32	(0.19)	0.19
D8-P26	D-8	(0.23)	(0.26)	0.21
D8-P27	D-8	0.44	0.40	0.45
D8-P28	D-8	0.38	0.33	0.19
D8-P29	D-8	0.38	0.32	0.51
D8-P30	D-8	(0.28)	(0.18)	0.33
D8-P31	D-8	0.54	(0.34)	0.13
D8-P32	D-8	0.20	0.20	0.11
D8-P33	D-8	0.75	(0.48)	0.55
D8-P34	D-8	0.89	0.61	0.64
D8-P35	D-8	0.42	0.40	0.72
D8-P36	D-8	0.22	0.20	0.36
D8-P37	D-7・8	0.18	0.17	0.15

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
D9-P1	D-9	0.52	0.48	0.34
D9-P2	D-9	0.25	0.23	0.38
D9-P3	C・D-9	(0.30)	0.31	0.30
D9-P4	D-9	0.32	0.22	0.41
D9-P5	D-9	0.64	(0.62)	0.43
D9-P6	D-9	0.26	0.24	0.53
D9-P7	D-9	0.36	0.26	0.63
D9-P8	D-9	0.37	0.32	0.46
D9-P9	D-9	0.44	0.32	0.29
D9-P10	D-9	0.15	0.15	0.14
D9-P11	D-9	0.18	0.16	0.14
D9-P12	D-9	0.18	0.16	0.17
D9-P13	D-9	0.46	0.42	0.48
D9-P14	D-9	0.88	0.42	0.03
D9-P15	D-9	0.42	0.42	0.35
D9-P16	D-9	0.40	0.38	0.64
D9-P17	D-9	0.39	0.34	0.24
D9-P18	D-9	0.11	0.10	0.07
D9-P19	C・D-9	(0.22)	0.08	0.04
D9-P20	D-9	(0.20)	0.14	0.04
D9-P21	D-9	(0.28)	0.16	0.17
D9-P22	D-9	0.25	0.18	0.17
D9-P23	D-9	0.23	0.19	0.25
D9-P24	D-9	0.34	0.31	0.08
D9-P25	D-9	0.42	0.27	0.09
D9-P26	D-9	0.27	0.24	0.27
D9-P27	D・E-9	(0.40)	(0.38)	0.11
D9-P28	D-9	0.24	0.23	-
D9-P29	D・E-9	(0.66)	0.53	0.28

D10-P1	D-10	0.27	0.23	0.14
D10-P2	D-10	0.32	0.22	0.29
D10-P3	D-10	0.36	(0.23)	0.36
D10-P4	D-10	0.33	0.27	0.31
D10-P5	D-10	0.23	0.18	0.06
D10-P6	D-10	0.39	0.36	0.24
D10-P7	D-10	0.27	0.18	0.09

E5-P1	E-5	(0.34)	0.32	0.44
E5-P2	E-5	0.55	0.49	0.41
E5-P3	E-5	0.19	(0.16)	0.57
E5-P4	E-5	0.35	0.24	0.31
E5-P5	E-5	0.31	0.25	0.39
E5-P6	E-5	0.36	0.34	0.54
E5-P7	E-5	0.22	0.20	0.45
E5-P8	E-5	0.22	0.22	0.29
E5-P9	E-5	0.41	0.37	0.41
E5-P10	E-5	0.26	0.25	0.54
E5-P11	E-5	0.40	0.22	0.37

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P12	E-5	0.41	0.32	0.20
E5-P13	E-5	0.51	0.46	0.49
E5-P14	E-5	(0.23)	0.23	0.11
E5-P15	E-5	0.36	0.18	0.39
E5-P16	E-5	0.40	0.25	0.39
E5-P17	E-5	0.26	(0.23)	0.59
E5-P18	E-5	0.30	0.30	0.49
E5-P19	E-5	0.20	0.20	0.22
E5-P20	E-5	0.43	0.36	0.20
E5-P21	E-5	(0.23)	(0.14)	0.22
E5-P22	E-5	0.42	0.38	0.37
E5-P23	E-5	0.24	0.24	0.64
E5-P24	E-5	0.26	0.22	0.39
E5-P25	E-5	0.34	0.27	0.35
E5-P26	E-5	0.63	0.55	0.16
E5-P27	E-5	0.31	0.30	0.75
E5-P28	E-5	(0.30)	0.13	0.38
E5-P29	E-5	0.35	(0.24)	0.31
E5-P30	E-5	0.32	0.26	0.39
E5-P31	E-5	(0.48)	0.26	0.32
E5-P32	E-5	(0.44)	(0.22)	0.11
E5-P33	E-5	0.27	0.18	0.42
E5-P34	E-5	0.26	0.22	0.33
E5-P35	E-5	0.20	(0.17)	0.24
E5-P36	E-5	0.43	0.42	0.50
E5-P37	E-5	0.40	0.35	0.18
E5-P38	E-5	0.10	0.09	0.47
E5-P39	E-5	0.30	(0.21)	0.60
E5-P40	E-5	(0.40)	(0.20)	0.15
E5-P41	E-5	0.41	0.40	0.61
E5-P42	E-5	0.28	0.25	0.06
E5-P43	E-5	0.18	0.17	0.11
E5-P44	E-5	0.21	0.19	0.32
E5-P45	E-5	0.20	0.18	0.31
E5-P46	E-5	0.27	0.25	0.31
E5-P47	E-5	0.38	0.35	0.35
E5-P48	E-5	0.38	0.35	0.43
E5-P49	E-5	0.25	0.22	0.05
E5-P50	E-5	0.23	0.21	-
E5-P51	E-5	0.46	0.28	0.33
E5-P52	E-5	0.32	0.26	0.07
E5-P53	E-5	0.47	0.33	0.40
E5-P54	E-5	0.31	0.21	0.80
E5-P55	E-5	0.28	0.24	0.34
E5-P56	E-5	0.19	0.18	0.58
E5-P57	E-5	0.38	(0.28)	0.12
E5-P58	E-5	0.38	0.27	0.12
E5-P59	E-5	0.24	0.22	0.16
E5-P60	E-5	0.26	0.22	0.31

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P61	E-5	0.56	0.35	0.20
E5-P62	E-5	0.19	0.12	0.30
E5-P63	E-5	0.40	0.38	0.27
E5-P64	E-5	0.34	0.23	0.35
E5-P65	E-5	0.39	0.39	0.32
E5-P66	E-5	0.23	0.21	0.24
E5-P67	E-5	(0.50)	(0.45)	0.12
E5-P68	E-5	0.38	(0.37)	0.25
E5-P69	E-5	0.34	0.28	0.60
E5-P70	E-5	0.16	0.15	0.24
E5-P71	E-5	0.25	0.23	0.15
E5-P72	E-5	0.25	0.23	0.20
E5-P73	E-5	0.22	0.16	0.24
E5-P74	E-5	0.30	0.26	0.17
E5-P75	E-5	0.34	0.30	0.15
E5-P76	E-5	0.15	0.12	0.08
E5-P77	E-5	0.31	0.24	0.15
E5-P78	E-5	0.24	0.17	0.13
E5-P79	E-5	0.38	0.34	0.58
E5-P80	E-5	0.56	(0.35)	0.45
E5-P81	E-5	0.25	0.23	0.13
E5-P82	E-5	(0.35)	0.16	0.19
E5-P83	E-5	0.18	0.18	0.33
E5-P84	E-5	0.34	0.32	0.42
E5-P85	E-5	0.29	0.28	0.36
E5-P86	E-5	0.28	0.24	0.43
E5-P87	E-5	0.30	0.29	0.52
E5-P88	E-5	0.29	0.28	0.57
E5-P89	E-5	0.29	0.29	0.15
E5-P90	E-5	0.45	0.23	0.32
E5-P91	E-5	0.20	0.18	0.13
E5-P92	E-5	0.25	0.22	0.35
E5-P93	E-5	0.25	0.16	0.21
E5-P94	E-5	0.42	0.33	0.16
E5-P95	E-5	0.33	(0.20)	0.38
E5-P96	E-5	(0.19)	(0.12)	0.17
E5-P97	E-5	(0.35)	(0.09)	0.21
E5-P98	E-5	0.45	(0.36)	0.49
E5-P99	E-5	0.30	0.25	0.19
E5-P100	E-5	0.39	0.36	0.71
E5-P101	E-5	0.40	0.31	0.59
E5-P102	E-5	0.34	0.30	0.13
E5-P103	E-5	0.33	0.26	0.32
E5-P104	E-5	0.23	(0.18)	0.37
E5-P105	E-5	0.33	0.24	0.45
E5-P106	E-5	(0.40)	(0.17)	0.21
E5-P107	E-5	0.10	(0.08)	0.07
E5-P108	E-5	0.27	(0.17)	0.21
E5-P109	E-5	0.42	(0.29)	0.41



番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P110	E-5	0.25	0.24	0.06
E5-P111	E-5	0.15	0.10	0.21
E5-P112	E-5	0.24	0.18	0.31
E5-P113	E-5	0.40	0.33	0.50
E5-P114	E-5	0.36	(0.32)	0.23
E5-P115	E-5	0.24	0.20	0.38
E5-P116	E-5	0.39	0.34	0.30
E5-P117	E-5	0.36	0.27	0.38
E5-P118	E-5	0.30	(0.16)	0.14
E5-P119	E-5	0.45	0.45	0.55
E5-P120	E-5	0.57	0.34	0.16
E5-P121	E-5	0.33	(0.30)	0.60
E5-P122	E-5	0.27	0.22	0.36
E5-P123	E-5	(0.24)	(0.16)	0.29
E5-P124	E-5	0.37	0.35	0.29
E5-P125	E-5	0.21	0.21	0.50
E5-P126	E-5	0.18	0.14	0.12
E5-P127	E-5	0.28	0.19	0.21
E5-P128	E-5	0.26	(0.13)	0.19
E5-P129	E-5	0.24	0.24	0.16
E5-P130	E-5	0.27	0.24	0.16
E5-P131	E-5	0.38	0.32	0.42
E5-P132	E-5	0.31	(0.23)	0.22
E5-P133	E-5	0.31	0.30	0.57
E5-P134	E-5	0.35	(0.28)	0.20
E5-P135	E-5	0.32	0.28	0.66
E5-P136	E-5	(0.21)	0.20	0.76
E5-P137	E-5	0.21	0.19	0.15
E5-P138	E-5	0.27	0.27	0.45
E5-P139	E-5	0.37	(0.14)	0.17
E5-P140	E-5	0.26	0.24	0.55
E5-P141	E-5	0.27	0.26	0.32
E5-P142	E-5	(0.27)	(0.15)	0.58
E5-P143	E-5	0.35	(0.23)	0.37
E5-P144	E-5	0.40	0.39	0.58
E5-P145	E-5	0.28	0.20	0.28
E5-P146	E-5	0.52	(0.28)	0.16
E5-P147	E-5	0.40	0.38	0.12
E5-P148	E-5	0.24	0.19	0.12
E5-P149	E-5	0.22	0.19	0.33
E5-P150	E-5	0.48	0.45	0.44
E5-P151	E-5	(0.22)	0.26	0.16
E5-P152	E-5	0.24	0.23	0.48
E5-P153	E-5	0.36	0.29	0.58
E5-P154	E-5	0.44	(0.34)	0.52
E5-P155	E-5	0.15	(0.10)	0.08
E5-P156	E-5	0.22	0.22	0.53
E5-P157	E-5	0.15	(0.10)	0.11
E5-P158	E-5	0.25	0.25	0.07

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P159	E-5	0.20	0.20	0.40
E5-P160	E-5	0.21	0.20	0.13
E5-P161	E-5	0.20	0.18	0.27
E5-P162	E-5	0.19	0.19	0.43
E5-P163	E-5	0.26	0.22	0.63
E5-P164	E-5	(0.31)	0.25	0.53
E5-P165	E-5	0.23	0.16	0.44
E5-P166	E-5	0.22	0.20	0.54
E5-P167	E-5	0.23	0.21	0.41
E5-P168	E-5	0.37	0.36	0.45
E5-P169	E-5	0.20	0.17	0.40
E5-P170	E-5	0.26	0.20	0.13
E5-P171	E-5	0.18	0.17	0.14
E5-P172	E-5	0.27	0.20	0.07
E5-P173	E-5	0.30	0.23	0.17
E5-P174	E-5	0.21	0.17	0.13
E5-P175	E-5	0.26	0.20	0.06
E5-P176	E-5	0.25	0.18	0.42
E5-P177	E-5	0.36	0.34	0.36
E5-P178	E-5	0.24	0.21	0.47
E5-P179	E-5	0.64	0.32	0.14
E5-P180	E-5	0.54	0.28	0.11
E5-P181	E-5	0.23	0.23	0.51
E5-P182	E-5	0.17	0.15	0.49
E5-P183	E-5	0.36	0.32	0.66
E5-P184	E-5	(0.27)	(0.10)	0.09
E5-P185	E-5	0.40	0.36	0.39
E5-P186	E-5	(0.19)	0.27	0.22
E5-P187	E-5	0.34	0.19	0.17
E5-P188	E-5	0.20	0.15	0.35
E5-P189	E-5	0.24	(0.15)	0.28
E5-P190	E-5	0.37	0.35	0.31
E5-P191	E-5	0.21	0.15	0.57
E5-P192	E-5	0.40	0.30	0.17
E5-P193	E-5	0.17	(0.12)	0.10
E5-P194	E-5	(0.18)	0.17	0.07
E5-P195	E-5	0.34	0.28	0.16
E5-P196	E-5	0.22	0.15	0.31
E5-P197	E-5	0.23	(0.14)	0.46
E5-P198	E-5	0.25	0.20	0.49
E5-P199	E-5	0.27	(0.21)	0.27
E5-P200	E-5	(0.44)	0.36	0.18
E5-P201	E-5	0.32	0.27	0.37
E5-P202	E-5	0.23	0.21	0.42
E5-P203	E-5	0.26	0.22	0.48
E5-P204	E-5	0.23	0.15	0.14
E5-P205	E-5	(0.26)	(0.15)	0.13
E5-P206	E-5	0.33	0.32	0.38
E5-P207	E-5	0.20	0.20	0.38

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E5-P208	E-5	0.22	(0.19)	0.11
E5-P209	E-5	(0.30)	0.25	0.14
E5-P210	E-5	0.28	(0.20)	0.46
E5-P211	E-5	0.37	0.34	0.73
E5-P212	E-5	0.30	0.29	0.25
E5-P213	E-5	0.25	0.22	0.18
E5-P214	E-5	0.51	0.46	0.22
E5-P215	E-5	0.33	0.25	0.57
E5-P216	E-5	0.17	0.14	0.21
E5-P217	E-5	0.30	0.30	0.10
E5-P218	E-5	0.36	0.35	0.45
E5-P219	E-5	0.28	0.14	0.30
E5-P220	E-5	0.50	0.46	0.60
E5-P221	E-5	0.34	0.32	0.43
E5-P222	E-5	(0.20)	(0.12)	0.19
E5-P223	E-5	0.22	0.19	0.08
E5-P224	E-5	1.00	0.56	0.09
E5-P225	E-5	0.28	0.28	0.30

E6-P1	E-6	(0.48)	(0.16)	-
E6-P2	E-6	0.26	0.16	0.31
E6-P3	E-6	0.55	(0.48)	0.18
E6-P4	E-6	0.46	0.30	0.11
E6-P5	E-5・6	0.50	0.50	-
E6-P6	E-6	0.27	0.24	0.35
E6-P7	E-6	(0.56)	0.53	0.19
E6-P8	E-6	0.27	(0.20)	0.14
E6-P9	E-6	0.28	(0.23)	0.06
E6-P10	E-6	0.58	0.27	0.55
E6-P11	E-6	0.54	(0.28)	0.25
E6-P12	E-6	(0.49)	0.46	0.15
E6-P13	E-6	0.52	0.42	0.27
E6-P14	E-6	0.32	0.28	0.45
E6-P15	E-6	0.25	0.22	0.29
E6-P16	E-6	0.22	0.19	0.17
E6-P17	E-6	0.19	0.18	0.11
E6-P18	E-6	0.26	0.24	0.23
E6-P19	E-6	0.27	0.27	0.12
E6-P20	E-6	0.31	0.27	0.47
E6-P21	E-6	0.26	0.22	0.18
E6-P22	E-6	0.51	(0.43)	0.10
E6-P23	E-6	0.27	(0.17)	0.06
E6-P24	E-6	0.28	0.22	0.12
E6-P25	E-6	0.36	0.24	0.17
E6-P26	E-6	0.34	0.31	0.33
E6-P27	E-6	0.44	0.34	0.21
E6-P28	E-6	0.38	(0.25)	0.28
E6-P29	E-6	0.30	0.24	0.18

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P31	E-6	0.46	0.44	0.94
E6-P32	E-6	0.40	0.40	0.19
E6-P33	E-6	0.54	0.33	0.12
E6-P34	E-6	0.22	0.20	0.18
E6-P35	E-6	0.44	0.35	0.29
E6-P36	E-6	0.37	0.36	0.17
E6-P37	E-6	0.32	0.30	0.11
E6-P38	E-6	0.42	0.36	0.36
E6-P39	E-6	0.36	0.32	0.38
E6-P40	E-6	0.38	(0.35)	0.28
E6-P41	E-6	0.26	(0.20)	0.92
E6-P42	E-6	0.31	(0.09)	0.23
E6-P43	E-6	0.32	(0.16)	0.38
E6-P44	E-6	0.42	0.31	0.48
E6-P45	E-6	0.29	(0.19)	0.48
E6-P46	E-6	0.39	0.31	0.10
E6-P47	E-6	0.20	0.20	0.16
E6-P48	E-6	(0.52)	(0.22)	0.57
E6-P49	E-6	0.28	0.25	0.33
E6-P50	E-6	0.38	0.34	0.20
E6-P51	E-6	(0.34)	0.38	0.27
E6-P52	E-6	0.21	0.20	0.36
E6-P53	E-6	0.13	0.12	0.09
E6-P54	E-6	0.23	0.21	0.11
E6-P55	E-6	0.31	(0.26)	0.05
E6-P56	E-6	0.23	0.18	0.22
E6-P57	E-6	0.30	0.26	0.27
E6-P58	E-6	0.20	0.19	0.21
E6-P59	E-6	(0.18)	0.21	0.08
E6-P60	E-6	0.32	0.21	0.09
E6-P61	E-6	(0.52)	0.33	0.08
E6-P62	E-6	0.33	0.33	0.58
E6-P63	E-6	0.26	0.26	0.29
E6-P64	E-6	0.50	0.46	0.60
E6-P65	E-6	0.45	(0.32)	0.15
E6-P66	E-6	0.33	0.29	0.22
E6-P67	E-6	0.45	0.33	0.28
E6-P68	E-6	(0.43)	(0.27)	0.13
E6-P69	E-6	(0.27)	0.23	0.27
E6-P70	E-6	(0.33)	0.37	0.32
E6-P71	E-6	0.49	0.42	0.25
E6-P72	E-6	(0.19)	(0.10)	0.10
E6-P73	E-6	(0.35)	0.34	0.42
E6-P74	E-6	0.30	0.30	0.11
E6-P75	E-6	(0.33)	(0.18)	0.22
E6-P76	E-6	0.31	0.27	0.24
E6-P77	E-6	(0.16)	0.19	0.20
E6-P78	E-6	0.34	0.29	0.57
E6-P79	E-6	0.19	0.18	0.06

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P80	E-6	0.21	0.20	0.28
E6-P81	E-6	0.26	0.26	0.06
E6-P82	E-6	0.29	0.24	0.51
E6-P83	E-6	0.27	0.22	0.17
E6-P84	E-6	0.17	0.16	0.23
E6-P85	E-6	0.33	0.28	0.23
E6-P86	E-6	0.38	0.25	0.48
E6-P87	E-6	0.19	0.18	0.27
E6-P88	E-6	(0.55)	0.42	0.14
E6-P89	E-6	0.30	0.26	0.43
E6-P90	E-6	0.30	0.27	0.33
E6-P91	E-6	0.30	0.24	0.77
E6-P92	E-6	0.64	0.47	0.28
E6-P93	E-6	0.22	0.22	0.54
E6-P94	E-6	0.19	0.18	0.18
E6-P95	E-6	0.50	0.47	0.25
E6-P96	E-6	0.25	0.22	0.70
E6-P97	E-6	0.28	0.24	0.47
E6-P98	E-6	0.26	0.25	0.22
E6-P99	E-6	0.30	(0.20)	0.22
E6-P100	E-6	0.26	0.24	0.15
E6-P101	E-6	0.25	0.25	0.19
E6-P102	E-6	(0.34)	0.34	0.27
E6-P103	E-6	0.19	0.18	0.07
E6-P104	E-6	0.27	0.20	0.23
E6-P105	E-6	(0.23)	0.25	0.55
E6-P106	E-6	0.40	0.28	0.54
E6-P107	E-6	0.42	(0.25)	0.15
E6-P108	E-5・6	0.24	0.17	0.27
E6-P109	E-6	0.18	0.13	0.13
E6-P110	E-6	0.27	0.26	0.17
E6-P111	E-6	0.16	0.15	0.05
E6-P112	E-6	0.34	0.34	0.25
E6-P113	E-6	0.23	0.21	0.15
E6-P114	E-6	0.24	0.22	0.22
E6-P115	E-6	(0.20)	0.22	0.07
E6-P116	E-6	0.30	0.23	0.07
E6-P117	E-6	0.34	0.30	0.57
E6-P118	E-6	(0.28)	(0.25)	0.10
E6-P119	E-6	0.30	(0.27)	0.09
E6-P120	E-6	0.26	0.26	0.31
E6-P121	E-6	0.13	0.13	0.27
E6-P122	E-6	0.49	0.48	0.54
E6-P123	E-6	0.14	0.12	0.09
E6-P124	E-6	0.45	(0.34)	0.12
E6-P125	E-6	0.20	0.17	0.13
E6-P126	E-6	0.42	(0.28)	0.06
E6-P127	E-6	0.14	0.11	0.09
E6-P128	E-6	0.42	(0.28)	0.32

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P129	E-6	0.33	0.27	0.25
E6-P130	E-6	0.18	0.17	0.09
E6-P131	E-6	0.45	0.36	0.28
E6-P132	E-6	0.70	(0.65)	0.10
E6-P133	E-6	0.38	(0.20)	0.39
E6-P134	E-6	0.38	0.31	0.52
E6-P135	E-6	0.41	(0.34)	0.26
E6-P136	E-6	0.40	0.24	0.37
E6-P137	E-6	0.40	0.36	0.17
E6-P138	E-6	0.28	0.27	0.32
E6-P139	E-6	0.22	0.19	0.16
E6-P140	E-6	0.35	(0.18)	0.10
E6-P141	E-6	0.52	0.42	0.49
E6-P142	E-6	0.29	0.25	0.33
E6-P143	E-6	0.33	0.24	0.21
E6-P144	E-6	0.21	0.20	0.11
E6-P145	E-6	0.31	0.21	0.04
E6-P146	E-6	0.29	(0.18)	0.02
E6-P147	E-6	0.28	0.19	0.47
E6-P148	E-6	0.34	0.28	0.46
E6-P149	E-6	0.31	(0.11)	0.34
E6-P150	E-6	0.31	(0.15)	0.20
E6-P151	E-6	0.58	0.47	0.70
E6-P152	E-6・7	(0.37)	0.37	0.15
E6-P153	E-6	0.36	0.36	0.08
E6-P154	E-6	(0.62)	(0.36)	0.06
E6-P155	E-6	0.38	0.36	0.17
E6-P156	E-6	0.19	0.19	0.11
E6-P157	E-6	0.28	0.23	0.23
E6-P158	E-6	0.38	0.34	0.25
E6-P159	E-6	0.28	0.26	0.25
E6-P160	E-6	0.30	0.24	0.19
E6-P161	E-6	(0.25)	(0.14)	0.06
E6-P162	E-6	(0.24)	0.23	0.20
E6-P163	E-6	0.42	0.39	0.26
E6-P164	E-6	(0.47)	(0.42)	0.16
E6-P165	E-6	(0.30)	(0.14)	0.17
E6-P166	E-6	(0.36)	0.27	0.12
E6-P167	E-6	0.23	0.16	0.30
E6-P168	E-6	0.50	(0.40)	0.72
E6-P169	E-6	0.54	(0.40)	0.36
E6-P170	E-6	0.19	0.18	0.20
E6-P171	E-6	0.24	0.21	0.37
E6-P172	E-6	0.50	0.48	0.26
E6-P173	E-6	0.44	(0.38)	0.25
E6-P174	E-6	0.13	0.13	0.08
E6-P175	E-6	0.40	0.39	0.30
E6-P176	E-6・7	0.41	0.35	0.47
E6-P177	E-6	0.36	0.28	0.40

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E6-P178	E-6・7	0.33	(0.16)	0.29
E6-P179	E-6	0.17	0.17	0.07

E7-P1	E-7	0.36	0.22	0.19
E7-P2	E-7	0.33	0.20	0.27
E7-P3	E-7	0.33	0.28	0.15
E7-P4	E-7	0.21	(0.13)	0.05
E7-P5	E-7	0.30	0.24	0.14
E7-P6	E-7	0.36	0.29	0.17
E7-P7	E-7	0.34	0.25	0.17
E7-P8	E-7	0.27	0.24	0.22
E7-P9	E-7	0.12	0.08	0.04
E7-P10	E-7	0.20	0.16	0.08
E7-P11	E-7	0.54	0.48	0.25
E7-P12	E-7	0.33	0.24	0.32
E7-P13	E-7	0.54	0.37	0.40
E7-P14	D・E-7	0.19	0.18	0.29
E7-P15	E-7	0.26	0.21	0.30
E7-P16	E-7	(0.56)	0.45	0.35
E7-P17	E-7	0.39	0.32	0.58
E7-P18	E-7	0.49	0.38	0.24
E7-P19	E-7	0.46	0.46	0.46
E7-P20	E-7	0.26	0.23	0.10
E7-P21	E-7	0.16	(0.11)	0.09
E7-P22	E-7	0.34	0.34	0.40
E7-P23	E-7	0.23	0.21	0.08
E7-P24	E-7	0.29	0.26	0.10
E7-P25	E-7	0.40	0.23	0.11
E7-P26	E-7	0.22	0.19	0.07
E7-P27	E-7	0.16	(0.12)	0.07
E7-P28	E-7	0.22	0.19	0.08
E7-P29	E-7	0.27	0.22	0.12
E7-P30	E-7	0.44	0.31	0.68
E7-P31	E-7	0.63	0.39	0.46
E7-P32	E-7	0.40	0.31	0.22
E7-P33	E-7	(0.29)	(0.28)	0.11
E7-P34	E-7	0.27	0.24	0.30
E7-P35	E-7	0.21	0.18	0.15
E7-P36	E-7	0.22	(0.15)	—
E7-P37	E-7	0.20	0.20	0.23
E7-P38	E-7	0.53	0.51	0.08
E7-P39	E-7	0.24	0.23	0.13
E7-P40	E-7	0.25	0.25	0.10
E7-P41	E-7	0.37	0.21	0.04
E7-P42	E-7	0.51	0.34	0.17
E7-P43	E-7	0.34	(0.22)	0.12
E7-P44	E-7	0.36	0.25	0.59
E7-P45	E-7	0.32	0.23	0.17
E7-P46	E-7	0.12	0.12	0.21

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E7-P47	E-7	0.40	0.32	0.11
E7-P48	E-7	0.35	(0.27)	0.06
E7-P49	E-7	0.30	0.24	0.27
E7-P50	E-7	(0.48)	0.35	0.22
E7-P51	E-7	0.23	0.23	0.38
E7-P52	E-7	0.23	(0.14)	0.26
E7-P53	E-7	0.36	0.34	0.15
E7-P54	E-7	0.30	(0.26)	0.13
E7-P55	E-7	0.33	0.28	0.29
E7-P56	E-7	(0.30)	0.29	0.18
E7-P57	E-7	0.37	0.30	0.26
E7-P58	E-7	0.33	0.26	0.05
E7-P59	E-7	(0.26)	0.24	0.04
E7-P60	E-7	0.25	0.18	0.14
E7-P61	E-7	0.28	0.21	0.11
E7-P62	E-7	(0.36)	(0.25)	0.12
E7-P63	E-7	(0.25)	(0.11)	0.12
E7-P64	E-7	0.25	(0.17)	0.05
E7-P65	E-7	0.42	(0.26)	0.07
E7-P66	E-7	(0.36)	(0.16)	0.19
E7-P67	E-7	0.42	0.25	0.06
E7-P68	E-7	0.36	0.31	0.17
E7-P69	E-6・7	0.38	0.29	0.19
E7-P70	E-7	0.25	0.20	0.14
E7-P71	E-7	0.23	0.16	0.13
E7-P72	E-7	0.34	0.30	0.29
E7-P73	E-7	0.36	0.32	0.16
E7-P74	E-7	0.37	0.36	0.16
E7-P75	E-7	0.30	0.25	0.19
E7-P76	E-7	(0.37)	(0.16)	0.09
E7-P77	E-7	0.40	0.34	0.17
E7-P78	E-7	0.24	0.14	0.07
E7-P79	E-7	0.39	0.20	0.09
E7-P80	E-7	0.28	(0.18)	0.31
E7-P81	E-7	0.49	(0.39)	0.03
E7-P82	E-7	0.36	0.27	0.62
E7-P83	E-7	0.44	0.40	0.35
E7-P84	E-7	0.23	0.16	0.31
E7-P85	E-7	0.22	0.22	0.13
E7-P86	E-7	0.52	0.44	0.10
E7-P87	E-7	0.20	0.18	0.26
E7-P88	E-7	0.31	0.18	0.09
E7-P89	E-7	0.34	0.20	0.10
E7-P90	E-7	0.38	0.33	0.10
E7-P91	E-7	0.42	0.39	0.60
E7-P92	E-7	0.39	0.29	0.42
E7-P93	E-7	(0.30)	(0.22)	0.23
E7-P94	E-7	0.35	0.35	0.24
E7-P95	E-7	0.14	0.12	0.07

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E7-P96	E-7	0.19	0.18	0.07
E7-P97	E-7	(0.38)	0.32	0.64
E7-P98	E-7	0.24	(0.16)	0.24
E7-P99	E-7	0.46	(0.34)	0.34
E7-P100	E-7	(0.27)	0.23	0.13
E7-P101	E-7	0.36	0.23	0.33
E7-P102	E-7	0.27	0.26	0.11
E7-P103	E-7	(0.36)	0.38	0.18
E7-P104	E-7	0.29	0.22	0.22
E7-P105	E-7	0.44	(0.35)	0.52
E7-P106	E-7・8	0.56	0.41	0.33
E7-P107	E-7	0.57	0.48	0.41
E7-P108	E-7	0.46	0.42	0.42
E7-P109	E-7	0.23	(0.15)	0.22
E7-P110	E-7	0.30	0.27	0.25
E7-P111	E-7	0.18	0.16	0.05
E7-P112	E-7	0.22	0.21	0.07
E7-P113	E-7	0.40	0.36	0.31
E7-P114	E-7	0.27	0.24	0.10
E7-P115	E-7	(0.30)	(0.26)	0.21
E7-P116	E-7	(0.38)	0.38	0.30
E7-P117	E-7	0.25	0.24	0.18
E7-P118	E-7	0.20	0.17	0.10
E7-P119	E-7	0.19	0.17	0.13
E7-P120	E-7	0.29	0.21	0.12
E7-P121	E-7	(0.24)	0.23	0.46
E7-P122	E-7	0.22	0.21	0.43
E7-P123	E-7	0.58	(0.45)	0.18
E7-P124	E-7	0.46	0.34	0.21
E7-P125	E-7	0.29	0.25	0.38
E7-P126	E-7	0.34	0.33	0.18
E7-P127	E-7	0.25	0.19	0.08
E7-P128	E-7	0.41	0.40	0.38
E7-P129	E-7	0.27	0.14	0.07
E7-P130	E-7	0.55	0.42	0.47
E7-P131	E-7	0.22	0.20	0.25
E7-P132	E-7	0.18	0.12	0.07
E7-P133	E-7	0.25	0.23	0.05
E7-P134	E-7	0.35	0.25	0.17
E7-P135	E-7	(0.27)	0.23	0.40
E7-P136	E-7	0.34	0.28	0.19
E7-P137	E-7	0.30	0.22	0.11
E7-P138	E-7	0.27	0.20	0.12
E7-P139	E-7	0.23	0.22	0.29
E7-P140	E-7	(0.26)	(0.08)	0.11
E7-P141	E-7	0.42	0.30	0.39
E7-P142	E-7	(0.12)	0.08	0.24
E7-P143	E-7	0.26	0.22	0.48
E7-P144	E-7	0.38	0.27	0.08

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E7-P145	E-7	0.14	0.13	0.09
E7-P146	E-7	0.51	0.45	0.39
E7-P147	E-7	0.60	0.57	0.10
E7-P148	E-7	0.24	0.16	0.05
E7-P149	E-7	0.25	0.23	0.06
E7-P150	E-7	0.16	0.16	0.11
E7-P151	E-7	0.20	(0.11)	0.10
E7-P152	E-7	0.18	0.17	0.01
E7-P153	E-7	0.43	0.28	0.10
E7-P154	E-7	0.25	0.23	0.04
E7-P155	E-7	0.08	0.05	0.04
E7-P156	E-7	0.07	0.06	0.04
E7-P157	E-7	0.28	0.22	0.04
E7-P158	E-7	0.26	0.18	0.20
E7-P159	E-7	(0.32)	0.31	0.11
E7-P160	E-7	0.11	0.09	0.07
E7-P161	E-7	0.38	(0.34)	0.24
E7-P162	E-7	0.30	0.25	0.33
E7-P163	E-7	0.28	(0.26)	0.37
E7-P164	E-7	0.19	0.18	0.08
E7-P165	E-7	0.33	0.27	0.26
E7-P166	E-7	(0.27)	(0.19)	0.17
E7-P167	E-7	0.21	0.16	0.22
E7-P168	E-7	0.26	0.22	0.31
E7-P169	E-7	(0.22)	(0.07)	0.11
E7-P170	E-7	0.13	0.13	0.05
E7-P171	E-7	(0.36)	(0.31)	0.20

E8-P1	E-8	0.27	0.26	0.10
E8-P2	E-8	0.16	0.15	0.16
E8-P3	E-8	0.28	0.21	0.17
E8-P4	E-8	0.35	0.31	0.17
E8-P5	E-8	(0.74)	(0.32)	0.13
E8-P6	E-8	0.28	0.21	0.01
E8-P7	E-8	0.40	0.32	0.06
E8-P8	E-8	0.23	0.23	0.02
E8-P9	E-8	0.31	(0.22)	0.05
E8-P10	E-8	0.24	0.21	0.19
E8-P11	E-8	0.32	0.28	0.34
E8-P12	E-8	0.20	0.18	0.42
E8-P13	E-8	(0.34)	0.34	0.26
E8-P14	E-8	0.26	0.25	0.30
E8-P15	E-8	0.25	0.15	0.17
E8-P16	E-8	0.28	(0.12)	0.06
E8-P17	E-8	0.38	(0.30)	0.45
E8-P18	E-8	0.22	0.16	0.11
E8-P19	E-8	0.19	0.18	0.09
E8-P20	E-8	0.55	0.38	0.76
E8-P21	E-8	0.28	(0.18)	0.28

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P22	E-8	0.32	0.30	0.46
E8-P23	E-8	0.35	(0.28)	0.32
E8-P24	E-8	0.28	0.23	0.40
E8-P25	E-8	0.30	(0.14)	0.26
E8-P26	E-8	0.29	(0.26)	0.25
E8-P27	E-8	(0.24)	(0.14)	0.16
E8-P28	E-8	0.32	(0.24)	0.41
E8-P29	E-8	0.20	(0.17)	0.29
E8-P30	E-8	0.30	0.24	0.41
E8-P31	E-8	0.35	(0.25)	0.50
E8-P32	E-8	(0.40)	(0.24)	0.21
E8-P33	E-8	0.32	0.26	0.40
E8-P34	E-8	0.24	0.24	0.11
E8-P35	E-8	0.25	0.17	0.22
E8-P36	E-8	0.30	0.19	0.11
E8-P37	E-8・9	0.38	0.25	0.29
E8-P38	E-8・9	0.58	0.48	0.16
E8-P39	E-8	0.26	(0.14)	0.28
E8-P40	E-8	0.26	0.21	0.40
E8-P41	E-8・9	0.35	0.29	0.49
E8-P42	E-8	0.21	(0.18)	0.13
E8-P43	E-8	0.22	0.22	0.23
E8-P44	E-8	0.24	0.20	0.33
E8-P45	E-8	0.24	(0.15)	0.21
E8-P46	E-8	0.39	0.30	0.42
E8-P47	E-8	0.52	(0.36)	0.20
E8-P48	E-8	0.28	0.23	0.33
E8-P49	E-8	(0.43)	0.27	0.08
E8-P50	E-8	0.52	0.41	0.82
E8-P51	E-8	(0.20)	(0.08)	0.14
E8-P52	E-8	0.20	0.15	0.15
E8-P53	E-8	0.27	0.18	0.14
E8-P54	E-8	(0.35)	(0.20)	0.37
E8-P55	E-8	0.41	0.36	0.59
E8-P56	E-8	0.24	0.18	0.14
E8-P57	E-8	0.23	0.21	0.11
E8-P58	E-8	0.26	0.21	0.12
E8-P59	E-8	0.44	(0.24)	0.38
E8-P60	E-8	0.40	0.22	0.45
E8-P61	E-8	0.15	0.11	0.04
E8-P62	E-8	0.26	0.15	0.06
E8-P63	E-8	0.18	0.14	0.11
E8-P64	E-8	0.21	0.18	0.12
E8-P65	E-8	0.17	0.14	0.21
E8-P66	E-8	0.18	(0.06)	0.12
E8-P67	E-8	0.30	0.28	0.23
E8-P68	E-8	0.55	0.50	0.15
E8-P69	E-8	0.33	0.32	0.16
E8-P70	E-8	0.32	0.25	0.25

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P71	E-8	(0.32)	0.31	0.46
E8-P72	E-8	0.27	0.21	0.06
E8-P73	E-8	0.43	0.38	0.10
E8-P74	E-8	(0.48)	0.40	0.47
E8-P75	E-8	0.41	0.30	0.25
E8-P76	E-8	0.28	0.25	0.19
E8-P77	E-8	0.30	0.22	0.23
E8-P78	E-7・8	0.44	0.38	0.22
E8-P79	E-7・8	0.16	0.12	0.09
E8-P80	E-8	0.45	0.35	0.37
E8-P81	E-8	(0.32)	(0.18)	0.23
E8-P82	E-8	0.33	0.21	0.10
E8-P83	E-8	0.28	0.22	0.09
E8-P84	E-8	0.28	0.25	0.15
E8-P85	E-8	0.31	0.31	0.10
E8-P86	E-8	0.27	0.24	0.28
E8-P87	E-8	0.41	0.37	0.16
E8-P88	E-8	0.50	0.43	0.13
E8-P89	E-8	0.33	(0.18)	0.31
E8-P90	E-8	(0.40)	(0.14)	0.37
E8-P91	E-8	0.22	0.19	0.22
E8-P92	E-8	0.23	0.17	0.22
E8-P93	E-8	0.26	0.16	0.29
E8-P94	E-8	0.12	0.10	0.14
E8-P95	E-8	0.44	0.41	0.07
E8-P96	E-8	0.34	0.33	0.22
E8-P97	E-8	(0.30)	(0.12)	0.08
E8-P98	E-8	0.30	0.30	0.07
E8-P99	E-8・9	0.16	0.16	0.05
E8-P100	E-8・9	0.31	0.24	0.53
E8-P101	E-8	(0.30)	(0.11)	0.32
E8-P102	E-8	0.32	0.26	0.55
E8-P103	E-8	(0.28)	(0.24)	0.26
E8-P104	E-8	(0.48)	0.37	0.30
E8-P105	E-8	0.36	0.33	0.33
E8-P106	E-8	0.23	0.21	0.33
E8-P107	E-8	0.18	0.18	0.21
E8-P108	E-8	0.58	(0.28)	0.23
E8-P109	E-8	0.45	(0.22)	0.37
E8-P110	E-8	(0.32)	(0.16)	0.52
E8-P111	E-8	0.18	0.16	0.18
E8-P112	E-8	0.18	0.16	0.17
E8-P113	E-8	(0.60)	(0.34)	0.13
E8-P114	E-8	0.34	(0.19)	0.17
E8-P115	E-8	(0.42)	(0.20)	0.28
E8-P116	E-8	0.55	(0.50)	0.33
E8-P117	E-8	(0.36)	(0.33)	0.36
E8-P118	E-8	0.39	0.34	0.19
E8-P119	E-8	0.47	0.35	0.47

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E8-P120	E-8	0.40	0.33	0.27
E8-P121	E-8	0.45	0.31	0.45
E8-P122	E-8	0.33	0.28	0.10
E8-P123	E-8	0.39	0.29	0.35
E8-P124	E-8	0.33	0.27	0.35

E9-P1	E-9	0.23	0.16	0.13
E9-P2	E-9	0.24	(0.21)	0.24
E9-P3	E-9	0.25	0.24	0.50
E9-P4	E-9	0.42	0.35	0.23
E9-P5	E-9	0.25	0.20	0.24
E9-P6	E-9	0.10	0.08	0.37
E9-P7	E-9	0.28	0.26	0.30
E9-P8	E-9	0.22	0.20	0.21
E9-P9	E-9	(0.24)	0.22	0.47
E9-P10	E-9	0.30	0.20	0.04
E9-P11	E-9	0.33	0.18	0.11
E9-P12	E-9	(0.24)	0.24	0.13
E9-P13	E-9	0.36	0.32	0.52
E9-P14	E-9	(0.40)	0.25	0.14
E9-P15	E-9	(0.64)	0.55	0.10
E9-P16	E-9	0.48	(0.36)	0.27
E9-P17	E-9	0.17	0.12	0.09
E9-P18	E-9	0.31	0.30	0.50
E9-P19	E-9	(0.54)	0.54	0.29
E9-P20	E-9	(0.43)	(0.25)	0.25
E9-P21	E-9	(0.41)	(0.34)	0.31
E9-P22	E-9	0.18	0.16	0.26
E9-P23	E-9	0.19	0.18	0.17
E9-P24	E-9	0.36	0.30	0.30
E9-P25	E-9	0.29	0.24	0.18
E9-P26	E-9	0.13	0.12	0.06
E9-P27	E-9	0.27	(0.25)	0.29
E9-P28	E-9	0.44	0.33	0.41
E9-P29	E-8・9	0.24	0.21	0.16
E9-P30	E-9	0.24	0.23	0.13
E9-P31	E-9	0.12	0.11	0.14
E9-P32	E-9	(0.20)	(0.17)	0.09
E9-P33	E-9	(0.26)	0.24	0.10
E9-P34	E-9	0.30	0.24	0.28
E9-P35	E-9	0.29	0.27	0.09
E9-P36	E-9	(0.55)	(0.32)	0.10
E9-P37	E-9	0.62	0.48	0.21
E9-P38	E-9	0.24	0.20	0.22
E9-P39	E-9	(0.20)	0.18	0.06
E9-P40	E-9	0.37	(0.20)	0.11
E9-P41	E-9	(0.38)	(0.26)	0.53
E9-P42	E-9	0.34	(0.25)	0.35
E9-P43	E-9	(0.29)	(0.21)	0.35

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
E9-P44	E-9	(0.36)	(0.35)	0.31
E9-P45	E-9	0.42	(0.11)	0.16
E9-P46	E-9	0.62	0.38	0.40
E9-P47	E-9	0.24	0.24	0.20
E9-P48	E-9	0.59	(0.13)	0.26
E9-P49	E-9	0.64	0.46	0.37
E9-P50	E-9	0.53	(0.33)	0.16
E9-P51	E-9	0.28	0.25	0.10
E9-P52	E-9	0.37	0.29	0.07
E9-P53	E-9	0.46	0.40	0.16
E9-P54	E-9	0.32	(0.30)	0.15
E9-P55	E-9	0.35	0.25	0.12
E9-P56	E-9	0.29	0.25	0.08
E9-P57	E-9	0.46	0.39	0.37
E9-P58	E-9	0.45	0.34	0.17
E9-P59	E-9	0.55	0.26	0.10
E9-P60	E-9	0.64	0.29	0.06
E9-P61	E-9	0.28	0.27	0.09
E9-P62	E-9	0.24	0.21	0.03
E9-P63	E-9	0.46	0.32	0.06
E9-P64	E-9	(0.46)	0.37	0.16
E9-P65	E-9	0.47	(0.34)	0.37
E9-P66	E-9	0.48	0.40	0.46
E9-P67	E-9	0.35	0.30	0.47
E9-P68	E-9	0.64	0.59	0.18
E9-P69	E-9・10	0.44	0.40	0.63
E9-P70	E-9	0.17	0.16	0.11
E9-P71	E-9	0.70	0.50	0.42
E9-P72	E-9	0.28	0.24	0.05
E9-P73	E-9	0.28	0.26	0.06
E9-P74	E-9	(0.23)	0.27	0.05
E9-P75	E-9	0.42	0.35	0.18
E9-P76	E-9	0.27	0.25	0.07
E9-P77	E-9	0.50	0.49	0.44
E9-P78	E-9	0.64	0.58	0.27
E9-P79	E-9	0.19	0.17	0.10
E9-P80	E-9	0.37	0.29	0.08
E9-P81	E-9	0.44	0.42	0.11
E9-P82	E-8・9	(0.65)	0.42	0.19

E10-P1	E-10	0.59	0.47	0.33
E10-P2	E-10	0.32	0.26	0.23
E10-P3	E-10	0.38	0.22	0.13
E10-P4	E-10	0.27	0.24	0.31
E10-P5	E-10	0.34	0.27	0.16
E10-P6	E-10	0.35	(0.30)	0.36

F6-P1	F-6	0.24	0.22	0.41
F6-P2	F-6	0.33	0.25	0.07

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F6-P3	F-6	0.30	(0.19)	0.18
F6-P4	F-6	0.18	0.15	0.10
F6-P5	F-6	0.16	(0.10)	0.07
F6-P6	F-6	(0.21)	0.20	0.23
F6-P7	F-6	0.26	0.21	0.11
F6-P8	F-6	0.18	0.18	0.13
F6-P9	F-6	0.34	0.25	0.29
F6-P10	F-6	0.10	0.09	0.18
F6-P11	F-6	0.26	0.17	0.24
F6-P12	F-6	0.28	0.11	0.10
F6-P13	F-6	0.32	0.19	0.12
F6-P14	F-6	0.25	0.22	0.24
F6-P15	F-6	(0.34)	(0.09)	0.34
F6-P16	F-6	0.22	0.22	0.25
F6-P17	F-6	0.20	0.15	0.13
F6-P18	F-6	0.23	0.12	0.06
F6-P19	F-6	0.20	0.20	0.10
F6-P20	F-6	0.19	0.16	0.06
F6-P21	F-6	(0.33)	(0.13)	0.21
F6-P22	F-6・7	0.45	0.36	0.28
F6-P23	F-6	0.12	0.12	0.14
F6-P24	F-6	0.19	0.18	0.22
F6-P25	F-6	0.29	0.21	0.20

F7-P1	F-7	0.36	0.30	0.29
F7-P2	F-7	0.29	0.20	0.05
F7-P3	F-7	0.34	0.25	0.07
F7-P4	F-7	0.55	0.43	0.05
F7-P5	F-7	(0.20)	(0.16)	0.08
F7-P6	F-7	0.22	0.21	0.31

F3-P1	F-3	0.16	0.15	0.26
F3-P2	F-3	0.24	0.20	0.10
F3-P3	F-3	0.30	0.23	0.15
F3-P4	F-3	0.22	0.17	0.25
F3-P5	F-3	0.41	(0.28)	0.48
F3-P6	F-3	0.29	0.24	0.54
F3-P7	F-3	0.31	0.28	0.40
F3-P8	F-3	0.27	0.24	0.22
F3-P9	F-3	0.20	0.19	0.17
F3-P10	F-3	(0.23)	0.21	0.16
F3-P11	F-3	(0.30)	0.22	0.19
F3-P12	F-3	(0.18)	(0.11)	0.14
F3-P13	F-3	0.28	0.27	0.25
F3-P14	F-3	0.34	(0.28)	0.42
F3-P15	F-3	0.14	(0.11)	0.34
F3-P16	F-3	0.20	(0.19)	0.13
F3-P17	F-3	0.20	0.17	0.16
F3-P18	F-3	0.22	0.20	0.41

F3-P19	F-3	0.75	0.36	0.10
F3-P20	F-3	0.16	0.14	0.11
F3-P21	F-3	0.21	0.19	0.12
F3-P22	F-3	0.20	0.20	0.28
F3-P23	F-3	0.34	0.33	0.35
F3-P24	F-3	0.28	(0.21)	0.24
F3-P25	F-3	0.28	(0.27)	0.12
F3-P26	F-3	0.31	0.29	0.35
F3-P27	F-3	0.16	0.14	0.16
F3-P28	F-3	0.50	0.38	0.58
F3-P29	F-3	0.35	(0.21)	0.21
F3-P30	F-3	(0.34)	(0.30)	0.43
F3-P31	F-3	(0.21)	(0.10)	0.36
F3-P32	F-3	(0.38)	(0.26)	0.42
F3-P33	F-3	(0.49)	0.36	0.18
F3-P34	F-3	0.44	(0.36)	0.41
F3-P35	F-3	0.48	0.20	0.45
F3-P36	F-3	0.80	0.73	0.47
F3-P37	F-3	0.23	0.20	0.10
F3-P38	F-3	0.62	(0.23)	0.28
F3-P39	F-3	(0.42)	(0.31)	0.27
F3-P40	F-3	0.22	0.20	0.31
F3-P41	F-3	0.47	0.30	0.42
F3-P42	F-3	(0.24)	(0.15)	0.37
F3-P43	F-3	0.33	0.30	0.59
F3-P44	F-3	0.37	0.29	0.22
F3-P45	F-3	0.29	0.27	0.25
F3-P46	F-3	0.32	0.31	0.29
F3-P47	F-3	0.32	0.32	0.62
F3-P48	F-3	0.34	(0.24)	0.19
F3-P49	F-3	0.27	(0.15)	0.22
F3-P50	F-3	0.36	0.34	0.12
F3-P51	F-3	(0.30)	0.22	0.56
F3-P52	F-3	0.24	0.18	0.17
F3-P53	F-3	(0.22)	0.15	0.26
F3-P54	F-3	0.24	0.23	0.31
F3-P55	F-3	0.32	0.28	0.50
F3-P56	F-3	0.25	(0.16)	0.39
F3-P57	F-3	0.33	0.31	0.53
F3-P58	F-3	0.18	0.18	0.24
F3-P59	F-3	0.28	(0.24)	0.17
F3-P60	F-3	0.28	(0.26)	0.35
F3-P61	F-3	0.18	0.14	0.30
F3-P62	F-3	0.18	0.12	0.25
F3-P63	F-3	0.30	(0.24)	0.20
F3-P64	F-3	0.22	(0.20)	0.21
F3-P65	F-3	0.30	(0.26)	0.22
F3-P66	F-3	0.25	0.25	0.16
F3-P67	F-3	(0.38)	0.32	0.12



番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F3-P68	F-3	0.45	(0.39)	0.33
F3-P69	F-3	0.44	(0.33)	0.36
F3-P70	F-3	0.36	0.18	0.23
F3-P71	F-3	0.31	0.22	0.29
F3-P72	F-3	0.31	(0.20)	0.18
F3-P73	F-3	0.22	0.15	0.21
F3-P74	F-3	(0.38)	(0.22)	0.16
F3-P75	F-3	0.34	0.26	0.43
F3-P76	F-3	0.25	(0.22)	0.10
F3-P77	F-3	0.32	0.25	0.37
F3-P78	F-3	(0.31)	0.23	0.11
F3-P79	F-3	0.35	0.32	0.21
F3-P80	F-3	0.23	0.19	0.24
F3-P81	F-3	0.20	0.20	0.18
F3-P82	F-3	0.31	0.26	0.12
F3-P83	F-3	(0.44)	0.24	0.11
F3-P84	F-3	0.27	0.22	0.25
F3-P85	F-3	(0.30)	0.33	0.07
F3-P86	F-3	0.44	0.35	0.09
F3-P87	F-3	(0.25)	(0.21)	0.18
F3-P88	F-3	0.24	0.24	0.33
F3-P89	F-3	(0.32)	0.30	0.26
F3-P90	F-3	0.37	(0.36)	0.15
F3-P91	F-3	0.30	0.25	0.30
F3-P92	F-3	0.27	0.25	0.20
F3-P93	F-3	0.24	0.24	0.12
F3-P94	F-3	0.28	0.22	0.29
F3-P95	F-3	0.42	0.38	0.52
F3-P96	F-3	(0.22)	(0.08)	0.10
F3-P97	F-3	(0.12)	0.23	0.14
F3-P98	F-3	0.39	0.32	0.29
F3-P99	F-3	0.36	0.29	0.12
F3-P100	F-3	0.66	0.41	0.10
F3-P101	F-3	0.37	0.37	0.44
F3-P102	F-3	(0.60)	0.42	0.39
F3-P103	F-3	0.32	0.26	0.52
F3-P104	F-3	(0.34)	(0.29)	0.43
F3-P105	F-3	0.22	0.14	0.47
F3-P106	F-3	0.31	0.26	0.10
F3-P107	F-3	0.24	0.16	0.28
F3-P108	F-3	0.33	0.32	0.15
F3-P109	F-3	(0.16)	0.17	0.19
F3-P110	F-3	0.50	0.44	0.39
F3-P111	F-3	0.25	(0.17)	0.15
F3-P112	F-3	0.22	0.21	0.25
F3-P113	F-3	0.38	0.34	0.37
F3-P114	F-3	0.38	0.29	0.10
F3-P115	F-3	0.23	0.22	0.14
F3-P116	F-3	(0.15)	0.17	0.14

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F3-P117	F-3	0.15	0.14	0.26
F3-P118	F-3	(0.30)	0.24	0.06
F3-P119	F-3	0.20	0.19	0.04
F3-P120	F-3	0.29	0.27	0.18
F3-P121	F-3	0.23	0.21	0.14
F3-P122	F-3	0.13	0.13	0.30
F3-P123	F-3	0.22	(0.15)	0.25
F3-P124	F-3	0.28	0.24	0.08
F3-P125	F-3	0.40	0.28	0.33
F3-P126	F-3	0.43	0.32	0.23
F3-P127	F-3	(0.25)	0.27	0.33
F3-P128	F-3	(0.44)	(0.26)	0.31
F3-P129	F-3	(0.22)	(0.17)	0.26
F3-P130	F-3	0.28	(0.21)	0.21
F3-P131	F-3	0.38	(0.23)	0.35
F3-P132	F-3	0.21	(0.20)	0.24
F3-P133	F-3	0.26	0.20	0.24
F3-P134	F-3	0.30	0.23	0.10
F3-P135	F-3	(0.20)	0.20	0.31
F3-P136	F-3	0.22	0.18	0.33
F3-P137	F-3	0.38	0.24	0.50
F3-P138	F-3	0.33	0.24	0.28
F3-P139	F-3	0.26	0.25	0.30
F3-P140	F-3	0.25	0.25	0.18
F3-P141	F-3	0.29	0.23	0.16
F3-P142	F-3	0.30	(0.20)	0.12
F3-P143	F-3	0.47	0.29	0.51
F3-P144	F-3	0.27	0.18	0.28
F3-P145	F-3	0.30	0.23	0.18
F3-P146	F-3	0.24	0.19	0.34
F3-P147	F-3	0.26	0.15	0.23
F3-P148	F-3	(0.27)	0.29	0.29

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P1	F-4	0.22	0.16	0.08
F4-P2	F-4	0.28	0.20	0.20
F4-P3	F-4	0.24	0.22	0.18
F4-P4	F-4	0.26	0.21	0.27
F4-P5	F-4	0.21	0.21	0.23
F4-P6	F-4	0.39	0.26	0.52
F4-P7	F-4	0.23	0.20	0.17
F4-P8	F-4	(0.36)	0.22	0.29
F4-P9	F-4	0.34	0.34	0.32
F4-P10	F-4	0.38	0.29	0.25
F4-P11	F-4	0.33	0.30	0.30
F4-P12	F-4	0.23	0.19	0.25
F4-P13	F-4	0.58	0.51	0.52
F4-P14	F-4	(0.44)	(0.25)	0.32
F4-P15	F-4	0.27	(0.24)	0.08
F4-P16	F-4	0.12	0.12	0.02

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P17	F-4	0.27	0.26	0.10
F4-P18	F-4	0.22	0.21	0.19
F4-P19	F-4	0.27	(0.21)	0.41
F4-P20	F-4	0.31	0.28	0.27
F4-P21	F-4	0.29	0.19	0.04
F4-P22	F-4	0.36	0.22	0.22
F4-P23	F-4	0.25	0.19	0.55
F4-P24	F-4	0.27	0.26	0.37
F4-P25	F-4	0.24	0.19	0.48
F4-P26	F-4	0.32	0.31	0.28
F4-P27	F-4	0.22	0.07	0.60
F4-P28	F-4	0.32	0.30	0.53
F4-P29	F-4	0.25	(0.10)	0.38
F4-P30	F-4	0.26	0.22	0.48
F4-P31	F-4	0.23	0.19	0.43
F4-P32	F-4	0.30	0.25	0.41
F4-P33	F-4	(0.29)	(0.11)	0.28
F4-P34	F-4	0.30	(0.23)	0.19
F4-P35	F-4	0.32	(0.16)	0.22
F4-P36	F-4	0.28	0.21	0.24
F4-P37	F-4	0.44	0.28	0.42
F4-P38	F-4	0.31	0.24	0.51
F4-P39	F-4	0.29	(0.21)	0.44
F4-P40	F-4	0.25	0.22	0.12
F4-P41	F-4	(0.31)	(0.19)	0.50
F4-P42	F-4	0.36	(0.22)	0.49
F4-P43	F-4	(0.20)	(0.19)	0.48
F4-P44	F-4	0.37	0.24	0.47
F4-P45	F-4	0.42	0.33	0.67
F4-P46	F-4	(0.35)	0.46	0.23
F4-P47	F-4	0.26	0.23	0.17
F4-P48	F-4	0.21	0.18	0.24
F4-P49	F-4	0.25	0.20	0.21
F4-P50	F-4	(0.25)	0.22	0.05
F4-P51	F-4	0.26	(0.21)	0.28
F4-P52	F-4	0.26	0.26	0.50
F4-P53	F-4	0.36	(0.23)	0.25
F4-P54	F-4	0.40	0.34	0.82
F4-P55	F-4	(0.21)	0.20	0.31
F4-P56	F-4	0.28	0.18	0.10
F4-P57	F-4	0.48	0.38	0.19
F4-P58	F-4	0.19	(0.18)	0.05
F4-P59	F-4	0.26	0.22	0.14
F4-P60	F-4	0.48	(0.37)	0.27
F4-P61	F-4	(0.36)	0.28	0.24
F4-P62	F-4	(0.46)	0.49	0.21
F4-P63	F-4	0.61	0.57	0.35
F4-P64	F-4	0.34	0.30	0.16
F4-P65	F-4	0.35	0.18	0.17

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P66	F-4	(0.23)	(0.19)	0.13
F4-P67	F-4	(0.31)	0.20	0.21
F4-P68	F-4	0.31	0.26	0.25
F4-P69	F-4	0.25	0.24	0.04
F4-P70	F-4	0.30	0.25	0.55
F4-P71	F-4	0.26	0.26	0.78
F4-P72	F-4	0.28	0.23	0.37
F4-P73	F-4	0.38	0.34	0.32
F4-P74	F-4	0.28	(0.24)	0.23
F4-P75	F-4	0.27	0.26	0.47
F4-P76	F-4	0.42	0.35	0.08
F4-P77	F-4	0.18	0.18	0.05
F4-P78	F-4	0.23	0.21	0.17
F4-P79	F-4	0.38	0.34	0.42
F4-P80	F-4	0.34	0.27	0.32
F4-P81	F-4	0.20	0.17	0.66
F4-P82	F-4	0.23	(0.18)	0.40
F4-P83	F-4	0.22	(0.14)	0.33
F4-P84	F-4	(0.31)	(0.25)	0.21
F4-P85	F-4	0.32	0.24	0.50
F4-P86	F-4	0.33	(0.23)	0.33
F4-P87	F-4	(0.19)	(0.13)	0.15
F4-P88	F-4	0.50	(0.33)	0.59
F4-P89	F-4	0.48	(0.29)	0.23
F4-P90	F-4	(0.20)	(0.20)	0.17
F4-P91	F-4	(0.28)	(0.18)	0.23
F4-P92	F-4	0.64	(0.54)	0.63
F4-P93	F-4	0.50	0.38	0.65
F4-P94	F-4	0.36	(0.26)	0.41
F4-P95	F-4	0.32	(0.30)	0.43
F4-P96	F-4	(0.26)	0.23	0.55
F4-P97	F-4	(0.43)	(0.21)	0.32
F4-P98	F-4	0.32	0.17	0.14
F4-P99	F-4	(0.84)	(0.41)	0.44
F4-P100	F-4	(0.12)	(0.09)	0.41
F4-P101	F-4	0.32	0.29	0.23
F4-P102	F-4	(0.32)	0.21	0.26
F4-P103	F-4	0.23	0.16	0.30
F4-P104	F-4	0.34	0.33	0.37
F4-P105	F-4	0.17	0.14	0.35
F4-P106	F-4	0.25	0.20	0.46
F4-P107	F-4	0.29	(0.18)	0.41
F4-P108	F-4	0.32	0.29	0.47
F4-P109	F-4	0.21	0.18	0.18
F4-P110	F-4	0.25	0.20	0.20
F4-P111	F-4	(0.17)	0.16	0.09
F4-P112	F-4	0.27	0.24	0.32
F4-P113	F-4	(0.27)	0.31	0.29
F4-P114	F-4	0.29	0.22	0.24

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P115	F-4	0.19	0.19	0.10
F4-P116	F-4	0.32	0.24	0.20
F4-P117	F-4	0.36	(0.22)	0.31
F4-P118	F-4	0.24	0.16	0.07
F4-P119	F-4	0.20	0.19	0.08
F4-P120	F-4	(0.61)	0.24	0.11
F4-P121	F-4	0.20	0.19	0.29
F4-P122	F-4	0.30	0.22	0.45
F4-P123	F-4	0.35	0.30	0.21
F4-P124	F-4	(0.23)	0.23	0.31
F4-P125	F-4	0.24	0.20	0.26
F4-P126	F-4	0.20	0.20	0.11
F4-P127	F-4	0.30	0.18	0.08
F4-P128	F-4	0.32	0.20	0.20
F4-P129	F-4	(0.28)	0.23	0.25
F4-P130	F-4	0.23	0.21	0.54
F4-P131	F-4	0.22	(0.13)	0.41
F4-P132	F-4	0.28	0.19	0.36
F4-P133	F-4	0.29	0.19	0.28
F4-P134	F-4	(0.12)	0.16	0.28
F4-P135	F-4	0.20	0.15	0.16
F4-P136	F-4	0.22	0.18	0.21
F4-P137	F-4	(0.22)	0.17	0.12
F4-P138	F-4	0.23	0.18	0.27
F4-P139	F-4	0.27	0.24	0.27
F4-P140	F-4	0.22	0.19	0.09
F4-P141	F-4	0.18	(0.16)	0.30
F4-P142	F-4	0.21	0.18	0.32
F4-P143	F-4	0.20	0.16	0.27
F4-P144	F-4	0.20	0.17	0.10
F4-P145	F-4	(0.43)	0.38	0.14
F4-P146	F-4	(0.25)	0.24	0.22
F4-P147	F-4	(0.24)	(0.14)	0.23
F4-P148	F-4	(0.28)	(0.22)	0.23 ?
F4-P149	F-4	(0.34)	0.28	0.33
F4-P150	F-4	0.21	(0.20)	0.39
F4-P151	F-4	0.26	0.20	0.40
F4-P152	F-4	(0.28)	0.27	0.23
F4-P153	F-4	0.25	0.22	0.28
F4-P154	F-4	0.24	0.21	0.19
F4-P155	F-4	0.39	0.30	0.60
F4-P156	F-4	0.32	(0.28)	0.20
F4-P157	F-4	0.21	0.20	0.61
F4-P158	F-4	0.34	(0.25)	0.22
F4-P159	F-4	0.28	0.19	0.25
F4-P160	F-4	0.32	0.26	0.11
F4-P161	F-4	0.18	0.12	0.14
F4-P162	F-4	0.17	0.13	0.16
F4-P163	F-4	(0.26)	(0.09)	0.04

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P164	F-4	0.22	0.22	0.71
F4-P165	F-4	(0.29)	0.24	0.39
F4-P166	F-4	(0.17)	0.18	0.12
F4-P167	F-4	(0.26)	0.20	0.16
F4-P168	F-4	0.16	0.12	0.30
F4-P169	F-4	0.32	0.31	0.67
F4-P170	F-4	0.30	0.19	0.14
F4-P171	F-4	0.22	0.15	0.16
F4-P172	F-4	0.28	0.28	0.53
F4-P173	F-4	(0.32)	0.27	0.07
F4-P174	F-4	0.44	(0.32)	0.17
F4-P175	F-4	0.34	0.32	0.65
F4-P176	F-4	0.21	0.18	0.53
F4-P177	F-4	0.25	(0.16)	0.13
F4-P178	F-4	0.22	(0.21)	0.18
F4-P179	F-4	0.23	0.22	0.31
F4-P180	F-4	0.24	0.22	0.46
F4-P181	F-4	0.32	0.24	0.54
F4-P182	F-4	0.30	0.29	0.14
F4-P183	F-4	0.24	(0.23)	0.16
F4-P184	F-4	0.20	0.16	0.15
F4-P185	F-4	0.20	0.20	0.16
F4-P186	F-4	0.38	0.24	0.11
F4-P187	F-4	0.41	(0.32)	0.23
F4-P188	F-4	0.22	0.20	0.30
F4-P189	F-4	0.22	0.21	0.19
F4-P190	F-4	0.22	0.20	0.17
F4-P191	F-4	(0.43)	(0.31)	0.27
F4-P192	F-4	0.20	0.15	0.11
F4-P193	F-4	0.16	0.12	0.10
F4-P194	F-4	0.36	0.29	0.21
F4-P195	F-4	0.34	0.31	0.45
F4-P196	F-4	0.23	(0.19)	0.22
F4-P197	F-4	0.64	(0.48)	0.11
F4-P198	F-4	0.50	0.32	0.49
F4-P199	F-4	0.56	(0.30)	0.53
F4-P200	F-4	(0.21)	(0.13)	0.21
F4-P201	F-4	(0.39)	(0.35)	0.30
F4-P202	F-4	0.34	0.31	0.16
F4-P203	F-4	0.31	0.31	0.11
F4-P204	F-4	0.31	0.24	0.26
F4-P205	F-4	0.26	0.23	0.36
F4-P206	F-4	(0.50)	0.30	0.07
F4-P207	F-4	0.28	0.26	0.18
F4-P208	F-4	0.21	0.18	0.24
F4-P209	F-4	0.28	0.24	0.53
F4-P210	F-4	0.26	(0.22)	0.46
F4-P211	F-4	0.29	(0.21)	0.19
F4-P212	F-4	0.34	0.31	0.57

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P213	F-4	0.29	0.21	0.06
F4-P214	F-4	(0.36)	(0.18)	0.09
F4-P215	F-4	0.44	0.32	0.58
F4-P216	F-4	(0.30)	(0.22)	0.25
F4-P217	F-4	0.43	(0.31)	0.41
F4-P218	F-4	0.45	(0.35)	0.29
F4-P219	F-4	0.42	(0.32)	0.50
F4-P220	F-4	0.45	0.30	0.75
F4-P221	F-4	0.38	(0.34)	0.29
F4-P222	F-4	(0.30)	0.21	0.23
F4-P223	F-4	(0.38)	(0.31)	0.43
F4-P224	F-4	0.46	(0.30)	0.32
F4-P225	F-4	(0.36)	(0.25)	0.38
F4-P226	F-4	0.54	0.41	0.64
F4-P227	F-4	(0.15)	(0.11)	0.40
F4-P228	F-4	0.25	(0.15)	0.39
F4-P229	F-4	0.41	0.31	0.20
F4-P230	F-4	0.32	(0.25)	0.52
F4-P231	F-4	(0.34)	(0.28)	0.47
F4-P232	F-4	0.32	(0.18)	0.34
F4-P233	F-4	0.39	0.28	0.36
F4-P234	F-4	0.19	0.15	0.05
F4-P235	F-4	0.31	0.24	0.74
F4-P236	F-4	(0.30)	0.30	0.57
F4-P237	F-4	0.43	0.28	0.27
F4-P238	F-4	(0.33)	0.32	0.27
F4-P239	F-4	0.33	0.23	0.19
F4-P240	F-4	0.29	(0.28)	0.33
F4-P241	F-4	0.28	0.26	0.43
F4-P242	F-4	(0.33)	0.22	0.38
F4-P243	F-4	(0.21)	(0.14)	0.38
F4-P244	F-4	0.29	0.23	0.54
F4-P245	F-4	0.26	0.24	0.32
F4-P246	F-4	0.41	0.30	0.65
F4-P247	F-4	0.31	(0.19)	0.45
F4-P248	F-4	0.21	0.18	0.35
F4-P249	F-4	0.56	0.54	0.10
F4-P250	F-4	0.46	0.40	0.46
F4-P251	F-4	0.33	0.21	0.18
F4-P252	F-4	0.35	(0.27)	0.76
F4-P253	F-4	0.54	0.40	0.76
F4-P254	F-4	(0.56)	0.45	0.69
F4-P255	F-4	(0.44)	0.40	1.58
F4-P256	F-4	(0.51)	(0.51)	0.31
F4-P257	F-4	0.59	0.31	0.59
F4-P258	F-4	(0.64)	(0.29)	0.60
F4-P259	F-4	0.33	0.29	0.43
F4-P260	F-4	0.44	0.41	0.73
F4-P261	F-4	0.45	0.35	0.80

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
F4-P262	F-4	(0.40)	0.36	0.67

G3-P1	G-3	0.32	0.31	0.22
G3-P2	G-3	0.29	0.26	0.15
G3-P3	G-3	0.24	0.22	0.24
G3-P4	G-3	0.24	0.22	0.23
G3-P5	G-3	0.28	0.23	0.22
G3-P6	G-3	0.31	0.26	0.26
G3-P7	G-3	0.24	0.20	0.19
G3-P8	G-3	0.22	0.22	0.17
G3-P9	G-3	0.26	0.25	0.10
G3-P10	G-3	0.37	0.29	0.12
G3-P11	G-3	(0.46)	(0.23)	0.32
G3-P12	G-3	(0.31)	0.25	0.07
G3-P13	G-3	(0.43)	0.22	0.19
G3-P14	G-3	0.45	0.41	0.20
G3-P15	G-3	0.40	0.24	0.20
G3-P16	G-3	0.26	0.18	0.06

G4-P1	G-4	0.52	0.50	0.46
G4-P2	G-4	0.61	0.52	0.46
G4-P3	G-4	0.26	(0.21)	0.08
G4-P4	G-4	(0.26)	(0.12)	0.13
G4-P5	G-4	(0.41)	0.31	0.06
G4-P6	G-4	0.28	0.23	0.48
G4-P7	G-4	0.25	0.20	0.23
G4-P8	G-4	0.25	0.20	0.24
G4-P9	G-4	0.35	0.24	0.47
G4-P10	G-4	(0.63)	0.22	0.25
G4-P11	G-4	0.33	0.30	0.46
G4-P12	G-4	0.26	0.11	0.23
G4-P13	G-4	0.21	0.16	0.29
G4-P14	G-4	0.24	0.20	0.53
G4-P15	G-4	0.34	0.25	0.25
G4-P16	G-4	(0.23)	0.23	0.11
G4-P17	G-4	0.28	0.28	0.34
G4-P18	G-4	0.28	(0.24)	0.06
G4-P19	G-4	0.16	0.15	0.32
G4-P20	G-4	0.32	0.23	0.36
G4-P21	G-4	0.18	0.17	0.07
G4-P22	G-4	0.34	0.27	0.20
G4-P23	G-4	0.41	0.33	0.56
G4-P24	G-4	0.47	(0.21)	0.14
G4-P25	G-4	0.23	0.22	0.17
G4-P26	G-4	0.26	0.25	0.20
G4-P27	G-4	0.25	0.25	0.21
G4-P28	G-4	0.31	0.28	0.28
G4-P29	G-4	0.43	0.30	0.54
G4-P30	G-4	0.30	0.21	0.44

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
G4-P31	G-4	(0.29)	(0.20)	0.32
G4-P32	G-4	0.30	(0.15)	0.18
G4-P33	G-4	0.21	(0.15)	0.16
G4-P34	G-4	0.30	0.23	0.22
G4-P35	G-4	0.25	(0.13)	0.15
G4-P36	G-4	0.20	0.20	0.13
G4-P37	G-4	(0.32)	0.30	0.09
G4-P38	G-4	0.40	0.22	0.17
G4-P39	G-4	0.30	(0.24)	0.48
G4-P40	G-4	0.30	0.26	0.45
G4-P41	G-4	0.23	0.23	0.39
G4-P42	G-4	0.32	0.31	0.47
G4-P43	G-4	0.19	0.15	0.08
G4-P44	G-4	(0.20)	0.20	0.08
G4-P45	G-4	0.27	0.27	0.18
G4-P46	G-4	0.30	(0.17)	0.13
G4-P47	G-4	0.29	0.21	0.18
G4-P48	G-4	(0.23)	(0.14)	0.14
G4-P49	G-4	(0.44)	(0.15)	0.29
G4-P50	G-4	0.52	0.48	0.57
G4-P51	G-4	0.34	0.28	0.24
G4-P52	G-4	0.35	0.29	0.52
G4-P53	G-4	0.25	0.24	0.17
G4-P54	G-4	0.18	(0.15)	0.32
G4-P55	G-4	0.25	0.21	0.49
G4-P56	G-4	(0.31)	(0.30)	0.06
G4-P57	G-4	0.25	0.23	0.19
G4-P58	G-4	0.30	0.26	0.27
G4-P59	G-4	0.41	0.38	0.51
G4-P60	G-4	0.26	0.23	0.14
G4-P61	G-4	0.24	0.20	0.20
G4-P62	G-4	0.24	0.20	0.15
G4-P63	G-4	0.50	0.39	0.13
G4-P64	G-4	0.28	0.25	0.11
G4-P65	G-4	0.22	(0.10)	0.32

G5-P1	G-5	0.60	0.58	0.25
G5-P2	G-5	0.30	(0.19)	0.11

H4-P1	H・I-4・5	0.20	0.20	0.12
H4-P2	H・I-4・5	0.20	0.19	0.14
H4-P3	H・I-4・5	0.38	0.35	0.33

番 号	位 置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
H4-P4	H・I-4・5	0.26	0.21	0.18
H4-P5	H・I-4・5	0.14	0.11	0.09
H4-P6	H・I-4・5	0.53	0.52	0.62
H4-P7	H・I-4・5	0.42	0.38	0.10
H4-P8	H・I-4・5	0.38	0.22	0.31
H4-P9	H・I-4・5	0.35	0.32	0.28
H4-P10	H・I-4・5	(0.62)	(0.48)	0.53
H4-P11	H・I-4・5	(0.50)	(0.25)	0.14
H4-P12	H・I-4・5	0.32	(0.32)	0.53
H4-P13	H・I-4・5	0.41	(0.41)	0.81
H4-P14	H・I-4・5	0.55	0.48	0.72
H4-P15	H・I-4・5	(0.36)	(0.26)	0.27
H4-P16	H・I-4・5	0.32	0.28	0.52
H4-P17	H・I-4・5	0.48	(0.44)	0.33
H4-P18	H・I-4・5	0.52	0.39	0.76
H4-P19	H・I-4・5	0.50	0.42	0.55
H4-P20	H・I-4・5	0.23	0.14	0.08
H4-P21	H・I-4・5	0.56	(0.42)	0.83
H4-P22	H・I-4・5	(0.22)	(0.16)	0.17
H4-P23	H・I-4・5	0.53	(0.52)	0.71
H4-P24	H・I-4・5	(0.34)	(0.22)	0.11
H4-P25	H・I-4・5	0.34	0.28	0.46
H4-P26	H・I-4・5	(0.48)	(0.30)	0.14
H4-P27	H・I-4・5	(0.46)	(0.39)	0.40
H4-P28	H・I-4・5	(0.20)	(0.18)	-
H4-P29	H・I-4・5	0.26	0.20	0.12
H4-P30	H・I-4・5	0.44	0.32	0.19
H4-P31	H・I-4・5	0.20	0.16	0.09
H4-P32	H・I-4・5	0.30	0.29	0.26
H4-P33	H・I-4・5	0.50	0.43	0.48
H4-P34	H・I-4・5	0.42	0.36	0.29
H4-P35	H・I-4・5	0.28	0.28	0.03
H4-P36	H・I-4・5	0.35	0.26	0.15
H4-P37	H・I-4・5	0.22	0.17	0.13
H4-P38	H・I-4・5	0.13	0.13	0.06
H4-P39	H・I-4・5	0.25	0.24	0.12
H4-P40	H・I-4・5	0.22	(0.15)	0.12
H4-P41	H・I-4・5	0.46	0.28	0.23
H4-P42	H・I-4・5	0.34	0.26	0.17
H4-P43	H・I-4・5	0.56	0.47	0.56
H4-P44	H・I-4・5	0.44	0.29	0.51
H4-P45	H・I-4・5	0.28	0.20	0.16